Canon

MB5100 series
オンラインマニュアル - 取扱説明書 -

本製品で利用できる便利な機能
本製品の基本情報
プリント
スキャン
ファクス
困ったときには

日本語 (Japanese)

目次

オンラインマニュアルの使いかた. 22
商標・ライセンスについて. 23
検索のヒント. 32
まず使ってみる. 34
パソコンで文書を印刷する（Windows）. 35
パソコンで文書を印刷する（Mac OS）. 38
文書をコピーする. 41
ファクスを送信する. 44
本製品で利用できる便利な機能. 46
AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう. 47
Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう. 48
iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう. 50
「ダイレクト接続」で無線接続する. 55
バリエーション豊かなコンテンツ素材をダウンロード. 56
ウェブアプリ「Easy-PhotoPrint+（イージー・フォト・プリント・プラス）」を使って作品印刷. 57
「Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）」を使ってプリンターを便利に管理. 58
本製品で利用できる接続方法について. 59
原稿台よりも大きな原稿をスキャン. 61
複数の原稿を一度にスキャン. 62
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 63
Web サービスを使って印刷するときのご注意. 64
プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 65
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する前に. 66
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクにプリンター情報を登録する. 68
アプリの管理. 70
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 75
［クラウド］画面説明. 78
［クラウド］のトラブルシューティング. 81
スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 82
Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する前に. 83

Canon Inkjet Cloud Printing Center 動作要件. 84
Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する. 85
Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する（液晶モニターがカラーの機種の場合）. 86
Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する（液晶モニターがモノクロの機種の場合）. 93
Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する（液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合）. 101
Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する. 107
Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明. 111
プリンターを追加する. 148
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する. 150
Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング. 155
Canon PRINT Inkjet/SELPHY でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷. . . 158
Windows RT での印刷. 159
オンラインストレージ連携機能. 160
セット方法. 161
用紙をセットする. 162
用紙のセットについて. 163
普通紙／写真用紙／はがきをセットする. 165
封筒をセットする. 171
原稿をセットする. 176
原稿のセット位置について. 177
原稿台ガラスに原稿をセットする. 178
ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする. 179
機能ごとの原稿のセット方法. 180
セットできる原稿について. 182
USB フラッシュメモリーをセットする. 184
USB フラッシュメモリーをセットする. 185
USB フラッシュメモリーを取り外す. 186
インクタンクを交換する. 187
インクタンクを交換する. 188
インクの状態をタッチスクリーンで確認する. 194
お手入れ（メンテナンス）. 195
印刷にかすれやむらがあるときには. 196

お手入れの手順について. 197
ノズルチェックパターンを印刷する. 199
ノズルチェックパターンを確認する. 201
プリントヘッドをクリーニングする. 203
プリントヘッドを強力クリーニングする. 205
プリントヘッド位置を調整する. 207
手動でプリントヘッド位置を調整する. 209
パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）. 212
プリントヘッドをクリーニングする. 213
プリントヘッドの位置を調整する. 215
手動でプリントヘッド位置を調整する. 216
ノズルチェックパターンを印刷する. 219
本製品を清掃する. 220
本製品の外側を清掃する. 221
原稿台の周辺部分を清掃する. 222
ADF（自動原稿給紙装置）を清掃する. 223
給紙ローラーをクリーニングする. 225
インクふき取りクリーニングを行う. 227
カセットの内部を清掃する. 230
本製品の基本情報. 231
安全ガイド. 233
安全にお使いいただくために. 234
法規制情報. 235
各部の名称と使いかた. 237
各部の名称と役割. 238
前面. 239
背面. 241
内部. 242
操作パネル. 243
本製品の電源について. 245
電源が入っているか確認する. 246
電源を入れる／切る. 247
電源プラグ／電源コードについて. 249
電源プラグを抜く. 250
操作パネルの使いかた. 251
文字や数字を入力する. 255

本製品の設定を変更する. 257
パソコンで設定を変更する（Windows）. 258
印刷オプションの設定を変更する. 259
よく使う印刷設定を登録する. 260
プリンターの電源を操作する. 262
プリンターの動作音を抑える. 263
プリンターの設定を変更する. 264
本製品の操作パネルで設定を変更する. 266
本製品の操作パネルで設定を変更する. 267
本製品の操作パネルで設定できる項目. 269
ファクス設定. 270
印刷設定. 274
LAN 設定. 275
本体の基本設定. 280
タイムゾーン一覧. 282
言語選択. 284
ファームウェアのアップデート. 285
カセット設定. 286
管理者パスワードの設定. 287
本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する. 288
動作制限. 290
本製品の動作制限の設定をする. 291
設定リセット. 294
Web サービス設定. 296
システム情報. 297
ECO 設定について. 298
低騒音化設定について. 303
よく使う設定を登録する（カスタム設定）. 305
使用実績を確認する. 307
ウェブブラウザーから本製品の設定を変更する. 308
ウェブブラウザーから設定を変更する. 309
本製品のルート証明書をウェブブラウザーに登録する. 312
ウェブブラウザーで設定できる項目. 316
パスワードを設定する. 318
メールサーバーを設定する. 320
スキャンデータを送信するときのメール設定を行う. 322
本製品の状態をメールで受信する. 323

ネットワーク接続に関する情報. 324
ネットワーク接続で役立つ情報. 325
工場出荷時初期値（ネットワーク）. 326
同じ名前のプリンターを検出したときは. 328
他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える. 329
本製品のネットワーク設定情報を印刷する. 330
LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える. 335
ネットワークの設定について（IJ Network Device Setup Utility）（Windows）. . . 337
IJ Network Device Setup Utility について. 338
IJ Network Device Setup Utility を起動する. 339
［IJ Network Device Setup Utility］画面. 340
ネットワークの設定をする. 344
有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する. 345
無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する. 348
本体情報を設定する. 352
ネットワーク設定を初期化する. 353
管理者パスワードを変更する. 354
プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する. 355
［WEP 詳細］画面が表示された場合は. 357
［WPA/WPA2 詳細］画面が表示された場合は. 358
ネットワークの状況を確認する. 359
無線 LAN の通信状況を確認する. 360
パソコンのネットワーク情報を表示する. 361
プリンターのネットワーク情報を表示する. 362
プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する. 363
ネットワーク設定の変化を確認する. 364
IJ Network Device Setup Utility のメニュー. 365
［プリンター］メニュー. 366
［表示］メニュー. 368
［オプション］メニュー. 370
［ヘルプ］メニュー. 371
ネットワークに関するその他の情報. 372
用語について. 373
無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意. 379
制限事項. 380
ファイアウォールについて. 381
きれいに印刷するためのヒント集. 382

インクについて知っておきたいこと. 383
印刷を失敗しないためのポイント. 384
印刷するときには用紙設定の確認を忘れずに. 385
用紙をセットしたあとは、カセットの用紙情報の登録を忘れずに. 386
印刷を中止するときは. 387
いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント. 388
本製品を移送するときの注意. 389
原稿をスキャンするときの注意事項. 390
仕様. 391
用紙に関する情報. 396
使用できる用紙について. 397
用紙の最大積載枚数. 399
使用できない用紙について. 401
用紙の取り扱いについて. 402
印刷できる範囲. 403
印刷できる範囲について. 404
定型サイズの用紙. 405
封筒. 407
管理者による設定. 409
ネットワーク環境でプリンターを共有する. 410
プリンターを共有するための設定方法. 411
プリンター共有に関する制限. 413
管理用のパスワードについて. 415
パスワードと Cookie について. 417
本製品のシリアルナンバーの記載箇所について. 419
本製品のルート証明書をウェブブラウザーに登録する方法について. 420
プリント. 421
パソコンから印刷してみよう. 422
お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）. 423
かんたんな設定で印刷を行う. 424
プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）. 427
プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）. 429
いろいろな印刷. 431

用紙サイズと印刷の向きを設定する. 432
部数と印刷順序を設定する. 433
とじしろを設定する. 435
フィットページ印刷を行う. 437
拡大/縮小印刷を行う. 439
割り付け印刷を行う. 442
分割/ポスター印刷を行う. 444
冊子印刷を行う. 447
両面印刷を行う. 449
スタンプ付き、背景付き印刷を行う. 452
封筒に印刷する. 461
はがきに印刷する. 464
印刷前に印刷結果を表示する. 466
用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）. 467
印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う. 469
印刷品質の変更や画像データの補正. 472
カラーの原稿をモノクロで印刷する. 473
色補正の方法を指定する. 475
カラーバランスを調整する. 483
パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）. 485
明るさを調整する. 489
濃度を調整する. 491
コントラストを調整する. 493
パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）. 495
プリンタードライバーの概要. 499
Canon IJ プリンタードライバー. 500
Canon IJ ステータスモニタ. 503
Canon IJ プレビュー. 505
不要になった印刷ジョブを削除する. 506
使用上の注意（プリンタードライバー）. 507
プリンタードライバーの画面説明. 509
［クイック設定］シートの画面説明. 510
［基本設定］シートの画面説明. 516
［ページ設定］シートの画面説明. 521
［ユーティリティ］シートの画面説明. 532
Canon IJ プレビューの画面説明. 538
Canon IJ XPS プレビューの画面説明. 541
Canon IJ ステータスモニタの画面説明. 549
MP ドライバーの更新. 552

最新の MP ドライバーを入手する. 553
不要になった MP ドライバーを削除する. 554
MP ドライバーをインストールする前に. 555
MP ドライバーをインストールする. 556
ウェブサービスを使って印刷してみよう. 557
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 63
Google Cloud Print を利用して印刷してみよう. 559
Google アカウントを取得する. 561
Google Cloud Print に本製品を登録する. 562
パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する. 564
Google Cloud Print から本製品の登録を削除する. 568
Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう. 48
Windows 10 Mobile 搭載デバイスから印刷する場合. 572
スマートフォン／タブレットから印刷してみよう. 573
スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう. 574
Android 機器から印刷してみよう. 575
iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう. 50
本製品をダイレクト接続で使用する. 582
ウェブサービスを使って印刷してみよう. 587
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 63
Google Cloud Print を利用して印刷してみよう. 559
本製品の操作パネルから印刷してみよう. 591
写真データを印刷してみよう. 592
USB フラッシュメモリーの写真を印刷する. 593
本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目. 598
便利な表示機能を使う. 599
文書（PDF）ファイルを印刷してみよう. 601
印刷時の用紙設定. 605
コピー. 609
コピーする. 610
プレビュー画面を表示する. 613
コピーするときの設定項目. 615
拡大／縮小してコピーする. 618
両面コピーをする. 620
便利なコピー機能を使う. 624

2 枚の原稿を 1 枚にコピーする. 625
4 枚の原稿を 1 枚にコピーする. 627
本などの厚い原稿をコピーする. 630
ID カードの両面を 1 枚にコピーする. 631
部単位でコピーする. 633
スマートフォン／タブレットを使ってコピーする. 634
スキャン. 636
パソコンからスキャンしてみよう（Windows）. 637
IJ Scan Utility でスキャンする. 638
スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは. 639
IJ Scan Utility を起動する. 641
文書をスキャンする. 642
写真をスキャンする. 643
お気に入りの設定でスキャンする. 644
原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）. 645
［画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する. 649
スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）. 650
スキャンした画像を E メールに添付して送信する. 652
複数の原稿を一度にスキャンする. 653
ADF（自動原稿給紙装置）から、複数の原稿を一度にスキャンする. 657
原稿の両面を一度にスキャンする. 662
スキャン結果を確認して保存する. 666
IJ Scan Utility の画面説明. 669
IJ Scan Utility 基本画面. 670
スキャン設定ダイアログボックス. 672
［保存設定］ダイアログボックス. 726
［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックス. 730
［画像貼り合わせ］ウィンドウ. 732
お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）. 737
ScanGear（スキャナードライバー）とは. 738
ScanGear（スキャナードライバー）で細かく設定してスキャンしよう. 740
ScanGear（スキャナードライバー）を起動する. 741
「基本モード」でスキャンする. 742
「拡張モード」でスキャンする. 745
「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする. 747
ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする. 749
ScanGear（スキャナードライバー）で画像補正や色調整をしてみよう. 753

画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など） 754
色調整パターンを使った色調整のしかた 757
彩度・カラーバランスの調整のしかた 759
明るさ・コントラストの調整のしかた 761
ヒストグラムの調整のしかた 763
トーンカーブの調整のしかた 767
白黒設定のしかた 770
ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明 771
［基本モード］シート 772
［拡張モード］シート 779
［入力設定］ 785
［出力設定］ 788
［画像設定］ 791
色調整ボタン 796
［詳細設定］ダイアログボックス 799
［スキャナー］シート 800
［プレビュー］シート 803
［スキャン］シート 805
［色の設定］シート 806
原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合） 808
クロップ枠の調整のしかた（ScanGear） 811
使用上の注意（スキャナードライバー） 814
そのほかのスキャンのしかた 816
WIA ドライバーでスキャンする 817
IJ Network Scanner Selector EX2 のメニューと設定画面 821
IJ Network Scanner Selector EX2 をアンインストールしたい 824
スキャンの役立つ情報 825
解像度について 826
データ形式について（ファイルの種類／フォーマット） 828
カラーマッチングについて 829
原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合） 830
ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法 833
パソコンからスキャンしてみよう（Mac OS） 837
本製品の操作パネルを使ってスキャンしてみよう 838
スキャンしたデータをパソコンに転送する 839
スキャンしたデータをパソコンからメール添付で送信する 843
スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する 847

スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する. 848
送信先のメールアドレスを登録する. 853
グループメールに登録する. 856
登録したメールアドレス情報を変更する. 860
登録したメールアドレス情報を削除する. 862
メールアドレス帳をインポート／エクスポートする. 863
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する. 865
スキャンしたデータをパソコンの共有フォルダーに転送する. 869
スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーから削除する. 872
スキャンするときの設定項目. 874
IJ Scan Utility で本製品の操作パネルの動作設定をする（Windows）. 876
スマートフォン／タブレットを使ってスキャンしてみよう. 879
PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する. 63
ファクス. 881
ファクスの準備をする. 882
電話回線を接続する. 883
回線種別を設定する. 887
受信モードを設定する. 889
発信元情報を設定する. 892
本製品の操作パネルを使ってファクスを送信してみよう. 897
ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する. 898
リダイヤル機能を使って送信する. 902
ファクスを送信するときの設定項目. 904
便利な送信機能を使う. 905
送信先の状況を確認してから送信する. 906
登録した送信先に送信する. 908
複数の相手に一度に送信する（同報送信）. 911
誤送信防止機能を使う. 915
オンフック機能を使う. 917
送信先を登録してみよう. 919
本製品の操作パネルを使って送信先を登録する. 920
送信先の電話番号を登録する. 921
グループダイヤルに登録する. 924
登録した情報を変更する. 928
登録した情報を削除する. 929
登録した番号リストを印刷する. 930
短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）. 931

短縮ダイヤルツール 2 を起動する. 932
［短縮ダイヤルツール 2］画面の項目. 933
本製品に登録されている電話帳情報をパソコンに保存する. 935
短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を登録する. 936
短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を変更する. 938
短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を削除する. 940
短縮ダイヤルツール 2 を使ってユーザー情報を編集する. 941
短縮ダイヤルツール 2 を使って通信拒否番号を登録／編集する. 942
パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する. 943
ファクスを受信する. 944
ファクスを受信する. 945
用紙の設定を変更する. 948
一時的に本製品のメモリーに受信する（代行受信）. 950
便利な受信機能を使う. 952
受信したファクスを USB フラッシュメモリーに自動保存する. 953
受信したファクスをパソコンの共有フォルダーに自動転送する. 955
本製品に接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）. 957
ファクス受信拒否設定を使う. 958
そのほかの便利なファクス機能. 961
プッシュホンサービスを使う. 962
ECM 方式で送受信する. 964
本製品のメモリーに保存されているファクスについて. 965
本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する. 966
本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する. 968
本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存する. 970
本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送する. 973
印刷できるレポートとリスト. 976
パソコンからファクスを送信する（Windows）. 981
ファクスを送信する（ファクスドライバー）. 982
アドレス帳を作る（ファクスドライバー）. 985
アドレス帳の送信先を変更、削除する（ファクスドライバー）. 989
アドレス帳から送信先を検索する（ファクスドライバー）. 992
パソコンからファクスを送信できない. 994
ファクスドライバーの設定画面の開きかた. 996
使用上の注意（ファクスドライバー）. 998
パソコンからファクスを送信する（Mac OS）. 999
ファクスを送信する. 1000

使用上の注意. 1003
困ったときには. 1004
ネットワークに関するトラブル. 1006
ネットワーク上にプリンターが見つからない. 1007
［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1008
チェック 1 : 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1009
チェック 2 : 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1010
チェック 3 : 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1011
チェック 4 : 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1013
チェック 5 : 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1014
チェック 6 : 無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1015
チェック 1 : 有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1016
チェック 2 : 有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1017
チェック 3 : 有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1018
チェック 4 : 有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1019
チェック 5 : 有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1020
チェック 6 : 有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない. 1021
セットアップのときに［プリンターの検出］画面でプリンターを検索後にプリンターが見つからない. 1022
セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する（Windows） 1024
［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない. 1027
無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない. 1029
有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない. 1031
本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル. 1032
本製品が突然使えなくなった. 1033
ネットワークキーを忘れてしまった／わからない. 1037
本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった. 1039
無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった. . 1040
印刷に時間がかかる. 1042

無線 LAN 接続でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない. 1043
Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）. 1044
ネットワークに関するその他のトラブル. 1045
ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された. 1046
定常的にパケットが送出されている（Windows）. 1048
ネットワークに関する設定を調べたい. 1049
本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す. 1052
スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル. 1053
スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない. 1054
印刷に関するトラブル. 1057
印刷が始まらない. 1058
用紙がつまった. 1061
コピー／印刷結果に満足できない. 1063
最後まで印刷できない. 1064
文書の一部が印刷されない（Windows）. 1065
白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る. 1066
罫線がずれる. 1069
罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）. 1070
画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）. 1071
インクがにじむ／用紙が反る. 1072
印刷面が汚れる／こすれる. 1073
用紙の裏面が汚れる. 1077
色むらや色すじがある. 1078
インクが出ない. 1080
用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する. 1081
自動両面印刷でうまく印刷できない. 1083
コピー／印刷が途中で止まる. 1085
AirPrint で印刷できない. 1086
スキャンに関するトラブル（Windows）. 1087
スキャンができない. 1088
スキャナーが動かない. 1089
ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない. 1090
エラーメッセージが表示されて ScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない 1091
複数の原稿を一度にスキャンできない. 1092
スキャンに時間がかかる. 1093
「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない. 1094
スキャンの途中でパソコンが動かなくなった. 1095

これまで使っていた Windows をアップグレードしたらスキャナーが動かなくなった. 1096
スキャンした画像が開けない. 1097
スキャン結果に満足できない. 1098
スキャン結果にモアレが発生する. 1099
きれいにスキャンできない（モニターに表示された画像がきたない）. 1100
スキャンした画像の周囲に余白ができる. 1102
正しいサイズで読み込めない. 1103
操作パネルからスキャンしたときに画像の位置やサイズが正しく読めない. 1104
原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている. 1105
スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される. 1106
ソフトウェアのトラブル. 1107
使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない. 1108
IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧. 1109
ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧. 1111
ファクスに関するトラブル. 1114
ファクスを送信できない. 1115
ファクスを送信できない. 1116
同報送信の送信先がリダイヤルから選べない、または番号入力してダイヤルできない. 1119
送信時にエラーが発生しやすい. 1120
ファクスを受信できない. 1121
ファクスを受信できない、ファクスを印刷できない. 1122
電話とファクスの受信が自動的に切り替わらない. 1124
受信したファクスの画質が悪い. 1125
カラーファクスが受信できない. 1126
受信時にエラーが発生しやすい. 1127
送信したファクスの画質が悪い. 1128
電話がつながらない. 1129
ダイヤルできない. 1130
通話中に電話が切れてしまう. 1131
本体に関するトラブル. 1132
電源が入らない. 1133
USB 接続がうまくいかない. 1134
USB 接続で通信ができない. 1135
タッチスクリーンの表示が消えている. 1136
日本語以外の言語が表示されている. 1137
プリントヘッドホルダーが交換位置に移動しない. 1138
プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）. 1139

インストール／ダウンロードに関するトラブル. 1140
MP ドライバーがインストールできない. 1141
Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）. 1143
ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）. . . 1144
エラー表示／メッセージについて. 1145
トラブルが発生したときは. 1146
ファクス待機画面にメッセージが表示されている. 1148
メッセージが表示されている. 1151
トラブルが解決しないときは. 1160
エラー発生時のサポート番号一覧. 1161
エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）. 1163
1300. 1164
1303. 1168
1313. 1171
1314. 1174
2801. 1177
それ以外のとき. 1180
1003. 1181
1200. 1182
1309. 1183
1310. 1184
1319. 1185
1575. 1186
1600. 1187
1660. 1188
1688. 1189
1700. 1190
1701. 1191
1754. 1192
1755. 1193
1871. 1194
1890. 1195
2001. 1196
2002. 1197

2110. 1198
2120. 1201
2500. 1202
2700. 1203
2802. 1204
2803. 1205
2805. 1208
3401. 1209
3402. 1210
3403. 1211
3404. 1212
3405. 1213
3406. 1214
3407. 1215
3408. 1216
3410. 1217
3411. 1218
3412. 1219
3413. 1220
3414. 1221
3415. 1222
3416. 1223
3417. 1224
3418. 1225
3419. 1226
3420. 1227
3421. 1228
3422. 1229
3423. 1230
3424. 1231
3425. 1232
3434. 1233
3435. 1234
3436. 1235

3437 1236
4100 1237
4103 1238
5011 1239
5012 1240
5040 1241
5050 1242
5051 1243
5100 1244
5102 1245
5103 1246
5104 1247
5105 1248
5200 1249
5203 1250
5204 1251
5205 1252
5206 1253
5207 1254
5208 1255
5209 1256
5400 1257
5500 1258
5501 1259
5B00 1260
5B01 1261
5C01 1262
6000 1263
6500 1264
6502 1265
6700 1266
6701 1267
6800 1268
6801 1269

6900. 1270
6901. 1271
6902. 1272
6910. 1273
6911. 1274
6920. 1275
6921. 1276
6930. 1277
6931. 1278
6932. 1279
6933. 1280
6936. 1281
6937. 1282
6938. 1283
6939. 1284
693A. 1285
6940. 1286
6941. 1287
6942. 1288
6943. 1289
6944. 1290
6945. 1291
6946. 1292
7100. 1293
7200. 1294
7201. 1295
7203. 1296
7204. 1297
7205. 1298
9000. 1299
9500. 1300
B202. 1301
B203. 1302
B204. 1303

B205. 1304
B502. 1305
B503. 1306
B504. 1307
C000. 1308

オンラインマニュアルの使いかた

- 本文中の記号
- タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）

本文中の記号

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。

重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。

参考

操作の参考になることや補足説明が書かれています。

基本

ご使用の製品の基本的な操作について説明しています。

参考

- ご使用の製品によって、アイコンは異なる場合があります。

タッチ機能対応のデバイスをご使用のかた（Windows）

タッチ操作の場合、本文中の「右クリック」を OS の設定に合わせて読み替える必要があります。たとえば、ご使用の OS で「長押し」に設定している場合は、「右クリック」を「長押し」に読み替えてください。

商標・ライセンスについて

- Microsoft は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、AirMac、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。App Store、AirPrint、AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。
- IOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- Google Cloud Print、Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android、Google Play、Google Drive、Google Apps および Picasa は、Google Inc.の登録商標または商標です。
- Adobe、Flash、Photoshop、Photoshop Elements、Lightroom および Adobe RGB、Adobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Autodesk、AutoCAD は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

参考

- Windows Vista の正式名称は、Microsoft Windows Vista operating system です。

Copyright (c) 2003-2004, Apple Computer, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Computer, Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

http://www.apache.org/licenses/
TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

   "License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

   "Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

   "Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

   "You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

   "Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

   "Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

   "Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

   "Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

   "Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

   "Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
    1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
    2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
    3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
    4. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

        You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.
   END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) -----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) -----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) -----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2003-2009, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) -----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LEADTOOLS

Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.

CMap Resources

Copyright 1990-2009 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Copyright 1990-2010 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe Systems Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

下記は Wi-Fi に対応している製品にのみ該当します。

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
* Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

検索ウィンドウにキーワードを入力し、（検索）をクリックしてください。

本マニュアル内の目的のページを検索することができます。

入力例："（ご使用の製品の機種名） 用紙のセット"

検索のヒント

検索ウィンドウにキーワードを入力して、目的のページを検索することができます。



重要

- お住まいの国や地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。

参考

- 表示される画面は異なる場合があります。
- 本ページから検索するとき、ご使用の製品の機種名やアプリケーションソフト名を入力しない場合、本マニュアルが対応しているすべての製品が検索対象となります。
  検索結果を絞り込みたい場合は、ご使用の製品の機種名やアプリケーションソフト名をキーワードに追加してください。

- **機能を検索したい**

  ご使用の製品の機種名 + 知りたい機能のキーワードを入力

  <例>用紙のセット方法を知りたい場合
  検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） 用紙のセット"を入力し検索

- **エラーを解決したい**

  ご使用の製品の機種名 + サポート番号を入力

  <例>以下のエラー画面が表示された場合
  検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） 1003"を入力し検索



参考

- ご使用の製品によって、表示される画面が異なります。

- **アプリケーションソフトの機能を検索したい**

  ご使用のアプリケーションソフト名 + 知りたい機能のキーワードを入力

  <例>My Image Garden のコラージュ印刷について操作手順を知りたい場合
  検索ウィンドウに"My Image Garden コラージュ"を入力し検索

- **参照先のページを検索したい**

  ご使用の機種名 + 参照先のページタイトルを入力*
  * 機能も入力すると、より参照先のページを見つけやすくなります。

  <例>スキャンの操作手順ページに以下のように記載されている参照先のページを閲覧したい場合
  「詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「[色の設定]シート」を参照してください。」
  検索ウィンドウに"（ご使用の製品の機種名） スキャン ［色の設定］シート"を入力し検索

まず使ってみる

- パソコンで文書を印刷する（Windows）
- パソコンで文書を印刷する（Mac OS）
- 文書をコピーする
- ファクスを送信する

パソコンで文書を印刷する（Windows）

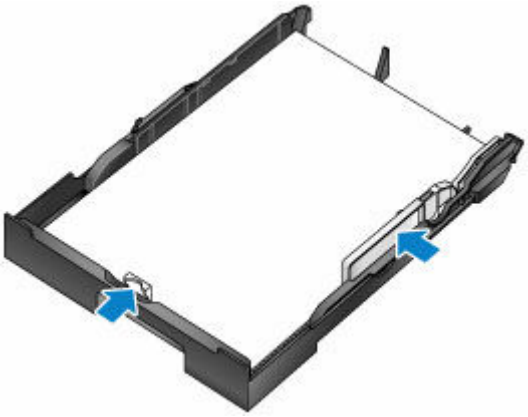
パソコンなどのさまざまなアプリケーションで作成した文書を印刷する方法を説明します。

1. カセットを引き出す



2. **印刷したい面を下に**して、用紙をセットする

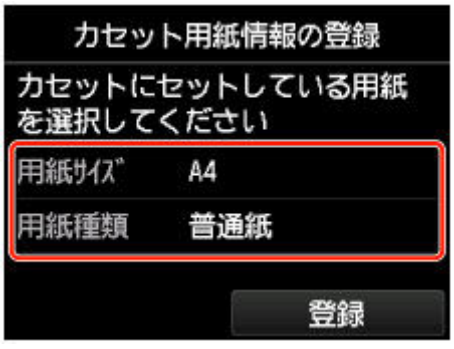
3. 用紙ガイドを用紙の長さと幅に合わせる



4. カセットを本体に差し込む

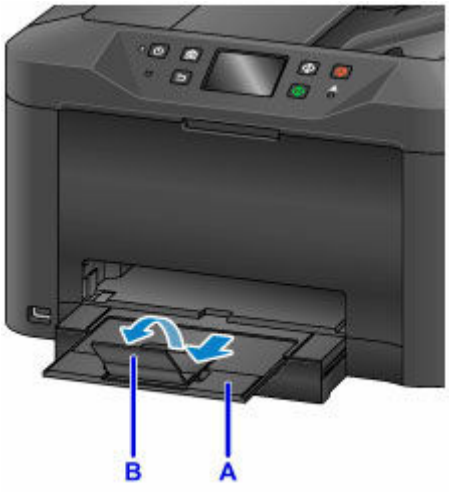
   カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。

5. カセットにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］をタップする



   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

6. 補助トレイ（A）を引き出し、排紙サポート（B）を開く



7. アプリケーションソフトでメニューから印刷を選ぶ

一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログボックスを開くことができます。

8. お使いの機種名を選び、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックする

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

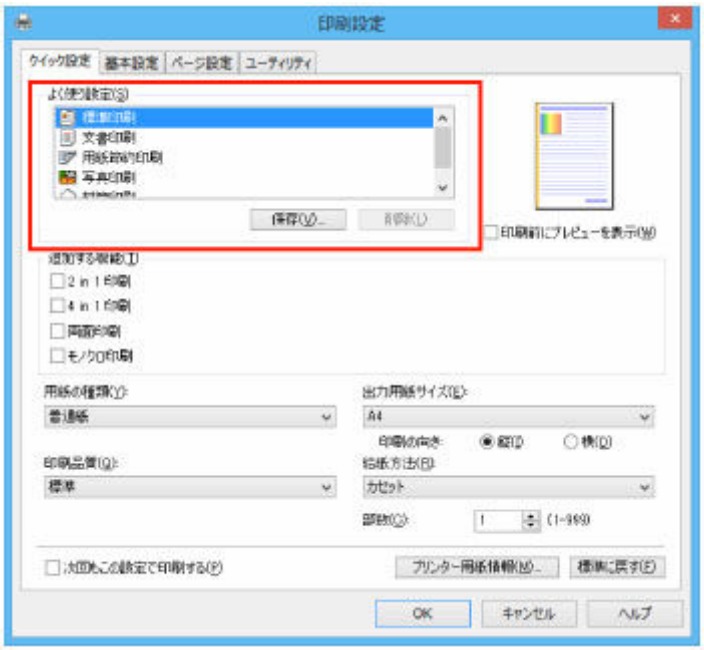
参考

- 使用しているアプリケーションソフトによっては、メニュー名などが異なったり、手順が多くなったりする場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

9. よく使う設定を選ぶ

［クイック設定］シートの［よく使う設定］で、目的に合った印刷設定を選びます。

印刷設定を選ぶと、［追加する機能］、［用紙の種類］、［出力用紙サイズ］があらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



10. 印刷の設定が終わったら、［OK］をクリックし、印刷を実行する

参考

- プリンタードライバーの設定画面では、印刷に関するさまざまな設定を行えます。

  お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）

パソコンで文書を印刷する（Mac OS）

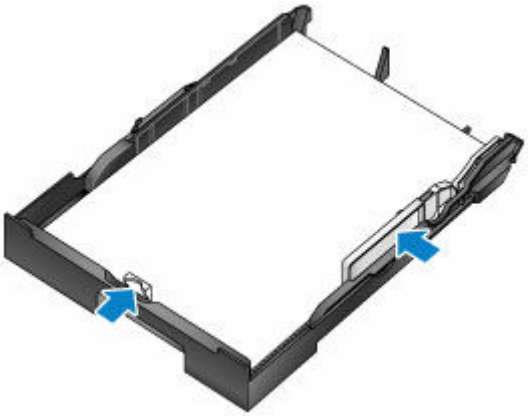
パソコンなどのさまざまなアプリケーションで作成した文書を印刷する方法を説明します。

1. カセットを引き出す



2. **印刷したい面を下に**して、用紙をセットする

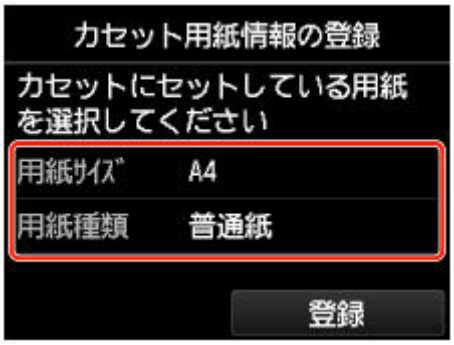
3. 用紙ガイドを用紙の長さと幅に合わせる



4. カセットを本体に差し込む

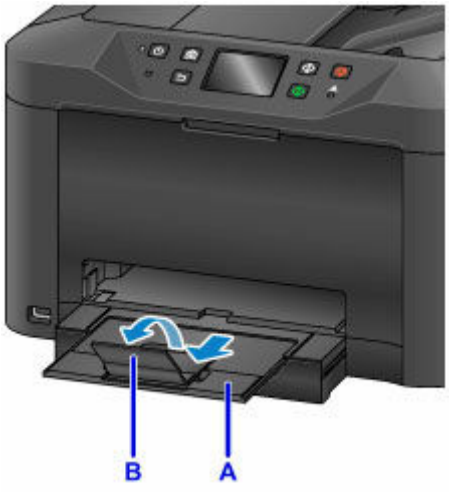
   カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。

5. カセットにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］をタップする



   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

6. 補助トレイ（A）を引き出し、排紙サポート（B）を開く



7. アプリケーションソフトでメニューから印刷を選ぶ

一般的に、［ファイル］メニューから［プリント...］を選ぶと、プリントダイアログを開くことができます。

参考

- 使用しているアプリケーションソフトの詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

8. ［プリンタ］で本製品を選ぶ

設定画面が詳細表示でない場合は、［詳細を表示］をクリックして切り替えます。

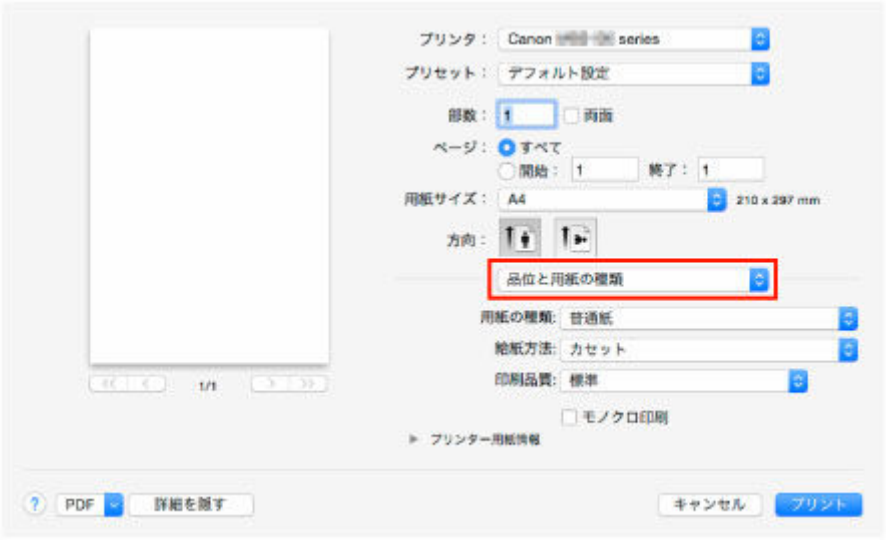


9. 用紙サイズを選ぶ

［用紙サイズ］で使用する用紙サイズを選びます。



10. ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選ぶ



11. 用紙の種類を選ぶ

［用紙の種類］で、本製品にセットしている用紙の種類と同じものを選びます。

12. 印刷の設定が終わったら、［プリント］をクリックし、印刷を実行する

参考

- プリンタードライバーの設定画面では、印刷に関するさまざまな設定を行えます。

  ➡ お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Mac OS プリンタードライバー）

文書をコピーする

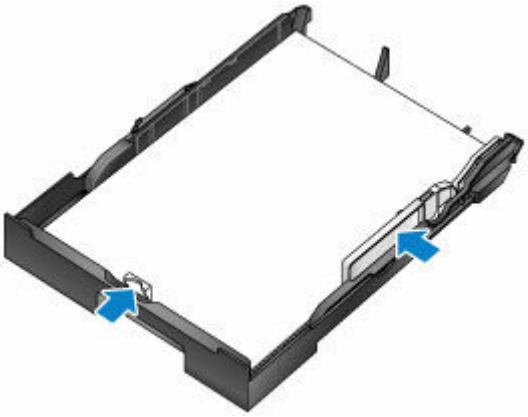
原稿をセットして、普通紙にコピーする方法を説明します。

1. カセットを引き出す



2. **印刷したい面を下に**して、用紙をセットする

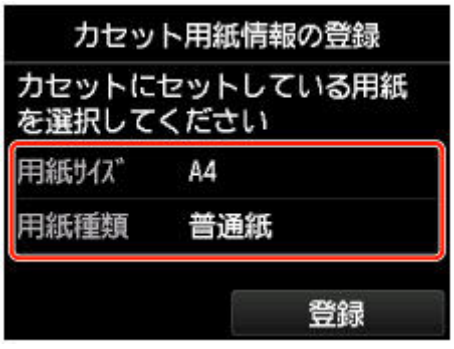
3. 用紙ガイドを用紙の長さと幅に合わせる



4. カセットを本体に差し込む

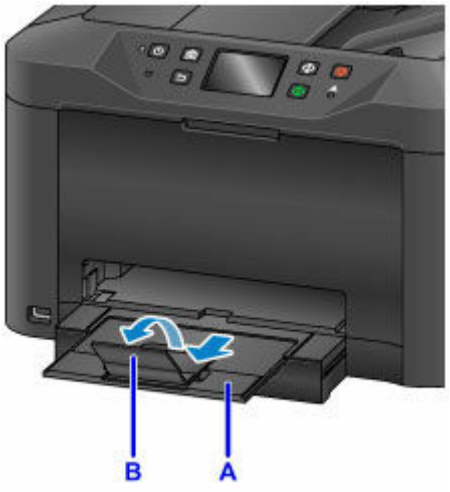
   カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。

5. カセットにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］をタップする



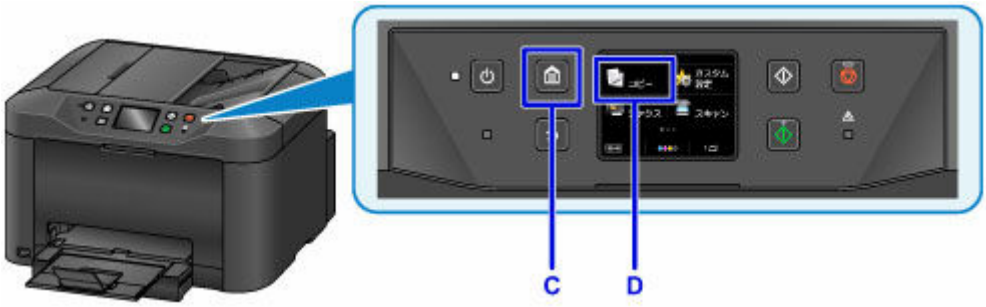
   画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

6. 補助トレイ（A）を引き出し、排紙サポート（B）を開く



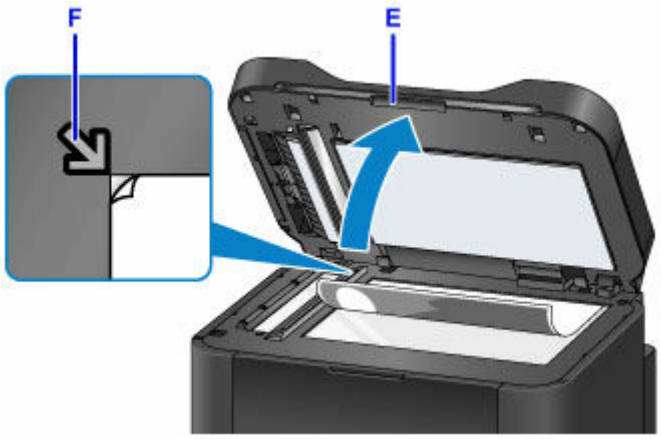
7. ホームボタン（C）を押す

8.  ［コピー］（D）をタップする



9. 原稿台カバー（E）を開く

10. **コピーしたい面を下に**して、原稿を原稿位置合わせマーク（F）に合わせる



参考

- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットすると、原稿を連続でコピーできます。



11. 原稿台カバーを閉じる

12. 用紙の設定を確認して、モノクロボタンまたはカラーボタン（G）を押す



重要

- コピーが終わるまで、原稿台カバーを開かないでください。

参考

- このほか、本製品にはさまざまなコピー機能が用意されています。

  ➡ コピー

ファクスを送信する

複数枚の原稿を白黒でファクス送信する方法を説明します。



1. 原稿トレイ（A）を開く



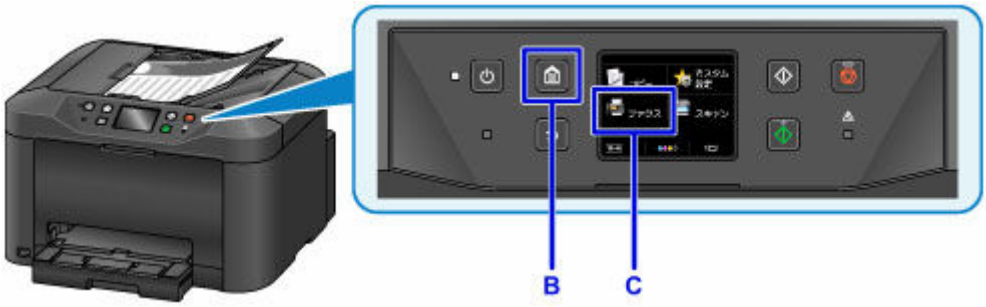
2. **読み取る面を上に**して原稿を差し込む

3. 原稿ガイドを合わせる



4. ホームボタン（B）を押す

5.  ［ファクス］（C）をタップする



6. [番号を入力]（D）をタップする



7. ファクス番号（E）をタップして［OK］（F）をタップする



8. モノクロボタン（G）を押す



参考

- このほか、本製品にはさまざまなファクスの機能が用意されています。

  ➡ ファクス

本製品で利用できる便利な機能

- 「ダイレクト接続」で無線接続する
- バリエーション豊かなコンテンツ素材をダウンロード
- ウェブアプリ「Easy-PhotoPrint+（イージー・フォト・プリント・プラス）」を使って作品印刷
- 「Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）」を使ってプリンターを便利に管理
- 本製品で利用できる接続方法について
- 原稿台よりも大きな原稿をスキャン
- 複数の原稿を一度にスキャン
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷
- Windows RT での印刷
- オンラインストレージ連携機能

AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

- Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう
- iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

AirPrint を使用して、iPhone、iPad、iPod touch などの iOS 機器や Mac から印刷できます。

AirPrint では、プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを iOS 機器または Mac から印刷することができます。

参考

- iOS 機器から AirPrint を使用して印刷する場合は、以下を参照してください。
  - iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう



お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- **AirPrint の動作環境**
  - 最新バージョンの iOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
  - 最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- **使用条件**

  iOS 機器または Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

ご使用の Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加する

1. ご使用の Mac で［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］（［プリントとスキャン］）を選ぶ
2. ［+］をクリックして、プリンターリストを表示する
3. ［Bonjour マルチファンクション］と表示されている本製品の機種名を選ぶ
4. ［ドライバ］から［Secure AirPrint］または［AirPrint］を選ぶ
5. ［追加］を選ぶ

Mac から AirPrint で印刷する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

   参考

   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. 用紙をセットする

3. お使いのアプリケーションソフトで印刷を開始する

   プリントダイアログが表示されます。

4. プリントダイアログの［プリンタ］で AirPrint プリンターとして追加した本製品名を選ぶ

5. 必要に応じて用紙サイズや用紙種類、その他の設定を行う

6. ［プリント］を選ぶ

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

参考

- 無線 LAN 接続しているときは：
  - 本製品の電源が入ってから無線 LAN 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。本製品がネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を試してください。
  - 本製品の Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。本製品の LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- そのほか、AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、以下を参照してください。

  AirPrint で印刷できない

印刷状況を確認する

印刷の進行状況を確認する

印刷ジョブを削除する

AirPrint で印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 本製品からの場合：本製品のストップボタンを使用して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：不要になった印刷ジョブを削除する

iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

AirPrint を使用して、iPhone、iPad、iPod touch などの iOS 機器や Mac から印刷できます。

AirPrint では、プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを iOS 機器または Mac から印刷することができます。

参考

- Mac から AirPrint を使用して印刷する場合は、以下を参照してください。
  - Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう



お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- **AirPrint の動作環境**
  - 最新バージョンの iOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
  - 最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- **使用条件**

  iOS 機器または Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

iOS 機器から AirPrint で印刷する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

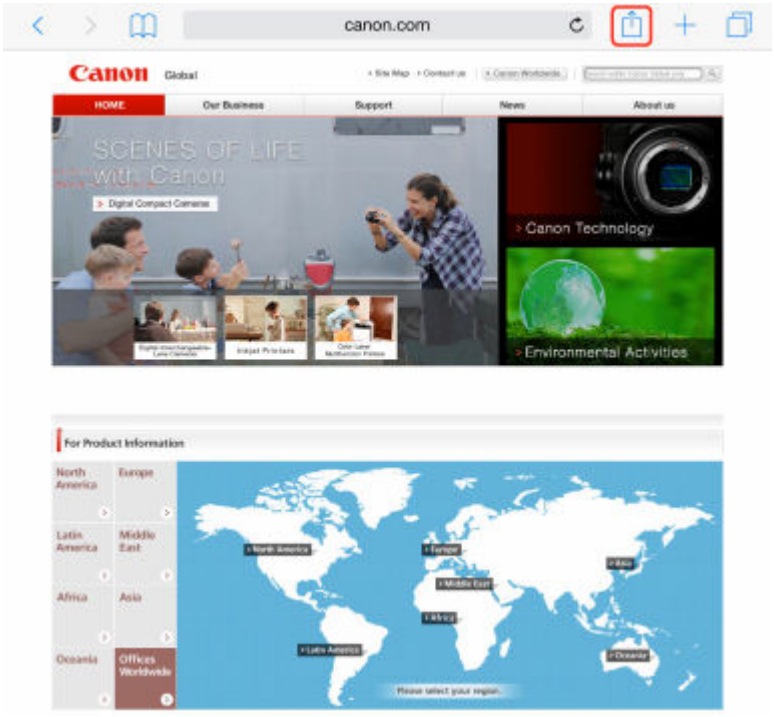
   参考

   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. 用紙をセットする

3. お使いの iOS 機器のアプリで、操作アイコンをタップしてメニューオプションを表示する

   下の図は、iPad のウェブブラウザーから印刷するときの画面の例です。機器やアプリによって印刷するときの画面は異なります。



4. メニューオプションから［プリント］をタップする



5. ［プリンタオプション］の［プリンタ］から、ご使用のプリンター名を選ぶ

重要

- 一部のアプリでは、AirPrint に対応していないため、［プリンタオプション］が表示されない場合があります。プリンターオプションが利用できない場合は、そのアプリから印刷することはできません。

参考

- プリンターオプションは、使用するアプリによって異なります。

6. PDF など複数のページがあるファイルを印刷する場合、［範囲］をタップして［すべてのページ］をタップするか、印刷したいページの範囲を選ぶ

7. ［1 部］の隣の、［+］または［-］を必要な印刷部数に応じてタップする

8. ［両面印刷］の隣の［オン］をタップして両面印刷を有効にするか、［オフ］をタップして両面印刷を無効にする

9. ［プリント］をタップする

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

参考

- 無線 LAN 接続しているときは：
  - 本製品の電源が入ってから無線 LAN 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。本製品がネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を試してください。
  - 本製品の Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。本製品の LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- そのほか、AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、以下を参照してください。

  ➡ AirPrint で印刷できない

用紙のサイズ

AirPrint では iOS 機器で使用しているアプリ、AirPrint を使用する地域に応じて用紙サイズは自動的に選ばれます。

主に写真を扱うアプリでは、日本では L 判がデフォルト用紙サイズとなり、それ以外の国や地域では 4"x6"または KG がデフォルト用紙サイズとなります。

主に文書を扱うアプリでは、米国地域などではレターサイズがデフォルト用紙サイズとなり、日本や欧州などでは A4 がデフォルト用紙サイズとなります。

重要

- 機器や OS によっては、デフォルトの用紙サイズが上記と異なる場合があります。

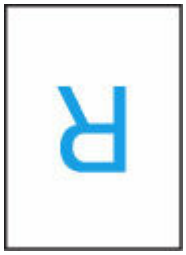
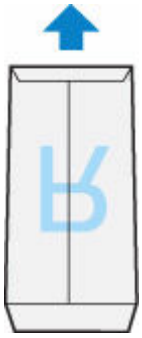
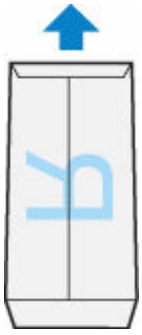
  試し印刷することをお勧めします。
- お使いのアプリによって、使用できる用紙サイズが異なります。

封筒印刷について

iOS 機器から AirPrint で封筒に印刷するときは、以下を参考にしてください。

- 長形封筒に印刷する場合

	印刷結果イメージ	印刷データの向き	封筒セットの向き

縦書き		 印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します。	 ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。
横書き		 印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します。	 ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。

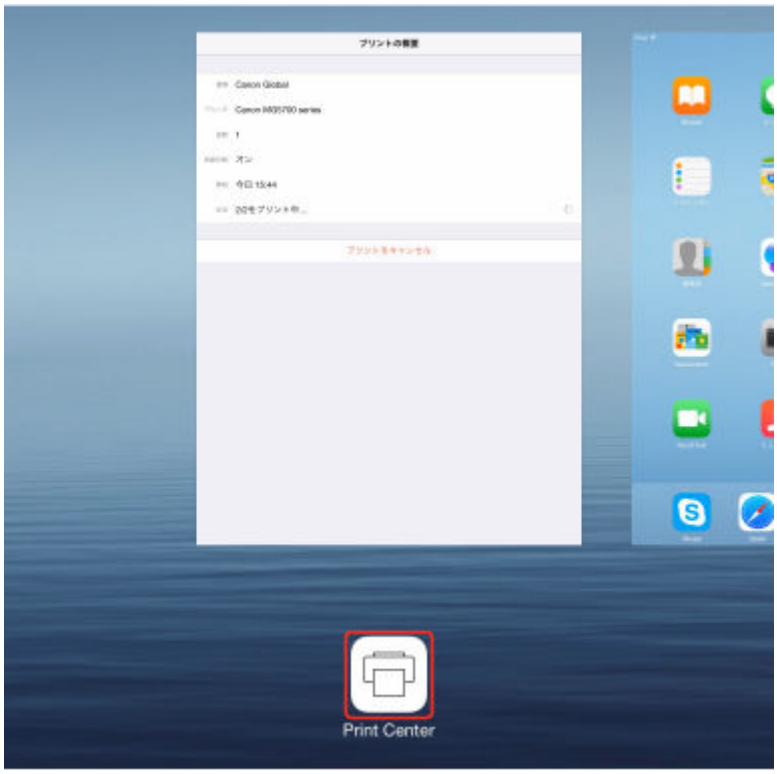
- 洋形封筒に印刷する場合

	印刷結果イメージ	印刷データの向き	封筒セットの向き
縦書き			 あて名面を下にし、ふたを折りたたんで、ふたが左側になるように縦置きでセットします。
横書き			 あて名面を下にし、ふたを折りたたんで、ふたが右側になるように縦置きでセットします。

印刷状況を確認する

印刷中、最近使用したアプリの一覧に［Print Center］のアイコンが表示され、印刷の進行状況を確認することができます。

iOS 機器の［ホーム］ボタンを 2 回押してマルチタスキングモードにし、右にスワイプすると［Print Center］アイコンとプリントの概要が表示されます。



印刷ジョブを削除する

AirPrint で印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 本製品からの場合：本製品のストップボタンを使用して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：iOS 機器の［ホーム］ボタンを 2 回押してマルチタスキングモードにし、右にスワイプします。［Print Center］アイコンをタップし、プリントの概要を表示させます。キャンセルする印刷ジョブをタップし、［プリントをキャンセル］をタップします。

「ダイレクト接続」で無線接続する

本製品は、無線 LAN ルーターを介さずに、パソコンやスマートフォンから無線で本製品に接続できる「ダイレクト接続」に対応しています。

「ダイレクト接続」で無線で印刷やスキャンができます。

➡ 本製品をダイレクト接続で使用する



バリエーション豊かなコンテンツ素材をダウンロード

クリエイティブパーク

すべての印刷素材が無料でダウンロードできる「印刷素材集サイト」です。
季節に合わせたカードや紙のパーツを組み立てて作るペーパークラフトなど、さまざまなコンテンツが用意されています。

クリエイティブパーク プレミアム

プレミアムコンテンツ対応の機種を使用しているお客様が、専用の印刷用素材をダウンロードできるサービスです。
Easy-PhotoPrint+から、かんたんにプレミアムコンテンツをダウンロードできます。ダウンロードしたプレミアムコンテンツは、そのまま Easy-PhotoPrint+で印刷できます。
プレミアムコンテンツをダウンロードするには、対応プリンターの全色にキヤノン純正インクタンク／インクカートリッジが取り付けられている必要があります。



参考

- 本ページに掲載しているプレミアムコンテンツのデザインは、予告なく変更される可能性があります。

ウェブアプリ「Easy-PhotoPrint+（イージー・フォト・プリント・プラス）」を使って作品印刷

パソコンやタブレット端末から、ウェブ上の Easy-PhotoPrint+にアクセスするだけで、いつでもどこでもオリジナルのカレンダーやコラージュなどの作品を手軽に作成して印刷できます。

また、Easy-PhotoPrint+を使えば、めんどうなインストール作業を行わなくても、最新の環境で作品を作ることができます。

さらに、Facebook などのソーシャルネットワークやオンラインストレージ、ウェブアルバムなどとも連携しているので、さまざまな写真を作品にすることができます。

詳しくは、「Easy-PhotoPrint+ガイド」を参照してください。



「Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）」を使ってプリンターを便利に管理

Quick Utility Toolbox は、ご使用になりたい機能をワンタッチで起動できるショートカットメニューです。Quick Utility Toolbox に対応したユーティリティーをインストールすると、このメニューに登録されます。登録されたユーティリティーをすばやく起動して、プリンターの設定や管理など、プリンターを便利に使うことができます。

詳しくは、以下を参照してください。

- Quick Utility Toolbox ガイド（Windows）
- Quick Utility Toolbox ガイド（Mac OS）



本製品で利用できる接続方法について

本製品では、以下の接続方法をご利用いただけます。

《無線 LAN 接続》

- **無線 LAN ルーターを使用**



- **無線 LAN ルーターを使用しない**



《有線 LAN 接続》



《USB 接続》



《無線 LAN 接続》

プリンターとご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）を接続する方法は、2 種類あります。無線 LAN ルーターを使用して接続する方法と、無線 LAN ルーターを使用しないで接続する方法です。

2 種類の接続方法を、同時に使用することはできません。

無線 LAN ルーターをお持ちの場合は、無線 LAN ルーターを使用して接続する方法をお勧めします。

すでに各種機器がプリンターに接続された状態で、新たに別の各種機器を接続する場合は、接続していた各種機器と同じ接続方法で接続してください。

異なる接続方法で接続すると、使用していた各種機器の接続が切断されます。

- **無線 LAN ルーターを使用して接続**



- 無線 LAN ルーターを使用して、プリンターと各種機器を接続します。
- 無線 LAN ルーターの種類によって接続方法が異なります。
- プリンターで、SSID やセキュリティ方式などのネットワーク設定を変更できます。
- 各種機器と無線 LAN ルーターの接続が完了していて、各種機器の画面に（Wi-Fi のアイコン）が表示されているときは、無線 LAN ルーターを使用してプリンターと接続できます。

- **無線 LAN ルーターを使用しないで接続**



- 無線 LAN ルーターを使用しないで、プリンターと各種機器を接続します。プリンターのダイレクト接続機能を使用して、各種機器とプリンターを直接接続します。
- プリンターをダイレクト接続で使用しているときは、プリンターからインターネットに接続できなくなります。その間、プリンターの各種ウェブサービスを使用することはできません。
- 無線 LAN ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、ダイレクト接続のプリンターに接続すると、各種機器と無線 LAN ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- ダイレクト接続は、複数の各種機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとすると、エラーが表示されます。エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない各種機器の接続を解除して、再度設定してください。
- SSID やセキュリティ方式などのネットワーク設定は、自動的に設定されます。

《有線 LAN 接続》

プリンター、ハブまたはルーターを LAN ケーブルで接続します。LAN ケーブルを用意してください。

《USB 接続》

プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続します。USB ケーブルを用意してください。

制限事項について

（新しいウィンドウで開きます）

原稿台よりも大きな原稿をスキャン

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）の貼り合わせ機能を使用すると、原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1 つの画像に貼り合わせることができます。原稿台の約 2 倍のサイズの原稿まで対応できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）（Windows）
- 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）（Mac OS）



複数の原稿を一度にスキャン

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）を使用すると、原稿台にセットした 2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を一度にまとめてスキャンし、画像を 1 枚ずつ保存できます。

詳しくは、以下を参照してください。

- 複数の原稿を一度にスキャンする（Windows）
- 複数の原稿を一度にスキャンする（Mac OS）



PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

➡ プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
➡ スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用の前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

Web サービスを使って印刷するときのご注意

Web サービスを利用するときは

- キヤノンは、Web サービスの継続性、利用の安定性、サイトへのアクセスの可能性、ダウンロードの可否等について、一切保証いたしません。
- キヤノンは、Web サービスの内容の変更／削除、または Web サービスの中断、中止等を、原則、お客様への予告なしに行います。また、これにより、お客様に生じたいかなる損害についても責任を負いません。
- キヤノンは、お客様が Web サービスに関連して被ったいかなる損害についても責任を負いません。
- お客様が外部連携サイトをご利用になる前には、パソコン等を通じてそのサイトへのユーザー登録が必要です。
  外部連携サイトの利用規約その他の条件に従い、お客様ご自身の責任においてご利用ください。
- お客様がお住まいの国と地域によっては、Web サービスの全部または一部がご利用になれない場合があります。
- お客様がご利用のネットワーク環境によっては、Web サービスがご利用できない場合があります。ご利用になれる場合でも写真等の表示や印刷に時間がかかる、または途中で途切れる場合があります。
- Web サービスをご利用の際には、ご使用の製品の名称・地域情報・言語の設定情報、Web サービスでご利用になったアプリケーション（例：写真共有サイト）等が当社のサーバーに送信・保存されます。これらの情報により個人を特定することはできません。
- カラーの液晶モニター対応のプリンターの譲渡または廃棄を行う場合は、[本体設定] → [設定リセット] → [すべてリセット] を選んで、ログイン名およびパスワードを削除してください。
- お問い合わせは、お住まいの国・地域のキヤノン各販売会社にご連絡ください。

中国本土にお住まいの方へ

- 本製品に含まれる PIXUS/MAXIFY クラウドリンク、Easy-PhotoPrint+、Canon PRINT Inkjet/SELPHY の一部機能は日本のキヤノン株式会社が提供するものです。
  サーバーの設置地が海外にあることにより、暫く提供されないこともありえます。

著作権・肖像権について

キヤノンが提供するサービスを使用して印刷するとき：

1. 印刷サービスで紹介している個々の素材（写真・イラスト・ロゴ・文書などをいい、以下「本素材」といいます）の著作権は、それぞれの著作権者に帰属します。また、印刷サービス上に掲載または表示されている人物またはキャラクターについては、肖像権が発生する場合があります。

   「2.」において許諾されている場合を除き、著作権者・肖像権者等の権利者の事前の許諾を得ること無く、本素材の全部または一部について、いかなる形式また手段によっても複製、改変、転用等を行うことを禁じます。

2. 本素材は、個人の非商用利用の範囲でお使いいただく場合に限り、ご自由にご利用いただけます。

プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する前に
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクにプリンター情報を登録する
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- ［クラウド］のトラブルシューティング

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する前に

はじめに、以下の内容をご確認ください。

- **注意事項**

  Web サービスを使って印刷するときは、あらかじめこちらの注意事項をご確認のうえ、ご利用ください。

- **プリンター仕様**

  - カラーの液晶モニターに対応している必要があります。
    ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、「プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンク 対応機種一覧」を参照してください。
  - スキャン機能は、ご使用のプリンターによっては対応していない場合があります。
  - プリンターが Canon Inkjet Cloud Printing Center に対応している必要があります。
    ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 対応機種一覧」を参照してください。

- **ネットワーク環境**

  プリンターが LAN 接続されていて、インターネットに接続している必要があります。
  プリンターが LAN 接続されていない場合は、こちらを参照してセットアップしてください。
  LAN 環境とインターネットの設定については、ネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

  重要

  - インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

➡ PIXUS/MAXIFY クラウドリンクにプリンター情報を登録する

Copyright c 1991-2015 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in http://www.unicode.org/copyright.html.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS
Written by: Philip Hazel
Email local part: ph10
Email domain: cam.ac.uk
University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England.
Copyright (c) 1997-2008 University of Cambridge All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクにプリンター情報を登録する

以下の手順で、プリンター情報をクラウドサービスサーバーへ登録してください。

1. プリンターがインターネットに接続されていることを確認する
2. プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶ

参考

- 初回登録以降、プリンターを複数人で使用する場合は、［ユーザー切り替え］画面でログインしたいユーザー名を選び、暗証コードを入力して登録を進めてください。
  暗証コードに誤りがある場合は、スマートフォン、タブレットまたはパソコンで Canon Inkjet Cloud Printing Center のマイアカウント画面から設定を変更してください。

3. 登録準備の完了画面が表示されたら［OK］を選ぶ

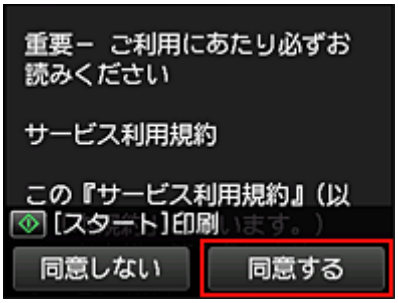


4. 確認画面が表示されたら［次へ］を選ぶ

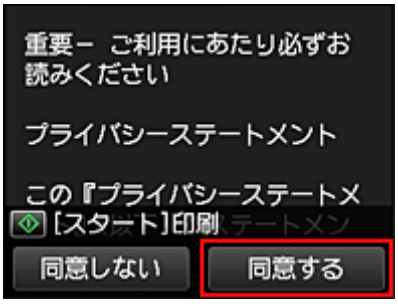


5. ［使用許諾］および［個人情報の取り扱いについて］画面で、内容を確認し、同意される場合は［同意する］を選ぶ

＜使用許諾＞



<個人情報の取り扱いについて>

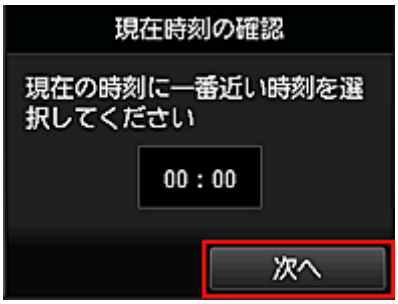


参考

- ［同意しない］を選ぶと、［マイアカウントの登録］をキャンセルするか確認する画面が表示されます。［はい］を選ぶと、［マイアカウントの登録］をキャンセルしてホーム画面に戻ります。
  一度［同意しない］を選んでも、再度登録画面から［同意する］を選ぶとご利用いただくことが可能です。
- スタートボタンで表示内容を印刷することができます。

6. ［現在時刻の確認］画面で、現在時刻に一番近い時刻を選んで、［次へ］を選ぶ

   時刻は 10 分単位で設定することができます。



7. タイムゾーン一覧からお住まいの地域に一番近い地域を選ぶ

   選んだ地域によっては、サマータイム適用の有無を設定する画面が表示されます。



   プリンター情報の登録が完了し、アプリ一覧が表示されます。
   表示されるアプリ一覧の画面説明はこちらを参照してください。

登録が完了したら、連携しているクラウドサービス上のアプリにアップロードしている写真や文書の印刷、アプリの追加／削除／並べ替えを行うことができます。

➡ Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する

アプリの管理

アプリの追加、削除、並べ替えの方法について説明します。

重要

- ［管理方法の選択］により、このサービスを利用できるユーザーを変更することができます。
  詳しくは、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明」を参照してください。

アプリを追加する

プリンターに、お好きなアプリを追加することができます。
以下の手順で、アプリの追加を行ってください。

1. プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶ

2. クラウドのメイン画面から［追加/削除］を選ぶ



3. ［アプリ登録］を選ぶ



4. 一覧からアプリのカテゴリーを選ぶ



5. 表示されるアプリ一覧から、登録したいアプリを選ぶ



参考

- 表示アイコンの説明
  
  ：キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。
  G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

6. ［登録］を選ぶ



登録が完了し、アプリ一覧にアプリが追加されます。

アプリ登録を続ける場合は、手順 5 から繰り返し操作を行ってください。
アプリ登録を終了する場合は、［戻る］を選びクラウドのメイン画面に戻ります。

重要

- 一部のアプリでは、ご使用の前に連携しているアプリのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。

アプリを削除する

アプリ一覧から、不要になったアプリを削除することができます。
以下の手順で、アプリの削除を行ってください。

1. プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶ

2. クラウドのメイン画面から［追加/削除］を選ぶ



3. ［登録アプリの削除］を選ぶ



4. 一覧から削除したいアプリを選ぶ



参考

- 表示アイコンの説明
  : 公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。
  : キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。
  G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

5. ［削除］を選ぶ



削除が完了し、メイン画面のアプリ一覧から、アプリが削除されます。

アプリ削除を続ける場合は、手順 4 から繰り返し操作を行ってください。
アプリ削除を終了する場合は、［戻る］を選びクラウドのメイン画面に戻ります。

参考

- 削除したアプリは［アプリ登録］から再度登録することができます。

アプリを並べ替える

アプリ一覧に表示されるアプリを並べ替えることができます。
以下の手順で、アプリの並べ替えを行ってください。

1. プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶ

2. クラウドのメイン画面から［追加/削除］を選ぶ



3. ［並べ替え］を選ぶ



4. 一覧から並べ替えを行うアプリを選ぶ



参考

- 表示アイコンの説明
   ：公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。
   ：キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。
  G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

5. ▲ ▼でアプリを移動する



6.［決定］を選ぶ



並べ替えが完了します。
並べ替えを続ける場合は、手順４から繰り返し操作を行ってください。
並べ替えを終了する場合は、［戻る］を選びクラウドのメイン画面に戻ります。

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

ここでは、「CANON iMAGE GATEWAY」を例に、写真印刷の手順を紹介します。

重要

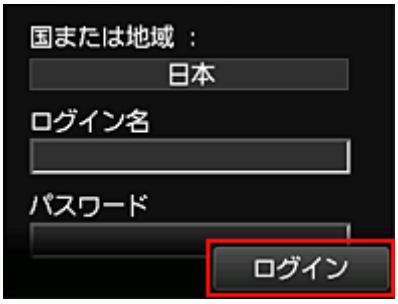
- 使用できる機能はアプリによって異なります。
- 印刷の手順はアプリによって異なります。
- 事前にアカウントを取得し、写真データなどを登録する必要があります。
- 印刷可能なファイル形式は、jpg / jpeg / pdf / docx / doc / xlsx / xls / pptx / ppt / rtf です。
  アプリによって、印刷可能なファイル形式は異なります。
- 印刷前に、プリンターの電源とネットワーク接続を確認してから、印刷を行ってください。

参考

- CANON iMAGE GATEWAY で印刷可能なファイル形式は、jpg / jpeg です。

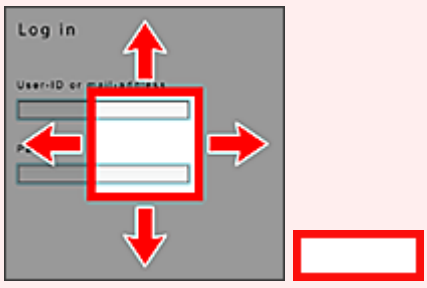
1. メイン画面で使用するアプリを選ぶ

2. 表示された認証画面にしたがって入力し、［ログイン］を選ぶ



重要

- 表示エリアに各アプリの全画面を表示できない場合があります。上下左右にスクロールして、表示領域を変えてください。



：表示可能領域

- ログイン画面はアプリによって異なります。
- ログイン後、外部サービスからアプリの使用に関する同意を確認される場合があります。アプリを利用する場合には許可してください。

3. 表示されたアルバム一覧から、お好きなアルバムを選ぶ



4. 表示された画像一覧から、印刷したい画像を選び、［次へ］を選ぶ



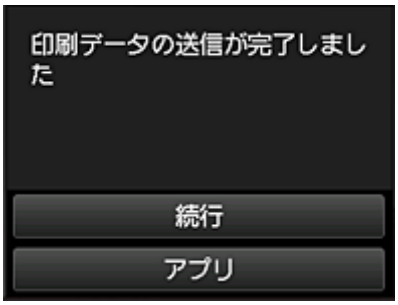
5. 必要な印刷設定を行い、カラーボタンを選ぶ

印刷ジョブの発行が完了したことを示すメッセージが表示され、印刷が開始されます



印刷を続ける場合は［続行］を選び、手順 3 からの操作を行ってください。

印刷を終了する場合は［アプリ］を選び、アプリ一覧画面へ戻ります。



重要

- 印刷ジョブの発行完了から 24 時間以内に印刷されない印刷ジョブは、期限切れとなり印刷できません。
- 印刷回数が制限されているプレミアムアプリでは、期限切れなどにより印刷できなかった場合でも、印刷した回数としてカウントされます。

参考

- 本サービスの使用履歴を残したい場合は、操作パネルのホーム画面から、  ［セットアップ］→  ［Web サービス設定］→［Web サービス接続設定］→［IJ Cloud Printing Center 設定］→［本サービスの履歴設定］→［保存する］を選んでください。

［クラウド］のトラブルシューティング

［クラウド］画面説明

［クラウド］のメイン画面およびメイン画面から利用できるサービスについて説明します。

重要

- ［管理方法の選択］により、このサービスを利用できるユーザーを変更することができます。
  詳しくは、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明」を参照してください。

プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶと、クラウドのメイン画面が表示されます。

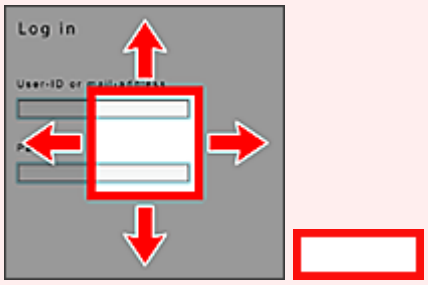
各エリアを操作して、アプリの登録、起動、管理などさまざまな機能がご利用になれます。
また、アプリを起動することにより、写真や文書の印刷を行うことができます。



(1)アプリー覧
(2)［追加/削除］ボタン
(3)［管理］ボタン

重要

- 使用するアプリによっては、アカウントが必要になることがあります。その場合は、アプリごとにアカウントを取得してください。
- アプリを選んで表示された画面では、表示エリアに各アプリの全画面を表示できない場合があります。
  上下左右にスクロールして、表示領域を変えてください。



：表示可能領域

- アプリが公開期限外、対象機種外、対象言語外、または対象地域外の場合は、アプリは起動できません。

(1)アプリー覧

クラウドのメイン画面を表示した直後は、登録済みのアプリが一覧で表示されます。
一覧から利用したいアプリを選ぶと、アプリが起動します。

参考

- 表示アイコンの説明
   ：公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。

：キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。
G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

(2)［追加/削除］ボタン

アプリの登録、削除、並べ替えができます。



［アプリ登録］

お好きなアプリを追加登録できます。

➡ アプリ追加方法の詳細はこちら

［登録アプリの削除］

登録済みアプリの削除を行います。

➡ アプリ削除方法の詳細はこちら

［並べ替え］

アプリ一覧の並べ替えを行います。

➡ 並べ替え方法の詳細はこちら

(3)［管理］ボタン

ジョブの管理、アプリのログアウト、使用許諾や個人情報の取り扱いの表示、タイムゾーンの設定が行えます。



［ジョブ管理］

［状況一覧］画面から、ジョブの状況を確認することができます。

[設定]

タイムゾーンを設定することができます。
リストからお住まいの地域を選んでください。選んだ地域によっては、サマータイム適用の有無が設定できます。

重要

- お住まいの地域がリストにない場合は、お住まいの地域に最も近い地域を選んでください。

[ご利用にあたって]

使用許諾、個人情報の取り扱いについて表示します。
スタートボタンで表示内容の印刷を開始します。

[全アプリをログアウト]

ログインしているすべてのアプリから、一括でログアウトすることができます。

参考

- 一部のアプリでは、アプリ終了後も一定期間ログイン状態が保持されたままになります。そのため、別のアカウントで再度ログインする場合は、[全アプリをログアウト]を選んでログアウトしてください。
- 一度ログアウトすると、再ログインが必要です。アプリによっては、設定情報が失われるものもあります。

［クラウド］のトラブルシューティング

印刷ができない場合

印刷ができない場合は、以下を確認してください。

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。
- プリンターの液晶モニターに何もエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。
- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、プリンターのホーム画面から  ［セットアップ］→［Web サービス問い合わせ］を行ってください。印刷が開始されない場合は、複数回問い合わせを行ってください。

トラブルが解決しない場合は、パソコンからプリンタードライバーを使用して印刷を行い、プリンターで正常に印刷できるか確認してください。
印刷できない場合は、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種のトラブルシューティングを参照してください。

参考

- 無線 LAN 接続の場合、プリンターの電源が入ってから通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。お使いのプリンターが無線ネットワークに接続されていることを確認し、しばらく待ってから印刷を行ってください。
- プリンターの電源が入っていない、ネットワーク接続がされていないなどの理由で、印刷を実行してから 24 時間以内に印刷処理がされない場合は、自動的に印刷ジョブがキャンセルされます。プリンターの電源とネットワーク接続を確認して、再度印刷を行ってください。

スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

- Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する前に
- Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する
- Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する
- プリンターを追加する
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する
- Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する前に

Canon Inkjet Cloud Printing Center は、プリンターのクラウド機能と連動して、スマートフォン、タブレットまたはパソコンからアプリを登録・管理したり、プリンターの印刷状況やエラー、インク状況などを確認したりすることができるサービスです。スマートフォンやタブレットからアプリの写真や文書を印刷することもできます。

はじめに、以下の内容をご確認ください。

- **注意事項**

  Web サービスを使って印刷するときは、あらかじめこちらの注意事項をご確認のうえ、ご利用ください。

- **プリンター仕様**

  プリンターが Canon Inkjet Cloud Printing Center に対応している必要があります。
  この機能は機種によっては対応していません。ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 対応機種一覧」を参照してください。

- **ネットワーク環境**

  プリンターが LAN 接続されていて、インターネットに接続している必要があります。

  重要

  - インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

- **動作要件**

  スマートフォン、タブレットまたはパソコンについては、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 動作要件」を参照してください。

重要

- 国または地域によっては、このサービスをご利用になれない場合があります。また、サービスをご利用になれる場合でも、地域によってはご利用になれないアプリがあります。

➡ Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する

Canon Inkjet Cloud Printing Center 動作要件

パソコン

CPU	x86 または x64 1.6 GHz 以上
RAM	2 GB 以上
モニタ表示	解像度 1024×768 ピクセル以上 表示色数 24 bit（フルカラー）以上

OS	ブラウザー
Windows Vista SP2	Internet Explorer 9 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 7	Internet Explorer 9、10、11 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 8	Internet Explorer 10、11 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 8.1	Internet Explorer 11 Mozilla Firefox Google Chrome
Windows 10	Internet Explorer 11 Microsoft Edge Mozilla Firefox Google Chrome
Mac OS X v10.6～OS X Yosemite v10.10	Safari 5.1、6、7、8

スマートフォン・タブレット

OS	ブラウザー	対象解像度
iOS 7 以降	OS 標準ブラウザー	320×480 以上
Android 4 以降		480×800 以上

動作要件は、予告なく変更することがあります。お使いのパソコン、スマートフォンまたはタブレットからご利用できなくなる場合があります。

重要

- ブラウザーの JavaScript および cookie を有効にしてください。
- ブラウザーの拡大縮小機能やフォントサイズ変更機能を使用すると、画面表示が崩れることがあります。
- Google Chrome の翻訳機能を使用すると、画面表示が崩れることがあります。
- 海外のプロキシサーバーを使用してのご利用は、サポート対象外となります。
- 企業内ネットワーク環境では 5222 ポートが解放されている必要があります。確認方法については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、以下の手順でマイアカウントを登録する必要があります。

- お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合
- お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合
- お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する（液晶モニターがカラーの機種の場合）

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、以下の手順でマイアカウントを登録する必要があります。

プリンターから登録する

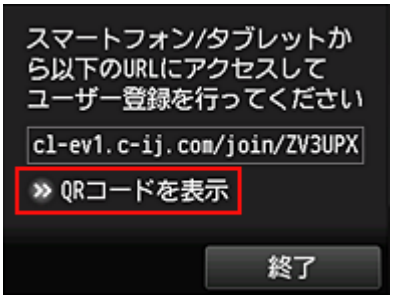
1. プリンターがインターネットに接続されていることを確認する
2. プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶ

   クラウドサービスサーバーにプリンター情報が未登録の場合、登録準備の完了画面が表示されます。
3. クラウドのメイン画面から［スマホから使う］または［スマートフォン/タブレット連携ガイド］を選ぶ



4. 表示された画面にしたがって［次へ］を選ぶ
5. ユーザー登録画面で［QR コードを表示］を選ぶ

   スマートフォン、タブレットまたはパソコンなどのウェブブラウザーから、手動で URL へアクセスすることもできます。



6. 表示された QR コードをスマートフォンまたはタブレットで読み取る

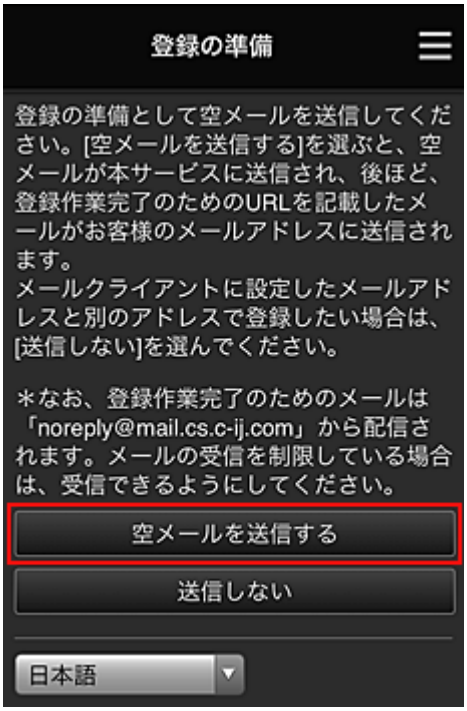


［終了］を選ぶとクラウドのメイン画面に戻ります。

参考

- スマートフォンまたはタブレットで QR コードを読み取るには、専用のアプリが必要です。お手持ちのスマートフォンまたはタブレットに QR コードを読み取るアプリがない場合は、App Store や Google Play からインストールしてください。

7. ［登録の準備］画面で［空メールを送信する］を選ぶ



参考

- ［空メールを送信する］を選ぶと、宛先入力済みのメーラーが自動的に起動します。
  空メールが作成されたら、そのまま送信してください。

別のメールアドレスを登録したい場合は、［送信しない］を選ぶと［メールアドレス］を入力する画面が表示されます。



表示された画面で登録したい［メールアドレス］を入力し［登録続行］を選ぶ。

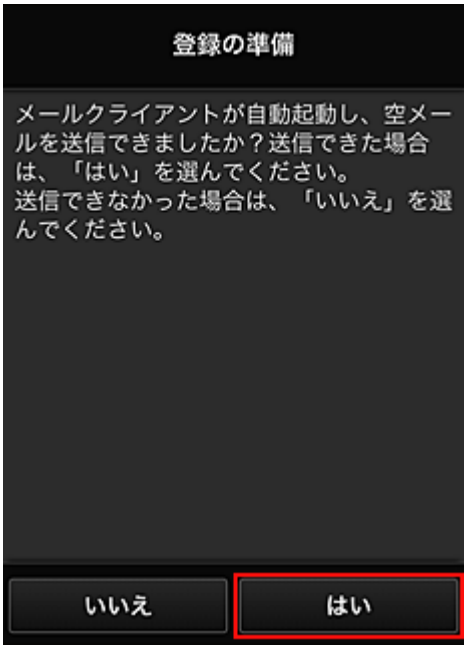
参考

- すでに登録されているメールアドレスを入力した場合は、登録済みメールが送信されます。案内に従い、再度設定してください。

重要

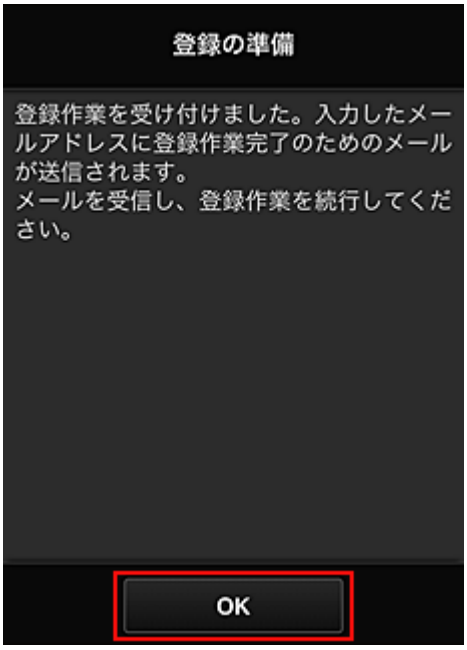
- メールアドレスの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!$'*/^_{}|~.-@」で 255 文字以下。（英字は大文字小文字を区別する）
  - 2 バイト以上の文字は使えません。
    入力されたメールアドレスに使用不可能な文字が使用されていた場合は、エラーとなります。
- 誤って別のメールアドレスを登録した場合は、プリンターのホーム画面から［セットアップ］→［Web サービス設定］→［Web サービス接続設定］→［IJ Cloud Printing Center 設定］→［本サービスから削除］で、登録を解除できます。
- 迷惑メールフィルターなどにより、通知が受信できない場合があります。ドメイン指定受信などを設定されている場合は、「noreply@mail.cs.c-ij.com」からのメールを受信できるよう、設定を変更してください。
  迷惑メールフィルターの設定やメールアドレスの誤入力などによってメールが送信されない場合でも、エラー表示は行いません。

8. 空メールが送信されたことを確認して［はい］を選ぶ



9. 画面の表示にしたがって［OK］を選ぶ

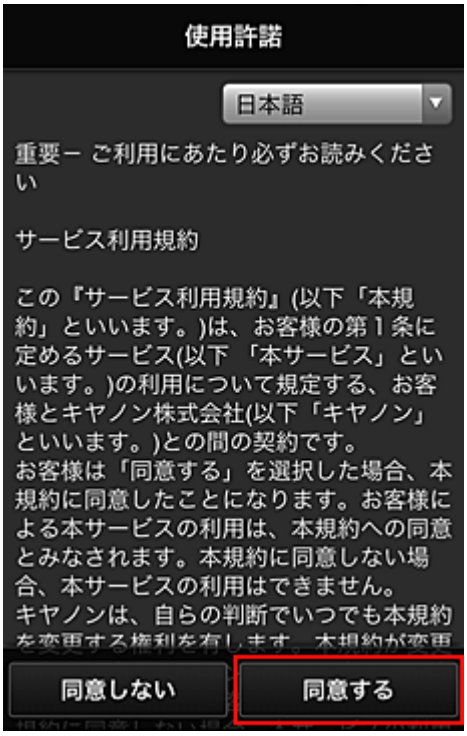
登録したメールアドレスへ登録ページの URL が通知されます。

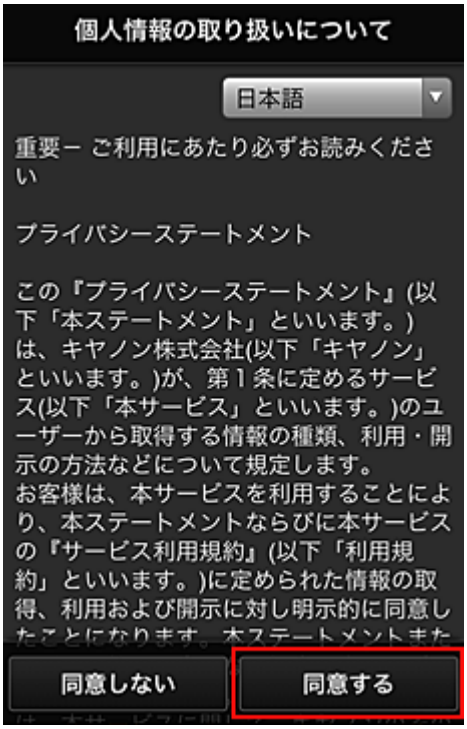


メールにある URL へアクセスして登録を行い、ユーザー登録を完了

1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする

2. Canon Inkjet Cloud Printing Center の［使用許諾］および［個人情報の取り扱いについて］画面で、内容を確認し、同意される場合は［同意する］を選ぶ





3. Canon Inkjet Cloud Printing Center ログイン用のパスワードを登録する

マイアカウント登録画面で登録したいパスワードを［パスワード］と［パスワード(確認用)］に入力し、［次へ］を選んでください。

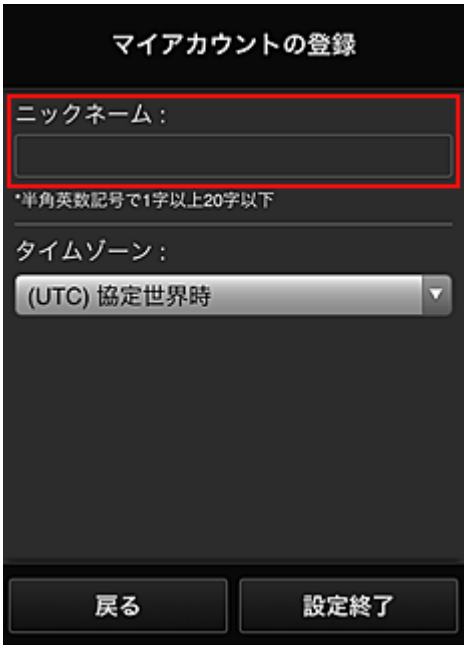


重要

- パスワードの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 8 文字以上、32 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

4. ［ニックネーム］を入力

任意のユーザー名を入力します。



重要

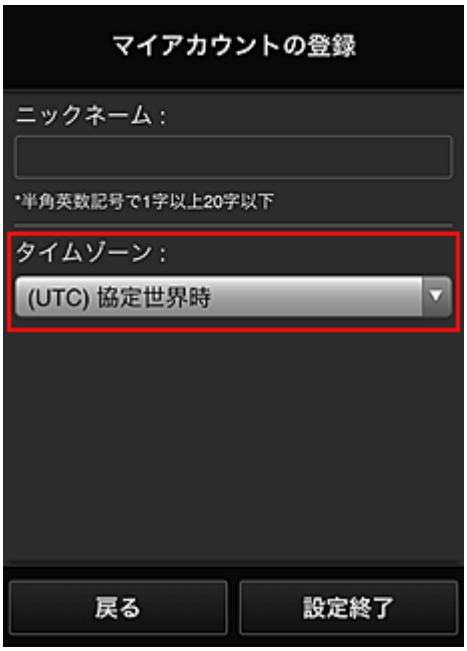
- ユーザー名の入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 1 文字以上、20 文字以下。（英字は大文字小文字を区別する）

5. ［タイムゾーン］を設定し、［設定終了］を選ぶ

リストからお住まいの地域を選んでください。お住まいの地域がない場合は、お住まいの地域に最も近い場所を選んでください。

［サマータイムを適用する］

タイムゾーンで選んだ地域が、サマータイムを実施している場合にのみ表示されます。
サマータイム適用の有無を選んでください。



本登録が完了し、登録完了のメッセージが表示されます。
メッセージ内の［OK］ボタンを選ぶと、ログイン画面が表示されます。



登録した［メールアドレス］と［パスワード］を入力して、Canon Inkjet Cloud Printing Center に［ログイン］してください。

➡ Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する

Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する（液晶モニターがモノクロの機種の場合）

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、以下の手順でマイアカウントを登録する必要があります。

プリンターから登録情報を印刷する

1. プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、［Web サービス設定］→［Web サービス接続設定］→［IJCloudPrintingCtr］→［本サービスへの登録］を選ぶ

2. 登録確認画面で［はい］を選ぶ

3. 印刷設定の表示言語を選ぶ

4. 画面の指示に従い、認証先 URL とプリンター登録 ID の印刷を実行する

   A4 サイズの普通紙をセットし、［OK］を選ぶ。
   認証先 URL とプリンター登録 ID が印刷されます。

重要

- 登録完了までの操作は約 60 分以内に行ってください。

印刷された URL へアクセスし、メールアドレスなど必要な情報を入力する

重要

- 操作中、ブラウザーの戻るボタンは使用しないでください。正常に画面遷移が行えないことがあります。

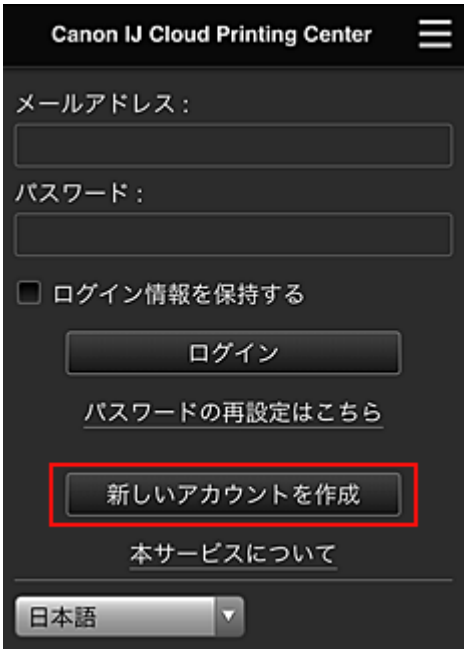
参考

- すでに登録されているメールアドレスを入力した場合は、登録済みメールが送信されます。案内に従い、再度設定してください。

1. スマートフォン、タブレットまたはパソコンなどのウェブブラウザーから、認証先 URL へアクセスする

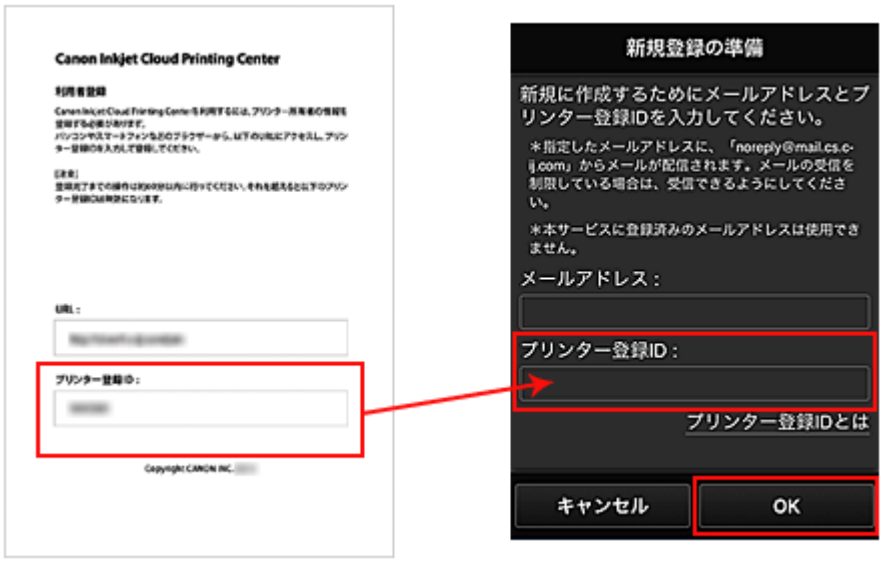


2. プリンター登録の画面が表示されたら、［新しいアカウントを作成］を選ぶ



3. プリンター所有者の［メールアドレス］と［プリンター登録 ID］を入力して［OK］を選ぶ

入力したメールアドレスへ登録ページの URL がメールで通知されます。



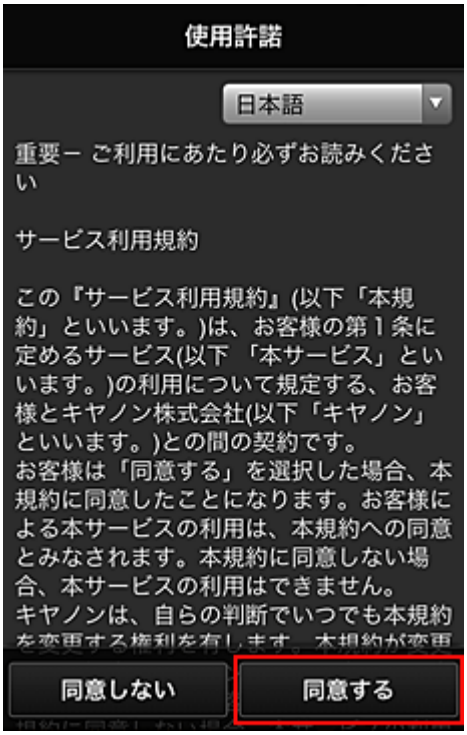
重要

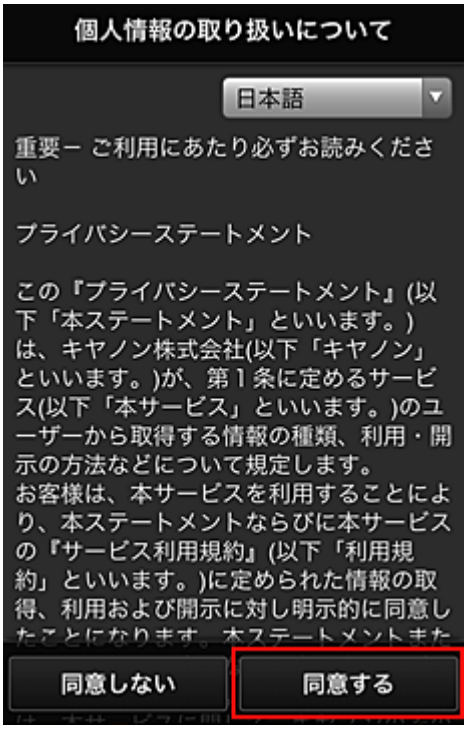
- メールアドレスの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!$'*/^_{}|~.-@」で 255 文字以下。（英字は大文字小文字を区別する）
  - 2 バイト以上の文字は使えません。
    入力されたメールアドレスに使用不可能な文字が使用されていた場合は、エラーとなります。
- 誤って別のメールアドレスを登録した場合は、プリンターの操作パネルでセットアップボタンを選び、［Web サービス設定］→［Web サービス接続設定］→［IJCloudPrintingCtr］→［本サービスから削除］で、登録を解除できます。
- 迷惑メールフィルターなどにより、通知が受信できない場合があります。ドメイン指定受信などを設定されている場合は、「noreply@mail.cs.c-ij.com」からのメールを受信できるよう、設定を変更してください。
  迷惑メールフィルターの設定やメールアドレスの誤入力などによってメールが送信されない場合でも、エラー表示は行いません。

メールにある URL へアクセスして登録を行い、ユーザー登録を完了

1. 入力したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする

2. Canon Inkjet Cloud Printing Center の［使用許諾］および［個人情報の取り扱いについて］画面で、内容を確認し、同意される場合は［同意する］を選ぶ





3. Canon Inkjet Cloud Printing Center ログイン用のパスワードを登録する

   マイアカウント登録画面で登録したいパスワードを［パスワード］と［パスワード(確認用)］に入力し、［次へ］を選んでください。

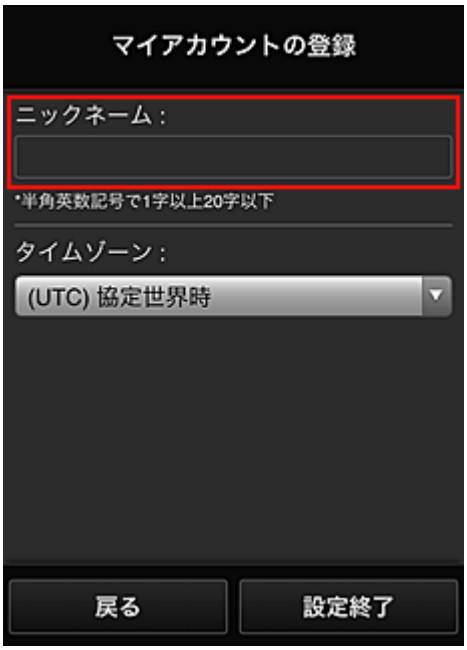


重要

- パスワードの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 8 文字以上、32 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

4. [ニックネーム]を入力

任意のユーザー名を入力します。



重要

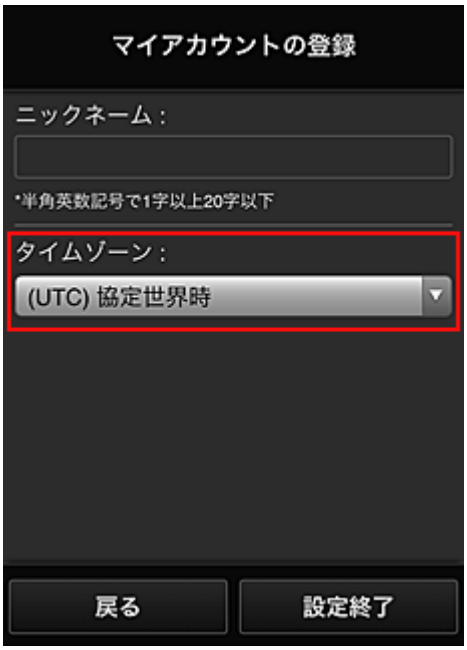
- ユーザー名の入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 1 文字以上、20 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

5. [タイムゾーン]を設定し、[設定終了]を選ぶ

リストからお住まいの地域を選んでください。お住まいの地域がない場合は、お住まいの地域に最も近い場所を選んでください。

［サマータイムを適用する］

タイムゾーンで選んだ地域が、サマータイムを実施している場合にのみ表示されます。
サマータイム適用の有無を選んでください。



本登録が完了し、登録完了のメッセージが表示されます。
メッセージ内の［OK］ボタンを選ぶと、ログイン画面が表示されます。



登録した［メールアドレス］と［パスワード］を入力して、Canon Inkjet Cloud Printing Center に［ログイン］してください。

➡ Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する

プリンター登録 ID の印刷

重要

- この機能は機種によっては対応していません。

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、プリンター登録 ID が必要です。

以下の手順で、プリンターの操作パネルから認証先 URL とプリンター登録 ID を印刷してください。

1. プリンターがインターネットに接続されていることを確認する

   重要

   - この機能を利用するには、プリンターがインターネットに接続されている必要があります。

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

2. ホーム画面から  [セットアップ]（  [各種設定]）→  [Web サービス設定]→[Web サービス接続設定]→[IJ Cloud Printing Center 設定]→[本サービスへの登録]を選ぶ

3. 登録確認画面で[はい]を選ぶ



4. 印刷設定の表示言語を選ぶ



お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合

2. プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス設定]→[Web サービス接続設定]→[IJCloudPrintingCtr]→[本サービスへの登録]を選ぶ

3. 登録確認画面で［はい］を選ぶ



4. 印刷設定の表示言語を選ぶ



5. 画面の指示に従い、認証先 URL とプリンター登録 ID の印刷を実行する

A4 サイズの普通紙をセットして［OK］を選ぶと、認証先 URL とプリンター登録 ID が印刷されます。

重要

- 登録完了までの操作は約 60 分以内に行ってください。

Canon Inkjet Cloud Printing Center にユーザー情報を登録する（液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合）

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用するには、以下の手順でマイアカウントを登録する必要があります。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンから登録する

1. プリンターがインターネットに接続されていることを確認する

   重要

   - この機能を利用するには、プリンターがインターネットに接続されている必要があります。

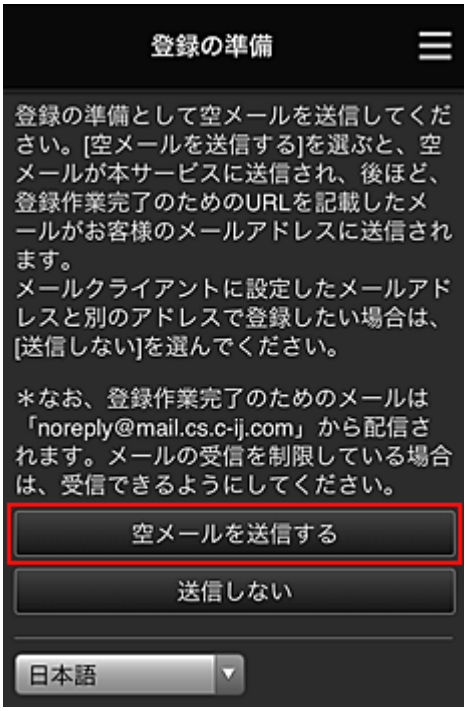
2. プリンター情報を表示する

   詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。

3. ［IJ Cloud Printing Center 設定］→［本サービスへの登録］を選ぶ

4. 画面の指示に従い、認証を行う

5. ［登録の準備］画面が表示されたら、［空メールを送信する］を選ぶ



   参考

   - ［空メールを送信する］を選ぶと、宛先入力済みのメーラーが自動的に起動します。
     空メールが作成されたら、そのまま送信してください。

   別のメールアドレスを登録したい場合は、［送信しない］を選ぶと［メールアドレス］を入力する画面が表示されます。



表示された画面で登録したい［メールアドレス］を入力し［登録続行］を選ぶ。

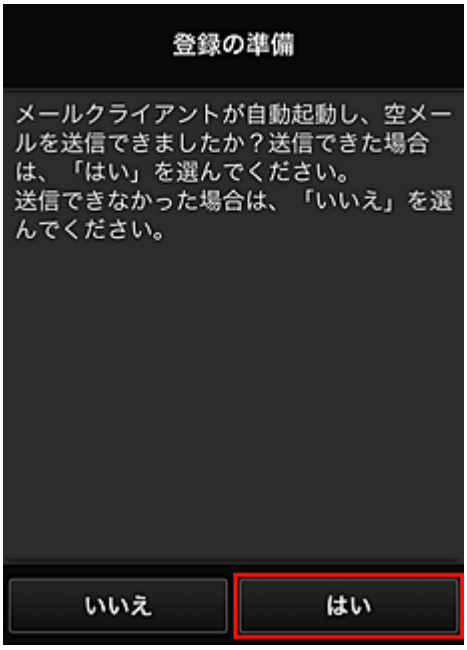
参考

- すでに登録されているメールアドレスを入力した場合は、登録済みメールが送信されます。案内に従い、再度設定してください。

重要

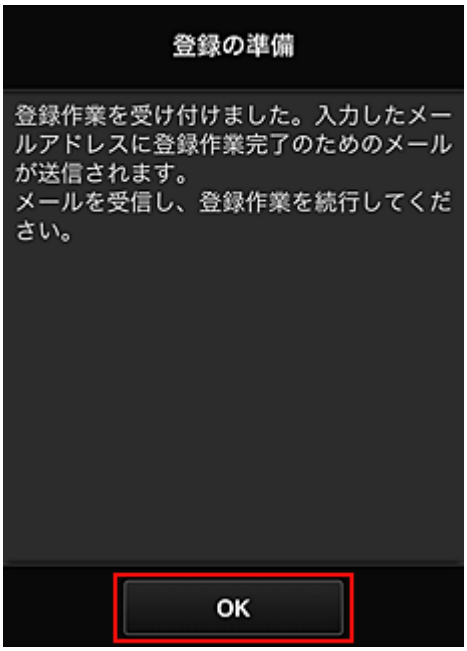
- メールアドレスの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!$'*/^_{}|~.-@」で 255 文字以下。（英字は大文字小文字を区別する）
  - 2 バイト以上の文字は使えません。
    入力されたメールアドレスに使用不可能な文字が使用されていた場合は、エラーとなります。
- 誤って別のメールアドレスを登録した場合は、プリンター情報を表示→［IJ Cloud Printing Center 設定］→［本サービスから削除］で、登録を解除できます。
  プリンター情報の表示方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。
- 迷惑メールフィルターなどにより、通知が受信できない場合があります。ドメイン指定受信などを設定されている場合は、「noreply@mail.cs.c-ij.com」からのメールを受信できるよう、設定を変更してください。
  迷惑メールフィルターの設定やメールアドレスの誤入力などによってメールが送信されない場合でも、エラー表示は行いません。

6. 空メールが送信されたことを確認して［はい］を選ぶ



7. 画面の表示にしたがって［OK］を選ぶ

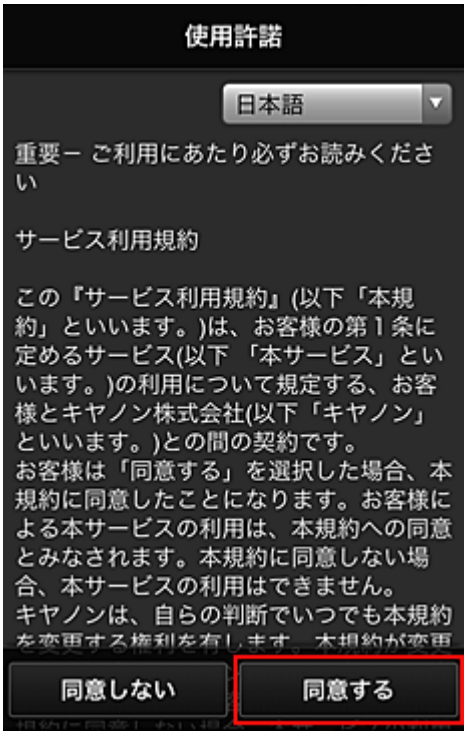
   登録したメールアドレスへ登録ページの URL が通知されます。

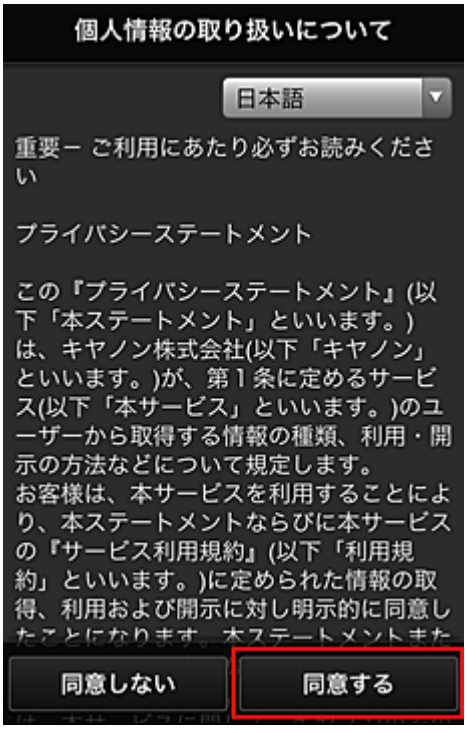


メールにある URL へアクセスして登録を行い、ユーザー登録を完了

1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする

2. Canon Inkjet Cloud Printing Center の［使用許諾］および［個人情報の取り扱いについて］画面で、内容を確認し、同意される場合は［同意する］を選ぶ





3. Canon Inkjet Cloud Printing Center ログイン用のパスワードを登録する

   マイアカウント登録画面で登録したいパスワードを［パスワード］と［パスワード(確認用)］に入力し、［次へ］を選んでください。

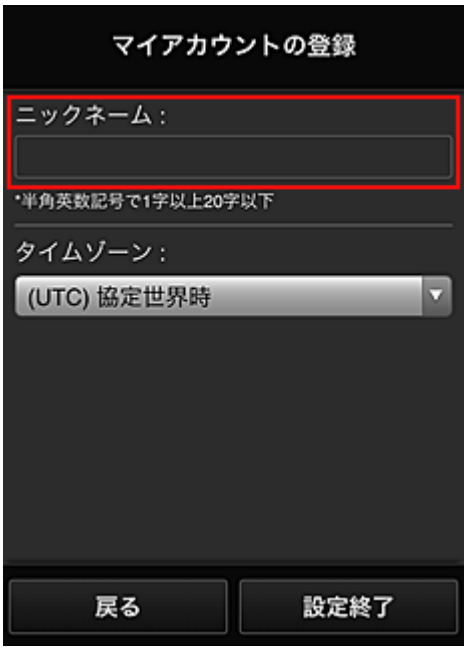


重要

- パスワードの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 8 文字以上、32 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

4. [ニックネーム] を入力

任意のユーザー名を入力します。



重要

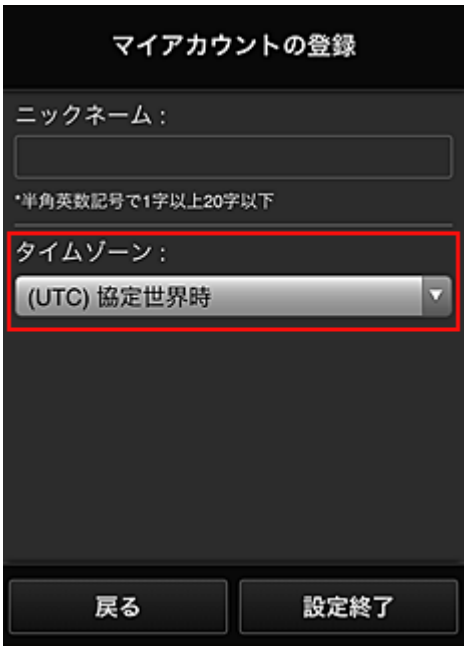
- ユーザー名の入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 1 文字以上、20 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

5. [タイムゾーン] を設定し、[設定終了] を選ぶ

リストからお住まいの地域を選んでください。お住まいの地域がない場合は、お住まいの地域に最も近い場所を選んでください。

［サマータイムを適用する］

タイムゾーンで選んだ地域が、サマータイムを実施している場合にのみ表示されます。
サマータイム適用の有無を選んでください。



本登録が完了し、登録完了のメッセージが表示されます。
メッセージ内の［OK］ボタンを選ぶと、ログイン画面が表示されます。



登録した［メールアドレス］と［パスワード］を入力して、Canon Inkjet Cloud Printing Center に［ログイン］してください。

➡ Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する

Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する

ユーザー登録が完了したら、以下の手順で Canon Inkjet Cloud Printing Center にログインし、実際にサービスを利用することができます。

1. お使いのスマートフォン、タブレットまたはパソコンからサービスのログイン URL（http://cs.c-ij.com/）へアクセスする

2. ログイン画面で、［メールアドレス］と［パスワード］を入力し、［ログイン］を選ぶ

重要

- メールアドレスとパスワードは大文字、小文字を区別して入力してください。



［メールアドレス］

ユーザー登録で登録したメールアドレスを入力してください。

［パスワード］

ユーザー登録で登録したパスワードを入力してください。

［ログイン情報を保持する］

チェックマークを付けると、最後にサービス画面にアクセスした日から 14 日間ログイン画面がスキップされます。

重要

- ログインに 5 回連続して失敗した場合、その後約 60 分は再ログインできません。
- ログイン状態の有効時間は、最後のアクセスから 60 分です。
- 複数の端末から同じメールアドレスで同時にログインすると、正常な動作が行えなくなる可能性があります。

ログイン後、プリンターのクラウド機能と連動したアプリの登録・管理や、インク状況確認などの便利なサービスがご利用いただけます。

各画面説明と操作方法については、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明」を参照してください。

印刷の手順

ここでは、「CANON iMAGE GATEWAY」を例に、写真印刷の手順を紹介します。

重要

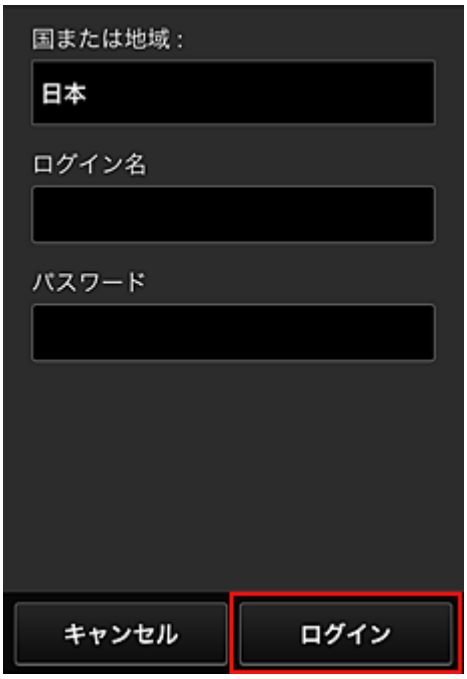
- 使用できる機能はアプリによって異なります。
- 印刷の手順はアプリによって異なります。
- 事前にアカウントを取得し、写真データなどを登録する必要があります。
- 印刷可能なファイル形式は、jpg / jpeg / pdf / docx / doc / xlsx / xls / pptx / ppt / rtf です。
  アプリによって、印刷可能なファイル形式は異なります。
- 印刷前に、プリンターの電源とネットワーク接続を確認してから、印刷を行ってください。
- スマートフォンやタブレットをご利用の場合にお使いいただけます。

参考

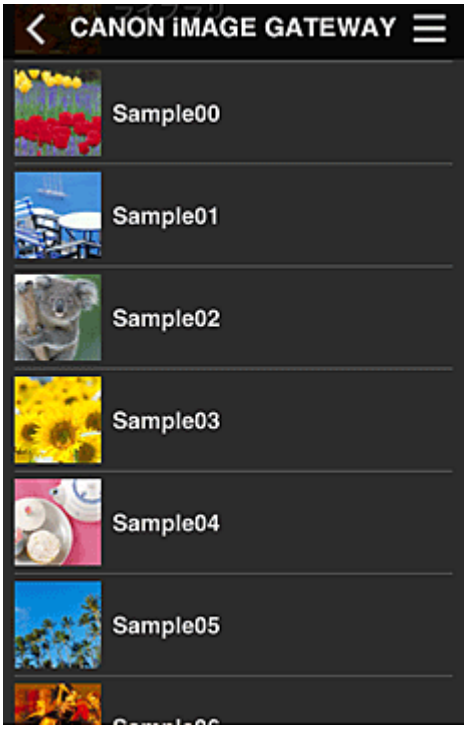
- CANON iMAGE GATEWAY で印刷可能なファイル形式は、jpg / jpeg です。

1. メイン画面で使用するアプリを選ぶ

2. 表示された認証画面にしたがって入力し、［ログイン］を選ぶ



3. 表示されたアルバム一覧から、お好きなアルバムを選ぶ



4. 表示された画像一覧から、印刷したい画像を選び、［次へ］を選ぶ



5. 必要な印刷設定を行い、［プリント］を選ぶ



6. 印刷ジョブの発行が完了したことを示すメッセージが表示され、印刷が開始される



印刷を続ける場合は［続行］を選び、手順 3 からの操作を行ってください。
印刷を終了する場合は［アプリ］を選び、アプリ一覧画面へ戻ります。

重要

- 印刷ジョブの発行完了から 24 時間以内に印刷されない印刷ジョブは、期限切れとなり印刷できません。
- 印刷回数が制限されているプレミアムアプリでは、期限切れなどにより印刷できなかった場合でも、印刷した回数としてカウントされます。

➡ プリンターを追加する

Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明

スマートフォン、タブレットまたはパソコンに表示される Canon Inkjet Cloud Printing Center の画面について説明します。

- ログイン画面の説明
- メイン画面の説明

ログイン画面の説明

Canon Inkjet Cloud Printing Center のログイン画面について説明します。



重要

- パスワードの入力に 5 回連続して失敗した場合、その後約 60 分はログインできません。
- ログイン状態の有効時間は、最後にアクセスしてから 60 分です。

言語

使用する言語を選びます。

[メールアドレス]

ユーザー登録で登録したメールアドレスを入力します。

重要

- メールアドレスは大文字、小文字を区別して入力してください。

[パスワード]

ユーザー登録で登録したパスワードを入力します。

[ログイン情報を保持する]

チェックマークを付けると、最後にサービス画面にアクセスした日から 14 日間ログイン画面がスキップされます。

[パスワードの再設定はこちら]

パスワードを忘れたときは、こちらを選びます。
画面の指示に従ってパスワードの再設定を行ってください。

[新しいアカウントを作成]

Canon Inkjet Cloud Printing Center に新規登録を行います。
新規登録にはプリンター登録 ID が必要です。

[本サービスについて]

本サービスの説明を表示します。

[動作環境]

Canon Inkjet Cloud Printing Center の動作環境を表示します。

[ソフトウェアライセンス情報]

Canon Inkjet Cloud Printing Center のライセンス情報を表示します。

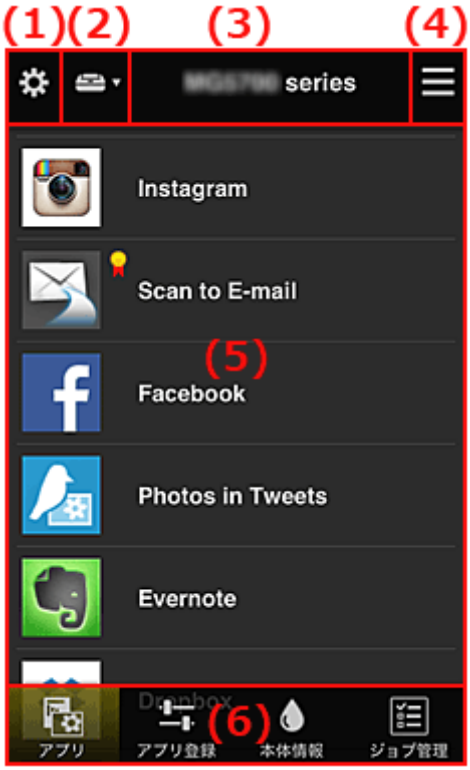
メイン画面の説明

Canon Inkjet Cloud Printing Center へログイン後、メイン画面が表示されます。
スマートフォンやタブレットをお使いの場合は、写真や文書の印刷も行えます。

重要

- このサービスはプリンターの管理者と一般ユーザーまたは、設定している管理方法により、使用できる機能が異なります。

各エリアを操作して、アプリの起動、登録、管理などが行えます。



(1)左コンテキストメニュー（管理者のみ）
(2)［本体選択］
(3)プリンター名エリア
(4)右コンテキストメニュー
(5)表示エリア
(6)メニューエリア

(1)左コンテキストメニュー（管理者のみ）

 を選ぶと、左コンテキストメニューが表示されます。
［本体管理］、［ユーザー管理］、［グループ管理］または［詳細管理］を選ぶと各画面が表示されます。

参考

- ［グループ管理］は［管理方法の選択］にて、［グループで管理する(オフィスユーザー向け)］を設定した場合のみ表示されます。

［本体管理］画面



［本体管理］画面からは、Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録しているプリンター情報の確認、更新、アプリコピー、プリンター名の変更、プリンター削除、プリンター追加の機能を利用できます。

- **プリンター情報の確認**



登録プリンター名を表示します。
プリンターにエラーが発生している場合は、  が表示されます。

- **プリンター情報の更新**



プリンター情報の最終更新日時を表示します。
 を選ぶと最新の情報に更新されます。

- **［マルチユーザーモード］（MAXIFY series のみ）**

  プリンターを複数ユーザーで使用する場合は、［マルチユーザーモード］にチェックマークを付けてください。
  チェックマークは［暗証コードによる使用制限］画面と連動します。

- **アプリコピー**

  選んだプリンターに登録されているアプリを、別のプリンターへコピーします。

  アプリコピー を選ぶと以下の画面が表示されます。



  ［コピー先のプリンター］と［コピー元のプリンター］を設定し、［OK］を選びます。

  参考

  - ［管理方法の選択］を設定している場合、［使用できるアプリをプリンターごとに管理する］を選んでいるときにのみ、この機能をご利用いただけます。
    詳しくは、「Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（オフィスでお使いの場合）」を参照してください。

- **プリンター名の変更**

   を選ぶと、プリンター名変更画面が表示されます。
  表示画面に従って、お好きな名前に変更することができます。

  重要

  - プリンター名の入力には、以下の文字制限があります。
    - 128 文字以下。（英字は大文字小文字を区別する）

- **プリンター削除**

   を選ぶと、Canon Inkjet Cloud Printing Center からプリンターが削除されます。
  プリンターを譲渡する場合は［プリンター本体に保存されている情報を削除する］にチェックマークを付けてください。

- **プリンター追加**



Canon Inkjet Cloud Printing Center で使用するプリンターを追加します。
追加にはプリンター登録 ID が必要です。

参考

- 1 ドメインに対して登録は無制限に行うことができますが、動作保証できるプリンター台数は 16 台までです。

［ユーザー管理］画面



ユーザー管理画面からは、Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録しているユーザー情報の確認、ユーザー削除、ユーザー追加、［管理者］と［一般ユーザー］の設定変更の機能を利用できます。

- **ユーザー削除**

  削除するユーザーにチェックを入れ、［削除］を選んでください。
  ただし、自分自身の削除はできません。削除したい場合はマイアカウントから退会してください。

- **ユーザー追加**

  ［ユーザーを追加］を選ぶとユーザー登録画面が表示されます。

- **［管理者］と［一般ユーザー］の設定変更**

  設定を変更したいユーザーの［権限］を選び、管理者と一般ユーザーの権限を変更することができます。

［グループ管理］画面



グループ管理画面からは、Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録しているグループ情報の確認とグループ名の変更、グループ削除、追加、グループごとの所属ユーザー、プリンター、アプリ設定の機能を利用できます。

- **グループ情報の確認**

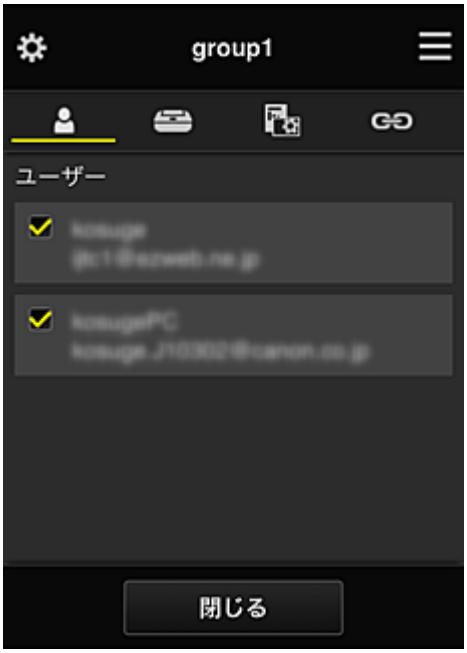


登録グループ名を表示します。

未設定の項目がある場合は、 が表示されます。

設定 を選ぶと以下の画面が表示され、1 グループごとに設定を行えます。

選んだタブにより、表示内容が切り替わります。



［ユーザー］
ドメイン内に登録されている、すべてのユーザー名とメールアドレスを表示します。

［プリンター］
ドメイン内に登録されている、すべてのプリンターを表示します。

［アプリ］
初期選択ではすべてのアプリを表示します。［登録済み］カテゴリを選ぶと登録済みのアプリのみ表示されます。
ON ／ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

［ウェブサービス］
外部連携を行うサービスを表示します。
Easy-PhotoPrint+など、Canon Inkjet Cloud Printing Center のアカウントを利用する他の Web サービスの利用を制限することができます。
ON ／ OFF を選ぶと、サービスの連携／連携解除が切り替わります。

チェックが 0 個の項目は、 が表示されます。
初期設定では［プリンター］と［ユーザー］はすべてチェックマークが外れた状態です。［アプリ］のシステムアプリのみ［ON］になっています。

- **グループ名の変更**

を選ぶと、グループ名変更画面が表示されます。
表示画面に従って、お好きな名前に変更することができます。

重要

- グループ名の入力には、以下の制限があります。
  - 半角英数字で 1 文字以上、20 文字以下。全角で 1 文字以上、10 文字以下。
  - 同じドメイン内で、同じグループ名の登録はできません。

- **グループ削除**

   を選ぶと、Canon Inkjet Cloud Printing Center からグループが削除されます。
  すべてのグループを削除する場合、新たにグループを作成する必要があります。別の管理方法を設定したい場合は、［管理方法の選択］画面から選択してください。

- **［グループを追加］**

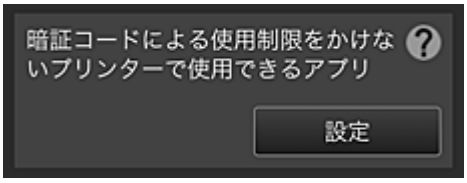
  

  Canon Inkjet Cloud Printing Center で使用するグループを追加します。

  参考

  - グループの登録数は最大 20 個までです。

- **［暗証コードによる使用制限をかけないプリンターで使用できるアプリ］**

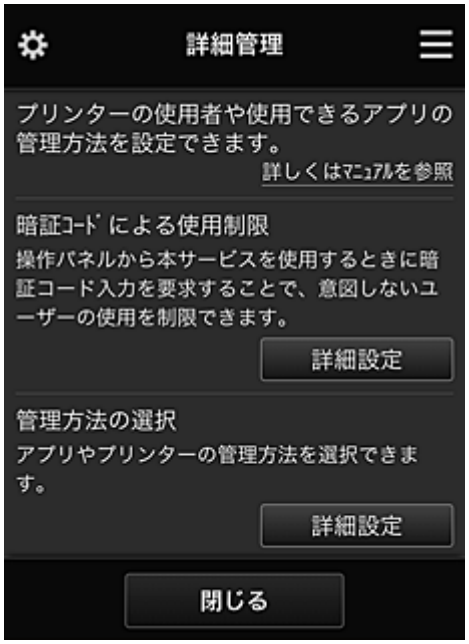
  ［マルチユーザーモード］または、［暗証コード］の設定を行っていないプリンターで、プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶと表示されるアプリを設定します。
  条件に該当するプリンターがドメイン内にない場合、本設定は表示されません。

   を選ぶと、設定画面へ移動します。

  参考

  - ドメイン内に、以下のプリンターのみ登録している場合は表示されません。
    - 液晶モニターがないプリンター
    - モノクロの液晶モニターのプリンター
    - マルチユーザーモードのプリンター

［詳細管理］画面



［詳細管理］画面からはプリンターの使用者や使用できるアプリの管理方法を設定することができます。

詳細設定 を選ぶと、設定画面へ移動します。

- **［暗証コードによる使用制限］**

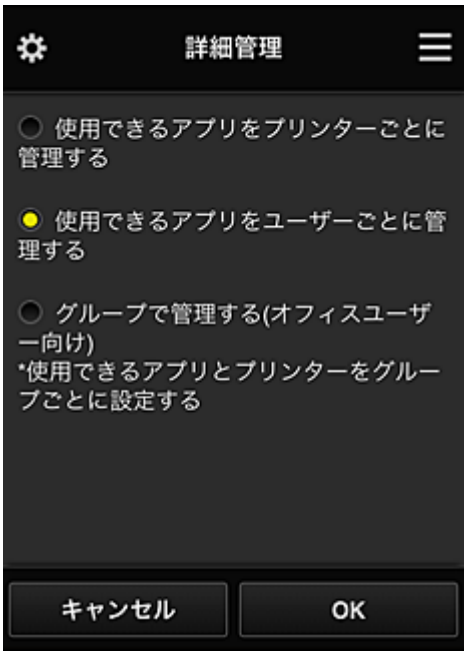


ユーザーそれぞれが暗証コードを設定し、アプリを起動して印刷などを行うことができます。
設定は［本体管理］画面の［マルチユーザーモード］と連動します。

参考

- 液晶なし機種またはモノクロ液晶機種はリストに表示されません。
- マルチユーザーモード非対応の機種はチェックボックスが表示されません。

- **［管理方法の選択］**



使用できるアプリとプリンターの管理方法を変更することができます。

［使用できるアプリをプリンターごとに管理する］

複数プリンターを使用している場合、使用できるアプリをプリンターごとに管理することができます。

［使用できるアプリをユーザーごとに管理する］

1 つのプリンターで、ユーザーごとに使用できるアプリを管理することができます。
使用例については、「Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（ご家庭でお使いの場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合）」を参照してください。

［グループで管理する(オフィスユーザー向け)］

使用できるアプリとプリンターを、グループで管理することができます。
使用例については、「Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（オフィスでお使いの場合）」を参照してください。

参考

- 使用できるアプリをプリンターごとに管理している場合、初期設定ではすべてのユーザーがアプリの追加、削除、並べ替えをすることができます。
  また、MAXIFY series をご使用の場合、本体管理画面で［マルチユーザーモード］にチェックマークを付けると管理者のみアプリの追加、削除、並べ替えをすることができます。
- 使用できるアプリをユーザーごとに管理している場合、［マルチユーザーモード］の設定にかかわらず、すべてのユーザーがアプリの追加、削除、並べ替えをすることができます。
- 使用できるアプリとプリンターをグループごとに管理している場合、すべてのユーザーがアプリの並べ替えのみすることができます。

(2)［本体選択］


を選び、［本体選択］画面から使用するプリンターを選択します。
パソコンをお使いの場合、プルダウンメニューから使用するプリンターを直接選択することができます。

参考

- 設定により、使用を制限されているプリンターは表示されません。

(3)プリンター名エリア

選んでいるプリンターの登録名が表示されます。

管理者の場合は、左コンテキストメニューの［本体管理］画面から、プリンター名を変更することができます。

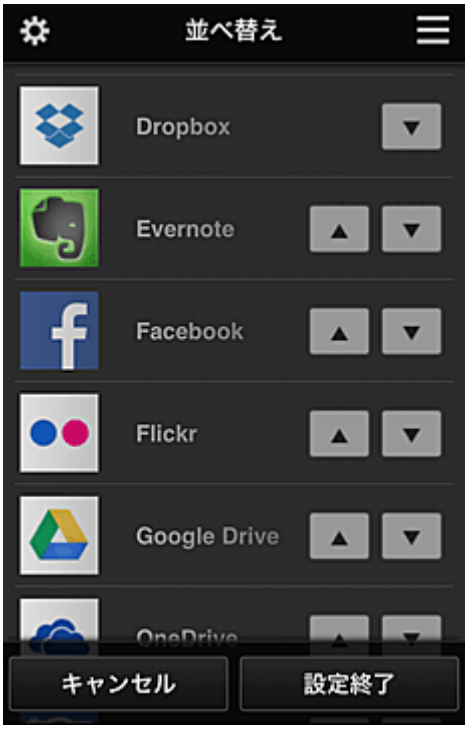
(4)右コンテキストメニュー

を選ぶと、コンテキストメニューが表示されます。
表示される内容は、メニューエリアで選んでいるメニューの内容によって異なります。
未読の新着お知らせがある場合は、 マークが表示されます。



- 並べ替え **［並べ替え］**

  登録済みアプリの並べ替え画面を表示します。
  ▲ ▼ ボタンでアプリの表示順を変更することができます。並べ替え完了後、［設定終了］を選びます。



参考

- 表示アイコンの説明
  : 公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。
  : キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。
  G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

- 最新のお知らせ **［最新のお知らせ］**

  最新のお知らせを表示します。未読の新着お知らせがある場合は、 マークが表示されます。

- マイアカウント **［マイアカウント］**

  ユーザー情報を表示します。
  ［マイアカウント］からは、各設定を変更することができます。
  ［マイアカウント］画面から［アクセスを許可しているサービス］画面を表示して連携サービスの設定解除を行うことができます。

- ヘルプ/確認事項 **［ヘルプ/確認事項］**

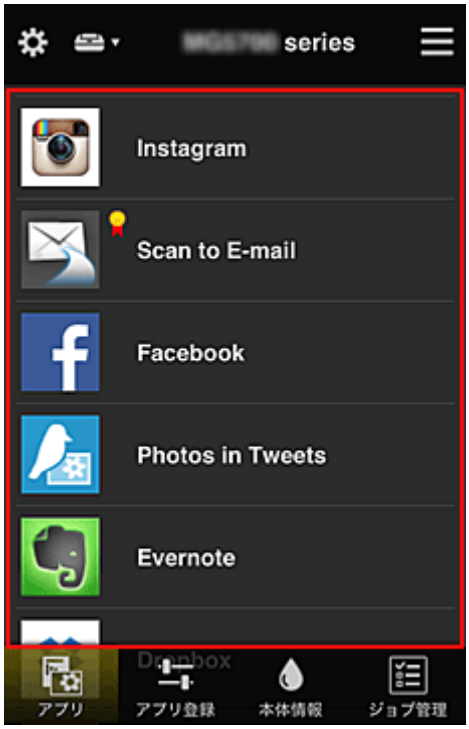
  Canon Inkjet Cloud Printing Center の画面説明や各種確認事項を表示します。

- ログアウト **［ログアウト］**

  Canon Inkjet Cloud Printing Center からログアウトすることができます。

(5)表示エリア

選んだメニューにより、表示内容が切り替わります。



(6)メニューエリア

以下の４つのメニューボタンが表示されます。

- 

［アプリ］

  登録済みのアプリ一覧を表示エリアに表示します。

- 

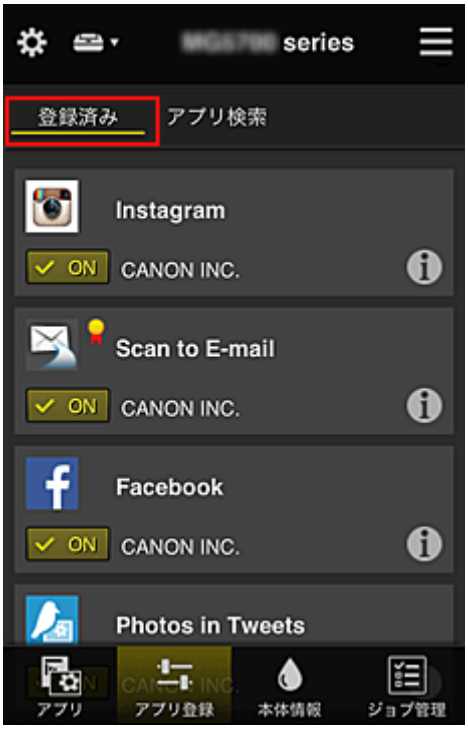
［アプリ登録］

  アプリ登録画面を表示エリアに表示します。
  ［登録済み］と［アプリ検索］から、表示方法を選ぶことができます。

  ［登録済み］画面では、登録済みのアプリを一覧で表示します。
  アプリの情報の確認や、登録解除を行うことができます。

  参考

  - ［グループ管理］を設定している場合、［アプリ登録］は表示されません。
  - ［使用できるアプリをユーザーごとに管理する］を設定している場合、［一般ユーザー］でもアプリの登録や削除をすることができます。



［アプリ検索］画面では、Canon Inkjet Cloud Printing Center で登録可能なアプリをカテゴリ別に表示します。



- を選ぶと、アプリの詳細説明を表示します。
  ON ／ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

参考

- 表示アイコンの説明
  ：公開期限外、対象地域外、対象機種外、対象言語外のため使用できません。
  ：キヤノン純正インクをご利用の場合に使用できます。
  G3000 series をお使いの場合、対象機種外のため使用できません。

- 

［本体情報］

現在選んでいるプリンターのステータスを表示します。
インク残量や発生しているエラーの詳細が確認できます。また、インク購入サイトやオンラインマニュアルへアクセスすることができます。

重要

- 表示される本体情報は、プリンターの状態などによって、表示時点の状況とは異なる場合があります。

- 

［ジョブ管理］

印刷またはスキャンの状況や履歴を表示します。
印刷またはスキャンの状況は［状況一覧］から、印刷またはスキャンの履歴は［履歴一覧］から確認することができます。
印刷またはスキャンジョブは、キャンセルしたり、履歴の削除を行うこともできます。
キャンセル／削除を行う場合は、該当のジョブにチェックを入れ、［キャンセル］／［削除］を選んでください。

Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（ご家庭でお使いの場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合）

［詳細管理］機能を利用すれば、ご家庭での様々なシーンに対応した便利な使い方が可能になります。
ここではお父さん、お母さん、子どもの 3 人家族を例にご紹介します。



お父さんが Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録したプリンターは、お父さんのみ管理している状態となり、［メールアドレス］と［パスワード］を教えない限り、お母さんや子どもはサービスを利用することができません。

お母さんや子どものスマートフォンからもサービスを利用したい場合



1. 管理者のお父さんが Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録する
2. ログイン後、 から［ユーザー管理］を選ぶ



3. ［ユーザーを追加］を選び、画面の指示にしたがってお母さんと子どものユーザー登録を行う



本登録が完了すると、お母さん、子どももそれぞれサービスを利用することができるようになります。

お父さん、お母さん、子ども別々にアプリを管理したい場合



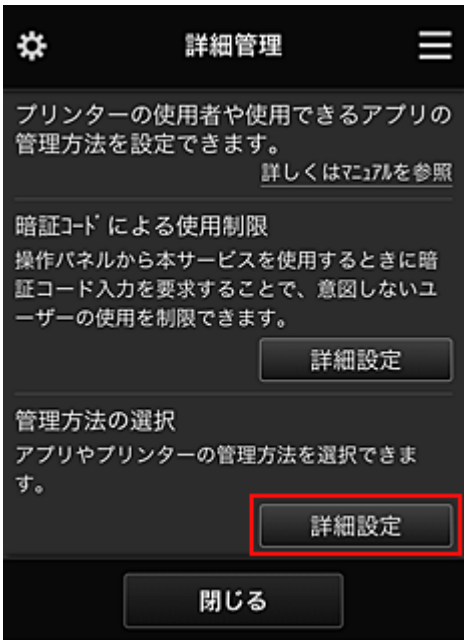
初期設定では管理者のお父さんだけが使用できるアプリの登録や削除を設定することができます。
最初に管理者のお父さんが以下の手順で設定を行うことで、お父さん、お母さん、子どもが別々にアプリを管理することができるようになります。



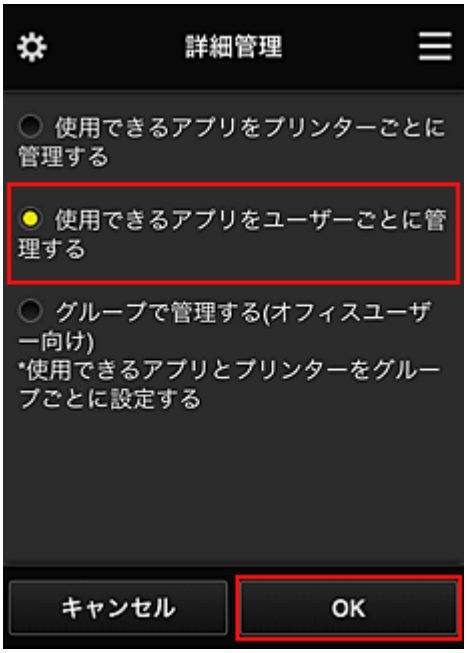
1. 管理者のお父さんが Canon Inkjet Cloud Printing Center にログインし、⚙ から［詳細管理］を選ぶ



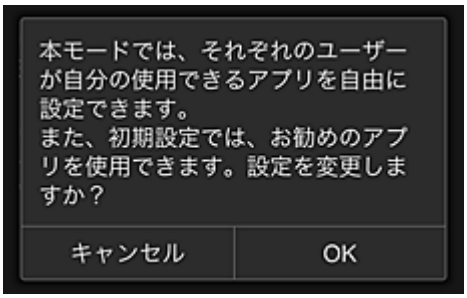
2. ［管理方法の選択］の［詳細設定］を選ぶ



3. ［使用できるアプリをユーザーごとに管理する］を設定し、［OK］を選ぶ



4. 管理方法の変更を確認する画面が表示される



［OK］を選ぶと設定が完了し、［詳細管理］画面へ戻ります。

ユーザー登録をしている全員が自由にアプリの登録や削除を行うことができます。

Canon Inkjet Cloud Printing Center の便利な使い方（オフィスでお使いの場合）

[グループ管理] 機能を利用すれば、プリンターが複数ある場合でもオフィスでのさまざまなシーンに対応した便利な使い方が可能になります。
ここでは 2 台のプリンターを使い、管理者を主任とし、他のメンバーを社長、課長、新人とした例をご紹介します。

参考

- 2 台目のプリンターを登録していない場合は「プリンターを追加する」を参照し、手順に沿って登録してください。

オフィス全体で使用するグループを作成する

以下の手順で基本となるグループを設定します。
ここでは、2 台のプリンターで Evernote アプリのみ使用する場合を例とします。

1. 管理者の主任が Canon Inkjet Cloud Printing Center に登録する
2. から［ユーザー管理］を選ぶ



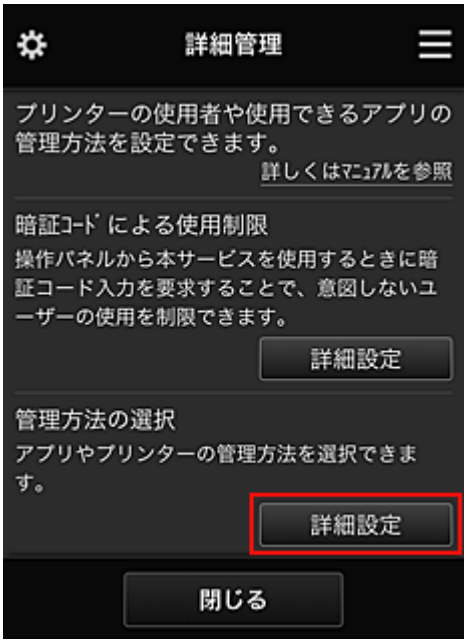
3. 表示された画面で［ユーザーを追加］を選び、社長、課長、新人のユーザー登録を行う



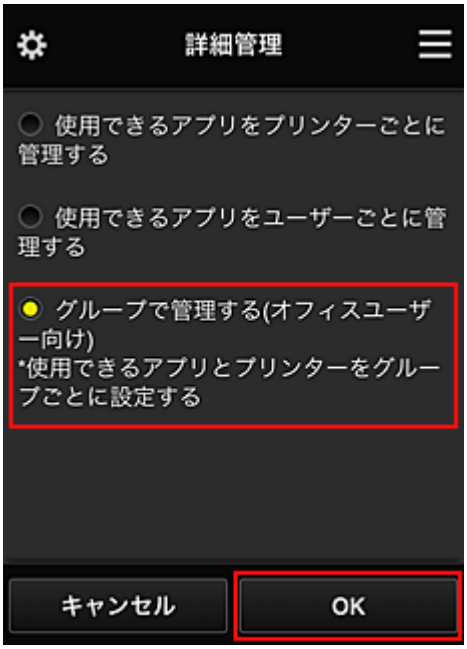
4. から［詳細管理］を選ぶ



5.［管理方法の選択］の［詳細設定］を選ぶ



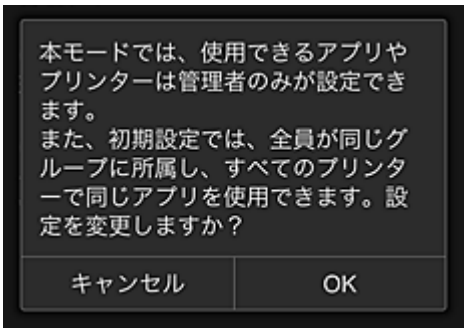
6. [グループで管理する(オフィスユーザー向け)]を設定し、[OK]を選ぶ

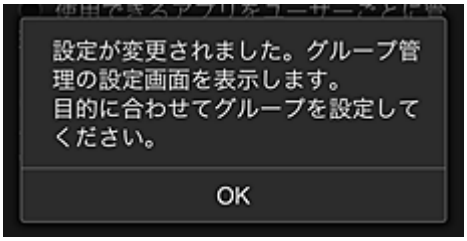


参考

- すでにグループ管理を設定している場合は、手順 10 以降を参照してください。

7. 管理方法の変更を確認する画面で、内容を確認し、[OK]を選ぶ





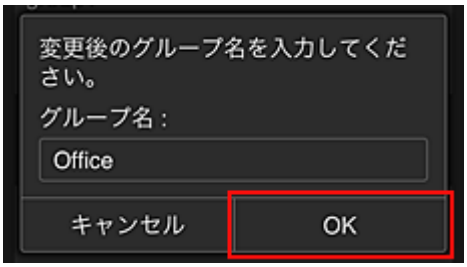
移行先のモードが［グループ管理］の場合にのみ表示されます。
［OK］を選ぶと設定が完了し、［グループ管理］画面が表示されます。

参考

- 初期設定では「group1」という名前がつけられます。
- 初期設定では登録したユーザー全員が同じグループに所属します。

8. ［グループ管理］画面で名前を変更したいグループの  を選ぶ

9. ［グループ名］を入力し、［OK］を選ぶ

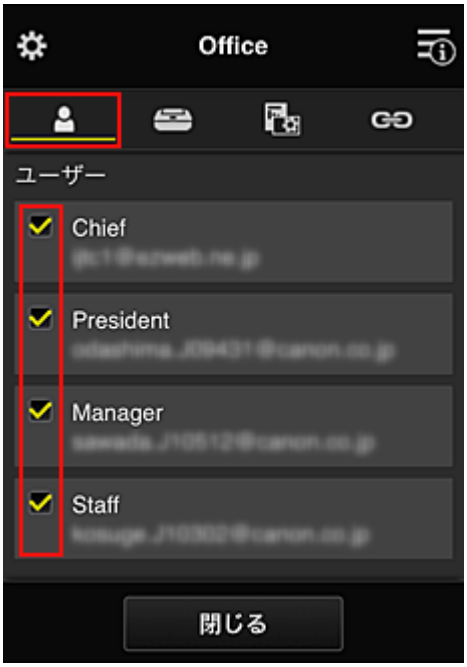


ここではオフィス全体で使用するグループを設定するため、「Office」と入力します。

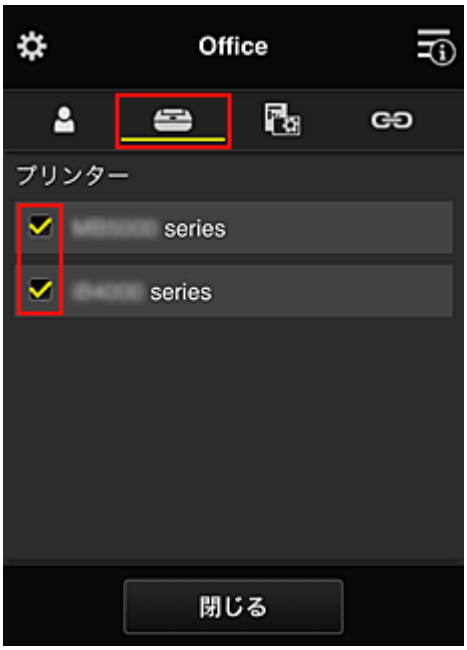
重要

- グループ名の入力には、以下の制限があります。
  - 半角英数字で 1 文字以上、20 文字以下。全角で 1 文字以上、10 文字以下。
  - 同じドメイン内で、同じグループ名の登録はできません。
  - グループの登録数は最大 20 個までです。
- グループを新規作成した方が管理者となります。

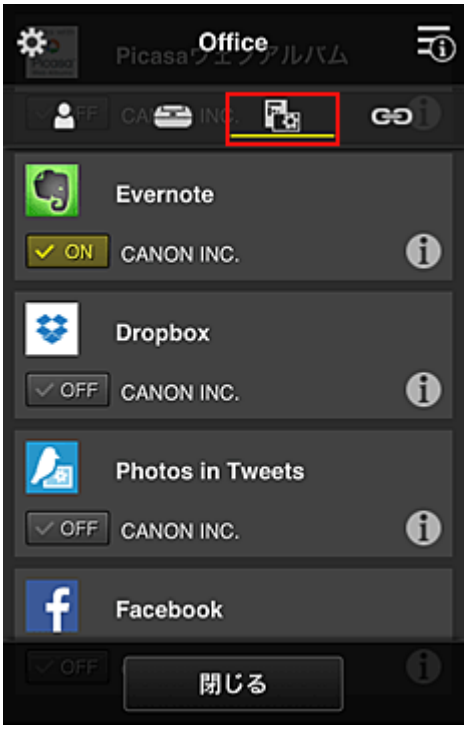
10. ［設定］を選択し、グループの設定画面で［ユーザー］タブのチェックがメンバー全員に入っていることを確認



11. ［プリンター］タブですべてのプリンターにチェックが入っていることを確認



12. ［アプリ］タブで Evernote アプリのみ  にする



ON ／ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。

［閉じる］を選ぶと［グループ管理］画面へ戻ります。

以上でオフィス全体で使用するグループの設定は完了です。

参考

- グループの設定画面にはドメイン内に登録されている、すべてのユーザー名とプリンターが表示されます。
- 新たに個人でアプリを設定したい場合は、グループを追加して増やすことができます。
  ［グループを追加］でグループを新規作成し、追加したグループの設定画面でユーザーとプリンターを追加してください。

- ユーザーごとに使用できるアプリを制限する場合
- プリンター本体での操作時に、使用できるアプリを制限する場合
- ユーザーごとに、プリンター本体での操作時に使用できるアプリを制限する場合
- ユーザーごとに、使用するプリンターを制限する場合

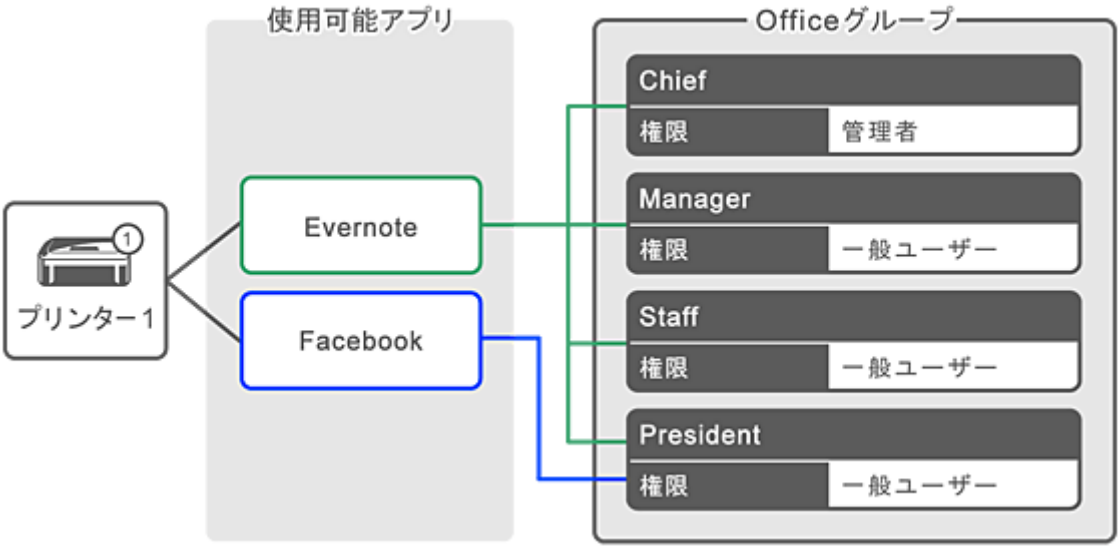
重要

- 国または地域によっては、アプリを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

ユーザーごとに使用できるアプリを制限する場合

次の設定とします。

- オフィス全体：Evernote アプリのみ使用
- 社長：Evernote アプリと Facebook アプリを使用



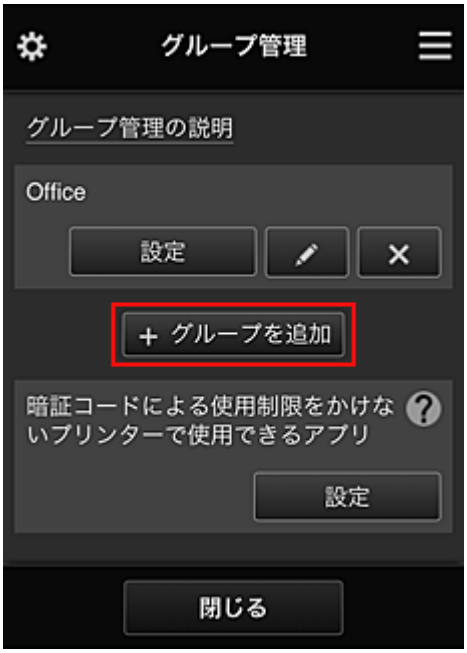
1. から［グループ管理］を選ぶ



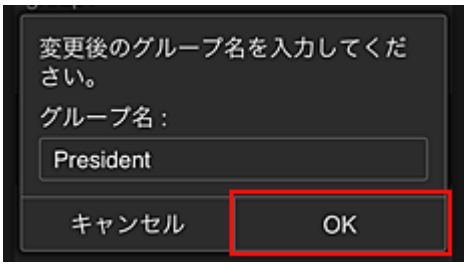
参考

- ［詳細管理］にて、［グループで管理する(オフィスユーザー向け)］を設定した場合のみ表示されます。

2. 表示された画面で［グループを追加］を選ぶ



3. ［グループ名］を入力し、［OK］を選ぶ



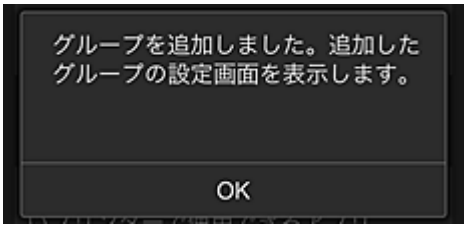
ここでは社長のみ使用できるアプリを設定するため、社長専用グループとして「President」と入力します。

重要

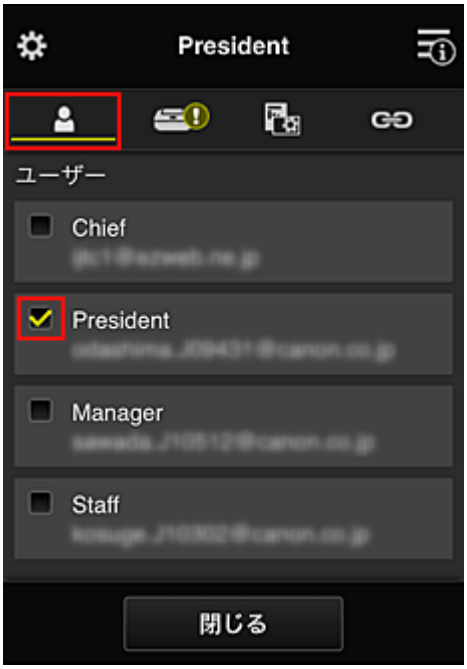
- グループ名の入力には、以下の制限があります。
  - 半角英数字で 1 文字以上、20 文字以下。全角で 1 文字以上、10 文字以下。
  - 同じドメイン内で、同じグループ名の登録はできません。
  - グループの登録数は最大 20 個までです。
- グループを新規作成した方が管理者となります。

4. 表示された画面のメッセージに従って［OK］を選ぶ

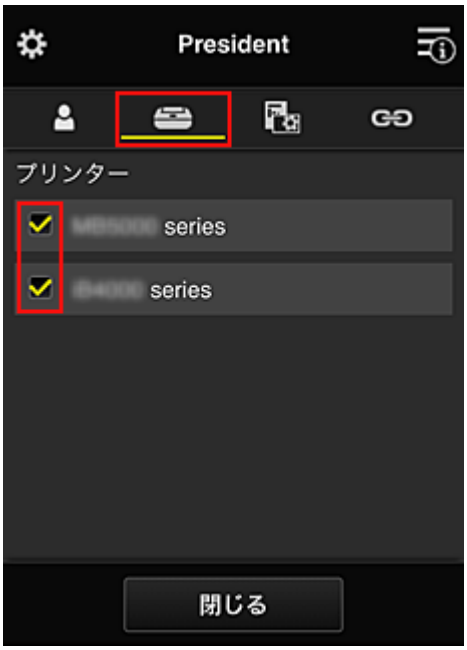
グループの設定画面が表示されます。



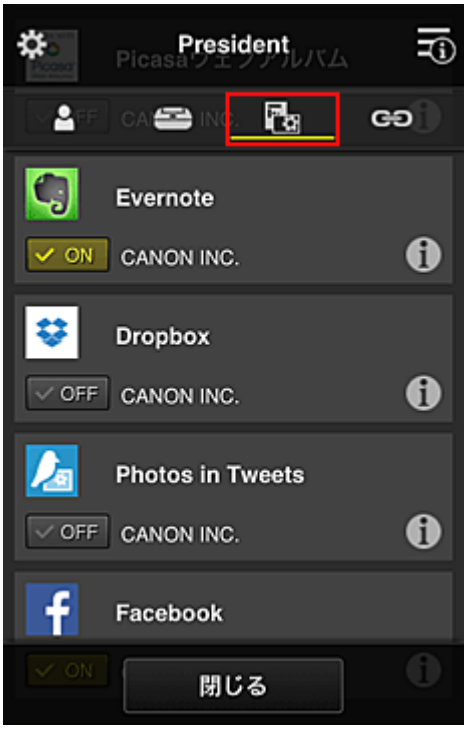
5. ［ユーザー］タブで社長にのみチェックを入れる



6. ［プリンター］タブで使用するプリンターにチェックを入れる



7. ［アプリ］タブで Evernote アプリと Facebook アプリを ON にする



ON ／ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。
［閉じる］を選ぶと［グループ管理］画面へ戻ります。

以上で社長のアカウントのみ使用するアプリを設定することができます。

参考

- グループの設定画面にはドメイン内に登録されている、すべてのユーザー名とプリンターが表示されます。

プリンター本体での操作時に、使用できるアプリを制限する場合

プリンター本体で使用するアプリは、本サービスの以下の手順で設定することができます。
ここではプリンター本体では、Evernote アプリのみ使用する場合を例とします。

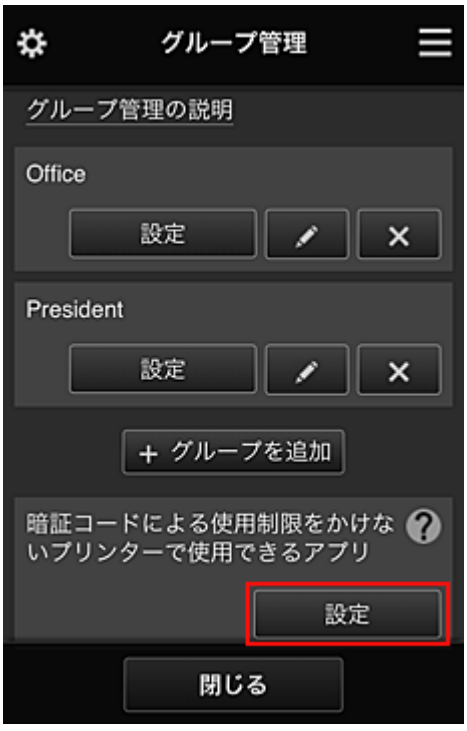
1. から［グループ管理］を選ぶ



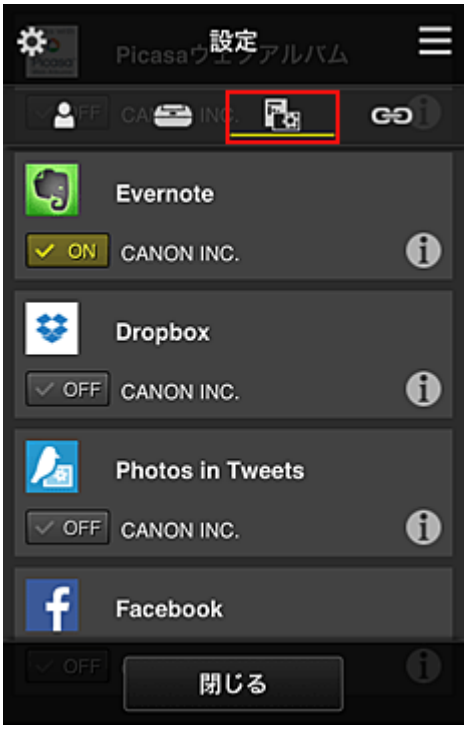
参考

- ［詳細管理］にて、［グループで管理する(オフィスユーザー向け)］を設定した場合のみ表示されます。

2. ［暗証コードによる使用制限をかけないプリンターで使用できるアプリ］の［設定］を選ぶ



3. ［アプリ］タブで Evernote アプリのみ ON にする



ON ／ OFF を選ぶと、アプリの登録／登録解除が切り替わります。
［閉じる］を選ぶと［グループ管理］画面へ戻ります。

以上でプリンター本体から操作する場合は、全員 Evernote アプリのみ使用できる設定となります。

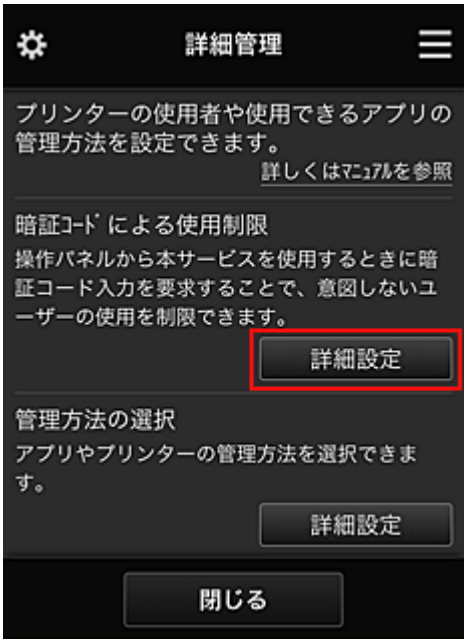
ユーザーごとに、プリンター本体での操作時に使用できるアプリを制限する場合

プリンター本体での操作時に使用できるアプリをユーザーごとに設定することができます。
社長のみプリンター本体からも Facebook アプリを使用する場合を例とします。

1. から［詳細管理］を選ぶ



2. ［暗証コードによる使用制限］の［詳細設定］を選ぶ



3. ［暗証コード］を設定するプリンターを選ぶ

暗証コードとは、プリンターを複数ユーザーで使用する際にユーザーを判別するためのコードです。

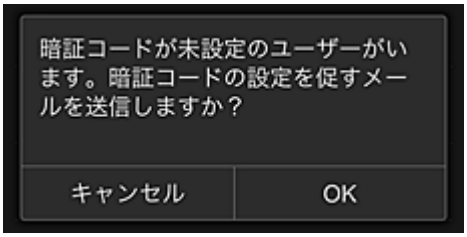


参考

- 設定を変更できない機種は選択できません。
  この機能は機種によっては対応していません。ご使用の機種がこの機能に対応しているかどうかは、「暗証コード対応機種一覧」を参照してください。

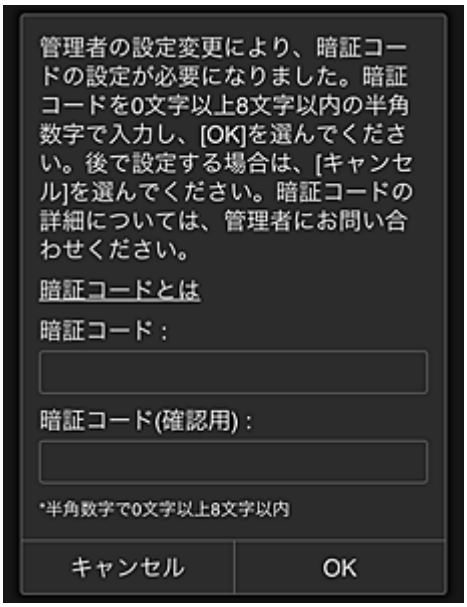
4. ［暗証コード］を設定

ユーザーの中に［暗証コード］が未設定のユーザーがいると［暗証コード］の設定を促すメールを送信するかを確認する画面が表示されます。



［OK］を選ぶと［暗証コード］が未設定のユーザーにのみ通知メールが送信されます。

［キャンセル］を選ぶと通知メールは送信されず、各ユーザーがログインした時に［暗証コード］の設定画面が表示されます。



重要

- 暗証コードの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角数字で 8 文字以下。



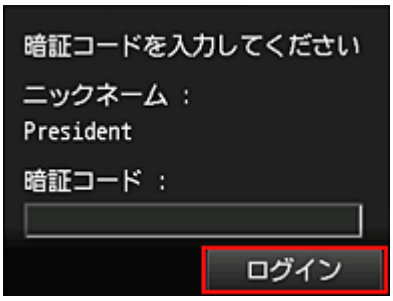
［暗証コード］の変更が完了し、変更完了のメッセージが表示されます。
メッセージ内の［OK］を選ぶとメイン画面に戻ります。

5. プリンターのホーム画面から  ［クラウド］を選ぶ

6. ［ユーザー切り替え］画面でユーザーを選ぶ



7. 設定した［暗証コード］を入力して［ログイン］



参考

- ［暗証コード］を未設定の場合は、［マイアカウント］より［暗証コード］を設定してから、［ログイン］してください。

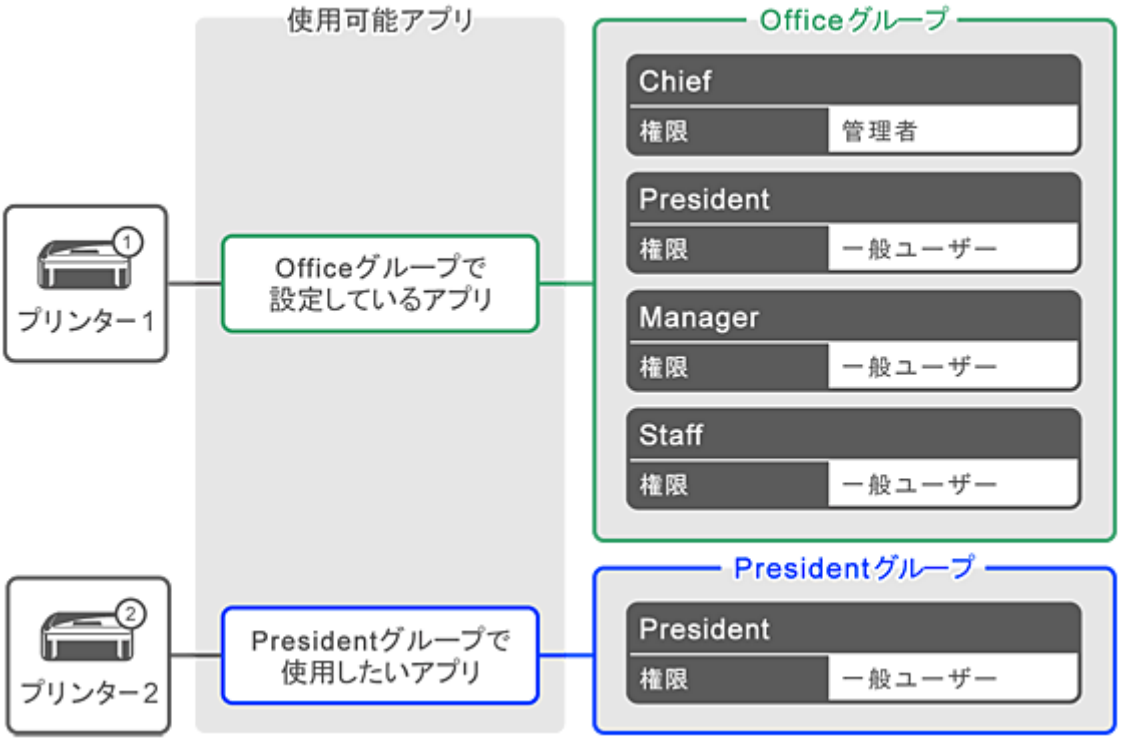
8. Facebook アプリを選ぶ



社長のみプリンター本体からも Facebook アプリが使用できるようになります。

ユーザーごとに、使用するプリンターを制限する場合

1 台のプリンターを社長用にし、もう 1 台のプリンターは全員で使用する場合を例とします。



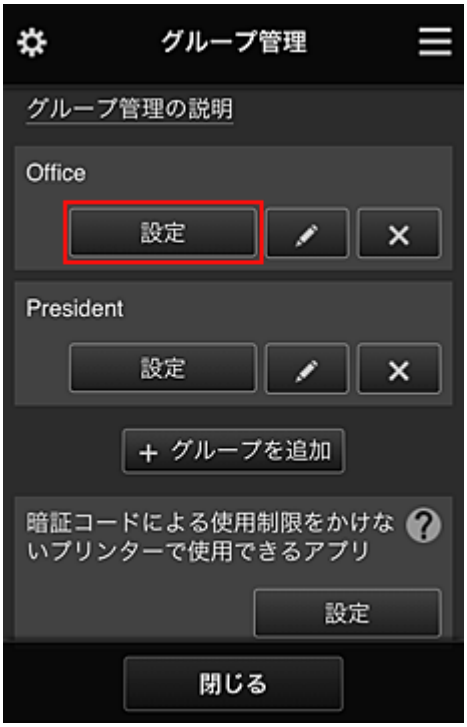
1. から［グループ管理］を選ぶ



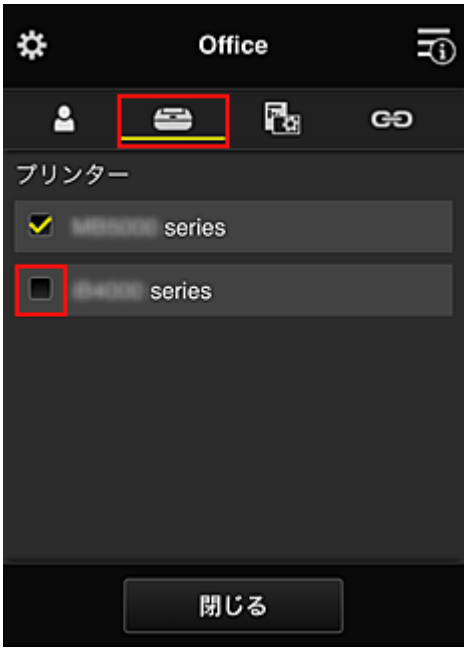
参考

- ［詳細管理］にて、［グループで管理する(オフィスユーザー向け)］を設定した場合のみ表示されます。

2. 全員のグループの［設定］を選ぶ



3. ［プリンター］タブで、社長用プリンターのチェックを外す



［閉じる］を選ぶと［グループ管理］画面へ戻ります。

重要

- 1 つのユーザーを複数のグループで管理している場合、あるグループでアプリ削除や対象プリンターの変更を行っても、別グループで対象としている場合はその設定が優先されます。

設定したプリンターのみ使用できるようになります。

暗証コードとは

［暗証コード］とは、プリンターを複数ユーザーで使用する際にユーザーを判別するためのコードです。

重要

- MAXIFY series をご使用の場合、［暗証コード］を設定することができます。自身のアカウントを他者に利用されることを防ぐために、設定することをお勧めします。
- プリンターの操作パネルから MAXIFY クラウドリンクを利用する場合にのみ有効なコードであり、スマートフォン、タブレットまたはパソコンから Canon Inkjet Cloud Printing Center を利用する場合は使用できません。

プリンターを追加する

1 つのアカウントに対して、複数のプリンターで Canon Inkjet Cloud Printing Center のサービスを使用することができます。

以下の手順で、プリンターの追加を行ってください。

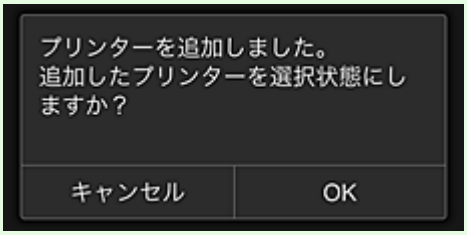
- お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合
- お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合
  お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする
2. 表示された認証画面にしたがって入力し、［ログイン］を選ぶ



3. プリンターの追加完了のメッセージが表示されたら［OK］を選ぶ



プリンターの追加が完了し、Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

参考

- ［キャンセル］を選ぶとプリンターの選択状態は変えずに Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合
お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合

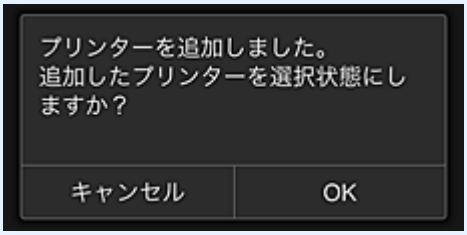
1. 登録したメールアドレス宛てにメールが届いていることを確認し、URL へアクセスする

   - お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合
   - お使いの機種に液晶モニターがない場合／PRO-1000 series／PRO-500 series をお使いの場合

2. 表示された認証画面にしたがって入力し、［ログイン］を選ぶ



3. プリンターの追加完了のメッセージが表示されたら［OK］を選ぶ



プリンターの追加が完了し、Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

参考

- ［キャンセル］を選ぶとプリンターの選択状態は変えずに Canon Inkjet Cloud Printing Center のメイン画面が表示されます。

- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用するユーザーを追加する

1 つのプリンターを複数人で使用することができます。
ユーザーの追加方法と権限について説明します。

ユーザー追加方法

1. サービス画面で ⚙ から［ユーザー管理］を選ぶ



2. ［ユーザーを追加］を選ぶ



参考

- ［ユーザーを追加］を選ぶと追加ユーザーの上限に到達しているかを確認し、新たに追加が可能な場合はユーザー登録画面が表示されます。

- ユーザー追加の上限は 1 つのプリンターにつき 20 人までです。

3. 新規に追加したいユーザーのメールアドレスを入力して、［OK］を選ぶ

   入力したメールアドレス宛に登録を完了するための URL が通知されます。

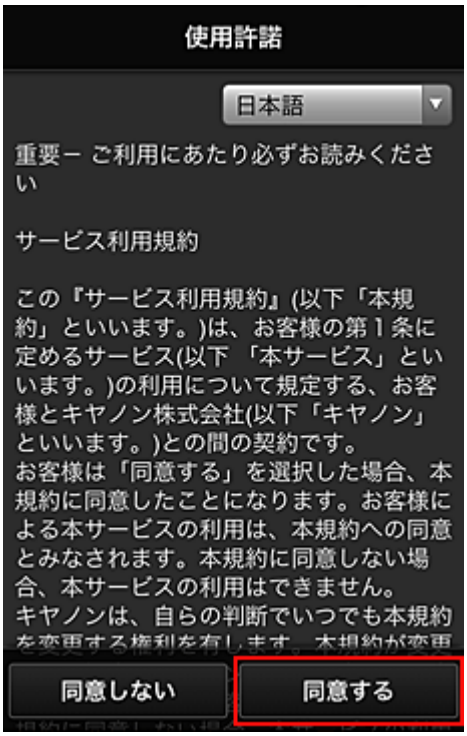
   参考

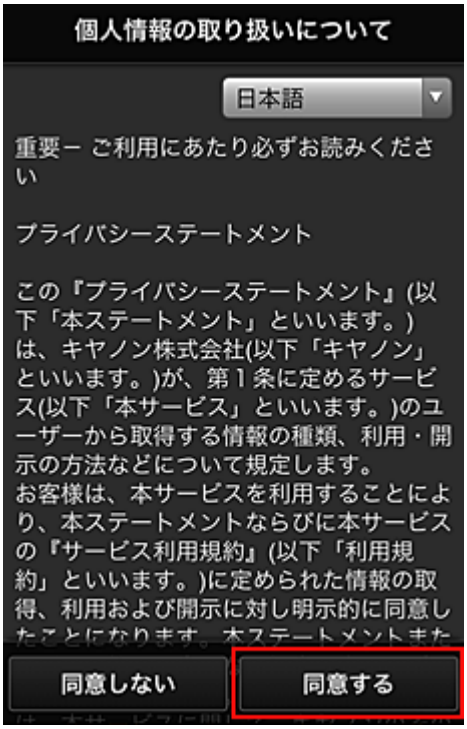
   - すでに登録されているメールアドレスを入力した場合は、登録済みメールが送信されます。別のメールアドレスを指定したい場合は案内に従い、アドレスを指定してください。

4. メールにある URL へアクセス

   以降の手順は通知メールを受け取ったユーザーの操作になります。

5. ［使用許諾］および［個人情報の取り扱いについて］画面で、内容を確認し、同意される場合は［同意する］を選ぶ





6. Canon Inkjet Cloud Printing Center ログイン用のパスワードを登録する

マイアカウント登録画面で登録したいパスワードを［パスワード］と［パスワード(確認用)］に入力し、［次へ］を選んでください。

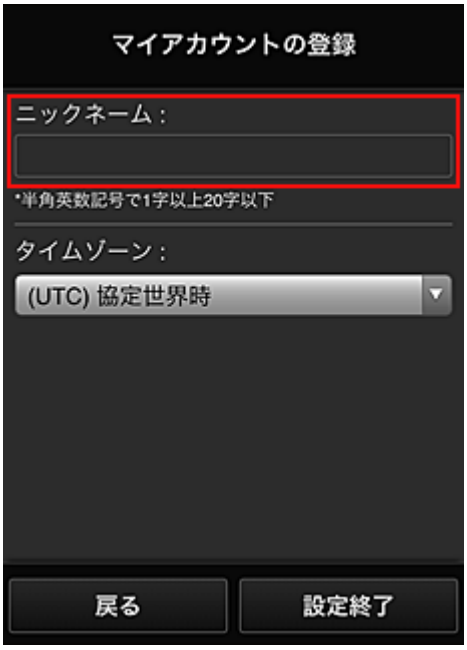


重要

- パスワードの入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 8 文字以上、32 文字以下。(英字は大文字小文字を区別する)

7. ［ニックネーム］を入力

任意のユーザー名を入力します。



重要

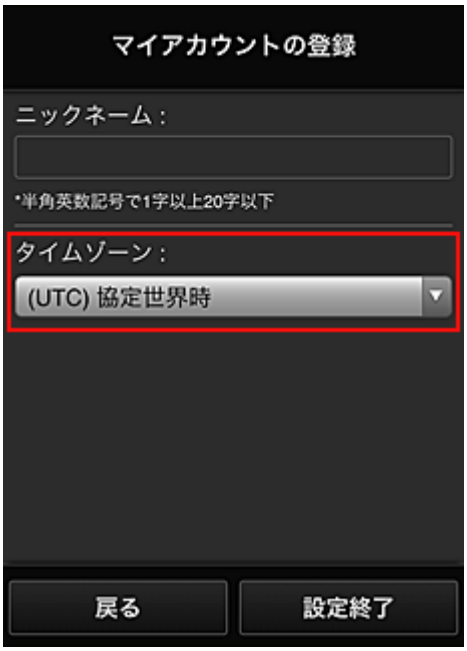
- ユーザー名の入力には、以下の文字制限があります。
  - 半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」で 1 文字以上、20 文字以下。（英字は大文字小文字を区別する）

8. ［タイムゾーン］を設定し、［設定終了］を選ぶ

リストからお住まいの地域を選んでください。お住まいの地域がない場合は、お住まいの地域に最も近い場所を選んでください。

［サマータイムを適用する］

タイムゾーンで選んだ地域が、サマータイムを実施している場合にのみ表示されます。
サマータイム適用の有無を選んでください。



本登録が完了し、登録完了のメールが送信されます。

参考

- MAXIFY クラウドリンクをご利用の場合、選んだユーザーの cookie をプリンター本体に記録し、ユーザー毎のログイン状態を復元します。cookie はプリンター 1 台に対し最大 8 人分まで記録可能です。

プリンター使用者の権限について

クラウドサービスを 1 つのプリンターに対して複数人で使用する場合、使用者は［管理者］と［一般ユーザー］のどちらかに区別されます。

参考

- 最初に登録したユーザーが［管理者］となります。使用者の権限は、［ユーザー管理］画面から変更することができます。

［管理者］の場合は、プリンター情報の変更やアプリの追加・削除、ユーザーの管理などを行うことができます。
［一般ユーザー］の場合は、プリンター情報の確認やアプリの起動などを行うことができます。
それぞれのユーザーが使用できる機能については、「Canon Inkjet Cloud Printing Center 画面説明」を参照してください。

MAXIFY クラウドリンクを利用する場合、本体管理画面で［マルチユーザーモード］にチェックマークを付けるとプリンターが［マルチユーザーモード］になり、ユーザーそれぞれがアプリを起動して印刷などを行うことができます。

参考

- 自身の［暗証コード］が未設定の場合、［マルチユーザーモード］にチェックマークを付けると［暗証コード］の設定画面が表示されます。
  ［キャンセル］を選んだ場合、［マルチユーザーモード］を設定することはできません。
- ［管理者］の場合、［一般ユーザー］の中に［暗証コード］が未設定のユーザーがいると［暗証コード］の設定を促すメールを送信するかを確認する画面が表示されます。
  - ［OK］を選ぶと［暗証コード］が未設定のユーザーにのみ通知メールが送信され、［マルチユーザーモード］が設定されます。
  - ［キャンセル］を選ぶと通知メールは送信されずに［マルチユーザーモード］が設定されます。

➡ Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング

Canon Inkjet Cloud Printing Center のトラブルシューティング

- アプリがインストールできない場合
- 登録済みのアプリがアプリ一覧で表示されない場合
- 更新ボタンを押しても情報が更新されない場合
- 登録用のメールが届かない場合
- 印刷ができない場合
- 何もしていないのに勝手に印刷される場合
- iOS や Mac で正しいパスワードを入力してもうまくログインできない場合

アプリがインストールできない場合

プリンターを購入した国または地域を確認してください。
購入した国・地域以外にプリンターを持ち出した場合、アプリのインストールはできません。

iP110 series をお使いの場合

プリンターを購入した国または地域を確認してください。
購入した国・地域以外にプリンターを持ち出した場合、アプリのインストールができない場合があります。
インストール済みのアプリについては、移動先の地域がアプリの対象地域であれば、引き続きご利用になれます。

登録済みのアプリがアプリ一覧で表示されない場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center の表示言語をご確認ください。
表示言語がアプリの非対象言語に切り替わると、アプリ一覧で表示されなくなりますが、登録状態は継続されています。
再びアプリの対象言語に切り替えると、アプリ一覧に表示されるようになり、起動や登録／解除などを行うことができます。

更新ボタンを押しても情報が更新されない場合

本体情報画面は、プリンターとの通信が必要になるため、即座に反映されない可能性があります。しばらく待ってから再度更新してください。
それでも更新されない場合は、プリンターがインターネットに接続されているかどうかを確認してください。

登録用のメールが届かない場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center ユーザー登録の際に、誤って別のメールアドレスを入力した可能性があります。

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

プリンターのホーム画面から  [セットアップ]（  [各種設定]）→  [Web サービス設定]→[Web サービス接続設定]→[IJ Cloud Printing Center 設定]→[本サービスから削除]を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合

プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス設定] → [Web サービス接続設定] → [IJCloudPrintingCtr] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種に液晶モニターがない場合

プリンター情報を表示→ [IJ Cloud Printing Center 設定] → [本サービスから削除] を行い、サービスの登録を解除してください。
プリンター情報の表示方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。

解除後、Canon Inkjet Cloud Printing Center のユーザー登録をはじめからやり直してください。

印刷ができない場合

印刷ができない場合は、以下を確認してください。

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。
- プリンターの液晶モニターに何もエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。
- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、プリンターのホーム画面から  [セットアップ]（  [各種設定]）→ [Web サービス問い合わせ] を行ってください。印刷が開始されない場合は、複数回問い合わせを行ってください。

お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。
- プリンターの液晶モニターに何もエラーメッセージが表示されていないことを確認してください。
- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス問い合わせ] を行ってください。印刷が開始されない場合は、複数回問い合わせを行ってください。

お使いの機種に液晶モニターがない場合

- プリンターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- LAN 接続されていて、LAN 環境がインターネットに接続されていることを確認してください。

- しばらく待っても印刷が開始されない場合は、一度プリンターの電源を切り、再度電源を入れ直してください。

トラブルが解決しない場合は、パソコンからプリンタードライバーを使用して印刷を行い、プリンターで正常に印刷できるか確認してください。
印刷できない場合は、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種のトラブルシューティングを参照してください。

参考

- 無線 LAN 接続の場合、プリンターの電源が入ってから通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。お使いのプリンターが無線ネットワークに接続されていることを確認し、しばらく待ってから印刷を行ってください。
- プリンターの電源が入っていない、ネットワーク接続がされていないなどの理由で、印刷を実行してから 24 時間以内に印刷処理がされない場合は、自動的に印刷ジョブがキャンセルされます。プリンターの電源とネットワーク接続を確認して、再度印刷を行ってください。

何もしていないのに勝手に印刷される場合

Canon Inkjet Cloud Printing Center のサービスを、第三者が不正に使用している可能性があります。

お使いの機種の液晶モニターがカラーの場合

プリンターのホーム画面から  [セットアップ]（  [各種設定]）→  [Web サービス設定]→[Web サービス接続設定]→[IJ Cloud Printing Center 設定]→[本サービスから削除]を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種の液晶モニターがモノクロの場合

プリンターの操作パネルで  セットアップボタンを選び、[Web サービス設定]→[Web サービス接続設定]→[IJCloudPrintingCtr]→[本サービスから削除]を行い、サービスの登録を解除してください。

お使いの機種に液晶モニターがない場合

プリンター情報を表示→[IJ Cloud Printing Center 設定]→[本サービスから削除]を行い、サービスの登録を解除してください。
プリンター情報の表示方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「プリンター情報を確認する」を参照してください。

解除後、Canon Inkjet Cloud Printing Center のユーザー登録をはじめからやり直してください。

iOS や Mac で正しいパスワードを入力してもうまくログインできない場合

パスワードに¥または₩マークが含まれている場合、iOS や Mac では「バックスラッシュ」を入力してください。「バックスラッシュ」の入力方法は OS のヘルプを参照してください。

Canon PRINT Inkjet/SELPHY でスマートフォンやタブレットからかんたん印刷

アプリケーションソフト「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」を使えば、スマートフォン・タブレット端末（iOS／Android）に保存した写真を、ワイヤレスでかんたんに印刷できます。
また、スキャンしたデータ（PDF または JPEG）を、パソコンを使わずにスマートフォンやタブレットで直接受け取ることもできます。



Canon PRINT Inkjet/SELPHY は App Store や Google Play からダウンロードできます。

以下の手順で、かんたんに写真を印刷できます。

1. Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロード

   iOS はこちら

   Android はこちら
2. アプリケーションソフトの画面に従って、プリンターを Wi-Fi に接続
3. アプリケーションソフトの［写真印刷］で写真を選び、［プリント］をタップ

Windows RT での印刷

Windows RT8.1 以降をご使用の場合は、プリンターをネットワークに接続するだけでかんたんに印刷することができます。

ネットワークへの接続方法については、お使いのスマートフォン、タブレットまたはパソコンからプリンターをご使用いただくためのセットアップ URL（http://www.canon.com/ijsetup）を参照してください。

接続が完了すると、印刷時の詳細設定ができるソフトウェア「Canon Inkjet Print Utility」が自動でダウンロードされます。
Canon Inkjet Print Utility を使えば、プリンターの状態を確認したり、詳細な印刷設定を行ったりすることができます。（お使いの環境やプリンターとの接続方法によって使用できる機能は異なります。）

オンラインストレージ連携機能

プリンターは、Evernote などのオンラインストレージサービスに連携することができます。



オンラインメモサービス 「Evernote」との連携

ご使用のパソコンに Evernote 専用のクライアントアプリケーションソフトがインストールされている場合は、スキャンした画像をアプリケーションソフトに取り込み、Evernote のサーバーにアップロードすることができます。

アップロードした画像は、ほかのスマートフォン、タブレットまたはパソコンなどから閲覧できます。

Evernote をご利用になるには、アカウントの作成が必要となります。アカウント作成については、Evernote の「アカウント作成」を参照してください。

設定方法

Windows をご使用の場合

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）のスキャン設定ダイアログボックスで、設定したい項目を選び、[アプリケーション設定] の [アプリケーションに転送する] で Evernote を選んでください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「スキャン設定ダイアログボックス」を参照してください。

Mac OS をご使用の場合

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）のスキャン設定ダイアログで、設定したい項目を選び、[アプリケーション設定] の [アプリケーションに転送する] で Evernote を選んでください。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「スキャン設定ダイアログ」を参照してください。

重要

- Evernote のサービス内容は、予告なく変更／停止される可能性があります。

セット方法

- **用紙をセットする**
  - 用紙のセットについて
  - 普通紙／写真用紙／はがきをセットする
  - 封筒をセットする
- **原稿をセットする**
  - 原稿のセット位置について
  - 原稿台ガラスに原稿をセットする
  - ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
  - 機能ごとの原稿のセット方法
  - セットできる原稿について
- **USB フラッシュメモリーをセットする**
  - USB フラッシュメモリーをセットする
  - USB フラッシュメモリーを取り外す
- **インクタンクを交換する**
  - インクタンクを交換する
  - インクの状態をタッチスクリーンで確認する

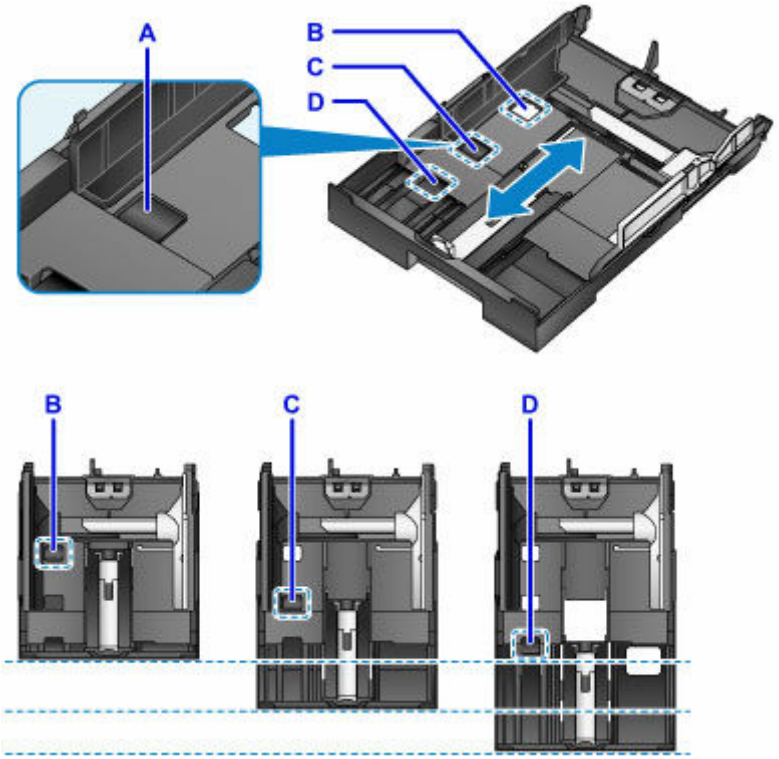
用紙をセットする

- 用紙のセットについて
- 普通紙／写真用紙／はがきをセットする
- 封筒をセットする

用紙のセットについて

用紙に合わせてカセットを調節する

カセットは、底部のロック（A）を押しながら手前に引き出すことで、3 段階の長さになります。



B：収納時のロック位置

本製品を長期間使用しないときや、移送する場合は、B の位置にします。カセットが本体と同じ幅に収まります。この状態では、用紙をセットできません。

C：A4 までのサイズのロック位置

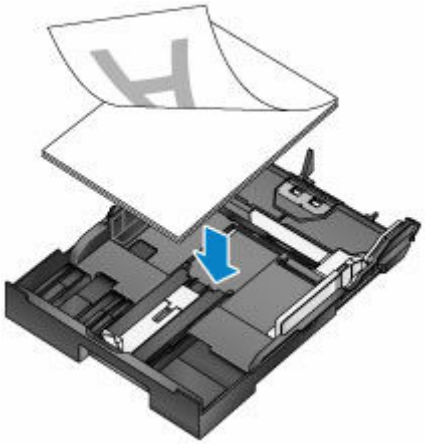
A4 までのサイズの用紙は、C の位置にしてセットします。カセットは本体には収まりませんが、排紙トレイを引き出すことで用紙をカバーできます。通常はこの位置で使用します。

D：A4 より大きいサイズ用のロック位置

A4 より大きいサイズ（リーガル）の用紙は、D の位置にしてセットします。この位置で本体にセットすると、排紙トレイを引き出してもカセットの全体はカバーできません（少しはみ出した状態になります）。

用紙は印刷したい面を下にしてセットする

写真用紙など、用紙に表裏がある場合は、より白い面（光沢のある面）を下に向けてセットします。



参考

- 印刷する際は、用紙サイズと用紙の種類を正しく設定してください。用紙サイズと用紙の種類を間違えると、正しい印刷品質で印刷されなかったりする場合があります。

  カセットへの用紙のセット方法については、以下を参照してください。

  ➡ 普通紙／写真用紙／はがきをセットする
  ➡ 封筒をセットする

普通紙／写真用紙／はがきをセットする

カセットに用紙をセットします。

重要

- 普通紙を A6、L 判、2L 判、KG サイズ、はがきの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。

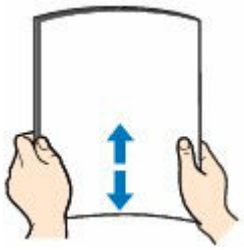
参考

- 本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。
- 封筒をセットする場合は、「封筒をセットする」を参照してください。

用紙セットの操作

1. 用紙の準備をする

   セットする用紙をそろえます。用紙に反りがあるときは、反りを直してください。



参考

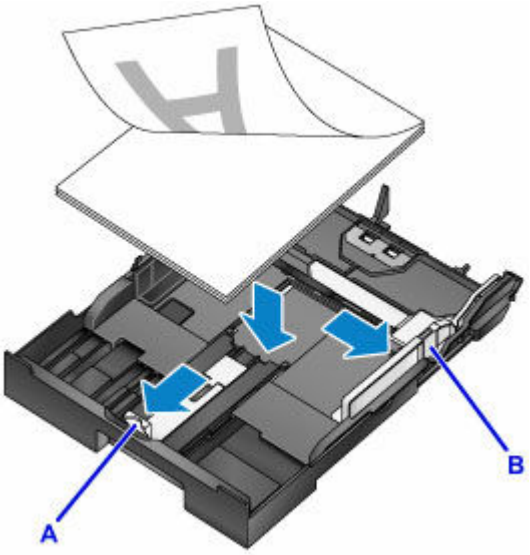
- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては「印刷面が汚れる／こすれる」の「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」を参照してください。
- キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

2. カセットを引き出す



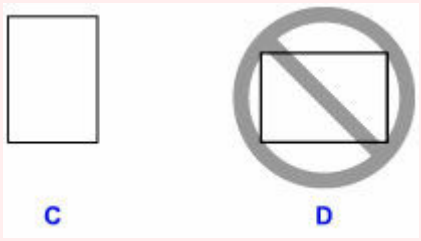
3. 手前の用紙ガイド（A）と右の用紙ガイド（B）を広げる

4. **印刷したい面を下に**して、カセットの中央に合わせて用紙をセットする



重要

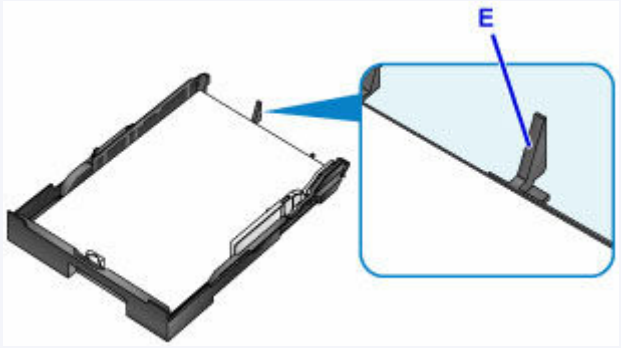
- 用紙（往復はがきを除く）は縦方向（C）にセットしてください。横方向（D）にセットすると紙づまりの原因となります。



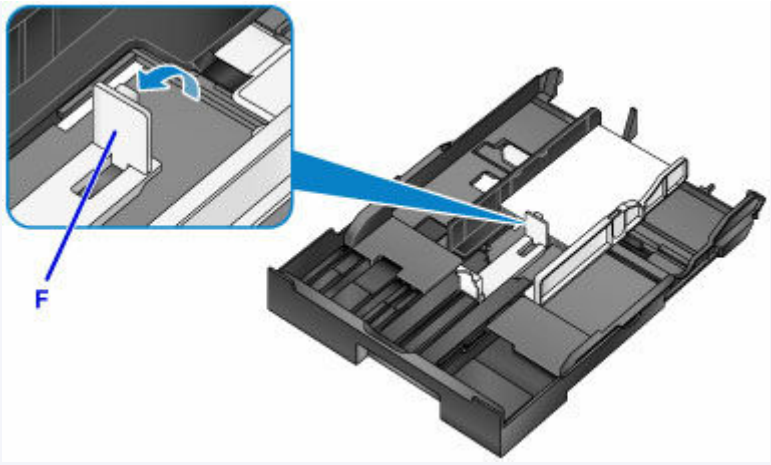
参考

- 写真用紙など、用紙に裏表がある場合は、より白い面（光沢のある面）を下に向けてセットします。
- 用紙は、図のようにカセットの縁に合わせて重ねてください。

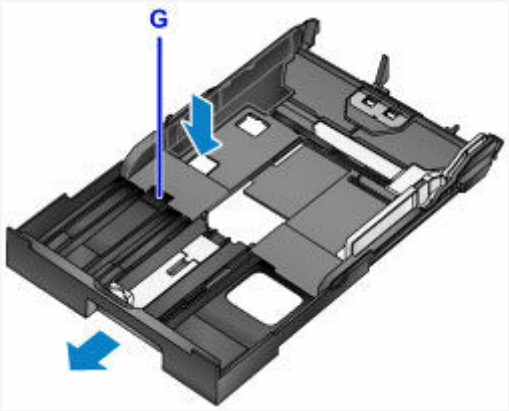
  用紙を突起（E）に突き当てると、正しく給紙されない場合があります。



- 2L 判までの小さいサイズの用紙をセットする場合は、用紙ガイドのツメ（F）を起こします。



- A4 サイズより大きい用紙をセットする場合は、カセットのロック（G）を押して、カセットをいっぱいまで引き出します。

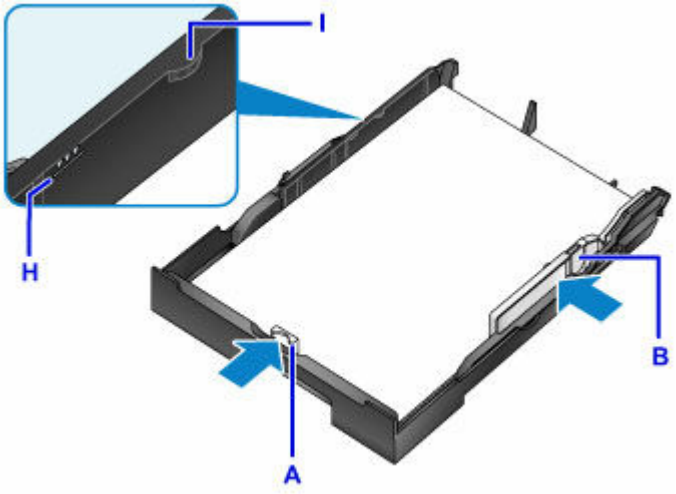


5. 手前側の用紙ガイド（A）を用紙の端に合わせる

   カセットにサイズが書かれている用紙サイズの場合は、用紙ガイド（A）が「カチッ」と音がして止まる位置に合わせます。

6. 右の用紙ガイド（B）を動かし、用紙の両端に合わせる

   用紙ガイドを用紙に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

- 用紙は最大用紙量のマーク（H）の線を超えないようにセットしてください。

- 用紙は用紙ガイドのツメ（I）より下にセットしてください。

7. カセットを本体に差し込む

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。



参考

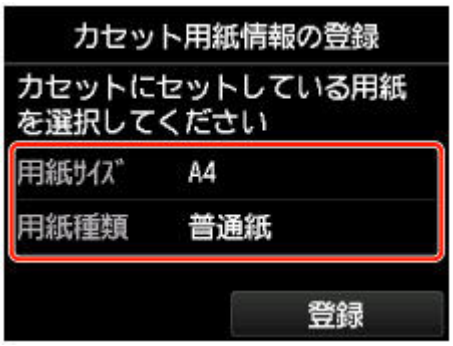
- A4 サイズまでの用紙をセットした場合は、引き出された排紙トレイと同じ位置でカセットが止まり、排紙トレイがカセットのカバーになります。
- A4 サイズより大きな用紙をセットした場合は、カセットが延長されているので排紙トレイよりはみ出した状態で止まります。無理に押し込むと、本体やカセットが破損する場合があります。



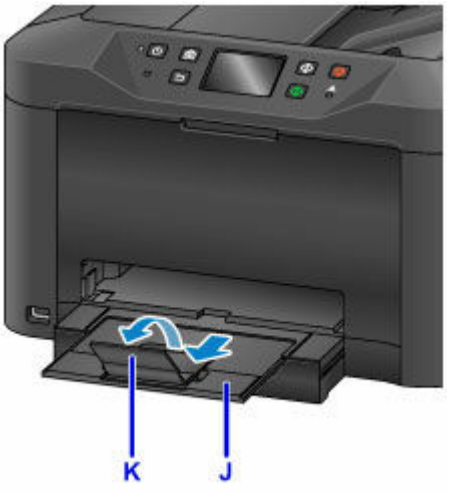
8. カセットにセットした用紙に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］をタップする

画面にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って登録を終了します。

印刷時の用紙設定



9. 補助トレイ（J）を引き出し、排紙サポート（K）を開く



参考

- 印刷するときは、操作パネルまたはプリンタードライバーの印刷設定で、セットした用紙に合わせて用紙サイズと用紙の種類を設定します。

はがきに印刷するときの注意

重要

- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。

キヤノン製プリンタードライバーから印刷する場合

用紙の種類ではがきに対応した種類を設定します。

- はがきに印刷する（Windows）
- はがきに印刷する（Mac OS）

印刷を実行すると、設定に従った印刷ガイドが表示されますので、メッセージに従って、**はがきの印刷したい面を下に**してセットしてください。

- 用紙セットの操作

キヤノン製プリンタードライバー以外から印刷する場合

はがきの通信面にコピーや印刷する場合は、**はがきのあて名面を上に**して**郵便番号欄を奥に**向けてカセットにセットします。

- 用紙セットの操作



封筒をセットする

プリンタードライバーで適切に設定することにより、あて名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重要

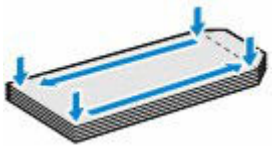
- 次のような封筒は、紙づまりや故障の原因になるため使用できません。
  - 角形封筒
  - 型押しやコーティングなどの加工された封筒
  - ふたが二重になっている封筒
  - ふたがシールになっている長形封筒
  - ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒

参考

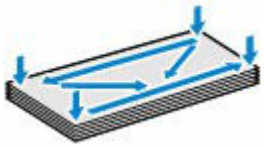
- 本製品で使用できる用紙サイズ、重さについては、「使用できる用紙について」を参照してください。

1. 封筒の準備をする
   - 封筒の四隅と縁を押して平らにします。

     長形封筒

     洋形封筒

   - 封筒が反っている場合は、両手で対角線上の端を持って、逆方向に軽く曲げます。

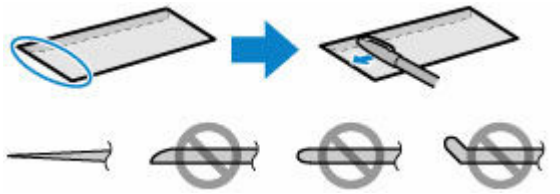
     

   - 封筒のふた部分が折れ曲がっている場合は平らにします。
   - 挿入方向の先端部をペンで押して平らに伸ばします。

     長形封筒

洋形封筒



上の図は、封筒の先端部の断面図です。

重要

- 平らになっていなかったり、端がそろっていなかったりすると、紙づまりの原因になることがあります。反りやふくらみが 3 mm（0.1 inch）を超えないようにしてください。

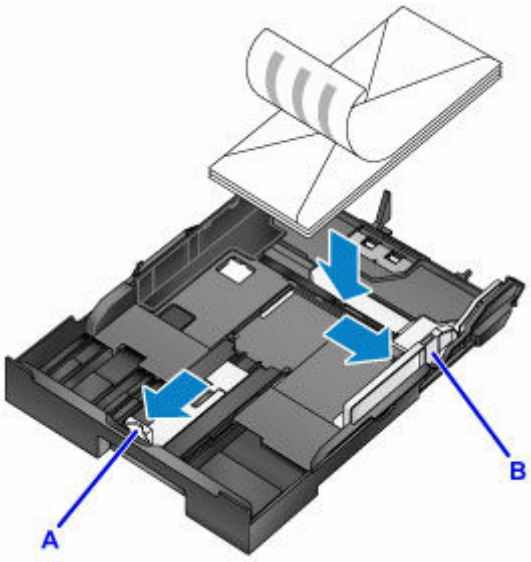
2. カセットを引き出す



3. 手前の用紙ガイド（A）と右の用紙ガイド（B）を広げる

4. **封筒の印刷したい面を下に**して、カセットの中央に合わせて封筒をセットする

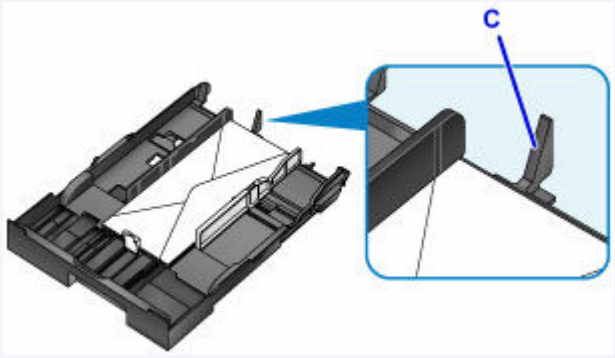
一度に 10 枚までセットできます。



参考

- 封筒は、図のようにカセットの縁に合わせて重ねてください。

封筒を突起（C）に突き当てると、正しく給紙されない場合があります。



- **長形封筒**

  ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。



- **洋形封筒**

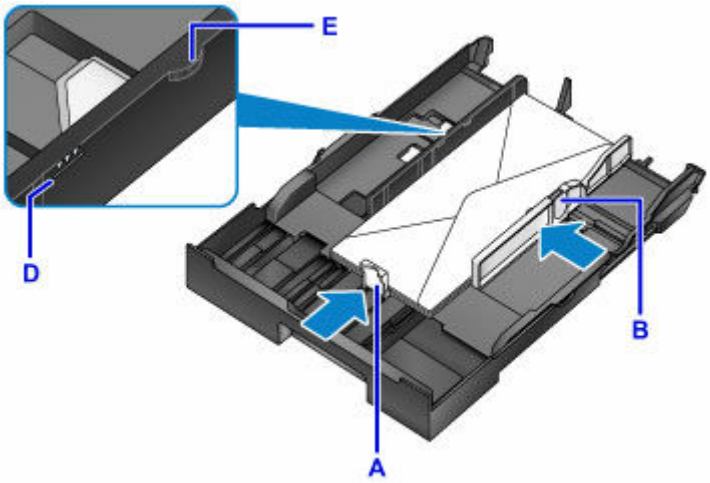
  あて名面を下にし、ふたを折りたたんで、縦置きでセットします（郵便番号欄がある場合は郵便番号欄を奥に向けてください）。



5. 手前側の用紙ガイド（A）を封筒の端に合わせる

6. 右の用紙ガイド（B）を動かし、封筒の両端に合わせる

   用紙ガイドを封筒に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



参考

- 封筒は最大用紙量のマーク（D）の線を超えないようにセットしてください。
- 封筒は用紙ガイドのツメ（E）より下にセットしてください。

7. カセットを本体に差し込む

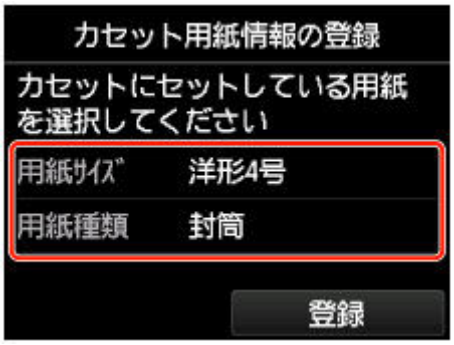
   奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

   カセットを差し込むと、タッチスクリーンにカセットの用紙情報の登録画面が表示されます。

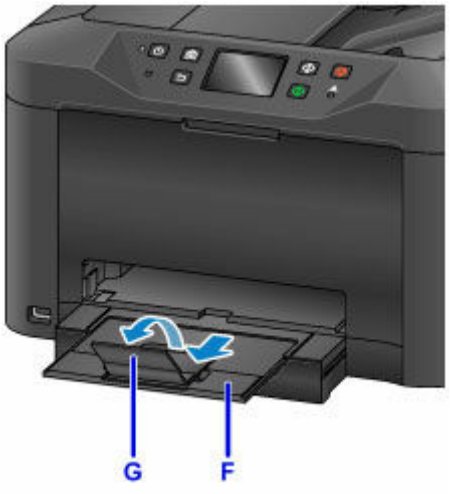


8. カセットにセットした封筒に合わせて［用紙サイズ］と［用紙種類］を設定し、［登録］をタップする

   印刷時の用紙設定



9. 補助トレイ（F）を引き出し、排紙サポート（G）を開く



参考

- 印刷するときは、プリンタードライバーの印刷設定で、セットした封筒に合わせて封筒の種類や印刷の向きなどを設定します。

原稿をセットする

- 原稿のセット位置について
- 原稿台ガラスに原稿をセットする
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
- 機能ごとの原稿のセット方法
- セットできる原稿について

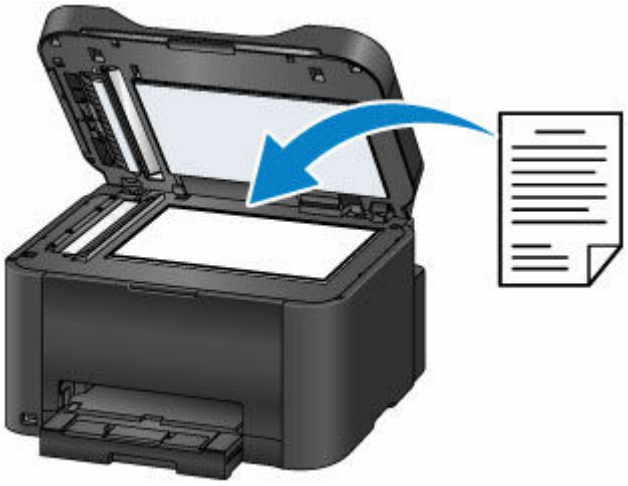
原稿のセット位置について

原稿は、原稿台ガラスと ADF（自動原稿給紙装置）の 2 箇所にセットすることができます。

原稿のサイズや種類、用途によってセットする場所を選んでください。

セットできる原稿について

原稿台ガラスに書類や写真、本などをセットする



ADF に複数枚の同じサイズや厚さの原稿をセットする

原稿を 1 枚だけセットすることもできます。



参考

- ADF には、両面印刷された原稿をセットして、コピー、ファクス、またはスキャンすることもできます。
- 原稿をよりきれいに読み取りたいときは、原稿台ガラスにセットしてください。

原稿台ガラスに原稿をセットする

1. 原稿台カバーを開ける

重要

- 原稿台カバーの開閉時に、操作パネルのボタンやタッチスクリーンには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。

2. **原稿の読み取る面を下に**して、原稿台ガラスにセットする

- セットできる原稿について
- 機能ごとの原稿のセット方法



重要

- 原稿をセットするときには、以下のことに注意してください。スキャナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損したりすることがあります。
  - 原稿台ガラスに 2.0 kg 以上の物をのせない
  - 原稿を強く押さえる（2.0 kg を超える力で）など、原稿台ガラスに重みをかけない

3. 原稿台カバーをゆっくり閉じる



重要

- 原稿台ガラスに原稿をセットしたあと、原稿台カバーをきちんと閉じてコピー、ファクス、またはスキャンをしてください。

ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

参考

- 原稿をよりきれいに読み取りたいときは、原稿台ガラスにセットしてください。

1. 原稿台ガラスに原稿がないことを確認する

2. 原稿トレイを開く



3. 原稿を原稿トレイにセットし、ピッという音が鳴るまで差し込む

原稿の読み取る面を上にして、原稿トレイにセットしてください。

➡ セットできる原稿について

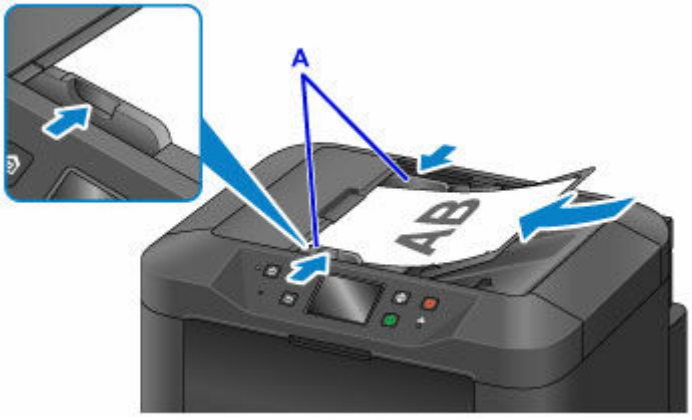
参考

- ［本体の基本設定］の［音の調整］で、アラーム音が鳴らないように設定している場合は、原稿トレイに原稿をセットしても音は鳴りません。

➡ 本体の基本設定

4. 原稿ガイド（A）を原稿の幅に合わせる

原稿ガイドを原稿に強く突き当てすぎないようにしてください。うまく給紙されない場合があります。



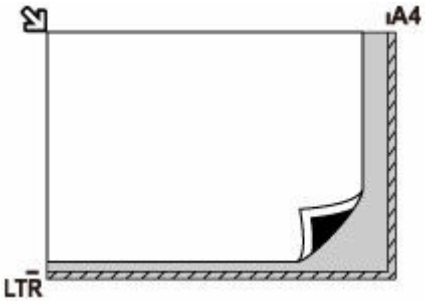
機能ごとの原稿のセット方法

ご使用になる機能に合わせて原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては、正しく読み取れない場合があります。

原稿位置合わせマーク（）に合わせてセットする

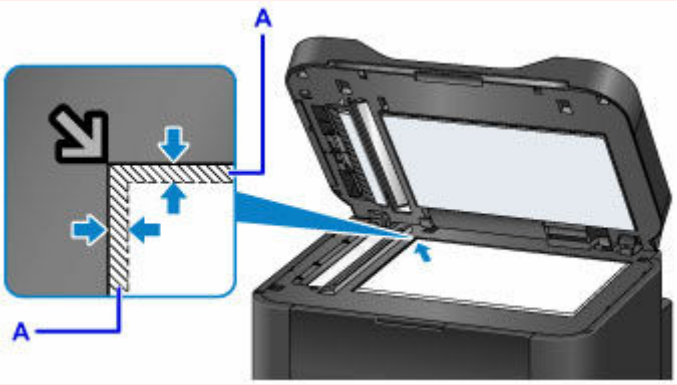
- コピーまたはファクスする原稿をセットする場合
- ［スキャン］の［原稿種類］で、［文書］または［写真］を選び、読取サイズに A4、レターなどの定型サイズを指定した場合
- パソコンからアプリケーションソフトを使用して、
  - 文書／雑誌／新聞をスキャンする場合
  - A4、レターなどの定型サイズを指定してスキャンする場合

原稿位置合わせマーク（）に合わせ、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



重要

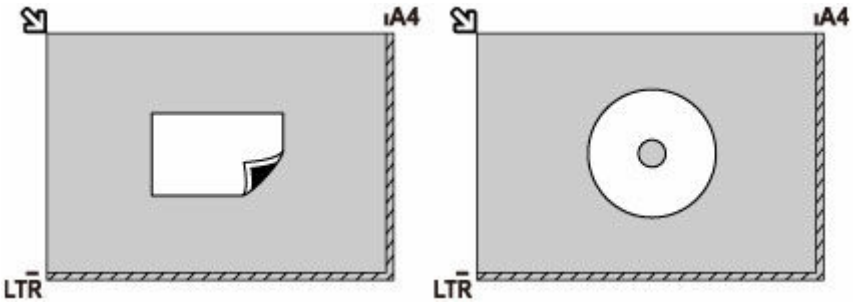
- 原稿台ガラスの端から 1 mm（0.04 inch）の部分（A）は読み取れません。



原稿台ガラスの中央にセットする

- ［スキャン］の［原稿種類］で、［写真］を選び、読取サイズに［自動読取］を指定して 1 枚スキャンする場合

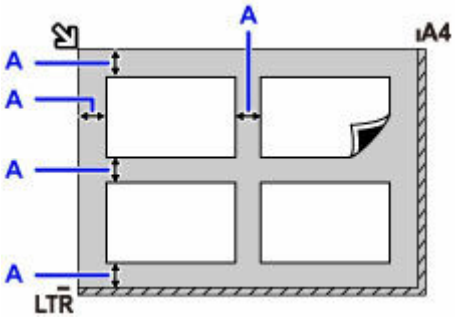
原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



複数枚の原稿をセットする

- ［スキャン］の［原稿種類］で、［写真］を選び、読取サイズに［自動読取（複数）］を指定して複数枚スキャンする場合
- パソコンからアプリケーションソフトを使用して、プリント写真／はがき／名刺を複数枚スキャンする場合

原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、**読み取る面を下に**して原稿を置いてください。原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 inch）以上離してください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。最大 12 枚まで置くことができます。



A：1 cm（0.4 inch）以上

参考

- 傾き補正機能により、約 10 度までの傾きは自動的に補正されます。長い辺が約 180 mm（7.1 inches）以上の写真の傾きは補正できません。
- 長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）は正しくスキャンできない場合があります。

セットできる原稿について

原稿台ガラス

項目	内容
原稿の種類	文書、雑誌、新聞 プリント写真、はがき、名刺、ディスク（BD/DVD/CD など） ADF にセットできない原稿
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216 mm x 297 mm（8.5 inches x 11.7 inches）
枚数	1 枚または複数枚*
厚さ	最大 10 mm（0.4 inch）

* 選んだ機能により、複数枚のセットが可能です。

機能ごとの原稿のセット方法

ADF（自動原稿給紙装置）

項目	内容
原稿の種類	サイズ、厚さ、および重さが同じ、1 枚以上の普通紙原稿
サイズ（幅 x 長さ）	最大 216 mm x 356 mm（8.5 inches x 14.0 inches） 最小 148 mm x 148 mm（5.8 inches x 5.8 inches） 両面コピー、2 in 1 コピー、4 in 1 コピー、または両面スキャンの場合は A4 またはレターサイズのみ
枚数	A4 とレターサイズ：最大 50 枚（75 g /m^2）、高さ 5 mm（0.20 inch）以下 リーガルサイズ：最大 10 枚（75 g /m^2）、高さ 1 mm（0.04 inch）以下 上記以外の原稿：最大 1 枚
厚さ	0.07～0.13 mm（0.003～0.005 inch）
質量	60～95 g /m^2

参考

- 原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、乾いてからセットしてください。

  のりが付いている原稿は、乾いていても ADF にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
- 原稿にホチキスの針やクリップなどが付いていないことを確認してからセットしてください。
- リーガルサイズの原稿は、ADF にセットしてください。
- 次のような原稿は ADF にセットしないでください。紙づまりの原因となります。
  - しわや折り目のある原稿
  - 丸まっている原稿
  - 破れている原稿
  - 穴のあいている原稿
  - のりが付いている原稿
  - 付せんが付いている原稿
  - カーボン紙が付いている原稿

- 表面加工が施されている原稿
- 薄質半透明紙または薄すぎる原稿
- 写真または厚すぎる原稿

USB フラッシュメモリーをセットする

- USB フラッシュメモリーをセットする
- USB フラッシュメモリーを取り外す

USB フラッシュメモリーをセットする

印刷できる画像データ：

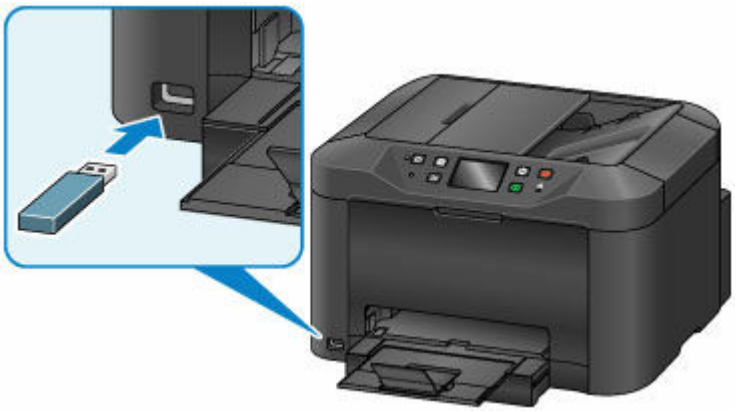
- 本製品は DCF Ver.1.0/2.0 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）および TIFF（Exif ver.2.2/2.21/2.3 準拠）に対応しています。そのほかの静止画（RAW 画像等）や動画は印刷できません。
- 本製品で原稿種類を［写真］、データ形式を［JPEG］に設定してスキャンし、保存した画像データ（拡張子「.jpg」）に対応しています。

参考

- 本製品には、Microsoft 社より使用を許諾された exFAT ファイルシステムの技術が組み込まれています。
- ご使用の USB フラッシュメモリーが本製品の USB メモリー接続部に取り付けられない場合は、USB フラッシュメモリー用延長ケーブルが必要なことがあります。電器店にてお買い求めください。
- ご使用の USB フラッシュメモリーによっては動作の保証ができない場合があります。
- セキュリティ設定がされている USB フラッシュメモリーは使用できない場合があります。

1. USB フラッシュメモリーをセットする

   下の図を参照しながら、端子の向きに注意してまっすぐ差し込んでください。



USB フラッシュメモリーを取り外す

1. データが読み込み／書き込み中でないことを確認する

   データの読み込み／書き込み中は、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。

   重要

   - データの読み込み／書き込み中は、USB フラッシュメモリーを抜かないでください。また、処理中に電源を切らないでください。

   参考

   - セットした USB フラッシュメモリーにアクセスランプがある場合は、USB フラッシュメモリーの取扱説明書を参照して、データが読み込み／書き込み中でないことを確認してください。

2. USB フラッシュメモリーを取り外す

   USB フラッシュメモリーをつまんで、まっすぐに取り外します。

インクタンクを交換する

- インクタンクを交換する
- インクの状態をタッチスクリーンで確認する

インクタンクを交換する

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されてお知らせします。エラーメッセージの内容を確認してから、エラーの対処をしてください。

メッセージが表示されている

参考

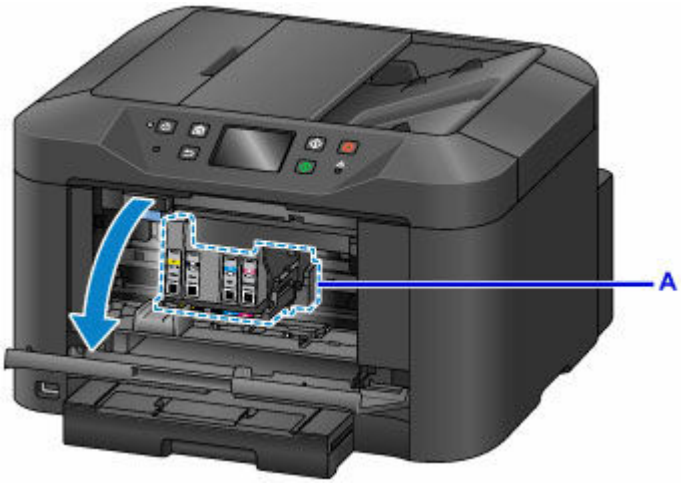
- インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入ったりする場合は、「お手入れの手順について」を参照してください。
- 本製品で使用できるインクタンクの型番や、インクタンクの取り扱い上のご注意については、「インクタンクの型番とご注意」を参照してください。

交換の操作

インクタンクの交換が必要な場合は、次の手順で行います。

1. 電源が入っていることを確認し、フロントカバーを開く

   タッチスクリーンに交換が可能なインクタンクが表示され、そのインクタンクの交換位置へプリントヘッドホルダー（A）が移動します。



⚠注意

- プリントヘッドホルダーが動いている間は、手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。プリントヘッドホルダーの動きが止まるまでは、手を触れないでください。

重要

- 新しいインクタンクが用意できるまでは、インクタンクを取り外さないでください。
  - インクタンクを取り外すと、新しいインクタンクを取り付けるまで本製品は動作しません。
  - いったん取り外したインクタンクは、そのまま再度取り付けても本製品は動作しません。
- 交換位置にないインクタンクは取り外せません。無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となるおそれがあります。
- 本体内部の金属部分やそのほかの部分に触れないでください。
- フロントカバーを 60 分以上開けたままにすると、プリントヘッドホルダーが右側へ移動します。その場合は、いったんフロントカバーを閉じ、再度開けてください。

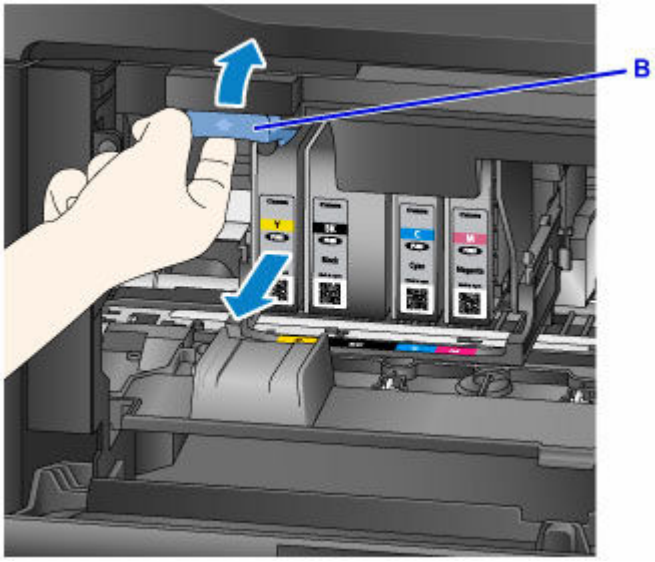
参考

- タッチスクリーンにインクタンク交換のご注意の画面が表示された場合は、確認して［OK］をタップしてください。

2. タッチスクリーンに交換するインクタンクが表示されている場合は、インクタンク取り出しレバー（B）を押し上げる

インクタンクが排出されます。

別のインクタンクを交換する場合は、交換するインクタンクの画面が表示されるまで、［次へ］をタップします。

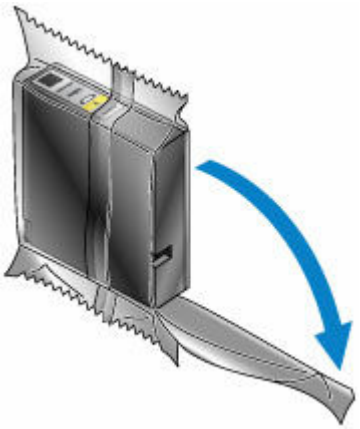


重要

- 取り出したインクタンクは、速やかに袋に入れてください。インクが漏れて衣服や周囲を汚す場合があります。
- インクタンク以外の部分には触れないでください。
- 空になったインクタンクは地域の条例に従って処分してください。

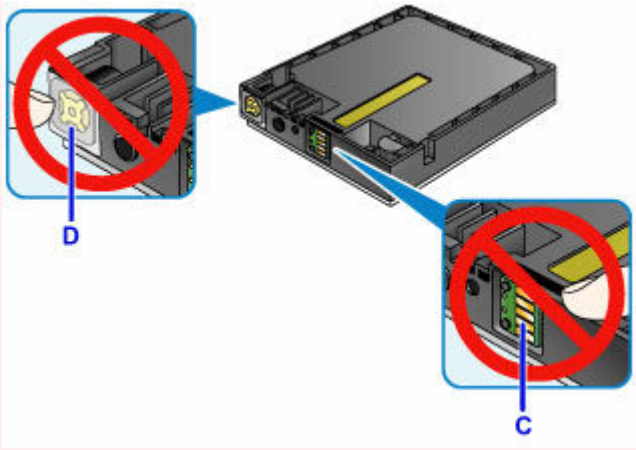
  また、キヤノンでは使用済みインクタンクの回収を推進しています。
- インクタンクを落としたり、力を加えたりするなど乱暴に扱うことは避けてください。

3. インクタンクを袋から取り出す

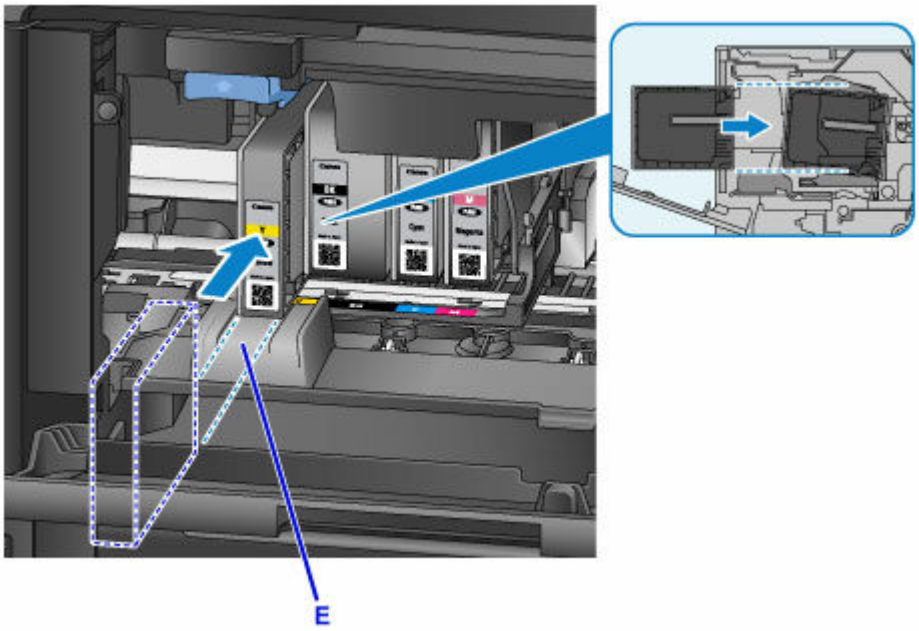


重要

- インクタンクのコンタクト面（C）やジョイント面（D）には触れないでください。



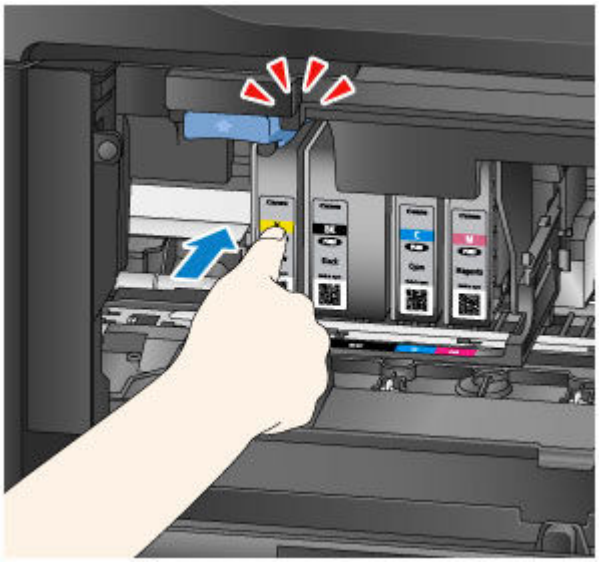
4. 新しいインクタンクを本体の取り付けガイド（E）に沿わせて差し込む



重要

- 間違ったインクタンクは差し込めません。取り付け位置の下部に付いているラベルを確認し、正しいインクタンクを取り付けてください。

5. インクタンクを「カチッ」と音がするまでしっかり押して取り付ける



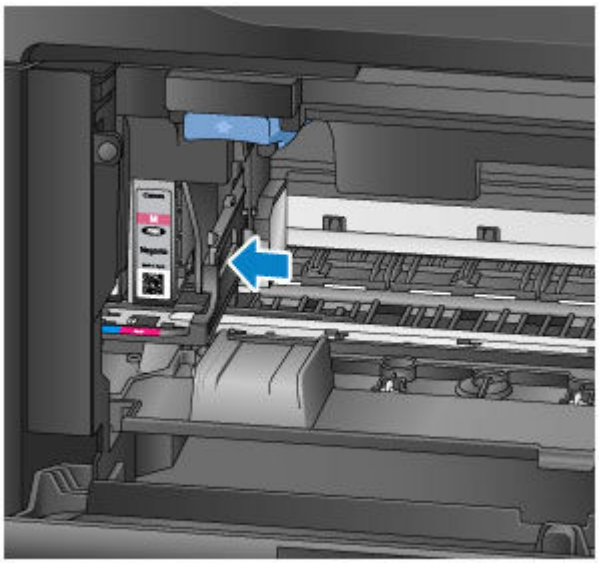
6. タッチスクリーンの［終了］をタップする

画面に［次へ］が表示されている場合は、他にも交換できるインクタンクがあります。

続けてインクタンクを交換する場合は、［次へ］をタップし、手順 2 から繰り返します。

インクタンクの交換を終了する場合は、画面に［終了］が表示されるまで［次へ］をタップします。

プリントヘッドホルダーが待機位置に移動します。この位置ではインクの取り出しはできません。



重要

- ひとつでもセットされていないインクタンクがあると印刷できません。かならずすべてのインクタンクをセットしてください。
- セットしたインクタンクは、交換が可能なメッセージが表示されるまで取り外すことはできません。

7. フロントカバーを閉じる



インクタンクの交換後、自動的にインクをかき混ぜる動作が開始されます。動作音がしなくなるまでお待ちください（約 1～2 分）。

参考

- タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されている場合は、エラーの対処をしてください。

  ➡ メッセージが表示されている
- 罫線がずれて印刷されるなど、プリントヘッドの位置ずれが確認されたときには、プリントヘッドの位置を調整します。
- 操作中に動作音がする場合がありますが、正常な動作です。

インクタンクの型番とご注意

本製品で使用できるインクタンクの型番は、以下のとおりです。



PGI-2300XL<BK>



PGI-2300<BK>



PGI-2300XL<C>



PGI-2300<C>



PGI-2300XL<M>



PGI-2300<M>



PGI-2300XL<Y>



PGI-2300<Y>

重要

- インクタンクに穴を開けるなどの改造や分解をすると、インクが漏れ、本製品の故障の原因となることがあります。改造・分解はお勧めしません。
- インクの詰め替えなどによる非純正インクのご使用は、印刷品質の低下やプリントヘッドの故障の原因となることがあります。安全上問題はありませんが、まれに、純正品にないインク成分によるとみられるプリントヘッド部分の発熱・発煙事例*も報告されています。キヤノン純正インクのご使用をお勧めします。

  (* すべての非純正インクについて上記事例が報告されているものではありません。)
- 非純正インクタンクまたは非純正インクのご使用に起因する不具合への対応については、保守契約期間内または保証期間内であっても有償となります。
- 非純正インクタンクまたは非純正インクを使用した製品の修理においては、保守契約の有無や有償修理・無償修理を問わず、追加の特殊点検等のための、特別料金をいただく場合があります。
- インクタンクの交換は速やかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルがつまる原因になります。また、インクタンクの交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「取付期限」までに本製品に取り付けてください。また、開封後 6 ヶ月以内に使い切るようにしてください (本製品に取り付けた年月日を、控えておくことをお勧めします)。

参考

- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ写真を印刷したりするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。また、本製品の性能を維持するために行うクリーニングや強力クリーニングでも、各色のインクが使われます。

  インクがなくなった場合は、速やかに新しいインクタンクに交換してください。

  ➡ インクについて知っておきたいこと

インクの状態をタッチスクリーンで確認する

参考

- 1 色または複数のインクが少なくなると、ホーム画面の  が  に変わります。  が表示された場合は、ここの操作で少なくなったインクを確認してください。

1. 電源が入っていることを確認し、ホーム画面を表示する

   ホーム画面が表示されていない場合は、ホームボタンを押して表示させてください。

2. ホーム画面の  をタップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   インクの残量についてお知らせがあるときは、図の A の部分にマークが表示されます。



例： 

インクが少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

参考

- この画面は、インクの推定残量を表示しています。
- ［現在の推定インクレベル］画面は、ホーム画面の［セットアップ］をタップし、セットアップメニューの［推定インクレベル］を選んでも表示することができます。
- ［インクの型番］をタップすると、［インクの型番］画面が表示され、インクタンクの型番を確認できます。この画面で、［型番印刷］をタップすると、インクの型番を印刷できます。また、［インクを購入］をタップすると、QR コードが表示され、インク購入サイトへアクセスすることができます。インターネットの接続料金はお客様のご負担になります。
- 印刷中にタッチスクリーンに表示される画面でも、インクの状態を確認することができます。
- パソコンでインクの状態を確認することができます。

  ➡ パソコンでインクの状態を確認する（Windows）
  ➡ パソコンでインクの状態を確認する（Mac OS）

お手入れ（メンテナンス）

- 印刷にかすれやむらがあるときには
- パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）
- パソコンからメンテナンス機能を実行する（Mac OS）
- 本製品を清掃する

印刷にかすれやむらがあるときには

- お手入れの手順について
- ノズルチェックパターンを印刷する
- ノズルチェックパターンを確認する
- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドを強力クリーニングする
- プリントヘッド位置を調整する
- 手動でプリントヘッド位置を調整する

お手入れの手順について

印刷結果がかすれるときや、色が正しく印刷されないとき、罫線がずれるなど印刷結果が思わしくないときは、以下の手順に沿ってお手入れを行ってください。

参考

- プリンタードライバーの印刷品質を上げることで、印刷結果が改善される場合があります。
  - 印刷品質の変更や画像データの補正（Windows）
  - 印刷品質の変更や画像データの補正（Mac OS）

印刷がかすれている、むらがある場合：

ステップ 1 ノズルチェックパターンを印刷する

本製品から行う

- ノズルチェックパターンを印刷する

パソコンから行う

- ノズルチェックパターンを印刷する（Windows）
- ノズルチェックパターンを印刷する（Mac OS）

ステップ 2 ノズルチェックパターンを確認する

パターンに欠けや白い横すじがある場合

ステップ 3 プリントヘッドをクリーニングする

本製品から行う

- プリントヘッドをクリーニングする

パソコンから行う

- プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
- プリントヘッドをクリーニングする（Mac OS）

クリーニング後、ノズルチェックパターンを印刷して確認：ステップ 1

ステップ 1 からステップ 3 の手順を 2 回繰り返しても改善されない場合

ステップ 4 プリントヘッドを強力クリーニングする

本製品から行う

- プリントヘッドを強力クリーニングする

パソコンから行う

- プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
- プリントヘッドをクリーニングする（Mac OS）

参考

- ステップ 4 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

罫線がずれるなど印刷に均一感がない場合：

ステップ プリントヘッド位置を調整する

本製品から行う

- プリントヘッド位置を調整する

パソコンから行う

- プリントヘッドの位置を調整する（Windows）
- プリントヘッドの位置を調整する（Mac OS）

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷します。

参考

- ノズルチェックパターンの印刷中にインクがなくなったときには、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。

  メッセージが表示されている

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［ノズルチェックパターン印刷］をタップする

   確認画面が表示されます。
5. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

   重要

   - ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。
6. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く
7. ［はい］をタップする

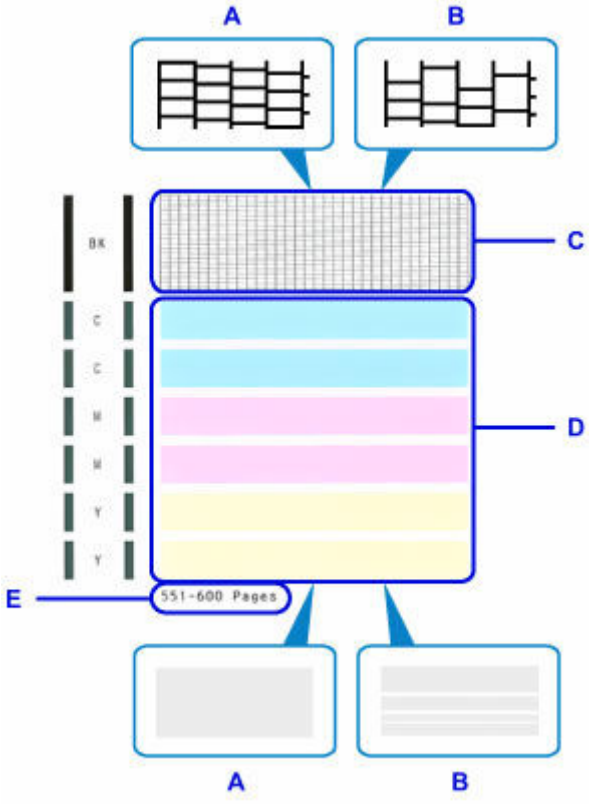
   ノズルチェックパターンが印刷され、タッチスクリーンに 2 つのパターン確認画面が表示されます。

8. ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンを確認し、必要な場合はクリーニングを行います。

1. パターン C に欠けがないか、パターン D に白い横すじが入っていないかを確認する



A：欠けがない／白い横すじがない

B：欠けがある／白い横すじがある

E：これまで印刷を行った用紙の総枚数

2. パターン確認画面で、印刷されたパターンに近いものを選ぶ



パターン C と D のどちらにも、欠け／白い横すじがない（A）場合：

クリーニングの必要がないので、［すべて A］をタップし、メッセージを確認して［OK］をタップします。

［メンテナンス］画面に戻ります。

パターン C と D のどちらか、または両方に、欠け／白い横すじがある（B）場合：

クリーニングが必要なので、［B がある］をタップし、クリーニング確認画面で［はい］をタップします。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

➡ プリントヘッドをクリーニングする

参考

- ノズルチェックパターンの印刷結果には、これまで印刷を行った用紙の総枚数が印刷されます（50 枚単位の概算枚数）。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルのつまりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

参考

- パソコンからクリーニングを行うこともできます。パソコンからは、インクのグループを選んでクリーニングできます。
  - プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
  - プリントヘッドをクリーニングする（Mac OS）
- 操作パネルからクリーニングを行った場合、全色一括のプリントヘッドのクリーニングが行われます。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［クリーニング］をタップする

   確認画面が表示されます。
5. ［はい］をタップする

   プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

   クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 2 分かかります。

   ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。
6. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

重要

- ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。

7. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く
8. ［はい］をタップする

   ノズルチェックパターンが印刷されます。
9. ノズルチェックパターンを確認する

参考

- クリーニングを 2 回繰り返しても改善されないときは、強力クリーニングを行ってください。

プリントヘッドを強力クリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、強力クリーニングを行ってください。強力クリーニングは、通常のクリーニングよりインクを消耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

参考

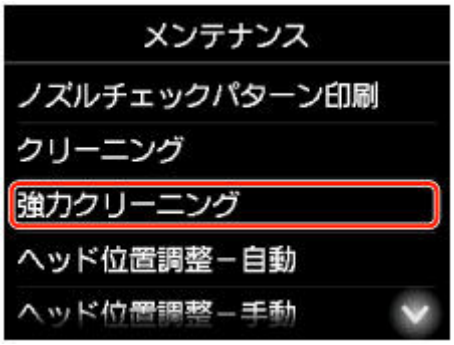
- パソコンから強力クリーニングを行うこともできます。パソコンからは、インクのグループを選んで強力クリーニングできます。
  - プリントヘッドをクリーニングする（Windows）
  - プリントヘッドをクリーニングする（Mac OS）
- 操作パネルから強力クリーニングを行った場合、全色一括のプリントヘッドの強力クリーニングが行われます。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 1 枚

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［強力クリーニング］をタップする

   確認画面が表示されます。
5. ［はい］をタップする

   プリントヘッドの強力クリーニングが開始されます。

   強力クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 2～3 分かかります。

   ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。
6. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

重要

- ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。

7. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く
8. ［はい］をタップする

   ノズルチェックパターンが印刷されます。
9. 強力クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする
10. ノズルチェックパターンを確認する

改善されない場合は、電源を切ってから電源プラグを抜かずに 24 時間以上経過したあとに、もう一度強力クリーニングを行います。

それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

プリントヘッド位置を調整する

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整します。

参考

- プリントヘッド位置調整シートの印刷中にインクがなくなったときには、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。

  メッセージが表示されている

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙（再生紙を含む）*1 枚

* 表裏ともに白いきれいな用紙を用意してください。

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［ヘッド位置調整－自動］をタップする

   確認画面が表示されます。
5. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 1 枚セットする

   重要

   - ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。
6. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く
7. ［はい］をタップする

   プリントヘッド位置調整シートが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。

印刷が終了するまで約 3～4 分かかります。

参考

- 自動調整が正しく行えなかったときには、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。

  ➡ メッセージが表示されている

8. ヘッド位置調整終了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

参考

- 記載の手順でプリントヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動でプリントヘッドの位置調整を行ってください。

  パソコンから手動でプリントヘッドの位置調整を行うこともできます。

  ➡ 手動でプリントヘッド位置を調整する（Windows）
  ➡ 手動でプリントヘッド位置を調整する（Mac OS）

手動でプリントヘッド位置を調整する

自動でプリントヘッド位置調整を行っても、罫線がずれたり、印刷結果が思わしくなかったりした場合に、手動でプリントヘッド位置を調整してください。

参考

- 自動ヘッド位置調整については、「プリントヘッド位置を調整する」を参照してください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 2 枚

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［ヘッド位置調整−手動］をタップする

   確認画面が表示されます。

   参考

   - ［ヘッド位置調整値を印刷］を選ぶと、現在の設定を印刷して確認することができます。
5. カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 2 枚セットする

   重要

   - ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。
6. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く
7. ［はい］をタップする

   プリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

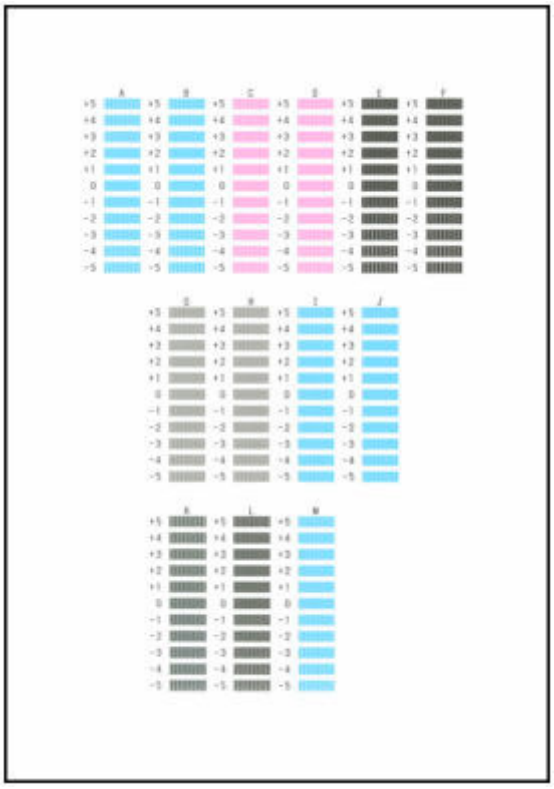
8. ［パターンは、正常に印刷されましたか？］のメッセージが表示されたら、正常に印刷されていることを確認し、［はい］をタップする

9. メッセージを確認し、［次へ］をタップする

   ヘッド位置の調整値を入力する画面が表示されます。



10. 1 枚目のプリントヘッド位置調整パターンを見て、［A］をタップし、A 列の中から一番縦すじの目立たないパターンの番号をタップする



参考

- パターンが均一にならないときには、縦すじが一番目立たないパターンを選びます。



A：縦すじが目立たない例

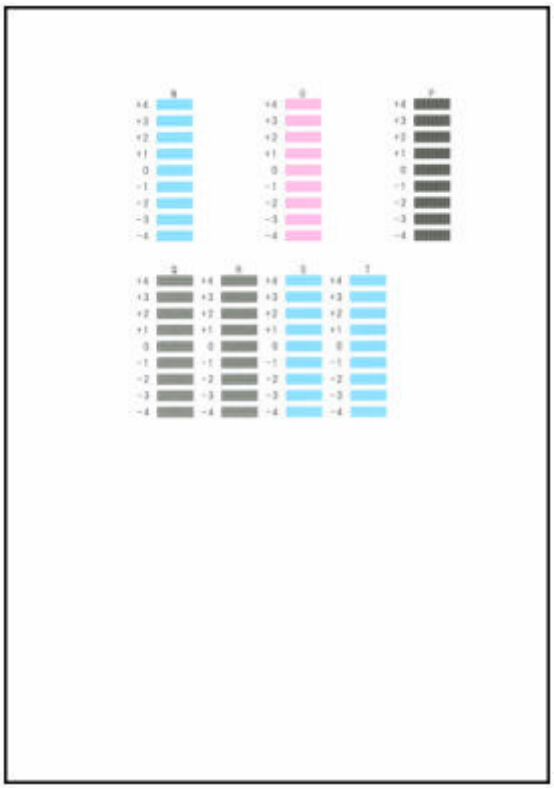
B：縦すじが目立つ例

11. B 列から M 列まで、各列ごとに同様の操作を繰り返し、すべてのパターン番号を設定後、［OK］をタップする

12. メッセージの内容を確認し、［OK］をタップする

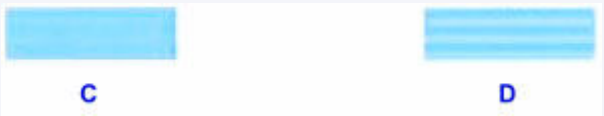
    2 枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

13. 2 枚目のプリントヘッド位置調整パターンを見て、［N］をタップし、N 列の中から一番横すじの目立たないパターンの番号をタップする



参考

- パターンが均一にならないときには、横すじが一番目立たないパターンを選びます。



C：横すじが目立たない例

D：横すじが目立つ例

14. O 列から T 列まで、各列ごとに同様の操作を繰り返し、すべてのパターン番号を設定後、［OK］をタップする

    P 列は一番縦すじが目立たないパターンを選びます。

15. ヘッド位置調整終了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

パソコンからメンテナンス機能を実行する（Windows）

- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドの位置を調整する
- ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドをクリーニングする

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善することができます。インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

プリントヘッドのクリーニングを行う手順を説明します。



[クリーニング]

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. [ユーティリティ]シートの[クリーニング]をクリック

   [クリーニング]ダイアログボックスが表示されたら、クリーニングを行うインクグループを選びます。
   [確認事項]をクリックすると、クリーニングの実行前に確認する項目が表示されます。

3. クリーニングを実行

   プリンターの電源が入っていることを確認して、[実行]をクリックします。

   クリーニングが開始されます。

4. クリーニングの完了

   確認のメッセージのあと、[ノズルチェックパターン印刷]ダイアログボックスが表示されます。

5. 結果の確認

   改善されているか確認する場合は[確認パターン印刷]を、確認しない場合は[キャンセル]をクリックします。

   クリーニングを 1 回行っても改善しないときは、もう一度繰り返してください。

重要

- [クリーニング]は少量のインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。



[強力クリーニング]

[強力クリーニング]は、より強力なクリーニング機能です。[クリーニング]を 2 回繰り返しても改善しないときに実行してください。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. [ユーティリティ]シートの[強力クリーニング]をクリック

   [強力クリーニング]ダイアログボックスが表示されたら、強力クリーニングを行うインクグループを選びます。
   [確認事項]をクリックすると、強力クリーニングの実行前に確認する項目が表示されます。

3. 強力クリーニングを実行

プリンターの電源が入っていることを確認して、[実行]をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

強力クリーニングが開始されます。

4. 強力クリーニングの完了

確認のメッセージのあと、[ノズルチェックパターン印刷]ダイアログボックスが表示されます。

5. 結果の確認

改善されているか確認する場合は[確認パターン印刷]を、確認しない場合は[キャンセル]をクリックします。

重要

- [強力クリーニング]は、[クリーニング]よりも多くのインクを使用します。
頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

参考

- [強力クリーニング]を行っても改善しないときは、プリンターの電源を切り、24 時間経過してからもう一度実行してください。それでも改善しないときは、インクがなくなっているか、プリントヘッドが消耗している可能性があります。この場合の具体的な対処方法については、「インクが出ない」を参照してください。

関連項目

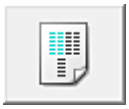
➡ ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドの位置を調整する

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどが改善されます。

プリンターには、プリントヘッドの位置調整を自動で行う方法と、手動で行う方法の 2 種類があります。通常は自動ヘッド位置調整を行う設定になっています。
自動ヘッド位置調整を行っても、罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、手動でプリントヘッド位置を調整してください。

自動ヘッド位置調整を行う手順を説明します。



［ヘッド位置調整］

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
2. ［ユーティリティ］シートの［ヘッド位置調整］をクリック

   ［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスが表示されます。
3. プリンターに用紙をセット

   カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。

   参考

   - 手動ヘッド位置調整を選んだ場合は、使用する用紙の枚数が異なります。
4. ヘッド位置調整を実行

   プリンターの電源が入っていることを確認して、［ヘッド位置調整］をクリックします。
   メッセージに従って、必要な操作を行います。

   重要

   - 印刷中は、フロントカバーを開けないでください。

   参考

   - 印刷が終了するまでほかの操作を行わないでください。印刷が終了するまで約 3～4 分かかります。

参考

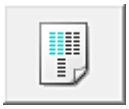
- ［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスの［調整値の印刷］をクリックすると、現在の設定を印刷して確認することができます。

手動でプリントヘッド位置を調整する

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどが改善されます。

プリンターには、プリントヘッドの位置調整を自動で行う方法と、手動で行う方法の 2 種類があります。通常は自動ヘッド位置調整を行う設定になっています。
自動ヘッド位置調整を行っても、罫線がずれたり、印刷結果が思わしくない場合は、手動でプリントヘッド位置を調整してください。

手動でヘッド位置調整を行う手順を説明します。



［ヘッド位置調整］

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ユーティリティ］シートの［特殊設定］をクリック

   ［特殊設定］ダイアログボックスが表示されます。

   参考

   - プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
     この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

3. ヘッド位置調整を手動に切り替える

   ［手動でヘッド位置を調整する］にチェックマークを付けます。

4. 設定を適用

   ［OK］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

5. ［ユーティリティ］シートの［ヘッド位置調整］をクリック

   ［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスが表示されます。

6. プリンターに用紙をセット

   カセットに A4 サイズの普通紙を 2 枚セットします。

7. ヘッド位置調整を実行

   プリンターの電源が入っていることを確認して、［ヘッド位置調整］をクリックします。
   メッセージに従って、必要な操作を行います。

   重要

   - 印刷中は、フロントカバーを開けないでください。

8. 印刷されたパターンを確認

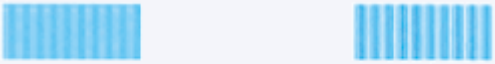
印刷されたパターンの中ですじが一番目立たないパターンの番号を、各入力欄に入力します。
プレビュー上ですじが目立たないパターンと同じ位置をクリックしても、各入力欄にその番号が自動的に入力されます。



入力が完了したら、［OK］をクリックします。

参考

- パターンが均一にならないときには、縦すじが一番目立たないパターンを選びます。



（A）縦すじが一番目立たない例
（B）縦すじが一番目立つ例

9. メッセージの内容を確認し、［OK］をクリック

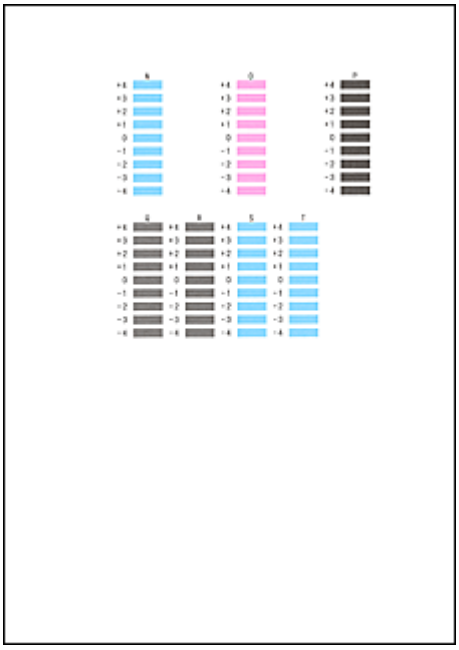
2 枚目のプリントヘッド位置調整パターンが印刷されます。

重要

- 印刷中は、フロントカバーを開けないでください。

10. 印刷されたパターンを確認

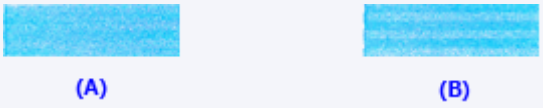
印刷されたパターンの中でしま、またはすじが一番目立たないパターンの番号を、各入力欄に入力します。
プレビュー上でしままたはすじが目立たないパターンと同じ位置をクリックしても、各入力欄にその番号が自動的に入力されます。



入力が完了したら、［OK］をクリックします。

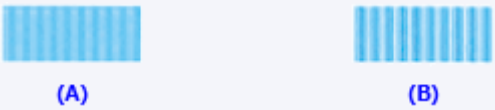
参考

- パターンが均一にならないときには、横しまが一番目立たないパターンを選びます。



（A）横しまが一番目立たない例
（B）横しまが一番目立つ例

- パターンが均一にならないときには、縦すじが一番目立たないパターンを選びます。



（A）縦すじが一番目立たない例
（B）縦すじが一番目立つ例

参考

- ［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスの［調整値の印刷］をクリックすると、現在の設定を印刷して確認することができます。

ノズルチェックパターンを印刷する

ノズルチェックパターンを印刷すると、プリントヘッドの状態を確認することができます。印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりするときに実行してください。

ノズルチェックパターンを印刷する手順を説明します。



［ノズルチェックパターン印刷］

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ユーティリティ］シートの［ノズルチェックパターン印刷］をクリック

   ［ノズルチェックパターン印刷］ダイアログボックスが表示されます。
   ［確認事項］をクリックすると、ノズルチェックパターン印刷前に確認する項目が表示されます。

3. プリンターに用紙をセット

   カセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。

4. ノズルチェックパターンを印刷

   プリンターの電源が入っていることを確認して、［確認パターン印刷］をクリックします。
   ノズルチェックパターンの印刷が開始されます。

   確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   ［パターンの確認］ダイアログボックスが表示されます。

5. 印刷結果を確認

   印刷結果を確認し、正常な場合は［終了］をクリックします。

   かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、［クリーニング］をクリックして、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする

本製品を清掃する

- 本製品の外側を清掃する
- 原稿台の周辺部分を清掃する
- ADF（自動原稿給紙装置）を清掃する
- 給紙ローラーをクリーニングする
- インクふき取りクリーニングを行う
- カセットの内部を清掃する

本製品の外側を清掃する

かならず柔らかくて乾いた布（メガネふきなど）を使用し、なるべく布のしわを伸ばしてからやさしく汚れをふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
  - ファクスの送受信中や未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は、電源を切ることができません。ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。
  - 本製品の電源を切るとファクスの送受信はできません。
  - 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、USB フラッシュメモリーに保存してください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。本製品内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目づまりや印刷不良などの原因になることがあります。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障または本製品の表面を傷める原因になります。
- タッチスクリーンを清掃する際は、メガネふきなどのやわらかい布で無理な力をかけずにふいてください。また、有機溶剤を含むクリーナーなどでは、タッチスクリーンをふかないでください。

原稿台の周辺部分を清掃する

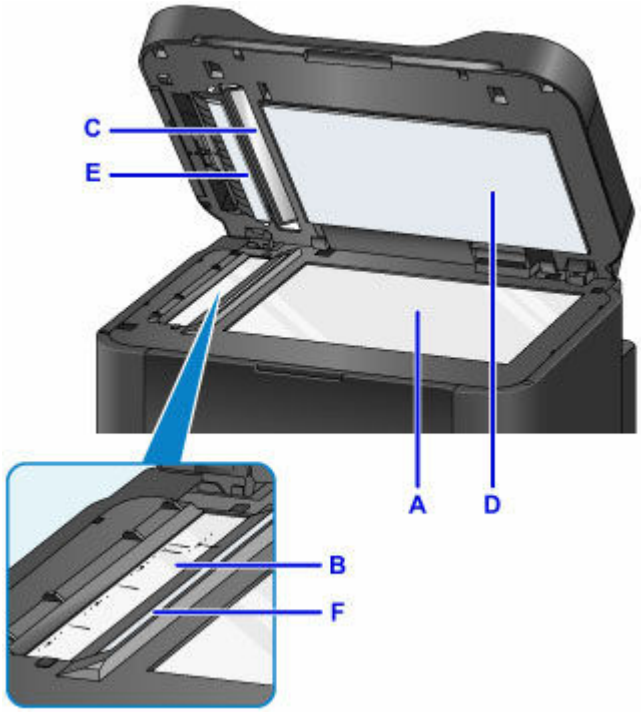
重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
  - ファクスの送受信中や未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は、電源を切ることができません。ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。
  - 本製品の電源を切るとファクスの送受信はできません。
  - 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、USB フラッシュメモリーに保存してください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。本製品内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目づまりや印刷不良などの原因になることがあります。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障または本製品の表面を傷める原因になります。

きれいで柔らかく、糸くずの出ない乾いた布を用意してください。

原稿台と原稿台カバーの裏側のガラス面（A、B、C）と、それぞれのガラス面に触れる白い部分（D、E、F）の汚れやほこりをやさしくふき取ります。

特にガラス面は、ふいたあとが残らないように十分ふき取ってください。



重要

- 原稿台カバーの裏側（白い部分）（D）は傷がつきやすいので、やさしくふいてください。
- 図のように、ADF のガラス（B、C）にのり、インク、修正液などの異物が付着している場合、読み取った画像に黒いすじが入る場合があります。このような場合は、汚れをやさしくふき取ってください。

ADF（自動原稿給紙装置）を清掃する

ADF（自動原稿給紙装置）の清掃には、柔らかく清潔なきめの細かい（糸くずの出ない）乾いた布を使用してください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
  - ファクスの送受信中や未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は、電源を切ることができません。ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。
  - 本製品の電源を切るとファクスの送受信はできません。
  - 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、USB フラッシュメモリーに保存してください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。本製品内部に紙の粉や細かな糸くずなどが残り、プリントヘッドの目づまりや印刷不良などの原因になることがあります。
- 中性洗剤や、ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障または本製品の表面を傷める原因になります。

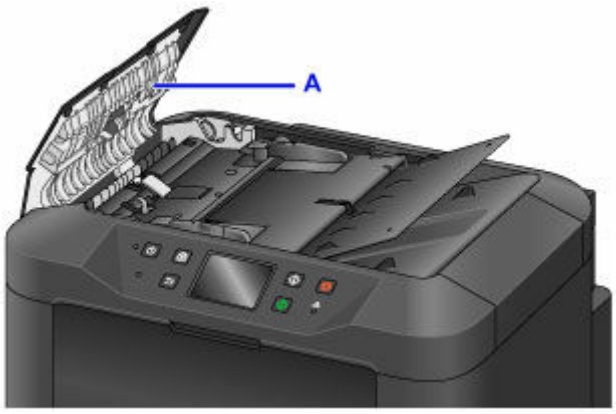
1. 原稿トレイを開ける



2. 原稿フィーダーカバーを開ける



3. 用意した布で、原稿フィーダーカバーの内側（A）から紙の粉をふき取る



4. ふき終わったら、カチッと音がするまで原稿フィーダーカバーを押して、閉じる

5. 原稿トレイを閉じる

給紙ローラーをクリーニングする

給紙ローラーに紙粉や汚れがつくと、用紙がうまく送られないことがあります。そのような場合は、給紙ローラーのクリーニングを行います。給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要な場合のみ行ってください。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙 3 枚

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［給紙ローラークリーニング］をタップする

   確認画面が表示されます。
5. ［はい］をタップする
6. メッセージに従って、カセットにセットされている用紙をすべて取り除く
7. ［OK］をタップする

   給紙ローラーが回転し、用紙を使用しないクリーニングが開始されます。
8. 給紙ローラーの回転が停止したことを確認し、メッセージに従って、カセットに A4 またはレターサイズの普通紙を 3 枚セットする

   重要

   - ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。
9. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く

10. ［OK］をタップする

クリーニングが開始されます。用紙が排出されるとクリーニングが終了します。

11. クリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

上記の操作を行っても改善されない場合は、キヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

インクふき取りクリーニングを行う

本製品内部の汚れを取ります。本製品内部が汚れていると、印刷した用紙が汚れる場合がありますので、定期的に行うことをお勧めします。

用意するもの：A4 またはレターサイズの普通紙*1 枚

* 新しい用紙を用意してください。

1. 電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

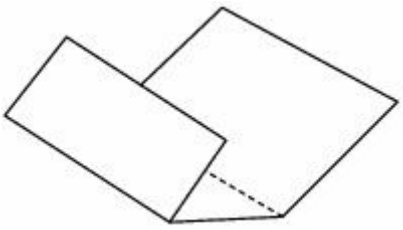
   ➡ 操作パネルの使いかた

   セットアップメニュー画面が表示されます。
3.  ［メンテナンス］をタップする

   ［メンテナンス］画面が表示されます。
4. ［インクふき取りクリーニング］をタップする

   確認画面が表示されます。
5. ［はい］をタップする
6. メッセージに従って、カセットにセットされている用紙をすべて取り除き、［OK］をタップする
7. A4 またはレターサイズの普通紙を横半分に折ってから開く
8. 開いた片側を中央の折り目に合わせて折ってから開き、［OK］をタップする



9. 開いた面（谷折り）を下にし、折りしろの広いほうが奥になるように、カセットに 1 枚だけセットする

重要

- ［メンテナンス］画面の各操作では、用紙の種類やサイズを登録する画面は表示されません。このため、A4 またはレターサイズの普通紙以外がセットされた場合も、エラーメッセージが表示されずにそのまま印刷が行われます。



10. 補助トレイを引き出し、排紙サポートを開く

11. ［OK］をタップする

インクふき取りクリーニングが実行され、用紙が排出されます。

排出された用紙の山折り部分を確認し、インクが付いている場合は再度クリーニングを行います。

12. インクふき取りクリーニング終了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

参考

- 再度インクふき取りクリーニングを行う場合は、新しい用紙をご使用ください。

再度クリーニングを行ってもインクが付くときは、本製品内部の突起が汚れている場合があります。綿棒などを使って突起からインク汚れを丁寧にふき取ってください。

重要

- 清掃する前に、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
  - ファクスの送受信中や未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は、電源を切ることができません。ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。
  - 本製品の電源を切るとファクスの送受信はできません。
  - 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、USB フラッシュメモリーに保存してください。



カセットの内部を清掃する

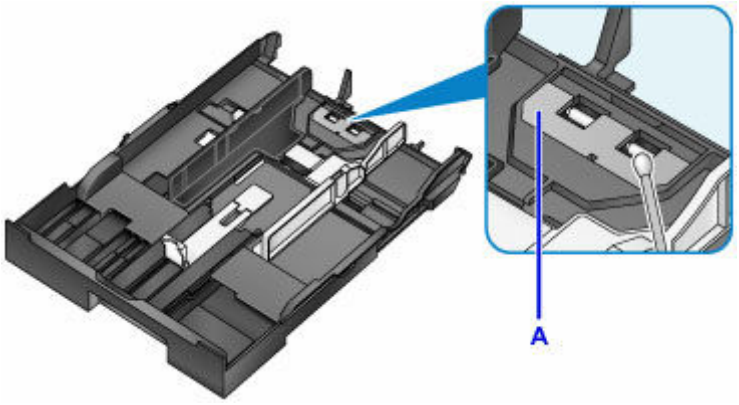
カセット内部のパッドに紙粉や汚れがつくと、用紙が複数枚排紙されることがあります。そのような場合は、パッドの清掃を行います。

用意するもの：綿棒

1. カセットを取り外し、セットされている用紙を取り除く
2. 湿らせた綿棒でパッド（A）をふく

   重要

   - 汚れをふいたあとは、十分に乾燥させてください。

3. 用紙をカセットにセットし直し、カセットを本体に差し込む

   参考

   - 本体にカセットを差し込んで画面にメッセージが表示された場合は、［登録］をタップしてください。

上記の操作を行っても改善されない場合は、キヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

本製品の基本情報

- **安全ガイド**
  - 安全にお使いいただくために
  - 法規制情報
- **各部の名称と使いかた**
  - 各部の名称と役割
  - 本製品の電源について
  - 操作パネルの使いかた
  - 文字や数字を入力する
- **本製品の設定を変更する**
  - パソコンで設定を変更する（Windows）
  - パソコンで設定を変更する（Mac OS）
  - 本製品の操作パネルで設定を変更する
  - ウェブブラウザーから本製品の設定を変更する
- **ネットワーク接続に関する情報**
  - ネットワーク接続で役立つ情報
- **ネットワークの設定について（IJ Network Device Setup Utility）（Windows）**
  - IJ Network Device Setup Utility について
  - IJ Network Device Setup Utility を起動する
  - ［IJ Network Device Setup Utility］画面
  - ネットワークの設定をする
  - ネットワークの状況を確認する
  - IJ Network Device Setup Utility のメニュー
  - ネットワークに関するその他の情報
- **ネットワーク通信について（Mac OS）**
  - ネットワーク設定を変更／確認する
  - 役立つ情報（ネットワーク）
- **きれいに印刷するためのヒント集**

- インクについて知っておきたいこと
- 印刷を失敗しないためのポイント
- 印刷するときには用紙設定の確認を忘れずに
- 用紙をセットしたあとは、カセットの用紙情報の登録を忘れずに
- 印刷を中止するときは
- いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
- 本製品を移送するときの注意

原稿をスキャンするときの注意事項

仕様

安全ガイド

- 安全にお使いいただくために
- 法規制情報

安全にお使いいただくために

設置場所について

- 不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、屋外、直射日光の当たる場所、高温の場所、火気の近くには置かないでください。
  使用環境については、「仕様」を参照してください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上には置かないでください。
  毛やほこりなどが製品の内部に入り込むことがあります。
- プリンター背面を壁から 5cm 以上離して置いてください。

電源について

- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周囲にはものを置かないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードを引っ張ると、電源コードが傷つくことがあります。
- 延長電源コードは使用しないでください。
- 万一の感電を防止するために、コンピューターのアース接続をお勧めします。

取扱いについて

- 印刷中はプリンターの中に手を入れないでください。
- プリンターを運ぶときは、必ず両側下部分を両手でしっかりと持ってください。
  ただし、プリンターの重さが 14kg を超える場合は、できるだけ 2 人で持ち運んでください。
  なお、プリンターの重さについては、「仕様」を参照してください。
- プリンターの上にものを置かないでください。
  特にクリップやホチキス針などの金属物や液体・引火性溶剤（アルコール・シンナーなど）の入った容器を置かないでください。
- プリンターを使用／輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。
  原稿台ガラスが破損することがあります。

プリントヘッド／インクタンク／FINE カートリッジについて

- お子様の手の届かないところに保管してください。
  誤ってインクをなめたり、飲んだりした場合は、口をすすがせるか、コップ 1、2 杯の水を飲ませてください。万一、刺激や不快感が生じた場合には、直ちに医師にご相談ください。
- インクが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着した場合は、すぐに水や石けん水で洗い流してください。万一、目や皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 印刷後、プリントヘッドや FINE カートリッジの金属部分には触れないでください。
  熱くなっている場合があります。
- インクタンクや FINE カートリッジを火中に投じないでください。
- プリントヘッドやインクタンク、FINE カートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

法規制情報

電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

内蔵電池について

- 使い古したバッテリは地域の条例にしたがって処分してください。
- 間違ったタイプのバッテリに交換すると爆発の危険があります。

電波について

使用上の注意

- 本プリンターは日本国内仕様です。日本国外では使用できません。
- 本プリンターは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備であり、筐体内部を開けること、および内部の回路等を改造することは法律で禁じられています。
- 医療用の装置や電子機器の近くで本プリンターを使用しないでください。
  電波によりそれらの装置や電子機器の動作に影響を与える恐れがあります。

電波干渉に関するご注意

本プリンターの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本プリンターを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本プリンターから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、「サポートガイド」を参照し、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）について相談してください。
3. その他、本プリンターから移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「サポートガイド」を参照し、お問い合わせください。
4. 

   この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS または OFDM 変調方式を採用し、移動体識別装置の構内無線局に対して想定される与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

環境および化学安全情報

製品の環境情報および化学安全情報（SDS）につきましては、キヤノンのウェブサイトにてご覧いただけます。
canon.jp/ecology

使用済み製品の廃棄について

プリンターをご家庭で使用された場合は「一般廃棄物」、業務上使用された場合は「産業廃棄物」として廃棄処理をお願いしております。
ご家庭で使用された場合は、お住まいの地方自治体のルールに従い、一般廃棄物として廃棄をお願いいたします。
業務上使用された場合は、産業廃棄物として廃棄をお願いいたします。
また、キヤノンのウェブサイト（canon.jp/ecology）でも処理についてのご案内をしておりますので、ご確認ください。

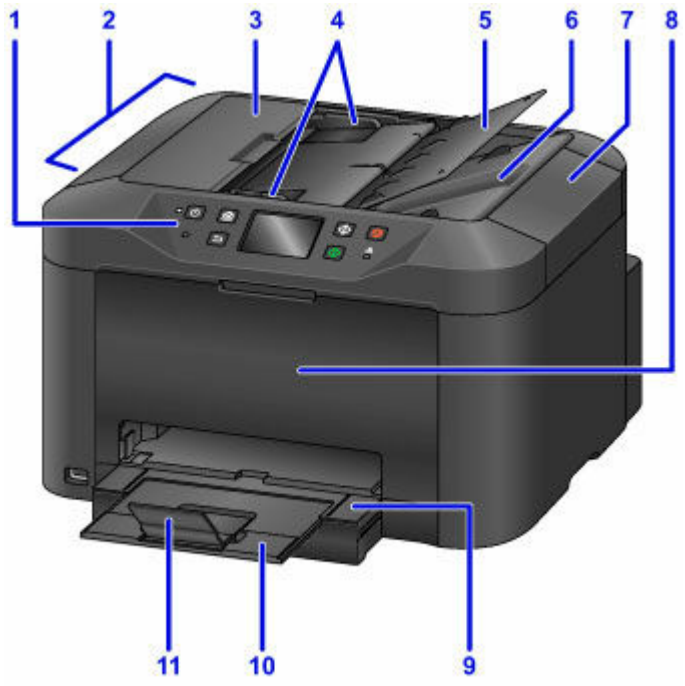
各部の名称と使いかた

- 各部の名称と役割
- 本製品の電源について
- 操作パネルの使いかた
- 文字や数字を入力する

各部の名称と役割

- 前面
- 背面
- 内部
- 操作パネル

前面



(1) 操作パネル

本製品の設定や操作をするときに使用します。

➡ 操作パネル

(2) ADF（自動原稿給紙装置）

原稿をセットします。原稿トレイにセットした原稿を、1 枚ずつ自動的に読み取ります。

➡ ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

(3) 原稿フィーダーカバー

原稿の紙づまりを処理するときに開きます。

(4) 原稿ガイド

ADF にセットした原稿の幅に合わせて、このガイドを調整します。

(5) 原稿トレイ

ADF に原稿をセットするときに開きます。一度に同じサイズ、厚さの原稿を複数枚セットすることができます。原稿は読み取る面を上向きにして、セットしてください。

(6) 原稿排紙口

ADF から読み取った原稿が排紙されます。

(7) 原稿台カバー

原稿台ガラスに原稿をセットするときに開きます。

(8) フロントカバー

インクタンクを交換するときや、内部につまった用紙を取り除くときに開きます。

(9) 排紙トレイ

印刷された用紙を支えるために手前に引き出して使用します。引き出した状態でカセットのカバーになります。通常は引き出したまま使用します。

(10) 補助トレイ

排紙された用紙を支えるために手前に引き出して使用します。

(11) 排紙サポート

排紙された用紙を支えるために手前に開いて使用します。



(12) USB メモリー接続部

USB フラッシュメモリーをセットします。

⚠警告

- 本製品の USB メモリー接続部には、USB フラッシュメモリー以外は接続しないでください。火災や感電、本製品の損傷の原因となる場合があります。

重要

- 金属部分に触れないでください。
- 3 m（10 feet）を超える長さの USB ケーブルを使用すると周辺の機器の動作に影響を与える可能性がありますので、使用しないでください。

(13) カセット

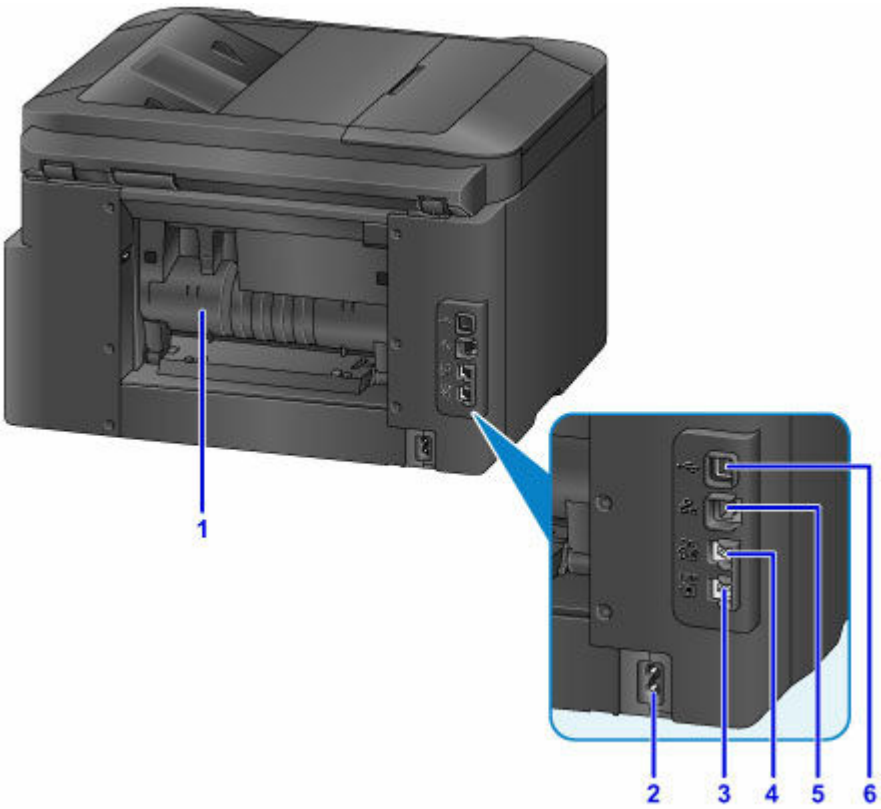
用紙をセットします。一度に同じサイズ、種類の用紙を複数枚セットでき、自動的に 1 枚ずつ給紙されます。

➡ 用紙のセットについて

(14) 原稿台ガラス

原稿をセットします。

背面



(1) 背面カバー

紙づまりのときに開いて、つまった用紙を取り除きます。

(2) 電源コード接続部

付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

(3) 電話回線接続部

電話回線を接続するためのコネクタです。

(4) 外付け機器接続部

電話機や留守番電話機を接続するためのコネクタです。

(5) LAN ケーブル接続部

LAN ケーブルでネットワーク接続するためのコネクタです。

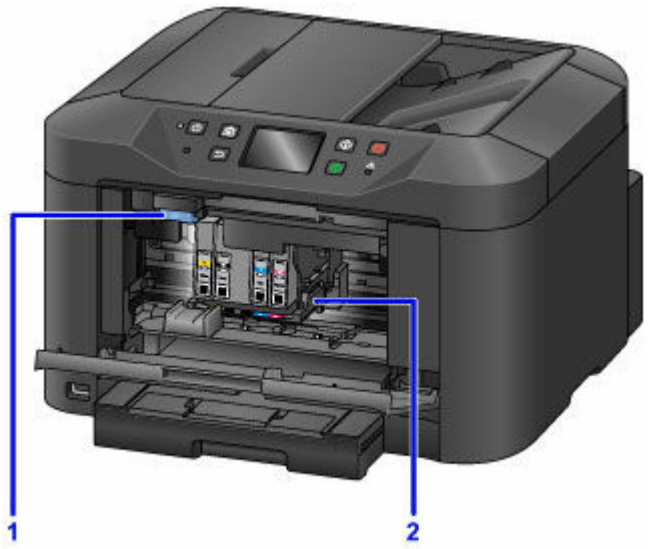
(6) USB ケーブル接続部

USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

重要

- 金属部分に触れないでください。
- パソコンに本製品を接続して印刷または画像をスキャンしているときに、USB ケーブルや LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

内部



(1) インクタンク取り出しレバー

インクタンクを取り外すときに押し上げます。

(2) プリントヘッドホルダー

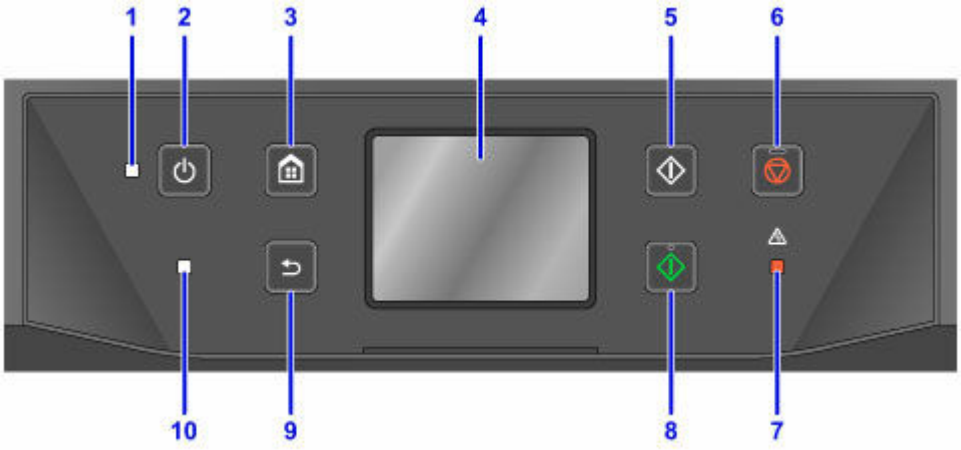
プリントヘッドが取り付けられています。

参考

- インクタンクの交換方法は、「インクタンクを交換する」を参照してください。

操作パネル

※下の図は、操作パネルのランプがすべて点灯している状態です。



(1) 電源ランプ
電源を入れると点滅した後、点灯します。

(2) 電源ボタン
電源を入れる／切るときに押します。

➡ 電源を入れる／切る

(3) ホームボタン
ホーム画面を表示するときに押します。

➡ 操作パネルの使いかた

(4) タッチスクリーン
メッセージやメニュー項目、動作状況などが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニュー項目や表示ボタンを選ぶことができます。

➡ タッチスクリーンの基本操作

(5) モノクロボタン
モノクロでコピーやスキャン、ファクス送信するときなどに押します。

(6) ストップボタン
印刷中やコピー中、スキャン中、ファクス送受信中に押すと、それぞれの動作を中止します。

(7) エラーランプ
エラーが発生したときに点灯または点滅します。

(8) カラーボタン
カラーでコピーやスキャン、ファクス送信するときなどに押します。

(9) 戻るボタン
前の画面に戻ります。

(10) ファクス メモリーランプ
本製品のメモリーに受信原稿や未送信原稿があるときに点灯します。

参考

- ボタン操作をするとキータッチ音やアラーム音が鳴ります。[本体の基本設定]の[音の調整]で、音量の設定を変更することができます。

➡ 本体の基本設定

本製品の電源について

- 電源が入っているか確認する
- 電源を入れる／切る
- 電源プラグ／電源コードについて
- 電源プラグを抜く

電源が入っているか確認する

電源が入っているときは、電源ランプが点灯します。

電源ランプが点灯しているときは、タッチスクリーンの表示が消えていても、電源が入っている状態です。



参考

- 電源を入れた直後は、操作ができるようになるまでに約 20 秒かかります。タッチスクリーンにホーム画面が表示されるまでお待ちください。
- 約 5 分間操作をしないと、タッチスクリーンの表示が消えます。そのときは、タッチスクリーンをタッチすると画面が表示されます。また、ファクスの受信やパソコンなどから印刷を開始しても、タッチスクリーンの表示が復帰します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を入れる

   電源ランプが点滅した後、点灯します。

   ➡ 電源が入っているか確認する



参考

- 電源を入れた直後は、操作ができるようになるまでに約 20 秒かかります。タッチスクリーンにホーム画面が表示されるまでお待ちください。
- エラーランプが点灯または点滅し、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示された場合は、「メッセージが表示されている」を参照してください。
- 指定の曜日や時刻に自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。

  ➡ ECO 設定について

- USB 接続またはネットワーク経由で印刷やスキャン、ファクス送信などを開始したとき、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。お買い上げ時は、自動で電源が入る設定にはなっていません。

  ➡ ECO 設定について

電源を切る

1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を切る

   電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。



重要

- 電源を切ったあと電源プラグを抜くときは、電源ランプが消えたことを確認してください。

参考

- 本製品の電源を切るとファクスの送受信はできません。
- ファクスの送受信中や未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は、電源を切ることができません。

- 指定の曜日や時刻に自動的に電源を切るように設定することができます。

  ➡ ECO 設定について

- 一定時間、本製品の操作をしなかったり、パソコンなどから印刷が開始されなかったりする場合は、自動的に電源を切るように設定することができます（電話回線が接続されている場合は電源は切れません）。お買い上げ時は、自動で電源を切る設定になっています。

  ➡ ECO 設定について

電源プラグ／電源コードについて

電源プラグや電源コードは１ヶ月に一度、下記のような異常な状態になっていないか確認してください。

- 発熱していないか
- さびていないか
- 曲がっていないか
- 擦れていないか
- 裂けていないか

⚠注意

- 電源プラグや電源コードが上記のように異常な状態になっている場合は、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、キヤノンお客様相談センターに修理をご依頼ください。

電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くときは、かならず以下の手順に従ってください。

重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消えたことを確認してから抜いてください。電源ランプが点灯または点滅中に電源プラグを抜くと、プリントヘッドの乾燥や目づまりの原因となり、きれいに印刷できなくなる場合があります。
- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、USB フラッシュメモリーに保存してください。

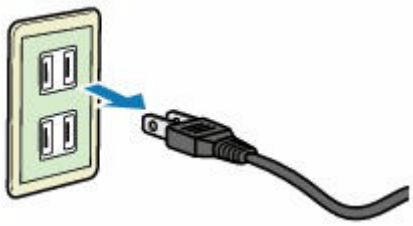
1. 本製品の電源ボタンを押して、電源を切る



2. 電源ランプが消えたことを確認する



3. 電源プラグをコンセントから抜く

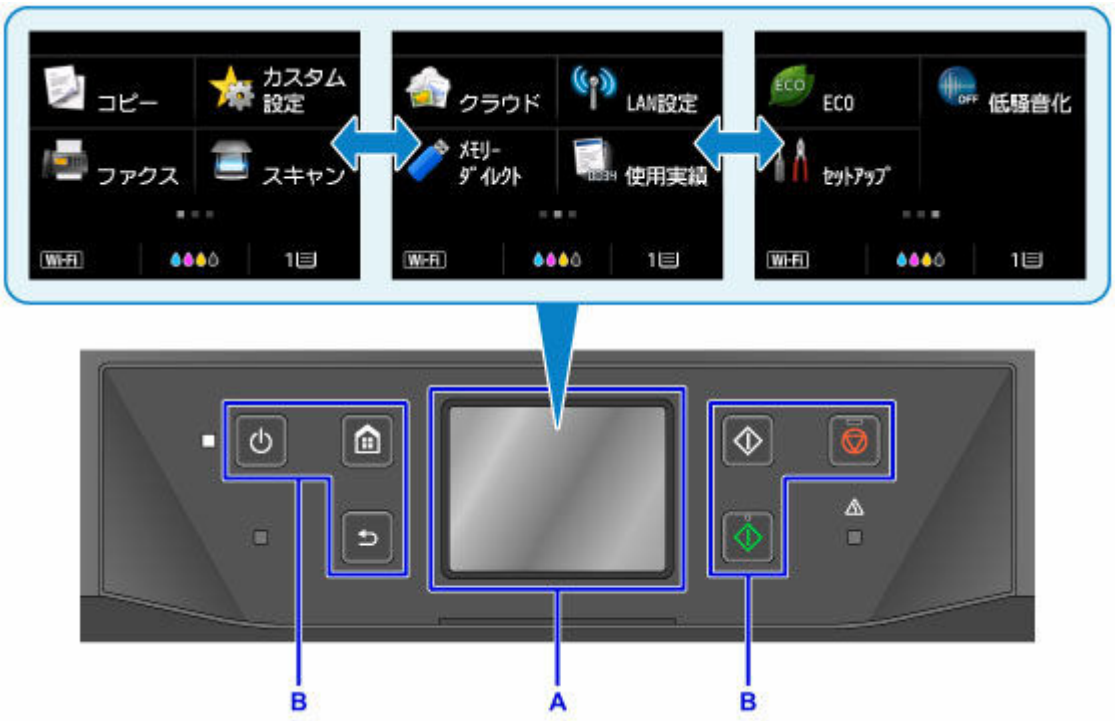


操作パネルの使いかた

操作パネルには、タッチスクリーン（A）と、いくつかのボタン（B）があります。

タッチスクリーンに表示されるホーム画面を指で操作して、コピーやファクス、スキャンなどを行うメニューを選びます。

ホームは 3 つの画面で構成されています。



A：タッチスクリーン

B：操作パネルのボタン

タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

重要

- タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
  - タッチスクリーンを指で強く押さない
  - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
  - タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
  - タッチスクリーン上には何も物を乗せない
- タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。

タップ

指先で軽く触れ、すぐに離します。

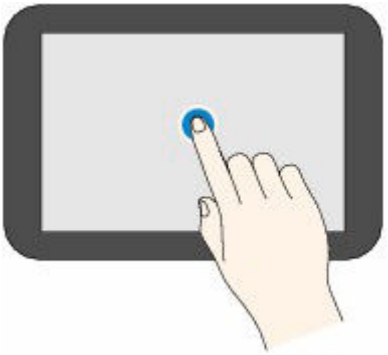
画面の項目や写真を選ぶときなどに使います。



タッチ

指先で軽く触れます。

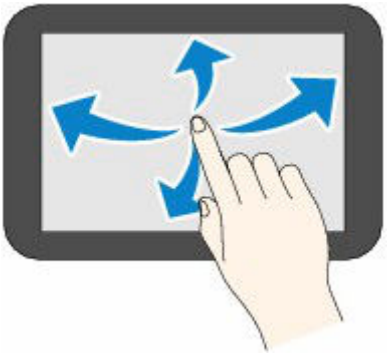
メニューや写真などを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークをタッチしたままにします。



フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。

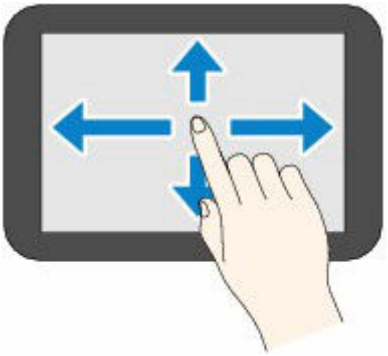
メニュー表示の切り替えや、写真を進める（戻す）ときに使います。



ドラッグ

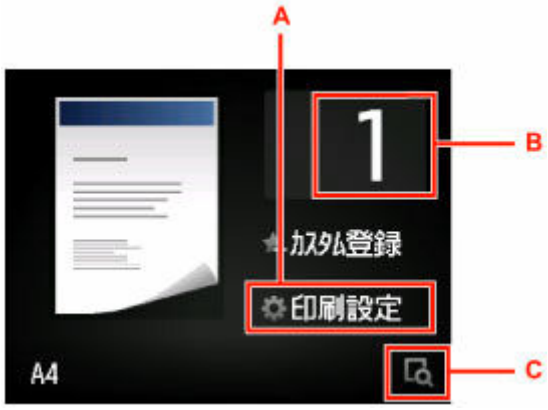
指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。

項目のリストを見るときや、スライダーを動かすときに使います。



タッチスクリーンの操作例

［例］：コピーの待機画面でできるタッチスクリーン操作

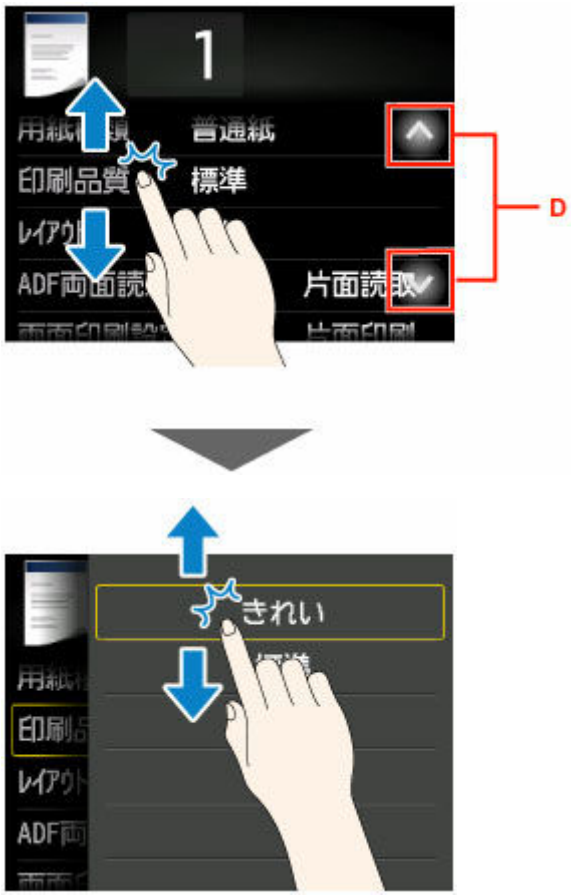


A をタップすると、印刷設定のメニューが表示されます。

上下にドラッグして、設定したい項目をタップします。

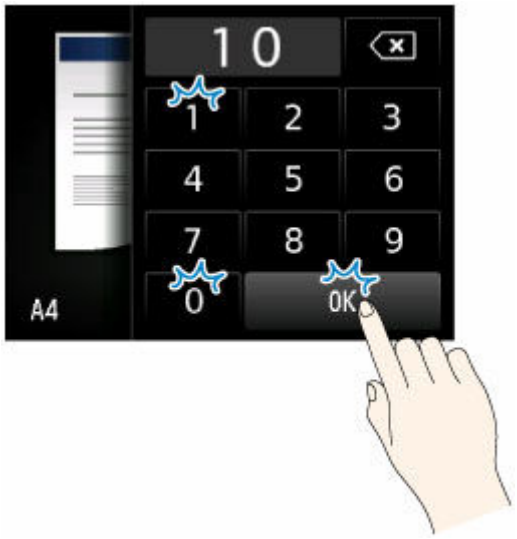
、（D）をタッチしてメニューを上下に移動することもできます。

設定のリストが表示されるので、同様に設定を選んでタップします。



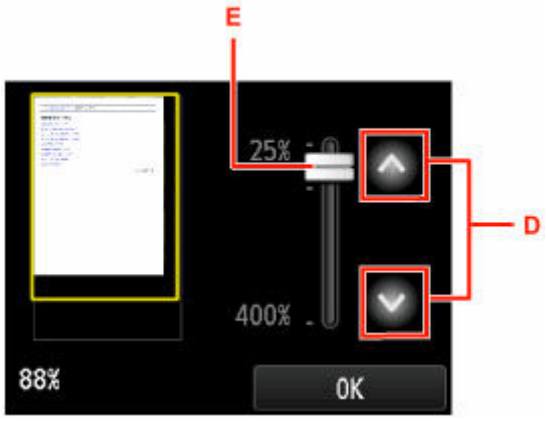
B をタップすると、印刷部数を指定する画面が表示されます。

数字をタップしてコピーする枚数を選び、［OK］をタップします。



C をタップすると、プレビュー画面が表示されます。

スライドバー（E）を上下にドラッグすると、コピーの倍率（拡大／縮小）を左側に表示されるイメージで確認しながら指定できます。



、 （D）をタップして倍率を変えることもできます。 、 をタッチし続けると、連続的に倍率を変えることができます。

コピーの倍率が決まったら、［OK］をタップします。

文字や数字を入力する

本製品では、画面に表示される文字や数字などを選んで、ユーザー名や電話帳の相手先の名前などを入力または編集することができます。

文字入力モードを切り替える

文字入力には、カナ、英字、数字／記号の 3 つのモードがあり、左下の［ア a1］（A）をタップするたびに、カナ→英字→数字／記号→カナの順に切り替わります。

英字モードで小文字と大文字を切り替える場合や、数字／記号モードで記号の種類を切り替える場合は、（B）をタップします。



参考

- 文字入力モードは、それぞれの画面で入力可能な文字のモードにのみ切り替えできます。例えば、LAN 設定の場合は、英字、数字／記号の 2 つのモードになり、電話番号やコピー枚数の入力では数字とその画面で入力可能な記号のみが表示されます。

文字や数字を入力・編集する



入力したい文字（行）のボタンを、目的の文字が入力欄（C）に表示されるまで続けてタップします。

文字入力では次の操作ができます。

- 入力欄の入力位置（カーソル位置）を移動する

  （D）をタップします。

- 入力した文字を削除する

  カーソルを削除する文字に合わせ、（E）をタップします。

  をタッチし続けると、文字を続けて削除できます。

- スペースを入力する

  （F）をタップします。

- 濁点、半濁点、記号を入力する

  目的の文字が表示されるまで［゛］（G）を続けてタップします。

入力が終わったら、［OK］（H）をタップします。

本製品の設定を変更する

- パソコンで設定を変更する（Windows）
- パソコンで設定を変更する（Mac OS）
- 本製品の操作パネルで設定を変更する
- ウェブブラウザーから本製品の設定を変更する

パソコンで設定を変更する（Windows）

- 印刷オプションの設定を変更する
- よく使う印刷設定を登録する
- プリンターの電源を操作する
- プリンターの動作音を抑える
- プリンターの設定を変更する

印刷オプションの設定を変更する

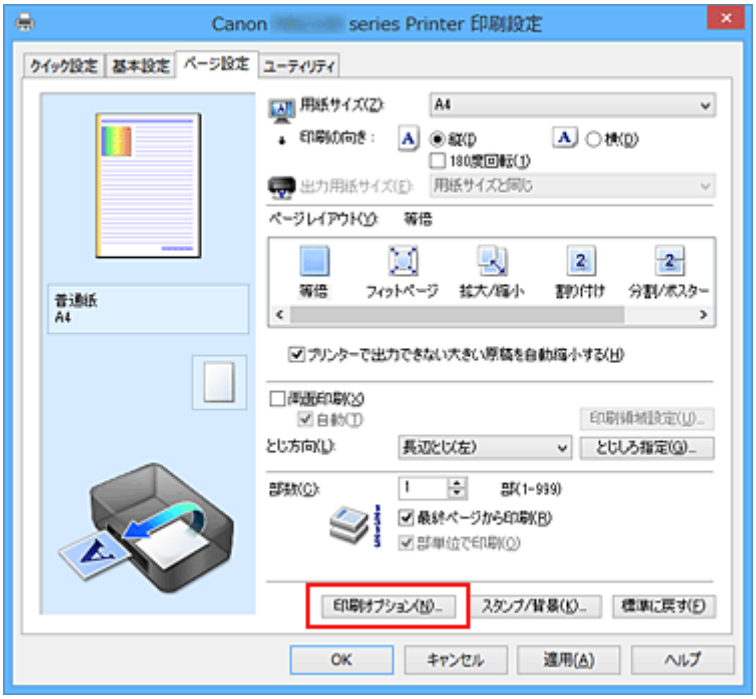
アプリケーションソフトから送信される印刷データに対して、プリンタードライバーの詳細設定を変更します。

画像データが抜け落ちるなど、うまく印刷できない場合に設定してください。

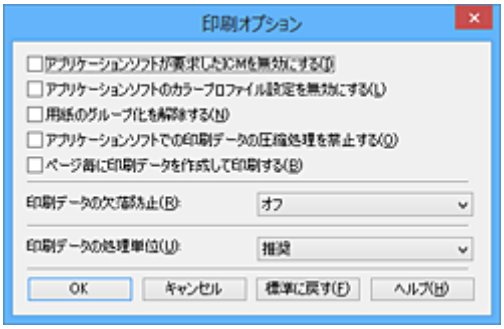
印刷オプションを設定する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ページ設定］シートの［印刷オプション...］をクリック



［印刷オプション］ダイアログボックスが表示されます。



参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、使用できる機能が異なります。

3. 各設定を変更

必要に応じて各項目の設定を変更し、［OK］をクリックします。

［ページ設定］シートに戻ります。

よく使う印刷設定を登録する

よく使う印刷設定を、［クイック設定］シートの［よく使う設定］に登録して使用することが可能です。不要になった印刷設定は削除できます。

印刷設定を登録する手順を説明します。

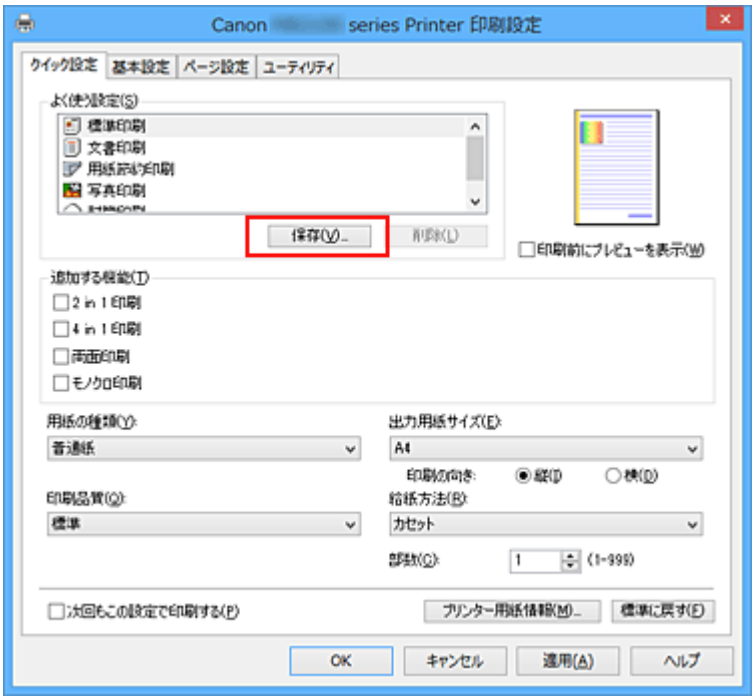
印刷設定を登録する

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

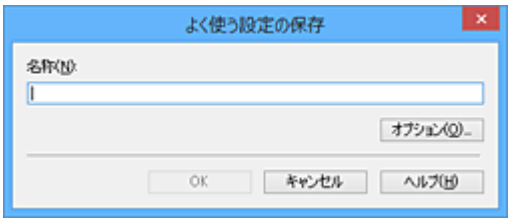
2. 必要な項目を設定

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で使用する印刷設定を選び、必要に応じて［追加する機能］以降を変更します。
   ［基本設定］シート、［ページ設定］シートの設定も登録できます。

3. ［保存...］をクリック



［よく使う設定の保存］ダイアログボックスが表示されます。



4. 設定を保存

   ［名称］を入力します。必要に応じて［オプション...］をクリックし、各項目を設定して、［OK］をクリックしてください。
   ［よく使う設定の保存］ダイアログボックスで［OK］をクリックすると、印刷設定が保存され、［クイック設定］シートに戻ります。
   ［よく使う設定］に名称とアイコンが表示されます。

重要

- 各シートで設定した用紙サイズ、印刷の向き、部数を保存するには、［オプション...］をクリックして、各項目にチェックマークを付ける必要があります。

参考

- プリンタードライバーの再インストールやバージョンアップを行うと、登録した印刷設定は［よく使う設定］から削除されます。
  また、登録した印刷設定だけを保存することはできません。削除された場合は、印刷設定の登録をやり直してください。

不要になった印刷設定を削除する

1. 削除する印刷設定を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］から、削除したい印刷設定の名前を選びます。

2. 印刷設定を削除

   ［削除］をクリックし、メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
   選んだ印刷設定が［よく使う設定］から削除されます。

参考

- 初期設定で登録されている印刷設定は削除できません。

プリンターの電源を操作する

プリンタードライバーから、プリンターの電源を操作します。

電源を操作する手順を説明します。



［電源オフ］

［電源オフ］は、プリンターの電源を切る機能です。プリンタードライバーからプリンターの電源を再度入れることはできません。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 電源オフを実行

   ［ユーティリティ］シートの［電源オフ］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

   プリンターの電源がオフになり、［ユーティリティ］シートに戻ります。

   重要

   - プリンターの電源を切ると、ファクスを受信することができません。

プリンターの動作音を抑える

低騒音化モードを使用すると、プリンターの動作音を抑えることができます。夜間に印刷する場合など、動作音が気になるときに使用してください。
この機能を使用すると、印刷速度が低下することがあります。

低騒音化モードを使用する手順を説明します。



［低騒音化設定］

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ユーティリティ］シートの［低騒音化設定］をクリック

   ［低騒音化設定］ダイアログボックスが表示されます。

   参考

   - プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。

3. 低騒音化モードを設定

   必要に応じて、以下の項目のいずれかを指定します。

   ［低騒音化モードで使用しない］
   プリンターの動作音を通常の状態で使用するときに選びます。

   ［常に低騒音化モードで使用する］
   プリンターの動作音を抑えるときに選びます。

   ［指定した時間だけ低騒音化モードで使用する］
   特定の時間帯だけプリンターの動作音を抑えるときに選びます。
   低騒音化モードを使用する［開始時刻］と［終了時刻］を設定してください。同じ時刻に設定した場合は、低騒音化モードは機能しません。

   重要

   - 低騒音化モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）から設定することができます。
     いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。

4. 設定を適用

   プリンターの電源が入っていることを確認して、［OK］をクリックします。
   確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

   これ以降、設定が有効になります。

参考

- 印刷品位の設定によっては、低騒音化モードの効果が少ない場合があります。

プリンターの設定を変更する

必要に応じてプリンターの設定を変更します。

［特殊設定］を行う手順を説明します。



［特殊設定］

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. プリンターの電源が入っていることを確認して、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］をクリック

   ［特殊設定］ダイアログボックスが表示されます。

   参考

   - プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
     この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

3. 必要に応じて、次の項目を設定

   ［用紙のこすれを改善する］

   高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。
   用紙のこすれを改善するときはチェックマークを付けます。

   ［手動でヘッド位置を調整する］

   通常、［ユーティリティ］シートの［ヘッド位置調整］の機能は、自動ヘッド位置調整に設定されていますが、手動ヘッド位置調整に変更することができます。
   自動ヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動ヘッド位置調整を行ってください。
   手動ヘッド位置調整に変更するときはチェックマークを付け、自動ヘッド位置調整を行うときはチェックマークを外します。

   ［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］

   ［ページ設定］シートの［印刷の向き］の［横］に対する回転方向を変更することができます。
   左 90 度に回転させて印刷するときはチェックマークを付け、右 90 度に回転させて印刷するときはチェックマークを外します。

   重要

   - 印刷ジョブが印刷待ち一覧に表示されている間は、設定を変更しないでください。印字が欠けたり、レイアウトが崩れたりする場合があります。

   ［パソコンからの印刷時に用紙の設定不一致を検知しない］

   パソコンからの印刷時に、プリンタードライバーでの用紙設定と、プリンター本体で登録するカセットの用紙情報が異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。
   用紙設定の不一致を検知させない場合はチェックマークを付けます。

   ［インク乾燥待ち時間］

   次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。スライドバーを右にドラッグするほど長く、左にドラッグするほど短くなります。

印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。
短く設定した場合は、印刷時間が速くなります。

4. 設定を適用

［OK］をクリックし、確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

これ以降、プリンターは変更した設定で動作するようになります。

本製品の操作パネルで設定を変更する

- 本製品の操作パネルで設定を変更する
- 本製品の操作パネルで設定できる項目
- ファクス設定
- 印刷設定
- LAN 設定
- 本体の基本設定
- 言語選択
- ファームウェアのアップデート
- カセット設定
- 管理者パスワードの設定
- 動作制限
- 設定リセット
- Web サービス設定
- システム情報
- ECO 設定について
- 低騒音化設定について
- よく使う設定を登録する（カスタム設定）
- 使用実績を確認する

本製品の操作パネルで設定を変更する

ここでは、用紙のこすれ改善を設定する操作を例に、本体設定画面の設定変更の手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

3.  ［本体設定］をタップする

   ［本体設定］画面が表示されます。

4. 設定したい項目をタップする



   選んだ項目の設定画面が表示されます。

5. 設定項目をタップする



6. 指定したい設定をタップする



本製品の操作パネルで設定できる項目については、以下を参照してください。

➡ 本製品の操作パネルで設定できる項目

本製品の操作パネルで設定できる項目

参考

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定項目によっては設定を変更するときに管理者パスワードが必要になります。

  管理者パスワードが必要な設定項目については、以下を参照してください。

  本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する

セキュリティに関する項目

- 管理者パスワードの設定
- 動作制限

本体に関する項目

- ファクス設定
- 本体の基本設定
- Web サービス設定
- 言語選択
- ECO 設定について
- 低騒音化設定について
- よく使う設定を登録する（カスタム設定）

用紙／印刷に関する項目

- 印刷設定
- カセット設定
- 印刷時の用紙設定

保守／管理に関する項目

- システム情報
- ファームウェアのアップデート
- LAN 設定
- 設定リセット
- 使用実績を確認する

ファクス設定

重要

- この設定項目は、管理者向けの項目です。

ここでは、［ファクス設定］の中にある設定項目について説明します。

- ファクスの基本設定
- ファクスの詳細設定
- 自動印刷設定
- 自動保存設定
- あんしん通信管理
- かんたんセットアップ

参考

- 設定を変更する前にユーザーデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます。
  - 印刷できるレポートとリスト

ファクスの基本設定

- **ユーザー情報設定**

  送信ファクスに印刷される名前、ファクス／ 電話番号を登録します。

  - ユーザー情報を設定する

- **回線種別自動判別**

  本製品に接続されている電話回線の種類を自動で判別します。

  ［しない］を選ぶと電話回線の種類を設定できます。

  - 回線種別を設定する

ファクスの詳細設定

- **自動リダイヤル**

  自動的にリダイヤルするか設定します。

  ［する］を選ぶと、リダイヤルする回数や、ダイヤルしてから次にリダイヤルするまでの間隔を設定できます。

- **ダイヤルトーン検知**

  発信動作と着信動作が重なったとき、ファクス誤送信を防止します。

  ［する］を選ぶと、本製品がダイヤルトーン音を確認してから発信します。

- **ポーズ時間設定**

  "P"（ポーズ）を入力したときのポーズ 1 つ分の長さを設定します。

- **発信元記録位置**

  発信元情報を印刷する位置（画像領域の外または画像領域の中）を設定します。

- **リモート受信**

  リモート受信ができるようにするか選びます。

［する］を選ぶと、リモート受信 ID を変更できます。

➡ 本製品に接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）

- **カラー送信処理**

  ADF（自動原稿給紙装置）を使ってカラーでファクスを送信する場合、送信先のファクスがカラーに対応していないときに白黒モードに変換して送信するかを設定します。

  ［送信せずに終了］を選ぶと、送信先のファクスがカラーに対応していないときにはカラーファクスを送信しません。

- **受信画像縮小**

  セットした用紙サイズにおさまるように、受信ファクスを自動的に縮小するかを設定します。

  ［する］を選ぶと、縮小する方向を［縦のみ］または［縦横両方］から選ぶことができます。

- **高度な通信設定**
  - ECM 送信

    ECM（自動誤り訂正モード）方式で送信するか設定します。

    ➡ ECM 方式で送受信する
  - ECM 受信

    ECM（自動誤り訂正モード）方式で受信するか設定します。

    ➡ ECM 方式で送受信する
  - 送信スタートスピード

    送信開始時の通信スピードを選びます。

    数値が大きいほど送信スタートスピードが速くなります。

    電話回線や接続の状態がよくないときは、送信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。
  - 受信スタートスピード

    受信開始時の通信スピードを選びます。

    数値が大きいほど受信スタートスピードが速くなります。

    電話回線や接続の状態がよくないときは、受信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。

自動印刷設定

- **受信原稿**

  ファクスを受信したとき、自動的に印刷をするかを設定します。

  ［印刷しない］を選ぶと、受信したファクスは本製品のメモリーに保存されます。

  本製品のメモリーに保存されたファクスについては、以下を参照してください。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて

- **通信管理レポート**

  自動的に通信管理レポートを印刷をするか設定します。

  ［印刷する］を選ぶと、送受信したファクスの履歴が 20 通信分になったときに自動的に通信管理レポートを印刷します。

手動で通信管理レポートを印刷する方法については、以下を参照してください。

➡ 印刷できるレポートとリスト

- **送信結果レポート**

  ファクスを送信したあとに、自動的に送信結果レポート／エラー送信レポートを印刷するかを設定します。

  印刷するときは、［エラー時のみ印刷］または［送信ごとに印刷］を選んでください。

  ［エラー時のみ印刷］または［送信ごとに印刷］を選ぶと、送信ファクスの最初のページをレポートの下に印刷するかを選ぶこともできます。

- **受信結果レポート**

  ファクスを受信したあとに、自動的に受信結果レポートを印刷するかを設定します。

  印刷するときは、［エラー時のみ印刷］または［受信ごとに印刷］を選んでください。

- **インク切れでの印刷**

  インクがなくなったときに、受信したファクスを本製品のメモリーに保存しないで、強制的に印刷するかを設定します。

  ただし、ファクスを印刷した場合、インク切れにより、部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。

自動保存設定

受信したファクスを自動的に USB フラッシュメモリーまたはパソコンの共有フォルダーに保存するか設定します。

➡ 受信したファクスを USB フラッシュメモリーに自動保存する
➡ 受信したファクスをパソコンの共有フォルダーに自動転送する

あんしん通信管理

- **FAX 番号確認入力**

  ［する］を選ぶと、ファクス／電話番号を 2 度入力してから、ファクス送信するように設定します。この設定によってファクスの誤送信を防ぎます。

  ➡ 誤送信防止機能を使う

- **送信先の FAX 情報確認**

  ［する］を選ぶと、相手先の端末情報が、ダイヤルしたファクス／電話番号と一致するかを本製品が確認した後、ファクスを送信できるように設定できます。

  ➡ 誤送信防止機能を使う

- **オンフックキー設定**

  ［有効］を選ぶと、オンフック機能が有効になります。

- **ファクス受信拒否設定**

  ［する］を選ぶと、送信元が不明なファクスや、特定の相手からのファクスの受信を拒否するように設定します。

  ➡ ファクス受信拒否設定を使う

かんたんセットアップ

ご使用の回線や使用方法に従ってファクス送受信の設定を行います。表示されるメッセージに従って、操作を行ってください。

参考

- セットアップの各設定を個別で設定する、または詳細な設定を行うこともできます。

  設定方法については、以下を参照してください。

  ➡ ファクスの準備をする

印刷設定

この設定項目は、［セットアップ］の中の［本体設定］から選んでください。

- **用紙のこすれ改善**

  印刷面がこすれてしまった場合のみ設定します。

  重要

  - 印刷速度が遅くなったり、画質が低下したりする場合があるので、印刷終了後は［しない］に戻してください。

LAN 設定

この設定項目は、［セットアップ］の中の［本体設定］から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **LAN の切り換え**

  無線 LAN、有線 LAN またはダイレクト接続のいずれかを有効、またはいずれも無効に設定します。

- **無線 LAN セットアップ**

  無線 LAN 接続の設定方法を選びます。

  参考

  - ホーム画面から［LAN 設定］を選んでも本設定を選ぶことができます。この場合は、無線 LAN を有効にする設定にしてください。

  ◦ ケーブルレスセットアップ

  無線 LAN ルーターを操作せず、各種機器（スマートフォンやタブレットなど）から直接プリンターに、無線 LAN ルーターの情報を設定したい場合に選びます。セットアップの手順などについては各種機器に表示される案内に従ってください。

  ◦ 手動設定

  無線 LAN 接続の設定を手動で行うときに選びます。

  ◦ ルーターのボタンで接続

  ▪ AOSS（バッファロー）

  AirStation One-Touch Secure System （AOSS）に対応している無線 LAN ルーターを利用して、無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。

  ▪ らくらく無線スタート（NEC）

  らくらく無線スタートに対応している無線 LAN ルーターを利用して、無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。

  ▪ WPS（プッシュボタン方式）

  Wi-Fi Protected Setup（WPS）プッシュボタン方式に対応している無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

  ◦ その他の設定

  ▪ 詳細設定

  無線 LAN 接続の設定を手動で行うときに選びます。複数の WEP キーを設定することができます。

  ▪ WPS（PIN コード方式）

  Wi-Fi Protected Setup（WPS）PIN コード方式に対応している無線 LAN ルーターを使用して無線 LAN 接続の設定をするときに選びます。表示される案内に従って操作してください。

- **LAN 設定情報の確認**

  無線 LAN 接続時、有線 LAN 接続時またはダイレクト接続時の本製品のネットワーク情報をタッチスクリーンに表示します。［詳細情報印刷］をタップして［はい］をタップすると、LAN 設定情報の印刷をすることができます。

  確認できる項目については、以下を参照してください。

  ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

  重要

  - ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、ご使用のパソコンに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

  ◦ 無線 LAN 設定表示

  無線 LAN 接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

  以下のような設定情報が表示されます。（本製品の設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容
SSID	XXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXX（32 文字以内）
無線 LAN セキュリティ	無効／WEP(64bit)／WEP(128bit)／WPA-PSK(TKIP)／WPA-PSK(AES)／WPA2-PSK(TKIP)／WPA2-PSK(AES)
電波強度［%］	XXX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）
ルート証明書の拇印（SHA-1）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印（SHA-256）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

  （XX は半角英数字を示す）

  ◦ 有線 LAN 設定表示

  有線 LAN 接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

  以下のような設定情報が表示されます。（本製品の設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）
ルート証明書の拇印（SHA-1）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印（SHA-256）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

◦ ダイレクト接続の設定表示

ダイレクト接続時の本製品のネットワーク設定情報をタッチスクリーンに表示します。

以下のような設定情報が表示されます。（本製品の設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容
SSID	DIRECT-XX-XXXXXXseries
パスワード	XXXXXXXXXX（10 文字）
無線 LAN セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX（12 文字）
IPv6 アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX（32 文字）
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX（12 文字）
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXX（15 文字以内）
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXX（52 文字以内）
ダイレクト接続のデバイス名	XXXXXX-XXXXXXseries

ルート証明書の拇印（SHA-1）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX
ルート証明書の拇印（SHA-256）	XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX

（XX は半角英数字を示す）

- **その他の設定**

重要

- ［LAN の切り換え］で［LAN を無効］を選んでいる場合は、メニューを選ぶことができません。

◦ ダイレクト接続設定

本製品と各種機器（スマートフォンやタブレットなど）を直接接続して使用するときの設定項目です。

重要

- この項目は、［LAN の切り換え］で［ダイレクト接続を有効］を選んでいる場合のみ選ぶことができます。

▪ SSID/パスワードの更新

［はい］を選ぶと、本製品をダイレクト接続で使用するときの識別名（SSID）とパスワードが更新されます。

▪ デバイス名の変更

Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名前を変更します。

▪ 接続要求の確認設定

［はい］を選ぶと、Wi-Fi Direct 対応の各種機器が本製品に接続しようとしたときに確認画面が表示されます。

➡ 本製品をダイレクト接続で使用する

◦ プリンター名設定

プリンター名を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

参考

- すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
- プリンター名の最初と最後の文字に、-（ハイフン）は使用できません。

◦ TCP/IP 設定

IPv4 または IPv6 の設定を行います。

◦ WSD 設定

WSD（Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用するときの設定項目です。

▪ WSD の有効/無効

WSD の有効／無効を選びます。

参考

- 本設定を有効にした場合、Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista のネットワークエクスプローラーにプリンターアイコンが表示されます。

▪ WSD 受信の最適化

［有効］に設定すると、WSD 印刷のデータ受信を高速で行います。

▪ 本機からの WSD スキャン

［有効］に設定すると、WSD を利用して、スキャンしたデータをパソコンに転送します。

▪ タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。

◦ Bonjour 設定

Mac OS から Bonjour を使用してネットワークの設定を行うときの設定項目です。

▪ Bonjour の有効/無効

［有効］に設定すると、Bonjour を使用してネットワークの設定ができるようになります。

▪ サービス名

Bonjour のサービス名を設定します。最大 48 文字まで入力できます。

参考

- すでに LAN 接続されている機器と同じサービス名は使用できません。

◦ LPR プロトコル設定

LPR の設定（有効／無効）を切り替えます。

◦ RAW プロトコル

RAW 印刷をする／しないを切り替えます。

◦ LLMNR

LLMNR（Link-Local Multicast Name Resolution）の有効／無効を切り替えます。［有効］を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

◦ 有線 LAN 間欠受信設定

［有効］に設定すると、有線 LAN に対応している機器に接続しているときに、データ受信を断続的に行います（間欠受信）。

本体の基本設定

この設定項目は、[セットアップ]の中の[本体設定]から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **日付/時刻設定**

  現在の日付／時刻を設定します。

  操作手順については、以下を参照してください。

  ➡ 発信元情報を設定する

- **日付表示形式**

  タッチスクリーンに表示または送信ファクス、写真に印刷される日付の表示形式を選びます。

  参考

  - USB フラッシュメモリーから印刷するときの印刷設定画面で[日付印刷]を[ON]に設定しているときは、選んだ日付の並び順で撮影日が印字されます。

    ➡ 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

- **タイムゾーン**

  お住まいの国や地域に合わせて、タイムゾーンを設定します。

  タイムゾーンを本製品に設定すると、本体から送信されるメールの正しい送信時刻をご使用のメールソフトに表示させる事ができます。

  お住まいの国・地域のタイムゾーンは下記を参照してください。

  ➡ タイムゾーン一覧

- **音の調整**

  音量を調節します。

  - キータッチ音量設定

    操作パネルのボタンやタッチスクリーンをタップしたときに出る音の音量を選びます。

  - アラーム音量設定

    アラーム音の音量を選びます。

  - 通信音量設定

    通信中の音量を選びます。

  - オフフック アラーム

    接続している電話機の受話器が外れているときに鳴る警告の音量を選びます。

- **本体情報の送信設定**

  本製品の使用状況をキヤノンに送信するかを選びます。送信された情報は、よりよい製品の企画、開発のために活用されます。送信をするかどうかを選ぶ前に、『安全・重要事項ガイド』の記載内容を確認してください。[承諾する]を選ぶと、本製品の使用状況がキヤノンに送信されます。

- **電源管理**

  節電のために本製品の電源を自動的にオン／オフしたりするようにできます。また、電源をオン／オフする時刻と曜日も設定できます。

  参考

  - 設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

  ◦ 自動電源管理を使う

  操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的に本製品の電源を切るまでの時間を設定することができます。また、印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的に本製品の電源が入るように設定することもできます。

  ◦ スケジュール管理を使う

  自動的に本製品の電源を入れる時間、切る時間を曜日ごとに設定することができます。

  ◦ 電源管理を使わない

  本製品の電源を自動的にオン／オフする機能を無効にします。

  参考

  - ホーム画面から［ECO］を選び、［電源管理］を選んでも本設定を選ぶことができます。

    ➡ ECO 設定について

タイムゾーン一覧

タイムゾーン	国または地域
(UTC-12:00)	ベーカー島、ハウランド島
(UTC-11:00)	アメリカ領サモア、ニウエ
(UTC-10:00)	ハワイ、アリューシャン列島西部
(UTC-9:00)	アラスカ
(UTC-8:00)	アメリカ・カナダ・メキシコ（太平洋時間）
(UTC-7:00)	アメリカ・カナダ・メキシコ（山岳部時間）
(UTC-6:00)	アメリカ・カナダ・メキシコ（中部時間）
(UTC-5:00)	アメリカ・カナダ（東部時間）、キューバ、ペルー
(UTC-4:30)	ベネズエラ
(UTC-4:00)	カナダ（大西洋時間）、小アンティル諸島の大部分、ブラジル（アマゾン時間）、チリ
(UTC-3:30)	カナダ（ニューファンドランド）
(UTC-3:00)	ブラジル（ブラジル時間）、アルゼンチン、グリーンランド
(UTC-2:00)	ブラジル（フェルナンド・デ・ノローニャ島）
(UTC-1:00)	アゾレス諸島、カーボベルデ
(UTC+00:00)	イギリス、アイルランド、ポルトガル、アイスランド、アフリカ西部のモロッコ、ガーナ等
(UTC+1:00)	中央ヨーロッパ時間（フランス、ドイツ等）、西アフリカ時間（ナイジェリア、コンゴ等）
(UTC+2:00)	東ヨーロッパ時間（フィンランド、ギリシャ等）、中央アフリカ時間、南アフリカ
(UTC+3:00)	ロシア（カリーニングラード）、ウクライナ、ベラルーシ、サウジアラビア、東アフリカ時間
(UTC+3:30)	イラン
(UTC+4:00)	ロシア（モスクワ）、アゼルバイジャン、ジョージア、アラブ首長国連邦、モーリシャス
(UTC+4:30)	アフガニスタン
(UTC+5:00)	パキスタン
(UTC+5:30)	インド
(UTC+5:45)	ネパール
(UTC+6:00)	ロシア（エカテリンブルク）、カザフスタン、バングラデシュ
(UTC+6:30)	ミャンマー、ココス諸島
(UTC+7:00)	ロシア（オムスク）、モンゴル、タイ、ベトナム、ジャカルタ
(UTC+8:00)	ロシア（クラスノヤルスク）、中国、モンゴル、マレーシア、オーストラリア（西オーストラリア州）
(UTC+8:45)	オーストラリア（ユークラ）
(UTC+9:00)	ロシア（イルクーツク）、韓国、日本、パラオ
(UTC+9:30)	オーストラリア（ノーザンテリトリー、南オーストラリア州）
(UTC+10:00)	ロシア（ヤクーツク）、グアム、オーストラリア東部時間
(UTC+10:30)	オーストラリア（ロード・ハウ島）
(UTC+11:00)	ロシア（ウラジオストク）、ソロモン諸島、ニューカレドニア
(UTC+12:00)	ロシア（マガダン）、ニュージーランド、フィジー、キリバス（ギルバート諸島）

(UTC+12:45)	ニュージーランド（チャタム島）
(UTC+13:00)	トンガ、キリバス（フェニックス諸島）、サモア（2011/12/31 以降）、トケラウ（2011/12/31 以降）
(UTC+14:00)	キリバス（ライン諸島）

言語選択

この設定項目は、［セットアップ］の中の［本体設定］から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

タッチスクリーンに表示する言語を変更します。

ファームウェアのアップデート

この設定項目は、[セットアップ]の中の[本体設定]から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

本製品のファームウェアのアップデート、ファームウェアのバージョンの確認、アップデートの通知、DNSサーバーおよびプロキシサーバーの設定を行います。

参考

- [LAN 設定]の[LAN の切り換え]で[LAN を無効]または[ダイレクト接続を有効]を選んでいる場合は、[現在のバージョンを確認]のみ使用できます。

- **アップデートの実行**

  本製品のファームウェアのアップデートを行います。[はい]を選ぶとアップデートを開始します。表示される案内に従ってアップデートを行ってください。

  重要

  - この機能を使用する場合は、本製品がインターネットに接続されていることを確認してください。
  - アップデートを実行すると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。
  - 以下の場合はアップデートを開始できません。
    - ファクスを送信または受信中の場合
    - 印刷できなかったファクスが、本製品のメモリーに一時的に保存された場合（代行受信）
    - 未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合

  参考

  - アップデートに失敗したときは以下を確認し、対処してください。
    - 有線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
    - ルーターなど、ネットワークの設定を確認してください。
    - タッチスクリーンに[サーバーに接続できません]と表示された場合は、[OK]をタップして、しばらく待ってから操作をやり直してください。

- **現在のバージョンを確認**

  現在のファームウェアのバージョンを確認できます。

- **アップデートの通知設定**

  [はい]を選ぶと、ファームウェアのアップデートが可能なときに、タッチスクリーンにアップデートの通知画面が表示されます。

- **DNS サーバー設定**

  DNS サーバーの設定を行います。[自動設定]または[手動設定]を選んでください。[手動設定]を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **プロキシサーバー設定**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

カセット設定

この設定項目は、[セットアップ]の中の[本体設定]から選んでください。

本製品では、カセットにセットした用紙のサイズや種類をあらかじめ本製品に登録することで、セットした用紙と印刷時の用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

➡ 印刷時の用紙設定

- **カセット用紙情報の登録**

  カセットにセットする用紙のサイズ、種類を登録します。

  参考

  - 用紙のサイズと種類を登録すると、コピーの印刷設定を、登録した用紙の設定と同じにするかを選ぶ画面が表示されます。同じ設定にする場合は、[はい]を選んでください。
  - プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
    - Windows をご使用の場合：
      ➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
      ➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
    - Mac OS をご使用の場合：
      ➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
      ➡ プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

- **用紙の設定不一致を検知**

  [はい]を選ぶと、[カセット用紙情報の登録]で登録した用紙のサイズ、種類と印刷設定が一致しているかを検知します。一致しない状態で印刷を開始した場合は、エラーメッセージが表示されます。

- **カセットの抜き差しを検知**

  [はい]を選ぶと、カセットの抜き差しを検知します。カセットを装着したときに[カセット用紙情報の登録]画面が表示されるので、用紙のサイズと種類を登録してください。

管理者パスワードの設定

この設定項目は、［セットアップ］の中の［本体設定］から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

管理者パスワードを設定、解除することができます。

管理者パスワードを設定する場合は、どちらかを選んだあと、管理者パスワードを登録します。

［リモート UI/ツール］

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

［操作パネル/リモート UI/ツール］

本製品の操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

管理者パスワードを設定する手順については以下を参照してください。

➡ 本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する

本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定、解除することができます。

管理者パスワードを設定すると以下のメニューの利用や設定の変更をする際に、管理者パスワードの入力が必要になります。

- Web サービス設定
- ファクス設定
- LAN 設定
- 本体の基本設定
- 言語選択
- ファームウェアのアップデート
- ECO
- 低騒音化
- 動作制限
- 管理者パスワードの設定
- 設定リセット（すべてリセットを除く）
- アドレス帳のインポート
- アドレス帳のエクスポート

以下の手順で管理者パスワードを設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

3.  ［本体設定］をタップする

   ［本体設定］画面が表示されます。

4. ［管理者パスワードの設定］をタップする

5. 管理者パスワード設定の確認画面が表示されたら［はい］をタップする

   管理者パスワードが設定されていないときは、登録確認メッセージが表示されます。［はい］をタップしてください。再度メッセージが表示されますので、OK をタップしてください。

   重要

   - 本製品はご購入時から管理者パスワードが設定されています。管理者パスワードは、本製品のシリアルナンバーに設定されています。

     パスワードについては、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

6. ［管理者パスワードの変更］をタップする

   管理者パスワードを設定しない場合は、［管理者パスワードの解除］をタップします。表示された画面で［はい］をタップしてください。再度メッセージが表示されますので、［OK］をタップしてください。

7. 管理者パスワードの有効範囲をタップする

[リモート UI/ツール]

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

[操作パネル/リモート UI/ツール]

本製品の操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

8. 管理者パスワードを入力する

重要

- パスワードを変更する場合は、以下の文字制限があります。
  - 4～32 文字で設定してください。
  - 使用可能な文字は半角英数字です。
  - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせて 6 文字以上にすることをお勧めします。

9. [確定] をタップする

10. 設定した管理者パスワードを再入力する

11. [確定] をタップする

管理者パスワードが有効になります。

管理者パスワードの変更や解除をしたいときは

管理者パスワードが設定された状態で、本製品の操作パネルから [セットアップ]、[本体設定]、[管理者パスワードの設定] の順にタップし、管理者パスワードを入力すると、[管理者パスワードの変更] と [管理者パスワードの解除] を選ぶことができます。表示される案内に従って操作してください。

動作制限

この設定項目は、[セットアップ]の中の[本体設定]から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

印刷やコピー、ファクスなどの操作や、USB フラッシュメモリー、パソコンの共有フォルダーの使用を制限することができます。

参考

- すべての動作を制限していないときは、動作制限を有効にするか確認画面が表示されます。[はい]をタップすると、動作制限を設定できます。すでに動作制限を設定している場合は、メニュー項目が表示されます。[動作制限の設定変更]をタップすると、動作制限を変更できます。

動作を制限できる項目、動作を制限する手順については以下を参照してください。

本製品の動作制限の設定をする

本製品の動作制限の設定をする

印刷やコピー、ファクスなどの操作や、USB フラッシュメモリー、パソコンの共有フォルダーの使用を制限することができます。制限を一時的に解除することもできます。

➡ 動作制限を一時的に解除したいときは

この機能を有効にする場合は、操作パネルでの設定変更に、管理者パスワードを使用する設定にしてください。

➡ 本製品の操作パネルで管理者パスワードを設定する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   ➡ 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［動作制限］をタップする
5. 管理者パスワードを入力する
6. 動作制限設定の確認画面が表示されたら［はい］をタップする

   すでに動作制限を設定している場合は、メニュー項目が表示されます。［動作制限の設定変更］をタップしてください。
7. 制限したい動作をタップし、制限したい内容を選んでタップする

   ［コピー］
   コピーの操作を制限します。コピーに関するすべての操作を制限する［すべてのコピーを制限］、カラーコピーを制限する［カラーコピーのみを制限］を選ぶことができます。

   ［メモリーダイレクト印刷］
   USB フラッシュメモリーからの印刷を制限します。

   ［スキャン（USB メモリー）］
   スキャンしたデータの USB フラッシュメモリーへの保存を制限します。

   ［スキャン（転送先フォルダー）］
   スキャンしたデータのパソコンの共有フォルダーへの転送を制限します。

   ［スキャン（本体から直接メール）］
   スキャンしたデータの本体からのメール送信を制限します。

   ［メールアドレス帳］
   メールアドレス帳に関する操作を制限します。

   ［ファクス送信］
   ファクス送信を制限します。（パソコンからのファクス送信は制限されません。）

   ［ファクス受信］
   ファクス受信を制限します。

重要

- ［制限する］が選ばれているときにファクスの着信があった場合は、［動作制限が設定されているため実行できません］と表示され、ファクス待機画面に戻ります。この場合はファクスを受信できません。使用している製品の管理者に設定の変更を依頼し、設定を変更したあとに送信元に連絡して、もう一度送信してもらってください。

［電話帳］

電話帳に関する操作を制限します。

8. ［終了］をタップする

設定した動作制限が有効になります。

参考

- 制限をすべて解除する場合は、手順 6 で［動作制限の解除］をタップしてください。確認画面が表示されますので、［はい］をタップしてください。

  それぞれの動作の制限を解除する場合は、手順 7 で解除したい機能をタップしてから［制限しない］をタップしてください。

動作制限を一時的に解除したいときは

以下の手順で一時解除パスワードを設定すると、動作制限を一時的に解除できます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［動作制限］をタップする
5. 管理者パスワードを入力する
6. 表示された画面で［一時解除用パスワード設定］をタップする
7. 表示された画面で［はい］をタップする
8. 表示された画面で［OK］をタップする
9. パスワードを設定する
10. ［確定］をタップする
11. 設定したパスワードを再入力する

12.［確定］をタップする

一時解除パスワードが有効になります。

参考

- 一時解除パスワードで動作制限を解除しても、ファクスの受信は制限されます。
- 動作制限を一時的に解除しているときにタッチスクリーンが消灯した場合は、再度一時解除パスワードを入力してください。

設定リセット

この設定項目は、[セットアップ]の中の[本体設定]から選んでください。

本製品で設定した値を、ご購入時の設定に戻すことができます（使用状況により、一部のデータはリセットされないことがあります）。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。
- リセットする項目によっては、本製品をご購入時の設定に戻すと、接続やセットアップのやり直しが必要となります。

- **Web サービス設定のみ**

  IJ Cloud Printing Center および Google Cloud Print への登録を削除します。

- **LAN 設定のみ**

  管理者パスワード以外の LAN の設定をご購入時の設定に戻します。

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

- **電話番号登録のみ**

  登録した電話／ファクス番号をすべて消去します。

- **設定値のみ**

  用紙サイズや用紙の種類、各設定の項目など、LAN および電話／ファクス番号以外の設定をご購入時の設定に戻します。

- **本体情報の送信設定のみ**

  本製品に関する情報をキヤノンに送信しない設定に戻します。

- **メールアドレス帳登録のみ**

  登録したメールアドレスをすべて消去します。

- **ファクス設定のみ**

  すべてのファクス設定をご購入時の設定に戻します。本製品に接続されている電話線を抜いてからリセットを行ってください。

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

- **すべてリセット**

  上記の設定のすべてをご購入時の設定に戻します。設定した管理者パスワードは、初期設定に戻ります。

  リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやり直してください。

参考

- 次の設定項目は、ご購入時の設定には戻りません。
  - 表示する言語
  - プリントヘッド位置調整結果
  - 国または地域の設定
  - [使用実績]に記録されている、コピー、スキャン、ファクスなどの使用累計
  - SSL/TLS（暗号通信）設定の CSR（証明書署名要求）の生成状態

登録したユーザー名とユーザー電話番号は、以下の手順で削除することができます。

1. ［ユーザー情報設定］画面を表示します。

   ➡ 発信元情報を設定する

2. ユーザー名または電話番号をタップして、入力されている文字または数字をすべて削除します。
3. すべて削除されたら、［OK］をタップします。

- 本体情報の送信設定をリセットしたあと、［本体の基本設定］の［本体情報の送信設定］では、［承諾する］が選ばれていますが、実際には情報送信は行われていません。情報送信を行わない場合は、［承諾しない］をタップしてください。

Web サービス設定

この設定項目は、[セットアップ]の中の[Web サービス設定]から選んでください。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

- **Web サービス接続設定**

  以下の設定をすることができます。

  - Google Cloud Print 設定

    Google Cloud Print への登録、削除を行います。

  - IJ Cloud Printing Center 設定

    Canon Inkjet Cloud Printing Center への登録、削除を行います。

  - Web サービス設定の確認

    Google Cloud Print、Canon Inkjet Cloud Printing Center に本製品を登録しているかを確認できます。

- **DNS サーバー設定**

  DNS サーバーの設定を行います。[自動設定]または[手動設定]を選んでください。[手動設定]を選んだ場合は、表示に従って設定を行ってください。

- **プロキシサーバー設定**

  プロキシサーバーの設定を行います。表示に従って設定を行ってください。

システム情報

この設定項目は、［セットアップ］の中の［システム情報］から選んでください。

- **現在のバージョン**

  現在のファームウェアのバージョンを表示します。

- **プリンター名**

  現在設定されているプリンター名を表示します。

- **シリアル番号**

  本製品のシリアルナンバーを表示します。

- **無線 LAN の MAC アドレス**

  本製品を無線 LAN で使用するときの MAC アドレスを表示します。

- **有線 LAN の MAC アドレス**

  本製品を有線 LAN で使用するときの MAC アドレスを表示します。

ECO 設定について

この設定項目は、ホーム画面から選んでください。

下記の３つの機能の設定ができます。

- 用紙を節約するために自動両面で印刷する

  ➡ 両面印刷を設定する

- 各種機器から印刷やスキャンなどをする場合に、本製品の電源を自動でオンにしたり、指定の時間操作しないときに、電源を自動でオフにする

  ➡ 本製品の電源を自動でオン／オフする

- 指定した時刻や曜日に本製品の電源を自動でオン/オフする

  ➡ 本製品の電源を自動でオン／オフする時刻と曜日を設定する

参考

- 以下の機能は同時には動作しないため、いずれか一方を有効にしてください。
  - 本製品の電源を自動でオン/オフする機能
  - 本製品の電源を自動でオン/オフする時刻と曜日を設定する機能

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

両面印刷を設定する

以下の手順であらかじめ両面印刷を行う機能を設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして 

［ECO］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

3. ［両面印刷設定］をタップする

4. 必要に応じて設定する



   A. タップして、コピーするときの両面印刷を設定します。

   B. タップして、USB フラッシュメモリーに保存されている PDF 文書を印刷するときの両面印刷を設定します。

C. タップして、送受信したファクス、レポート、リストを印刷するときの両面印刷を設定します。

D. タップして、印刷設定を決定します。

参考

- 両面印刷を設定すると、ホーム画面の各メニューや、各機能の印刷設定画面の両面設定の項目に  が表示されます。

本製品の電源を自動でオン／オフする

以下の手順で本製品の電源を自動でオン／オフする設定を行います。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  [ECO]を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

3. [電源管理]をタップする

4. [自動電源管理を使う]をタップする

5. 表示されるメッセージを確認して、[次へ]をタップする

6. 必要に応じて設定する



A. タップして、操作がされなかった場合やパソコンから印刷データが送られなかった場合に、自動的に本製品の電源を切るまでの時間を設定します。

B. タップして設定を選びます。

[する]を選ぶと、印刷データが送られたり、パソコンからスキャンの動作がされたりしたときに、自動的に本製品の電源が入るように設定することができます。

C. タップして設定を決定します。

参考

- 設定を変更すると、消費電力が多くなる場合があります。

本製品の電源を自動でオン／オフする時刻と曜日を設定する

以下の手順で本製品の電源をオン／オフする時刻と曜日を設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして 

［ECO］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

3. ［電源管理］をタップする

4. ［スケジュール管理を使う］をタップする

5. 表示されるメッセージを確認して、［次へ］をタップする

6. 必要に応じて設定する

   - 電源をオンにする時刻と曜日を設定する場合：



     1. ［指定時刻 ON 設定］をタップします。
     2. 表示された画面で［する］をタップします。

        以下の画面が表示されます。



     3. 時刻をタップします。

        以下の画面が表示されます。



4. 数字をタップして、電源をオンにする時刻を指定します。

   時間は 0 時から 24 時の間で、時刻は 10 分刻みで指定できます。

5. ［OK］をタップして、電源をオンにする時刻を決定します。

   電源をオンにする時刻を決定したあと、曜日を指定する画面が表示されます。曜日をタップして、［有効］または［無効］をタップし、［OK］をタップしてください。［有効］を選んだ曜日で、設定が有効になります。

- 電源をオフにする時刻と曜日を設定する場合：



1. ［指定時刻 OFF 設定］をタップします。
2. 表示された画面で［する］をタップします。
3. 表示されるメッセージを確認して、［OK］をタップします。

   以下の画面が表示されます。



4. 時刻をタップします。

   以下の画面が表示されます。



5. 数字をタップして、電源をオフにする時刻を指定します。

   時間は 0 時から 24 時の間で、時刻は 10 分刻みで指定できます。

6. ［OK］をタップして、電源をオフにする時刻を決定します。

電源をオフにする時刻を指定したあと、曜日を指定する画面が表示されます。曜日をタップして、［有効］または［無効］をタップし、［OK］をタップしてください。［有効］を選んだ曜日で、設定が有効になります。

低騒音化設定について

この設定項目は、ホーム画面から選んでください。

夜間など、本製品の動作音が気になるときに、動作音をおさえることができます。また、動作音をおさえる時間帯を指定することもできます。

重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。
- 低騒音化設定をする前に、現在の日付、時刻を設定してください。

  ➡ 発信元情報を設定する

以下の手順で設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして 

［低騒音化］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

3. ［低騒音化モードで使用する］または［指定時間だけ使用する］をタップする

   - ［低騒音化モードで使用する］を選んだ場合：

     確認画面が表示され、［低騒音化］のメニューアイコンが 

に変わります。

   - ［指定時間だけ使用する］を選んだ場合：

     ［低騒音化モードの時間設定］画面が表示されます。



A. タップすると、以下の画面が表示されます。



1. 数字をタップして、開始時刻を指定します。

時間は 0 時から 24 時の間で指定できます。

2. タップして、開始時刻を決定します。

開始時刻を指定したあと、同様の手順で終了時刻を指定します。

B. タップして、開始時刻と終了時刻を決定します。

指定した時間の間、印刷時の動作音をおさえることができます。

確認画面が表示され、［低騒音化］のメニューアイコンが 

に変わります。

重要

- ［低騒音化モードで使用しない］を選んだときに比べ、動作が遅くなります。
- 設定によっては、効果が少ない場合があります。また、準備動作時の音などは、通常の音と変わりません。

参考

- 低騒音化モードは、本製品の操作パネルやプリンタードライバーから設定することができます。いずれの方法で設定した場合でも、本製品の操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- Windows をご使用の場合は、ScanGear（スキャナードライバー）からも低騒音化モードの設定をすることができます。

よく使う設定を登録する（カスタム設定）

コピーやスキャン、ファクス送信でよく使う設定を登録すると、登録した設定をホーム画面から呼び出すことができます。

最大 20 件までの設定を登録することができます。

- 設定を登録する
- 登録した設定を呼び出す
- 登録した設定を編集／削除する

設定を登録する

コピー、スキャン、ファクス送信のそれぞれの待機画面または設定後の画面で、［カスタム登録］をタップします。

コピー待機画面　　スキャン待機画面　　ファクス送信待機画面



［カスタム登録］の登録確認画面が表示されたら、［はい］をタップしてください。

設定の名称を入力する画面が表示されるので、名称を入力し、［登録］をタップしてください。

参考

- 名称を入力せずに［登録］をタップすると、表示されている名称で設定が登録されます。

登録した設定を呼び出す

以下の手順で登録した設定を呼び出します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［カスタム設定］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3. 呼び出したい設定をタップする

   参考

   - ［表示切り換え］をタップすると、表示する項目を変更することができます。

登録した設定を編集／削除する

以下の手順で登録した設定を編集／削除できます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［カスタム設定］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

3. ［編集/削除］をタップする

   登録した設定の並べ替えや名称の変更、および設定の削除ができます。

   - 登録した設定を並べ替える場合
     1. ［並び替え］をタップします。
     2. 移動したい設定をタップします。
     3.  または  をタップして、設定を移動します。
     4. ［確定］をタップします。
     5. ［終了］をタップします。
   - 登録した設定の名前を変更する場合
     1. ［名称変更］をタップします。
     2. 名称を変更したい設定をタップします。
     3. 新しい名称を入力し、［OK］をタップします。

        ➡ 文字や数字を入力する
     4. ［終了］をタップします。
   - 登録した設定を削除する場合
     1. ［削除］をタップします。
     2. 削除したい設定をタップします。
     3. 表示された画面で、［はい］をタップします。
     4. ［終了］をタップします。

使用実績を確認する

コピーなどの印刷枚数、ファクスの受信／送信件数と枚数、スキャンの枚数の累計を確認することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［使用実績］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ［使用実績］画面が表示されます。

3. 確認したい使用実績をタップする

   ［本製品全体の使用枚数］
   本製品で印刷した総枚数を表示します。

   ［コピーの使用枚数］
   本製品でコピーした総枚数を表示します。

   ［ファクスの使用枚数］
   ファクス受信件数と印刷の総枚数を表示します。

   ［その他機能の使用枚数］
   コピー、ファクス以外で本製品で印刷した総枚数を表示します。

   ［ファクス送信の枚数］
   ファクスの送信件数と総枚数を表示します。

   ［スキャンの枚数］
   本製品でスキャンした総枚数を表示します。

参考

- ［本体設定］の［設定リセット］で本製品の設定をご購入時の設定に戻した場合でも、それぞれの総件数と総枚数はリセットされません。

ウェブブラウザーから本製品の設定を変更する

- ウェブブラウザーから設定を変更する
- ウェブブラウザーで設定できる項目
- パスワードを設定する
- メールサーバーを設定する
- スキャンデータを送信するときのメール設定を行う
- 本製品の状態をメールで受信する

ウェブブラウザーから設定を変更する

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを使用し、ウェブブラウザーでプリンターの情報の確認や本製品の設定変更を行うことができます。

プリンターの情報の確認や本製品の設定を変更するときは、ウェブブラウザーで「リモート UI」を表示します。

参考

- リモート UI とは、ウェブブラウザーを使ってパソコンからネットワークを経由して本製品にアクセスし、本製品の状態の確認や各種設定など、本製品の操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。

  リモート UI を使用するときは、本製品を LAN 接続してください。
- リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザーで利用できます。
  - iOS 機器

    OS：iOS 7.0 以上

    ブラウザー：iOS 機器標準搭載のブラウザ（Mobile Safari）
  - Android 機器

    OS：Android 4.0 以上

    ブラウザー：Android 機器標準搭載のブラウザ（ブラウザまたは Chrome）
  - Mac OS 機器

    OS：Mac OS X v.10.6 以上

    ブラウザー：Safari 5.1 以上
  - Windows 機器

    OS：Windows Vista SP2 以上

    ブラウザー：Internet Explorer 9 以上、Google Chrome 41.0.2272.118m 以上、Mozilla Firefox 37.0.1 以上

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 本製品の IP アドレスを確認する

   以下の手順で、本製品の IP アドレスを確認します。

   1. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

      操作パネルの使いかた

      メニュー画面が表示されます。
   2.  ［本体設定］をタップする
   3. ［LAN 設定］をタップする
   4. ［LAN 設定情報の確認］をタップする
   5. ［IPv4 アドレス］を確認する

3. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザーを開き、プリンターの IP アドレスにアクセスする

   ウェブブラウザーの URL 欄で、下記のように入力します。

   http://XXX.XX.X.XXX

   「XXX.XX.X.XXX」には、IP アドレスを入力してください。

   アクセスできたら、ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンのウェブブラウザーに「リモート UI」が表示されます。

4. ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、[安全な通信を確保するには] を選ぶ

   ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザーに登録します。

   ➡ 本製品のルート証明書をウェブブラウザーに登録する

   参考

   - いったん、ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンでウェブブラウザーにルート証明書を登録すると、次回以降この手順は不要です。

     本製品の操作パネルから [すべてリセット] を実行した場合は、ルート証明書を再ダウンロードして、ウェブブラウザーに登録し直してください。
   - ルート証明書を登録していないときは、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

5. [ログオン] を選ぶ

   パスワード認証画面が表示されます。

   参考

   - 一般ユーザーモードを有効にしている場合は、管理者モードまたは一般ユーザーモードのどちらでログオンするか選んでください。

     モードを選んでから [ログオン] を選ぶと、それぞれのモードのパスワード認証画面が表示されます。

6. パスワードを入力する

   パスワードの認証が完了すると、利用できるメニューが表示されます。

   重要

   - 本製品はご購入時から管理パスワードが設定されています。管理パスワードは本製品のシリアルナンバーに設定されています。本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体のシールに記載されています。

     パスワードの変更方法については、「パスワードを設定する」を参照してください。

7. プリンターの詳細情報の確認や、本製品の設定を変更する

   設定できる項目については、以下を参照してください。

   ➡ ウェブブラウザーで設定できる項目

8. 情報の確認や設定変更が終了したら、［ログオフ］ボタンを選ぶ

9. ウェブブラウザーを閉じる

本製品のルート証明書をウェブブラウザーに登録する

ウェブブラウザーにルート証明書を登録していない場合は、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザーに登録してください。安全な通信ができることが確認され、警告が表示されないようになります。

ウェブブラウザーによって、ルート証明書の登録方法が異なります。

- Internet Explorer の場合
- Safari の場合
- Android の Chrome の場合
- iOS の Mobile Safari の場合

他のウェブブラウザーでの登録方法については、それぞれのヘルプを参照してください。

重要

- ルート証明書を登録するときは、ウェブブラウザーの URL 欄を確認し、本製品の IP アドレスに正しくアクセスしているか確認してください。

Internet Explorer の場合

1. Remote UI の［ダウンロード］を選ぶ

   ルート証明書のダウンロードが始まります。

2. ダウンロードの確認画面が表示されたら、［開く］を選ぶ

   ［証明書］画面が表示されます。

   参考

   - ［保存］を選んで、いったん証明書ファイルを保存してから登録することもできます。登録するときは、Internet Explorer の［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選び、［コンテンツ］シートの［証明書］から登録してください。

3. ［証明書のインストール］を選ぶ

   ［証明書のインポート ウィザード］画面が表示されます。

4. ［次へ］を選ぶ

5. ［証明書をすべて次のストアに配置する］を選ぶ

6. ［参照］を選ぶ

   ［証明書ストアの選択］画面が表示されます。

7. ［信頼されたルート証明機関］を選び、［OK］を選ぶ

8. ［証明書のインポート ウィザード］画面で［次へ］を選ぶ

9. ［証明書のインポート ウィザードの完了］が表示されたら、［完了］を選ぶ

   ［セキュリティ警告］画面が表示されます。

10. ［セキュリティ警告］画面の拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致しているか確認する

    本製品のルート証明書の拇印は、ホーム画面から［セットアップ］、［本体設定］、［LAN 設定］、［LAN 設定情報の確認］を順に選び、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］を確認してください。

11. 拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致している場合は、［セキュリティ警告］画面の［はい］を選ぶ

12. ［証明書のインポート ウィザード］画面で［OK］を選ぶ

    ルート証明書の登録が完了します。

Safari の場合

1. Remote UI の［ダウンロード］を選ぶ

   ルート証明書のダウンロードが始まります。

2. ダウンロードしたファイルを開く

   ［証明書の追加］画面が表示されます。

3. ［追加］を選ぶ

4. 証明書の詳細情報の拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致しているか確認する

   本製品のルート証明書の拇印は、ホーム画面から［セットアップ］、［本体設定］、［LAN 設定］、［LAN 設定情報の確認］を順に選び、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］を確認してください。

5. 拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致している場合は、［常に信頼］を選ぶ

   ルート証明書の登録が完了します。

   参考

   - ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

Android の Chrome の場合

1. Remote UI の［ダウンロード］を選ぶ

   ルート証明書のダウンロードが始まり、［証明書の名前を指定する］画面が表示されます。

2. 証明書名を指定し、［OK］を選ぶ

   ルート証明書の登録が完了します。

参考

- ご使用の機器でセキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定していない場合は、注意画面が表示される場合があります。［OK］を選び、セキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定してください。
- ルート証明書の登録後 Remote UI の［ログオン］を選んだときに安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示された場合は、ウェブブラウザーを再起動してください。安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示されないようになります。

ルート証明書を登録したあとで

登録したルート証明書が正しいものか確認することをお勧めします。

Android 機器によっては、認証情報を含んだルート証明書を登録したことで警告が表示される場合があります。

登録したルート証明書が正しいものか確認するためには、登録したルート証明書の拇印と、本製品の拇印が一致していることを確認します。以下の手順で確認します。

参考

- Android 機器によっては、登録したルート証明書の拇印を確認できない場合があります。

1. ご使用の機器の［設定］メニューから、［セキュリティ］、［信頼できる認証情報］、［ユーザー］を選ぶ

   ダウンロードした証明書の一覧が表示されます。

2. ダウンロードした証明書を選ぶ

   証明書の詳細情報画面が表示されます。

3. 証明書の詳細情報の拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致しているか確認する

   本製品のルート証明書の拇印は、ホーム画面から［セットアップ］、［本体設定］、［LAN 設定］、［LAN 設定情報の確認］を順に選び、［ルート証明書の拇印(SHA-1)］または［ルート証明書の拇印(SHA-256)］を確認してください。

4. 拇印欄と、本製品のルート証明書の拇印が一致している場合は、［OK］を選ぶ

   ルート証明書の確認が完了します。

iOS の Mobile Safari の場合

1. Remote UI の［ダウンロード］を選ぶ

   ［プロファイルをインストール］画面が表示されます。

2. ［インストール］を選ぶ

   ［警告］画面が表示されます。

   参考

   - ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

3. ［インストール］を選ぶ

4. 表示されたダイアログで［インストール］を選ぶ

ルート証明書の登録が完了します。

ウェブブラウザーで設定できる項目

参考

- ここで説明している項目は、実際のウェブブラウザーで表示される項目と表示順が異なる場合があります。
- 管理者モード／一般ユーザーモードで利用できる項目が異なります。

セキュリティに関する項目

[セキュリティ]（管理者向け項目）

パスワードや一般ユーザーモードの設定、動作制限、暗号化通信のための証明書に関する設定（SSL/TLS 設定）を指定することができます。
パスワードの変更方法については「パスワードを設定する」を参照してください。

保守／管理に関する項目

[ユーティリティ]

クリーニングなど、本製品のユーティリティ機能を設定し実行することができます。

[システム情報と LAN 設定]

システム情報の確認や、LAN 接続に関する設定を変更できます。
[LAN 設定]の[その他の設定]の[IP フィルタリング]では、IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスそれぞれで特定の IP アドレスの接続を許可または拒否することができます。
[LAN 設定]の[その他の設定]の[SNMP 設定]では、ネットワーク経由で本製品を管理または制御するために SNMP や MIB の設定を行うことができます。

重要

- [IP フィルタリング]で誤って管理者の機器の IP アドレスを拒否設定してしまった場合は、本製品の LAN 設定をリセットしてください。

  LAN 設定のリセット方法については、「設定リセット」を参照してください。

参考

- 一部のメニューは、管理者モードでログオンしている時のみ利用できます。

[ファームウェアのアップデート]（管理者向け項目）

ファームウェアのアップデートやバージョン情報の確認などを行うことができます。

[言語選択]（管理者向け項目）

表示言語を変更できます。

本体に関する項目

[本体設定]

低騒音化や省電力設定、印刷設定など本製品の設定を変更できます。

また、メール機能の設定や、インク残量警告やエラーなど本製品の状態をお知らせするように設定できます。

- メールサーバーを設定する
- スキャンデータを送信するときのメール設定を行う
- 本製品の状態をメールで受信する

参考

- 一部のメニューは、管理者モードでログオンしている時のみ利用できます。

[AirPrint 設定]

位置情報など AirPrint の設定を行うことができます。

[Web サービス接続設定]（管理者向け項目）

Google Cloud Print または IJ Cloud Printing Center へ本製品の登録と削除を行うことができます。

その他の項目

[プリンターの状態]

本製品のインク残量、ステータス、エラーの詳細情報などを表示します。
また、インク購入サイトやサポートページに接続し、ウェブサービスを利用することができます。

[使用実績]

コピーなどの印刷枚数、ファクスの受信／送信件数と枚数、スキャンの枚数の累計を表示します。

[マニュアル]

オンラインマニュアル - 取扱説明書 -を表示します。

パスワードを設定する

パスワードには管理者向けと一般ユーザー向けがあります。

管理者向けパスワードでログオンすると、本製品に関するすべての設定を変更することができます。

一般ユーザー向けパスワードでログオンすると、一部の設定のみ変更できます。

また、管理者向けパスワードでログオンした場合は一般ユーザー向けに機能を制限することができます。

- 管理者パスワードを設定する
- 一般ユーザーパスワードを設定する

参考

- パスワードは、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。

管理者パスワードを設定する

以下の手順で、管理者パスワードを変更します。

重要

- 本製品はご購入時から管理パスワードが設定されています。管理パスワードは本製品のシリアルナンバーに設定されています。本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体のシールに記載されています。

1. ウェブブラウザーでプリンター情報を表示する
2. ［セキュリティ］を選ぶ

   メニューが表示されます。
3. ［管理者パスワードの設定］を選ぶ
4. ［管理者パスワードの変更］を選ぶ

   管理者パスワードが設定されていないときは、登録確認メッセージが表示されます。［はい］を選んでください。再度メッセージ表示されますので、［OK］を選んでください。
5. 管理者パスワードの有効範囲を選び、［OK］を選ぶ

   ［リモート UI/ツール］

   リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

   ［操作パネル/リモート UI/ツール］

   本製品の操作パネルやリモート UI、一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。
6. パスワードを入力し、［OK］を選ぶ

   重要

   - パスワードには、以下の文字制限があります。
     - 4～32 文字で設定してください。
     - 使用可能な文字は半角英数字です。

- セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせて 6 文字以上にすることをお勧めします。

7. 完了メッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

一般ユーザーパスワードを設定する

一般ユーザー向けに機能を制限するには、以下の手順で一般ユーザーモード設定を有効にして、一般ユーザーパスワードを設定します。

1. ウェブブラウザーでプリンター情報を表示する
2. [セキュリティ] を選ぶ

   メニューが表示されます。
3. [一般ユーザーモード設定] を選ぶ
4. 確認メッセージが表示されたら、[はい] を選ぶ
5. パスワードを入力し、[OK] を選ぶ

   重要

   - パスワードには、以下の文字制限があります。
     - 4～32 文字で設定してください。
     - 使用可能な文字は半角英数字です。
     - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせて 6 文字以上にすることをお勧めします。
6. 完了メッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

メールサーバーを設定する

メール機能を利用する場合は、初めにメールサーバーの設定を行います。

参考

- 本製品の操作パネルでタイムゾーンの設定をしていない場合、送信メールに正しい時刻が表示されないことをお知らせするメッセージが表示されます。送信メールに正しい時刻が表示されるように本製品の操作パネルからタイムゾーンの設定をすることをお勧めします。

  タイムゾーンの設定については、「本体の基本設定」を参照してください。
- これらの機能は、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。

1. ウェブブラウザーでプリンター情報を表示する
2. ［本体設定］を選ぶ

   メニューが表示されます。
3. ［メールサーバー設定/接続確認］を選ぶ
4. ［メールサーバー設定］を選ぶ

   メールサーバーの設定項目が表示されます。
5. メールサーバーの設定を指定する

   以下の項目を設定します。

   ［送信元アドレス］
   送信元（本製品）のメールアドレスを入力します。

   ［送信メールサーバー(SMTP)］
   ご使用の送信メールサーバー（SMTP サーバー）のアドレスを入力します。

   ［ポート番号(SMTP)］
   ご使用の送信メールサーバー（SMTP サーバー）のポート番号を入力します。

   ［セキュア接続(SSL)を使う］
   セキュア接続（SSL）を使用する場合に選びます。

   ［証明書を検証しない］
   証明書検証を行わない場合に選びます。

   ［認証方式］
   認証方式を選びます。

   ［SMTP 認証］
   SMTP 認証を使用してメールを送信する場合の設定に選びます。
   続けて、以下の設定を行います。
   - ［送信用アカウント］

     認証を行うために送信用のアカウントを指定します。
   - ［送信用パスワード］

     認証を行うために送信用のパスワードを指定します。

[POP before SMTP]

POP before SMTP 認証を使用してメールを送信する場合に選びます。
続けて、以下の設定を行います。

- [受信メールサーバー(POP3)]

  ご使用の受信メールサーバー（POP3 サーバー）のアドレスを入力します。

- [ポート番号(POP3)]

  ご使用の受信メールサーバー（POP3 サーバー）のポート番号を入力します。

- [受信用アカウント]

  認証を行うために受信用のアカウントを指定します。

- [受信用パスワード]

  認証を行うために受信用のパスワードを指定します。

- [APOP 認証を使う]

  パスワード送信する際に、暗号化して送信する場合に選びます。

- [メールボックスをクリアにする]

  受信メールサーバー（POP3 サーバー）に残っているメールを削除する場合に選びます。

  重要

  - この設定を有効にすると、サーバー上の受信トレイにあるメールが全て削除されてしまいます。普段ご使用のメールアドレスを指定したときは、未読メールが削除されないように必ずこの設定を無効にしてください。未読メールを誤って削除しないようにするために、本製品専用の E メールアカウントをご用意されることをお勧めします。

[認証なし]

認証が必要がない場合に選びます。

6. メールサーバーの設定を指定が終えたら、[OK] を選ぶ

設定が完了します。

参考

- [メールサーバーの接続確認] で、メールサーバーの設定が正しく指定されているか確認できます。

スキャンデータを送信するときのメール設定を行う

スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信するときの設定を指定できます。

ここでは、スキャンしたデータをメール添付で送信するときの件名や本文、添付ファイルのサイズ制限について説明しています。

参考

- 件名や本文、添付ファイルのサイズ制限の設定は、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。
- スキャンしたデータをメール添付で送信する方法や、送信先のメールアドレスの登録については、以下を参照してください。

  スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する
- あらかじめメールサーバーの設定を行ってください。

  メールサーバーを設定する

1. ウェブブラウザーでプリンター情報を表示する
2. ［本体設定］を選ぶ

   メニューが表示されます。
3. ［スキャン（本体から直接メール）設定］を選ぶ
4. ［メールの送信情報設定］を選ぶ

   メール設定項目が表示されます。
5. メール設定を指定する

   以下の項目を設定します。

   ［件名］

   メールの件名を英数カナ 20 文字以内で入力します。

   参考

   - ここで指定した件名は、スキャンデータを送信するときのデフォルトの件名となります。メールの件名は本製品の操作パネルを使ってスキャンデータを送信するときに変更できます。

   ［本文］

   メールの本文を英数カナ 80 文字以内で入力します。

   ［添付データの最大サイズ］

   添付するスキャンデータの最大ファイルサイズを選びます。
6. メール設定を指定が終えたら、［OK］を選ぶ

   設定が完了します。

本製品の状態をメールで受信する

インク残量警告やエラーなど、本製品の状態をメールでお知らせすることができます。

参考

- あらかじめメールサーバーの設定を行ってください。

  ➡ メールサーバーを設定する
- 本製品の操作パネルで日付/時刻設定の設定をしていない場合、送信メールに日付や時刻が表示されない場合があります。送信メールに正しく日付や時刻が表示されるように本製品の操作パネルから日付/時刻の設定をすることをお勧めします。

  日付/時刻の設定については、「本体の基本設定」を参照してください。
- これらの機能は、管理者モードでログオンしている時のみ設定できます。

以下の手順で、通知設定を行います。

1. ウェブブラウザーでプリンター情報を表示する
2. ［本体設定］を選ぶ

   メニューが表示されます。
3. ［ステータスの通知メール設定］を選ぶ
4. ［通知先設定］を選ぶ

   通知先を登録する画面が表示されます。
5. 通知先の設定を行う

   以下の手順で、通知先を最大 5 件まで登録できます。

   1. 通知先登録番号を選びます。
   2. ［登録する］を選びます。
   3. メールアドレスを入力し、どの状態で通知するかを選びます。
   4. ［OK］を選びます。

      通知先の登録が完了します。
6. ［本体設定］、［ステータスの通知メール設定］、［再送設定］を順に選ぶ
7. 再送設定を行う

   以下の手順で、メール送信に失敗したときに何回再送するかを設定します。

   1. 再送する回数を選びます。
   2. 再送する間隔を指定します。
   3. ［OK］を選びます。

      再送設定が完了します。

ネットワーク接続に関する情報

- ネットワーク接続で役立つ情報

ネットワーク接続で役立つ情報

- 工場出荷時初期値（ネットワーク）
- 同じ名前のプリンターを検出したときは
- 他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える
- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する
- LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える

工場出荷時初期値（ネットワーク）

LAN 接続の初期値

項目名	初期値
[LAN の切り換え]	[LAN を無効]
[SSID]	BJNPSETUP
通信モード	インフラストラクチャー
[無線 LAN セキュリティ]	[無効]
[IP アドレス]（[IPv4]）	[自動設定]
[IP アドレス]（[IPv6]）	[自動設定]
[プリンター名設定] *	XXXXXXXXXXXX
[IPv6 の有効/無効]	[有効]
[WSD の有効/無効]	[有効]
[タイムアウト設定]	[1 分]
[Bonjour の有効/無効]	[有効]
[サービス名]	Canon MB5100 series
[LPR プロトコル設定]	[有効]
[有線 LAN 間欠受信設定]	[有効]
[RAW プロトコル]	[有効]
[LLMNR]	[有効]

（XX は英数字を示す）

* ご使用のプリンターにより異なります。本製品の操作パネルから設定を確認することができます。

➡ LAN 設定

ダイレクト接続の初期値

項目名	初期値
[SSID]　（ダイレクト接続時の識別名）	DIRECT-abXX-MB5100series *1
[パスワード]	YYYYYYYYYY *2
[無線 LAN セキュリティ]	[WPA2-PSK (AES)]
[ダイレクト接続のデバイス名]	ZZZZZZ-MB5100series *3
[接続要求の確認設定]	表示する

*1 "ab"はランダムに生成、"XX"は本製品の MAC アドレスの下 2 桁。（本製品の電源を初めて入れたときに設定されます。）

*2 本製品の電源を初めて入れたときに、自動的に設定されます。

*3 "ZZZZZZ"は本製品の MAC アドレスの下 6 桁

同じ名前のプリンターを検出したときは

本製品を検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。

本製品の設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。

- Windows をご使用の場合：

  本製品に設定されている MAC アドレスや本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

- Mac OS をご使用の場合：

  検出結果の画面のプリンター名は、プリンター名の末尾に MAC アドレスが付加されて表示される、または Bonjour を使用して設定したプリンター名で表示されます。

  本製品に設定されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名や本製品のシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレス、Bonjour を使用して設定したプリンター名やシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

参考

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。

本製品の MAC アドレスやシリアルナンバーは、以下の方法で確認することができます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。

  MAC アドレス

  ➡ LAN 設定

  シリアルナンバー

  ➡ システム情報

- ネットワーク設定情報を印刷する。

  ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

他のパソコンに LAN 接続する／USB 接続を LAN 接続に切り替える

- Windows をご使用の場合：
- Mac OS をご使用の場合：

Windows をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り替える場合は、セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

Mac OS をご使用の場合：

本製品と LAN 接続するパソコンを追加したい場合や、本製品を USB 接続で使用しているときに LAN 接続に切り替える場合は、ウェブページの指示に従ってセットアップを行います。

本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品の操作パネルから、現在の LAN 設定を印刷して確認することができます。

重要

- ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. A4 サイズの普通紙を 3 枚セットする
3. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   メニュー画面が表示されます。
4.  ［本体設定］をタップする
5. ［LAN 設定］をタップする

   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
6. ［LAN 設定情報の確認］をタップする
7. 表示されたメッセージを確認して、［OK］をタップする
8. ［詳細情報印刷］をタップする
9. ［はい］をタップする

   ネットワーク設定情報の印刷が開始されます。

   確認できる項目は以下のとおりです。

項目	項目の内容	現在の状態
Product Information	製品情報	—
Product Name	製品名	XXXXXXXX
ROM Version	ROM バージョン	XXXXXXXX
Serial Number	シリアルナンバー	XXXXXXXX
Wireless LAN	無線 LAN の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
Infrastructure	インフラストラクチャー	Enable（有効）／Disable（無効）
Connection	接続状態	Active（有効）／Inactive（無効）

SSID	SSID	無線 LAN の SSID
Channel *1	無線チャンネル	XX（1～13）
Encryption	暗号方式の種類	none／WEP／TKIP／AES
WEP Key Length	WEP の bit 数	Inactive／128／64
Authentication	認証方式の種類	none（なし）／auto（自動）／open（オープン）／shared／WPA-PSK／WPA2-PSK
Signal Strength	電波強度	0～100（%）
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
Manual Setting	マニュアル設定	Enable（有効）／Disable（無効）
IP Address *2	IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Subnet Prefix Length	サブネットプレフィックス長	XXX
Stateless Address1 *2	ステートレスアドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length1 *2	ステートレスプレフィックス長 1	XXX
Stateless Address2 *2	ステートレスアドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length2 *2	ステートレスプレフィックス長 2	XXX
Stateless Address3 *2	ステートレスアドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length3 *2	ステートレスプレフィックス長 3	XXX
Stateless Address4 *2	ステートレスアドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length4 *2	ステートレスプレフィックス長 4	XXX

Default Gateway1 *2	デフォルトゲートウェイ 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway2 *2	デフォルトゲートウェイ 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway3 *2	デフォルトゲートウェイ 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway4 *2	デフォルトゲートウェイ 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
IPsec *3	IPsec 設定	Active
Security Protocol *3	セキュリティ方法	ESP／ESP & AH／AH
Direct Connection	ダイレクト接続の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Connection	接続状態	Active（有効）／Inactive（無効）
SSID	SSID	ダイレクト接続の SSID
Password	パスワード	ダイレクト接続のパスワード(半角英数字で 10 文字)
Channel	無線チャンネル	3
Encryption	暗号方式の種類	AES
Authentication	認証方式の種類	WPA2-PSK
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Subnet Prefix Length *2	サブネットプレフィックス長	XXX
IPsec *3	IPsec 設定	Active
Security Protocol *3	セキュリティ方法	—
Wired LAN	有線 LAN の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
MAC Address	MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
Connection	有線 LAN の状態	Active／Inactive
TCP/IPv4	TCP/IPv4 の動作モード	Enable（有効）
IP Address	IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX

Subnet Mask	サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
TCP/IPv6	TCP/IPv6 の動作モード	Enable（有効）／Disable（無効）
Link Local Address	リンクローカルアドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Link Local Prefix Length	リンクローカルプレフィックス長	XXX
Manual Setting	マニュアル設定	Enable（有効）／Disable（無効）
IP Address *2	IP アドレス	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Subnet Prefix Length	サブネットプレフィックス長	XXX
Stateless Address1 *2	ステートレスアドレス 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length1 *2	ステートレスプレフィックス長 1	XXX
Stateless Address2 *2	ステートレスアドレス 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length2 *2	ステートレスプレフィックス長 2	XXX
Stateless Address3 *2	ステートレスアドレス 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length3 *2	ステートレスプレフィックス長 3	XXX
Stateless Address4 *2	ステートレスアドレス 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Stateless Prefix Length4 *2	ステートレスプレフィックス長 4	XXX
Default Gateway1 *2	デフォルトゲートウェイ 1	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway2 *2	デフォルトゲートウェイ 2	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway3 *2	デフォルトゲートウェイ 3	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
Default Gateway4 *2	デフォルトゲートウェイ 4	XXXX:XXXX:XXXX:XXXX XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
IPsec *3	IPsec 設定	Active
Security Protocol *3	セキュリティ方法	ESP／ESP & AH／AH
Wired LAN DRX	有線 LAN 間欠受信	Enable（有効）／Disable（無効）

Other Settings	その他の設定	—
Printer Name	プリンター名	プリンター名（半角英数字で最大 15 文字）
Direct Conn. DevName	ダイレクト接続のデバイス名	ダイレクト接続のデバイス名（半角英数字で最大 32 文字）
WSD Printing	WSD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
WSD Timeout	タイムアウト時間	1／5／10／15／20 （分）
LPD Printing	LPD 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
RAW Printing	RAW 印刷設定	Enable（有効）／Disable（無効）
Bonjour	Bonjour 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
Bonjour Service Name	Bonjour のサービス名	Bonjour のサービス名（半角英数字で最大 52 文字）
LLMNR	LLMNR 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
SNMP	SNMP 設定	Enable（有効）／Disable（無効）
DNS Server	DNS サーバーの自動取得	Auto／Manual
Primary Server	プライマリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Secondary Server	セカンダリサーバーアドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
Proxy Server	プロキシサーバー	Enable（使用する）／Disable（使用しない）
Proxy Address	プロキシアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXXXX
Proxy Port	ポート指定	1～65535
Cert. Fingerprt(SHA-1)	証明書の拇印（SHA-1）	xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
Cert. Fingerprt(SHA-256)	証明書の拇印（SHA-256）	xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx

（XX は英数字を示す）

*1 ご購入の国や地域によっては、1 から 11 のいずれかのチャンネルが印刷されます。

*2 IPv6 が有効のときのみ、ネットワークの状態が印刷されます。

*3 IPv6 と IPsec の設定が有効のときのみ、ネットワークの状態が印刷されます。

LAN の接続方法を切り替える／無線 LAN の接続方法を切り替える

- LAN の接続方法を切り替える
- 無線 LAN の接続方法を切り替える

LAN の接続方法を切り替える

本製品を LAN 接続で使用しているときに接続方法（有線 LAN 接続または無線 LAN 接続）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って再度セットアップを行う。
  - ホーム画面左下のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］で［無線 LAN を有効］または［有線 LAN を有効］を選ぶ。

    その後 IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）の［プロトコル設定］画面で設定を行う。

    設定の詳細は、「無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する」または「有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する」を参照してください。

- **Mac OS をご使用の場合：**
  - ウェブページの指示に従って再度セットアップを行う。
  - ホーム画面左下のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］で［無線 LAN を有効］または［有線 LAN を有効］を選ぶ。

    その後 IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）の［ワイヤレス LAN］シートまたは［有線 LAN］シートで設定を行う。

    設定の詳細は、「[無線 LAN] シートの設定を変更する」または「[有線 LAN] シートの設定を変更する」を参照してください。

無線 LAN の接続方法を切り替える

本製品を無線 LAN 接続で使用しているときに接続方法（インフラストラクチャー接続またはダイレクト接続）を切り替えたい場合は、以下のいずれかの方法で行ってください。

- **Windows をご使用の場合：**
  - セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って再度セットアップを行う。
  - IJ Network Device Setup Utility の［プロトコル設定］画面で設定を行う。

重要

- IJ Network Device Setup Utility で設定を行う場合は、プリンターをあらかじめケーブルレスセットアップモードにする必要があります。以下の手順で、プリンターをケーブルレスセットアップモードにしてください。

  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. ホーム画面をフリックして  ［LAN 設定］を表示し、タップする

     操作パネルの使いかた

     管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
  3. ［無線 LAN セットアップ］をタップする

4. ［ケーブルレスセットアップ］をタップする
5. 表示されたメッセージを確認して、［OK］をタップする

   スマートフォンやタブレットの案内に従って操作してください。
6. 設定完了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

- **Mac OS をご使用の場合：**

  ウェブページの指示に従って再度セットアップを行ってください。

ネットワークの設定について（IJ Network Device Setup Utility）（Windows）

- IJ Network Device Setup Utility について
- IJ Network Device Setup Utility を起動する
- ［IJ Network Device Setup Utility］画面
- ネットワークの設定をする
- ネットワークの状況を確認する
- IJ Network Device Setup Utility のメニュー
- ネットワークに関するその他の情報

IJ Network Device Setup Utility について

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）は、オフィスなどのネットワーク管理者やプリンター管理者が、ネットワーク上のプリンターを管理するためのユーティリティです。本製品のセットアップ時にインストールされます。

IJ Network Device Setup Utility を使用して、以下のことを行えます。

- ネットワーク上のプリンターを検索して、検出したプリンターのネットワークの初期設定を行う
- プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続し、ネットワークの初期設定を行う（一部の機種のみ）
- プリンターのネットワーク設定を変更する
- IJ Network Device Setup Utility がインストールされているパソコンとプリンターの接続に問題があるときに、プリンターとパソコンの状態を確認する

重要

- 機種によっては、ご購入時の状態で管理者パスワードが設定されています。ネットワークの設定を変更する際には、管理者パスワードの認証が必要となります。

  詳細は以下を参照してください。

  ➡管理用のパスワードについて

  安全性の向上のため、管理者パスワードの変更をおすすめします。

  ➡管理者パスワードを変更する
- 本製品を LAN 接続でお使いになる場合は、無線 LAN ルーターや LAN ケーブルなど、利用形態に応じて接続環境を準備してください。
- セットアップ時または IJ Network Device Setup Utility のインストール時に、ファイアウォールのブロック機能を解除してください。
- 印刷中に IJ Network Device Setup Utility で、ネットワークの設定を変更しないでください。

IJ Network Device Setup Utility を起動する

以下の手順で起動します。

- Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Network Device Setup Utility］を選びます。［IJ Network Device Setup Utility］が表示されない場合は、［Web と Windows を検索］から「IJ Network Device Setup Utility」を検索してください。
- Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［IJ Network Device Setup Utility］を選びます。［IJ Network Device Setup Utility］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Network Device Setup Utility」を検索してください。
- Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Network Device Setup Utility］→［IJ Network Device Setup Utility］を選びます。

IJ Network Device Setup Utility を起動するとネットワーク上のプリンターを検索し、検出されたプリンターが一覧表示されます。

［IJ Network Device Setup Utility］画面

- ［IJ Network Device Setup Utility］画面の項目
- ［IJ Network Device Setup Utility］画面のメニュー
- ［IJ Network Device Setup Utility］画面のツールバーの項目

［IJ Network Device Setup Utility］画面の項目

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を起動すると以下の画面が表示され、検出されたプリンターが一覧表示されます。検出されたプリンターについて、以下の項目が表示されます。



1. ［製品名］

   検出されたプリンターの製品名が表示されます。プリンターが使用できない状態になっているときには、製品名の左側に以下のアイコンが表示されます。

   : プリンターが未接続または未設定の場合に表示されます。

   : IP アドレスが他のプリンターと重複している場合に表示されます。

   : プリンターと通信できない場合に表示されます。

   参考

   - 使用したいプリンターが検出されない場合は、検索条件を指定してプリンターを検索してみてください。

     ➡ プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する

2. ［シリアルナンバーの下 5 桁］

   検出されたプリンターのシリアルナンバーの下 5 桁が表示されます。

3. ［状態］

   検出されたプリンターの状態が以下のように表示されます。

   ［使用可能］

   プリンターが使用可能な状態です。

[設定済]
ネットワークの設定を行い、[設定]ボタンをクリックして画面を閉じるとこの状態になります。

[未接続]
無線 LAN の設定が必要な状態です。

➡ 無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

[未設定]
プリンターがネットワーク上で使用できません。プリンターの IP アドレスを設定する、または IPv6 を使用できるように設定してください。

[IP アドレス重複]
IP アドレスが他のプリンターと重複しています。

[不明]
過去に使用したプリンターで、現在は使用できない状態です。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は表示されません。

4. ［IP アドレス］

検出されたプリンターの IP アドレスが表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合、プリンターで無効に設定されているインターフェース（有線 LAN または無線 LAN）では、「-」と表示されます。

5. ［設置場所］

検出されたプリンターの設置場所が表示されます。設置場所をプリンターに登録している場合のみ表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は表示されません。

➡ 本体情報を設定する

6. ［接続方法］

検出されたプリンターの接続方法（有線 LAN または無線 LAN)が表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は、プリンターがサポートしている接続方法（有線 LAN／無線 LAN）を表示します。
- 有線 LAN／無線 LAN の両方をサポートしている場合は、2 台のプリンターとしてそれぞれ表示します。
- プリンターが有線 LAN をサポートしていない場合は、有線 LAN は表示されません。
- IJ Network Device Setup Utility が動作しているパソコンで無線 LAN 機能が使用できない場合、無線 LAN は表示されません。
- プリンターをダイレクト接続で使用しているときは、有線 LAN／無線 LAN いずれも表示しません。

7. ［設定方法］

検出されたプリンターの設定方法が表示されます。

- ［自動］

  自動で設定された IP アドレスでプリンターが動作している場合に表示されます。

- ［手動］

  手動で設定された IP アドレスでプリンターが動作している場合に表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合、プリンターで無効に設定されているインターフェース（有線 LAN または無線 LAN）では、「-」と表示されます。

8. ［MAC アドレス］

検出されたプリンターの MAC アドレスが表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合、プリンターで無効に設定されているインターフェース（有線 LAN または無線 LAN）では、「-」と表示されます。

9. ［デバイス名］

検出されたプリンターのデバイス名が表示されます。デバイス名をプリンターに登録している場合のみ表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は表示されません。

➡ 本体情報を設定する

10. ［IPv6］

検出されたプリンターに IPv6 アドレスが割り当てられている場合、［オン］と表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は、「-」と表示されます。

［IJ Network Device Setup Utility］画面のメニュー

［IJ Network Device Setup Utility］画面には、以下のメニューがあります。



1. ［プリンター］メニュー

➡ ［プリンター］メニュー

2. ［表示］メニュー

➡ ［表示］メニュー

3. ［オプション］メニュー

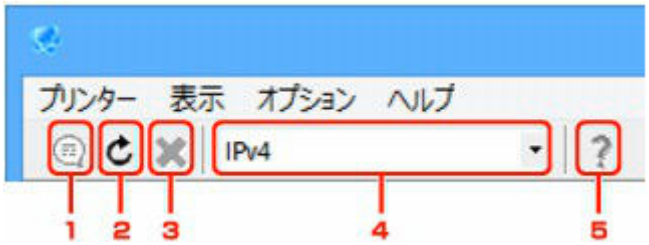
➡ ［オプション］メニュー

4. ［ヘルプ］メニュー

➡ ［ヘルプ］メニュー

［IJ Network Device Setup Utility］画面のツールバーの項目

［IJ Network Device Setup Utility］画面のツールバーには、以下の項目があります。



1. 有線 LAN 接続または無線 LAN 接続の設定を行います。

参考

- ［プリンター］メニューの［プロトコル設定...］と同じ機能です。

2. プリンターを再検索します。

参考

- ［表示］メニューの［更新］と同じ機能です。

3. プリンターの検索を中止します。

参考

- ［表示］メニューの［中止］と同じ機能です。

4. プリンター一覧に表示するプリンターを、IPv4、IPv6 または USB を使用しているプリンターで切り替えます。

参考

- ［表示］メニューの［IPv4/IPv6/USB の切り替え］と同じ機能です。
- USB 接続しているプリンターを一覧に表示することもできます（一部の機種のみ）。その場合は［USB］を選んでください。

5. 本マニュアルが表示されます。

参考

- ［ヘルプ］メニューの［オンラインマニュアル］と同じ機能です。

ネットワークの設定をする

- 有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する
- 無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する
- 本体情報を設定する
- ネットワーク設定を初期化する
- 管理者パスワードを変更する
- プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する
- ［WEP 詳細］画面が表示された場合は
- ［WPA/WPA2 詳細］画面が表示された場合は

有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

以下の手順で、有線 LAN 接続の設定をしたり、設定を変更したりすることができます。

参考

- 一部の機種では、プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続し、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）でネットワークの設定ができます。［表示］メニューの［IPv4/IPv6/USB の切り替え］で［USB］を選ぶと、設定できるプリンターが表示されます。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設定の実行／変更をするプリンターを選ぶ

   ［接続方法］が［有線 LAN］になっていて、［状態］が［不明］または［設定済］以外になっているプリンターを選びます。

   USB 接続しているプリンターの設定をする場合はツールバーのプルダウンメニューで［USB］を選び、［接続方法］が［有線 LAN］となっているプリンターを選びます。

3. ［プリンター］メニューから［プロトコル設定...］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

   参考

   - ツールバーの  アイコンをクリックしても、設定を実行／変更できます。

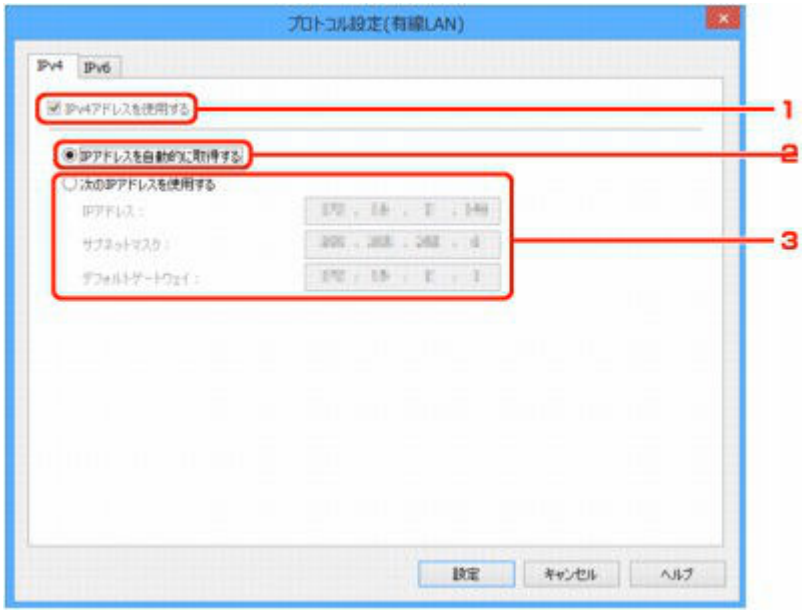
4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

   ［プロトコル設定］画面が表示されます。

5. 設定を実行／変更する

   IPv4／IPv6 それぞれで設定／変更できます。タブをクリックしてプロトコルを切り替えてください。

   - IP v 4 の設定



1. ［IPv4 アドレスを使用する］

   グレーアウト表示され、常に選ばれた状態となります。

2. ［IP アドレスを自動的に取得する］

   DHCP サーバー機能によって自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。
   ご使用のルーターの DHCP サーバー機能が有効になっている必要があります。

3. ［次の IP アドレスを使用する］

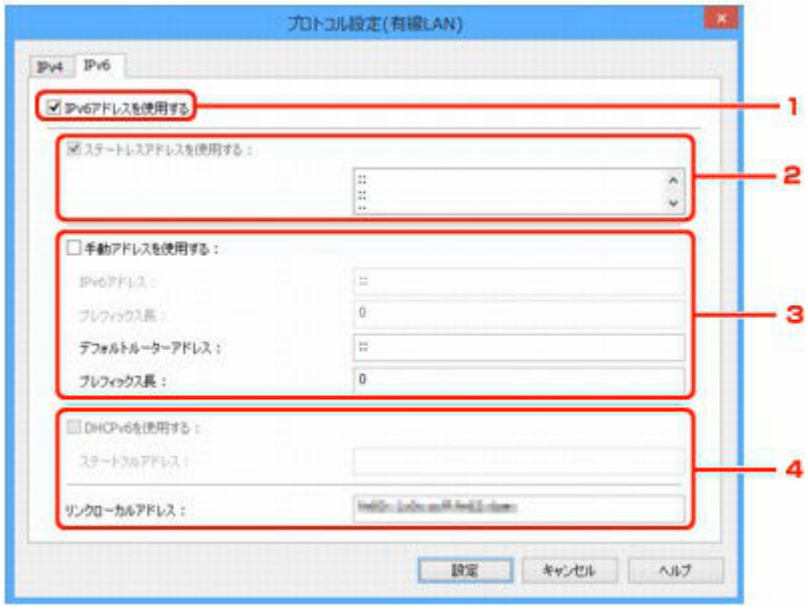
   プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

   IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

- IP v 6 の設定

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は、IPv6 の設定を行うことはできません。



1. ［IPv6 アドレスを使用する］

   プリンターを IPv6 環境で使用する場合に選びます。

2. [ステートレスアドレスを使用する :]

   自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用のルーターが IPv6 に対応している必要があります。

   参考

   - この項目は機種によっては対応していません。

3. [手動アドレスを使用する :]

   プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

   IP アドレスと IP アドレスのプレフィックス長を入力してください。

   参考

   - この項目は機種によっては対応していません。

4. [DHCPv6 を使用する :]

   DHCPv6 を使用して IP アドレスを取得する場合に選びます。

   参考

   - この項目は機種によっては対応していません。

6. [設定] ボタンをクリックする

無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

以下の手順で、無線 LAN 接続の設定をしたり、設定を変更したりすることができます。

重要

- 設定を行う前に、プリンター本体をあらかじめケーブルレスセットアップモードにしておく必要があります。（IP アドレスを変更する場合は、ケーブルレスセットアップモードにする必要はありません。）詳しい方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「NR049」を参照してください。

参考

- 一部の機種では、プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続し、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）でネットワークの設定ができます。［表示］メニューの［IPv4/IPv6/USB の切り替え］で［USB］を選ぶと、設定できるプリンターが表示されます。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設定の実行／変更をするプリンターを選ぶ

   ［接続方法］が［無線 LAN］になっていて、［状態］が［不明］または［設定済］以外になっているプリンターを選びます。

   USB 接続しているプリンターの設定をする場合はツールバーのプルダウンメニューで［USB］を選び、［接続方法］が［無線 LAN］となっているプリンターを選びます。

3. ［プリンター］メニューから［プロトコル設定...］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

   参考

   - ツールバーの  アイコンをクリックしても、設定を実行／変更できます。

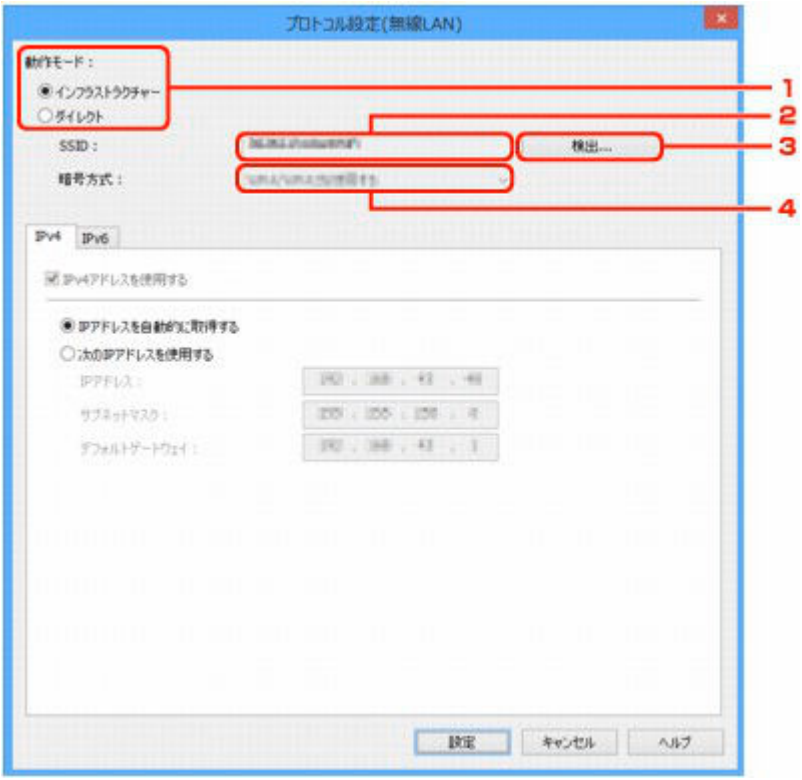
4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

   ［プロトコル設定］画面が表示されます。

5. 設定を実行／変更する

   IPv4／IPv6 それぞれで設定／変更できます。タブをクリックしてプロトコルを切り替えてください。

   - IPv4／IPv6 共通の設定



1. ［動作モード：］

   無線 LAN の動作モードを選びます。

   ［インフラストラクチャー］

   無線 LAN ルーターを使用して無線でネットワークに接続します。

   ［ダイレクト］

   無線 LAN ルーターを介さずに、本製品を無線通信機器と接続します。

   参考

   - ［ダイレクト］を選んだ場合は、［検出...］ボタンがグレーアウト表示されます。

     また、使用環境によってはパソコンなどがインターネットに接続できなくなる場合があります。

2. ［SSID：］

   接続されている無線 LAN のネットワークの識別名（SSID）が表示されます。

   ダイレクト接続時は、本製品をダイレクト接続で使用するときの識別名（SSID）が表示されます。

3. ［検出...］

   ［検出した無線 LAN ルーター］画面が表示され、接続する無線 LAN ルーターを選べます。すでにパソコンに接続されている無線 LAN ルーターは、［通信状態］に［使用可能］と表示されます。

   ［通信状態］が［未接続］の無線 LAN ルーターを選んだ場合は、［設定］ボタンをクリックすると、無線 LAN ルーターに設定されている WPA/WPA2 または WEP の設定画面が表示されます。

   ➡ ［WEP 詳細］画面が表示された場合は
   ➡ ［WPA/WPA2 詳細］画面が表示された場合は

4. ［暗号方式：］

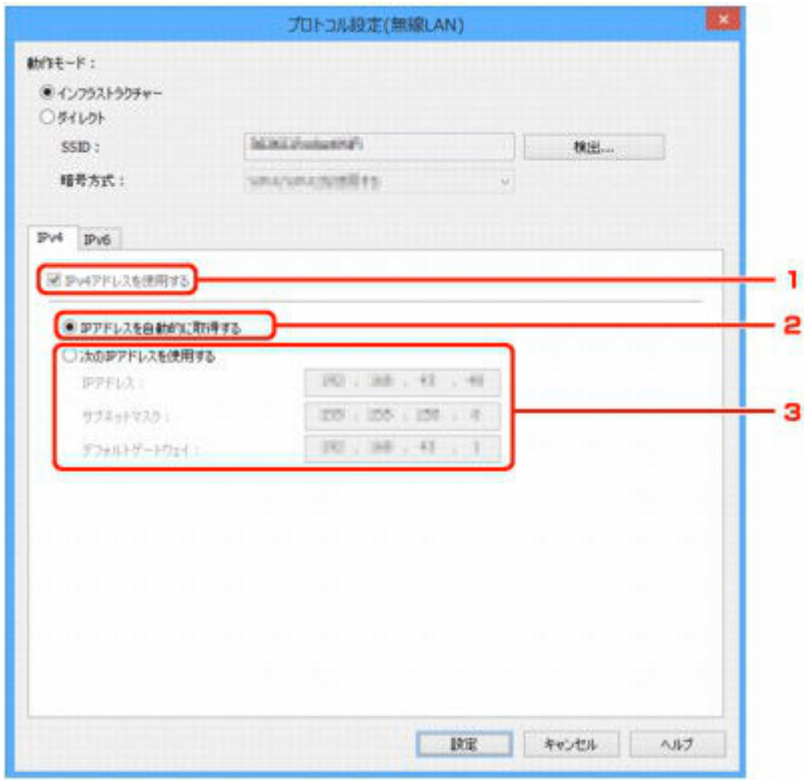
   無線 LAN で使用されている暗号方式が表示されます。

- IPv4 の設定

参考

- ［動作モード :］で［インフラストラクチャー］を選んでいる場合のみ、以下の項目を設定できます。

  ［ダイレクト］を選んでいる場合は、以下の項目はグレーアウト表示され、設定することはできません。



1. ［IPv4 アドレスを使用する］

   グレーアウト表示され、常に選ばれた状態となります。

2. ［IP アドレスを自動的に取得する］

   DHCP サーバー機能によって自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用の無線 LAN ルーターの DHCP サーバー機能が有効になっている必要があります。

3. ［次の IP アドレスを使用する］

   プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

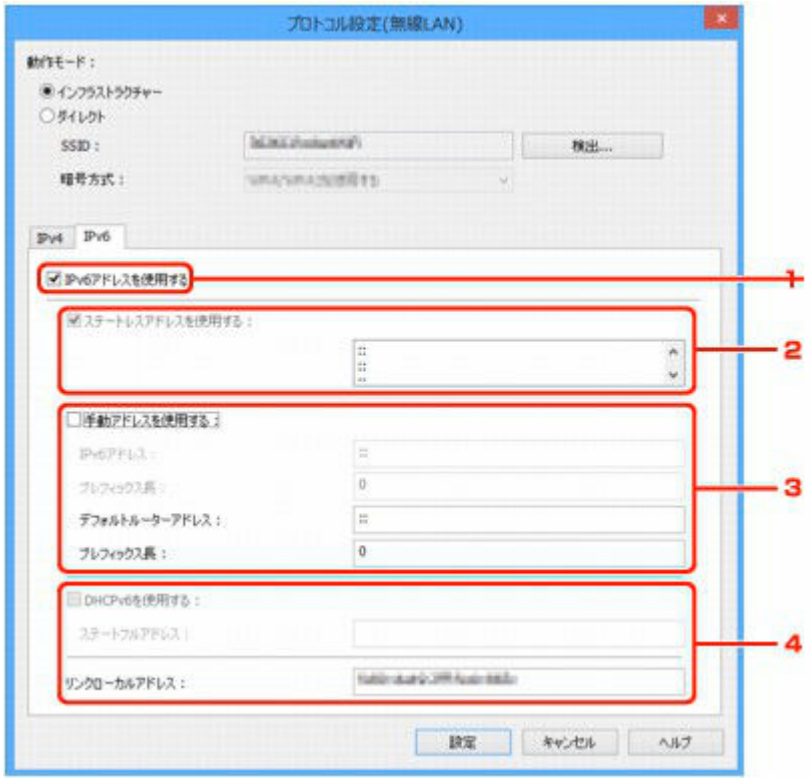
   IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

- IPv6 の設定

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合は、IPv6 の設定を行うことはできません。
- ［動作モード :］で［インフラストラクチャー］を選んでいる場合のみ、以下の項目を設定できます。

  ［ダイレクト］を選んでいる場合は、以下の項目はグレーアウト表示され、設定することはできません。



1. ［IPv6 アドレスを使用する］

   プリンターを IPv6 環境で使用する場合に選びます。

2. ［ステートレスアドレスを使用する :］

   自動的に割り振られる IP アドレスを使用する場合に選びます。ご使用の無線 LAN ルーターが IPv6 に対応している必要があります。

   参考

   - この項目は機種によっては対応していません。

3. ［手動アドレスを使用する :］

   プリンターを使用する環境に DHCP サーバー機能がない場合や、固定 IP アドレスをプリンターに設定したい場合など、プリンターに手動で IP アドレスを設定する場合に選びます。

   IP アドレスと IP アドレスのプレフィックス長を入力してください。

   参考

   - この項目は機種によっては対応していません。

4. ［DHCPv6 を使用する :］

   DHCPv6 を使用して IP アドレスを取得する場合に選びます。

   参考

   - この項目は機種によっては対応していません。

6. ［設定］ボタンをクリックする

本体情報を設定する

以下の手順で、プリンターの設置場所とデバイス名を設定したり変更したりできます。

ここで設定した項目は、［IJ Network Device Setup Utility］画面の［デバイス名］と［設置場所］に表示されます。

参考

- ツールバーのプルダウンメニューで［USB］が選ばれている場合はこの設定はご使用になれません。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設置場所とデバイス名を設定するプリンターを選ぶ

   ［状態］に［使用可能］と表示されているプリンターを選びます。

3. ［プリンター］メニューから［本体情報の設定...］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

   ［本体情報の設定］画面が表示されます。

5. 設定を実行／変更する

   以下の設定をすることができます。

   1. ［デバイス名 :］

      プリンターのデバイス名を設定します。

   2. ［設置場所 :］

      プリンターの設置場所名を設定します。

6. ［設定］ボタンをクリックする

ネットワーク設定を初期化する

以下の手順で、プリンターのネットワーク設定を初期化します。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から設定を初期化するプリンターを選ぶ

   ［状態］に［使用可能］と表示されているプリンターを選びます。

3. ［プリンター］メニューから［LAN 設定リセット］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

5. 表示された画面で［はい］ボタンをクリックする

6. 表示された画面で［OK］ボタンをクリックする

   プリンターのネットワーク設定が初期化されます。

管理者パスワードを変更する

以下の手順で、プリンターの管理者パスワードを変更します。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から管理者パスワードを変更するプリンターを選ぶ

   ［状態］に［使用可能］と表示されているプリンターを選びます。

3. ［プリンター］メニューから［パスワードの変更...］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード変更］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. 現在のパスワードと新しいパスワードを入力する

5. ［確認入力 :］に、もう一度新しいパスワードを入力する

6. ［OK］ボタンをクリックする

   管理者パスワードが更新されます。

プリンターの検索条件を指定する／特定のプリンターを検索する

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を起動したときやプリンター検索を更新するときの、プリンターを検索する条件を指定したり、特定のプリンターを指定して検索したりできます。

使用したいプリンターが検出されない場合にこの設定を変更すると、プリンターが検出される場合があります。

参考

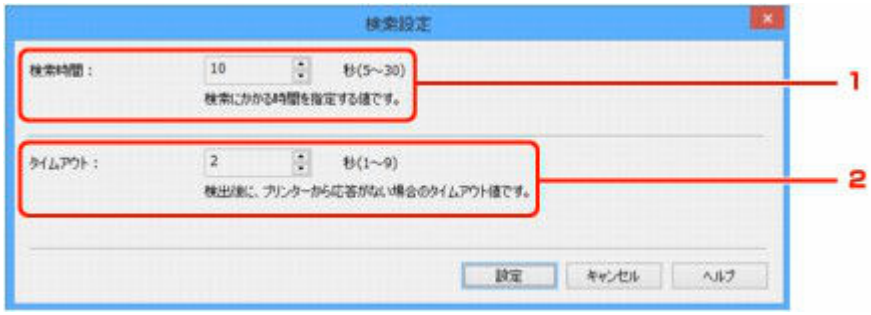
- 使用したいプリンターが検出されない場合は、本製品の操作パネルからプリンターの IP アドレス、サブネットマスク、またはデフォルトゲートウェイを入力してから検索すると、プリンターが検出される場合があります。

- プリンターの検索条件を指定する
- 特定のプリンターを検索する

プリンターの検索条件を指定する

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する
2. ［オプション］メニューから［検索設定...］を選ぶ

   ［検索設定］画面が表示されます。
3. 検索条件を入力する



   1. ［検索時間 :］

      プリンターを検索する時間を指定します。
   2. ［タイムアウト :］

      プリンターから応答がないときのタイムアウト時間を指定します。

   参考

   - 数値を大きくすると検索したいプリンターが検出される可能性は高くなりますが、プリンターの検索に時間がかかる場合があります。
4. ［設定］ボタンをクリックする

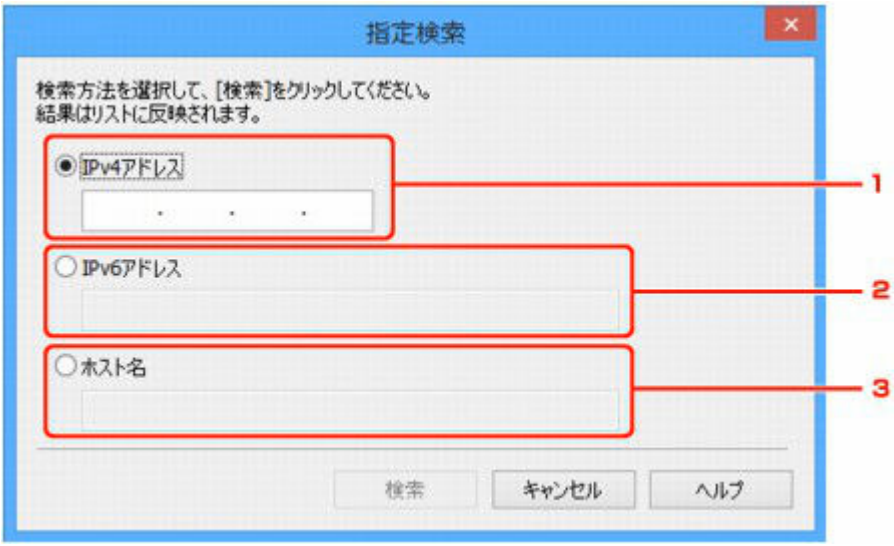
特定のプリンターを検索する

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

2. ［オプション］メニューから［指定検索...］を選ぶ

［指定検索］画面が表示されます。

3. 指定する項目を選び、検索条件を入力する



1. ［IPv4 アドレス］

   検索したいプリンターの IPv4 アドレスを指定します。

2. ［IPv6 アドレス］

   検索したいプリンターの IPv6 アドレスを指定します。

3. ［ホスト名］

   検索したいプリンターのホスト名を指定します。

4. ［検索］ボタンをクリックする

指定した条件でプリンターを検索し、プリンター一覧に検索結果が表示されます。

［WEP 詳細］画面が表示された場合は

プリンターが接続する無線 LAN ルーターを変更したときは、無線 LAN ルーターに設定されている暗号方式に合わせてパスワード（パスフレーズ）を入力する必要があります。

1. ［WEP 詳細］画面が表示されたら、以下の内容を確認して入力する



1. WEP キー：

   無線 LAN ルーターと同じ値を入力してください。

   キーの長さとキーの書式の組み合わせにより、入力できる文字数と文字種が異なります。

		キーの長さ：	
		64 ビット	128 ビット
キーの書式：	文字	5 文字	13 文字
	16 進数	10 桁	26 桁

2. キーの長さ：

   ［64 ビット］または［128 ビット］から選びます。

3. キーの書式：

   ［文字］または［16 進数］から選びます。

4. 使用するキー：

   無線 LAN ルーターに設定されている WEP キーの番号を選びます。

2. ［設定］ボタンをクリックする

重要

- プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

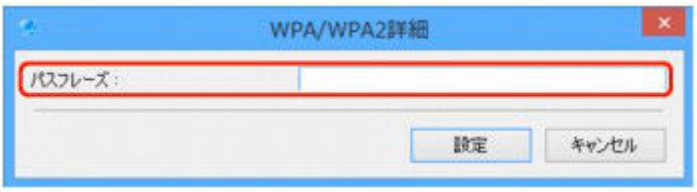
［WPA/WPA2 詳細］画面が表示された場合は

プリンターが接続する無線 LAN ルーターを変更したときは、無線 LAN ルーターに設定されている暗号方式に合わせてパスワード（パスフレーズ）を入力する必要があります。

1. ［WPA/WPA2 詳細］画面が表示されたら、パスフレーズを入力する

   無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

   パスフレーズが不明な場合の確認方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。



2. ［設定］ボタンをクリックする

重要

- プリンターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンとプリンターが通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定がプリンターの設定と一致しているか確認してください。

ネットワークの状況を確認する

- 無線 LAN の通信状況を確認する
- パソコンのネットワーク情報を表示する
- プリンターのネットワーク情報を表示する
- プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する
- ネットワーク設定の変化を確認する

無線 LAN の通信状況を確認する

以下の手順で、プリンターとパソコンの通信状況（電波強度）を確認できます。

プリンターとパソコンが無線 LAN でうまく通信できない場合は、ここから通信状況を確認してください。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から通信状況を確認するプリンターを選ぶ

   ［状態］に［使用可能］と表示されているプリンターを選びます。

3. ［プリンター］メニューから［無線通信状態の確認］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

   - 選んだプリンターが、無線 LAN ルーターを介してパソコンと接続されている場合：

     以下の画面が表示されます。

   - 選んだプリンターが、ダイレクト接続でパソコンと接続されている場合：

     以下の画面が表示されます。

     ［更新］ボタンをクリックすると、通信状況を再度計測します。

5. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じる

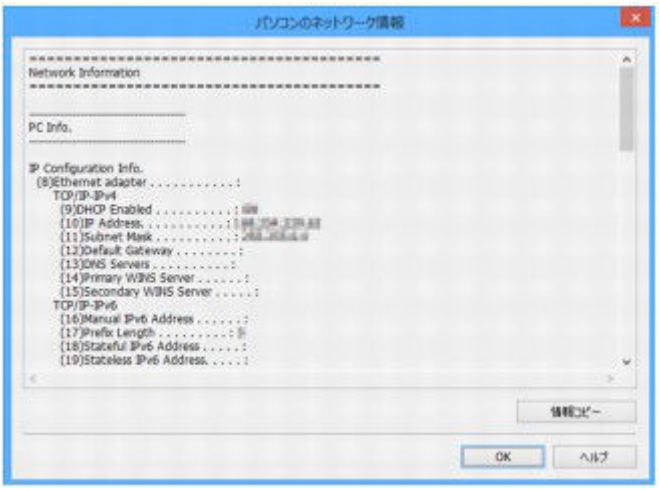
パソコンのネットワーク情報を表示する

以下の手順で、［IJ Network Device Setup Utility］画面で選んだプリンターが接続している、IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）がインストールされているパソコンのネットワーク情報を表示できます。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

2. ［表示］メニューから［パソコンのネットワーク情報］を選ぶ

   以下の画面が表示されます。

   ［情報コピー］ボタンをクリックすると、表示されているすべてのネットワーク情報をクリップボードにコピーできます。

3. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じる

プリンターのネットワーク情報を表示する

以下の手順で、プリンターのネットワーク情報を表示できます。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧からネットワーク情報を表示するプリンターを選ぶ

   ［状態］に［使用可能］と表示されているプリンターを選びます。

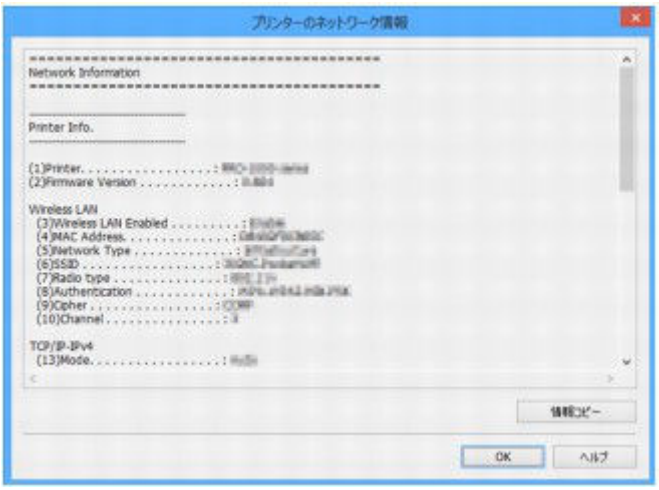
3. ［表示］メニューから［プリンターのネットワーク情報］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

   以下の画面が表示されます。

   ［情報コピー］ボタンをクリックすると、表示されているすべてのネットワーク情報をクリップボードにコピーできます。

5. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じる

プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する

以下の手順で、プリンターが検索した無線 LAN ルーターの情報を表示できます。

プリンターの周辺にある無線 LAN ルーターを検出し、一覧を表示します。プリンターが適切な場所に設置されているかを確認したいときに使用します。

1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から、プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を表示するプリンターを選ぶ

   ［状態］に［使用可能］と表示されていて、［接続方法］に［無線 LAN］と表示されているプリンターを選びます。

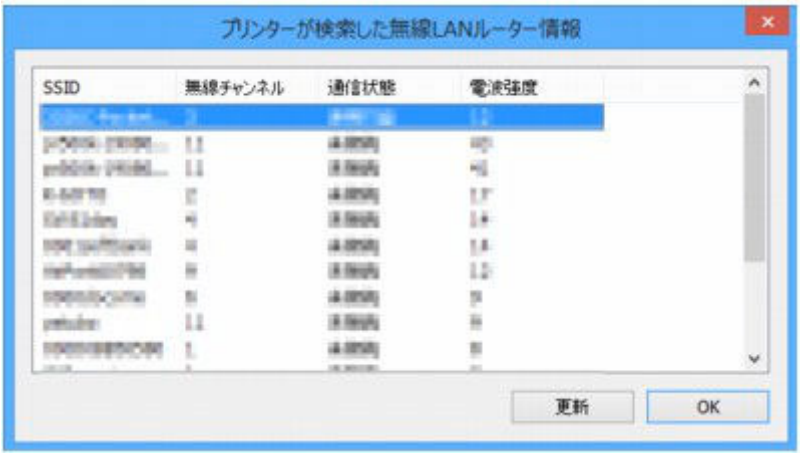
3. ［表示］メニューから［プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態］を選ぶ

   ［プリンターのパスワード確認］画面が表示されます。

   パスワードの詳細については、「管理用のパスワードについて」を参照してください。

4. パスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックする

   以下の画面が表示されます。

   ［更新］ボタンをクリックすると、無線 LAN ルーターを再検索します。

5. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じる

ネットワーク設定の変化を確認する

使用できないプリンターがある場合に、そのプリンターが使用できたときのネットワークの状態と現在のネットワークの状態を比較し、確認できます。

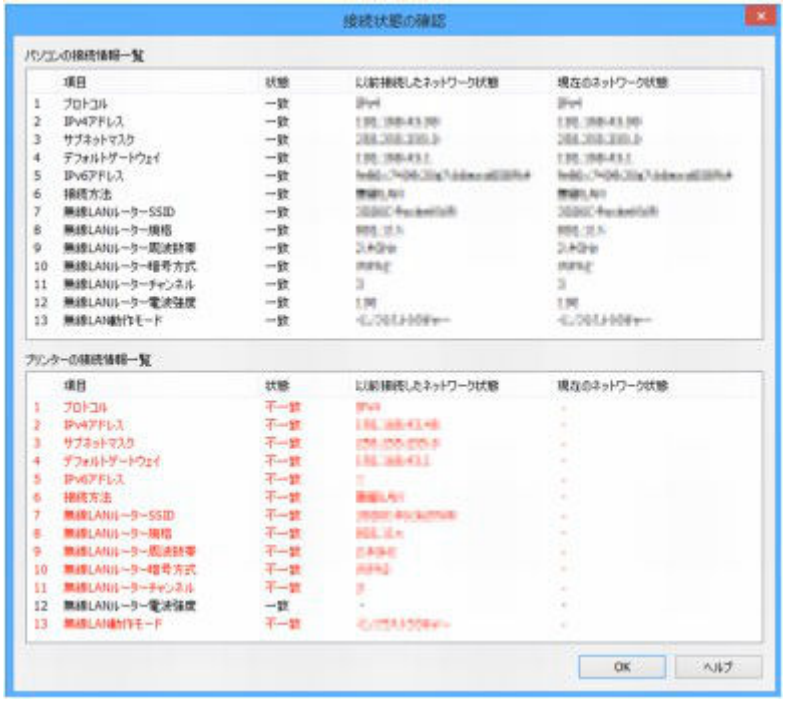
1. IJ Network Device Setup Utility を起動する

   検出されたプリンターの一覧が表示されます。

2. プリンターの一覧から［状態］が［不明］または［未設定］と表示されているプリンターを選ぶ

3. ［表示］メニューから［接続状態の確認］を選ぶ

   以下の画面が表示されます。

   選んだプリンターが使用できたときのネットワークの状態と、現在のネットワークの状態が異なる場合は、［状態］に［不一致］と表示され、項目が赤く表示されます。赤く表示された項目を確認してください。

4. ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じる

IJ Network Device Setup Utility のメニュー

- [プリンター] メニュー
- [表示] メニュー
- [オプション] メニュー
- [ヘルプ] メニュー

[プリンター] メニュー

[プリンター] メニューには、以下の項目があります。



1. [プロトコル設定...]

   有線 LAN 接続または無線 LAN 接続の設定を行います。

   - 有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する
   - 無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

2. [本体情報の設定...]

   プリンターのデバイス名や設置場所を設定します。

   - 本体情報を設定する

3. [LAN 設定リセット]

   プリンターの LAN 設定を初期化します。

   - ネットワーク設定を初期化する

4. [パスワードの変更...]

   プリンターに設定されているパスワードを変更します。

   - 管理者パスワードを変更する

5. [無線通信状態の確認]

   無線 LAN の通信状況を確認できます。

   - 無線 LAN の通信状況を確認する

6. [デバイスを Web で設定]

   プリンター情報の確認や、より詳細な設定をウェブページ上で行うことができます。

参考

- この機能は、以下の OS とウェブブラウザーで利用できます。

  OS：Windows Vista SP2 以上

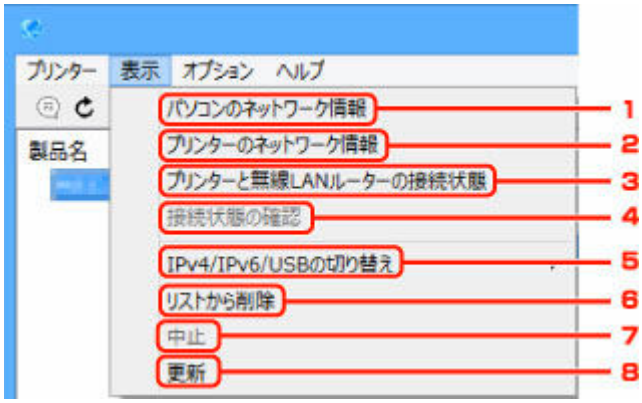
  ブラウザー：Internet Explorer 9 以上、Google Chrome 41.0.2272.118m 以上、Mozilla Firefox 37.0.1 以上

7. [終了]

IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を終了します。

［表示］メニュー

［表示］メニューには、以下の項目があります。



1. ［パソコンのネットワーク情報］

   パソコンに設定されているネットワークの情報を確認できます。

   ➡ パソコンのネットワーク情報を表示する

2. ［プリンターのネットワーク情報］

   プリンターに設定されているネットワークの情報を確認できます。

   ➡ プリンターのネットワーク情報を表示する

3. ［プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態］

   無線 LAN ルーターを検索し、プリンターが検索した無線 LAN ルーターの情報（無線チャンネル、通信状態、電波強度）を確認できます。

   ➡ プリンターと無線 LAN ルーターの接続状態を確認する

4. ［接続状態の確認］

   使用できないプリンターがある場合に、そのプリンターが使用できたときのネットワークの状態と現在のネットワークの状態を比較し、確認できます。

   ➡ ネットワーク設定の変化を確認する

5. ［IPv4/IPv6/USB の切り替え］

   プリンター一覧に表示するプリンターを、IPv4 を使用しているプリンターと IPv6 を使用しているプリンターで切り替えます。一部の機種では、USB 接続しているプリンターを表示することもできます。

6. ［リストから削除］

   選んだプリンターをプリンター一覧から削除します。

7. ［中止］

   プリンターの検索を中止します。

参考

- ツールバーの✖アイコンをクリックしても、プリンターの検索を中止できます。

8. ［更新］

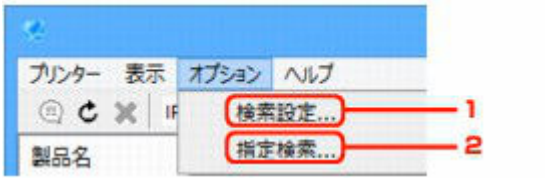
プリンターを再検索します。

参考

- ツールバーの↻アイコンをクリックしても、プリンターを再検索できます。

［オプション］メニュー

［オプション］メニューには、以下の項目があります。



1. ［検索設定...］

   ネットワーク上にあるプリンターを検索するときの条件を設定します。

   ➡プリンターの検索条件を指定する

2. ［指定検索...］

   IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索します。

   ➡特定のプリンターを検索する

[ヘルプ] メニュー

[ヘルプ] メニューには、以下の項目があります。



1. [オンラインマニュアル]

   本マニュアルが表示されます。

2. [無線 LAN 接続時の注意]

   無線 LAN 接続時の注意に関するメッセージが表示されます。

3. [有線/無線 LAN の接続切換について]

   選んだプリンターに対して、LAN 接続の方法（有線 LAN、無線 LAN)を切り換えるときの注意に関するメッセージが表示されます。

4. [バージョン情報]

   IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）のバージョン情報が表示されます。

ネットワークに関するその他の情報

- 用語について
- 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
- 制限事項
- ファイアウォールについて

用語について

LAN に関連する用語について説明します。

- 英数字
- あ
- か
- さ
- た
- な
- は
- ま
- ら

英数字

- **AES**

  セキュリティ方式の一種で、WPA でも利用できる暗号化方式の一種です。米国政府内での情報処理用に採用された強固な暗号化方式です。

- **AOSS（AirStation One-Touch Secure System）**

  無線 LAN でのネットワーク接続をワンタッチで設定できるサービスです。

- **Bonjour**

  Mac OS に搭載されている機能で、ネットワーク上にある通信可能な機器を自動的に検出するサービスです。

- **DHCP サーバー機能**

  ルーターや無線 LAN ルーターの機能で、ネットワーク上のプリンターやパソコンが起動すると、その都度ルーターや無線 LAN ルーターから、IP アドレスなどのネットワーク利用に必要な設定情報をプリンターやパソコンに自動的に割り当てます。

- **DHCPv6**

  コンピューターがネットワーク接続する際に、必要な情報を自動的に割り当てるための規約（プロトコル）です。IPv6 とともに使用します。

- **DNS サーバー**

  機器の名称を IP アドレスに変換するサーバーです。手動で IP アドレスを設定する場合は、プライマリーサーバーとセカンダリーサーバーの IP アドレスを設定します。

- **IEEE802.11b**

  周波数 2.4GHz の帯域を使う無線 LAN の国際規格です。最大 11Mbps の転送速度で、数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

- **IEEE802.11g**

  周波数 2.4GHz の帯域を使う無線 LAN の国際規格です。最大 54Mbps の転送速度で、数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

  IEEE802.11b との互換性もあります。

- **IEEE802.11n**

  周波数 2.4GHz の帯域に加え 5GHz の帯域の両方を使う無線 LAN の国際規格です。複数のアンテナを同時に利用したり、通信に使用するチャンネルを複数同時に利用することで従来よりも大きな転送速度を実現しますが、組み合わせる機器により通信速度が左右されることがあります。最大 600Mbps の転送速度で数十メートルの範囲にある複数の端末が通信を行うことができます。

  IEEE802.11b や IEEE802.11g とも相互接続ができます。

- **IPv4/IPv6**

  インターネットで利用されているインターネットプロトコル（IP）です。IPv4 はアドレス資源を 32 ビットで管理、IPv6 はアドレス資源を 128 ビットで管理しています。

- **IP アドレス**

  パソコンやプリンターなどの機器ごとに割り振られた固有の番号で、データのやりとりをする場合に送り先の機器を指定するために使われます。特に TCP/IP を使用しているインターネットでは、すべての機器に固有の IP アドレスが必要です。

  通常、IP アドレスはルーターの DHCP サーバー機能により自動で割り当てられます。

- **LPR（Line Printer daemon protocol）**

  TCP/IP 上で動作するプラットフォームに依存しない印刷プロトコルです。双方向通信はサポートしていません。

- **MAC アドレス**

  データをやり取りするための機器に付属する固有の番号です。機器の製造元の各社でそれぞれ固有の番号を割り当てるため、同じ MAC アドレスを持つ製品は存在しません。

- **PSK**

  WPA ／WPA2 で採用された認証方式の一種です。

- **SSID**

  SSID とは無線 LAN の識別子です。ネットワーク名、無線 LAN ルーター名と表記されることもあります。

  無線 LAN では近隣の無線 LAN とデータが混信する場合があるため、通信したい機器同士を識別するために SSID が使われます。

  ご使用になる無線 LAN 機器（無線 LAN ルーター、パソコン、プリンターなど）には同じ SSID を設定します。SSID は半角英数字 32 文字以内で指定します。大文字小文字は区別されます。

- **TCP/IP**

  インターネットや LAN の標準プロトコルです。ネットワークを介してパソコンやプリンターなどの機器同士が通信を行うための通信規約です。

- **TKIP**

  WPA／WPA2 で採用された暗号化プロトコルの一種です。

- **USB**

  パソコンと周辺機器を接続するための規格です。電源を入れたまま抜き差しできるメリットがあります。この規格に適合したケーブルを USB ケーブルと言います。

- **WCN（Windows Connect Now）**

  Windows Vista 以降に搭載されている機能で、PIN コードを入力し無線で直接設定情報を取得します（WCN-NET）。

- **WEP／WEP キー／パスワード（WEP キー）**

  WEP とは IEEE802.11 で採用されているセキュリティ方式の一種です。無線 LAN ルーターとクライアント（パソコンやプリンター）の両方に同じ WEP キーを設定し、通信相手を認証すると同時に、通信内容の暗号化と復号化を行ってデータの安全性を確保します。

  本製品では、WEP キーの長さとして 64 ビットと 128 ビットがあり、キーの書式として文字と 16 進数があります。また、使用するキーの番号として 1 から 4 があります。

- **Wi-Fi（ワイ・ファイ）**

  Wi-Fi Alliance による無線 LAN 規格のマーケティング上のブランドネームです。Wi-Fi Alliance の相互接続性テストに合格した製品のみに与えられます。

  本製品は Wi-Fi 認定製品です。

- **WPA**

  Wi-Fi Alliance が 2002 年 10 月に発表した無線 LAN のセキュリティ方式の一種です。WEP よりもセキュリティ強度が向上しています。

  - 認証

    WPA の認証方式には、認証サーバーがない環境でも使用できる「PSK」と、認証サーバーを必要とする「EAP/802.1x」（エンタープライズともいいます）があります。

    本製品では、WPA-PSK をサポートしています。

  - パスフレーズ

    WPA-PSK 認証で使用する暗号化キーです。

    8 文字から 63 文字の ASCII 文字、または 64 ビットの 16 進数で入力します。

- **WPA2**

  Wi-Fi Alliance が 2004 年 9 月に発表したセキュリティ方式の一種です。WPA の新バージョンで、IEEE802.11i が採用した暗号化方式「AES（Advanced Encription Standard：高度暗号化規格）」に対応しています。

  - 認証

    WPA2 の認証方式には、認証サーバーがない環境でも使用できる「PSK」と、認証サーバーを必要とする「EAP/802.1x」があります。

    本製品では、WPA2-PSK をサポートしています。

  - パスフレーズ

    WPA2-PSK 認証で使用する暗号化キーです。

    8 文字から 63 文字の ASCII 文字、または 64 ビットの 16 進数で入力します。

- **WPS（Wi-Fi Protected Setup）**

  無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。無線 LAN 無線 LAN ルーターと安全な無線 LAN 通信を行うための暗号化を行うためのセキュリティ設定を簡単にできるように、特定の ID（4 桁から 8 桁の数字）を入力すれば設定が完了する PIN 方式や、設定時にボタンを押すだけで設定が完了するプッシュボタン方式があります。

あ

- **アドホック**

  無線 LAN の通信方式の 1 つです。同じ SSID の名前を設定した無線通信端末（パソコン、プリンターなど）が直接データ通信を行う方式です。無線 LAN ルーターを必要としないのが特長です。その際、無線通信端末同士はピアツーピアで接続され、お互いのリソースを共有できます。本製品ではご使用になれません。

- **インフラストラクチャー**

  無線 LAN の通信方式の 1 つです。無線通信端末（パソコン、プリンターなど）と無線 LAN ルーターを経由してネットワークに接続する方式です。

か

- **管理パスワード**

  IJ Network Device Setup Utilty でプリンターのネットワーク設定を変更するための管理用パスワードです。

- **キーの長さ**

  WEP キーの長さです。[64 ビット] または [128 ビット] から選びます。キーの長さは長い方がより複雑な WEP キーを設定できます。

- **キーの書式**

  WEP キーの書式を、[文字] または [16 進数] から選びます。選んだキーの書式により、使用できる文字が異なります。

  ◦ 文字

  半角英数字、またはアンダーバー「_」を含む 5 文字または 13 文字の文字列で指定してください。大文字小文字は区別されます。

  ◦ 16 進数

  10 桁または 26 桁の 0～9、A～F、a～ f （16 進数）で指定してください。

- **ケーブルレスセットアップ**

  無線 LAN ルーターを操作せず、各種機器（スマートフォンなど）から直接プリンターに、 無線 LAN ルーターの情報を設定します。

さ

- **サブネットマスク、サブネットワークアドレス**

  IP アドレスはネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けられますが、そのうち、IP アドレスからサブネットワークアドレスを割り出すための値をサブネットマスクといいます。通常、サブネットマスクはルーターの DHCP サーバー機能により自動で割り当てられます。

  例：

  IP アドレス：192.168.127.123

  サブネットマスク：255.255.255.0

  上記例のサブネットワークアドレス：192.168.127.0

- **ステルス機能**

  無線 LAN ルーターが SSID 情報を含んだデータを公開しないことでその存在を隠す機能です。ステルス機能が設定された無線 LAN ルーターは無線 LAN ルーター一覧に表示されないため SSID を直接入力する必要があります。

- **ステートフルアドレス**

  DHCPv6 を使用して、DHCP サーバーから取得する IPv6 アドレスです。

- **ステートレスアドレス**

  ルーターから通知される RA（Router Advertisement）に含まれるプレフィックスとプリンターの MAC アドレスを使用して、自動的に生成される仮の IPv6 アドレスです。DHCP サーバーがない環境でも、IPv6 アドレスが生成されます。

た

- **ダイレクト接続（アクセスポイントモード）**

  無線 LAN ルーターがない環境で、本製品と無線通信機器（スマートフォンやタブレットなど）を接続します。

- **通信状況**

  無線 LAN ルーターとプリンターの接続状況を確認できます。

- **通信レベル**

  プリンターが無線 LAN ルーターから受信しているノイズ（妨害電波）を除いた電波の状態が 0～100%で表示されます。

- **デフォルトゲートウェイ**

  異なるネットワークと通信する際に中継となるコンピューターやルーターなどの機器のことです。

- **デフォルトルーターアドレス**

  ルーターに設定されている初期値の IP アドレスです。

- **電波強度**

  プリンターが無線 LAN ルーターから受信している電波の強さが 0～100%で表示されます。

- **動作状態**

  プリンターを使用できるかどうかの現在の動作状態が表示されます。

な

- **認証方式**

  無線 LAN ルーターとプリンターが無線 LAN 通信を行う際に相手を確認するための方式です。無線 LAN ルーターとプリンターの設定を合わせる必要があります。

は

- **ファイアウォール**

  ネットワークにおける不正な侵入を防ぐシステムです。

ブロードバンドルーターやお使いのパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアに用意されています。

- **プレフィックス長**

  IP アドレスのネットワーク部のビット数です。IPv4 の場合は 8 ビットから 24 ビット、IPv6 の場合は 64 ビットになります。

- **プロキシサーバー**

  LAN 接続されたコンピューターとインターネットを中継するサーバーです。プロキシサーバーを使用する場合は、プロキシサーバーのアドレスとポート番号を設定します。

- **ホスト名**

  ネットワーク上のコンピューターやプリンターを識別しやすくするために、コンピューターやプリンターに付ける名前です。一般的に半角英数字を使用します。

ま

- **無線 LAN**

  配線を必要としない LAN（Local Area Network）のことです。

  1 つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で電波などを使用してネットワークを構築します。

  IEEE802.11 に準拠したシステムを利用すると、ケーブルを使わずパソコンや周辺機器、ネットワークを共有できます。

- **無線チャンネル**

  無線 LAN では、使用する周波数帯域を分割し無線チャンネルと呼んでいます。

  インフラストラクチャーの場合、無線チャンネルは無線 LAN ルーターに自動的に合わせられます。

  本製品では、1 から 13 チャンネルが利用可能です。（ご購入の国や地域によっては、12、13 チャンネルは利用できません。）

  同じフロアや隣接した場所に、SSID／ネットワークの名前は異なるが同一の無線チャンネルを使用している複数の無線 LAN がある場合は、相互干渉により通信速度が遅くなることがあります。この場合は、それぞれの無線 LAN ごとに使用する無線チャンネルを離して設定すると、相互干渉が抑えられ通信速度が上がります。

ら

- **らくらく無線スタート**

  無線 LAN でのネットワーク接続をワンタッチで設定できるサービスです。

- **リンクローカルアドレス**

  特定のプレフィックス（所属するネットワークを示す情報）「fe80::」と、プリンターの MAC アドレスから生成したインターフェイス識別子から自動的に生成される IPv6 アドレスです。

- **ルーター**

  異なるネットワークと通信する際に中継となる機器のことです。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN ルーター間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
  メールの内容
  等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN ルーターは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

制限事項

無線 LAN 接続で本製品を使用する場合は、無線ネットワークに WEP や WPA/WPA2 といったセキュリティを設定することをお勧めします。また、Wi-Fi に準拠しない製品との無線通信の保証はいたしかねますのでご了承ください。

本製品に接続するパソコンの台数が多すぎると印刷速度などパフォーマンスが低下する場合があります。

本製品をダイレクト接続で使用している場合は、以下の設定ができません。

- IP アドレスの手動設定
- IPv6 の有効／無効の切り換え

ファイアウォールについて

ファイアウォールは、ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアが持つ機能の一つで、外部からネットワーク内への不正侵入を防ぐためのシステムです。

ファイアウォール使用時のご注意

- ファイアウォール機能を使用すると、本製品とパソコン間の通信が制限され、本製品のセットアップや通信が行えない場合があります。
- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアによっては、セットアップの途中で通信の許可を求める確認画面が表示されます。表示されたら通信を許可してください。
- セキュリティソフトウェアによっては、IJ Network Device Setup Utilty を使用する際に通信の許可を求める確認画面が表示されます。表示されたら通信を許可してください。
- 本製品をセットアップできない場合は、ファイアウォール機能を一時的にオフにしてください。

重要

- ファイアウォールを無効にした場合は、ネットワークをインターネットから切断してください。

- 一部、強制的にファイアウォール機能をオンにするアプリケーション（ネットワーク設定ソフトウェアなど）があります。あらかじめアプリケーションの設定をご確認ください。
- 本製品の IP アドレスが［IP アドレスを自動的に取得する］に設定されている場合、IP アドレスが変化し、ファイアウォールの設定によっては本製品のセットアップや通信ができなくなる場合があります。ファイアウォールの設定を変更するか、IJ Network Device Setup Utilty で本製品に固定の IP アドレスを設定してください。

  ➡ 無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する
  ➡ 有線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する

  本製品に固定の IP アドレスを設定する場合は、コンピューターと通信できる IP アドレスを設定する必要があります。

参考

- オペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォールの設定については、ご使用の機器やソフトウェアの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

きれいに印刷するためのヒント集

- インクについて知っておきたいこと
- 印刷を失敗しないためのポイント
- 印刷するときには用紙設定の確認を忘れずに
- 用紙をセットしたあとは、カセットの用紙情報の登録を忘れずに
- 印刷を中止するときは
- いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント
- 本製品を移送するときの注意

インクについて知っておきたいこと

印刷以外にもインクが使われる？

意外かもしれませんが、インクは印刷以外にも使われることがあります。

付属のセットアップ用インクタンクを取り付けて初めてプリンターをご使用になる際には、プリントヘッドにインクを満たして印刷可能な状態にするためインクを消費します。

カタログなどに記載されている印刷コストは、プリンターの初期セットアップに使用したインクタンクまたはインクカートリッジではなく、2 回目以降に取り付けたインクタンクまたはインクカートリッジを使用して算出しています。

きれいな印刷を保つためにインクが使われることもあります。本製品には、インクがふき出されるノズルを自動的にクリーニングし、目づまりを防ぐ機能が付いています。クリーニングでは、ノズルからインクを吸い出すため、わずかな量のインクが使用されます。

重要

- 吸い出されたインクは、製品内部の「インク吸収体」に吸収されます。インク吸収体は満杯になると交換が必要です。お客様ご自身での交換はできませんので、エラーメッセージが表示されたら、お早めにキヤノンお客様相談センターへ交換をご依頼ください。

  メッセージが表示されている

モノクロ印刷でもカラーインクが使われる？

モノクロ印刷でも、印刷する用紙の種類やプリンタードライバーの設定によってブラック以外のインクが使われることがあります。モノクロでしか印刷していなくてもカラーインクが減るのはそのためです。

参考

- 本製品は、顔料インクを使用して印刷します。顔料インクの特性上、印刷した面をこすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合がありますので、ご注意ください。

印刷を失敗しないためのポイント

印刷前に本製品の状態を確認する

- プリントヘッドの状態は大丈夫？

  印刷がかすれてはせっかくの用紙が無駄に……。ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認しておきましょう。

  ➡ お手入れの手順について

- 本製品の内部がインクで汚れていませんか？

  大量に印刷したあとは、用紙の通過した部分がインクで汚れていることがあります。インクふき取りクリーニングで内部のそうじをしましょう。

用紙のセット方法を確認する

- 用紙の向きは大丈夫？

  印刷したい面を下にしてセットします。

  ➡ 用紙をセットする



- はがきはどちらの面を先に印刷？

  はがきの両面に印刷するときは、通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

  ➡ はがきに印刷するときの注意

- その用紙、反っていませんか？

  反った用紙は紙づまりの原因に。用紙は平らにしてからセットしてください。

  ➡ 印刷面が汚れる／こすれるの「反りのある用紙は、反りを直してから使用してください」

印刷するときには用紙設定の確認を忘れずに

印刷を行うときには、操作パネルやプリンタードライバーの設定画面で、用紙の設定を行ってください。

用紙には、写真がきれいに印刷できるよう表面に特殊なコーティングが施されたものや、文書に適したものなどさまざまな種類があります。

印刷の設定画面には、それぞれの用紙に最適な画質で印刷できるよう、あらかじめ用紙ごとに異なる設定（インクの使いかた、インクのふき出し方法、ノズルとの間隔など）が用意されています。用紙の設定が正しくないと、カラーの発色がよくないことや、印刷面がこすれることがあります。

なお、インクのにじみや色むらが気になる場合は、印刷設定で画質を優先する設定を選んでお試しください。

用紙をセットしたあとは、カセットの用紙情報の登録を忘れずに

カセットに用紙をセットして本体に差し込むと、用紙の種類やサイズを登録する画面が表示されます。セットした用紙の種類とサイズに合わせて、カセットの用紙情報を登録してください。

印刷のミスを防ぐため、本製品にはカセットにセットした用紙の登録情報と印刷時の用紙設定が一致するかどうかを検知する機能があります。

印刷時には、カセットの用紙情報に合わせて用紙の設定を行ってください。この機能がオンになっている場合、設定が合っていないと、印刷ミスを防ぐためにエラーメッセージが表示されますので、用紙の設定を確認して正しく設定しなおしてください。

カセットの用紙情報は、操作パネルから用紙情報の画面を表示して確認できます。

印刷を中止するときは

電源ボタンは押さないで！

印刷中に電源ボタンを押してしまうと、パソコンから送られた印刷データなどが本製品にたまって印刷できなくなることがあります。

印刷を中止したいときは、ストップボタンを押してください。

いつもきれいな印刷を楽しむためのポイント

きれいな印刷を保つカギは、プリントヘッドの乾燥と目づまりを防ぐこと。そのために次のことを守って、いつもきれいな印刷を楽しんでください。

参考

- 用紙によっては、印刷した部分を蛍光ペンや水性ペンでなぞったり、水や汗が付着したりすると、インクがにじむことがあります。

電源が切れるまで電源プラグは抜かない

電源ボタンを押して電源を切ると、本製品は自動的にプリントヘッド（インクのふき出し口）にキャップをして乾燥を防ぐようになっています。ところが、電源ランプが消える前にコンセントから電源プラグを抜いてしまうと、プリントヘッドが正しくキャップされずに乾燥や目づまりの原因となります。

電源プラグを抜くときは電源ランプが消えていることを確認してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。電源プラグを抜くときは、必要なファクスを送信または印刷するか、USB フラッシュメモリーに保存してください。

定期的に印刷しよう

サインペンは長期間使われないと、キャップをしていてもペン先が乾いて書けなくなることがあります。同様に、プリントヘッドも印刷をしないと乾燥して目づまりを起こす場合があります。最低でも、月に 1 回程度は印刷することをお勧めします。

インクは定期的にかき混ぜられています

本製品では、きれいな印刷を得るために、定期的に自動でインクをかき混ぜる設定になっています。そのため、印刷を定期的に行っていれば、インクをいつでもよい状態に保つことができます。

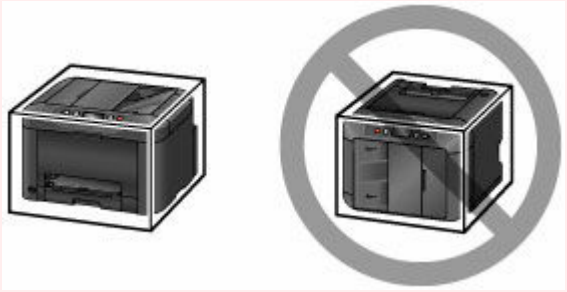
長期間お使いになっていないときなどは、印刷の始まる前に自動的にインクがかき混ぜられます。

本製品を移送するときの注意

引越しや修理などで本製品を別の場所に移送するときは、次のことに注意してください。

重要

- 丈夫な箱に本製品の底面が下になるように入れ、保護材を十分につめて梱包し、本製品が安全に移送されるようにしてください。
- プリントヘッド、インクタンクは取り付けた状態で、本製品の電源ボタンを押して電源をお切りください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため自動的にキャップをして保護します。
- 梱包後は、箱を傾けたり、立てたり、逆さにしたりしないでください。輸送中にインクが漏れるおそれがあります。
- 運送業者に輸送を依頼するときは、本製品の底面を下にした状態で、「精密機器」および「天地無用」を指定してください。



1. 本製品の電源を切る
2. 電源ランプが消えていることを確認して、電源プラグをコンセントから抜く

   重要

   - 電源ランプが点灯／点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。本製品の不良や故障の原因になり、印刷できなくなることがあります。
3. カセットを取り外し、用紙を取り出してカセットを収納位置まで縮める

   ➡ 用紙のセットについて
4. 排紙サポートを閉じ、補助トレイと排紙トレイを収納する
5. カセットを収納する
6. 接続ケーブルと電源コードを取り外す
7. 各カバー類が開いたり、カセットが外れたりしないようにテープを貼って固定し、袋に入れる
8. 本製品の周囲を保護材ではさんで箱に入れる

原稿をスキャンするときの注意事項

以下を原稿としてスキャンするか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合をのぞき違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題になることがあります。

通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしい物を作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便為替証書
- 株券、社債券
- 定期券、回数券、乗車券
- 国債証券、地方債証券
- 郵便切手、印紙
- 手形、小切手
- その他の有価証券

公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許書、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

[関係法律]

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

仕様

装置の概要

印刷解像度（dpi）	600（横） x 1200（縦）
インターフェース	**プリンター接続部：** Hi-Speed USB *1 **USB メモリー接続部：** USB フラッシュメモリー **LAN 接続部：** 有線 LAN　100BASE-TX / 10BASE-T 無線 LAN　IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b *2 *1 Hi-Speed USB でのご使用は、パソコン側が Hi-Speed USB に対応している必要があります。 また、Hi-Speed USB インターフェースは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェースが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。 *2 AOSS、らくらく無線スタート、WPS（Wi-Fi Protected Setup）、WCN（Windows Connect Now）、ケーブルレスセットアップ、手動による設定で接続が可能です。 USB と LAN は同時に使用することができます。 無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。
印字幅	最長 203.2 mm
動作環境	**温度：**5 ～ 35 ℃ **湿度：**10 ～ 90 % RH（結露しないこと） ※温度・湿度条件によっては、プリンターの性能を発揮できず、印刷品質の低下が起きる場合があります。 推奨環境は、以下のとおりです。 **温度：**15 ～ 30 ℃ **湿度：**10 ～ 80 % RH（結露しないこと） ※写真印刷用紙などの温度・湿度条件については、用紙のパッケージまたは用紙に付属の取扱説明書を参照してください。
保存環境	**温度：**0 ～ 40 ℃ **湿度：**5 ～ 95 % RH（結露しないこと）
電源	AC 100 V 50/60 Hz （付属の電源コードは AC 100 V 用です）
消費電力	**印刷時（コピー時）：**約 25 W **待機時（スリープ時）：**約 0.9 W *1*2 **電源 OFF 時：**約 0.2 W *1*3 *1 USB 接続時 *2 スリープへの移行時間は変更できません。 *3 電源を切った状態でも若干の電力が消費されています。電力消費をなくすためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外形寸法	約 463 mm（横） x 394 mm（奥行き） x 291 mm（高さ） ※排紙トレイとカセットを格納した状態
質量	本体 約 11.4 kg ※プリントヘッド/インクタンクを取り付けた状態
プリントヘッド/インク	4352 ノズル （BK 1280 ノズル、C/M/Y 512 x 6 ノズル）
ADF（自動原稿給紙装置）容量	**A4 とレターサイズ：**最大 50 枚（75 g /m^2）、高さ 5 mm 以下 **リーガルサイズ：**最大 10 枚（75 g /m^2）、高さ 1 mm 以下 **上記以外の原稿：**最大 1 枚

コピー仕様

連続コピー枚数	最大 99 枚
濃度調整	9 段階、自動濃度調整あり（AE コピー）
拡大/縮小	25 % ～ 400 %（1 %刻み）

スキャナー仕様

スキャナードライバー	**Windows：**TWAIN 1.9 Specification に準拠、WIA **Mac OS：**ICA
最大原稿サイズ	**原稿台ガラス：**A4/レター、216 x 297 mm **ADF：**A4/レター/リーガル、216 x 356 mm
読み取り解像度	**光学（主走査、副走査）最大：**1200 x 1200 dpi *1 **ソフトウェア補間（主走査、副走査）最大：**19200 x 19200 dpi *2 *1 光学解像度は、ISO 14473 規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプリングレートを表しています。 *2 読み取り解像度が高解像度になると読み取り範囲は制限されます。
読み取り階調（入力/出力）	**グレースケール：**16 bit/8 bit **カラー：**48 bit/24 bit（RGB 各色 16 bit/8 bit）

ファクス仕様

適応回線	加入電話回線（PSTN）
直流抵抗値	約 294 Ω
通信モード	スーパー G3、G3
データ圧縮方式	**モノクロ：**MH、MR、MMR **カラー：**JPEG
モデム速度	最大 33.6 kbps （自動フォールバック機能付き）

電送速度	**モノクロ：**約 3 秒/ページ（33.6 kbps） （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時） **カラー：**約 1 分/ページ（33.6 kbps） （キヤノンカラーファクステストシート使用時）
読み取り階調	**モノクロ：**256 階調 **カラー：**24 bit フルカラー（RGB 各色 8 bit）
濃度調整	3 段階
メモリー	**送受信：**約 250 ページ （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時）
ファクス解像度	**モノクロ〈標準〉：**8 pels/mm x 3.85 lines/mm **モノクロ〈ファイン〉、〈写真〉：**8 pels/mm x 7.7 lines/mm **モノクロ〈ファイン EX〉：**300 x 300 dpi **カラー：**200 x 200 dpi
ダイヤル	自動ダイヤル - 宛先（最大 100 件） - グループダイヤル（最大 99 件） 通常ダイヤル 自動リダイヤル 手動リダイヤル（最大 10 件）
その他	通信管理レポート（20 通信ごとに印刷） 同報送信（最大 101 件） ファクス受信拒否（最大 10 件）

ネットワーク仕様

通信プロトコル	SNMP（標準 MIB 対応）、TCP/IP
有線 LAN 部	**準拠規格：**IEEE802.3u（100BASE-TX） / IEEE802.3（10BASE-T） **伝送速度：**10 M/100 Mbps（自動切替）
無線 LAN 部	**準拠規格：**IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b **周波数帯域：**2.4 GHz 帯 **チャンネル：**1-13 **有効範囲：**屋内 50 m（164 フィート） ※環境条件により異なります。 **セキュリティ：** WEP（64/128 bit） WPA-PSK（TKIP/AES） WPA2-PSK（TKIP/AES） **セットアップ：** AOSS

	らくらく無線スタート WPS（プッシュボタン方式/PIN コード方式） WCN（WCN-NET） ケーブルレスセットアップ **その他：**管理パスワード

動作条件

OS の動作条件が高い場合はそれに準じます。

Windows

対応 OS	Windows 10、Windows 8.1*、Windows 8 Windows 7、Windows 7 SP1 Windows Vista SP2 * Windows 8.1 は Windows 8.1 Update を含みます。 プリンタードライバー、ファクスドライバー、Quick Utility Toolbox、IJ Network Device Setup Utility は、以下の OS に対応します。 Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2
ハードディスク空き容量	3.1 GB 以上 注） 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
表示環境	XGA 1024 x 768 以上

Mac OS

対応 OS	OS X v10.8.5 - OS X v10.11
ハードディスク空き容量	1.5 GB 以上 注） 付属のソフトウェアのインストールに必要な容量。 容量は予告なく変更となる場合があります。
表示環境	XGA 1024 x 768 以上

その他

iOS、Android、Windows RT で使用できる機能に制限があります。 詳細はキヤノンのホームページでご確認ください。

モバイル印刷機能

Apple AirPrint
Google Cloud Print
MAXIFY クラウドリンク

- オンラインマニュアルの使用および読取革命 Lite、Easy-WebPrint EX のインストールには、インターネット接続が必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、.NET Framework 4 または 4.5 のインストールが必要です。
- Windows OS でご使用になる場合、ソフトウェアのインストールには、CD-ROM ドライブまたはネットワーク接続が必要になります。
- Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Vista のいずれかがプレインストールされているコンピューターが必要です。
- Windows Media Center では、一部の制限があります。
- Easy-WebPrint EX をご使用になる場合は、Internet Explorer 8/9/10/11（Windows）が必要です。
- Mac OS でご使用になる場合、ソフトウエアのインストールには、ネットワーク接続が必要になります。
- TWAIN ドライバー（ScanGear）は TWAIN 規格 V1.9 に準拠しています。

  TWAIN ドライバー（ScanGear）を使用する場合は OS 提供の Data Source Manager が必要です。
- 企業内ネットワーク環境でご使用になる場合、5222 ポートが解放されている必要があります。確認方法については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

このマニュアルの内容は、予告なく変更することがあります。

用紙に関する情報

- **使用できる用紙について**
  - 用紙の最大積載枚数
- **使用できない用紙について**
- **用紙の取り扱いについて**
- **印刷できる範囲**
  - 印刷できる範囲について
  - 定型サイズの用紙
  - 封筒

使用できる用紙について

最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙をお選びください。キヤノンでは、文書のための用紙はもちろん、写真やイラストなどの印刷に適したさまざまな種類の用紙をご用意しています。大切な写真の印刷には、キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

用紙の種類

キヤノン純正紙

参考

- 用紙の裏表や使用上の注意については、各用紙の取扱説明書を参照してください。
- 用紙の種類やサイズについて詳しくは、キヤノンのウェブサイトを参照してください。

文書やレポートの印刷に適する用紙：

- キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>
- キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>
- キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>
- 高品位専用紙 <HR-101S>

写真の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>
- キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>
- キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>
- キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>
- マットフォトペーパー <MP-101>

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙：

- キヤノン写真はがき・マット <MH-101>
- キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>

キヤノン純正紙以外の用紙

- 普通紙（再生紙を含む）
- はがき／年賀はがき
- インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき
- 往復はがき
- 封筒
- ラベル紙

- 用紙の最大積載枚数
- プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
- プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Mac OS）

サイズ

使用できる用紙サイズは、以下のとおりです。

参考

- ご使用の OS により、使用できる用紙サイズや用紙の種類は異なります。

定型：

- レター
- リーガル
- Executive（7.25 x 10.5 inches (184.2 x 266.7 mm)）
- A4
- B5
- A5
- A6
- Oficio（8.5 x 12.5 inches（215.9 x 317.5 mm)）
- B-Oficio（8.5 x 14 inches（216.0 x 355.0 mm)）
- M-Oficio（8.50 x 13.43 inches（216.0 x 341.0 mm)）
- Foolscap（8.5 x 13 inches（215.9 x 330.2 mm)）
- Legal(India)（8.46 x 13.58 inches（215 x 345 mm)）
- L 判
- KG/10x15cm(4x6)
- 2L/13x18cm(5x7)
- はがき
- 往復はがき
- 六切/8"x10"
- 商用 10 号封筒
- DL 封筒
- 長形 3 号
- 長形 4 号
- 洋形 4 号
- 洋形 6 号
- C5 封筒
- Monarch 封筒（3.88 x 7.5 inches（98.4 x 190.5 mm)）

非定型：

以下の範囲内で、定型サイズ以外の用紙に印刷できます。

- 最小サイズ：89.0 mm x 127.0 mm（3.50 inches x 5.00 inches）
- 最大サイズ：216.0 mm x 355.6 mm（8.50 inches x 14.00 inches）

重さ

使用できる用紙の重さは以下のとおりです。

- 64～105 g /m^2（キヤノン純正紙以外の普通紙）

用紙の最大積載枚数

キヤノン純正紙

文書やレポートの印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	カセット	排紙トレイ
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	約 220 枚	約 75 枚
キヤノン普通紙・ホワイト 両面厚口 <SW-201>	約 160 枚	約 75 枚
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	約 250 枚	約 75 枚
高品位専用紙 <HR-101S>	65 枚	65 枚

写真の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	カセット	排紙トレイ
キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>*1	A4、2L 判：10 枚 L 判：20 枚	*2
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>*1	A4、2L 判、六切：10 枚 L 判、KG、はがき：20 枚	*2
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>*1	A4：10 枚	*2
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>*1	A4、2L 判、六切：10 枚 L 判：20 枚	*2
マットフォトペーパー <MP-101>	A4：10 枚 L 判：20 枚	*2

年賀状や挨拶状の印刷に適する用紙：

用紙の名称 <型番>	カセット	排紙トレイ
キヤノン写真はがき・マット <MH-101>	20 枚	20 枚
キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	20 枚	20 枚

キヤノン純正紙以外の用紙

用紙の名称	カセット	排紙トレイ
普通紙（再生紙を含む）*3	約 250 枚	約 75 枚
はがき／年賀はがき	40 枚	40 枚
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	20 枚	20 枚
往復はがき*3	20 枚	*2
封筒	10 枚	*2
ラベル紙	10 枚	*2

*1 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いたり、用紙がうまく送られなかったりする場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。
*2 にじみや変色を防ぐため、続けて印刷するときは、先に印刷した用紙を排紙トレイから取り出すことをお勧めします。

*3 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を半分以下に減らしてください。

使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 角形封筒
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている長形封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- ふた部分の乾燥糊が湿って、粘着性が出てしまった封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ホチキスや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

用紙の取り扱いについて

- すべての用紙は、こすったり、傷をつけたりしないように丁寧に扱ってください。
- できるだけ用紙の端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。手についた汗や油分が印刷面に付くと、印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱ってください。また乾いたあとも、できるだけ印刷した面に触れないよう丁寧に扱ってください。顔料インクの特性上、こすったり、引っかいたりすると、インクがはがれる場合があります。
- 用紙は印刷する直前に、印刷する枚数だけをパッケージから取り出して使用してください。
- 反りを防ぐため、使用しない用紙は用紙が入っていたパッケージに入れ、水平に置いて保管してください。また、高温・多湿・直射日光を避けて保管してください。

印刷できる範囲

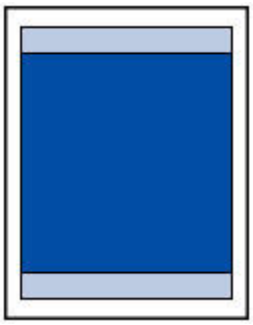
- 印刷できる範囲について
- 定型サイズの用紙
- 封筒

印刷できる範囲について

印刷の品質を維持するため、用紙の上下左右に余白を設けています。実際に印刷できる範囲は、これらの余白を除いた部分となります。

印刷推奨領域 : この範囲に印刷することをお勧めします。

印刷可能領域 : 印刷できる範囲です。ただし、印刷の品質または用紙送りの精度が低下することがあります。

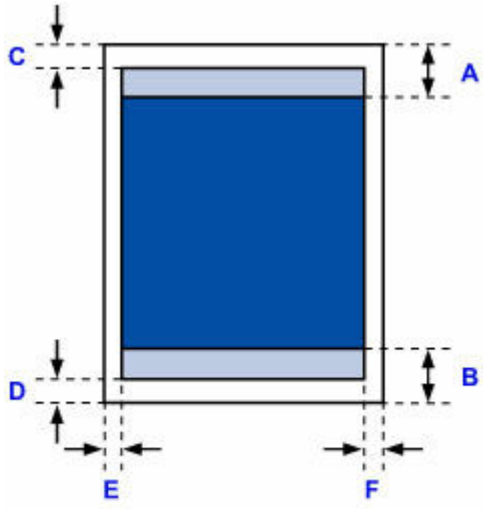


参考

- 自動両面印刷および両面コピーでは、用紙の上辺の印刷可能領域が通常より 2 mm（0.08 inch）分狭くなります。

定型サイズの用紙

サイズ	印刷可能領域（幅 x 長さ）
レター	203.2 mm x 271.4 mm（8.00 inches x 10.69 inches）
リーガル	203.2 mm x 347.6 mm（8.00 inches x 13.69 inches）
A6	98.2 mm x 140.0 mm（3.87 inches x 5.51 inches）
A5	141.2 mm x 202.0 mm（5.56 inches x 7.95 inches）
A4	203.2 mm x 289.0 mm（8.00 inches x 11.38 inches）
B5	175.2 mm x 249.0 mm（6.90 inches x 9.80 inches）
KG	94.8 mm x 144.4 mm（3.73 inches x 5.69 inches）
5 x 7	120.2 mm x 169.8 mm（4.73 inches x 6.69 inches）
六切	196.4 mm x 246.0 mm（7.73 inches x 9.69 inches）
L 判	82.2 mm x 119.0 mm（3.24 inches x 4.69 inches）
2L 判	120.2 mm x 170.0 mm（4.73 inches x 6.69 inches）
はがき	93.2 mm x 140.0 mm（3.67 inches x 5.51 inches）
往復はがき	193.2 mm x 140.0 mm（7.61 inches x 5.51 inches）



印刷推奨領域

A：45.8 mm（1.80 inches）
B：36.8 mm（1.45 inches）

印刷可能領域

レター、リーガル

C：3.0 mm（0.12 inch）
D：5.0 mm（0.20 inch）
E：6.4 mm（0.25 inch）
F：6.3 mm（0.25 inch）

レター、リーガル以外

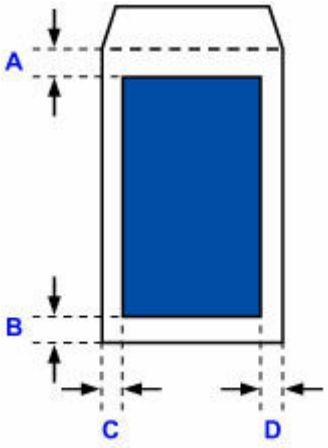
C：3.0 mm（0.12 inch）
D：5.0 mm（0.20 inch）
E：3.4 mm（0.13 inch）

F : 3.4 mm（0.13 inch）

封筒

封筒（長形３号／長形４号）

サイズ	印刷推奨領域（幅 x 長さ）
長形３号	108.8 mm x 222.0 mm（4.28 inches x 8.74 inches）
長形４号	78.8 mm x 192.0 mm（3.10 inches x 7.56 inches）

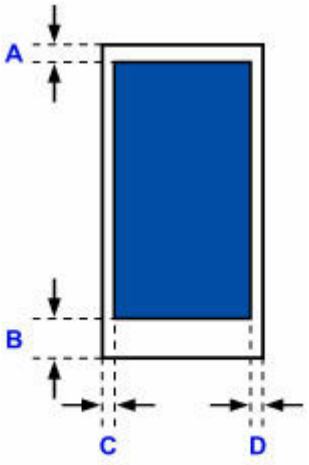


印刷推奨領域

A：8.0 mm（0.31 inch）
B：5.0 mm（0.20 inch）
C：5.6 mm（0.22 inch）
D：5.6 mm（0.22 inch）

封筒（洋形４号／洋形６号）

サイズ	印刷推奨領域（幅 x 長さ）
洋形４号	93.8 mm x 214.3 mm（3.69 inches x 8.44 inches）
洋形６号	86.8 mm x 169.3 mm（3.41 inches x 6.67 inches）



印刷推奨領域

A：8.0 mm（0.31 inch）
B：12.7 mm（0.50 inch）
C：5.6 mm（0.22 inch）

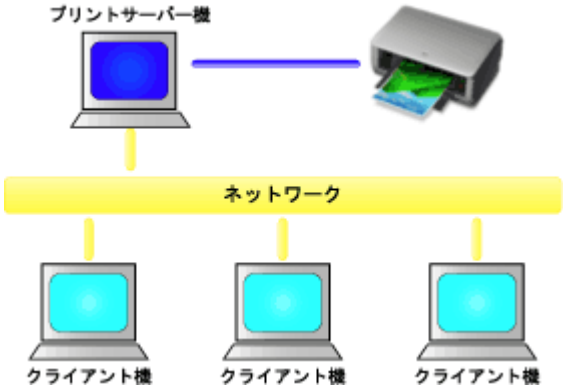
D : 5.6 mm（0.22 inch）

管理者による設定

- ネットワーク環境でプリンターを共有する

ネットワーク環境でプリンターを共有する

パソコンをネットワーク環境で使用しているときは、1 台のプリンターを共有して複数のパソコンから印刷することができます。



- プリンターを共有するための設定方法

  プリントサーバー機とクライアント機での設定方法を説明します。

参考

- ネットワークに接続する各パソコンの Windows のバージョンが同じである必要はありません。
- ファクスドライバーについても同様の手順で設定することができます。

関連項目

- プリンター共有に関する制限

プリンターを共有するための設定方法

プリントサーバー機でプリンタードライバーの共有を設定します。その後、クライアント機からプリントサーバー機への接続を設定します。

1. プリントサーバー機にプリンタードライバーをインストール

2. 以下のように選択

   - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］（［ハードウェア］）→［デバイスとプリンター］を選びます。
     ［デバイスとプリンター］画面が表示されます。
   - Windows Vista、または Windows Server 2008 をご使用の場合は、［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。
     ［プリンタ］画面が表示されます。

3. 共有する機種名のアイコンをクリック

   - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、Alt キーを押して、表示された［ファイル］メニューから［プリンターのプロパティ］→［共有］タブをクリックします。
   - Windows Vista をご使用の場合は、Alt キーを押して、表示された［ファイル］メニューから［管理者として実行］→［共有...］を選びます。
   - Windows Server 2008 をご使用の場合は、［ファイル］メニューから［共有...］を選びます。

   重要

   - ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりする場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
     このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
     管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、［はい］（または［続行］、［許可］）をクリックして、操作を続けてください。
     ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

4. 共有を設定

   ［共有］シートの［このプリンターを共有する］にチェックマークを付け（または［このプリンタを共有する］を選び）、必要に応じて共有名を設定して、［OK］をクリックします。

5. プリントサーバー機とクライアント機のアーキテクチャ（32 ビットまたは 64 ビット）が異なる場合は、追加でドライバーをインストール

   1. ［デバイスとプリンター］画面、［プリンタ］画面、または［プリンタと FAX］画面を表示
   2. 以下のように選択
      - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合は、プリンターのアイコンを選んで［プリントサーバープロパティ］をクリックし、［ドライバー］タブを選ぶ
      - Windows Vista をご使用の場合は、Alt キーを押して、表示された［ファイル］メニューから［管理者として実行］→［サーバーのプロパティ...］を開き［ドライバ］タブを選ぶ

- Windows Server 2008 をご使用の場合は、［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］を開き［ドライバ］タブを選ぶ

3. ［追加...］をクリック
4. ［プリンタードライバーの追加ウィザード］画面が表示されたら、［次へ］をクリック
5. プリントサーバー機が 32 ビットの場合は［x64］に、プリントサーバー機が 64 ビットの場合は［x86］にチェックマークを付け、［次へ］をクリック
6. ［ディスク使用...］をクリック
7. ［フロッピー ディスクからインストール］画面で、ダウンロードしたプリンタードライバーの「Driver」フォルダー内の「inf」ファイルを指定し、［OK］をクリック
8. 使用するプリンターを選び、［次へ］をクリック

参考

- エラーメッセージが表示された場合は、もう一方のプリンターを選んでください。

9. ［完了］をクリック

以上でプリントサーバー機での設定は完了です。次に、クライアント機での設定を行ってください。

6. クライアント機でエクスプローラーを開き、共有したいプリンターのアイコンをダブルクリック

7. 画面の指示に従いプリンタードライバーのインストールを行う

以上で、クライアント機での設定は完了です。
ほかのクライアント機で設定する場合も、同様に手順 6 および手順 7 を行ってください。

プリンター共有に関する制限

XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、「Canon IJ プレビュー」を「Canon IJ XPS プレビュー」としてお読みください。

ネットワーク環境でプリンターを使用する場合の制限事項です。お使いの環境に合わせて確認してください。

プリンター共有を設定する時の制限

- ［プリンターの追加］からドライバーをインストールする時に「ntprint.inf」を要求された場合は、次の手順でファイルを指定してください。
  1. プリントサーバー機と異なるアーキテクチャのクライアント機でエクスプローラーを起動し、アドレスバーに次のパスを貼り付け、Enter キーを押します。
     %windir%¥system32¥driverstore¥
  2. ［FileRepository］フォルダーを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。
  3. ［共有］シートの［共有］をクリックします。
  4. プリントサーバー機に表示されたメッセージ画面で、手順 3 で共有したフォルダー内の「ntprint.inf_xxxxxxxx」を指定し、［OK］をクリックします。
     複数のコピーが存在する場合は、更新日時が最新のものを選びます。

プリンターを共有して使用する時の制限

- 印刷終了のメッセージが表示されることがあります。メッセージを表示しないようにするためには、以下の操作を行ってください。
  - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012 R2、または Windows Server 2012 をご使用の場合：

    クライアント機の［デバイスとプリンター］画面で、［プリンター］からプリンターを選び、コマンドバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。
    ［詳細設定］シートで［ネットワーク プリンターの情報を通知する］のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
  - Windows 7、または Windows Server 2008 R2 をご使用の場合：

    クライアント機の［デバイスとプリンター］画面で、［プリンターと FAX］からプリンターを選び、コマンドバーの［プリント サーバー プロパティ］をクリックします。
    ［詳細設定］シートで［ネットワーク プリンターの情報を通知する］のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
  - Windows Vista をご使用の場合：

    クライアント機の［プリンタ］画面で、Alt キーを押して、表示された［ファイル］メニューから［管理者として実行］→［サーバーのプロパティ...］をクリックします。
    ［詳細設定］シートで［ネットワーク プリンタの情報を通知する］のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
  - Windows Server 2008 をご使用の場合：

    クライアント機の［プリンタ］画面で、［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ...］をクリックします。
    ［詳細設定］シートで［ネットワーク プリンタの情報を通知する］のチェックマークを外して、パソコンを再起動します。
- 双方向サポート機能が無効になり、プリンターのステータスを正しく取得できないことがあります。クライアントのユーザーが、プリンタードライバーのプロパティを開き、［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］のチェックマークを外したまま［OK］をクリックすると、プリントサーバー機の双方向通信機能まで無効になってしまうことがあります。

この場合は、プリントサーバー機とクライアント機両方で［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けてください。

- クライアント機から印刷を行う場合は、Canon IJ プレビューは使用できません。
- ［ユーティリティ］シートの機能は、クライアント機で正しく設定できない状況では、グレー表示になることがあります。この場合は、プリントサーバー機で設定を変更してください。
  プリントサーバー機の設定を変更した場合は、クライアント機から共有プリンターのアイコンを削除し、再度、クライアント機での共有設定を行うことをお勧めします。
- クライアント機にプリントサーバー機と同じプリンタードライバーがインストールされている場合は、ネットワークプリンターのアイコンが自動的に作成されることがあります。
- クライアント機から共有プリンターで文書を印刷してエラーが起こった場合、Canon IJ ステータスモニタのエラーメッセージはクライアント機とプリントサーバー機の両方に表示されます。また、通常の印刷の場合、Canon IJ ステータスモニタはクライアント機にのみ表示されます。

管理用のパスワードについて

機種によっては、ご購入時からパスワードが設定されています。

設定されている場合、パスワードは「canon」または本製品のシリアルナンバーのどちらかになります。

パスワードが「canon」に設定されている機種

MG7500 series、 MG6700 series、 MG6600 series、 MG5600 series、

MG2900 series、 MX490 series、 MB5300 series、 MB5000 series、

MB2300 series、 MB2000 series、 E480 series、 E460 series、

iP110 series、 iB4000 series、 PRO-100S series、 PRO-10S series

- 上記の機種は、ご購入時から「ADMIN」というユーザー名も設定されています。
- パスワードを変更するときは、以下の文字制限があります。
  - 0～32 文字で設定してください。
  - 使用可能な文字は半角英数字です。
- セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせて 6 文字以上にすることをお勧めします。

パスワードが本製品のシリアルナンバーに設定されている機種

- 上記の機種以外は、パスワードが本製品のシリアルナンバーに設定されています。

  ➡本製品のシリアルナンバーの記載箇所について
- パスワードを変更するときは、以下の文字制限があります。
  - 4～32 文字で設定してください。
  - 使用可能な文字は半角英数字です。
- セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせて 6 文字以上にすることをお勧めします。

重要

- パスワードは以下のいずれかを利用して変更できます。（ご使用の機種によっては、ご利用になれない場合があります。）
  - 本製品の操作パネル
  - IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）
  - 一部のキヤノン製アプリケーションソフトで表示できるプリンター情報の画面
  - IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）*

    * Windows をご使用の場合のみ
- 本製品を多人数で共有してご使用の場合、パスワードが変更されて分からなくなってしまったときは、使用している製品の管理者にお問い合わせください。
- 本製品の設定を初期化すると、パスワードはご購入時の状態に戻ります。

本製品の設定を初期化する方法については、ご使用の機種のオンラインマニュアルで「UG067」または「UG505」を検索し、ページを参照してください。

パスワードと Cookie について

➡パスワードについて

➡Cookie について

パスワードについて

認証画面が表示されたら、パスワードを入力してください。

➡管理用のパスワードについて

機種によってはユーザー名の入力も必要な場合があります。ユーザー名については、上記のリンク先を参照してご確認ください。

重要

- 機種によっては認証画面が表示される前に、サーバーの識別情報が検証できないことをお知らせする警告が表示される場合があります。
- パスワードは固有のパスワードに変更することをお勧めします。

Cookie について

Cookie（クッキー）とは、ウェブサイトの提供者がユーザー情報やアクセス履歴などの情報を、ウェブブラウザーを通じて訪問者のコンピューターに一時的に書き込んで保存させる仕組みです。

本製品はリモート UI を利用されるお客様を識別し、お客様ごとに適した情報を提供するなどの制御を可能とするために、お使いの通信機器に対して Cookie を送信することがあります。

重要

- 多くのブラウザーは自動的に Cookie を受信しますが、お客様は、Cookie を拒否するようにブラウザーの設定を変更することができます。

  Cookie を受信しない設定をされた場合、リモート UI にログオンすることができなくなるため、リモート UI が提供するすべての機能がご利用いただけなくなります。

参考

- リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザーで利用できます。
  - iOS 機器：

    OS：iOS 7.0 以上

    ウェブブラウザー：iOS 機器標準搭載のブラウザー（Mobile Safari）
  - Android 機器：

    OS：Android 4.0 以上

    ウェブブラウザー：Android 機器標準搭載のブラウザー（ブラウザーまたは Chrome）
  - Mac OS 機器：

    OS：Mac OS X v.10.6 以上

    ウェブブラウザー：Safari 5.1 以上
  - Windows 機器：

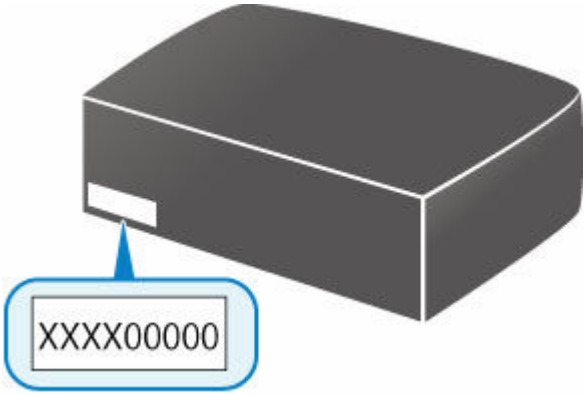
    OS：Windows Vista SP2 以上

ウェブブラウザー：Internet Explorer 9 以上、Google Chrome 41.0.2272.118m 以上、Mozilla Firefox 37.0.1 以上

本製品のシリアルナンバーの記載箇所について

本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体のシールに記載されています。

例：



参考

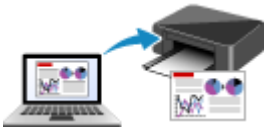
- 本製品のシリアルナンバーは、保証書にも記載されています。
- 機種によっては、本製品の操作パネルからネットワーク設定情報を印刷して、シリアルナンバーを確認することもできます。印刷方法については、ご使用の機種のオンラインマニュアルで「NR044」を検索し、ページを参照してください。

本製品のルート証明書をウェブブラウザーに登録する方法について

ご使用のスマートフォン、タブレットまたはパソコンで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザーに登録してください。安全な通信ができることが確認され、警告が表示されないようになります。

登録方法については、ご使用の機種のオンラインマニュアルで「AF111」を検索し、ページを参照してください。

プリント



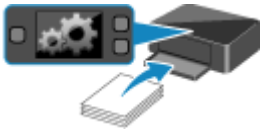
パソコンから印刷してみよう



スマートフォン／タブレットから印刷してみよう



本製品の操作パネルから印刷してみよう



印刷時の用紙設定

パソコンから印刷してみよう

- お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windows プリンタードライバー）
- お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Mac OS プリンタードライバー）
- キヤノンのアプリケーションソフトを使って印刷してみよう
- ウェブサービスを使って印刷してみよう
- Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

お使いのアプリケーションソフトで印刷する（Windowsプリンタードライバー）

- かんたんな設定で印刷を行う 基本
- いろいろな印刷
- 印刷品質の変更や画像データの補正
- プリンタードライバーの概要
- プリンタードライバーの画面説明
- MP ドライバーの更新

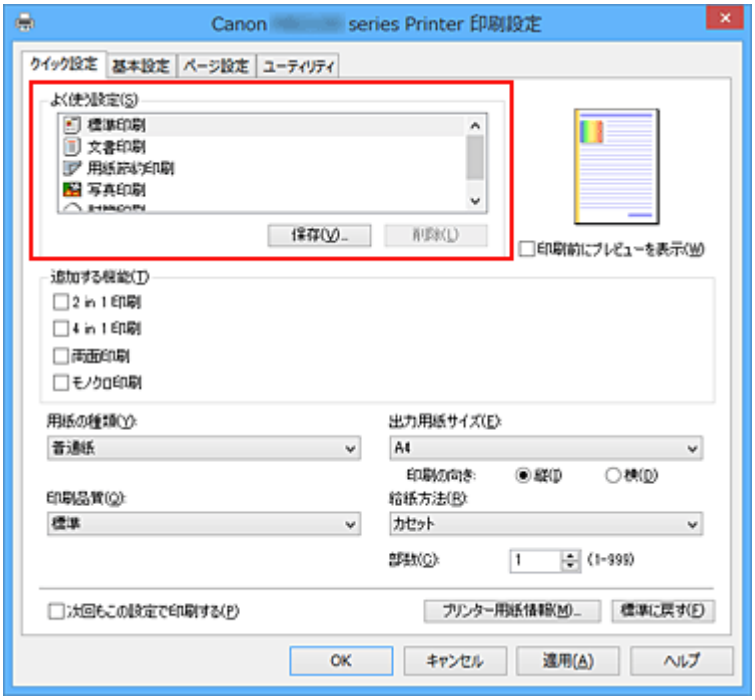
かんたんな設定で印刷を行う

プリンターで適切な印刷を行うために、［クイック設定］シートの設定でかんたんな手順を説明します。

かんたんな設定で印刷する

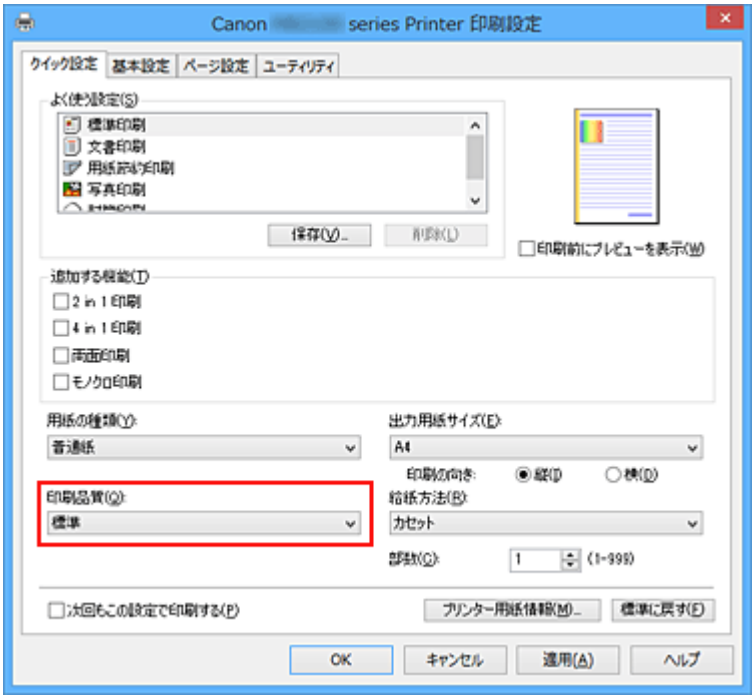
1. プリンターの電源が入っていることを確認
2. プリンターに用紙をセット
3. プリンタードライバーの設定画面を開く
4. よく使う設定を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で、目的に合った印刷設定を選びます。
   印刷設定を選ぶと、［追加する機能］、［用紙の種類］、［出力用紙サイズ］があらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



5. 印刷品質を選択

   ［印刷品質］で、［きれい］、［標準］から目的に合ったものを選びます。

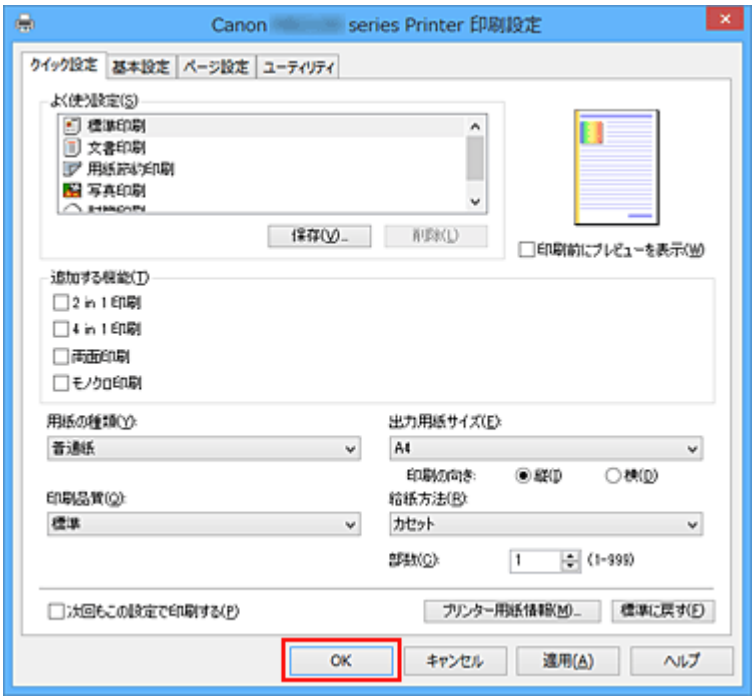


重要

- 印刷設定によっては、選べる印刷品質が異なります。

6. 設定を完了

［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、目的に合った設定で印刷を行います。



重要

- ［次回もこの設定で印刷する］にチェックマークを付けると、［クイック設定］シート、［基本設定］シート、および［ページ設定］シートで設定した内容が保存され、同じ設定で次回以降も印刷できます。
- ［よく使う設定］の［保存...］をクリックすると、設定した内容を登録できます。

参考

- プリンタードライバーでの用紙設定と、プリンター本体で登録するカセットの用紙情報が異なる場合、エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合の対処方法については、「印刷時の用紙設定」を参照してください。
  現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、［クイック設定］シートから［プリンター用紙情報...］をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
  プリンター本体で登録するカセットの用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

プリンター本体の設定を確認し、プリンタードライバーに反映する

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［クイック設定］シートの［プリンター用紙情報...］をクリック
   ［プリンター用紙情報］ダイアログが表示されます。

3. ［給紙方法］を選択

   ［給紙方法］から設定を確認、または変更したい給紙方法を選びます。
   ［用紙の種類］、［出力用紙サイズ］に現在のプリンター本体の設定が表示されます。

4. 設定を反映

   ［設定］をクリックすると、プリンター本体の設定がプリンタードライバーに反映されます。

   参考

   - プリンター本体の用紙の種類で、はがき、インクジェットはがき、インクジェット写真ハガキを設定している、または、プリンター本体の出力用紙サイズで、2L/13x18cm(5x7)を設定している場合、［設定］をクリックすると、ダイアログが表示されます。
     目的に合った用紙の種類や用紙サイズを選んで［OK］をクリックしてください。
   - プリンター本体の用紙の種類や、出力用紙サイズが設定されていなかったり、その他を設定している場合、［設定］はグレー表示となり、設定できません。
   - プリンターと通信できない状態の場合、［プリンター用紙情報...］は表示されないか、プリンターからの用紙情報を取得できません。

プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙の種類と用紙サイズを選んでください。
プリンターでは以下の用紙が使用できます。

キヤノン純正紙（書類の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン普通紙・ホワイト <SW-101>	［普通紙］	普通紙
キヤノン普通紙・ホワイト両面厚口 <SW-201>	［普通紙］	普通紙
キヤノン普通紙・ビジネス <FB-101>	［普通紙］	普通紙

キヤノン純正紙（写真の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン写真用紙・光沢 ゴールド <GL-101>	［写真用紙 光沢ゴールド］	光沢ゴールド
キヤノン写真用紙・微粒面光沢 ラスター <LU-101>	［写真用紙 微粒面光沢 ラスター］	微粒面光沢 ﾗｽﾀｰ
キヤノン写真用紙・絹目調 <SG-201>	［写真用紙 絹目調］	絹目調
キヤノン写真用紙・光沢 スタンダード <SD-201>	［写真用紙 光沢 スタンダード］	光沢スタンダード
マットフォトペーパー <MP-101>	［マットフォトペーパー］	マットフォト

キヤノン純正紙（年賀状、挨拶状の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
キヤノン写真はがき・マット <MH-101>	通信面：［インクジェットはがき(通信面)］ あて名面：［インクジェットはがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄはがき
キヤノン写真はがき・光沢 <KH-401>	通信面：［インクジェット写真用はがき(通信面)］ あて名面：［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ写真ﾊｶﾞｷ

キヤノン純正紙（ビジネス文書の印刷）

用紙の名称 <型番>	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
高品位専用紙 <HR-101S>	［高品位専用紙］	高品位専用紙

市販の用紙

用紙の名称	プリンタードライバーでの［用紙の種類］	プリンター本体で登録する用紙情報
普通紙（再生紙を含む）	［普通紙］	普通紙
はがき／年賀はがき	通信面：［はがき］ あて名面：［はがき(あて名面)］、または［はがき］	はがき
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	通信面：［インクジェットはがき(通信面)］ あて名面：［インクジェットはがき(あて名面)］、または［はがき］	ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄはがき
往復はがき	［はがき］	はがき
封筒	［封筒］	封筒
ラベル紙	［ラベル紙］	ラベル紙

プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

プリンターを使用するときは、最適な印刷結果を得るために、印刷に適した用紙サイズを選んでください。
プリンターでは以下の用紙サイズが使用できます。

プリンタードライバーでの［出力用紙サイズ］	プリンター本体で登録する用紙情報
［レター］	レター
［リーガル］	リーガル
［Executive］(184.2×266.7mm)	Executive
［A6］	A6
［A5］	A5
［A4］	A4
［B5］	B5
［Oficio］(215.9x317.5mm)	Oficio
［B-Oficio］(216x355mm)	B-Oficio
［M-Oficio］(216x341mm)	M-Oficio
［Foolscap］(215.9x330.2mm)	Foolscap
［Legal (India)］(215x345mm)	Legal(India)
［KG］	KG/10x15cm(4x6)
［5x7］	2L/13x18cm(5x7)
［六切］	六切/8"x10"
［L 判］	L 判
［2L 判］	2L/13x18cm(5x7)
［はがき］	はがき
［往復はがき］	往復はがき
［商用 10 号封筒］	商用 10 号封筒
［DL 封筒］	DL 封筒
［長形 3 号］	長形 3 号
［長形 4 号］	長形 4 号
［洋形 4 号］	洋形 4 号
［洋形 6 号］	洋形 6 号
［C5 封筒］	C5 封筒

［Monarch 封筒］(98.4x190.5 mm)	Monarch 封筒
ユーザー定義用紙	その他

いろいろな印刷

- 用紙サイズと印刷の向きを設定する
- 部数と印刷順序を設定する
- とじしろを設定する
- フィットページ印刷を行う
- 拡大/縮小印刷を行う
- 割り付け印刷を行う
- 分割/ポスター印刷を行う
- 冊子印刷を行う
- 両面印刷を行う
- スタンプ付き、背景付き印刷を行う
- スタンプを登録する
- 背景として使用する画像データを登録する
- 封筒に印刷する
- はがきに印刷する
- 印刷前に印刷結果を表示する
- 用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）
- 印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う

用紙サイズと印刷の向きを設定する

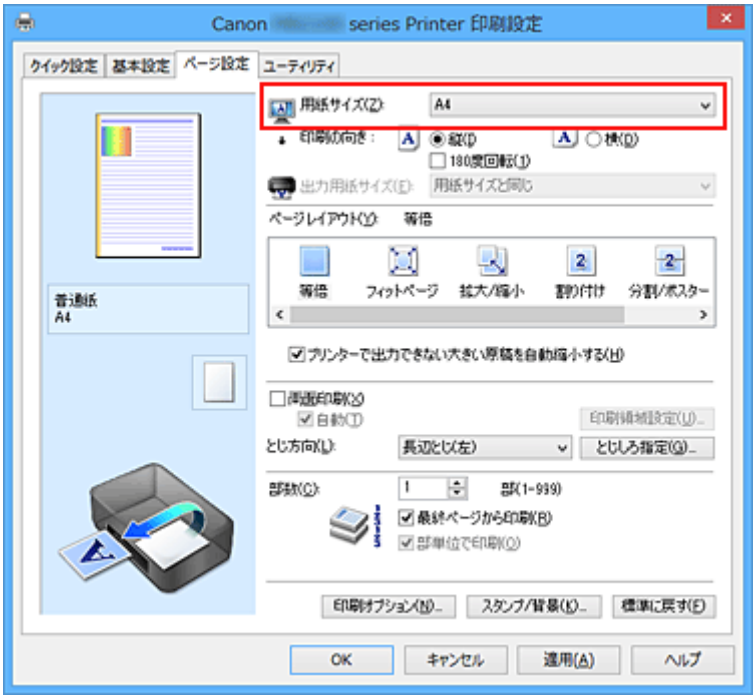
用紙のサイズや印刷の向きの設定は、基本的にアプリケーションソフトで行います。[ページ設定]シートの[用紙サイズ]、[印刷の向き]の設定が、アプリケーションソフトの設定と同じであれば、特に設定する必要はありません。

アプリケーションソフトで設定できないときは、次の手順で設定してください。
用紙サイズと印刷の向きは[クイック設定]シートで設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 用紙サイズを選択

   [ページ設定]シートの[用紙サイズ]で使用する用紙サイズを選びます。



3. [印刷の向き]を設定

   [印刷の向き]で[縦]、または[横]を選びます。原稿を 180 度回転させて印刷したいときは、[180 度回転]にチェックマークを付けます。

4. 設定を完了

   [OK]をクリックします。
   印刷を実行すると、設定した用紙サイズと印刷の向きで印刷されます。

参考

- [ページレイアウト]で[等倍]を選んでいる場合は[プリンターで出力できない大きい原稿を自動縮小する]が表示されます。
  通常はチェックマークを付けたままで構いません。プリンターで出力できない大きさの原稿を印刷するときに縮小したくない場合は、チェックマークを外してください。

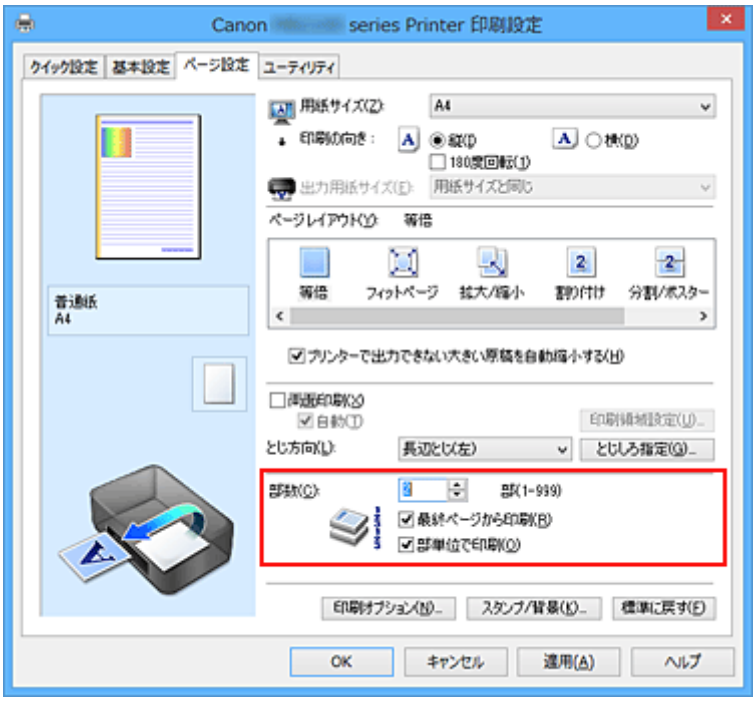
部数と印刷順序を設定する

部数と印刷する順序を設定する手順を説明します。
部数は［クイック設定］シートで設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 部数を設定

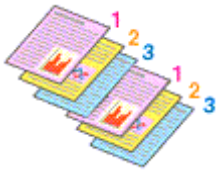
   ［ページ設定］シートの［部数］で印刷する部数を設定します。



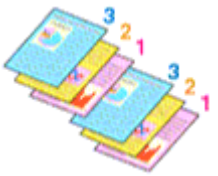
3. 印刷順序を設定

   最終ページから印刷したいときは［最終ページから印刷］にチェックマークを付け、先頭ページから印刷したいときはチェックマークを外します。
   2 部以上印刷する場合で、1 部ずつまとまるように印刷したいときは［部単位で印刷］にチェックマークを付け、同一ページでまとまるように印刷したいときはチェックマークを外します。

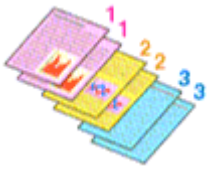
   - ［最終ページから印刷］：☑ ／［部単位で印刷］：☑



   - ［最終ページから印刷］：☐ ／［部単位で印刷］：☑



   - ［最終ページから印刷］：☑ ／［部単位で印刷］：☐



- ［最終ページから印刷］：□／［部単位で印刷］：□



4. 設定を完了

［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、設定した部数や印刷順序で印刷されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。
- ［ページレイアウト］で［分割/ポスター］を選んでいる場合、［最終ページから印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- ［ページレイアウト］で［冊子］を選んでいる場合、［最終ページから印刷］と［部単位で印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- ［両面印刷］にチェックを入れている場合、［最終ページから印刷］はグレー表示となり、設定できません。

参考

- ［最終ページから印刷］と［部単位で印刷］を同時に設定することで、ページ順に 1 部ずつまとめて印刷できます。
この設定は、［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］と組み合わせて使用できます。

とじしろを設定する

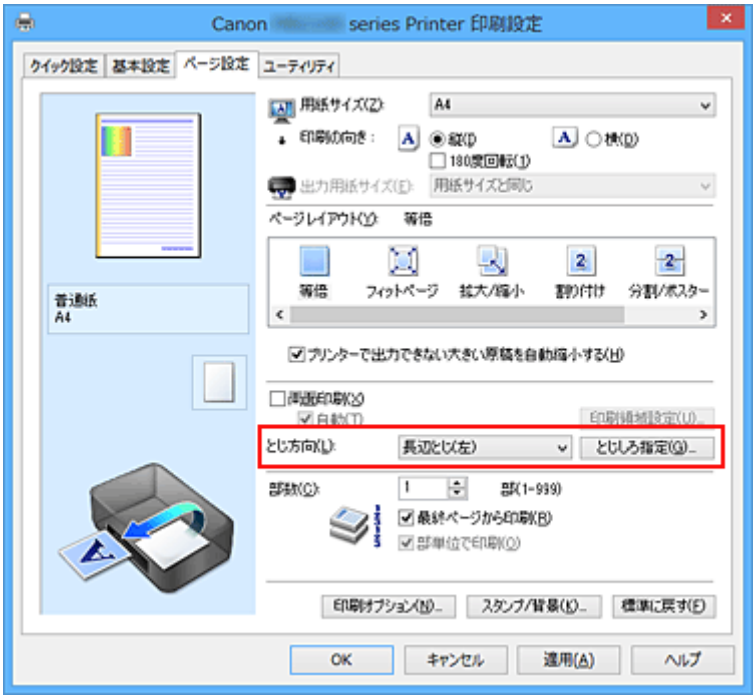


とじ方向ととじしろの幅を設定する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. とじしろの位置を確認

   [ページ設定]シートの[とじ方向]でとじしろの位置を確認します。
   [印刷の向き]や[ページレイアウト]の設定から、最適なとじしろの位置が自動的に選ばれています。
   変更する場合は、一覧から選びます。



3. とじしろの幅を設定

   必要に応じて、[とじしろ指定...]をクリックし、とじしろの幅を指定して[OK]をクリックします。



参考

- とじしろの幅によって、印刷領域は自動的に縮小します。

4. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、指定したとじ方向ととじしろの幅で印刷されます。

重要

- 次の設定を行っている場合は、［とじ方向］と［とじしろ指定...］はグレー表示となり、設定できません。
  - ［ページレイアウト］で［分割/ポスター］、［冊子］を選んでいるとき
  - ［ページレイアウト］で［拡大/縮小］を選んでいるとき（［両面印刷］を同時に設定したときは［とじ方向］のみ設定できます。）

フィットページ印刷を行う

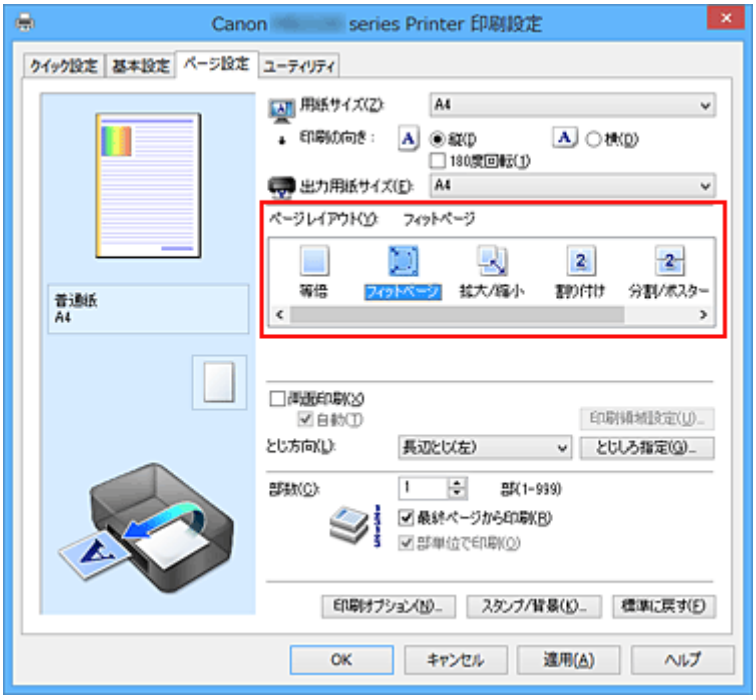


使用する用紙に合わせて原稿を自動的に拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. フィットページ印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［フィットページ］を選びます。



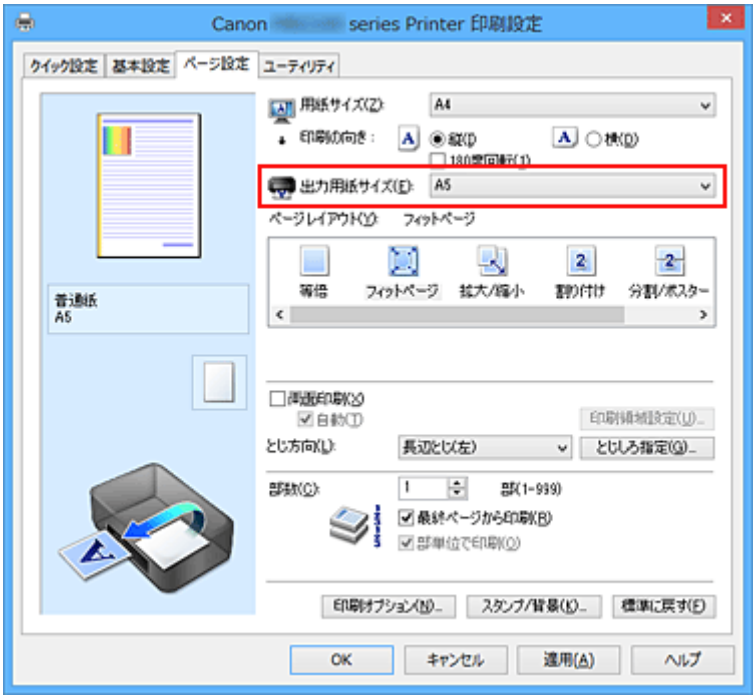
3. 原稿の用紙サイズを選択

   ［用紙サイズ］で、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズを選びます。

4. 印刷する用紙サイズを選択

   ［出力用紙サイズ］で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。
   ［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと縮小して印刷され、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷されます。

   設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。



5. 設定を完了

［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、原稿は用紙に合わせて拡大または縮小して印刷されます。

拡大/縮小印刷を行う

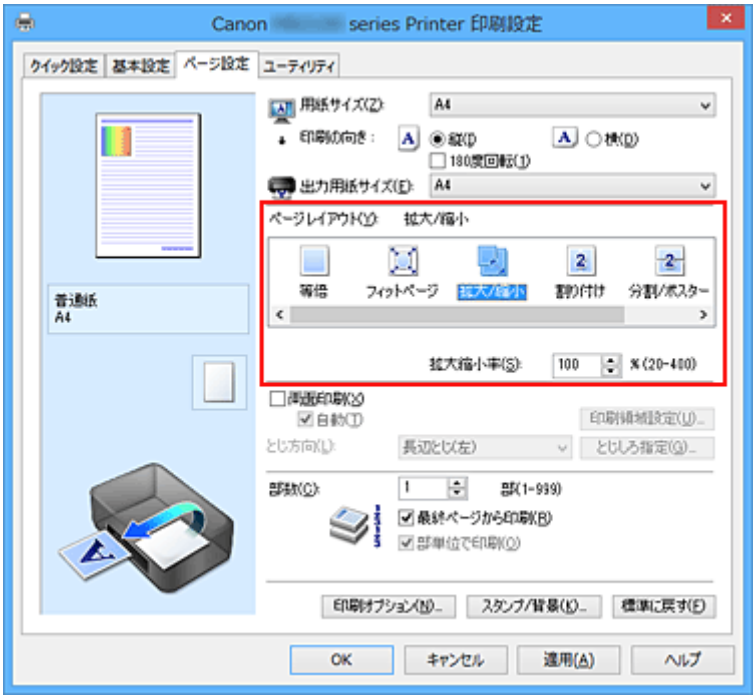


原稿を拡大または縮小して印刷する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 拡大/縮小印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［拡大/縮小］を選びます。



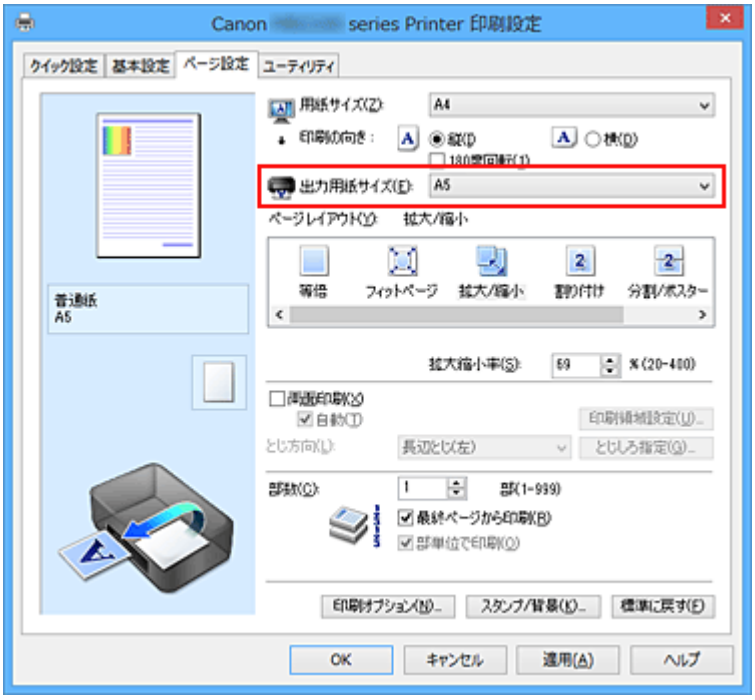
3. 原稿の用紙サイズを選択

   ［用紙サイズ］でアプリケーションソフトで指定した用紙サイズを選びます。

4. 次のいずれかの方法で倍率を設定

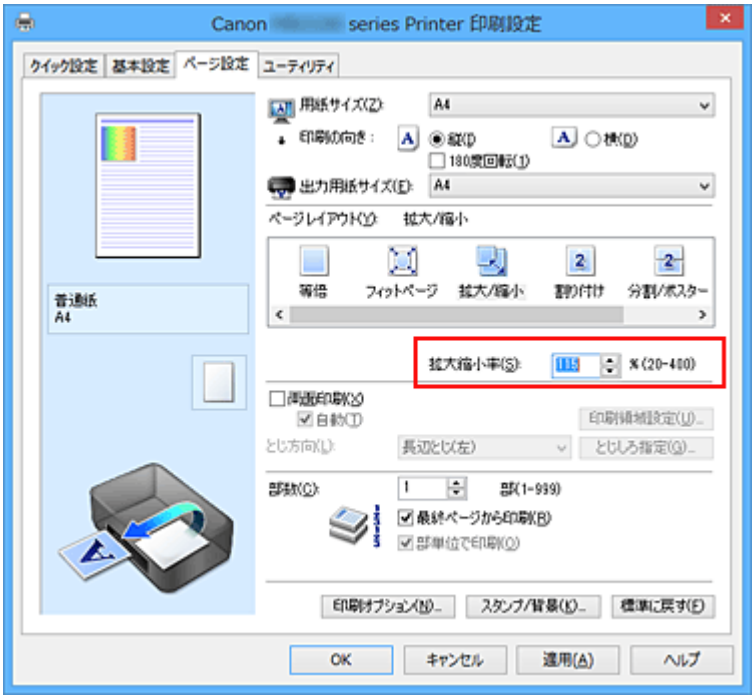
   - ［出力用紙サイズ］を選ぶ

     ［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと縮小、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷されます。



- 倍率を指定する

  [拡大縮小率]に直接、数値を入力します。



  設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

5. 設定を完了

   [OK]をクリックします。
   印刷を実行すると、拡大または縮小して印刷されます。

重要

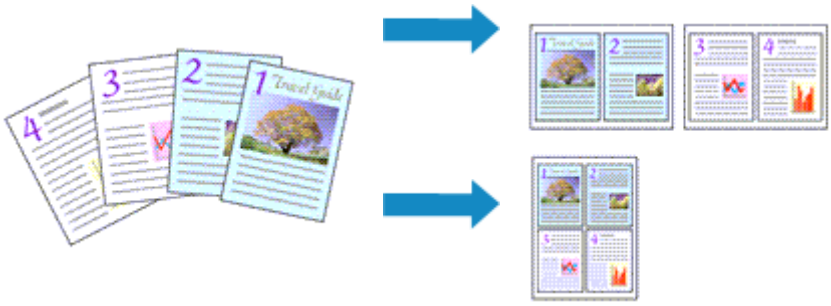
- 原稿を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小印刷機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。プリンタードライバーで設定する必要はありません。

参考

- ［拡大/縮小］を選ぶと、原稿の印刷可能範囲が変わります。

割り付け印刷を行う

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

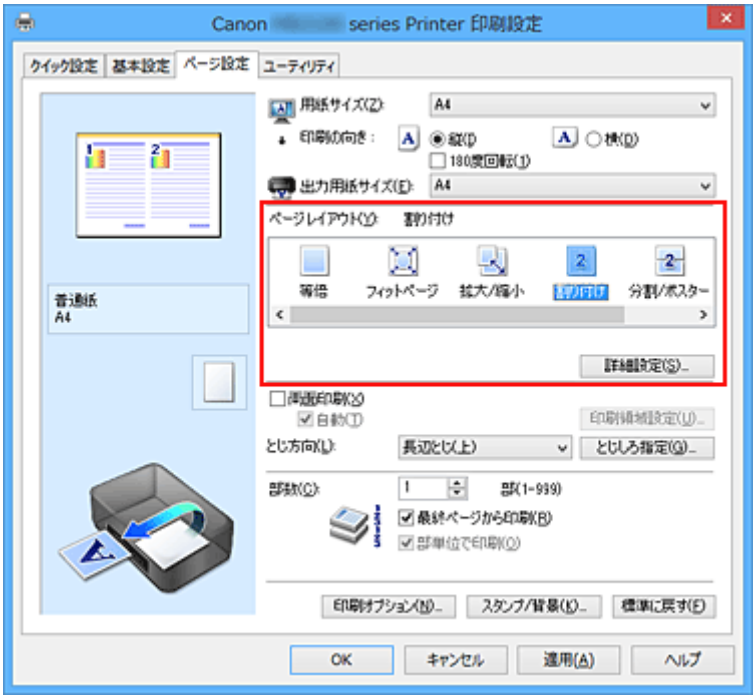


割り付け印刷の手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 割り付け印刷を設定

   [ページ設定] シートの [ページレイアウト] で [割り付け] を選びます。
   設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。



3. 印刷する用紙サイズを選択

   [出力用紙サイズ] で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. 1 枚の用紙に納めるページ数やページ順序を設定

   必要に応じて、[詳細設定...] をクリックし、[割り付け印刷] ダイアログボックスで以下の項目を設定して、[OK] をクリックします。



[割り付け]

1 枚の用紙に納めるページ数を変更するときは、一覧からページ数を選びます。

[ページ順序]

原稿を配置する順序を変えるときは、一覧から配置のしかたを選びます。

[枠線]

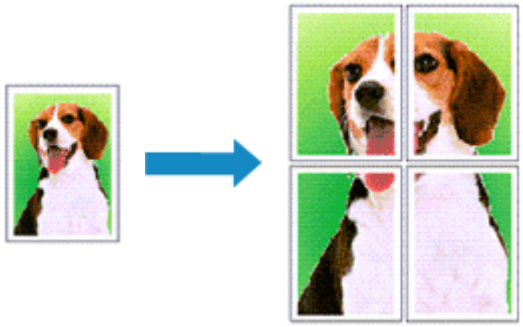
原稿のページのまわりを枠線で囲むときは、チェックマークを付けます。

5. 設定を完了

[ページ設定] シートの [OK] をクリックします。
印刷を実行すると、指定したページ数、ページ順序で原稿が割り付けられます。

分割/ポスター印刷を行う

印刷する画像データを拡大し、複数の用紙に分割して印刷する機能です。用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることもできます。



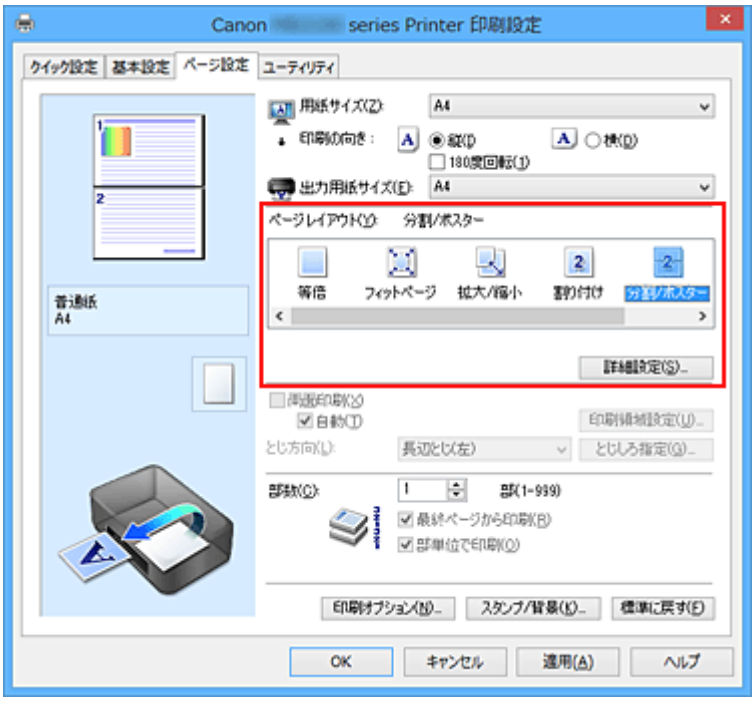
分割/ポスター印刷の手順を説明します。

分割/ポスター印刷の設定

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 分割/ポスター印刷を設定

   [ページ設定]シートの[ページレイアウト]で[分割/ポスター]を選びます。
   設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。

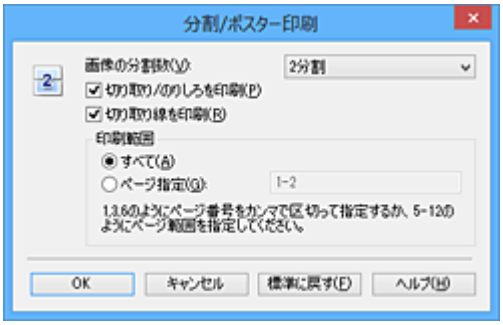


3. 印刷する用紙サイズを選択

   [出力用紙サイズ]で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. 画像の分割数や印刷するページなどを設定

   必要に応じて、[詳細設定...]をクリックし、[分割/ポスター印刷]ダイアログボックスで以下を設定して[OK]をクリックします。



[画像の分割数]

縦×横の分割数を選びます。

数字が大きいほど印刷に使用する用紙の枚数が増えます。ポスターとして貼り合わせる場合は、分割数を多くするほど大きなポスターを作成できます。

[切り取り/のりしろを印刷]

「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷したくないときは、チェックマークを外します。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

[切り取り線を印刷]

切り取り線を印刷したくないときは、チェックマークを外します。

[印刷範囲]

印刷範囲を指定します。通常は［すべて］を選びます。

特定のページのみ印刷し直すときは［ページ指定］を選び、印刷したいページ番号を入力します。

複数ページを指定する場合は、カンマ（,）で区切ってページ番号を入力するか、ページ番号の間にハイフン（-）を入力します。

参考

- 設定ビュー上でページをクリックしても印刷範囲を指定できます。

5. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。

印刷を実行すると、原稿は分割して印刷されます。

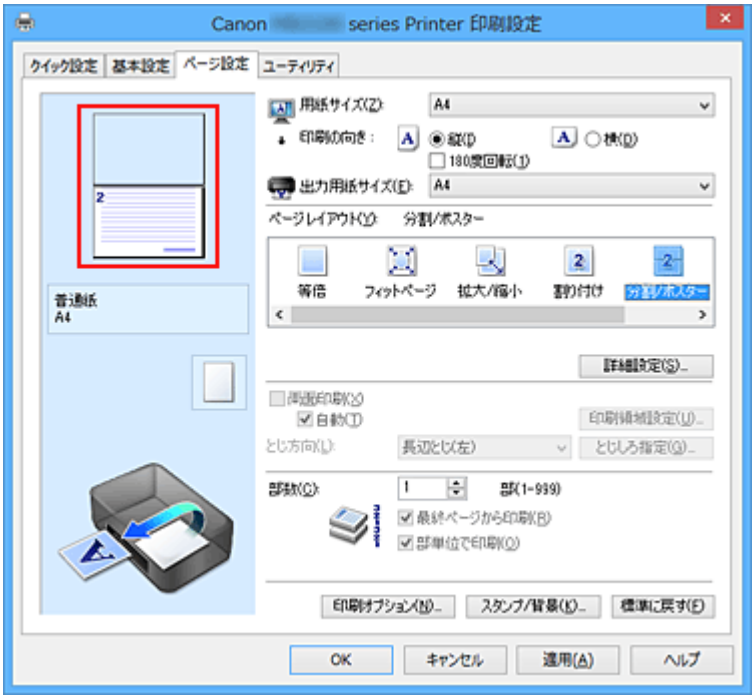
特定のページのみ印刷するには

途中で印刷がかすれたり、インクがなくなったりした場合は、次の手順で特定のページのみ印刷し直すことができます。

1. 印刷範囲を設定

［ページ設定］シート左側の設定ビュー上で、印刷したくないページをクリックします。

クリックしたページの表示が消えて、印刷するページだけが表示されます。



参考

- 表示が消えたページをクリックすると、再度表示させることができます。
- 設定ビュー上を右クリックすると、[全ページ選択]、[全ページ削除]が選べます。

2. 設定を完了

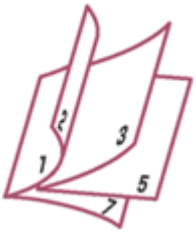
印刷するページが確定したら、[OK]をクリックします。
印刷を実行すると、特定のページのみ印刷されます。

重要

- 分割/ポスター印刷では原稿を拡大して印刷するため、印刷結果が粗くなることがあります。

冊子印刷を行う

冊子印刷は小冊子を作成するときに便利な機能です。中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。

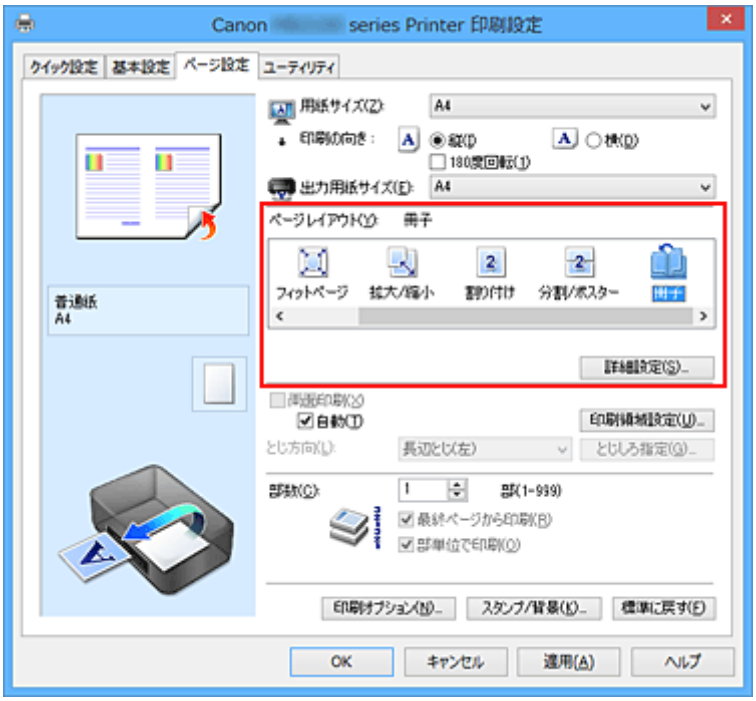


冊子印刷の手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 冊子印刷を設定

   [ページ設定]シートの[ページレイアウト]で[冊子]を選びます。
   設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。



3. 印刷する用紙サイズを選択

   [出力用紙サイズ]で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

4. とじかたやとじしろなどを設定

   [詳細設定...]をクリックし、[冊子印刷]ダイアログボックスで以下の項目を設定して[OK]をクリックします。



[とじかた]

小冊子に仕上げたときにどちら側をとじるかを選びます。

[白ページを挿入]

とじたときに片側のページが白紙になるようにする場合はチェックマークを付け、どちら側を白紙にするかを選びます。

[とじしろ]

とじしろの幅を入力します。用紙の中央から指定した幅が 1 ページ分のとじしろとなります。

[枠線]

原稿のまわりを枠線で囲むときはチェックマークを付けます。

5. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、まず用紙の片面が印刷され、次に反対側の面が自動で印刷されます。
印刷が完了したら、とじしろの中央で折ってとじ、小冊子を作成します。

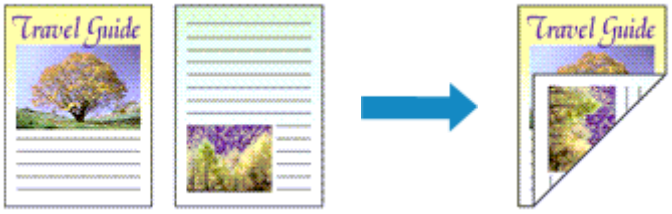
重要

- ［基本設定］シートの［用紙の種類］で［普通紙］以外を選んでいる場合は、［冊子］は選べません。

参考

- 冊子印刷の［白ページを挿入］で挿入された白紙ページには、スタンプや背景は印刷されません。

両面印刷を行う



用紙の両面に印刷する手順を説明します。
両面印刷は［クイック設定］シートの［追加する機能］で設定することも可能です。

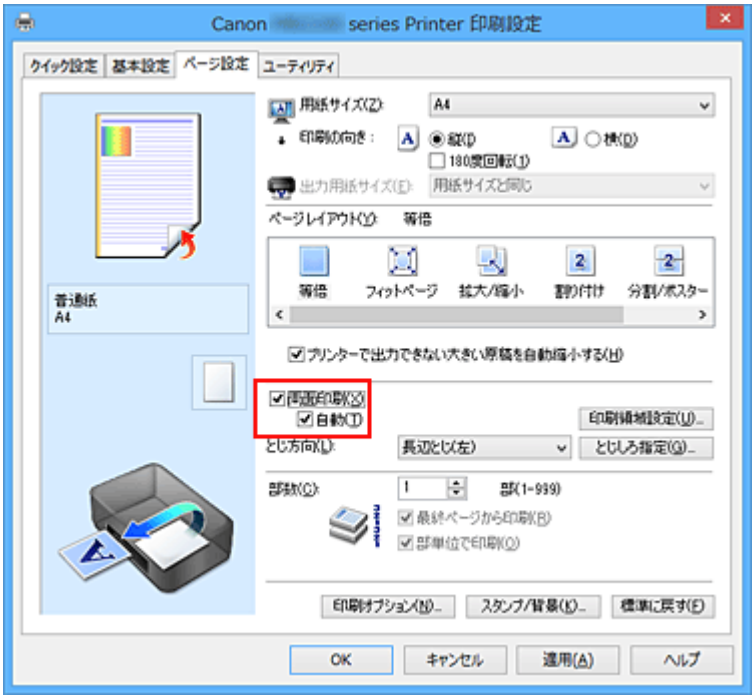
自動両面印刷を行う

用紙を差し替えることなく両面に印刷することができます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 自動両面印刷を設定

   ［ページ設定］シートの［両面印刷］にチェックマークを付け、［自動］にチェックマークが付いていることを確認します。

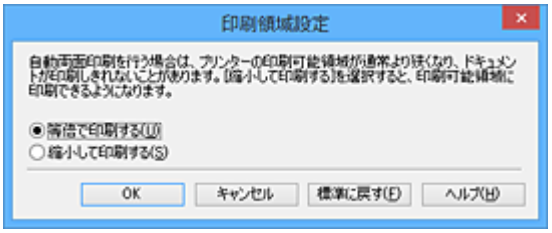


3. レイアウトを選択

   ［ページレイアウト］で［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］を選びます。

4. 印刷領域を設定

   両面印刷では、原稿の印刷領域が通常よりわずかに狭くなり、原稿が 1 ページに入りきらないことがあります。
   ［印刷領域設定...］をクリックし、以下から処理方法を選んで［OK］をクリックします。



[等倍で印刷する]

ページを縮小せずに印刷します。

[縮小して印刷する]

ページをわずかに縮小して印刷します。

5. とじしろの位置を確認

［印刷の向き］や［ページレイアウト］の設定から、最適な［とじ方向］が自動的に選ばれています。
変更する場合は、一覧から選びます。

6. とじしろの幅を設定

必要に応じて［とじしろ指定...］をクリックし、とじしろの幅を指定して［OK］をクリックします。

7. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、両面印刷が開始されます。

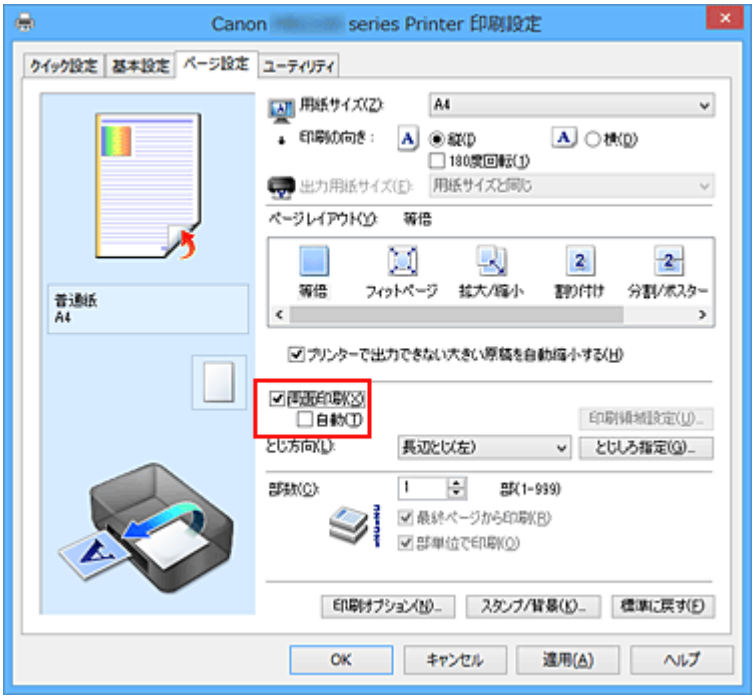
手動で両面印刷を行う

手動で用紙の両面に印刷します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 両面印刷を設定

［ページ設定］シートの［両面印刷］にチェックマークを付け、［自動］のチェックマークを外します。



3. レイアウトを選択

［ページレイアウト］で［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、または［割り付け］を選びます。

4. とじしろの位置を確認

［印刷の向き］や［ページレイアウト］の設定から、最適な［とじ方向］が自動的に選ばれています。変更する場合は、一覧から選びます。

5. とじしろの幅を設定

必要に応じて［とじしろ指定...］をクリックし、とじしろの幅を指定して［OK］をクリックします。

6. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、まず用紙の片面が印刷されます。完了したら、メッセージに従って用紙を正しくセットしてください。
［印刷開始］をクリックすると、反対側の面が印刷されます。

重要

- ［基本設定］シートの［用紙の種類］で［普通紙］以外を選んでいる場合は、［両面印刷］はグレー表示となり、設定できません。
- ［ページレイアウト］で［分割/ポスター］、または［冊子］を選んでいる場合は、［両面印刷］、［とじ方向］はグレー表示となり、設定できません。
- ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で以下のサイズが選ばれている場合のみ、［両面印刷］が実行できます。
  - ［レター］、［A4］
- 表面の印刷が終わってから裏面の印刷を開始するまでの間に、インクの乾燥待ち時間があります（動作が一時停止します）。このとき、用紙に触れないでください。インクの乾燥待ち時間は、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］から変更することができます。

関連項目

プリンターの設定を変更する

スタンプ付き、背景付き印刷を行う

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、［スタンプ］と［背景］が使用できないことがあります。

［スタンプ］は、原稿データに重ねて特定の文字列やビットマップを印刷する機能です。日付や時刻、ユーザー名を印刷することもできます。［背景］は、原稿データの下地にイラストなどを印刷する機能です。

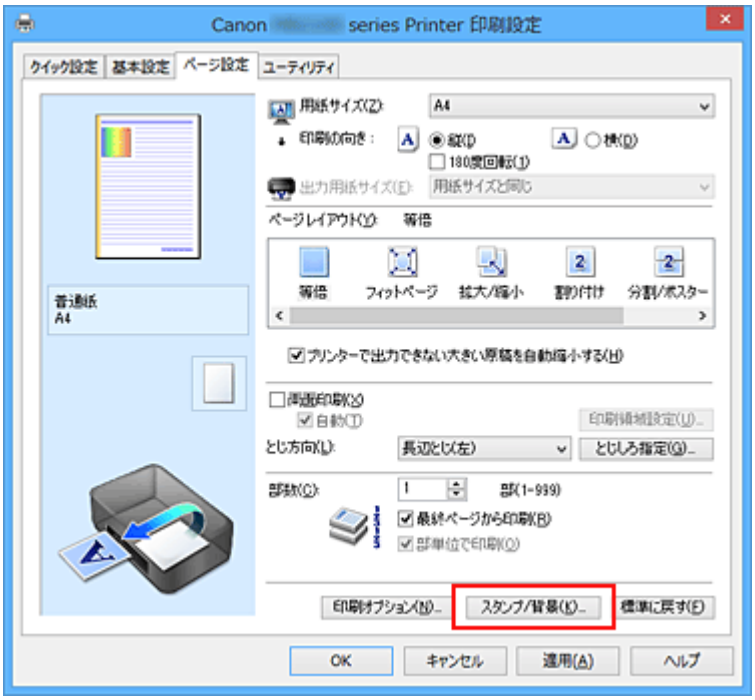
スタンプ付き、背景付き印刷の手順を説明します。

スタンプを印刷する

会社でよく使う「マル秘」や「重要」などのスタンプがあらかじめ登録されています。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ページ設定］シートの［スタンプ/背景...］（［スタンプ...］）をクリック



［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスが表示されます。



参考

- ［スタンプ/背景...］は、XPS プリンタードライバーでは［スタンプ...］となり、スタンプ機能のみ使用できます。

3. スタンプを選択

［スタンプ］にチェックマークを付け、一覧から使用するスタンプを選びます。
設定の状態は、［ページ設定］シート左側の設定ビューに表示されます。

4. スタンプの詳細を設定

必要に応じて、以下の項目を設定し、［OK］をクリックします。

［スタンプ設定...］
使用する文字列や色、ビットマップ、配置方法などを変更したいときにクリックします。

［前面に印刷］
スタンプを原稿の前面に印刷したいときは、チェックマークを付けます。

参考

- スタンプは原稿データの上に印刷されるため、重なり合った部分ではスタンプが優先的に表示されます。チェックマークを外すと、スタンプは原稿データの後ろに印刷されるため、使用しているアプリケーションソフトによっては、重なり合った部分のスタンプが隠れてしまうことがあります。
- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、［前面に印刷］は使用できません。
  XPS プリンタードライバーでは、スタンプは常に原稿の前面に印刷されます。

［半透明で印刷する］
原稿の上にスタンプを半透明で印刷するときは、チェックマークを付けます。
この機能は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

［先頭ページのみ］
最初のページだけにスタンプを印刷したいときは、チェックマークを付けます。

5. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、設定したスタンプが印刷されます。

背景を印刷する

サンプルとして 2 種類の背景があらかじめ登録されています。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ページ設定］シートの［スタンプ/背景...］をクリック

［スタンプ/背景］ダイアログボックスが表示されます。

3. 背景を選択

［背景］にチェックマークを付け、一覧から使用する背景を選びます。
設定の状態は、［ページ設定］シート左側の設定ビューに表示されます。

4. 背景の詳細を設定

必要に応じて、以下の項目を設定し、［OK］をクリックします。

［背景設定...］
別の背景を使用したいとき、または配置方法や濃度などを変更したいときにクリックします。

［先頭ページのみ］
最初のページだけに背景を印刷したいときは、チェックマークを付けます。

5. 設定を完了

［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、設定した背景が印刷されます。

参考

- スタンプや背景は、冊子印刷の［白ページを挿入］で挿入された白紙ページには印刷されません。

関連項目

- スタンプを登録する
- 背景として使用する画像データを登録する

スタンプを登録する

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

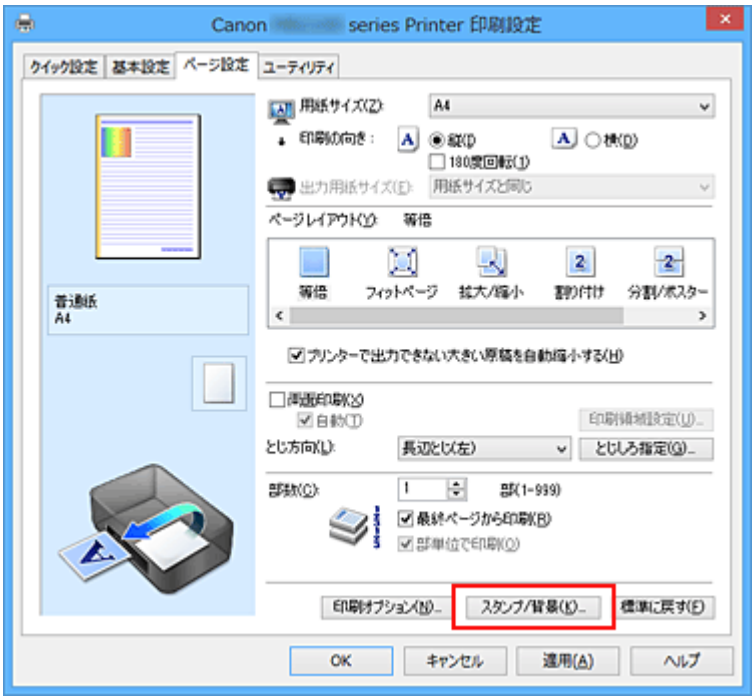
新しいスタンプを作成して登録できます。また、登録したスタンプの設定を一部変更して再登録することも可能です。不要になったスタンプは削除できます。

スタンプを登録する手順を説明します。

新しいスタンプを登録する

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. [ページ設定]シートの[スタンプ/背景...]([スタンプ...])をクリック



[スタンプ/背景]([スタンプ])ダイアログボックスが表示されます。



参考

- [スタンプ/背景...]は、XPS プリンタードライバーでは[スタンプ...]となり、スタンプ機能のみ使用できます。

3. [スタンプ設定...]をクリック

[スタンプ設定]ダイアログボックスが表示されます。



4. プレビューを見ながら各シートの項目を設定

- [スタンプ] シート

  [スタンプの種類] で [文字]、[ビットマップ]、[日付/時刻/ユーザー名] の中から目的に合ったものを選びます。

  - [文字] の場合は、[スタンプ文字列] にかならず文字が入力されている必要があります。必要に応じて [TrueType フォント名]、[スタイル]、[サイズ]、[囲み] の設定を変更してください。[色選択...] をクリックするとスタンプの色を選べます。
  - [ビットマップ] の場合は、[ファイル選択...] をクリックして、使用するビットマップファイル（.bmp）を選びます。必要に応じて、[サイズ]、[白い部分を透過する] の設定を変更してください。
  - [日付/時刻/ユーザー名] の場合は、[スタンプ文字列] に印刷物の作成日時とユーザー名が表示されます。必要に応じて [TrueType フォント名]、[スタイル]、[サイズ]、[囲み] の設定を変更してください。[色選択...] をクリックするとスタンプの色を選べます。

  重要

  - [日付/時刻/ユーザー名] を選んでいる場合、[スタンプ文字列] はグレー表示となり、変更できません。

- [配置] シート

  スタンプを配置する場所を [位置] から選びます。[位置] で [座標指定] を選ぶと、[横]、[縦] に数値を入力して座標を設定できます。
  プレビュー上のスタンプを直接ドラッグして、位置を変更することも可能です。
  [回転角度] に数値を入力すると、スタンプの配置角度が変わります。

重要

- [スタンプ] シートの [スタンプの種類] で [ビットマップ] を選んでいる場合、[回転角度] は変更できません。

5. スタンプを保存

[設定登録] シートで [タイトル] にスタンプのタイトルを入力し、[新規保存] をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

6. 設定を完了

［OK］をクリックすると［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスに戻ります。
登録したスタンプのタイトルは、［スタンプ］の一覧に表示されます。

スタンプの設定を一部変更して登録する

1. 設定を変更するスタンプを選択

［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスの［スタンプ］にチェックマークを付け、一覧から設定を変更するスタンプのタイトルを選びます。

2. ［スタンプ設定...］をクリック

［スタンプ設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. プレビューを見ながら各シートの項目を設定

4. スタンプを上書き保存

［設定登録］シートで［上書き保存］をクリックします。
別のタイトルで保存したい場合は、［タイトル］に新しいスタンプのタイトルを入力し、［新規保存］をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

5. 設定を完了

［OK］をクリックすると［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスに戻ります。
登録したスタンプのタイトルは、［スタンプ］の一覧に表示されます。

不要になったスタンプを削除する

1. ［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスの［スタンプ設定...］をクリック

［スタンプ設定］ダイアログボックスが表示されます。

2. 削除するスタンプを選択

［設定登録］シートで［スタンプ一覧］から削除したいタイトルを選び、［削除］をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3. 設定を完了

［OK］をクリックすると［スタンプ/背景］（［スタンプ］）ダイアログボックスに戻ります。

背景として使用する画像データを登録する

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

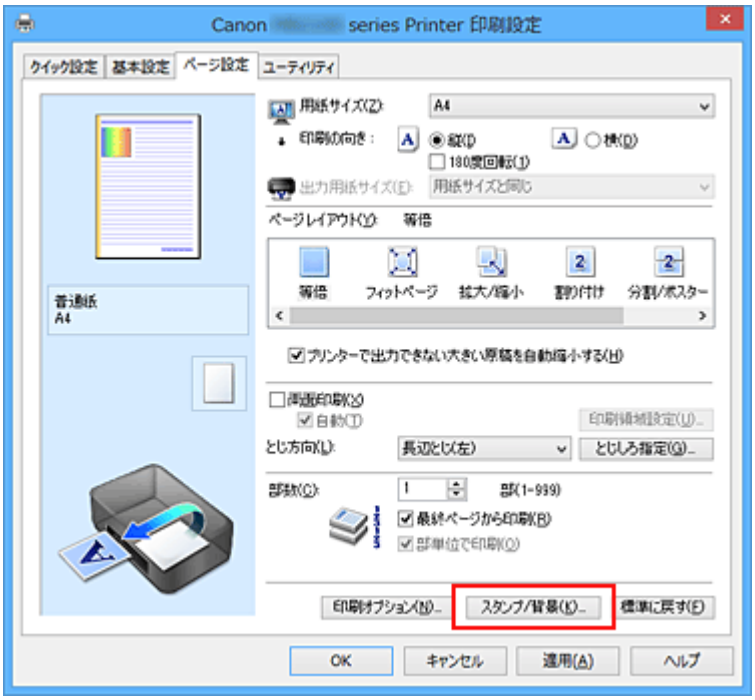
任意のビットマップファイル（.bmp）を選んで、新しい背景として登録できます。また、登録した背景の設定を一部変更して再登録することも可能です。不要になった背景は削除できます。

背景として使用する画像データを登録する手順を説明します。

新しい背景を登録する

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. ［ページ設定］シートの［スタンプ/背景...］をクリック



［スタンプ/背景］ダイアログボックスが表示されます。

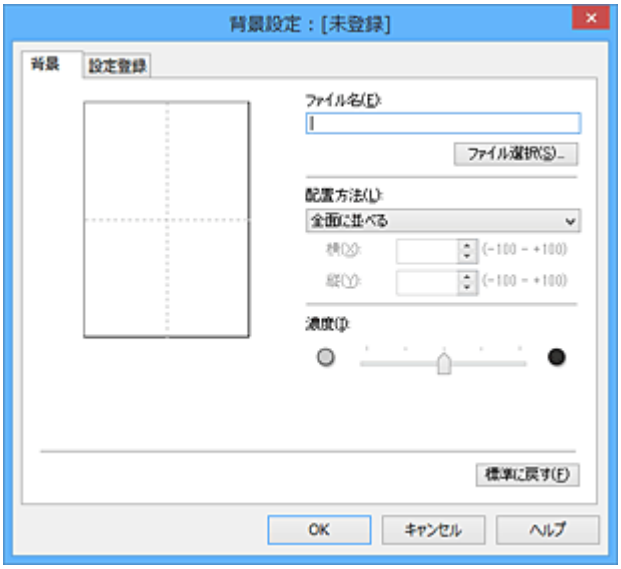


参考

- ［スタンプ/背景...］は、XPS プリンタードライバーでは［スタンプ...］となり、［背景］は使用できません。

3. ［背景設定...］をクリック

［背景設定］ダイアログボックスが表示されます。



4. 背景に登録する画像データを選択

   [ファイル選択...] をクリックし、目的のビットマップファイル（.bmp）を選んで［開く］をクリックします。

5. プレビューを見ながら、以下の項目を設定

   [配置方法]

   背景となるビットマップの配置のしかたを選びます。
   [座標指定する] を選んだ場合は、[横]、[縦] に数値を入力して座標を設定できます。
   プレビュー上の画像を直接ドラッグして位置を変更することもできます。

   [濃度]

   背景となるビットマップの濃淡を、[濃度] のスライドバーで設定します。右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。元のビットマップの濃度で印刷したいときは、スライドバーを右端にドラッグしてください。

6. 背景を保存

   [設定登録] シートで［タイトル］に背景のタイトルを入力し、[新規保存] をクリックします。
   確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

   参考

   - タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

7. 設定を完了

   [OK] をクリックすると［スタンプ/背景］ダイアログボックスに戻ります。
   登録した背景のタイトルは、[背景] の一覧に表示されます。

背景の設定を一部変更して登録する

1. 設定を変更する背景を選択

   [スタンプ/背景] ダイアログボックスの［背景］にチェックマークを付け、一覧から設定を変更する背景のタイトルを選びます。

2. [背景設定...] をクリック

［背景設定］ダイアログボックスが表示されます。

3. プレビューを見ながら［背景］シートの各項目を設定

4. 背景を上書き保存

［設定登録］シートで［上書き保存］をクリックします。別のタイトルで保存したい場合は、［タイトル］に新しい背景のタイトルを入力し、［新規保存］をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

5. 設定を完了

［OK］をクリックすると［スタンプ/背景］ダイアログボックスに戻ります。
登録した背景のタイトルは、［背景］の一覧に表示されます。

不要になった背景を削除する

1. ［スタンプ/背景］ダイアログボックスの［背景設定...］をクリック

［背景設定］ダイアログボックスが表示されます。

2. 削除する背景を選択

［設定登録］シートで［背景一覧］から削除したいタイトルを選び、［削除］をクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3. 設定を完了

［OK］をクリックすると［スタンプ/背景］ダイアログボックスに戻ります。

封筒に印刷する

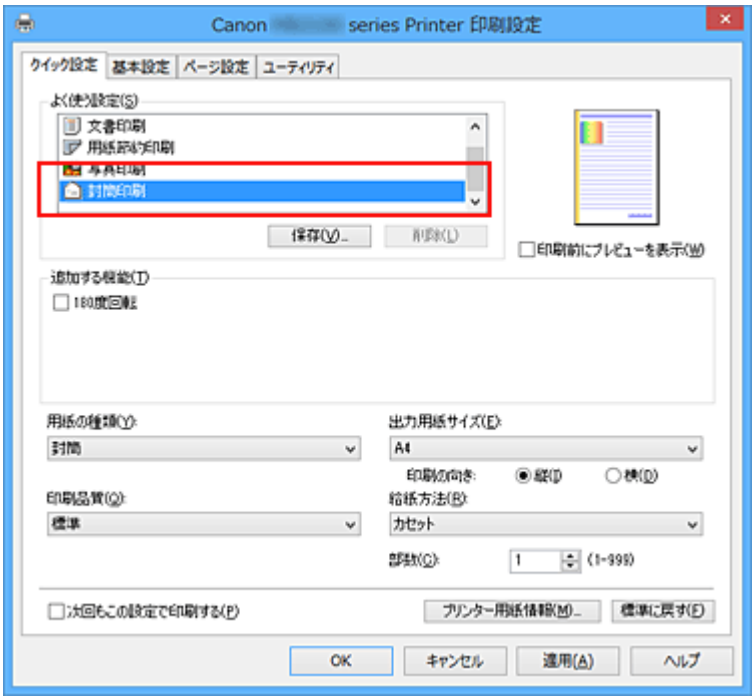
封筒印刷の手順を説明します。
長形封筒と洋形封筒で、印刷方法が異なります。

長形封筒に印刷する場合

原稿が自動的に 180 度回転され、はがきのあて名を印刷するときとは上下逆向きに印刷されます。

1. プリンターに封筒をセット
2. プリンタードライバーの設定画面を開く
3. 用紙の種類を選択

   [クイック設定] シートの [よく使う設定] で [封筒印刷] を選びます。



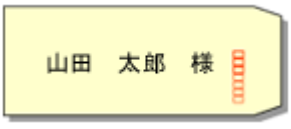
4. 用紙サイズを選択

   [封筒サイズの設定] ダイアログボックスが表示された場合は [長形 3 号]、または [長形 4 号] を選び、[OK] をクリックします。

5. 必要に応じて、次の項目を設定

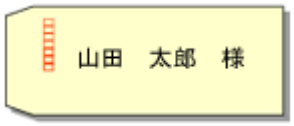
   - あて名を横書きにして、ふたの位置を右側にして印刷したいとき

     [印刷の向き] で [横] を選び、[追加する機能] で [180 度回転] にチェックマークを付けます。



   - あて名を横書きにして、ふたの位置を左側にして印刷したいとき

［印刷の向き］で［横］を選び、［追加する機能］で［180 度回転］のチェックマークを外します。



6. 印刷品質を選択

［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。

7. 設定を完了

［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、長形封筒に印刷されます。

重要

- 封筒のサイズや印刷の向きを正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されたり、90 度回転して印刷されたりします。
- 使用しているアプリケーションソフトによっては、原稿が自動的に回転されず、上下逆向きに印刷されることがあります。その場合は、［追加する機能］で［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

洋形封筒に印刷する場合

通常の印刷と同じ向きに印刷されます。

1. プリンターに封筒をセット

2. プリンタードライバーの設定画面を開く

3. 用紙の種類を選択

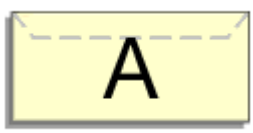
［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［封筒印刷］を選びます。

4. 用紙サイズを選択

［封筒サイズの設定］ダイアログボックスが表示された場合は［洋形 4 号］、［洋形 6 号］、［商用 10 号封筒］、［DL 封筒］、［C5 封筒］、または［Monarch 封筒］を選び、［OK］をクリックします。

5. 印刷の向きを設定

あて名を横書きで印刷する場合は、［印刷の向き］で［横］を選びます。



参考

- ［出力用紙サイズ］で［洋形 4 号］、［洋形 6 号］、［商用 10 号封筒］、［DL 封筒］、［C5 封筒］、または［Monarch 封筒］を選んでいる場合、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］の［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］の設定に関わらず、印刷の向きを左 90 度に回転して印刷します。

6. 印刷品質を選択

［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。

7. 設定を完了

［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、洋形封筒に印刷されます。

重要

- 封筒印刷を実行すると、ガイドメッセージが表示される場合があります。
このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、表示されなくなります。
ガイドを再び表示するには、［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックし、Canon IJ ステータスモニタを起動します。
［オプション］メニューの［ガイドメッセージを表示］から［封筒印刷］をクリックして、設定を有効にしてください。

参考

- プリンタードライバーでの用紙設定と、プリンター本体で登録するカセットの用紙情報が異なる場合、エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合の対処方法については、「印刷時の用紙設定」を参照してください。
現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、［クイック設定］シートから［プリンター用紙情報...］をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
プリンター本体で登録するカセットの用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

はがきに印刷する

はがき印刷の手順を説明します。

1. プリンターにはがきをセット
2. プリンタードライバーの設定画面を開く
3. よく使う設定を選択

   ［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［標準印刷］を選びます。
4. 用紙の種類を選択

   ［用紙の種類］で、［インクジェットはがき(あて名面)］、［インクジェットはがき(通信面)］、［インクジェット写真用はがき(あて名面)］、［インクジェット写真用はがき(通信面)］、［はがき(あて名面)］、または［はがき］を選びます。

   重要

   - 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
   - はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとにあて名面を印刷することをお勧めします。
   - あて名面を印刷する場合と、通信面を印刷する場合では、プリンタードライバーでの用紙設定が異なります。
     現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、［クイック設定］シートから［プリンター用紙情報...］をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
     プリンタードライバーやプリンター本体で登録するカセットの用紙情報については、以下を参照してください。
     - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
     - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
5. 用紙サイズを選択

   ［出力用紙サイズ］で［はがき］、または［往復はがき］を選びます。

   重要

   - 往復はがきは、パソコンからの印刷にのみ使用できます。
   - 往復はがきに印刷するときは、お使いのアプリケーションソフトおよびプリンタードライバーで用紙サイズをかならず［往復はがき］に設定してください。
   - 往復はがきは折り曲げないでください。折り目が付くと、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
6. 印刷の向きを設定

   あて名を横書きで印刷する場合は、［印刷の向き］で［横］を選びます。
7. 印刷品質を選択

   ［印刷品質］で、［きれい］、［標準］の中から目的に合ったものを選びます。
8. 設定を完了

［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、はがきに印刷されます。

重要

- はがき印刷を実行すると、ガイドメッセージが表示されます。
  このガイドメッセージは、［今後、このメッセージを表示しない］にチェックマークを付けると、表示されなくなります。
  ガイドを再び表示するには、［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックし、Canon IJ ステータスモニタを起動します。
  ［オプション］メニューの［ガイドメッセージを表示］から［はがき印刷］をクリックして、設定を有効にしてください。
- はがき以外の用紙に印刷する場合は、その用紙の使用方法に従ってセットし、［印刷開始］をクリックしてください。

印刷前に印刷結果を表示する

XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、「Canon IJ プレビュー」を「Canon IJ XPS プレビュー」としてお読みください。

印刷する前に、どのような印刷結果になるかを表示し、確認することができます。

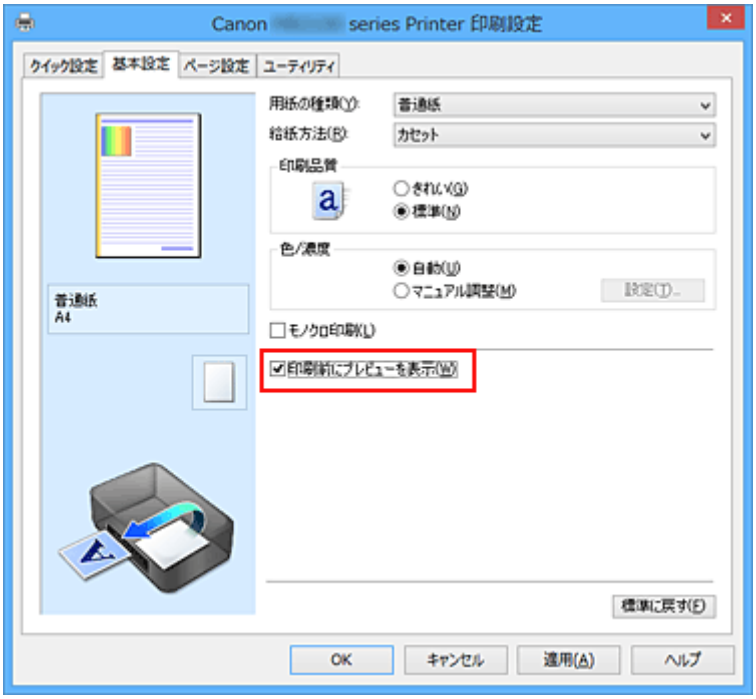
印刷前に印刷結果を表示する手順を説明します。

印刷結果の表示は［クイック設定］シートで設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. プレビュー表示を設定

   ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けます。



3. 設定を完了

   ［OK］をクリックします。
   印刷を実行すると、Canon IJ プレビューが起動し、印刷結果を表示します。

重要

- ［マニュアル色調整］ダイアログボックスの［色調整］シートで［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークが付いているときは、［印刷前にプレビューを表示］はグレー表示となり、設定できません。

関連項目

- Canon IJ プレビュー

用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）

［用紙サイズ］で選べないサイズの用紙を使用する場合は、縦、横のサイズを任意に指定することができます。このような用紙サイズのことを「ユーザー定義用紙」といいます。

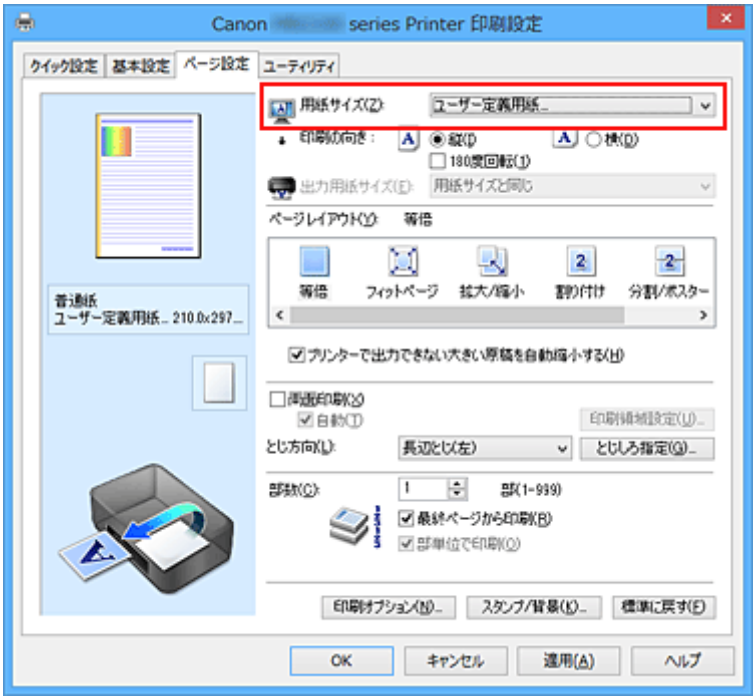
ユーザー定義用紙のサイズを設定する手順を説明します。

ユーザー定義用紙は［クイック設定］シートの［出力用紙サイズ］で設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. 用紙サイズを選択

   ［ページ設定］シートの［用紙サイズ］で［ユーザー定義用紙...］を選びます。



   ［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。



3. ユーザー定義用紙のサイズを設定

   ［単位］を指定し、使用する用紙の［幅］と［長さ］を入力して［OK］をクリックします。

4. 設定を完了

   ［ページ設定］シートの［OK］をクリックします。
   印刷を実行すると、指定した用紙のサイズで印刷されます。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに縦、横のサイズを指定する機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してください。アプリケーションソフトで設定できないときや、正常に印刷されないときは、プリンタードライバーから上記の手順で設定してください。
- 指定したユーザー定義用紙のサイズによっては、印刷できない場合があります。
  ユーザー定義用紙で印刷できるサイズについては「使用できる用紙について」を参照してください。

参考

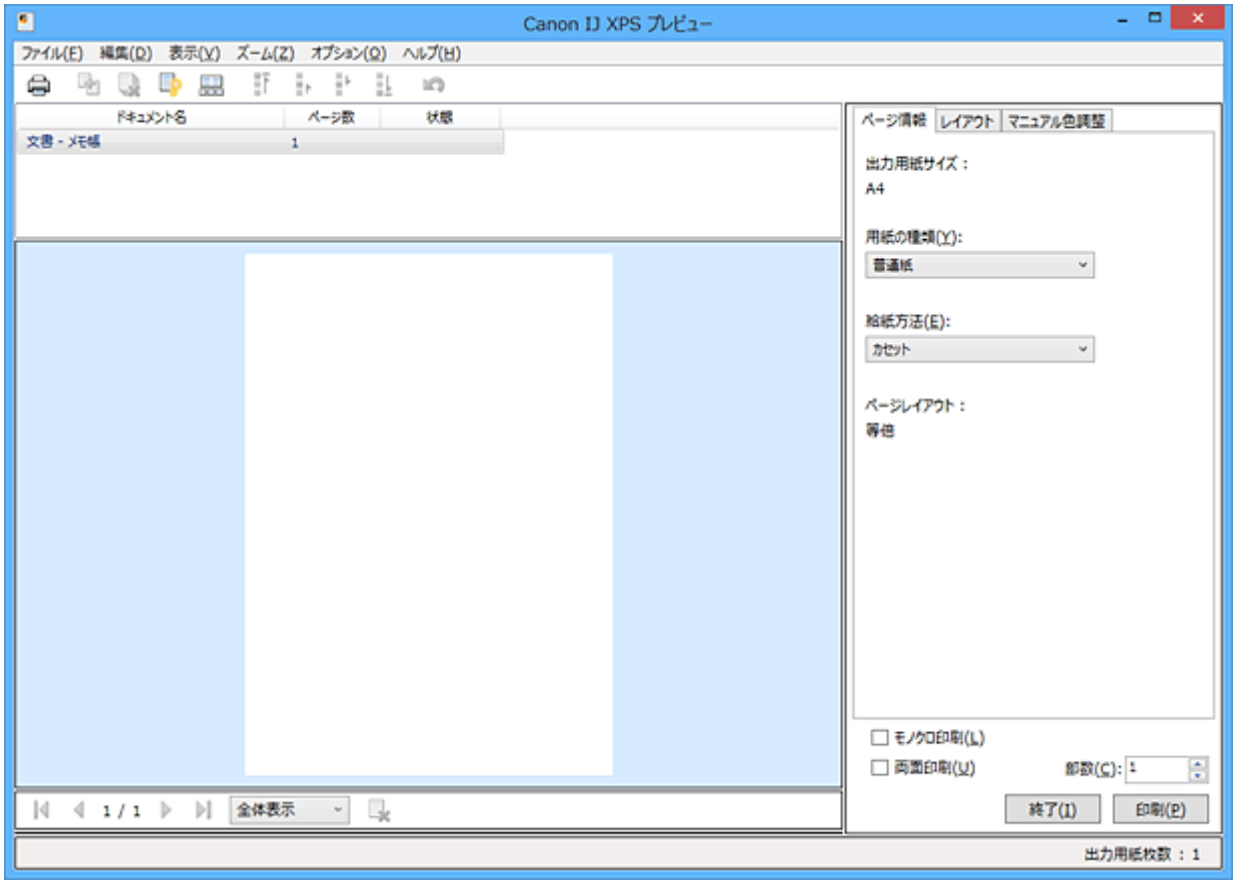
- プリンタードライバーでの用紙設定と、プリンター本体で登録するカセットの用紙情報が異なる場合、エラーが発生することがあります。エラーが発生した場合の対処方法については、「印刷時の用紙設定」を参照してください。
  現在のプリンター本体の設定を確認したり、プリンター本体の設定をプリンタードライバーに反映したい場合は、[クイック設定]シートから[プリンター用紙情報...]をクリックし、表示されたダイアログで設定を行ってください。
  プリンター本体で登録するカセットの用紙情報については、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う

通常の IJ プリンタードライバーをお使いの場合は、この機能は使用できません。

Canon IJ XPS プレビュー上で印刷ドキュメントの編集をしたり、印刷した履歴を呼び出して再度印刷を行ったりすることができます。

Canon IJ XPS プレビューを使用する手順を説明します。




［印刷］


［ドキュメントの結合］


［ドキュメントの削除］


［ドキュメントの初期化］


［サムネイルを表示］


ドキュメントの移動


［元に戻す］


表示ページ切り替え


［ページの削除］

参考

-  ［サムネイルを表示］をクリックすると、［ドキュメント名］の一覧で選んでいる印刷ドキュメントのサムネイルを表示したり、非表示にしたりすることができます。
-  ［元に戻す］をクリックすると、直前に行った変更を元に戻すことができます。

印刷ドキュメントを編集して印刷する

複数のドキュメントやページを印刷するときに、原稿をひとつにまとめたり、ドキュメントやページの順序変更または削除を行ったりすることができます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. プレビュー表示を設定

   ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けます。

3. 設定を完了

   ［OK］をクリックします。
   印刷を実行すると、Canon IJ XPS プレビューが起動し、印刷結果を表示します。

4. 印刷ドキュメントや印刷ページの編集

   - 印刷ドキュメントの結合

     複数の印刷ドキュメントを、ひとつの原稿にまとめることができます。印刷ドキュメントを結合することで、両面印刷や割り付け印刷を行ったときに白紙ページが挿入されるのを防ぐことができます。
     ［ドキュメント名］の一覧から結合したいドキュメントを選び、［編集］メニューの［ドキュメント］から［ドキュメントの結合］を選ぶと、一覧の順で結合されます。
     複数の印刷ドキュメントを選ぶには、Ctrl キーを押したまま結合したいドキュメントをクリックするか、Shift キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押してください。ドキュメント一覧の空白の領域からドラッグして複数の印刷ドキュメントを選ぶこともできます。
     結合を行うと、結合前に選んだドキュメントは一覧から削除され、結合されたドキュメントが追加されます。
   - 印刷ドキュメントや印刷ページの順序変更
     - 印刷ドキュメントの順序を変更する場合は、［ドキュメント名］の一覧から順序を変更したい印刷ドキュメントを選びます。［編集］メニューの［ドキュメント］から［ドキュメントの移動］を選び、目的に合ったものを選んでください。印刷ドキュメントをドラッグして順序を変更することもできます。
     - 印刷ページの順序を変更する場合は、［オプション］メニューの［サムネイルを表示］をクリックしてから、順序を変更したい印刷ページを選びます。［編集］メニューの［ページ］から［ページの移動］を選び、目的に合ったものを選んでください。印刷ページをドラッグして順序を変更することもできます。
   - 印刷ドキュメントや印刷ページの削除
     - 印刷ドキュメントを削除する場合は、［ドキュメント名］の一覧から削除したい印刷ドキュメントを選びます。［編集］メニューの［ドキュメント］から［ドキュメントの削除］を選んでください。
     - 印刷ページを削除する場合は、［オプション］メニューの［サムネイルを表示］をクリックしてから、削除したい印刷ページを選びます。［編集］メニューの［ページ］から［ページの削除］を選んでください。
   - 印刷ページの復元

     ［ページの削除］によって削除されたページを復元することができます。
     ページの復元を行うには、［オプション］メニューの［削除されたページを表示］にチェックマークを付けて、サムネイルに表示されたページの中から復元させたいページを選びます。［編集］メニューの［ページ］から［ページの復元］を選んでください。

印刷ドキュメントや印刷ページの編集後、必要に応じて［ページ情報］シート、［レイアウト］シート、［マニュアル色調整］シートから印刷設定を変更することができます。

重要

- 複数のドキュメントを一覧に表示するには、プレビューを起動した状態で再度印刷を実行してください。
- 印刷ドキュメントをプレビューでの編集前の状態に戻すには、［編集］メニューの［ドキュメント］から［ドキュメントの初期化］を選んでください。
- 印刷設定の異なるドキュメントを結合する場合、メッセージが表示されることがあります。
  表示されるメッセージの内容を確認してから結合を行ってください。
- 出力用紙サイズの異なる印刷ドキュメントを結合し、両面印刷や割り付け印刷を行う場合は、印刷ページによっては期待したような出力結果にならない場合があります。
  印刷前にプレビューを確認してください。
- 印刷ドキュメントの印刷設定の内容によっては、Canon IJ XPS プレビュー上では選べない機能があります。

参考

- ［ドキュメント名］は任意の名称に変更することができます。

5. 印刷を実行

   ［印刷］をクリックします。
   印刷を実行すると、設定した内容で印刷されます。

印刷履歴からの再印刷

［ファイル］メニューの［印刷履歴を保存］をクリックして設定を有効にすると、プレビューから印刷を行ったドキュメントが保存され、同じ設定で再度印刷を行うことができます。

1. 印刷履歴を表示

   プリンタードライバーの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［印刷履歴を表示］をクリックします。
   保存された印刷ドキュメントがプレビューに表示されます。

   重要

   - ［ファイル］メニューの［保存する履歴の件数］で、印刷履歴の登録数の上限を設定することができます。
   - 登録数の上限を超えると、印刷履歴の古いものから削除されます。

2. 印刷ドキュメントを選択

   ［ドキュメント名］の一覧から、印刷を行うドキュメントを選びます。

3. 印刷を実行

   ［印刷］をクリックします。

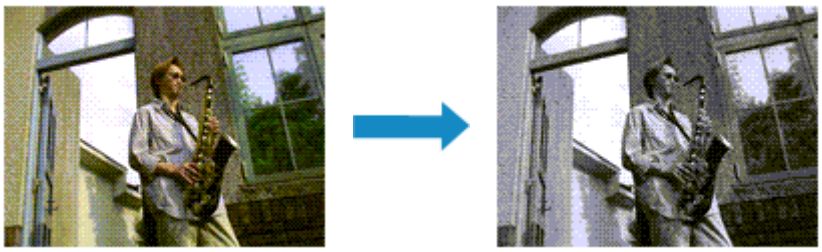
関連項目

- 印刷前に印刷結果を表示する

印刷品質の変更や画像データの補正

- カラーの原稿をモノクロで印刷する
- 色補正の方法を指定する
- 画像データに適した写真印刷を行うには
- プリンタードライバーで色の補正を行う
- ICC プロファイルを使用して印刷する
- カラーバランスを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

カラーの原稿をモノクロで印刷する



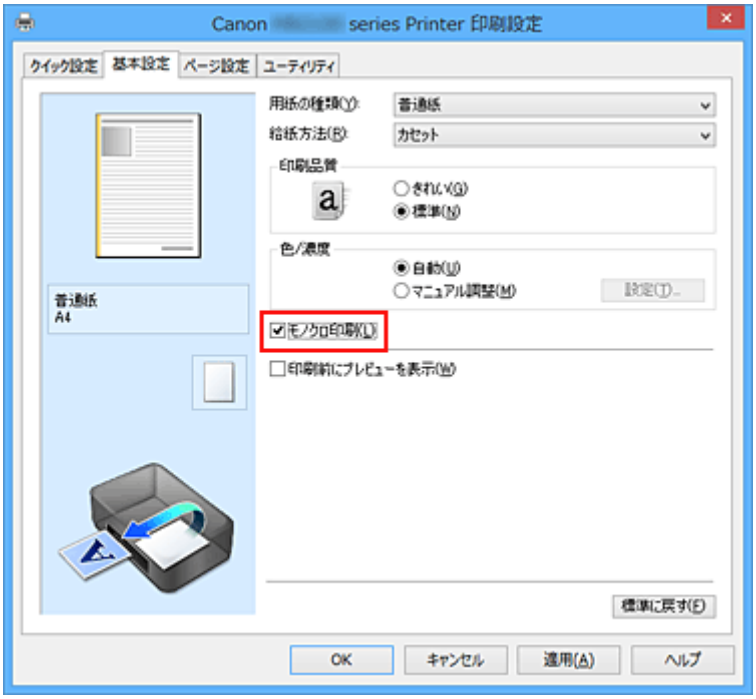
カラーで作成した原稿を、モノクロで印刷する手順を説明します。

モノクロ印刷は［クイック設定］シートの［追加する機能］で設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. モノクロ印刷を設定

   ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークを付けます。



3. 設定を完了

   ［OK］をクリックします。

   印刷を実行すると、原稿はモノクロのデータに変換され、カラーの原稿もモノクロで印刷されます。

重要

- ［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、プリンタードライバーは印刷データを sRGB データとして処理するため、印刷結果が画像データの色合いと異なることがあります。
  Adobe RGB データをモノクロで印刷する場合は、アプリケーションソフトで sRGB データに変換してから印刷してください。

参考

- ［モノクロ印刷］では、ブラックインク以外のインクも使用して印刷を行う場合があります。

色補正の方法を指定する

印刷する原稿の種類に合わせて、色補正の方法を指定することができます。
通常はプリンタードライバーで色の補正が行われ、キヤノンデジタルフォトカラーにより、人が好ましいと感じる色合いで印刷されます。sRGB データを印刷する場合に適した方法です。

画像データの色空間（sRGB）を有効活用して印刷する場合は［ICM］（［ICC プロファイル補正］）を、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを指定して印刷する場合は［なし］を選ぶ必要があります。

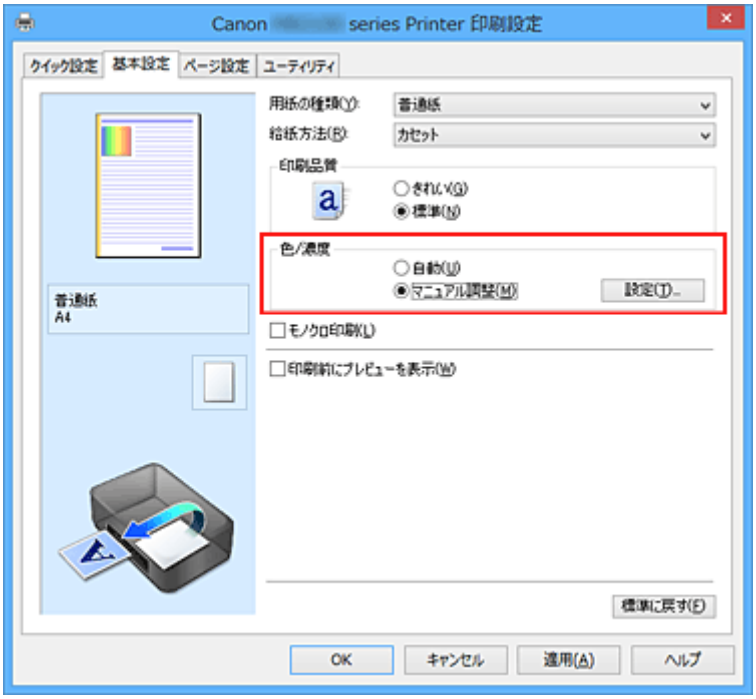
色補正の方法を指定する手順を説明します。

色補正は、［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

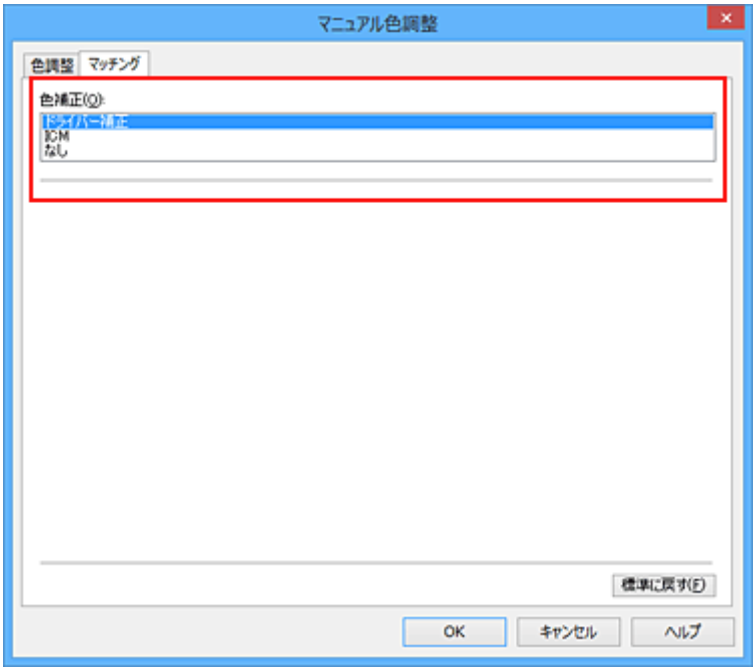
   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。



   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正の方法を選択

   ［マッチング］タブをクリックし、［色補正］で以下から目的に合ったものを選び、［OK］をクリックします。



[ドライバー補正]

sRGB データを、キヤノンデジタルフォトカラーにより、人が好ましいと感じる色合いで印刷することができます。

[ICM]（[ICC プロファイル補正] ）

印刷時に ICC プロファイルを利用して色の補正を行います。

[なし]

プリンタードライバーは色補正をしません。個人で作成した印刷用の ICC プロファイルやキヤノン専用紙の印刷用の ICC プロファイルを、アプリケーションソフトで指定して印刷する場合に選んでください。

4. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、指定した色補正の方法で印刷されます。

重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、［色補正］の［ICM］は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。
- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［色補正］はグレー表示となり、設定できません。

関連項目

- 画像データに適した写真印刷を行うには
- プリンタードライバーで色の補正を行う
- ICC プロファイルを使用して印刷する

画像データに適した写真印刷を行うには

デジタルカメラで撮影した画像を印刷すると、撮影したイメージや、モニターに表示される色と違う色で印刷されていると感じることがあります。
印刷結果を希望する色合いに近づけるには、使用するアプリケーションソフトや目的に応じて適切な印刷方法を選ぶ必要があります。

カラーマネジメントとは

デジタルカメラ、スキャナー、モニター、プリンターなど、それぞれの機器で取り扱える色が異なります。それぞれの機器ごとに持っている固有の「色」を、共通の色空間で管理するための方法がカラーマネジメント（カラーマッチング）です。

カラーマネジメントシステムは、Windows では「ICM」という名称で OS に内蔵されています。
共通の色空間として多く使用されているものに sRGB があります。

それぞれの機器の持つ固有の「色」を、共通の色空間に変換するのに必要なものが、ICC プロファイルです。ICC プロファイルを利用してカラーマネジメントを行うことで、画像データが持っている色空間をプリンターで表現できる色再現領域内で引き出すことが可能になります。

画像データに適した印刷方法を選ぶ

画像データの色空間（sRGB）や使用するアプリケーションソフトによって、推奨する印刷方法が異なります。

代表的なものに次の 2 つの印刷方法があります。
画像データの色空間（sRGB）と使用するアプリケーションソフトを確認し、目的に合った印刷方法を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う

sRGB データをプリンタードライバーの色補正機能を指定して印刷する方法を説明しています。

- キヤノンデジタルフォトカラーで印刷したいとき

  立体感やメリハリの効いた高いコントラストを実現しながら、画像データの色を再現し、人が好ましいと感じる色合いで印刷します。
- アプリケーションソフトで編集、レタッチした結果をそのまま反映して印刷したいとき

  最も暗い部分と最も白い部分を維持した状態で、暗い部分と白い部分の微妙な色の差を出して印刷します。
  アプリケーションソフトで明るさを調整したときなど、細かな調整結果も反映して印刷します。

ICC プロファイルを使用して印刷する

sRGB の色空間を有効活用して印刷する方法を説明しています。
アプリケーションソフトやプリンタードライバーで画像データの入力 ICC プロファイルに合わせたカラーマネジメントを設定することで共通の色空間で印刷できます。
使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバーでの設定方法が異なります。

プリンタードライバーで色の補正を行う

sRGB データを、キヤノンデジタルフォトカラーにより人が好ましいと感じる色合いで印刷する場合は、プリンタードライバーの色補正機能を指定します。
ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから印刷する場合は、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを使用してカラーマネジメントを行う設定項目を選んでください。

プリンタードライバーで色の補正を行う手順を説明します。

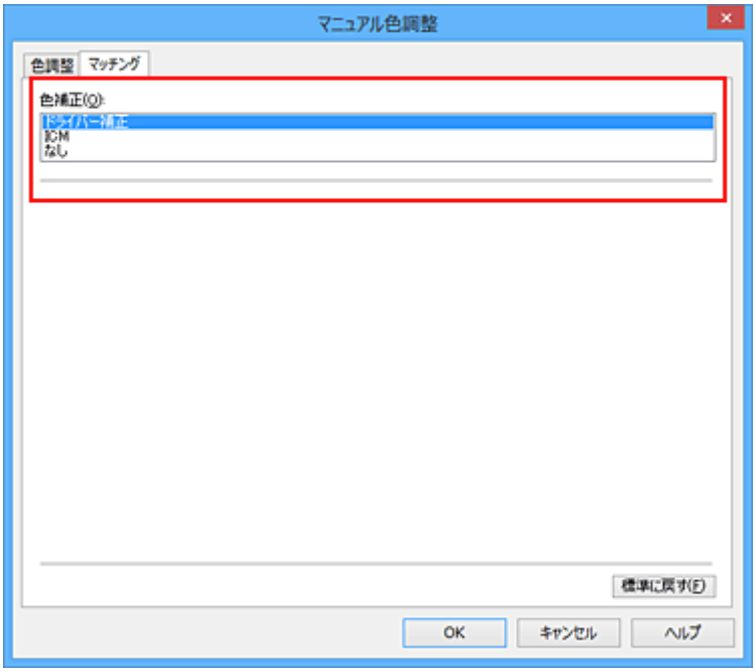
1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

   [基本設定] シートの [色/濃度] で [マニュアル調整] を選び、[設定...] をクリックします。
   [マニュアル色調整] ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正を選択

   [マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [ドライバー補正] を選びます。



4. そのほかの項目を設定

   必要に応じて [色調整] タブをクリックし、カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]) や、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] を調整して、[OK] をクリックします。

5. 設定を完了

   [基本設定] シートの [OK] をクリックします。
   印刷を実行すると、プリンタードライバーで色を補正して印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する

➡ コントラストを調整する

ICC プロファイルを使用して印刷する

入力 ICC プロファイルが設定されている画像データは、データの色空間（sRGB）を有効活用して印刷することができます。

使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバーでの設定方法が異なります。

アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定して印刷する

Adobe Photoshop や Canon Digital Photo Professional などの、入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定できるアプリケーションソフトから編集、レタッチした結果を、画像データが持つ入力 ICC プロファイルの色空間を有効活用して印刷することができます。

この印刷方法では、お使いのアプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選び、画像データに入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定しておく必要があります。
個人で作成した印刷用の ICC プロファイルを使用して印刷する場合も、アプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選んでください。
指定する方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

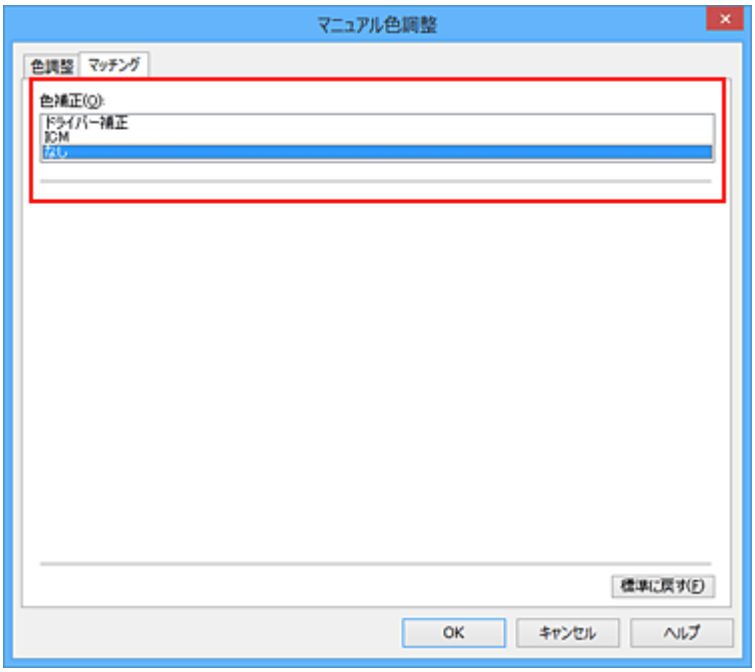
1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。
   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正を選択

   ［マッチング］タブをクリックし、［色補正］で［なし］を選びます。



4. そのほかの項目を設定

   必要に応じて［色調整］タブをクリックし、カラーバランス（[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]）や、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] を調整して、［OK］をクリックします。

5. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定して印刷する

入力 ICC プロファイルを識別・指定できないアプリケーションソフトから、データの入力 ICC プロファイル（sRGB）の色空間で印刷します。

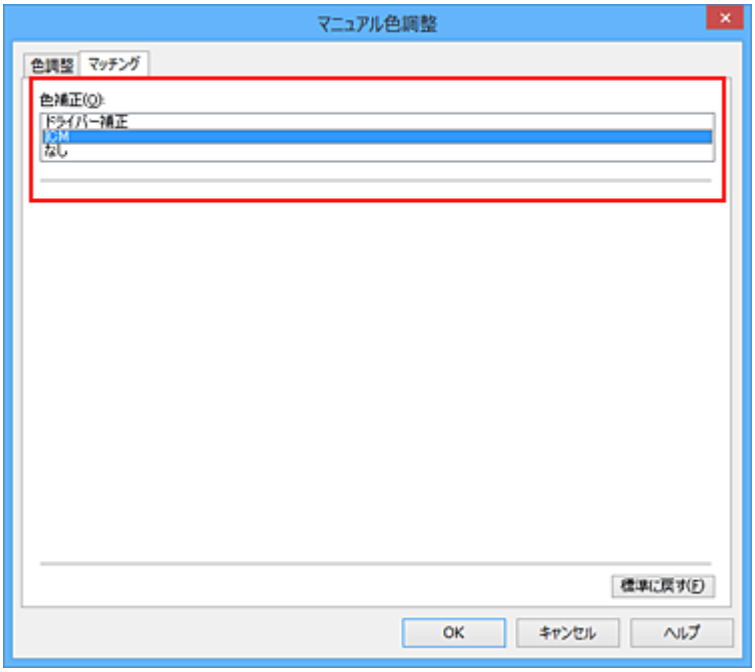
1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。
   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. 色補正を選択

   ［マッチング］タブをクリックし、［色補正］で［ICM］（［ICC プロファイル補正］）を選びます。



4. そのほかの項目を設定

   必要に応じて［色調整］タブをクリックし、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］を調整して、［OK］をクリックします。

5. 設定を完了

   ［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
   印刷を実行すると、画像データの色空間で印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する

➡ コントラストを調整する

カラーバランスを調整する

印刷時にプリントの色合いを調整することができます。
各色のインク量のバランスを変更してカラーバランスの調整を行うため、原稿全体の色相が変化します。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。
下のサンプルでは、全体の色が均一に変化するようにシアンを強くし、イエローを弱くして印刷した場合を表示しています。




補正なし　　カラーバランスを調整

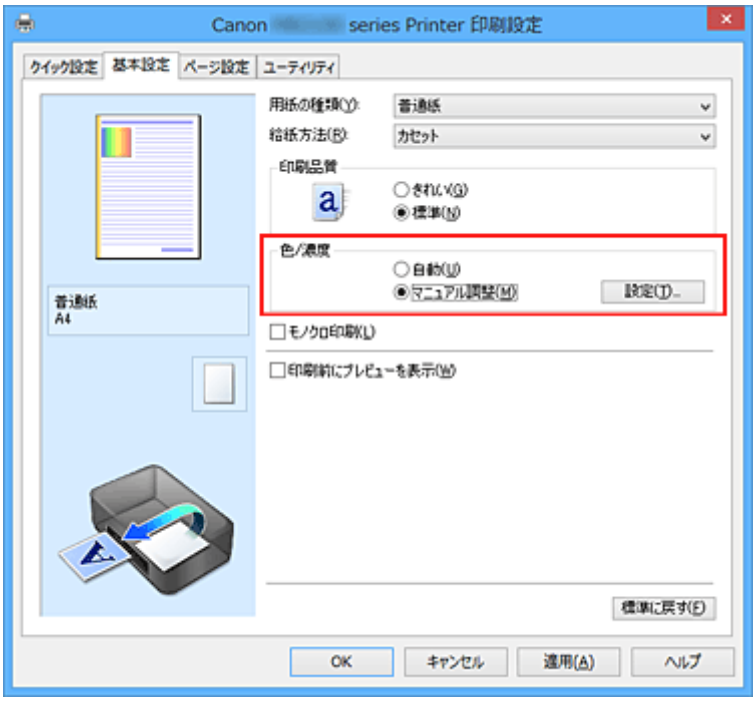
カラーバランスを調整する手順を説明します。

カラーバランスは［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。

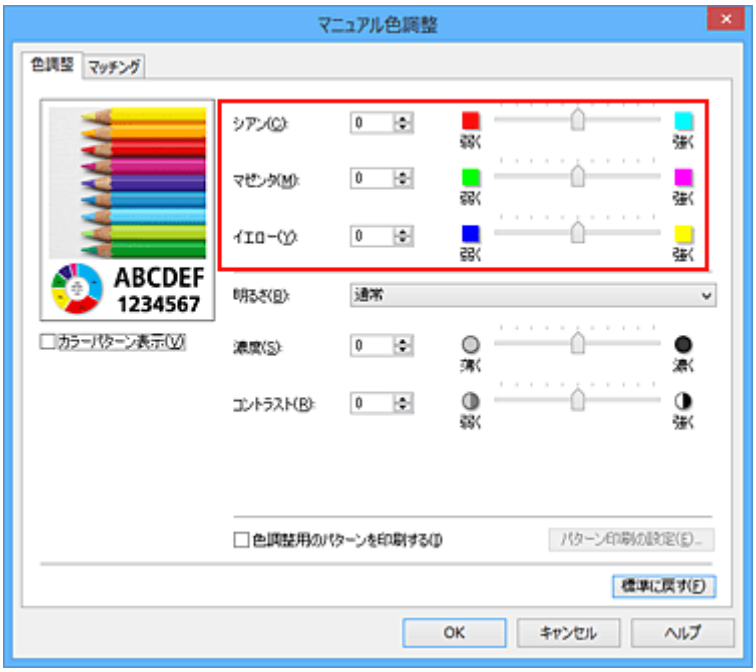


   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. カラーバランスを調整

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］の色別のスライドバーがあり、それぞれの色は右に動かすほど強く、左に動かすほど弱くなります。例えば、シアンを弱くすると補色であるレッドが強くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

各色の調整が終わったら、［OK］をクリックします。



4. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、調整したカラーバランスで印刷されます。

重要

- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、カラーバランス（［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］）はグレー表示となり設定できません。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）

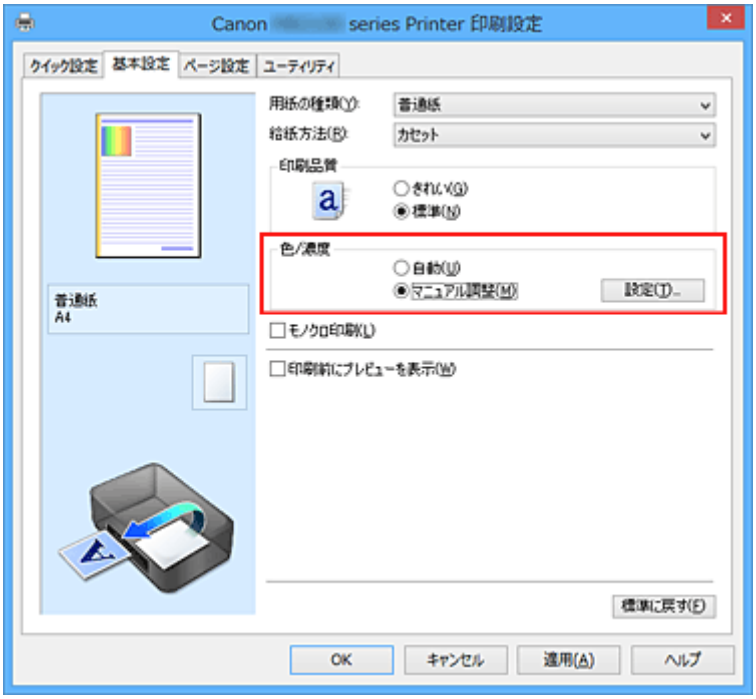
パターン印刷の印刷結果を見て、カラーバランスを調整することができます。
パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。

パターンを見て、カラーバランスを調整する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

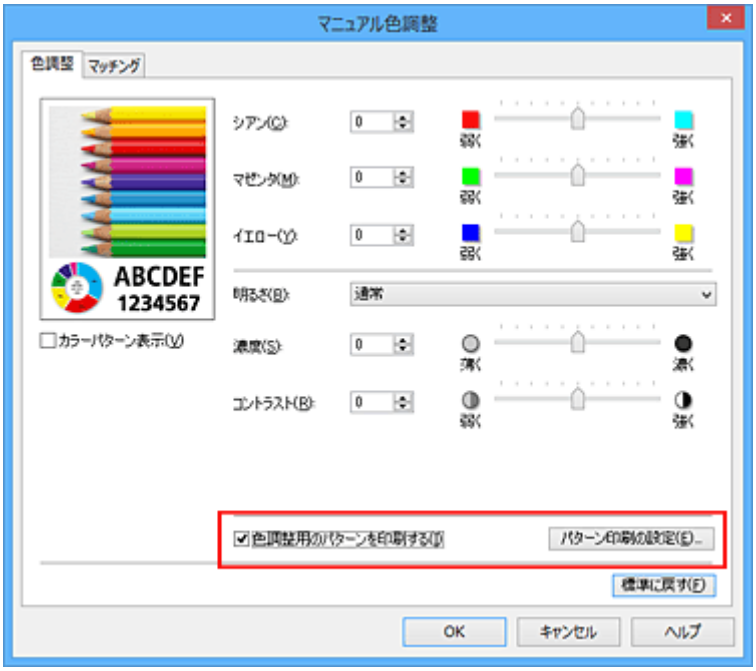
   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。



   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

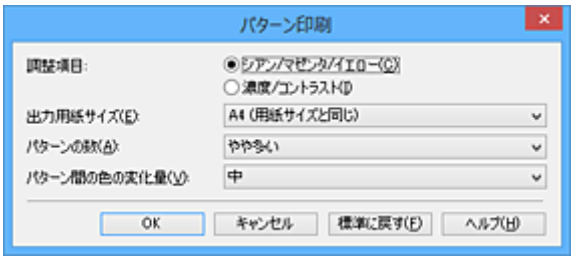
3. パターン印刷を選択

   ［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークを付け、［パターン印刷の設定...］をクリックします。



4. パターン印刷を設定

［パターン印刷］ダイアログボックスで以下の項目を設定して、［OK］をクリックします。



［調整項目］

［シアン/マゼンタ/イエロー］を選びます。

重要

- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［シアン/マゼンタ/イエロー］はグレー表示となり、設定できません。

［出力用紙サイズ］

パターン印刷に使用する用紙サイズを選びます。

参考

- ［ページ設定］シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

［パターンの数］

［多い］、［やや多い］、［少ない］から印刷するパターンの数を設定します。

参考

- ［多い］、［やや多い］は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。

［パターン間の色の変化量］

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。

参考

- ［大］は［中］の 2 倍程度、［小］は［中］の 1/2 程度の変化量の幅があります。

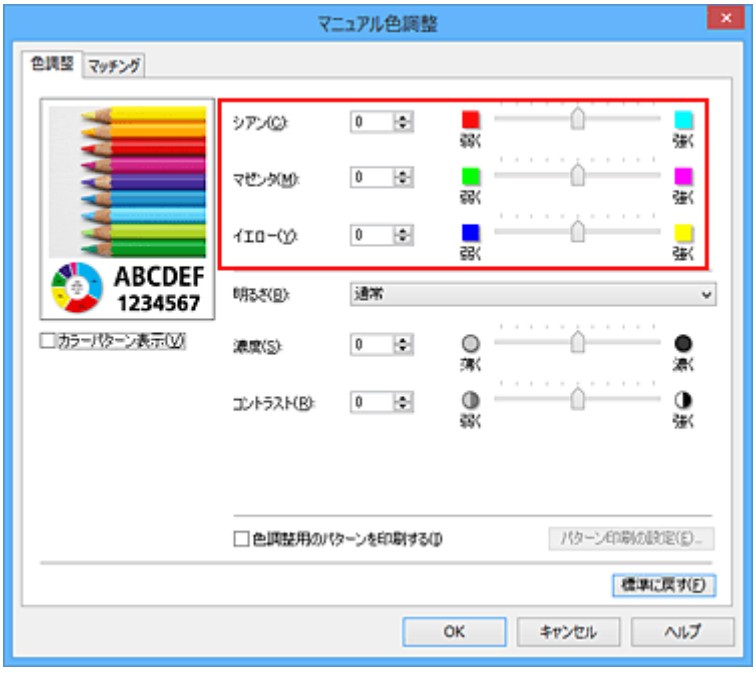
5. パターン印刷の印刷結果を確認

［色調整］シートの［OK］をクリックし、［マニュアル色調整］ダイアログボックスを閉じます。
［基本設定］シートの［OK］をクリックし、印刷を実行すると、設定したカラーバランスを中心値としたパターンが印刷されます。



6. カラーバランスの調整

印刷結果の中からお好みの画像を選び、その画像の下に記載されているカラーバランスの数値を、［色調整］シートの［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］に入力します。
［色調整用のパターンを印刷する］のチェックマークを外し、［OK］をクリックします。



参考

- カラーバランスは［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

7. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、パターン印刷で調整したカラーバランスで印刷されます。

重要

- ［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークが付いているときは、次の項目はグレー表示となり、設定できません。
  - ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］
  - ［ページ設定］シートの［とじ方向］と［とじしろ指定...］（［両面印刷］を設定したときは［とじ方向］のみ設定できます。）
- ［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークが付いているときは、［ページ設定］シートの［ページレイアウト］は［等倍］に設定されます。
- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］はグレー表示となり、設定できません。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、この機能が使えない場合があります。

関連項目

- カラーバランスを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

明るさを調整する

印刷時に画像データ全体の明るさを変えることができます。
完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさを変化させます。
下のサンプルでは、明るさの設定を変えて印刷した場合を表示しています。


［明るく］に設定


［通常］に設定


［暗く］に設定

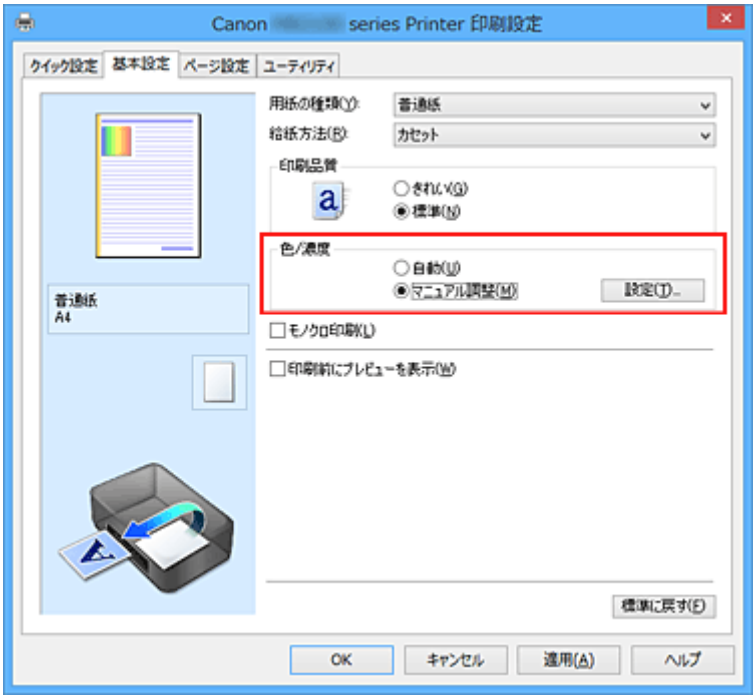
明るさを調整する手順を説明します。

明るさは［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

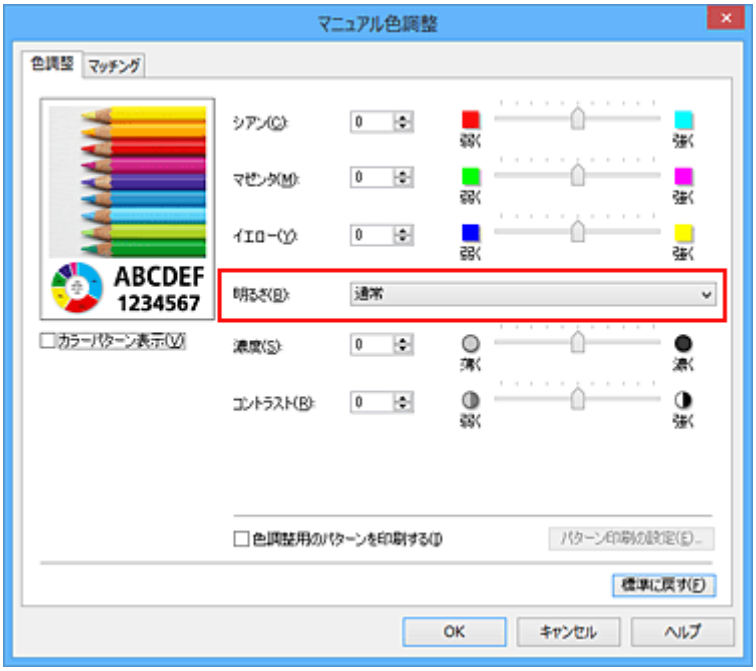
   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。



   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. 明るさを指定

   ［明るさ］で［明るく］、［通常］、または［暗く］を選んで、［OK］をクリックします。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。



4. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、指定した明るさで印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する

濃度を調整する

印刷時に画像データ全体の色を薄く（明るく）または濃く（暗く）することができます。
下のサンプルでは、全体の色が濃くなるように、濃度を上げて印刷した場合を表示しています。



補正なし



濃度を濃く調整

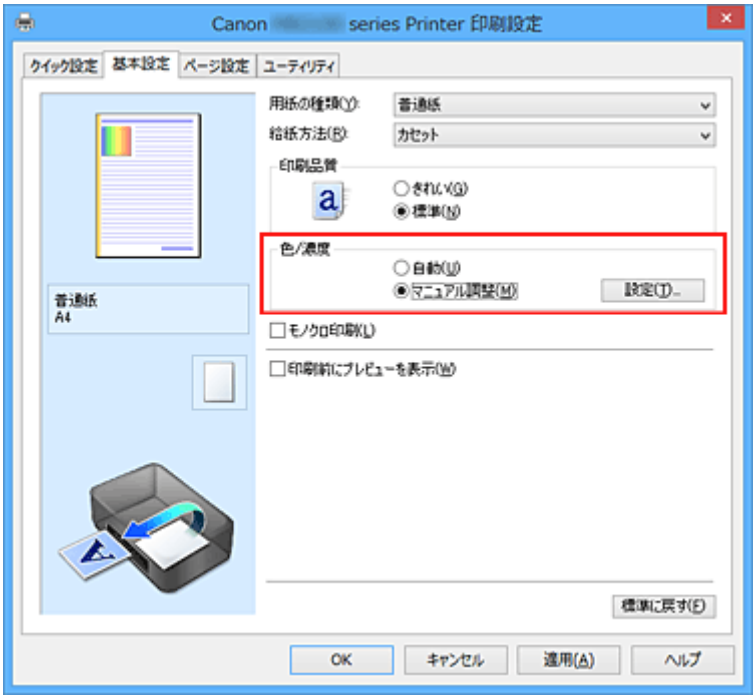
濃度を調整する手順を説明します。

濃度は［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。

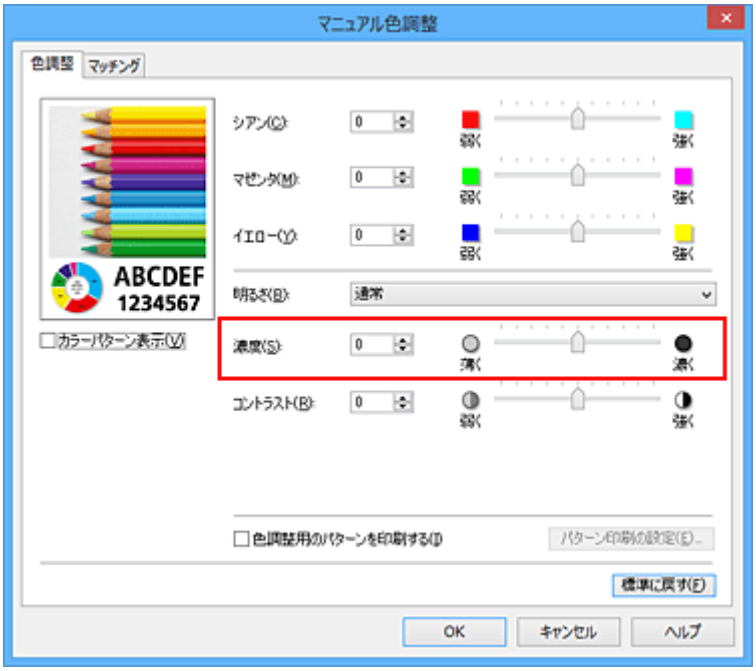


   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. 濃度を調整

   ［濃度］のスライドバーを右に動かすほど濃く（暗く）、左に動かすほど薄く（明るく）なります。
   スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

   調整が終わったら、［OK］をクリックします。



4. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、調整した濃度で印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 明るさを調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

コントラストを調整する

印刷時に画像のコントラストを調整することができます。
画像の明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。



補正なし　　コントラストを調整

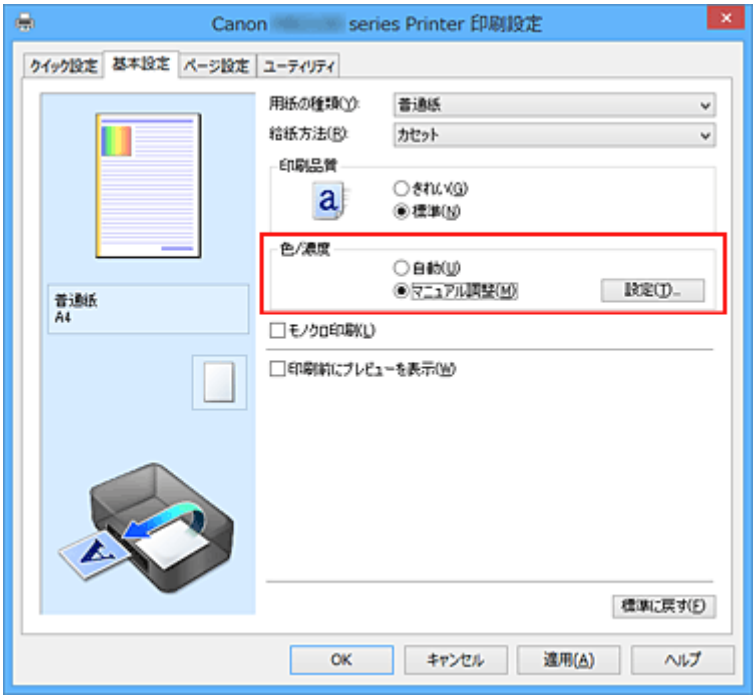
コントラストを調整する手順を説明します。

コントラストは［クイック設定］シートの［よく使う設定］で［写真印刷］を選び、［追加する機能］の［色/濃度のマニュアル調整］から設定することも可能です。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。

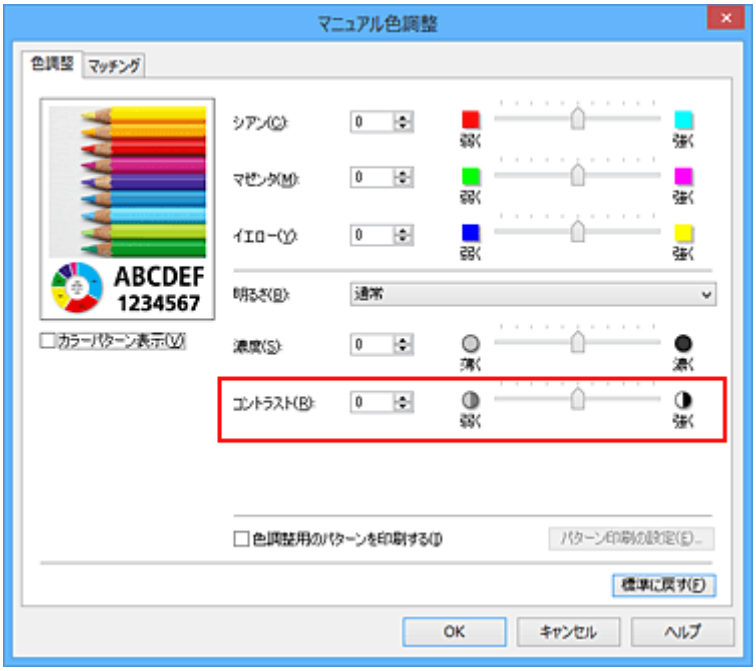


   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

3. コントラストを調整

   ［コントラスト］のスライドバーを右に動かすほどコントラストが強く、左に動かすほど弱くなります。スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

   調整が終わったら、［OK］をクリックします。



4. 設定を完了

［基本設定］シートの［OK］をクリックします。
印刷を実行すると、調整したコントラストで印刷されます。

関連項目

- 色補正の方法を指定する
- カラーバランスを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）

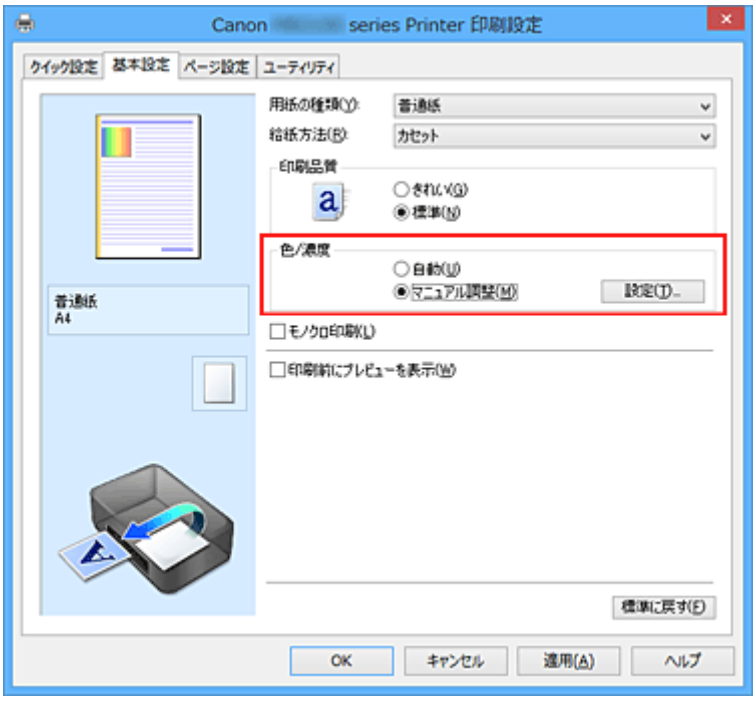
パターン印刷の印刷結果を見て、濃度/コントラストを調整することができます。
パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。

パターンを見て、濃度/コントラストを調整する手順を説明します。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. マニュアル色調整を選択

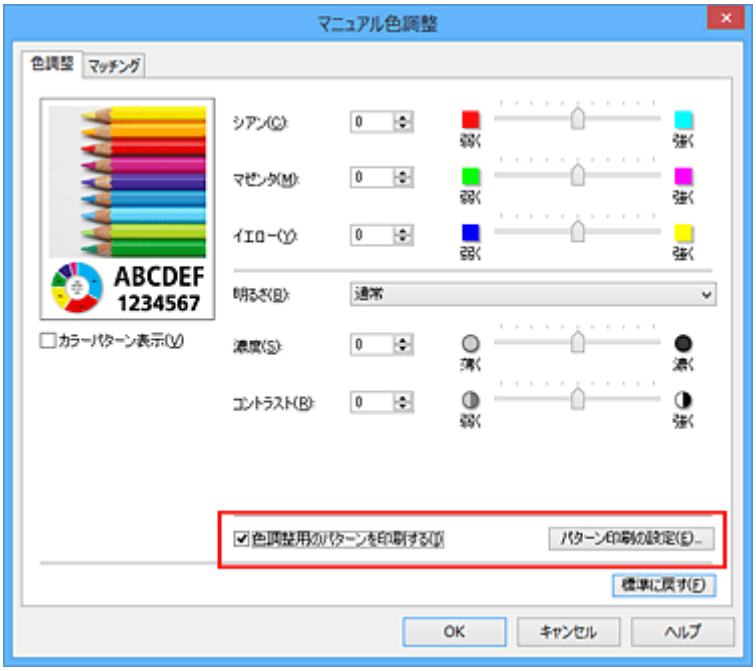
   ［基本設定］シートの［色/濃度］で［マニュアル調整］を選び、［設定...］をクリックします。



   ［マニュアル色調整］ダイアログボックスが表示されます。

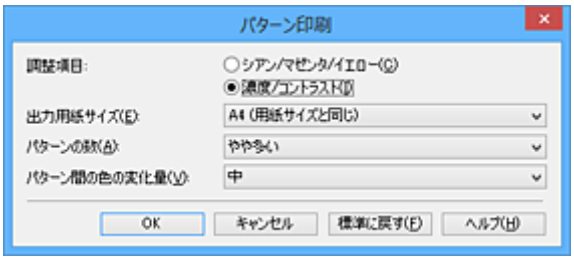
3. パターン印刷を選択

   ［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークを付け、［パターン印刷の設定...］をクリックします。



4. パターン印刷を設定

［パターン印刷］ダイアログボックスで以下の項目を設定して、［OK］をクリックします。



［調整項目］

［濃度/コントラスト］を選びます。

［出力用紙サイズ］

パターン印刷に使用する用紙サイズを選びます。

参考

- ［ページ設定］シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

［パターンの数］

［多い］、［やや多い］、［少ない］から印刷するパターンの数を設定します。

参考

- ［多い］、［やや多い］は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。

［パターン間の色の変化量］

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。

参考

- ［大］は［中］の 2 倍程度、［小］は［中］の 1/2 程度の変化量の幅があります。

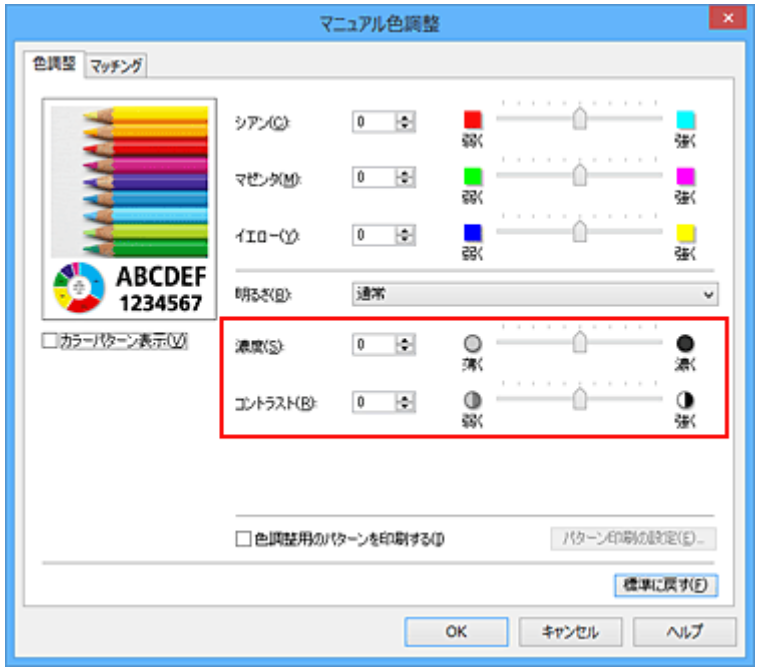
5. パターン印刷の印刷結果を確認

［色調整］シートの［OK］をクリックし、［マニュアル色調整］ダイアログボックスを閉じます。
［基本設定］シートの［OK］をクリックし、印刷を実行すると、設定した濃度/コントラストを中心値としたパターンが印刷されます。



6. 濃度/コントラストの調整

印刷結果の中からお好みの画像を選び、その画像の下に記載されている濃度/コントラストの数値を、[色調整]シートの、[濃度]、[コントラスト]に入力します。
[色調整用のパターンを印刷する]のチェックマークを外し、[OK]をクリックします。



参考

- 濃度/コントラストは[クイック設定]シートの[よく使う設定]で[写真印刷]を選び、[追加する機能]の[色/濃度のマニュアル調整]から設定することも可能です。

7. 設定を完了

[基本設定]シートの[OK]をクリックします。
印刷を実行すると、パターン印刷で調整した濃度/コントラストで印刷されます。

重要

- ［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークが付いているときは、次の項目はグレー表示となり、設定できません。
  - ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］
  - ［ページ設定］シートの［とじ方向］と［とじしろ指定...］（［両面印刷］を設定したときは［とじ方向］のみ設定できます。）
- ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［等倍］が選ばれている場合のみ、パターン印刷が実行できます。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、この機能が使えない場合があります。

関連項目

- カラーバランスを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する

プリンタードライバーの概要

- Canon IJプリンタードライバー
- プリンタードライバーの設定画面の開きかた
- Canon IJ ステータスモニタ
- パソコンでインクの状態を確認する
- Canon IJプレビュー
- 不要になった印刷ジョブを削除する
- 使用上の注意（プリンタードライバー）

Canon IJ プリンタードライバー

Canon IJ プリンタードライバー（以下、プリンタードライバーといいます。）は、プリンターで印刷を行うためにパソコンにインストールするソフトウェアです。

プリンタードライバーは、アプリケーションソフトが作成した印刷データを、プリンターが認識できるデータ形式に変換してプリンターに送ります。

印刷できるデータの形式はプリンターによって違うため、使用するプリンターに対応するプリンタードライバーが必要になります。

プリンタードライバーの種類

Windows Vista SP1 以降では、通常のプリンタードライバーに加えて、XPS プリンタードライバーをインストールすることができます。
XPS プリンタードライバーは、XPS 印刷をサポートするアプリケーションソフトからの印刷に適しています。

重要

- XPS プリンタードライバーを使用するには、通常のプリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- 「キヤノンピクサスかんたん印刷」は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

プリンタードライバーをインストールする

- 通常のプリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターに付属のセットアップ CD-ROM の［セットアップからやり直す］からインストールしてください。
- XPS プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターに付属のセットアップ CD-ROM の［ソフトウェアを追加する］から［XPS ドライバー］を選んでインストールしてください。

プリンタードライバーを指定する

プリンタードライバーを指定するには、お使いのアプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスを開き、通常のプリンタードライバーを指定する場合は「XXX Printer」（「XXX」は機種名）を、XPS プリンタードライバーを指定する場合は「XXX Printer XPS」（「XXX」は機種名）を選んでください。

プリンタードライバーからマニュアルを表示する

プリンタードライバーの設定画面から、各シートにある［ヘルプ］をクリックすると、シートの説明が表示されます。

関連項目

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトまたはプリンターのアイコンから表示できます。

プリンタードライバーの設定画面をアプリケーションソフトから開く

印刷時に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. アプリケーションソフトで印刷を実行するコマンドを選択

   一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログボックスを開くことができます。

2. 「お使いの機種名」を選び、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリック

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

   参考

   - 使用しているアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多くなったりする場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定画面をプリンターのアイコンから開く

プリントヘッドのクリーニングなど、プリンターのメンテナンス操作を行う場合や、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1. 以下のように選択

   - Windows 10、Windows 8.1、または Windows 8 をご使用の場合は、［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］を選びます。
   - Windows 7 をご使用の場合は、［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。

2. 「お使いの機種名」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［印刷設定］を選択

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

   重要

   - プリンタードライバーの設定画面を［プリンターのプロパティ］（Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7）、または［プロパティ］（Windows Vista）から開くと、［ポート］（または［詳細設定］）シートなど、Windows の機能に関するシートが表示されます。それらのシートは、［印刷設定］やアプリケーションソフトから開いたときには表示されません。Windows の機能に関するシートについては、Windows の取扱説明書を参照してください。

プリンタードライバーの設定画面をマイ プリンタから開く

マイ プリンタをインストールしている場合は、以下の手順でもプリンタードライバーの設定画面を開くことができます。

1. マイ プリンタを起動

   - Windows 10、Windows 8.1、または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのチャームから［スタート］をクリックし、［アプリ］から［マイ プリンタ］をクリックします。
   - Windows 7、または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンター名］にお使いの機種名が表示されていることを確認して、［プリンターの設定］をクリック

   プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

   参考

   - ［プリンター名］に表示されている機種名がお使いの機種名と異なる場合は、［設定］をクリックしてお使いの機種名に変更してください。

Canon IJ ステータスモニタ

Canon IJ ステータスモニタは、プリンターの状態や印刷の進行状況を表示します。絵やアイコン、メッセージでプリンターの状態を知ることができます。

Canon IJ ステータスモニタの起動

印刷データがプリンターに送られると、Canon IJ ステータスモニタは自動的に起動します。起動すると、ステータスモニタのボタンがタスクバーに表示されます。



タスクバーに表示されているステータスモニタのボタンをクリックすると、Canon IJ ステータスモニタが表示されます。



参考

- 印刷していないときに Canon IJ ステータスモニタを開くには、プリンタードライバーの設定画面から、［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックします。

エラーが発生したとき

用紙がなくなったり、インクの量が少なくなったりするなどのエラーが発生すると、Canon IJ ステータスモニタは自動的に表示されます。



その場合は、画面に表示された方法に従って操作してください。

パソコンでインクの状態を確認する

インクの残量や、お使いの機種に合ったインクタンクの名称などを確認できます。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く

2. Canon IJ ステータスモニタの起動

   ［ユーティリティ］シートの［プリンター状態の確認］をクリックします。
   Canon IJ ステータスモニタが起動し、インクの状態がイラストで表示されます。



3. 必要に応じて、［インク詳細情報］をクリック

   インクに関する情報を確認できます。

   インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、［インク詳細情報］ダイアログボックスのイラストの上部にアイコンを表示して知らせます。
   その場合は、画面に表示された方法に従って操作してください。

参考

- ［インク詳細情報］ダイアログボックスは、Canon IJ ステータスモニタのインクのイラストをクリックしても表示できます。

Canon IJ プレビュー

Canon IJ プレビューは、実際に印刷を行う前に、どのような印刷結果になるかを表示するためのアプリケーションソフトです。

プリンタードライバーで設定した内容が反映されたプレビューで、レイアウト、印刷順序、ページ数などを確認することができます。また、用紙の種類の設定を変更することもできます。

印刷前にプレビューを表示するときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、[基本設定] シートで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けてください。

表示しないときは、チェックマークを外してください。

重要

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、「印刷ドキュメントの編集や印刷履歴の再印刷を行う」を参照してください。

関連項目

- 印刷前に印刷結果を表示する

不要になった印刷ジョブを削除する

XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、「Canon IJ ステータスモニタ」を「Canon IJ XPS ステータスモニタ」としてお読みください。

印刷が開始されない場合、途中で印刷をやめたり、印刷に失敗したりしたときのデータが残っている可能性があります。
Canon IJ ステータスモニタを使用して、不要になった印刷ジョブを削除してください。

1. Canon IJ ステータスモニタを表示

   タスクバーに表示されている Canon IJ ステータスモニタのアイコンをクリックします。
   Canon IJ ステータスモニタが表示されます。

2. 印刷ジョブを表示

   [印刷待ち一覧を表示] をクリックします。
   印刷待ちの一覧が表示されます。

3. 印刷ジョブを削除

   [プリンター] メニューから [すべてのドキュメントの取り消し] を選びます。
   確認メッセージが表示されたら [はい] をクリックします。

   以上で印刷ジョブが削除されます。

重要

- プリンター管理のアクセス許可が与えられていないユーザーは、ほかのユーザーの印刷ジョブの削除はできません。

参考

- この操作を行うと、すべての印刷ジョブが削除されます。必要な印刷ジョブが印刷待ちの一覧に含まれていた場合は、印刷をやり直してください。

使用上の注意（プリンタードライバー）

このプリンタードライバーの使用および印刷に際しては、以下のような制限事項があります。使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

プリンタードライバーの制限事項

- 一部のアプリケーションソフトでは、プリンタードライバーで設定した［ページ設定］シートの［部数］が正しく機能しないことがあります。
  この場合、アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスで部数を設定してください。
- ［ユーティリティ］シートの［バージョン情報］ダイアログボックスの［言語］で OS 言語と異なる言語を選ぶと、プリンタードライバーの設定画面が正しく表示されないことがあります。
- プリンターのプロパティで［詳細設定］シートの項目を変更しないでください。変更すると、以下の機能が正しく使用できなくなります。
  また、アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログボックスで［ファイルへ出力］を選んだ場合や、Adobe Photoshop LE、MS Photo Editor など EMF スプールを禁止する一部のアプリケーションソフトでは、以下の機能は働きません。
  - ［基本設定］シートの［印刷前にプレビューを表示］
  - ［ページ設定］シートの［印刷オプション］ダイアログボックスの［印刷データの欠落防止］
  - ［ページ設定］シートの［割り付け］、［分割/ポスター］、［冊子］、［両面印刷］、［とじしろ指定...］、［最終ページから印刷］、［部単位で印刷］、［スタンプ/背景...］（［スタンプ...］）
  - ［マニュアル色調整］ダイアログボックスの［色調整］シートの［色調整用のパターンを印刷する］
- プレビュー表示時の解像度は、印刷時の解像度と異なるため、プレビュー上の文章や細線などの表示が印刷結果と異なる場合があります。
- 一部のアプリケーションソフトでは、印刷が複数の印刷ジョブに分割される場合があります。
  印刷を中止する場合は、分割されたすべての印刷ジョブを削除してください。
- 画像などが正常に印刷されない場合は、［ページ設定］シートの［印刷オプション］ダイアログボックスで［アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする］の設定を変更すると、回避できることがあります。

  参考

  - XPS プリンタードライバーをお使いの場合は、［アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする］は使用できません。

- 印刷中に Canon IJ Network Tool を起動しないでください。
- Canon IJ Network Tool を起動中に印刷しないでください。

ご使用の際に制限のあるアプリケーションソフトについて

- Microsoft Word（マイクロソフト株式会社）では以下の制限があります。
  - プリンタードライバーと同じ印刷機能がある場合は、プリンタードライバーでは設定せずに Word で設定してください。
  - プリンタードライバーから［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［フィットページ］、［拡大/縮小］、［割り付け］を使用する場合、 Word のバージョンによっては、正常に印刷されないことがあります。
  - Word で［用紙サイズ］を「XXX (拡大縮小)」に設定している場合、Word のバージョンによっては正常に印刷されないことがあります。
    この場合は、以下の操作を行ってください。
    1. Word の［印刷］ダイアログボックスを開きます。

2. プリンタードライバーの設定画面を開き、[ページ設定] シートの [用紙サイズ] に Word で指定した用紙サイズと同じものを選びます。
3. 希望する [ページレイアウト] を設定し、[OK] をクリックして閉じます。
4. 印刷を実行しないで、いったん [印刷] ダイアログボックスを閉じます。
5. もう一度、Word の [印刷] ダイアログボックスを開きます。
6. プリンタードライバーの設定画面を開き、[OK] をクリックして閉じます。
7. 印刷を実行します。

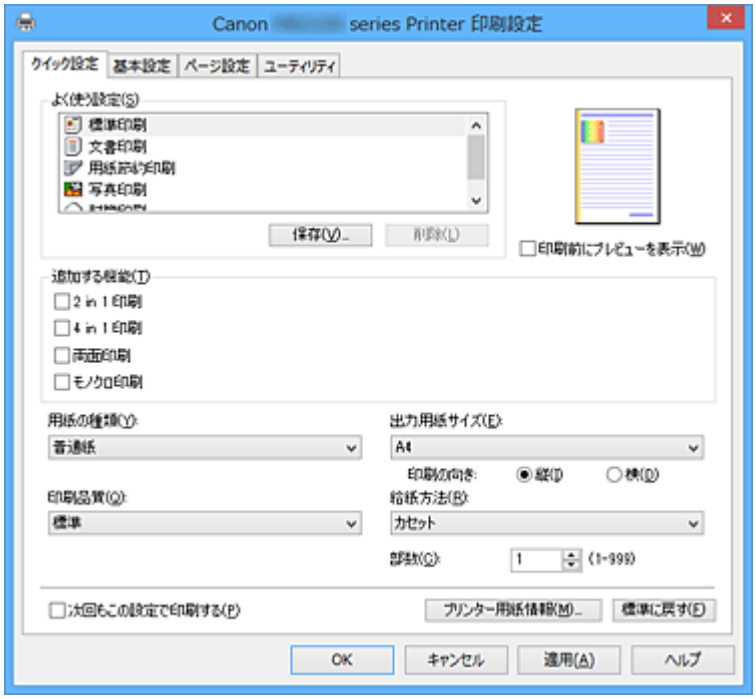
- Adobe Illustrator（アドビ システムズ株式会社）では、ビットマッププリントを有効にしていると、印刷に時間がかかったり、データの一部が印刷されなかったりすることがあります。[プリント] ダイアログボックスの [ビットマッププリント] のチェックマークを外してから印刷してください。

プリンタードライバーの画面説明

- ［クイック設定］シートの画面説明
- ［基本設定］シートの画面説明
- ［ページ設定］シートの画面説明
- ［ユーティリティ］シートの画面説明
- Canon IJプレビューの画面説明
- Canon IJ XPSプレビューの画面説明
- Canon IJ ステータスモニタの画面説明

［クイック設定］シートの画面説明

［クイック設定］シートには、一般的に使う印刷設定が登録されています。登録された設定を選ぶと、あらかじめ設定された内容に自動的に切り替わります。



［よく使う設定］

一般的によく使う印刷設定の名称とアイコンが登録してあります。目的に応じて印刷設定を選ぶと、それに合った設定が適用されます。

また、選んだ印刷設定に対して便利な機能が［追加する機能］に表示されます。

印刷設定を変更し、名称を付けて登録することもできます。登録した印刷設定は削除できます。

各設定をドラッグするか、Ctrl キーを押したまま上矢印キーまたは下矢印キーを押すと、並び替えることができます。

［標準印刷］

工場出荷時の設定です。

アプリケーションソフトから［用紙サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

［文書印刷］

一般的な文書を印刷するときに選びます。

アプリケーションソフトから［用紙サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

［用紙節約印刷］

一般的な文書を、用紙を節約して印刷するときに選びます。［2 in 1 印刷］、［両面印刷］にチェックマークが付きます。

アプリケーションソフトから［用紙サイズ］、［印刷の向き］、［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

［写真印刷］

写真を印刷するときに選ぶと、一般的に使用される写真用紙と写真サイズが設定されます。

アプリケーションソフトから［印刷の向き］や［部数］の設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

[封筒印刷]

封筒印刷するときに選ぶと、自動的に［用紙の種類］が［封筒］に設定されます。［封筒サイズの設定］ダイアログボックスで、使用する封筒のサイズを選んでください。

参考

- 保存するときに選んでいた印刷設定で表示される［追加する機能］の組み合わせが、追加した印刷設定を選んだときにも表示されます。

[保存...]

［よく使う設定の保存］ダイアログボックスを表示します。

［クイック設定］シート、［基本設定］シート、および［ページ設定］シートで設定した内容を［よく使う設定］に保存したいときにクリックしてください。

[削除]

登録されている印刷設定を削除します。

［よく使う設定］から削除したい設定の名称を選び、［削除］をクリックすると確認のメッセージが表示されます。［OK］をクリックすると、指定した印刷設定は削除されます。

参考

- 初期設定で登録されている印刷設定は削除できません。

設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。

全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

[印刷前にプレビューを表示]

印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを表示します。

印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。

プレビューを表示しないときは、チェックマークを外してください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4 Client Profile がインストールされている必要があります。

[追加する機能]

［クイック設定］シートの［よく使う設定］で選んだ印刷設定に応じて、よく使われる便利な機能を表示します。

変更可能な機能にマウスポインターを近づけると、機能の説明が表示されます。

各機能を有効にする場合はチェックマークを付けてください。

機能によっては、［基本設定］シート、［ページ設定］シートから詳細な設定を行うことができます。

重要

- 印刷設定によっては、グレー表示となり変更できない機能があります。

[2 in 1 印刷]

1 枚の用紙に 2 ページの原稿を並べて印刷します。

ページ順序を変更する場合は、［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［割り付け］を選び、［詳細設定...］をクリックします。表示される［割り付け印刷］ダイアログボックスで［ページ順序］を指定してください。

[4 in 1 印刷]

1 枚の用紙に 4 ページの原稿を並べて印刷します。

ページ順序を変更する場合は、［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［割り付け］を選び、［詳細設定...］をクリックします。表示される［割り付け印刷］ダイアログボックスで［ページ順序］を指定してください。

[両面印刷]

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

とじ方向やとじしろを変更する場合は、[ページ設定] シートから設定してください。

[モノクロ印刷]

印刷時に原稿をモノクロのデータに変換して印刷する機能です。

[180 度回転]

用紙の紙送りに対して、原稿を 180 度回転させて印刷します。

アプリケーションソフトで設定した印刷領域の幅とはみ出し量の上下、左右がそれぞれ逆になります。

[色/濃度のマニュアル調整]

[色補正] の方法を選んだり、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト] などを個別に設定したりするときに選びます。

[用紙の種類]

印刷に使用する用紙の種類を選びます。

実際にプリンターにセットしているものと一致させるようにしてください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

[出力用紙サイズ]

実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。

通常は出力用紙サイズの設定に合わせて用紙サイズが自動的に設定され、等倍で印刷されます。

[追加する機能] の [2 in 1 印刷]、[4 in 1 印刷] を設定した場合、[ページ設定] シートの [用紙サイズ] で原稿のサイズを個別に設定することができます。

[用紙サイズ] より小さいサイズを選ぶと用紙に合わせて原稿を縮小して印刷し、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷します。

また、[ユーザー定義用紙...] を選ぶと [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスが表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

[印刷の向き]

用紙に対する印刷方向を選びます。

原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

[縦]

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

[横]

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。

回転方向は、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] ダイアログボックスの [印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする] で変更することができます。

左 90 度に回転させて印刷するときは、[印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする] のチェックマークを付けてください。

[印刷品質]

目的に合った印刷の品質を選びます。

いずれかを選ぶと、目的にふさわしい印刷品質のレベルが設定されます。

[きれい]

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

[標準]

標準的なスピードと品位で印刷します。

[給紙方法]

用紙の給紙方法を表示しています。

[カセット]

常にカセットから給紙を行います。

[部数]

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーで設定を行ってください。印刷結果が思わしくない場合は、アプリケーションソフトで設定を行ってください。

[次回もこの設定で印刷する]

現在の設定で次回以降も印刷を行います。

この機能にチェックマークを付けてからプリンタードライバーの設定画面を閉じると、[クイック設定]シート、[基本設定]シート、および[ページ設定]シートで設定した内容が保存され、同じ設定で次回以降も印刷できます。

重要

- 別のユーザー名でログオンした場合は、この機能にチェックマークを付けたときの設定は反映されません。
- アプリケーションソフトで設定を行っている場合は、その設定が優先されます。

[プリンター用紙情報...]

[プリンター用紙情報]ダイアログボックスを表示します。

プリンター本体の設定を確認したり、確認した設定をプリンタードライバーに反映することができます。

[標準に戻す]

変更した設定を、標準の設定に戻します。

クリックすると、[クイック設定]シート、[基本設定]シート、[ページ設定]シートのすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

[よく使う設定の保存]ダイアログボックス

[クイック設定]シート、[基本設定]シート、[ページ設定]シートで設定した内容を保存して、[クイック設定]シートの[よく使う設定]に追加します。

[名称]

登録する印刷設定の名称を入力します。

半角、全角ともに 255 文字まで入力できます。

入力した名称はアイコンとともに、[クイック設定]シートの[よく使う設定]に表示されます。

[オプション...]

[よく使う設定の保存]ダイアログボックスを表示します。

保存する印刷設定の詳細を変更します。

[よく使う設定の保存]ダイアログボックス

[よく使う設定]に登録する印刷設定のアイコンを選んだり、印刷設定に保存する項目を変更したりします。

[アイコン]

登録する印刷設定のアイコンを選びます。

選んだアイコンは名称とともに、[クイック設定]シートの[よく使う設定]に表示されます。

［用紙サイズを保存する］

［よく使う設定］の印刷設定に用紙サイズを保存します。
印刷設定を選んだとき、保存された用紙サイズを適用したい場合はチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、用紙サイズは保存されないため、印刷設定を選んだときに用紙サイズの設定は適用されません。アプリケーションソフトで指定した用紙サイズで印刷します。

［印刷の向きを保存する］

［よく使う設定］の印刷設定に［印刷の向き］を保存します。
印刷設定を選んだとき、保存された印刷の向きを適用したい場合はチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、印刷の向きは保存されないため、印刷設定を選んだときに［印刷の向き］の設定は適用されません。アプリケーションソフトで選んだ印刷の向きで印刷します。

［部数を保存する］

［よく使う設定］の印刷設定に［部数］を保存します。
印刷設定を選んだとき、保存された部数を適用したい場合はチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、部数は保存されないため、印刷設定を選んだときに［部数］の設定は適用されません。アプリケーションソフトで設定した部数で印刷します。

［ユーザー定義用紙］ダイアログボックス

使用する用紙の横の幅と縦の長さを入力します。

［単位］

ユーザー定義用紙のサイズを入力する単位を選びます。

［用紙サイズ］

用紙の［幅］と［長さ］を指定します。単位は［単位］で選ばれた状態で表示されます。

［プリンター用紙情報］ダイアログボックス

プリンター本体の設定を確認したり、確認した設定をプリンタードライバーに反映します。

［給紙方法］

設定を確認、または変更したい給紙方法を選びます。

［用紙の種類］

現在、プリンター本体で設定している［用紙の種類］が表示されます。
［設定］をクリックすると、表示された設定がプリンタードライバーに反映されます。

［出力用紙サイズ］

現在、プリンター本体で設定している［出力用紙サイズ］が表示されます。
［設定］をクリックすると、表示された設定がプリンタードライバーに反映されます。

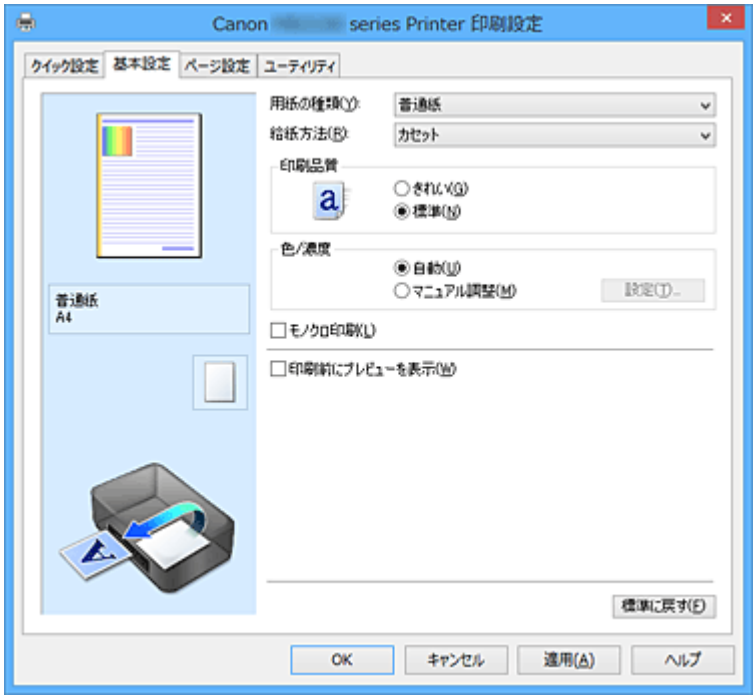
関連項目

- かんたんな設定で印刷を行う
- 用紙サイズと印刷の向きを設定する
- 部数と印刷順序を設定する
- 両面印刷を行う
- 封筒に印刷する
- はがきに印刷する
- 印刷前に印刷結果を表示する
- 用紙の縦横サイズを設定する（ユーザー定義用紙）
- カラーの原稿をモノクロで印刷する
- 色補正の方法を指定する

- カラーバランスを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）
- よく使う印刷設定を登録する

［基本設定］シートの画面説明

［基本設定］シートでは、プリンターにセットしている用紙の種類に合わせて、基本的な印刷設定を行います。特殊な印刷をしない限り、このシートの項目だけ設定すれば、通常の印刷を行うことができます。



設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。
全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

［用紙の種類］

印刷に使用する用紙の種類を選びます。
実際にプリンターにセットしているものと一致させるようにしてください。その用紙の材質に合った印刷ができるようになります。

［給紙方法］

用紙の給紙方法を表示しています。

［カセット］

常にカセットから給紙を行います。

［印刷品質］

目的に合った印刷の品質を選びます。
いずれかを選ぶと、目的にふさわしい印刷品質のレベルが設定されます。

重要

- ［用紙の種類］の設定によっては、［印刷品質］を変更しても同じ印刷結果になることがあります。

［きれい］

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

［標準］

標準的なスピードと品位で印刷します。

［色/濃度］

色の調整のしかたを選びます。

［自動］

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などを自動的に調整します。

[マニュアル調整]

[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト]などを個別に設定したり、[色補正]の方法を選んだりするときに選びます。

[設定...]

[色/濃度]で[マニュアル調整]を選ぶと、クリックできるようになります。

[マニュアル色調整]ダイアログボックスの[色調整]シートで[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト]などの色に関する設定を個別に調整したり、[マッチング]シートで[色補正]の方法を選んだりすることができます。

参考

- ICCプロファイルを利用して色の補正をしたい場合は、[マニュアル色調整]ダイアログボックスで設定できます。

[モノクロ印刷]

印刷時に原稿をモノクロのデータに変換して印刷する機能です。

カラーの原稿をモノクロで印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[印刷前にプレビューを表示]

印刷を実行する前に、どのような印刷結果になるかを表示します。

印刷前にプレビューを表示するときは、チェックマークを付けてください。

重要

- Canon IJ XPSプレビューを使用するためには、お使いのパソコンにMicrosoft .NET Framework 4 Client Profileがインストールされている必要があります。

[標準に戻す]

変更した設定を、標準の設定に戻します。

クリックすると、この画面のすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

[色調整]シート

印刷の色合いを決定する[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[明るさ]、[濃度]、[コントラスト]などの設定を変更して、好みの色に調整します。

プレビュー画像

現在の色調整の状態を表示します。

各項目を調整すると、色や明るさが変わります。

参考

- [モノクロ印刷]にチェックマークが付いているときは、モノクロで表示されます。

[カラーパターン表示]

色調整による色の変化量が確認できるパターンを表示します。

プレビュー画像をカラーパターンで表示するときは、チェックマークを付けてください。

[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]

[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の強弱を調整します。

スライドバーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。

スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50の範囲で設定してください。

調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

重要

- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］はグレー表示となり設定できません。

［明るさ］

印刷結果の明るさを選びます。
完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。

［濃度］

印刷の濃度を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

［コントラスト］

印刷する画像の明暗の差を調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど明暗の差が大きく、左にドラッグするほど明暗の差が小さくなります。
スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

［色調整用のパターンを印刷する］

パターン印刷とは、原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを変更した場合の調整結果を、調整値と合わせて一覧に印刷する機能です。
色調整用のパターンを印刷するときはチェックマークを付けてください。

［パターン印刷の設定...］

［色調整用のパターンを印刷する］にチェックマークを付けると、クリックできるようになります。
［パターン印刷］ダイアログボックスを表示し、パターン印刷に関する設定ができます。

［パターン印刷］ダイアログボックス

原稿のカラーバランスや濃度/コントラストを確認できるパターンを印刷するための設定を行います。

［調整項目］

パターン印刷で確認したい項目を選びます。

［シアン/マゼンタ/イエロー］

シアン/マゼンタ/イエローのバランスを確認できるパターンを印刷します。

重要

- ［基本設定］シートの［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［シアン/マゼンタ/イエロー］はグレー表示となり設定できません。

［濃度/コントラスト］

濃度/コントラストを確認できるパターンを印刷します。

［出力用紙サイズ］

パターン印刷に使用する用紙のサイズを選びます。
［ページ設定］シートの［出力用紙サイズ］と連動しています。

参考

- ［ページ設定］シートで選んだ用紙サイズによっては選べないサイズがあります。

[パターンの数]

印刷するパターンの数を設定します。

[多い]、[やや多い]、[少ない] から選べます。各パターンサイズを選んだ場合に印刷されるパターン数は、以下のとおりです。

参考

- [多い]、[やや多い] は、選んでいる用紙サイズ、出力用紙サイズによっては選べません。
- [基本設定] シートの設定ビューにレイアウトを表示しています。全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

[多い]

[シアン/マゼンタ/イエロー] 37

[濃度/コントラスト] 49

[やや多い]

[シアン/マゼンタ/イエロー] 19

[濃度/コントラスト] 25

[少ない]

[シアン/マゼンタ/イエロー] 7

[濃度/コントラスト] 9

[パターン間の色の変化量]

隣接するパターン間の色の変化量を設定します。

[大]、[中]、[小] から選べます。[大] は変化量が大きく、[小] は変化量が小さくなります。

参考

- [大] は [中] の 2 倍程度、[小] は [中] の 1/2 程度の変化量の幅があります。

[マッチング] シート

印刷する原稿の種類に合った色の補正方法を選びます。

[色補正]

[ドライバー補正]、[ICM] ([ICC プロファイル補正])、[なし] の中から目的に合ったものを選びます。

重要

- [基本設定] シートの [モノクロ印刷] にチェックマークが付いているとき、[色補正] はグレー表示となり設定できません。

[ドライバー補正]

sRGB データを、キヤノンデジタルフォトカラーにより、人が好ましいと感じる色合いで印刷します。

[ICM] ([ICC プロファイル補正])

印刷時に ICC プロファイルを利用して色の補正を行います。

重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、[色補正] の [ICM] ([ICC プロファイル補正]) は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。

[なし]

プリンタードライバーで色の補正を行いません。

参考

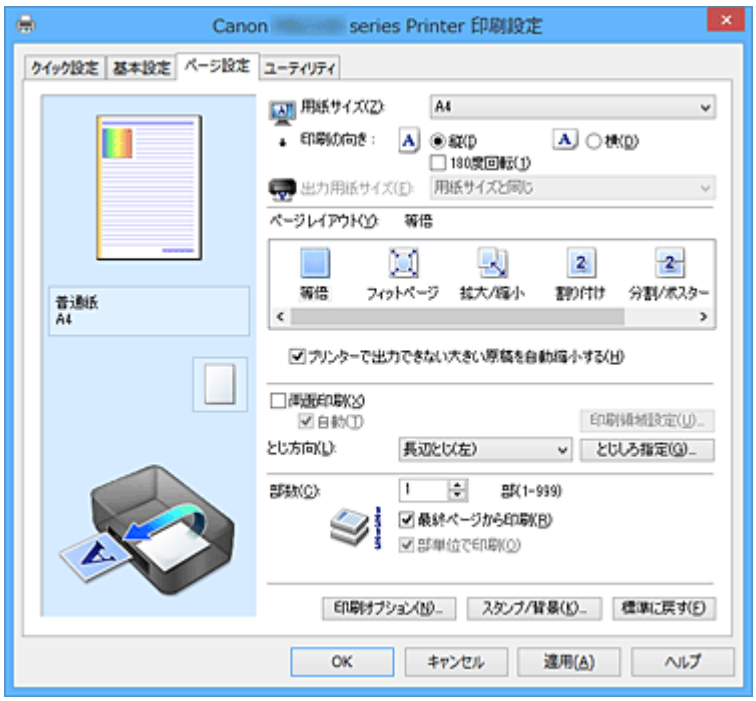
- ［ICM］は、XPS プリンタードライバーでは［ICC プロファイル補正］となります。

関連項目

- カラーバランスを調整する
- 明るさを調整する
- 濃度を調整する
- コントラストを調整する
- パターンを見て、カラーバランスを調整する（プリンタードライバー）
- パターンを見て、濃度/コントラストを調整する（プリンタードライバー）
- 色補正の方法を指定する
- プリンタードライバーで色の補正を行う
- ICC プロファイルを使用して印刷する
- カラーの原稿をモノクロで印刷する
- 印刷前に印刷結果を表示する

［ページ設定］シートの画面説明

［ページ設定］シートでは、原稿を用紙にどのように配置するかを設定します。また印刷する部数や順序の設定もできます。原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトで指定してください。



設定ビュー

用紙のイラストは、原稿が用紙にどのようにレイアウトされるかを表示しています。
全体のレイアウトをおおまかなイメージで確認することができます。

［用紙サイズ］

用紙サイズを選びます。
アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと同じものを選んでください。
［ユーザー定義用紙...］を選ぶと［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

［印刷の向き］

用紙に対する印刷方向を選びます。
原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

［縦］

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

［横］

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。
回転方向は、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］ダイアログボックスの［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］で変更することができます。
左 90 度に回転させて印刷するときは、［印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする］のチェックマークを付けてください。

［180 度回転］

用紙の紙送りに対して、原稿を 180 度回転させて印刷します。
アプリケーションソフトで設定した印刷領域の幅とはみ出し量の上下、左右がそれぞれ逆になります。

［出力用紙サイズ］

実際にプリンターにセットする用紙サイズを選びます。
通常は［用紙サイズと同じ］と表示され、等倍で印刷する設定になっています。
［ページレイアウト］から［フィットページ］、［拡大/縮小］、［割り付け］、［分割/ポスター］、［冊子］を選ぶと設定できるようになります。
［用紙サイズ］より小さいサイズを選ぶと用紙に合わせて原稿を縮小して印刷し、大きいサイズを選ぶと拡大して印刷します。
また、［ユーザー定義用紙...］を選ぶと［ユーザー定義用紙］ダイアログボックスが表示され、用紙の縦、横のサイズを任意に指定することができます。

［ページレイアウト］

原稿をどのような大きさで、どのように用紙に配置して印刷するかを選びます。

［等倍］

通常の印刷方法です。特定のページレイアウトを設定しない場合に選んでください。

［プリンターで出力できない大きい原稿を自動縮小する］

プリンターで出力できない用紙サイズの原稿を、自動で縮小して印刷します。
縮小して印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［フィットページ］

アプリケーションソフトで指定した用紙サイズを変更せずに、プリンターにセットした用紙サイズに合わせて原稿を拡大または縮小して印刷します。

［拡大/縮小］

原稿を拡大または縮小して印刷することができます。
［出力用紙サイズ］を指定するか、［拡大縮小率］に倍率を入力します。

［拡大縮小率］

原稿を拡大または縮小するときの倍率を指定します。

［割り付け］

1 枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

［詳細設定...］

［割り付け印刷］ダイアログボックスを表示します。
割り付け印刷について詳細な設定を行うことができます。

［分割/ポスター］

印刷する画像データを拡大して、複数の用紙に分割して印刷する機能です。用紙を貼り合わせると、ポスターのような大判の印刷物に仕上げることもできます。

［詳細設定...］

［分割/ポスター印刷］ダイアログボックスを表示します。
分割/ポスター印刷について詳細な設定を行うことができます。

［冊子］

冊子印刷は小冊子を作成するときに便利な機能です。中央で折ってとじたときにページの順番が揃うように、ページを配分しながら両面印刷します。

［詳細設定...］

［冊子印刷］ダイアログボックスを表示します。
冊子印刷について詳細な設定を行うことができます。

［両面印刷］

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。
両面に印刷するときは、チェックマークを付けてください。
この機能は［用紙の種類］で［普通紙］を選んでいて、［等倍］、［フィットページ］、［拡大/縮小］、［割り付け］のいずれかを選んでいるときに設定できます。

[自動]

自動で両面印刷するか、手動で両面印刷するかを選びます。

[ページレイアウト]で[冊子]を選ぶか、[両面印刷]にチェックマークを付けると、有効になります。

自動で両面印刷するときは、チェックマークを付けてください。

手動で両面印刷するときは、チェックマークを外してください。

[印刷領域設定...]

[印刷領域設定]ダイアログボックスを開いて、自動両面印刷時の印刷領域を設定できます。

[とじ方向]

とじしろの位置を設定します。

[印刷の向き]や[ページレイアウト]の設定を判別し、自動的に最適なとじしろの位置が選ばれます。

[とじ方向]を確認し、変更する場合は、一覧から選びます。

[とじしろ指定...]

[とじしろ指定]ダイアログボックスを表示します。

とじしろの幅を指定することができます。

[部数]

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、ここでは指定しないでアプリケーションソフトで指定してください。

[最終ページから印刷]

最終ページから印刷したいときは、チェックマークを付けてください。この場合は、印刷後にページの順番を並べ替える手間がかかりません。

先頭ページから印刷するときは、チェックマークを外してください。

[部単位で印刷]

2 部以上の印刷を行うときに 1 部ずつまとまるように印刷したいときは、チェックマークを付けてください。

同一ページでまとまるように印刷したいときは、チェックマークを外してください。

重要

- 原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、プリンタードライバーでの設定を優先し、印刷結果が思わしくない場合はアプリケーションソフトで設定を行ってください。両方で設定すると、印刷枚数が 2 つの設定をかけた数になったり、印刷順序の指定が無効になったりすることがあります。

[印刷オプション...]

[印刷オプション]ダイアログボックスを表示します。

アプリケーションソフトから送信される印刷データに対して、プリンタードライバーの詳細設定を変更します。

[スタンプ/背景...]([スタンプ...])

[スタンプ/背景]([スタンプ])ダイアログボックスを表示します。

[スタンプ]は、原稿データに重ねて特定の文字列やビットマップを印刷する機能です。日付や時刻、ユーザー名を印刷することもできます。[背景]は、原稿データの下地にイラストなどを印刷する機能です。

参考

- [スタンプ/背景...]は、XPS プリンタードライバーでは[スタンプ...]となり、スタンプ機能のみ使用できます。

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、［スタンプ］と［背景］が使用できないことがあります。

［ユーザー定義用紙］ダイアログボックス

使用する用紙の横の幅と縦の長さを入力します。

［単位］

ユーザー定義用紙のサイズを入力する単位を選びます。

［用紙サイズ］

用紙の［幅］と［長さ］を指定します。単位は［単位］で選ばれた状態で表示されます。

［割り付け印刷］ダイアログボックス

1 枚の用紙に配置する原稿のページ数、ページ順序、枠線の有無を選びます。
ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

［割り付け印刷］ダイアログボックスの設定状態を表します。
どのような体裁で印刷されるか確認できます。

［割り付け］

1 枚の用紙に納める原稿のページ数を指定します。

［ページ順序］

1 枚の用紙に印刷する原稿の配置方向を指定します。

［枠線］

原稿のページを囲むように枠線を印刷します。
枠線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［分割/ポスター印刷］ダイアログボックス

印刷される画像の大きさを選びます。また、ポスターとして貼り合わせるときに便利な切り取り線/のりしろの印刷も設定できます。
ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

［分割/ポスター印刷］ダイアログボックスの設定状態を表します。
印刷結果がどのような体裁になるかを確認できます。

［画像の分割数］

縦×横の分割数を選びます。
数字が大きいほど印刷に使用する用紙の枚数が増えます。ポスターとして貼り合わせる場合は、分割数を多くするほど大きなポスターを作成できます。

［切り取り/のりしろを印刷］

ポスターとして貼り合わせるときに目安となる「切り取り」や「のりしろ」の文字を印刷します。
文字を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、この機能は使用できないことがあります。

[切り取り線を印刷]

ポスターとして貼り合わせるときに目安となる切り取り線を印刷します。
切り取り線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[印刷範囲]

印刷範囲を指定します。通常は［すべて］を選んでください。
［ページ指定］を選ぶと、特定のページや範囲を指定できます。

参考

- 一部のページがうまく印刷できなかったときは、［ページ設定］シートの設定ビューで、印刷したくないページをクリックして指定してください。印刷を実行すると、表示されているページのみを印刷できます。

［冊子印刷］ダイアログボックス

冊子に仕上げたときのとじかたを設定します。また、原稿を片面だけに印刷したり、枠線を付ける設定をしたりすることもできます。
ここで設定した内容はプリンタードライバーの設定ビューで確認できます。

プレビューアイコン

［冊子印刷］ダイアログボックスの設定状態を表します。
小冊子に仕上げたとき、どのような体裁になるか確認できます。

[とじかた]

小冊子に仕上げたときに、どちら側をとじるか指定します。

[白ページを挿入]

小冊子に仕上げたとき、原稿を片側だけに印刷するか、両面に印刷するかを選びます。
片側だけに原稿を印刷する場合は、チェックマークを付け、一覧から白紙にする側を選びます。

[とじしろ]

とじしろの幅を指定します。
指定した幅が用紙の中央からのとじしろとなります。

[枠線]

原稿のページを囲むように枠線を印刷します。
枠線を印刷するときは、チェックマークを付けてください。

［印刷領域設定］ダイアログボックス

両面印刷する場合、原稿の印刷領域が通常よりわずかに狭くなります。このため、余白の少ない原稿を印刷すると、原稿が 1 ページに入りきらないことがあります。
［印刷領域設定］ダイアログボックスでは、原稿が 1 ページに収まるように、原稿を縮小して印刷するかどうかを設定します。

[等倍で印刷する]

原稿のページを縮小せずに印刷します。通常はこの設定になっています。

[縮小して印刷する]

原稿のページをわずかに縮小して、1 ページに収まるように印刷します。
余白の少ない原稿を自動両面印刷するときに選んでください。

［とじしろ指定］ダイアログボックス

とじ方向で指定した辺のとじしろの幅を指定します。原稿のページが 1 ページに入りきらない場合は、原稿が縮小されて印刷されます。

[とじしろ]

とじしろの幅を指定します。

[とじ方向]で指定した辺の幅がとじしろとなります。

[印刷オプション]ダイアログボックス

プリンターに送信される印刷データについての変更を設定します。

お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、使用できない場合があります。

[アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする]

アプリケーションソフトが Windows に要求した ICM を無効にします。

アプリケーションソフトが Windows の ICM を使って印刷した場合、印刷結果が意図しない色合いになったり、印刷速度が低下したりすることがあります。その場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。
- この機能は、[マニュアル色調整]ダイアログボックスの[マッチング]シートで[色補正]から[ICM]を選んだ場合は機能しません。

参考

- [アプリケーションソフトが要求した ICM を無効にする]は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[アプリケーションソフトのカラープロファイル設定を無効にする]

アプリケーションソフトで設定されたカラープロファイルの情報を無効にします。

アプリケーションソフトで設定されたカラープロファイルの情報がプリンタードライバーに出力されると、印刷結果が意図しない色合いになることがあります。その場合にチェックマークを付けると、問題を解決できる場合があります。

重要

- チェックマークを付けても、カラープロファイルの一部の情報を無効にするだけで、カラープロファイルを使用した印刷は可能です。
- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

[用紙のグループ化を解除する]

[用紙の種類]、[用紙サイズ]、[出力用紙サイズ]の表示方法を設定します。

グループ化しないで表示するときは、チェックマークを付けてください。

グループ化して表示するときは、チェックマークを外してください。

[アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する]

アプリケーションソフトの印刷データの圧縮処理を禁止します。

印刷結果の画像データが抜け落ちたり、意図しない色合いになる場合があります。その場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

参考

- [アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する]は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[ページ毎に印刷データを作成して印刷する]

印刷データの作成をページ単位で行い、1 ページ分の印刷データの処理が終了してから印刷を開始します。
印刷結果にすじがみられるなど、意図しない結果の場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

[画像を単純補間処理で拡大/縮小する]

画像を拡大または縮小して印刷する場合、単純補間処理を用いて画像の拡大または縮小を行います。
印刷結果の画像データが鮮明に印刷されない場合にチェックマークを付けると、問題を改善できる場合があります。

重要

- 通常はチェックマークを外した状態で使用してください。

参考

- [画像を単純補間処理で拡大/縮小する] は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

[印刷データの欠落防止]

アプリケーションソフトで作成した印刷データのサイズを小さくして印刷することができます。
アプリケーションソフトによっては、画像データが抜け落ちるなどして、うまく印刷できない場合があります。その場合は [オン] を選んでください。この機能を使用しない場合は [オフ] を選びます。

重要

- この機能を使用すると、印刷データによっては、印刷品質が低下することがあります。

[印刷データの処理単位]

プリンターに送られる印刷データの処理単位を選びます。
通常は [推奨] の状態で使用してください。

重要

- 選んだ項目によっては、メモリーを大量に使用します。
  メモリーの少ないパソコンでは設定を変更しないでください。

参考

- [印刷データの処理単位] は、XPS プリンタードライバーでは使用できません。

[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックス

[スタンプ/背景] ([スタンプ]) ダイアログボックスでは、原稿データに重ねてスタンプや背景を印刷する設定ができます。あらかじめ用意されているものだけでなく、オリジナルのスタンプや背景を登録して使用することもできます。

参考

- [スタンプ/背景...] は、XPS プリンタードライバーでは [スタンプ...] となり、スタンプ機能のみ使用できます。

[スタンプ]

スタンプ印刷は、原稿に重ねてスタンプを印刷する機能です。
スタンプを印刷するときは、チェックマークを付けて一覧からタイトルを選んでください。

[スタンプ設定...]

[スタンプ設定] ダイアログボックスを表示します。

選んだスタンプの詳細な内容の確認や、新しいスタンプの登録を行います。

[前面に印刷]

スタンプをどのように原稿に重ねて印刷するかを設定します。

[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。

原稿の上にスタンプを重ねて印刷するときは、チェックマークを付けてください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことがあります。

スタンプの上に原稿を重ねて印刷するときは、チェックマークを外してください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことはありませんが、原稿と重なり合った部分のスタンプが隠れてしまうことがあります。

[半透明で印刷する]

スタンプをどのように原稿に重ねて印刷するかを設定します。

[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。

原稿の上にスタンプを半透明で印刷するときは、チェックマークを付けてください。

原稿の上にスタンプを重ねて印刷するときは、チェックマークを外してください。この場合は、印刷データが欠けてしまうことがあります。

参考

- [半透明で印刷する] は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

[先頭ページのみ]

複数ページの原稿の場合、スタンプを 1 ページ目だけに印刷するか、すべてのページに印刷するかを選びます。

[スタンプ] にチェックマークを付けると、選べるようになります。

1 ページ目だけに印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[背景]

背景印刷は、原稿の下地にイラストなど（ビットマップ）を印刷する機能です。

背景を印刷するときは、チェックマークを付けて一覧からタイトルを選んでください。

[背景設定...]

[背景設定] ダイアログボックスを表示します。

ビットマップを背景として登録したり、選んだ背景の配置方法や濃度を変更したりすることができます。

[先頭ページのみ]

複数ページの原稿の場合、背景を 1 ページ目だけに印刷するか、すべてのページに印刷するかを選びます。

[背景] にチェックマークを付けると、クリックできるようになります。

1 ページ目だけに印刷するときは、チェックマークを付けてください。

[スタンプ] シート

スタンプに使用する文字列やビットマップファイル（.bmp）を設定します。

プレビュー

各シートで設定したスタンプの状態が表示されます。

[スタンプの種類]

スタンプの種類を選びます。

文字を入力して作成する場合は [文字]、ビットマップファイル（.bmp）を使用する場合は [ビットマップ]、印刷物の作成日時とユーザー名を表示する場合は [日付/時刻/ユーザー名] を選びます。

選んだ項目によって [スタンプ] シートの設定項目が変わります。

［スタンプの種類］が［文字］、［日付/時刻/ユーザー名］の場合

［スタンプ文字列］

スタンプに使用する文字を入力します。
半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。
［日付/時刻/ユーザー名］の場合は、印刷物の作成日時とユーザー名が表示されます。

重要

- ［日付/時刻/ユーザー名］を選んでいる場合、［スタンプ文字列］はグレー表示となり、変更できません。

［TrueType フォント名］

スタンプ文字列のフォントの種類を選びます。

［スタイル］

スタンプ文字列のフォントスタイルを選びます。

［サイズ］

スタンプ文字列のフォントサイズを選びます。

［囲み］

スタンプ文字列を囲む枠を選びます。
［サイズ］で大きなフォントサイズを選んでいると、囲みから文字列がはみ出してしまうことがあります。

［現在の色］/［色選択...］

現在のスタンプの色が表示されます。
異なる色を選びたい場合は、［色選択...］で［色の設定］ダイアログボックスを表示し、スタンプとして使用する色を選ぶ、または作成してください。

［スタンプの種類］が［ビットマップ］の場合

［ファイル名］

スタンプとして使用するビットマップのファイル名（.bmp）を入力します。

［ファイル選択...］

ファイルを開くダイアログボックスを表示します。
スタンプとして使用するビットマップファイル（.bmp）を選ぶときにクリックしてください。

［サイズ］

スタンプとして使用するビットマップのサイズを調整します。
スライドバーを右にドラッグするほど大きくなり、左にドラッグするほど小さくなります。

［白い部分を透過する］

ビットマップの白い部分を透過します。
白い部分を透過するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、［スタンプの種類］は文字、［スタンプ文字列］は空白、［TrueType フォント名］は MS ゴシック、［スタイル］は標準、［サイズ］は 36 ポイント、［囲み］のチェックマークは外され、［現在の色］は RGB が（192,192,192）の灰色に設定されます。

［配置］シート

スタンプを用紙のどの場所に印刷するかを設定します。

プレビュー

各シートで設定したスタンプの状態が表示されます。

［位置］

スタンプの位置を指定します。

一覧から［座標指定］を選ぶと、［横］と［縦］の座標に直接数値を指定できるようになります。

［回転角度］

スタンプの回転角度を指定します。回転角度は、直接数値を入力することもできます。

回転角度の数値の前にマイナス符号（−）を付けると、スタンプは時計回りに回転します。

参考

- ［回転角度］は、［スタンプ］シートの［スタンプの種類］で［文字］、または［日付/時刻/ユーザー名］を選んだ場合のみ設定できます。

参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、スタンプ位置は［中央］に、回転角度は「0」に設定されます。

［設定登録］シート

新しいスタンプの登録や、不要になったスタンプの削除を行います。

［タイトル］

作成したスタンプを保存するときにスタンプのタイトルを入力します。

半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

［スタンプ一覧］

現在登録されているスタンプのタイトルを一覧で表示します。

いずれかのタイトルを指定すると、その文字列が［タイトル］に表示されます。

［新規保存］/［上書き保存］

スタンプを保存します。

［タイトル］を入力後に、クリックしてください。

［削除］

不要になったスタンプを削除します。

［スタンプ一覧］で不要になったスタンプのタイトルを指定し、クリックしてください。

［背景］シート

背景として使用するビットマップファイル（.bmp）を選んだり、背景をどのように印刷したりするかを設定します。

プレビュー

［背景］シートで設定したビットマップの状態が表示されます。

［ファイル名］

背景として使用するビットマップのファイル名（.bmp）を入力します。

［ファイル選択...］

ファイルを開くダイアログボックスを表示します。

背景として使用するビットマップファイル（.bmp）を選ぶときにクリックしてください。

［配置方法］

背景として使用するビットマップを、用紙に配置する方法を指定します。

［座標指定する］を選んだ場合は、［横］、［縦］に数値を入力して座標を設定できます。

[濃度]

背景として使用するビットマップの濃淡を調整します。

スライドバーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。元のビットマップの濃度で印刷したいときは、スライドバーを右端にドラッグしてください。

参考

- お使いのプリンタードライバーの種類や環境によっては、使用できない場合があります。
- [標準に戻す] をクリックすると、[ファイル名] は空白、[配置方法] は [全面に並べる]、[濃度] のスライドバーは中央に設定されます。

[設定登録] シート

新しい背景の登録や、不要になった背景の削除を行います。

[タイトル]

設定した背景を保存するときにタイトルを入力します。

半角、全角ともに 64 文字まで入力できます。

参考

- タイトルの先頭と末尾に、半角スペース、全角スペース、タブ、改行は入力できません。

[背景一覧]

現在登録されている背景のタイトルを一覧で表示します。

いずれかのタイトルを指定すると、その文字列が [タイトル] に表示されます。

[新規保存] / [上書き保存]

背景を保存します。

[タイトル] を入力後、クリックしてください。

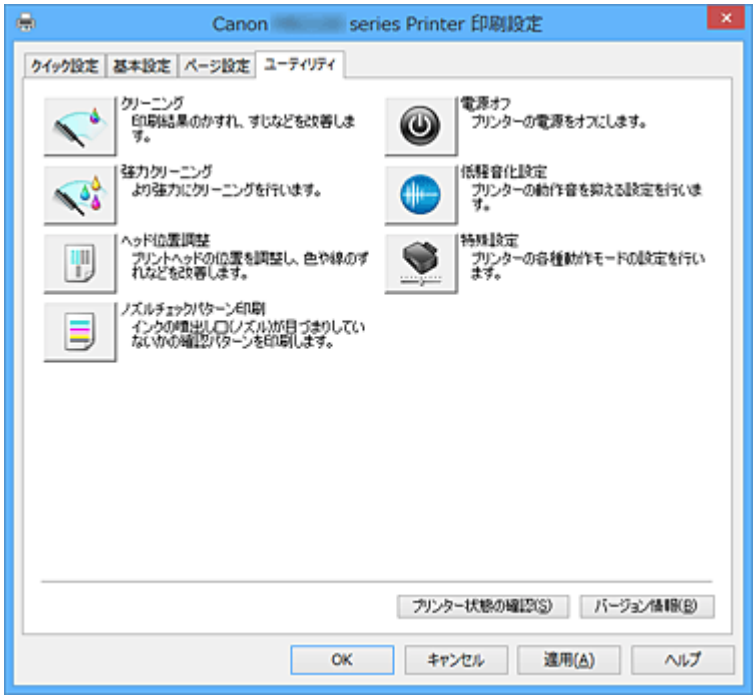
[削除]

不要になった背景を削除します。

[背景一覧] で不要になった背景のタイトルを指定し、クリックしてください。

［ユーティリティ］シートの画面説明

［ユーティリティ］シートでは、プリンターのメンテナンスを行ったり、プリンターの設定を変更したりすることができます。





［クリーニング］

プリントヘッドのクリーニングを行います。

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。

インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。



［強力クリーニング］

強力クリーニングを行います。

クリーニングを 2 回繰り返してもプリントヘッドの状態が改善しないときに実行してください。

参考

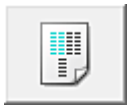
- ［強力クリーニング］は、［クリーニング］よりも多くのインクを使用します。
  頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ実行してください。

［インクグループ］

［クリーニング］、または［強力クリーニング］をクリックすると［インクグループ］が表示されます。

プリントヘッドのクリーニングを実行するインクグループを選びます。

［確認事項］をクリックすると、クリーニングまたは強力クリーニングの実行前に確認する項目が表示されます。



［ヘッド位置調整］

ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどを改善します。

プリントヘッドを取り付けた直後に、ヘッド位置調整を行ってください。

［ヘッド位置調整］をクリックすると［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスが表示されます。



[ノズルチェックパターン印刷]

ノズルチェックパターンを印刷します。

印刷がかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認することができます。

かすれていたり、印刷されない部分があったりする場合は、[クリーニング]をクリックして、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

[確認事項]をクリックすると、ノズルチェックパターン印刷前に確認する項目が表示されます。

[確認パターン印刷]

インク噴き出し口（ノズル）が目詰まりしていないかを確認するパターンを印刷します。

[確認パターン印刷]をクリックし、確認のメッセージで[OK]をクリックすると[パターンの確認]ダイアログボックスが表示されます。

左側ビットマップ（良い例）

ノズルは目づまりしていません。

右側ビットマップ（悪い例）

ノズルが目づまりしている可能性があります。

[終了]

[パターンの確認]ダイアログボックスを終了して、[ユーティリティ]シートに戻ります。

[クリーニング]

プリントヘッドのクリーニングを行います。

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。

インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。



[電源オフ]

プリンタードライバーから、プリンターの電源を切ります。

プリンターが離れた位置にあって、すぐに電源ボタンを押せないときなどに実行してください。

この操作を実行したあとで、再度電源を入れるときは、プリンターの電源ボタンを押してください。プリンタードライバーからプリンターの電源を再度入れることはできません。



[低騒音化設定]

[低騒音化設定]ダイアログボックスを表示します。

[低騒音化設定]ダイアログボックスでは、プリンターの動作音を抑える設定を行います。夜間の印刷など、プリンターの動作音が気になるときに便利です。低騒音化機能の設定を変更するときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。



[特殊設定]

[特殊設定]ダイアログボックスを表示します。

プリンターの設定を切り替えるときに実行してください。

参考

- プリンターの電源が入っていなかったり、プリンターとパソコンの通信をしない設定にしていたりすると、パソコンはプリンターの情報を取得できず、エラーメッセージが表示されることがあります。
  この場合、［OK］をクリックすると、お使いのパソコンで最後に設定した内容が表示されます。

［印刷履歴を表示］

Canon IJ XPS プレビューが起動し、印刷履歴を表示します。

参考

- この機能は、XPS プリンタードライバーでのみ使用できます。

［プリンター状態の確認］

Canon IJ ステータスモニタを起動します。
プリンターの状態や印刷の進行状況を確認するときにクリックしてください。

参考

- XPS プリンタードライバーをお使いの場合、「Canon IJ ステータスモニタ」は「Canon IJ XPS ステータスモニタ」となります。

［バージョン情報］

［バージョン情報］ダイアログボックスを表示します。
プリンタードライバーのバージョンや著作権などの情報を確認できます。
また、使用する言語を切り替えることができます。

［確認事項］（［クリーニング］／［強力クリーニング］）

［クリーニング］や［強力クリーニング］を行う前に、プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。

- インクの残量を確認してください。
- 音がするまでしっかりと装着されていることを確認してください。
- オレンジ色のテープがある場合は、テープをきれいにはがしてください。
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置が正しいことを確認してください。

［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックス

プリントヘッドの取り付け位置を調整したり、現在のヘッド位置の設定値を印刷したりします。

［ヘッド位置調整］

ヘッド位置調整を実行します。
ヘッド位置調整を行うと、プリントヘッドの取り付け位置の誤差が補正され、色や線のずれなどを改善します。
プリントヘッドを取り付けた直後に、ヘッド位置調整を行ってください。

［調整値の印刷］

現在のヘッド位置の設定値を確認したいときにクリックします。
現在の設定値を印刷します。

［ヘッド位置調整］ダイアログボックス

手動ヘッド位置調整を行う場合に、［ヘッド位置調整開始］ダイアログボックスの［ヘッド位置調整］をクリックし、メッセージに従って操作すると［ヘッド位置調整］ダイアログボックスが表示されます。
印刷されたパターンを確認して、プリントヘッドの位置を調整します。

プレビュー

［ヘッド位置調整］のパターンを表示し、選んだパターンの位置を確認できます。
画面上のパターンを直接クリックして、設定を変更することもできます。

調整値の入力

印刷された調整パターンの中から、すじまたは横しまが最も目立たないパターンの数値を対応するボックスに入力します。

参考

- 印刷されたパターンの見かたがわからない場合は、プリントヘッドの位置を調整するを参照してください。

［確認事項］（［ノズルチェックパターン印刷］）

［ノズルチェックパターン印刷］を行う前に、プリンターの電源が入っていることを確認し、プリンターのカバーを開きます。
各インクについて次の項目をチェックしてください。

- インクの残量を確認してください。
- 音がするまでしっかりと装着されていることを確認してください。
- オレンジ色のテープがある場合は、テープをきれいにはがしてください。
  テープが残っているとインクが出にくくなります。
- インクの装着位置が正しいことを確認してください。

［低騒音化設定］ダイアログボックス

［低騒音化設定］をクリックすると［低騒音化設定］ダイアログボックスが表示されます。
［低騒音化設定］ダイアログボックスでは、プリンターの動作音を抑える設定を行います。
夜間に印刷する場合など、動作音が気になるときに使用してください。
この機能を使用すると、印刷速度が低下することがあります。

［低騒音化モードで使用しない］

プリンターの動作音を通常の状態で使用するときに選びます。

［常に低騒音化モードで使用する］

プリンターの動作音を抑えるときに選びます。

［指定した時間だけ低騒音化モードで使用する］

特定の時間帯だけプリンターの動作音を抑えるときに選びます。
低騒音化モードを使用する［開始時刻］と［終了時刻］を設定してください。同じ時刻に設定した場合は、低騒音化モードは機能しません。

重要

- 低騒音化モードは、プリンターの操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）から設定することができます。
  いずれの方法で設定した場合でも、プリンターの操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。

[特殊設定] ダイアログボックス

[特殊設定] をクリックすると [特殊設定] ダイアログボックスが表示されます。
必要に応じてプリンターの設定を変更します。

[用紙のこすれを改善する]

高濃度のページを印刷する場合に、プリントヘッドと用紙の間隔を広げて、用紙のこすれを改善することができます。
用紙のこすれを改善するときは、チェックマークを付けてください。

[手動でヘッド位置を調整する]

通常、[ユーティリティ] シートの [ヘッド位置調整] の機能は、自動ヘッド位置調整に設定されていますが、手動ヘッド位置調整に変更することができます。
自動ヘッド位置調整を行っても印刷結果が思わしくない場合は、手動ヘッド位置調整を行ってください。
手動でヘッド位置の調整を行うときは、チェックマークを付けてください。

[印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする]

[ページ設定] シートの [印刷の向き] の [横] に対する回転方向を変更することができます。
左 90 度に回転させて印刷するときは、チェックマークを付けてください。

参考

- [ページ設定] シートの [用紙サイズ] で [洋形 4 号]、[洋形 6 号]、[商用 10 号封筒]、[DL 封筒]、[C5 封筒]、または [Monarch 封筒] を選んでいる場合、[ユーティリティ] シートの [特殊設定] の [印刷の向き[横]の回転方向を左 90 度にする] の設定に関わらず、印刷の向きを左 90 度に回転して印刷します。

[パソコンからの印刷時に用紙の設定不一致を検知しない]

パソコンからの印刷時に、プリンタードライバーでの用紙設定と、プリンター本体で登録するカセットの用紙情報が異なっていても、メッセージを表示させずに印刷を続けることができます。
用紙設定の不一致を検知させない場合はチェックマークを付けます。

[インク乾燥待ち時間]

次ページの印刷開始までに、プリンターが休止する時間の長さを設定できます。スライドバーを右にドラッグするほど長く、左にドラッグするほど短くなります。
印刷面が完全に乾かないうちに次ページが排紙されて、用紙が汚れるような場合は、インク乾燥待ち時間を長く設定してください。
短く設定した場合は、印刷時間が速くなります。

[バージョン情報] ダイアログボックス

[バージョン情報] をクリックすると [バージョン情報] ダイアログボックスが表示されます。
プリンタードライバーのバージョンや著作権、モジュール一覧を表示します。使用する言語を選んで設定画面の表示言語を切り替えます。

モジュール一覧

プリンタードライバーのモジュール一覧です。

[言語]

プリンタードライバーの設定画面で使用する言語を切り替えることができます。

重要

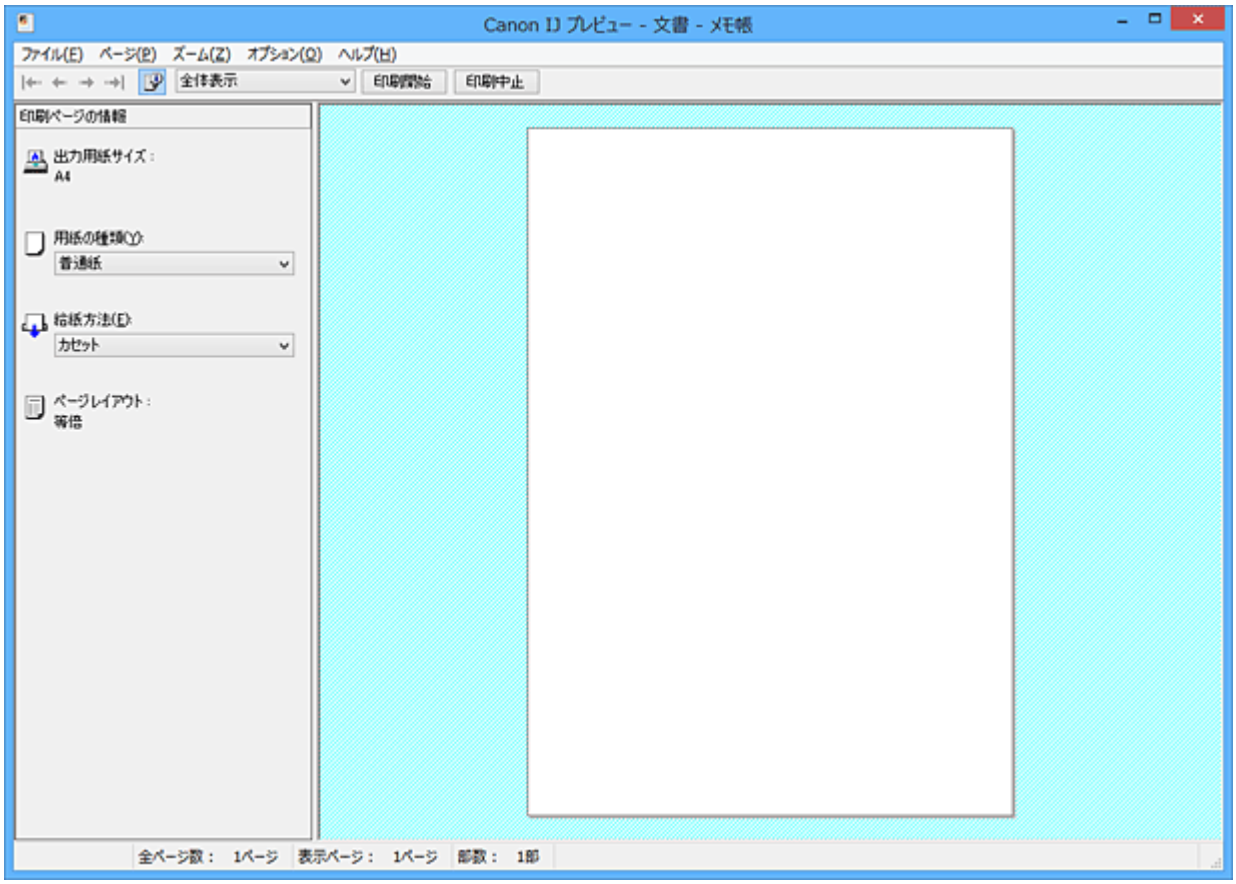
- 選んだ言語を表示させるために必要なフォントがシステムにインストールされていない場合は、設定画面は文字化けします。

関連項目

- プリントヘッドをクリーニングする
- プリントヘッドの位置を調整する
- ノズルチェックパターンを印刷する
- プリンターの電源を操作する
- プリンターの動作音を抑える
- プリンターの設定を変更する

Canon IJ プレビューの画面説明

Canon IJ プレビューは、実際に印刷を行う前に、どのような印刷結果になるかを表示するためのアプリケーションソフトです。
プリンタードライバーで設定した内容が反映されたプレビューで、レイアウト、印刷順序、ページ数などを確認することができます。また、用紙の種類や給紙方法の設定を変更することもできます。
印刷前にプレビューを表示するときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、[基本設定] シートで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けてください。



[ファイル] メニュー

印刷時の動作を選びます。

[印刷開始]

Canon IJ プレビューを終了してから、現在プレビュー表示している文書の印刷を開始します。
ツールバーの [印刷開始] と同じ機能です。

[印刷中止]

Canon IJ プレビューを終了し、現在プレビュー表示している文書の印刷を中止します。
ツールバーの [印刷中止] と同じ機能です。

[終了]

Canon IJ プレビューを終了します。

[ページ] メニュー

次のコマンドで、表示するページを選びます。
[ページの指定] を除いて、ツールバーでも選べます。

参考

- スプール中の場合、スプール済みの最後のページが最終ページとなります。

- ［ページ設定］シートの［ページレイアウト］で［割り付け］、［分割/ポスター］、または［冊子］が指定されている場合、ページ数はアプリケーションソフトで作成した原稿のページ数ではなく、印刷時の用紙の枚数になります。
- 手動両面印刷の場合、先に印刷される表のページをまとめて表示してから、裏のページが表示されます。

［先頭ページ］

文書の先頭ページを表示します。
現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

［前のページ］

現在表示されているページの前のページを表示します。
現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

［次のページ］

現在表示されているページの次のページを表示します。
現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

［最終ページ］

文書の最終ページを表示します。
現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

［ページの指定］

［ページの指定］ダイアログボックスを表示します。
表示するページをページ番号で指定することができます。

［ズーム］メニュー

実際に用紙に印刷されるサイズと、プレビューの表示サイズの比率を選びます。
ツールバーのドロップダウンリストボックスからも選べます。

［全体表示］

用紙 1 枚分を 1 ページとして、ページ全体を表示します。

［50%］

実際に用紙に印刷されるサイズの 50%に縮小して表示します。

［100%］

実際に用紙に印刷されるサイズで表示します。

［200%］

実際に用紙に印刷されるサイズの 200%に拡大して表示します。

［400%］

実際に用紙に印刷されるサイズの 400%に拡大して表示します。

［オプション］メニュー

コマンドを選ぶと、次の情報を表示します。

［印刷ページの情報を表示する］

プレビュー画面の左側に、印刷時の設定情報（出力用紙サイズ、用紙の種類、ページレイアウトなど）をページごとに表示します。
この画面では、用紙の種類や給紙方法の設定を変更できます。

［ヘルプ］メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ プレビューのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。

［印刷開始］

Canon IJ プレビューを終了してから、現在プレビュー表示している文書の印刷を開始します。
スプール中でも、クリックできます。

［印刷中止］

Canon IJ プレビューを終了し、現在プレビュー表示している文書の印刷を中止します。
スプール中でも、クリックできます。

［印刷ページの情報］画面

プレビュー画面の左側に、印刷時の設定情報をページごとに表示します。
この画面では、用紙の種類や給紙方法の設定を変更できます。

重要

- アプリケーションソフトから用紙の種類や給紙方法の設定を行っている場合は、その設定が優先され、設定の変更が無効になることがあります。

［出力用紙サイズ］

印刷する文書の用紙のサイズを表示します。

［用紙の種類］

印刷する文書の用紙の種類を選ぶことができます。

［給紙方法］

印刷する文書の給紙方法を選ぶことができます。

［ページレイアウト］

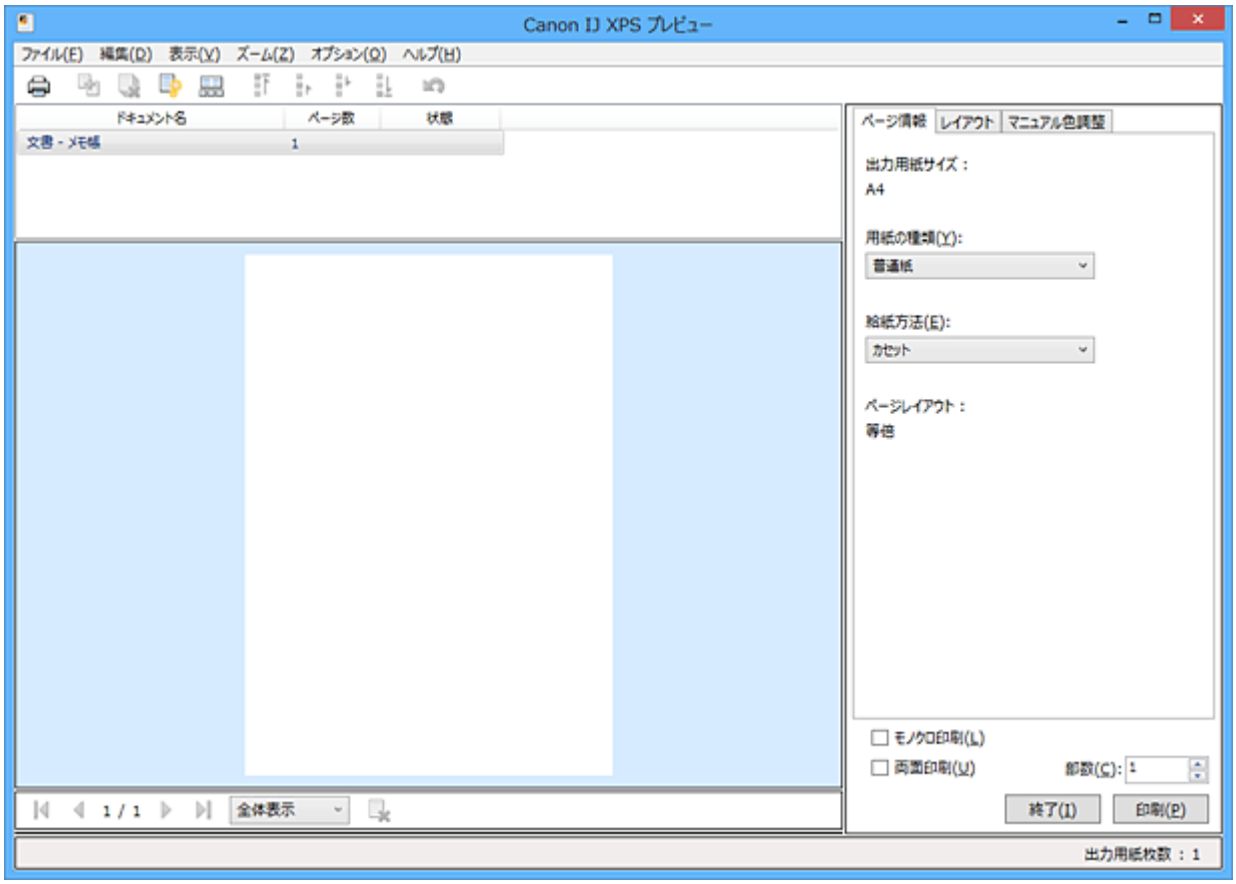
印刷する文書のページレイアウトを表示します。

Canon IJ XPS プレビューの画面説明

Canon IJ XPS プレビューは、実際に印刷を行う前に、どのような印刷結果になるかを表示するためのアプリケーションソフトです。
プリンタードライバーで設定した内容が反映されたプレビューで、レイアウト、印刷順序、ページ数などを確認することができます。また、印刷ドキュメントの編集や印刷ページの編集、印刷設定の変更などを行うことができます。
印刷前にプレビューを表示するときは、プリンタードライバーの設定画面を開き、[基本設定] シートで [印刷前にプレビューを表示] にチェックマークを付けてください。

重要

- Canon IJ XPS プレビューを使用するためには、お使いのパソコンに Microsoft .NET Framework 4 Client Profile がインストールされている必要があります。



[ファイル] メニュー

印刷時の動作や印刷履歴の設定を選びます。

[印刷]

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを印刷します。
印刷したドキュメントは一覧から削除され、すべてのドキュメントが印刷されると Canon IJ XPS プレビューを終了します。
ツールバーの（印刷）、印刷設定エリアの [印刷] と同じ機能です。

[すべてのドキュメントを印刷]

ドキュメント一覧にあるすべてのドキュメントを印刷し、Canon IJ XPS プレビューを終了します。

[印刷履歴を保存]

Canon IJ XPS プレビューから印刷されたドキュメントを印刷履歴に保存するかを切り替えます。

［保存する履歴の件数］

印刷履歴の登録数の上限を切り替えます。

［10 件］、［30 件］、［100 件］のいずれかを選びます。

重要

- 登録数の上限を超えると、印刷履歴の古いものから削除されます。

［履歴ドキュメントを追加］

印刷履歴に保存されたドキュメントをドキュメント一覧に追加します。

［終了］

Canon IJ XPS プレビューを終了します。ドキュメント一覧に残ったドキュメントは、一覧から削除されます。

印刷設定エリアの［終了］と同じ機能です。

［編集］メニュー

複数のドキュメントやページを編集する方法を選びます。

［元に戻す］

直前に行った変更を元に戻します。

変更を元に戻せない場合は、グレー表示となり、選べません。

ツールバーの （元に戻す）と同じ機能です。

［ドキュメント］

印刷ドキュメントを編集する方法を選びます。

［ドキュメントの結合］

ドキュメント一覧で選んだ複数のドキュメントを、まとめてひとつの原稿にします。

選んだドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、設定できません。

ツールバーの  （ドキュメントの結合）と同じ機能です。

［ドキュメントの初期化］

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを、Canon IJ XPS プレビューに追加されたときの状態に戻します。

結合されたドキュメントは分離されて、元のドキュメントに戻ります。

ツールバーの  （ドキュメントの初期化）と同じ機能です。

［ドキュメントの移動］

次のコマンドで、ドキュメント一覧で選んだドキュメントの順序を変更します。

［先頭へ移動］

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の先頭に移動します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

［1 つ上へ移動］

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ上へ移動します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

［1 つ下へ移動］

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ下へ移動します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

［最後へ移動］

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の最後に移動します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

［ドキュメントの削除］

選んだドキュメントをドキュメント一覧から削除します。
ドキュメント一覧にあるドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、選べません。
ツールバーの  （ドキュメントの削除）と同じ機能です。

［モノクロ印刷］

モノクロ印刷設定を変更します。
印刷設定エリアの［モノクロ印刷］チェックボックスと同じ機能です。

［割り付け印刷...］

［割り付け印刷］ダイアログボックスを開きます。
［割り付け印刷］ダイアログボックスでは、［割り付け印刷］、［割り付け］、［ページ順序］、［枠線］の設定ができます。

［両面印刷...］

［両面印刷］ダイアログボックスを開きます。
［両面印刷］ダイアログボックスでは［両面印刷］、［自動］、［とじ方向］、［とじしろ］の設定ができます。

［部数...］

［部数］ダイアログボックスを開きます。
［部数］ダイアログボックスでは［部数］、［部単位で印刷］、［最終ページから印刷］の設定ができます。

［ページ］

印刷ページを編集する方法を選びます。

［ページの削除］

選んでいるページを削除します。
割り付け印刷設定を行っている場合、赤枠で囲まれたページが削除されます。
ツールバーの  （ページの削除）と同じ機能です。

［ページの復元］

［ページの削除］によって削除されたページを復元します。
ページの復元を行うには、［オプション］メニューの［削除されたページを表示］にチェックマークを付けて、削除されたページをサムネイルに表示させておく必要があります。

［ページの移動］

次のコマンドで、選んでいるページの順序を変更します。

［先頭へ移動］

選んでいるページをドキュメントの先頭に移動します。
現在選んでいるページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

［1 つ前へ移動］

選んでいるページを現在の位置からひとつ前へ移動します。
現在選んでいるページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

［1 つ後ろへ移動］

選んでいるページを現在の位置からひとつ後へ移動します。
現在選んでいるページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

［最後へ移動］

選んでいるページをドキュメントの最後に移動します。
現在選んでいるページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

［表示］メニュー

表示するドキュメントやページを選びます。

[ドキュメント]

次のコマンドで、表示するドキュメントを選びます。

[先頭のドキュメント]

ドキュメント一覧の先頭にあるドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

[前のドキュメント]

現在表示されているドキュメントの前のドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

[次のドキュメント]

現在表示されているドキュメントの次のドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

[最後のドキュメント]

ドキュメント一覧の最後にあるドキュメントを表示します。

現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

[ページ]

次のコマンドで、表示するページを選びます。

参考

- プリンタードライバーの［ページレイアウト］で［分割/ポスター］、または［冊子］が指定されている場合、ページ数はアプリケーションソフトで作成した原稿のページ数ではなく、印刷時の用紙の枚数になります。

[先頭ページ]

文書の先頭ページを表示します。

現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

[前のページ]

現在表示されているページの前のページを表示します。

現在表示されているページが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

[次のページ]

現在表示されているページの次のページを表示します。

現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

[最終ページ]

文書の最終ページを表示します。

現在表示されているページが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

[ページの指定...]

［ページの指定］ダイアログボックスを表示します。

表示するページをページ番号で指定することができます。

［ズーム］メニュー

実際に用紙に印刷されるサイズと、プレビューの表示サイズの比率を選びます。

ツールバーのドロップダウンリストボックスからも選べます。

[全体表示]

用紙 1 枚分を 1 ページとして、ページ全体を表示します。

[50%]

実際に用紙に印刷されるサイズの 50%に縮小して表示します。

[100%]

実際に用紙に印刷されるサイズで表示します。

［200%］

実際に用紙に印刷されるサイズの 200%に拡大して表示します。

［400%］

実際に用紙に印刷されるサイズの 400%に拡大して表示します。

［オプション］メニュー

次の情報の表示/非表示を切り替えます。

［サムネイルを表示］

ドキュメント一覧で選んだドキュメントの全ページを、プレビュー画面の下側に縮小して表示します。

ツールバーの  （サムネイルを表示）と同じ機能です。

［ドキュメント一覧を表示］

プレビュー画面の上側に、印刷ドキュメントの一覧を表示します。

［印刷設定エリアを表示］

プレビュー画面の右側に、印刷設定エリアを表示します。

［削除されたページを表示］

サムネイルを表示しているときに、［ページの削除］によって削除されたページを表示します。

削除されたページを確認するには、［サムネイルを表示］にチェックマークを付けておく必要があります。

［印刷したドキュメントを残す］

印刷したドキュメントをドキュメント一覧に残します。

［起動時に表示する印刷設定］

Canon IJ XPS プレビューの起動時に表示される印刷設定エリアのシートを切り替えます。

［ページ情報］、［レイアウト］、または［マニュアル色調整］のいずれかを選びます。

［ヘルプ］メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ XPS プレビューのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。

 **（印刷）**

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを印刷します。

印刷したドキュメントは一覧から削除され、すべてのドキュメントが印刷されると Canon IJ XPS プレビューを終了します。

 **（ドキュメントの結合）**

ドキュメント一覧で選んだ複数のドキュメントを、まとめてひとつの原稿にします。

選んだドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、選べません。

 **（ドキュメントの削除）**

選んだドキュメントをドキュメント一覧から削除します。

ドキュメント一覧にあるドキュメントがひとつの場合、グレー表示となり、選べません。

 **（ドキュメントの初期化）**

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを、Canon IJ XPS プレビューに追加されたときの状態に戻します。

結合されたドキュメントは分離されて、元のドキュメントに戻ります。

 **（サムネイルを表示）**

ドキュメント一覧で選んだドキュメントの全ページを、プレビュー画面の下側に縮小して表示します。

非表示にする場合は、再度［サムネイルを表示］をクリックしてください。

（先頭へ移動）

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の先頭に移動します。
現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

（1 つ上へ移動）

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ上へ移動します。
現在選んでいるドキュメントが先頭の場合、グレー表示となり、選べません。

（1 つ下へ移動）

選んだ印刷ドキュメントを現在の位置からひとつ下へ移動します。
現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

（最後へ移動）

選んだ印刷ドキュメントをドキュメント一覧の最後に移動します。
現在選んでいるドキュメントが最後の場合、グレー表示となり、選べません。

（元に戻す）

直前に行った変更を元に戻します。
変更を元に戻せない場合は、グレー表示となり、選べません。

（ページの削除）

選んでいるページを削除します。
割り付け印刷設定を行っている場合、赤枠で囲まれたページが削除されます。

ドキュメントの一覧

印刷ドキュメントの一覧を表示します。
ドキュメント一覧で選んだドキュメントが、プレビュー表示や編集の対象となります。

［ドキュメント名］

印刷ドキュメントの名称を表示します。
選んだ印刷ドキュメントをクリックすると、テキストボックスが表示され、任意の名称に変更することができます。

［ページ数］

印刷ドキュメントのページ数を表示します。

重要

- ［ページ数］で表示される数値と出力用紙枚数は異なります。
- 出力用紙枚数を確認する場合は、プレビュー画面の下側にあるステータスバーをご確認ください。

［状態］

印刷ドキュメントの状態を表示します。
データ処理中のドキュメントは、［データ処理中］と表示されます。

重要

- ［データ処理中］と表示されているドキュメントは印刷や編集を行うことができません。
  データ処理が終了するまでお待ちください。

印刷設定エリア画面

ドキュメント一覧で選んだドキュメントの、印刷設定の確認や変更ができます。
印刷設定エリアは、プレビュー画面の右側に表示されます。

［ページ情報］シート

印刷時の設定情報をページごとに表示します。
用紙の種類や給紙方法の設定を変更できます。

[出力用紙サイズ]

印刷する文書の用紙のサイズを表示します。

[用紙の種類]

印刷する文書の用紙の種類を選ぶことができます。

[給紙方法]

印刷する文書の給紙方法を選ぶことができます。

[ページレイアウト]

印刷する文書のページレイアウトを表示します。

[レイアウト] シート

割り付け印刷設定を行うことができます。

行った設定は［適用］を押すことで反映されます。

割り付け印刷設定を変更できない印刷ドキュメントでは、各項目がグレー表示となり、設定できません。

[マニュアル色調整] シート

印刷の色合いを決定する［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［明るさ］、［濃度］、［コントラスト］などの設定を変更して、好みの色に調整します。

[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]

［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］の強弱を調整します。

スライドバーを右にドラッグするほど強く、左にドラッグするほど弱くなります。

スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。

重要

- ［モノクロ印刷］にチェックマークが付いているとき、［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］はグレー表示となり設定できません。

[明るさ]

印刷結果の明るさを選びます。

完全な白と黒は変化せず、その中間の色の明るさが変わります。

[濃度]

印刷の濃度を調整します。

スライドバーを右にドラッグするほど濃く、左にドラッグするほど薄くなります。

スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

[コントラスト]

印刷する画像の明暗の差を調整します。

スライドバーを右にドラッグするほど明暗の差が大きく、左にドラッグするほど明暗の差が小さくなります。

スライドバーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は-50～50 の範囲で設定してください。

[標準に戻す]

変更した設定を、標準の設定に戻します。

クリックすると、このシート内のすべての設定は、標準の設定（工場出荷時の設定）に戻ります。

[モノクロ印刷]

モノクロ印刷設定を変更できます。

[両面印刷]

用紙の両面に印刷するか、片面に印刷するかを選びます。

両面印刷設定を変更できない印刷ドキュメントの場合、グレー表示となり設定できません。

重要

- [ページレイアウト]で[冊子]を選ぶと、印刷設定エリアの[両面印刷]が自動的に設定されます。この場合は、[両面印刷]はグレー表示となり、設定できません。

[部数]

印刷する部数を指定します。1～999 部まで指定可能です。

部数を変更できない印刷ドキュメントの場合、グレー表示となり設定できません。

[終了]

Canon IJ XPS プレビューを終了します。

ドキュメント一覧に残ったドキュメントは、一覧から削除されます。

[印刷]

ドキュメント一覧で選んだドキュメントを印刷します。

印刷したドキュメントは一覧から削除され、すべてのドキュメントが印刷されると Canon IJ XPS プレビューを終了します。

Canon IJ ステータスモニタの画面説明

Canon IJ ステータスモニタは、プリンターの状態や印刷の進行状況を表示します。絵やアイコン、メッセージでプリンターの状態を知ることができます。



Canon IJ ステータスモニタの特長

Canon IJ ステータスモニタには、次のような機能があります。

プリンターの状態を画面上で確認

プリンターの状態をリアルタイムに表示します。
印刷文書（印刷ジョブ）ごとの進行状況を確認できます。

エラーの内容と対処方法の表示

プリンターにエラーが発生したときに表示します。
どのような対処方法をしたらよいか即座に確認できます。

インク状態の確認

インクタンクの種類や推定インクレベルを絵で表示します。
インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます（インク残量警告）。

Canon IJ ステータスモニタの概要

プリンターの状態やインクの状態を、絵とメッセージで表示します。
印刷中は印刷文書に関する情報や進行状況を確認できます。
エラーが発生すると、その内容と対処方法を表示しますので、メッセージに従ってください。

プリンター

プリンターに警告やエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。
：警告（オペレーターコールエラー）が発生しているか、何らかの操作をプリンターで行っている途中の状態であることを示しています。
：修理の必要なエラーが発生しています。

インクタンク

インク残量警告やインクなしエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。
また、インクタンクの推定インクレベルを絵で表示します。
その場合は、絵をクリックすると［インク詳細情報］ダイアログボックスを表示し、インクの残量やプリンターに合ったインクタンクの名称などの詳細情報を確認できます。

［ドキュメント名］

印刷中の文書の名称を表示します。

［所有者］

印刷中の文書の所有者名を表示します。

［印刷ページ］

印刷中のページ数/総ページ数を表示します。

[印刷待ち一覧を表示]

印刷中のドキュメントや印刷待ちのドキュメントを管理する、印刷キューを表示します。

[印刷中止]

進行中の印刷を中止します。

重要

- [印刷中止]は、印刷データをプリンターに転送している間だけ有効です。印刷データの転送が終わると、グレー表示となり、無効になります。

[オプション]メニュー

[ステータスモニタを使用]を選ぶと、プリンター関連のメッセージが発生した場合、Canon IJ ステータスモニタを起動します。

[ステータスモニタを使用]を選ぶ場合、次のコマンドを使用できます。

[印刷中に表示]

印刷中にかならず Canon IJ ステータスモニタを表示します。

[常に手前に表示]

Canon IJ ステータスモニタを常に最前面に表示します。

[ガイドメッセージを表示]

用紙のセット方法がわかりにくい操作のガイドを表示します。

[封筒印刷]

封筒印刷開始時、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、[今後、このメッセージを表示しない]にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、[オプション]メニューの[ガイドメッセージを表示]から[封筒印刷]をクリックして、設定を有効にしてください。

[はがき印刷]

はがきの印刷を開始する前に、ガイドメッセージを表示します。

このガイドメッセージは、[今後、このメッセージを表示しない]にチェックマークを付けると、非表示にすることができます。

ガイドを再び表示するには、[オプション]メニューの[ガイドメッセージを表示]から[はがき印刷]をクリックして、設定を有効にしてください。

[警告発生時に自動的に表示]

[インク残量警告のとき]

インク残量警告が発生したとき、Canon IJ ステータスモニタを自動的に起動し、ほかのウィンドウよりも手前に表示します。

[Windows と同時に起動]

Windows を起動したとき、Canon IJ ステータスモニタが自動的に起動します。

[インク詳細情報]メニュー

このメニューを選ぶと、[インク詳細情報]ダイアログボックスが表示され、インクの残量やプリンターに合ったインクタンクの名称などの詳細情報を確認できます。

[インク詳細情報]ダイアログボックス

インクタンクの種類や推定インクレベルを絵とメッセージで表示します。

インク情報欄（左側に表示）

インクタンクの種類を絵で表示します。

インクの残量に関する警告やエラーが発生すると、アイコンを表示して知らせます。

その場合は、画面に表示された方法に従って操作してください。

メッセージ欄（右側に表示）

インクの状態や色などの情報を、文章で表示します。

［インクの型番情報］

プリンターに合ったインクタンクを調べることができます。

［閉じる］

［インク詳細情報］ダイアログボックスを閉じ、Canon IJ ステータスモニタに戻ります。

［ヘルプ］メニュー

このメニューを選ぶと、Canon IJ ステータスモニタのヘルプを表示したり、バージョンや著作権情報を確認したりすることができます。

MP ドライバーの更新

- 最新の MP ドライバーを入手する
- 不要になった MP ドライバーを削除する
- MP ドライバーをインストールする前に
- MP ドライバーをインストールする

最新の MP ドライバーを入手する

MP ドライバーには、プリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）、ファクスドライバーが含まれています。

現在使用している MP ドライバーから、最新の MP ドライバーにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

最新の MP ドライバーを入手するには、キヤノンのウェブサイトにアクセスし、お使いの機種の MP ドライバーをダウンロードしてください。

重要

- MP ドライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。
- 最新の MP ドライバーは、前のバージョンを削除してからインストールしてください。

関連項目

- MP ドライバーをインストールする前に
- MP ドライバーをインストールする

不要になった MP ドライバーを削除する

使わなくなった MP ドライバーは削除することができます。
MP ドライバーを削除するときは、使用中のアプリケーションソフトをすべて終了させてください。

不要になった MP ドライバーを削除する手順を説明します。

1. アンインストーラーを起動

   - ［コントロール パネル］→［プログラム］→［プログラムと機能］の順に選びます。
     プログラムの一覧から「XXX MP Drivers」（「XXX」は機種名）を選び、［アンインストール］をクリックします。

   アンインストールする機種を確認する画面が表示されます。

   重要

   - ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
     このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
     管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、［はい］（または［続行］、［許可］）をクリックして、操作を続けてください。
     ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

2. アンインストールを実行

   ［実行］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［はい］をクリックします。
   すべてのファイルが削除されたら［完了］をクリックします。

   以上で MP ドライバーが削除されます。

重要

- MP ドライバーをアンインストールすると、プリンタードライバー、XPS プリンタードライバー、ScanGear（スキャナードライバー）、ファクスドライバーが削除されます。

MP ドライバーをインストールする前に

MP ドライバーをインストールする前に、確認するべき内容を説明します。MP ドライバーがインストールできない場合にも参照してください。

プリンターの状態を確認する

- プリンターの電源はオフにしてください。

パソコンの設定を確認する

- 起動中のアプリケーションソフトはすべて終了してください。
- 管理者の権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

重要

- 最新の MP ドライバーは、前のバージョンを削除してからインストールしてください。

関連項目

- 最新の MP ドライバーを入手する
- MP ドライバーをインストールする

MP ドライバーをインストールする

インターネット経由で、キヤノンのウェブサイトにアクセスすると、最新の MP ドライバーや XPS プリンタードライバーをダウンロードすることができます。

入手した MP ドライバーをインストールする手順を説明します。

1. プリンターの電源を切る

2. インストーラーを起動

   入手したファイルのアイコンをダブルクリックします。
   インストールプログラムが起動します。

   重要

   - ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりした場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
     このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
     管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、[はい]（または [続行]、[許可]）をクリックして、操作を続けてください。
     ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が続行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやり直してください。

3. MP ドライバーをインストール

   画面の指示に従って操作します。

4. インストールを完了

   [完了] をクリックします。

お使いの環境によっては、パソコンの再起動を促すメッセージが表示されます。正しくインストールを完了するために、再起動してください。

重要

- XPS プリンタードライバーは、MP ドライバーと同様の手順でインストールすることができます。ただし、XPS プリンタードライバーをインストールする場合は、あらかじめ MP ドライバーのインストールを完了させてください。
- MP ドライバーや XPS プリンタードライバーは無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。
- 最新の MP ドライバーは、前のバージョンを削除してからインストールしてください。

関連項目

- 最新の MP ドライバーを入手する
- 不要になった MP ドライバーを削除する
- MP ドライバーをインストールする前に

ウェブサービスを使って印刷してみよう

- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- Google Cloud Print を利用して印刷してみよう

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

➡ プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
➡ スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用の前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

Google Cloud Print を利用して印刷してみよう

本製品は Google Inc.が提供するサービス Google Cloud Print™に対応しています。

Google Cloud Print を利用すると、Google Cloud Print に対応したアプリやサービスで、どこからでも印刷できます。

インターネットを介して印刷データを送信して印刷



いったん Google Cloud Print に本製品を登録すると、インターネットに接続しなくても Google Cloud Print に対応したアプリやサービスから印刷できます。

インターネットを介さずに印刷データを送信して印刷



重要

- お客様がお住まいの国と地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。
- Google Cloud Print を利用するには、事前に Google アカウントを取得し、Google Cloud Print に本製品を登録してください。

  また、Google Cloud Print に本製品を登録するときは、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

1. Google アカウントを取得する
2. Google Cloud Print に本製品を登録する
3. パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する

重要

- 本製品の所有者が変わる場合は、Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。

  ➡ Google Cloud Print から本製品の登録を削除する

Google Cloud Print から本製品の登録を削除するときも、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Google アカウントを取得する

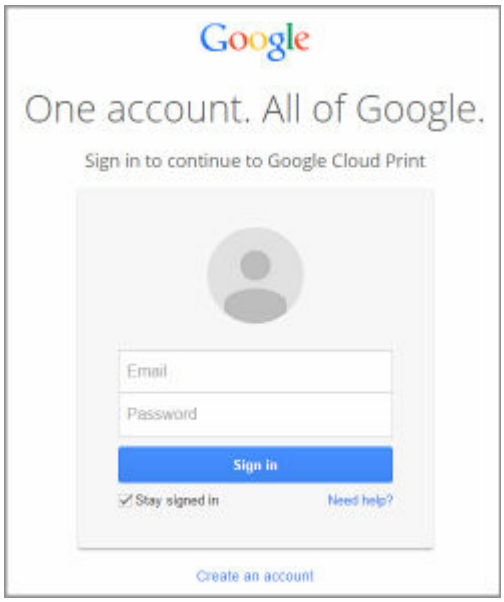
Google Cloud Print を利用して印刷するには、事前に Google アカウントを取得し、Google Cloud Print に本製品を登録する必要があります。

参考

- すでに Google アカウントをお持ちの場合は、Google Cloud Print に本製品を登録してください。

  Google Cloud Print に本製品を登録する

パソコンなどのウェブブラウザーで Google Cloud Print のウェブサイトにアクセスして、必要な情報の登録を行ってください。



*上の表示画面は変更される可能性があります。

Google Cloud Print に本製品を登録する

Google Cloud Print に本製品を登録する方法は 2 通りあります。

- Google Chrome を使用して登録する
- 本製品を使用して登録する

重要

- Google アカウントを取得していない場合は、Google アカウント取得してください。
  - Google アカウントを取得する
- 本製品の所有者が変わる場合は、Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。
  - Google Cloud Print から本製品の登録を削除する
- 本製品を登録するときや本製品の登録を削除するときは、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Google Chrome を使用して登録する

1. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する
2.  （Chrome メニュー）から［Chrome にログイン...］を選ぶ
3. Google アカウントへログインする
4.  （Chrome メニュー）から［設定］を選ぶ
5. ［詳細設定を表示...］で情報を表示する
6. ［Google クラウドプリント］の［管理］を選ぶ
7. 新しいデバイスとして［Canon MB5100 series］と［登録］ボタンが表示されたら、［登録］を選ぶ
8. 本製品を登録するか確認するメッセージが表示されたら［はい］を選ぶ
9. 本製品のタッチスクリーンで、Google Cloud Print への登録確認画面が表示されたら、［はい］を選ぶ

   本製品の登録が完了します。

本製品を使用して登録する

重要

- 管理者パスワードの有効範囲の設定によっては、管理者パスワードの入力が必要な場合があります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

3.  ［Web サービス設定］をタップする

4. ［Web サービス接続設定］→［Google Cloud Print 設定］→［Google Cloud Print への登録］を順にタップする

   参考

   - すでに Google Cloud Print に本製品を登録している場合は、再登録の確認メッセージが表示されます。

5. 本製品を登録するか確認するメッセージが表示されたら［はい］をタップする

6. Google Cloud Print の印刷設定で表示する言語を選択するメッセージが表示されたら［次へ］をタップする

7. Google Cloud Print の印刷設定で表示する言語をタップする

   認証先 URL の印刷確認メッセージが表示されます。

8. A4 サイズの普通紙をセットし、［OK］をタップする

   認証先の URL が印刷されます。

9. 認証先の URL が印刷されたことを確認したら［はい］をタップする

10. パソコンなどのウェブブラウザーを使用して認証処理を行う

    パソコンなどのウェブブラウザーで認証先の URL にアクセスし、表示される内容に従って認証処理を行ってください。

    重要

    - 印刷された URL へのアクセスと認証処理は、すみやかに行ってください。
    - 認証処理の制限時間が過ぎると、本製品のタッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。［OK］をタップしてください。再度、認証先 URL の印刷確認メッセージが表示されますので、手順 8 からやり直してください。

    参考

    - 事前に取得した Google アカウントを利用して、認証処理を行います。

11. 本製品のタッチスクリーンに登録完了のメッセージが表示されたら、［OK］をタップする

    正しく登録されたら、登録内容が表示されます。登録が完了したら、Google Cloud Print を利用して印刷を行うことができます。

パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する

Google Cloud Print を利用して印刷データを送信すると、本製品は自動的に印刷データを受信して印刷します。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンなどから Google Cloud Print を利用して印刷するときは、あらかじめ用紙を本製品にセットしてください。

Google Cloud Print を利用して印刷する方法は以下の 2 通りあります。

- インターネットを介して印刷する

  本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。

  ➡ インターネットを介して印刷データを送信する

- インターネットを介さずに印刷する

  本製品をローカルネットワークに接続する、または本製品をダイレクト接続にしてください。また、本製品の Bonjour 設定を有効にしてください。

  ➡ インターネットを介さずに印刷データを送信する

参考

- 通信状況によっては、印刷開始まで時間がかかる、または印刷データを受信できない場合があります。
- 本製品を操作しているときやエラーが発生しているなど、本製品の状態によっては Google Cloud Print を利用して印刷している途中で印刷が中止される場合があります。印刷を再開するときは本製品の状態を確認してから、再度 Google Cloud Print を利用して印刷してください。
- 印刷設定について：
  - 用紙の種類として普通紙以外を選んだ場合、または用紙のサイズとして A4 サイズ／レターサイズ以外を選んだ場合は、両面印刷設定を選んでいても、片面で印刷されます。
  - 用紙の種類として普通紙を選んだ場合、または用紙のサイズとして B5 サイズ／A5 サイズを選んだ場合は、フチなし印刷設定を選んでいても、フチありで印刷されます。
  - 印刷データによっては、印刷イメージと印刷結果が異なる場合があります。
  - 印刷指示をする機器によっては、Google Cloud Print を利用して印刷データを送信するときに印刷設定ができない場合があります。

インターネットを介して印刷データを送信する

ここでは、パソコンの Google Chrome ブラウザーから印刷データを送信する操作について説明します。機器やアプリ、サービスによって、操作は異なります。

重要

- インターネットを介して印刷データを送信するときは、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

   参考

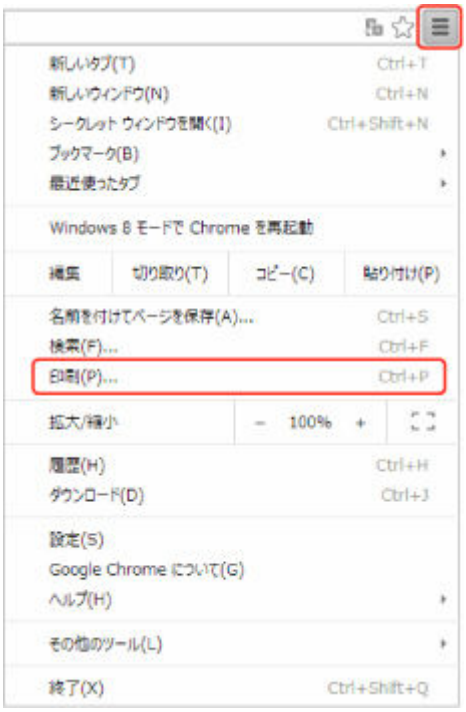
   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する

3. （Chrome メニュー）から［Chrome にログイン...］を選ぶ

4. Google アカウントへログインする

5. （Chrome メニュー）から［印刷］を選ぶ



6. ［送信先］の［変更］を選ぶ



7. ［Google クラウドプリント］で［Canon MB5100 series］を選ぶ

8. ［印刷］を選ぶ

   Google Cloud Print を利用するための準備が整っていて、本製品の電源が入っていると、本製品は自動的に印刷データを受信して印刷します。

Google Cloud Print からすぐに印刷したいときには

データの自動受信ができなかったときや、データ送信後すぐに印刷を開始したいときは、手動で問い合わせを行い、印刷を開始することもできます。

以下の手順で、問い合わせを行います。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

3.  ［Web サービス問い合わせ］をタップする

   参考

   - Google Cloud Print に本製品を登録していないときは、［Web サービス問い合わせ］が表示されません。

4. ［Google Cloud Print から印刷］をタップする

   問い合わせを行うか確認する画面が表示されます。

5. ［はい］をタップする

   印刷データがある場合は、受信して印刷を開始します。

インターネットを介さずに印刷データを送信する

ここでは、パソコンの Google Chrome ブラウザーから印刷データを送信する操作について説明します。機器やアプリ、サービスによって、操作は異なります。

重要

- 本製品をローカルネットワーク接続する、または本製品をダイレクト接続にしてください。
- 本製品の Bonjour 設定を有効にしてください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

   参考

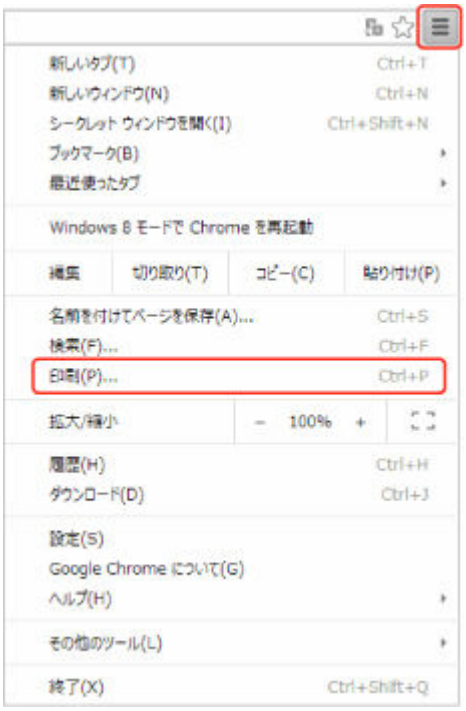
   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する

3.  （Chrome メニュー）から［Chrome にログイン...］を選ぶ

4. Google アカウントへログインする

5.  （Chrome メニュー）から［印刷］を選ぶ



6. ［送信先］の［変更］を選ぶ



7. ［ローカルの送信先］で［Canon MB5100 series］を選ぶ

8. ［印刷］を選ぶ

Google Cloud Print を利用するための準備が整っていて、本製品の電源が入っていると、本製品は自動的に印刷データを受信して印刷します。

Google Cloud Print から本製品の登録を削除する

本製品の所有者が変わる場合や、本製品を登録し直す場合は、以下の手順で Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。

Google Cloud Print から本製品の登録を削除する方法は 2 通りあります。

- Google Chrome を使用して削除する
- 本製品を使用して削除する

重要

- 本製品の登録を削除するときは、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Google Chrome を使用して削除する

1. パソコンで Google Chrome ブラウザーを起動する
2.  （Chrome メニュー）から［Chrome にログイン...］を選ぶ
3. Google アカウントへログインする
4.  （Chrome メニュー）から［設定］を選ぶ
5. ［詳細設定を表示...］で情報を表示する
6. ［Google クラウドプリント］の［管理］を選ぶ
7. デバイスのリストから［Canon MB5100 series］の［管理］を選ぶ
8. ［削除］を選ぶ
9. 本製品を削除するか確認するメッセージが表示されたら［OK］を選ぶ

本製品を使用して削除する

重要

- 管理者パスワードの有効範囲の設定によっては、管理者パスワードの入力が必要な場合があります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3.  ［Web サービス設定］をタップする

4. ［Web サービス接続設定］→［Google Cloud Print 設定］→［Google Cloud Print から削除］を順にタップする

5. 本製品を削除するか確認するメッセージが表示されたら［はい］をタップする

6. 削除完了のメッセージが表示されたら［OK］をタップする

Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

AirPrint を使用して、iPhone、iPad、iPod touch などの iOS 機器や Mac から印刷できます。

AirPrint では、プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを iOS 機器または Mac から印刷することができます。

参考

- iOS 機器から AirPrint を使用して印刷する場合は、以下を参照してください。
  - iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう



お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- **AirPrint の動作環境**
  - 最新バージョンの iOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
  - 最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- **使用条件**

  iOS 機器または Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

ご使用の Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加する

1. ご使用の Mac で［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］（［プリントとスキャン］）を選ぶ
2. ［+］をクリックして、プリンターリストを表示する
3. ［Bonjour マルチファンクション］と表示されている本製品の機種名を選ぶ
4. ［ドライバ］から［Secure AirPrint］または［AirPrint］を選ぶ
5. ［追加］を選ぶ

Mac から AirPrint で印刷する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

   参考

   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. 用紙をセットする

3. お使いのアプリケーションソフトで印刷を開始する

   プリントダイアログが表示されます。

4. プリントダイアログの［プリンタ］で AirPrint プリンターとして追加した本製品名を選ぶ

5. 必要に応じて用紙サイズや用紙種類、その他の設定を行う

6. ［プリント］を選ぶ

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

参考

- 無線 LAN 接続しているときは：
  - 本製品の電源が入ってから無線 LAN 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。本製品がネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を試してください。
  - 本製品の Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。本製品の LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- そのほか、AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、以下を参照してください。

  AirPrint で印刷できない

印刷状況を確認する

印刷の進行状況を確認する

印刷ジョブを削除する

AirPrint で印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 本製品からの場合：本製品のストップボタンを使用して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：不要になった印刷ジョブを削除する

Windows 10 Mobile 搭載デバイスから印刷する場合

Windows 10 Mobile 搭載機器から印刷できます。

プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを Windows 機器から印刷することができます。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- **動作環境**

  Windows 10 が搭載されている機器

- **使用条件**

  Windows 機器が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

ご使用の Windows 機器に本製品を追加する

プリンターの追加方法については、Windows 10 のヘルプを参照してください。

Windows 機器から印刷する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

   参考

   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. 用紙をセットする

3. お使いのアプリケーションソフトで印刷を実行するコマンドを選ぶ

   一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログボックスを開くことができます。

4. 本製品の機種名を選ぶ

5. 必要に応じて用紙サイズや用紙種類、その他の設定を行う

6. ［プリント］を選ぶ

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

スマートフォン／タブレットから印刷してみよう

- スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう
- ウェブサービスを使って印刷してみよう

スマートフォン／タブレットから直接印刷してみよう

- Android 機器から印刷してみよう
- iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう
- Windows 10 Mobile 搭載デバイスから印刷する場合
- 本製品をダイレクト接続で使用する

Android 機器から印刷してみよう

ご使用の Android スマートフォンやタブレットに印刷用プラグインをインストールすると、キヤノン製プリンターで印刷することができます。

印刷用プラグインをインストールする

- Canon Print Service をインストール

  Canon Print Service は Android 4.4.2 以上を搭載した端末向けの Canon 製印刷用プラグインで、Google Play から無料でダウンロードすることができます。プラグインをインストールして有効化してからご利用ください。

  ➡ Canon Print Service を利用して印刷する

- Mopria Print Service をインストール

  Mopria Print Service は Android 4.4 以上を搭載した端末から Mopria™認証プリンターで印刷を可能にするプラグインです。Google Play から無料でダウンロードすることができます。プラグインをインストールして有効化してからご利用ください。

  Mopria については http://www.mopria.org をご覧ください。

  ➡ Mopria Print Service を利用して印刷する

重要

- 印刷用プラグインは、ご使用の Android 機器をインターネットに接続してダウンロードしてください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

Canon Print Service を利用して印刷する

重要

- Android 機器やご使用のアプリによっては、操作方法が異なる場合があります。
- プラグインは Android 機器にインストール後、有効化してください。インストール直後はサービスが有効化されていません。
- 本製品を無線 LAN 接続しているときに、Canon Print Service をご利用できます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ご使用の Android 機器のアプリで印刷操作を行う
4. ご使用の Android 機器のアプリでプリンターを選ぶ

   本製品の機種名および「Canon Print Service」と表示されているプリンターを選んでください。
5. 必要に応じて部数や用紙サイズなどを設定する
6. 印刷を開始する

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

Mopria Print Service を利用して印刷する

重要

- Android 機器やご使用のアプリによっては、操作方法が異なる場合があります。
- プラグインは Android 機器にインストール後、有効化してください。インストール直後はサービスが有効化されていません。
- 本製品を無線 LAN 接続またはダイレクト接続しているときに、Mopria Print Service をご利用できます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ご使用の Android 機器のアプリで印刷操作を行う
4. ご使用の Android 機器のアプリでプリンターを選ぶ

   本製品の機種名および「Mopria Print Service」と表示されているプリンターを選んでください。
5. 必要に応じて部数や用紙サイズなどを設定する
6. 印刷を開始する

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

AirPrint を使用して、iPhone、iPad、iPod touch などの iOS 機器や Mac から印刷できます。

AirPrint では、プリンタードライバーのインストールやアプリのダウンロードをせずとも、写真、E メール、ウェブページ、文書などを iOS 機器または Mac から印刷することができます。

参考

- Mac から AirPrint を使用して印刷する場合は、以下を参照してください。
  - Mac を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう



お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- **AirPrint の動作環境**
  - 最新バージョンの iOS がインストールされている iPhone、iPad、および iPod touch
  - 最新バージョンの OS がインストールされている Mac
- **使用条件**

  iOS 機器または Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されているか、無線 LAN ルーターを介さずに直接接続されていること。

iOS 機器から AirPrint で印刷する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

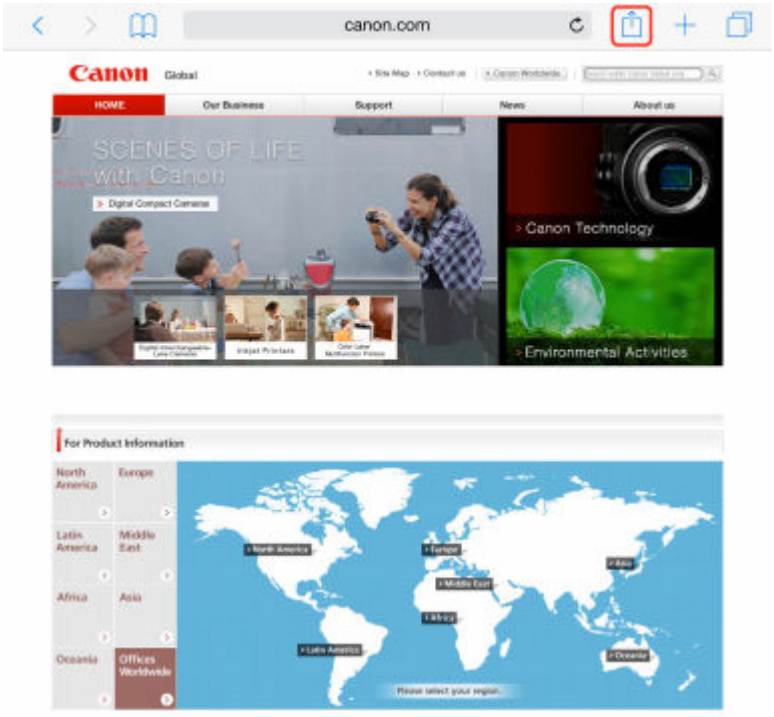
   参考

   - 本製品の自動電源オン設定を有効にしている場合は、印刷ジョブを受信すると本製品は自動的に電源がオンになります。

2. 用紙をセットする

3. お使いの iOS 機器のアプリで、操作アイコンをタップしてメニューオプションを表示する

   下の図は、iPad のウェブブラウザーから印刷するときの画面の例です。機器やアプリによって印刷するときの画面は異なります。



4. メニューオプションから［プリント］をタップする



5. ［プリンタオプション］の［プリンタ］から、ご使用のプリンター名を選ぶ

重要

- 一部のアプリでは、AirPrint に対応していないため、［プリンタオプション］が表示されない場合があります。プリンターオプションが利用できない場合は、そのアプリから印刷することはできません。

参考

- プリンターオプションは、使用するアプリによって異なります。

6. PDF など複数のページがあるファイルを印刷する場合、［範囲］をタップして［すべてのページ］をタップするか、印刷したいページの範囲を選ぶ

7. ［1 部］の隣の、［+］または［-］を必要な印刷部数に応じてタップする

8. ［両面印刷］の隣の［オン］をタップして両面印刷を有効にするか、［オフ］をタップして両面印刷を無効にする

9. ［プリント］をタップする

   印刷を実行すると、設定どおりに印刷を行います。

参考

- 無線 LAN 接続しているときは：
  - 本製品の電源が入ってから無線 LAN 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。本製品がネットワークに接続されていることを確認してから、印刷を試してください。
  - 本製品の Bonjour 設定が無効の場合は、AirPrint を使用することができません。本製品の LAN 設定を確認し、Bonjour 設定を有効にしてください。
- そのほか、AirPrint で印刷しているときのトラブルについては、以下を参照してください。

  ➡ AirPrint で印刷できない

用紙のサイズ

AirPrint では iOS 機器で使用しているアプリ、AirPrint を使用する地域に応じて用紙サイズは自動的に選ばれます。

主に写真を扱うアプリでは、日本では L 判がデフォルト用紙サイズとなり、それ以外の国や地域では 4"x6"または KG がデフォルト用紙サイズとなります。

主に文書を扱うアプリでは、米国地域などではレターサイズがデフォルト用紙サイズとなり、日本や欧州などでは A4 がデフォルト用紙サイズとなります。

重要

- 機器や OS によっては、デフォルトの用紙サイズが上記と異なる場合があります。

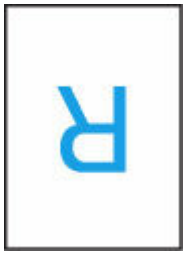
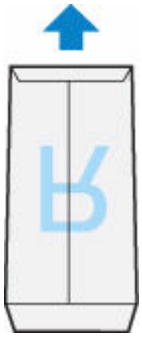
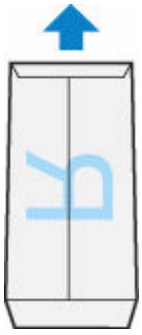
  試し印刷することをお勧めします。
- お使いのアプリによって、使用できる用紙サイズが異なります。

封筒印刷について

iOS 機器から AirPrint で封筒に印刷するときは、以下を参考にしてください。

- 長形封筒に印刷する場合

	印刷結果イメージ	印刷データの向き	封筒セットの向き

縦書き		 印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します。	 ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。
横書き		 印刷結果イメージと 180 度反転した印刷データを作成します。	 ふたを折りたたまずに手前に向け、縦置きでセットします。

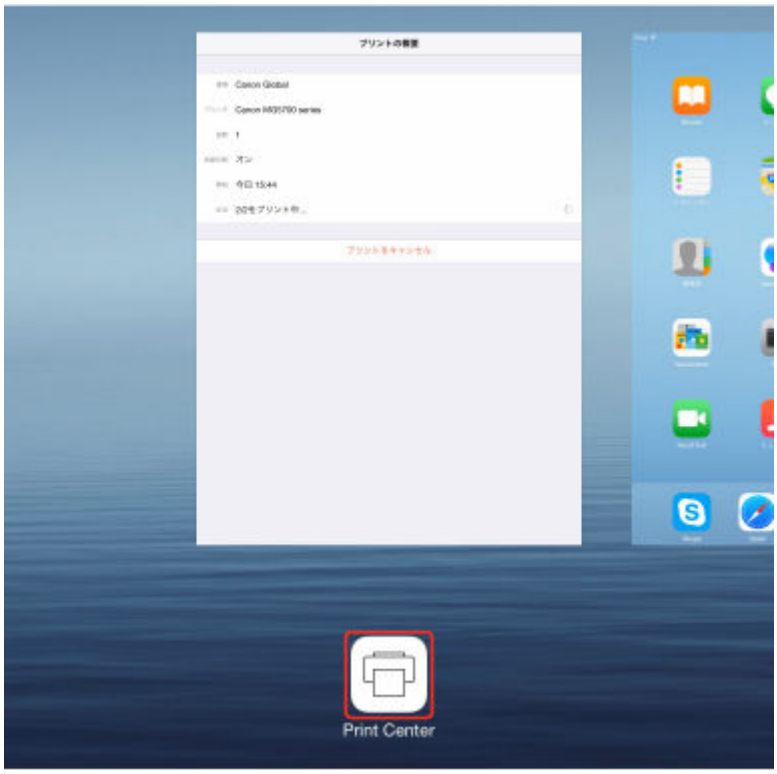
- 洋形封筒に印刷する場合

	印刷結果イメージ	印刷データの向き	封筒セットの向き
縦書き			 あて名面を下にし、ふたを折りたたんで、ふたが左側になるように縦置きでセットします。
横書き			 あて名面を下にし、ふたを折りたたんで、ふたが右側になるように縦置きでセットします。

印刷状況を確認する

印刷中、最近使用したアプリの一覧に［Print Center］のアイコンが表示され、印刷の進行状況を確認することができます。

iOS 機器の［ホーム］ボタンを 2 回押してマルチタスキングモードにし、右にスワイプすると［Print Center］アイコンとプリントの概要が表示されます。



印刷ジョブを削除する

AirPrint で印刷ジョブを削除するには、次の 2 つの方法があります。

- 本製品からの場合：本製品のストップボタンを使用して、印刷ジョブをキャンセルします。
- iOS 機器からの場合：iOS 機器の［ホーム］ボタンを 2 回押してマルチタスキングモードにし、右にスワイプします。［Print Center］アイコンをタップし、プリントの概要を表示させます。キャンセルする印刷ジョブをタップし、［プリントをキャンセル］をタップします。

本製品をダイレクト接続で使用する

本製品は、各種機器（スマートフォンやタブレットなど）と以下の二通りの接続ができます。

- 無線 LAN 接続(通常のセットアップで無線 LAN ルーターを介して各種機器と接続する)
- 無線で直接接続(ダイレクト接続で各種機器と接続する)

ここでは、無線で直接接続して印刷、スキャンするダイレクト接続について説明しています。

ダイレクト接続を使用するには以下の手順で操作してください。

1. 本製品の設定をダイレクト接続へ変更する
2. 各種機器を本製品に接続する
3. 印刷、スキャンする

また、ダイレクト接続から無線 LAN 接続に変更する方法も説明します。

➡ 本製品の設定を無線 LAN 接続に変更する

重要

- 管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。
- 各種機器を 5 台まで、同時に本製品に接続することができます。
- ダイレクト接続に切り替える前に、制限事項を確認してください。

  ➡ 制限事項について

ダイレクト接続の準備をする

ダイレクト接続の準備として、以下の設定を変更してください。

- 本製品の LAN 設定

  ➡ 本製品の設定を変更する
- 接続したい各種機器の設定

  ➡ 各種機器の設定を変更して接続する

本製品の設定を変更する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面左下のアイコンをタップする



例：無線 LAN 接続が有効の場合

［LAN の切り換え］画面が表示されます。

参考

- 以下の手順でも［LAN の切り換え］画面を表示することができます。

  1. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップします

     ➡ 操作パネルの使いかた

  2.  ［本体設定］をタップします
  3. ［LAN 設定］をタップします
  4. ［LAN の切り換え］をタップします

3. ［ダイレクト接続を有効］をタップする

4. ［はい］をタップする

   本製品をダイレクト接続で使用するときの識別名（SSID）が表示されます。

   各種機器から本製品を検出するときに、表示されている識別名（SSID）で検出します。

参考

- ［詳細表示］をタップして［はい］をタップすると、以下が表示されます。
  - セキュリティ設定
  - パスワード
  - Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名称

  表示されるパスワードは、各種機器から接続するときに必要となります。ご使用の機器によっては、パスワードが不要な場合もあります。

  Wi-Fi Direct 対応の各種機器を本製品に接続する場合は、表示される機種の名称をご使用の機器で選んでください。
- 識別名（SSID）とパスワードは自動的に設定されます。識別名（SSID）とパスワードを更新する場合は、以下を参照してください。

  ➡ ダイレクト接続の設定を変更する

5. ［OK］をタップする

   ダイレクト接続が有効となり、本製品と各種機器を、直接無線で接続することができます。

各種機器の設定を変更して接続する

1. 各種機器の無線 LAN 機能を有効にする

   各種機器の「設定」メニューなどにある、「Wi-Fi」を有効にします。

   無線 LAN 機能を有効にする手順については、ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

2. 各種機器に表示されるリストから、「DIRECT-XXXX-MB5100series」（X は英数字）を選ぶ

参考

- 「DIRECT-XXXX-MB5100series」が表示されない場合は、本製品がダイレクト接続に設定されてない可能性があります。

  「本製品の設定を変更する」を参照して、本製品をダイレクト接続に設定してください。

3. パスワードを入力する

各種機器と本製品が接続されます。

参考

- 本製品に設定されているパスワードを確認してください。

  以下の方法で確認することができます。

  - 本製品のタッチスクリーンに表示する。

    ➡ LAN 設定

  - ネットワーク設定情報を印刷する。

    ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

- ご使用の各種機器によっては、本製品に無線 LAN 接続するときにパスワードの入力を求められますので、本製品に設定されているパスワードを入力してください。
- ご使用の各種機器が Wi-Fi Direct 対応の各種機器で、Wi-Fi Direct での使用が優先されている場合、本製品のタッチスクリーンに Wi-Fi Direct 対応の各種機器の接続を許可するかどうかの確認画面が表示されます。

  表示されている機器名がご使用の各種機器名と同じであることを確認して、[はい]をタップしてください。

ダイレクト接続で印刷／スキャンする

ご使用の各種機器と本製品を接続したあと、印刷またはスキャンを行います。

参考

- 各種機器からの印刷／スキャン方法については、お使いの機器やアプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。
- Canon PRINT Inkjet/SELPHY をインストールして、ご使用のスマートフォン／タブレットから印刷／スキャンすることができます。Canon PRINT Inkjet/SELPHY は App Store や Google Play からダウンロードできます。

  ➡ iOS はこちら
  ➡ Android はこちら

本製品の設定を無線 LAN 接続に変更する

以下の手順で本製品の設定を無線 LAN 接続に変更します。

1. ホーム画面左下のアイコン（DC）をタップする

［LAN の切り換え］画面が表示されます。

参考

- 以下の手順でも［LAN の切り換え］画面を表示することができます。

1. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップします
   - 操作パネルの使いかた
2.  ［本体設定］をタップします
3. ［LAN 設定］をタップします
4. ［LAN の切り換え］をタップします

2. ［無線 LAN を有効］をタップする

   本製品を無線 LAN 接続で使用しない場合は、［有線 LAN を有効］または［LAN を無効］を選んでください。

ダイレクト接続の設定を変更する

以下の手順で、ダイレクト接続の設定を変更することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［LAN 設定］をタップする
5. ［その他の設定］をタップする
6. ［ダイレクト接続設定］をタップする
7. 必要に応じて設定を変更する



- 本製品をダイレクト接続で使用するときの識別名（SSID）とパスワードを更新する場合

  A をタップすると確認画面が表示されます。識別名（SSID）とパスワードを更新する場合は、［はい］をタップします。

［詳細表示］をタップして、次に表示される画面で［はい］をタップすると、セキュリティの設定と更新されたパスワードを確認できます。

- Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名称を変更する場合

  B をタップすると、Wi-Fi Direct 対応の各種機器に表示される本製品の名称（デバイス名）が表示されます。

  名称を変更する場合は、以下の手順で行います。

  1. タッチスクリーンをタップします。
  2. デバイス名を入力します（32 文字まで）。
  3. ［OK］をタップして、デバイス名の入力を終了します。
  4. ［OK］をタップして、デバイス名の設定を終了します。

- Wi-Fi Direct 対応の各種機器が本製品に接続するときの、確認画面の設定を変更する場合

  C をタップすると確認画面が表示されます。Wi-Fi Direct 対応の各種機器が本製品に接続しようとしたときに、接続を通知する画面を表示させたい場合は［はい］をタップします。

  重要

  - 不正なアクセスを防ぐために、確認画面を表示させる設定のままにしておくことをお勧めします。

設定が終了すると、［ダイレクト接続設定］画面に戻ります。

8. ホームボタンを押す

   ホーム画面が表示されます。

参考

- 本製品のダイレクト接続の設定を変更した場合は、各種機器でも接続先の設定を変更してください。

ウェブサービスを使って印刷してみよう

- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- Google Cloud Print を利用して印刷してみよう

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

- プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する



重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用の前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

Google Cloud Print を利用して印刷してみよう

本製品は Google Inc.が提供するサービス Google Cloud Print™に対応しています。

Google Cloud Print を利用すると、Google Cloud Print に対応したアプリやサービスで、どこからでも印刷できます。

インターネットを介して印刷データを送信して印刷



いったん Google Cloud Print に本製品を登録すると、インターネットに接続しなくても Google Cloud Print に対応したアプリやサービスから印刷できます。

インターネットを介さずに印刷データを送信して印刷



重要

- お客様がお住まいの国と地域によっては、この機能をご利用になれない場合があります。
- Google Cloud Print を利用するには、事前に Google アカウントを取得し、Google Cloud Print に本製品を登録してください。

  また、Google Cloud Print に本製品を登録するときは、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

1. Google アカウントを取得する
2. Google Cloud Print に本製品を登録する
3. パソコンやスマートフォンから Google Cloud Print を利用して印刷する

重要

- 本製品の所有者が変わる場合は、Google Cloud Print から本製品の登録を削除してください。

  ➡ Google Cloud Print から本製品の登録を削除する

Google Cloud Print から本製品の登録を削除するときも、本製品を LAN 接続して、インターネットに接続してください。インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。

本製品の操作パネルから印刷してみよう

- 写真データを印刷してみよう
- 文書（PDF）ファイルを印刷してみよう

写真データを印刷してみよう

- **USB フラッシュメモリーの写真を印刷する**
- **本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目**
- **便利な表示機能を使う**

USB フラッシュメモリーの写真を印刷する

USB フラッシュメモリーに保存されている写真をかんたんな操作で印刷することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 写真用紙をセットする
3. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部にセットする

重要

- 受信ファクスを自動保存するために、すでに USB フラッシュメモリーがセットされている場合は、写真データが保存されている USB フラッシュメモリーをセットしても、印刷の操作を行うことはできません。

  この場合は、［ファクス設定］の［自動保存設定］を［しない］に設定し、ファクスの保存用の USB フラッシュメモリーをいったん取り外してから、写真データが保存されている USB フラッシュメモリーをセットしてください。

4. ホーム画面をフリックして  ［メモリーダイレクト］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   写真選択画面が表示されます。

参考

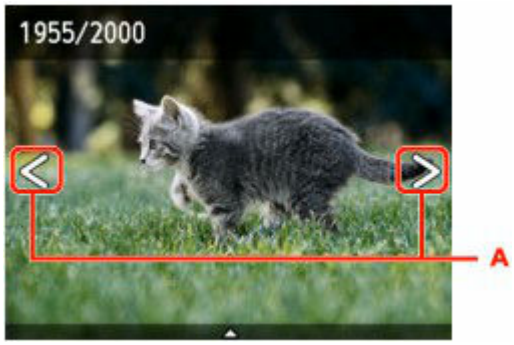
- 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用している製品の管理者にお問い合わせください。
- USB フラッシュメモリーに写真データと文書データ（PDF ファイル）が保存されている場合、どちらを印刷するか確認する画面が表示されます。［写真データを印刷］をタップしてください。
- USB フラッシュメモリーに印刷できる写真データが保存されていない場合は、タッチスクリーンに［適切なデータが保存されていません］というメッセージが表示されます。
- USB フラッシュメモリーに 2000 枚を超える写真データが保存されている場合は、日付（写真データの更新日）が新しい順に 2000 枚ごとのグループに分けられます。画面に表示されるメッセージを確認し、［OK］をタップしてください。

5. 必要に応じて設定する

   - 印刷する写真を選ぶときは：

     左右にフリックして写真を選びます。

     A をタップして、写真を選ぶこともできます。

     カラーボタンを押すと、表示されている写真を 1 部印刷できます。

- 写真の表示方法や印刷部数、印刷設定を変更するときは：

  写真の中央付近をタップすると、メニューが表示されます。



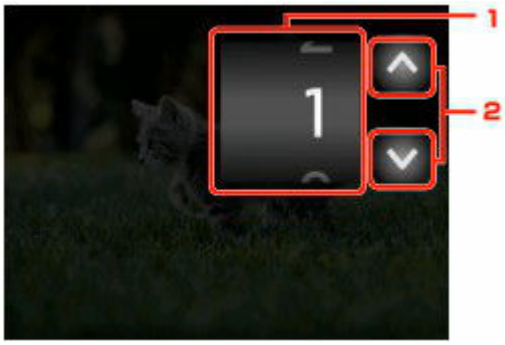
A. 合計印刷部数

合計印刷部数が表示されます。

タップすると［選択画像の部数確認］画面が表示され、写真ごとの印刷部数を確認することができます。［選択画像の部数確認］画面では写真ごとに部数を変更することもできます。

B. 印刷部数

タップすると、印刷部数を指定できます。



1. 上下にフリックして、印刷部数を指定します。

   タップすると、写真選択画面に戻ります。

2. タップして、印刷部数を指定します。

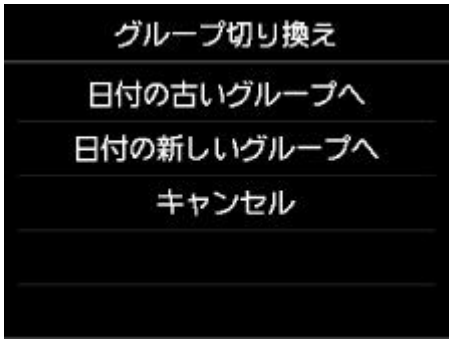
   タッチし続けると、10 枚ずつ部数を指定します。

参考

- 写真ごとに印刷部数を指定することができます。印刷したい写真をそれぞれ表示してから、写真ごとに印刷部数を指定します。

C. グループ切換

タップすると、表示するグループを切り換えることができます。



詳しくは、以下を参照してください。

➡ 便利な表示機能を使う

D. 印刷設定

タップすると、[印刷設定] 画面が表示されます。

用紙サイズや用紙種類、印刷品質などの印刷設定を変更することができます。

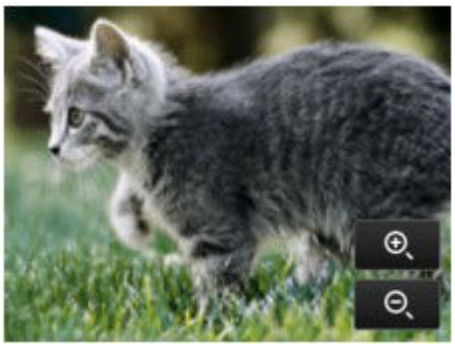


設定項目については、以下を参照してください。

➡ 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

E. 拡大表示

タップすると、写真を拡大して表示することができます。



詳しくは、以下を参照してください。

➡ 便利な表示機能を使う

F. 日付選択

タップすると、表示する写真を日付（写真データの更新日）で指定できます。



詳しくは、以下を参照してください。

➡ 便利な表示機能を使う

G. 多画面表示

タップすると、複数の写真を一度に表示できます。



表示方法については、以下を参照してください。

➡ 便利な表示機能を使う

6. カラーボタンを押す

印刷が開始されます。

参考

- 印刷を中止するときは、ストップボタンを押します。
- 印刷中にも、続けて印刷する写真を追加（フォト印刷予約）することができます。

➡ 写真印刷を予約する

写真印刷を予約する

写真を印刷している途中でも、印刷する写真を追加（フォト印刷予約）することができます。

以下の手順で、印刷する写真を追加します。

1. 印刷中に写真をフリックして、次に印刷したい写真を選ぶ

参考

- 写真を選んでいる間も、印刷待ちの写真は順に印刷されます。
- 印刷中や印刷待ちの写真には、  印刷予約済みアイコンが表示されます。

2. 写真ごとに部数や印刷設定を指定する

参考

- 印刷予約する写真の［用紙サイズ］と［用紙種類］は変更できません。印刷中や印刷待ちの写真と同じ設定となります。

3. カラーボタンを押す

すでに印刷を開始した写真の次に、印刷予約した写真の印刷が開始されます。

さらに印刷する写真を追加したい場合は、手順 1 から操作してください。

参考

- 印刷予約中は、ホーム画面を表示したり、ほかの印刷メニューに変更したりできません。またパソコンやほかの機器からの印刷もできません。
- 印刷予約中は、グループを切り替えることはできません。
- 印刷予約中にストップボタンを押すと、印刷予約を中止する方法を選択する画面が表示されます。［すべての予約をキャンセル］をタップすると、印刷中や印刷予約したすべての写真の印刷を中止します。［最後の予約をキャンセル］をタップすると、最後に予約した印刷を中止します。
- 印刷予約が多いときは、タッチスクリーンに［これ以上、印刷を予約できません　しばらく待ってから、印刷を予約してください］と表示される場合があります。しばらく待ってから、印刷予約してください。

本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目

USB フラッシュメモリーに保存されている写真を印刷するときに用紙サイズや用紙種類、補正などの設定を変更することができます。



設定項目をタップすると各設定が表示されます。設定をタップして指定します。

参考

- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定や印刷メニューと組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合は、タッチスクリーンに と［エラー詳細］が表示されます。タッチスクリーン左上の をタップしてメッセージを確認し、設定を変更してください。
- いったん指定した用紙種類や印刷品質などの設定は、他の印刷メニューに変更したり電源を入れ直したりしても保持されます。

1. 用紙サイズ

   セットした用紙のサイズを選びます。

   参考

   - 操作パネルから設定できる用紙サイズのみ表示されます。

2. 用紙種類

   セットした用紙の種類を選びます。

   参考

   - 操作パネルから設定できる用紙種類のみ表示されます。

3. 印刷品質

   印刷品質を設定できます。

4. 日付印刷

   写真に日付（撮影日）を付けて印刷するか設定できます。

   参考

   - 日付の印刷形式は［セットアップ］の［本体設定］の［本体の基本設定］にある［日付表示形式］の設定に従って印刷されます。

     ➡ 本体の基本設定

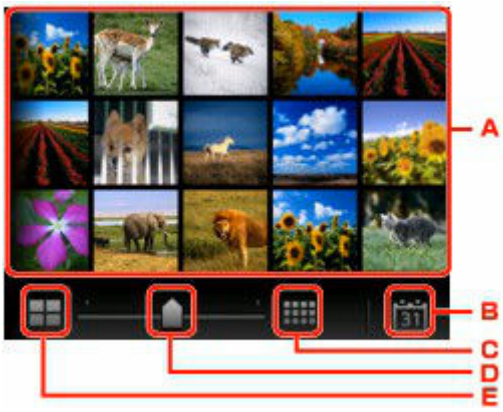
便利な表示機能を使う

USB フラッシュメモリーに保存されている写真を一度に複数枚表示したり、日付を指定して写真を表示したり、表示グループを変更したりすることができます。

- 複数の写真を表示して印刷する写真を選ぶ
- 日付を指定して写真を表示する
- 写真を拡大して表示する
- 表示グループを切り換える

複数の写真を表示して印刷する写真を選ぶ

写真選択画面で  をタップすると、以下の画面が表示されます。



A. 印刷したい写真をタップすると、1 枚表示に戻ります。

B. タップすると、日付を指定して写真を表示できます。

- 日付を指定して写真を表示する

C. タップすると、表示される写真が増えます。(54 枚表示)

D. ドラッグして 6 枚、15 枚、54 枚と表示する枚数を切り換えます。

E. タップすると、表示される写真が減ります。(6 枚表示)

日付を指定して写真を表示する

写真選択画面で  をタップすると、以下の画面が表示されます。



A. タップして日付(写真データの更新日)を切り替えます。

B. 表示したい日付をタップします。

指定した日付の先頭の写真から表示されます。

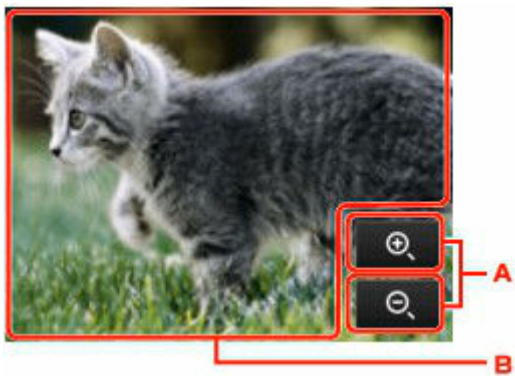
参考

- 日付は、[セットアップ]の[本体設定]の[本体の基本設定]にある[日付表示形式]の設定に従って表示されます。

  本体の基本設定

写真を拡大して表示する

写真選択画面で  をタップすると、以下の画面が表示されます。



A. タップして、表示倍率を切り換えます。

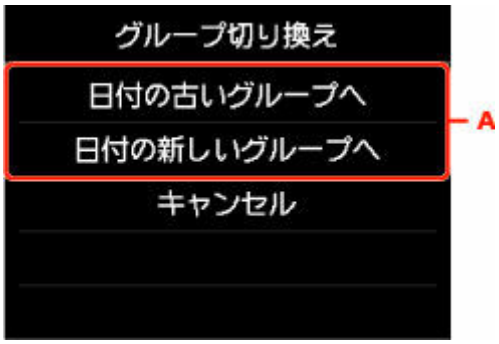
B. ドラッグして、表示位置を移動します。

表示グループを切り換える

参考

- USB フラッシュメモリーに 2000 枚を超える写真データが保存されている場合は、日付（写真データの更新日）が新しい順に 2000 枚ごとのグループに分けられます。

写真選択画面で  をタップすると、以下の画面が表示されます。



A. タップして表示するグループを切り換えます。

文書（PDF）ファイルを印刷してみよう

本製品の操作パネルから、以下の PDF ファイル（拡張子：「.pdf」）を印刷することができます。

- 本製品の操作パネルからスキャンして、USB フラッシュメモリーに保存した PDF ファイル
  - ➡ スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する
- 本製品で受信したファクスで、USB フラッシュメモリーに保存した PDF ファイル
  - ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存する
  - ➡ 受信したファクスを USB フラッシュメモリーに自動保存する
- Canon IJ Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）で作成した PDF ファイル

  Windows をご使用の場合：

  - ➡ 文書をスキャンする

  Mac OS をご使用の場合：

  - ➡ 文書をスキャンする

印刷できない PDF ファイル形式の詳細は以下を参照してください。

➡ 印刷できない PDF ファイル形式について

以下の手順で PDF ファイルを印刷します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. A4 サイズまたは、レターサイズ、リーガルサイズの普通紙をセットする
3. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部にセットする

   重要

   - 受信ファクスを自動保存するために、すでに USB フラッシュメモリーがセットされている場合は、文書データが保存されている USB フラッシュメモリーをセットしても、印刷の操作を行うことはできません。

     この場合は、［ファクス設定］の［自動保存設定］を［しない］に設定し、ファクスの保存用の USB フラッシュメモリーをいったん取り外してから、文書データが保存されている USB フラッシュメモリーをセットしてください。

4. ホーム画面をフリックして  ［メモリーダイレクト］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

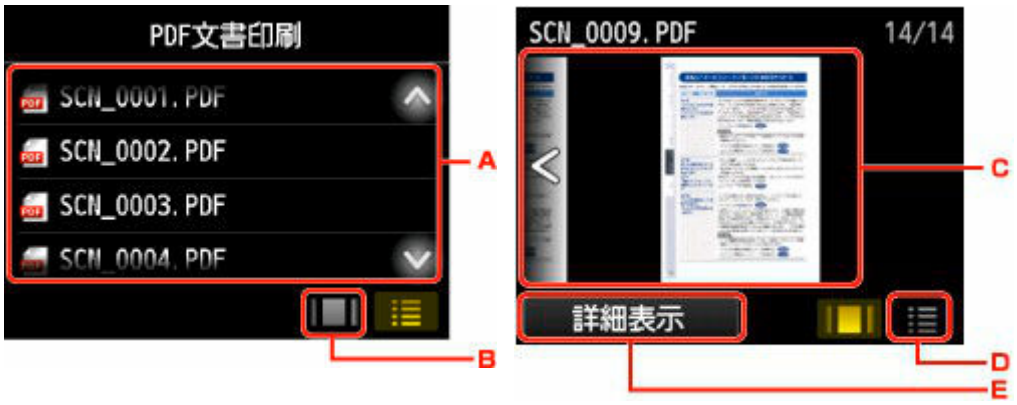
   文書リストが表示されます。

   参考

   - 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用している製品の管理者にお問い合わせください。
   - USB フラッシュメモリーに写真データと文書データ（PDF ファイル）が保存されている場合、どちらを印刷するか確認する画面が表示されます。［文書データを印刷］をタップしてください。
   - USB フラッシュメモリーに印刷できる文書データ（PDF ファイル）が保存されていない場合は、タッチスクリーンに［適切なデータが保存されていません］というメッセージが表示されます。

5. 印刷する文書を選ぶ

ファイル名表示　　印刷プレビュー表示



A. 上下にフリックまたは  をタップしてファイル名を表示し、印刷したい文書をタップします。

B. タップして印刷プレビュー表示に切り換えます。

C. フリックして文書データを表示し、印刷したい文書をタップします。

D. タップしてファイル名表示に切り換えます。

E. タップすると［詳細表示］画面が表示されます。

参考

- 文字数が多いファイル名や、表示できない文字が含まれているファイル名は、文書リストに正しく表示されない場合があります。
- 印刷プレビュー表示では、各ファイルの最初のページのみが表示されます。また、文書のサイズが横長の場合は、90 度回転して表示される場合があります。
- PDF ファイルによっては、印刷プレビュー画面が表示されるまでに時間がかかったり、文書や画像の一部がかけて表示されたりする場合があります。

  本製品から印刷できない PDF ファイルでも、文書リストの画面にファイル名が表示されます。以下のファイルは文書リストの画面にファイル名が表示されても印刷できません。

  - 本製品に対応している Canon IJ Scan Utility 以外のアプリケーションを使って保存された PDF ファイル
  - 印刷プレビュー画面で「？」が表示される PDF ファイル
- 印刷プレビュー表示から［詳細表示］画面を表示して、印刷可能な PDF ファイルか確認することをお勧めします。［詳細表示］画面が以下の場合、PDF ファイルを印刷できません。
  - 印刷したい PDF ファイルの［詳細表示］が表示されない
  - ［作成元］に機種名、または［IJ Scan Utility］以外の文字が表示されている
- 本製品に対応している Canon IJ Scan Utility 以外のアプリケーションソフトで保存された PDF ファイルは、本製品に対応している Canon IJ Scan Utility で保存し直しても、印刷できる PDF ファイルにはなりません。

6. 必要に応じて設定する



1. 部数

   部数を指定します。

2. 用紙サイズ

   セットした用紙に合わせて、用紙サイズを選びます。

   参考

   - 操作パネルから設定できる用紙サイズのみ表示されます。

3. 用紙種類

   [普通紙]に設定されます。

4. 印刷品質

   印刷品質を設定します。

5. 両面印刷設定

   用紙の両面に印刷するか片面に印刷するかを選びます。

   [両面印刷]を選んで[詳細設定]をタップすると、原稿の向きと印刷用紙のとじ方向を設定できます。

   参考

   - [詳細表示]画面の[作成元]に機種名、または[IJ Scan Utility]が表示されているときに、[両面印刷]を選ぶことができます。

7. カラー印刷する場合はカラーボタンを押す
   白黒印刷する場合はモノクロボタンを押す

   印刷が開始されます。

参考

- 一度に 250 ページまで印刷できます。251 ページ以上の PDF ファイルの場合、タッチスクリーンに[指定した文書データ（PDF）は印刷可能なページ数を超えています　超えたページは印刷できません　印刷を続けますか？]と表示されます。[はい]をタップすると、印刷が開始されます。251 ページ以上の PDF ファイルを印刷したい場合は、パソコンから印刷してください。
- PDF ファイルによっては、90 度回転して印刷される場合があります。
- 用紙サイズより文書のサイズが大きい場合は、縮小印刷されます。このとき、細い線が消えたり、画像などの配置がずれたりして印刷される場合があります。
- PDF ファイルによっては、印刷前または印刷中にエラーメッセージが表示される場合があります。

  ➡ メッセージが表示されている

印刷できない PDF ファイル形式について

以下の PDF ファイルは、文書リストにファイル名が表示されても印刷できません。

- 本製品の操作パネルからスキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存するときに、［データ形式］を［PDF］または［高圧縮 PDF］以外に設定したファイル
- Canon IJ Scan Utility で作成したファイルで、以下のひとつに当てはまるデータ

  -暗号化したデータ

  -2GB 以上のデータ

  -縦方向および横方向のピクセル数が 9601 pixel 以上の画像を含んだデータ

印刷時の用紙設定

本製品では、カセットにセットした用紙のサイズや種類をあらかじめ本製品に登録することで、セットした用紙と印刷時の用紙設定が合っていない場合に、印刷前にメッセージを表示して印刷ミスを防止することができます。

参考

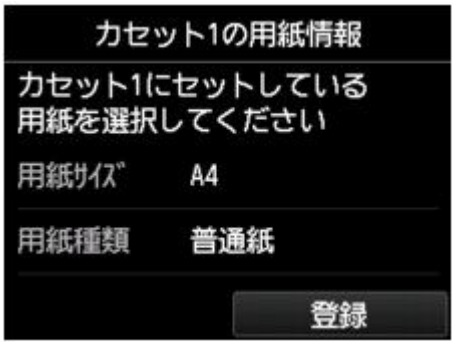
- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能は、本製品の操作パネルを使って印刷やコピーするときと、プリンタードライバーから印刷するときで、ご購入時の設定が異なります。

  印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

- **用紙をセットしたカセットをセットすると：**



カセットの用紙情報を登録する画面が表示されます。



セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を登録してください。

重要

- コピーするときは、コピーの用紙設定を、本製品に登録したカセットの用紙情報に合わせてください。
- プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - Windows をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

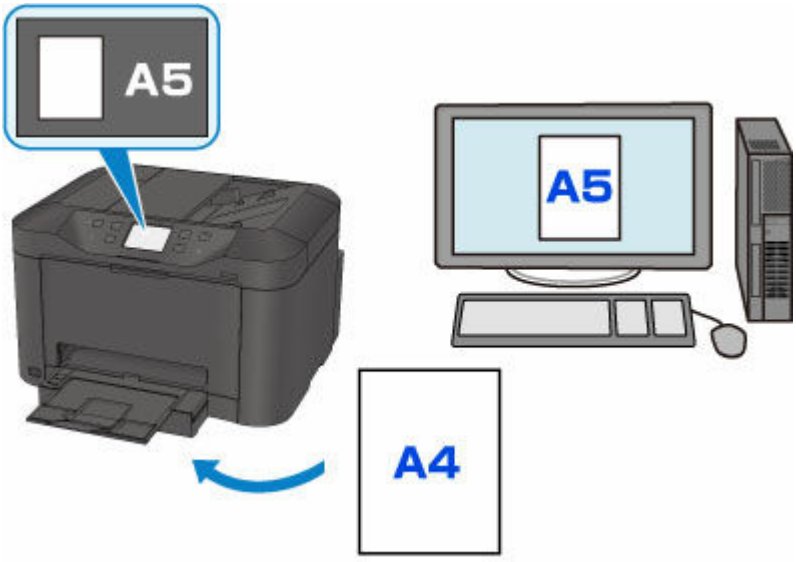
参考

- カセットの用紙情報として登録した設定内容によっては、コピーの用紙設定に反映するかどうか確認する画面が表示されます。[はい]をタップすると、コピーの用紙設定に反映されます。

- **印刷やコピーするときの用紙設定が、本製品に登録したカセットの用紙情報と異なっていると：**

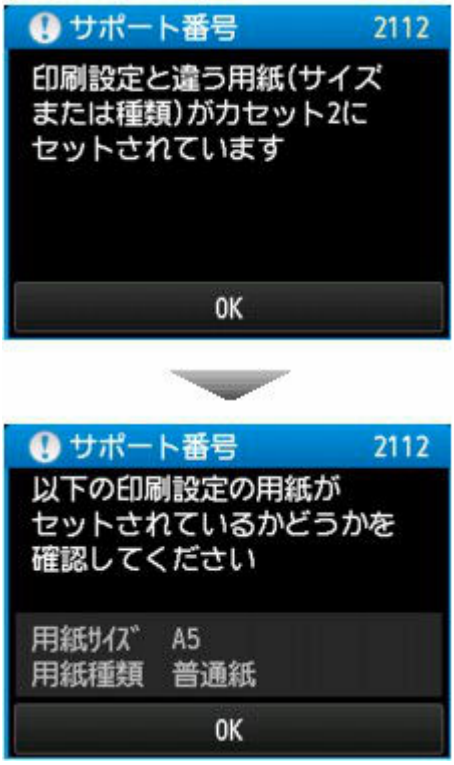
  例：

  - 印刷やコピーするときの用紙設定：A5 サイズ
  - 本製品に登録したカセットの用紙情報：A4 サイズ



印刷やコピーしようとすると、メッセージが表示されます。

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、印刷やコピーするときに指定した用紙設定がメッセージの下に表示されます。



表示されたメッセージを確認して、［OK］をタップしてください。処理方法を選ぶ画面が表示されますので、以下のいずれかを選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷やコピーするときに設定した用紙サイズまたは用紙種類のままで、印刷やコピーする場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、カセットの用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、A5 サイズの設定のままカセットにセットされている用紙に印刷またはコピーします。

用紙を交換して印刷

カセットの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、カセットの用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、カセットの用紙を A5 サイズの用紙に交換してから印刷またはコピーします。

用紙を交換しカセットを取り付けた後、カセットの用紙情報登録画面が表示されます。カセットにセットした用紙に合わせて、カセットの用紙情報を登録してください。

参考

- 本製品に登録するカセットの用紙情報が分からない場合は、処理方法を選ぶ画面で戻るボタンを押してください。前の画面に戻りますので、表示される用紙サイズや用紙種類を確認し、カセットの用紙情報に登録してください。
- プリンタードライバーの指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - Windows をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）
  - Mac OS をご使用の場合：
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）
    - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）

キャンセル

印刷を中止します。

印刷やコピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更して印刷をやり直してください。

印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能の初期設定について

- **本製品の操作パネルを使って印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が有効となっています。

  本製品の操作パネルから印刷やコピーするときの表示設定を変更するには：

  - カセット設定

- **プリンタードライバーから印刷するときは**

  初期設定で印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能が無効となっています。

  プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：

  - Windows をご使用の場合：

➡ プリンターの設定を変更する

◦ Mac OS をご使用の場合：

➡ プリンターの設定を変更する

重要

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する機能を無効にしているときは：

  印刷やコピーするときの用紙設定と本製品に登録したカセットの用紙情報が異なっていても、そのまま印刷またはコピーが始まります。

コピー



コピーする 基本



拡大／縮小してコピーする



両面コピーをする



便利なコピー機能を使う

コピーする

ここでは、［コピー］でコピーする手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［コピー］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

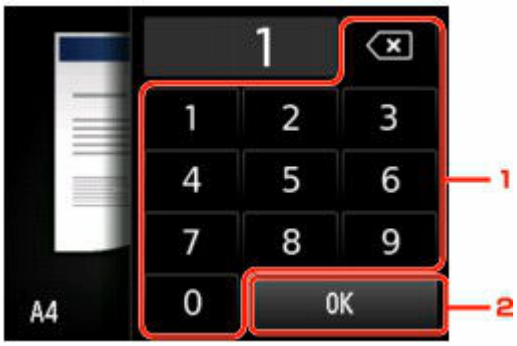
   コピー待機画面が表示されます。
4. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
5. 必要に応じて設定する



A. 読み取り方式とコピーレイアウトが表示されます。

   タップして、ADF（自動原稿給紙装置）の読取方式とレイアウトの設定（片面、両面）を切り替えます。

B. タップして部数を指定します。



   1. 数字をタップして、印刷部数を指定します。
   2. タップして、印刷部数を決定します。

C. タップすると、現在の印刷設定をカスタム設定として登録することができます。

   ➡ よく使う設定を登録する（カスタム設定）

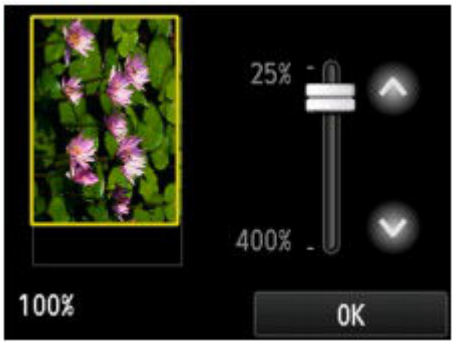
D. タップすると、印刷設定項目が表示されます。



設定項目については、以下を参照してください。

➡ コピーするときの設定項目

E. タップすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。



詳しくは、以下を参照してください。

➡ プレビュー画面を表示する

F. タップして、用紙サイズを指定します。



6. カラーコピーをする場合はカラーボタンを押す
   白黒コピーをする場合はモノクロボタンを押す

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

重要

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合、タッチスクリーンに［原稿を読み取っています］と表示されているときは原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り出したりしないでください。
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合、コピーが終わるまでセットした原稿を動かさないでください。

参考

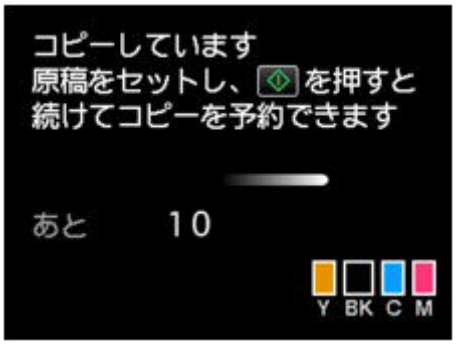
- コピーを中止するときは、ストップボタンを押します。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしてコピーしたときは、コピーが終了する前に、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます。

  ➡ 続けて原稿をコピーする（コピー予約）
- 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用している製品の管理者にお問い合わせください。

続けて原稿をコピーする（コピー予約）

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、コピー中でも、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます（コピー予約）。

続けて次の原稿をセットできるときは、以下のような画面が表示されます。



次の原稿をセットして、コピー中の原稿をコピーするときに押したボタン（カラーボタンまたはモノクロボタン）と同じボタンを押してください。

重要

- 原稿をセットするときは、原稿台カバーをゆっくり開閉してください。

参考

- ［印刷品質］が［きれい］に設定されているときや、ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしたときは、コピー予約はできません。
- 続けてコピーするときは、用紙サイズや用紙の種類などの印刷設定や部数を変更できません。
- コピー予約中にストップボタンを押すと、コピー予約を中止する方法を選択する画面が表示されます。［すべての予約をキャンセル］をタップすると、読み取ったすべての原稿のコピーを中止します。［最後の予約をキャンセル］をタップすると、最後にセットした原稿のコピーを中止します。
- 続けてコピーする原稿が多いときは、タッチスクリーンに［これ以上、コピーの予約はできません しばらく待ってからコピーを予約してください］と表示される場合があります。［OK］をタップして しばらく待ってから、コピーしてください。
- 原稿の読み取り中に［コピーを予約できませんでした　最初からやり直してください］と表示された場合は、［OK］をタップしてから、ストップボタンを押し、いったんコピーを中止してください。そのあと、コピーできなかった原稿からコピーし直してください。

プレビュー画面を表示する

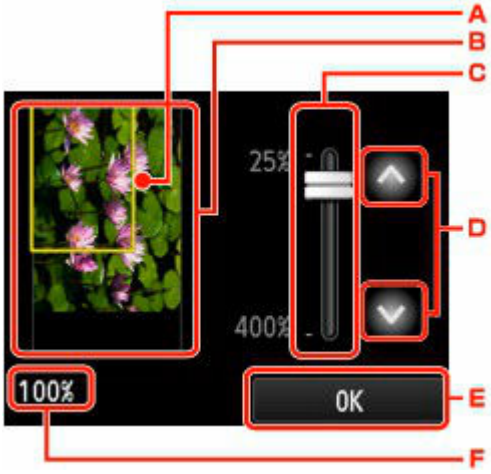
コピー待機画面で  が表示されているときに、  をタップすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます

重要

- ADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿を、プレビュー画面で確認することはできません。
- ［コピー］で以下の設定が選ばれている場合は、コピー待機画面で  は表示されません。
  - ［両面印刷設定］で［両面印刷］が選ばれている
  - ［レイアウト］で［2in1 コピー］、または［4in1 コピー］が選ばれている
  - ［部単位で印刷］で［する］が選ばれている

  ただし、［両面印刷］、［2in1 コピー］、または［4in1 コピー］が選ばれていて、原稿台ガラスに原稿をセットしている場合、原稿の読み取りが終了したときにプレビュー画面を表示するように設定することができます。

  ➡ 両面コピーをする
  ➡ 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする
  ➡ 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする
- 原稿の読み取りをするため、プレビューが表示されるまで原稿台カバーを開けないでください。
- プレビュー画面を表示したあと、コピーが開始される前に原稿を再読み取りするため、［原稿を読み取っています］と表示されているときは原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り出したりしないでください。



A. 画像の上に、設定している用紙サイズを表す枠が表示されます。枠の内側の部分が印刷されます。

B. 原稿台ガラスにセットした原稿が表示されます。タップして、倍率を［自動変倍］に切り替えることができます。原稿が傾いて表示されているときは、「原稿をセットする」を参照して原稿を正しくセットし直してから、再度プレビュー画面を表示し、原稿プレビューを確認してください。

C. プレビュー画面を表示するときに設定しているコピー倍率が表示されます。定型変倍または任意変倍のいずれかのサイズ、または［等倍（100%）］を選んでいるときは、ドラッグするとコピー倍率を変更することができます。

D. タップして、倍率を指定します。

タッチし続けると、10%ずつ倍率を変更することができます。

E. タップして、コピー待機画面に戻ります。

F. 現在設定されている倍率が表示されます。タップして、［自動変倍］を選びます。

コピーするときの設定項目

コピー待機画面で［印刷設定］をタップすると、以下の画面が表示されます。

上下にフリックまたは  をタップして設定項目を表示し、設定項目をタップすると各設定が表示されます。設定をタップして指定します。



参考

- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定やコピーメニューと組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合、タッチスクリーンに  と［エラー詳細］が表示されます。タッチスクリーン左上の  をタップしてメッセージを確認し、設定を変更してください。
- いったん指定した用紙サイズや用紙種類などの設定は、コピーメニューを変更する、または電源を入れ直しても保持されます。
- すでに用紙サイズや用紙の種類などを設定しているときに、その設定ではコピーできないメニューでコピーを開始しようとすると、タッチスクリーンに［現在の設定では、指定した機能を実行できません］というメッセージが表示されます。メッセージに従って、設定を変更してください。

1. 倍率

   拡大／縮小の方法を設定します。

   ➡ 拡大／縮小してコピーする

2. 濃度

   濃度（明るさ）を設定します。



   A. タップして、自動濃度調整をオン／オフします。

      オンにすると、原稿台ガラスにセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整して印刷できます。

   B. ドラッグして濃度を指定します。

   C. タップして濃度設定を決定します。

参考

- ［オート］に設定しているときは、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。ADF（自動原稿給紙装置）からは原稿を読み取ることはできません。

3. 用紙サイズ

セットした用紙のサイズを選びます。

参考

- 操作パネルから設定できる用紙サイズのみ表示されます。

4. 用紙種類

セットした用紙の種類を選びます。

参考

- 操作パネルから設定できる用紙種類のみ表示されます。

5. 印刷品質

コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定します。

重要

- ［用紙種類］が［普通紙］の場合、［標準］を選んで思ったような印刷品質で印刷できないときは、［印刷品質］で［きれい］を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは、［印刷品質］で［きれい］を選んでください。グレースケールとは、二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

6. レイアウト

レイアウトの設定をします。

- 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする
- 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする
- ID カードの両面を 1 枚にコピーする

7. ADF 両面読取設定

ADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿の両面を読み取るかを設定します。

- 両面コピーをする

8. 両面印刷設定

用紙の両面にコピーするかを設定します。

- 両面コピーをする

9. 部単位で印刷

複数ページある原稿を複数部コピーするときに、ページ順に 1 部ずつまとめてコピーするかを設定します。

- 部単位でコピーする

10. 枠消しコピー

本などの厚い原稿をコピーするときにできる、画像の周りの黒い影を消し、本の見開きとじ部分の影を明るくコピーすることができます。

➡ 本などの厚い原稿をコピーする

拡大／縮小してコピーする

コピーするときの倍率を任意で指定する、または定型変倍や自動変倍などを指定することができます。

コピー待機画面で［印刷設定］をタップして印刷設定画面を表示し、［倍率］をタップすると拡大／縮小方法が表示されます。



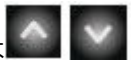
A. タップすると、以下の画面が表示されます。



1. 数字をタップして、倍率を指定します。

   ➡ 任意変倍

2. タップして、倍率を決定します。

B. 上下にフリックまたは  をタップして、倍率を指定します。

➡ 定型変倍

拡大／縮小方法について

参考

- コピーメニューによっては、使用できない拡大／縮小方法があります。

- 自動変倍

  セットした用紙におさまるように、原稿を自動的に拡大／縮小してコピーします。



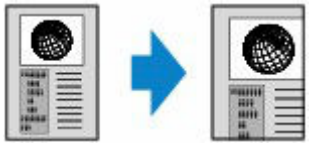
［倍率］の設定：［自動変倍］

参考

- ［自動変倍］を選んだ場合、原稿によってはサイズを正しく検知できないことがあります。正しく検知できないときは定型変倍または任意変倍のいずれかのサイズ、または［等倍（100%）］を選んでください。

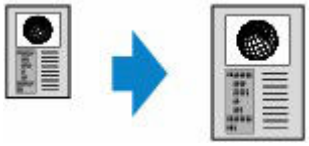
- 任意変倍

  任意で倍率を指定します。

- 定型変倍

  定型サイズの原稿を、別の定型サイズの用紙に拡大／縮小してコピーします。

  原稿や用紙サイズにあった倍率を指定します。

  ［倍率］の設定：［47% A4→はがき］／［70% A4→A5］／［86% A4→B5］／［115% B5→A4］／［141% A5→A4］／［200% はがき→A4］

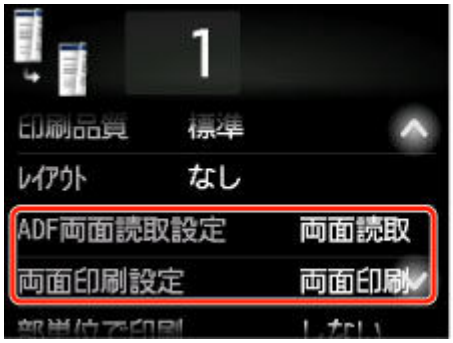
参考

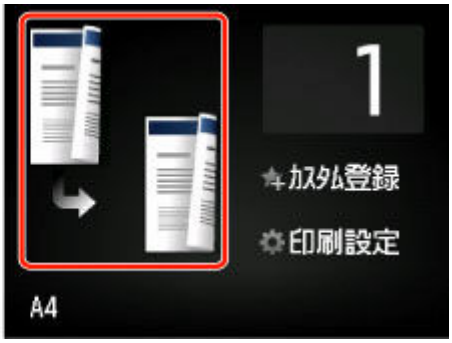
- ［400% 最大］や［25% 最小］も選ぶことができます。
- 拡大／縮小せずにコピーしたい場合は、［等倍（100%）］を選んでください。

両面コピーをする

［コピー］でコピーするとき、［両面印刷設定］で［両面印刷］を選ぶと、2 枚の原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーすることができます。

また、［ADF 両面読取設定］で［両面読取］を選ぶと、原稿の両面を読み取ってコピーすることができます。





両面コピーのしかたに合わせて、原稿のセット位置や設定を指定してください。

- **片面の原稿を用紙の両面にコピーする場合**

  原稿のセット位置：原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）

  ［ADF 両面読取設定］の設定：［片面読取］

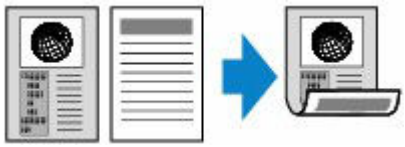
  ［両面印刷設定］の設定：［両面印刷］

  ［両面印刷設定］で［両面印刷］をタップしたあとに、［詳細設定］をタップすると、原稿の向きと印刷用紙のとじ方向を設定できます。また、原稿台ガラスに原稿をセットしたときのプレビュー画面を表示するか設定することができます。

  - ［原稿向き：縦］、［出力用紙：長辺とじ］を選んだ場合

  - ［原稿向き：縦］、［出力用紙：短辺とじ］を選んだ場合

  - ［原稿向き：横］、［出力用紙：長辺とじ］を選んだ場合

  - ［原稿向き：横］、［出力用紙：短辺とじ］を選んだ場合

- **両面の原稿を用紙の片面にコピーする場合**

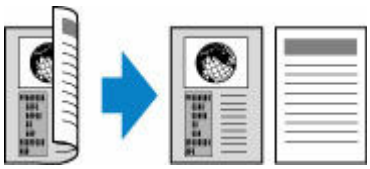
  原稿のセット位置：ADF（自動原稿給紙装置）

  ［ADF 両面読取設定］の設定：［両面読取］

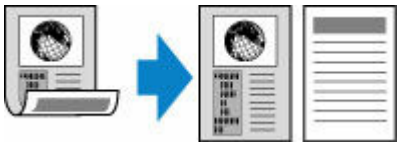
［両面印刷設定］の設定：［片面印刷］

［ADF 両面読取設定］で［両面読取］をタップしたあとに、［詳細設定］をタップすると、原稿の向きと読取原稿のとじ方向を設定できます。

- ［原稿向き：縦］、［読取原稿：長辺とじ］を選んだ場合



- ［原稿向き：縦］、［読取原稿：短辺とじ］を選んだ場合



- ［原稿向き：横］、［読取原稿：長辺とじ］を選んだ場合



- ［原稿向き：横］、［読取原稿：短辺とじ］を選んだ場合



- **両面の原稿を用紙の両面にコピーする場合**

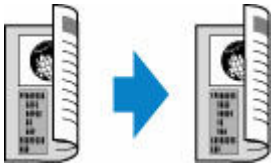
原稿のセット位置：ADF（自動原稿給紙装置）

［ADF 両面読取設定］の設定：［両面読取］

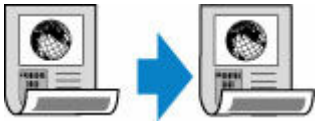
［両面印刷設定］の設定：［両面印刷］

［ADF 両面読取設定］で［両面読取］をタップしたあとに、［詳細設定］をタップすると、原稿の向きと読取原稿のとじ方向を設定できます。［両面印刷設定］で［両面印刷］をタップしたあとに、［詳細設定］をタップすると、原稿の向きと印刷用紙のとじ方向を設定できます。

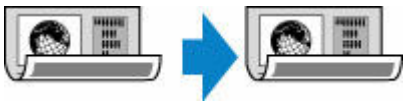
- ［原稿向き：縦］、とじ方向でそれぞれ［読取原稿：長辺とじ］、［出力用紙：長辺とじ］を選んだ場合



- ［原稿向き：縦］、とじ方向でそれぞれ［読取原稿：短辺とじ］、［出力用紙：短辺とじ］を選んだ場合



- ［原稿向き：横］、とじ方向でそれぞれ［読取原稿：長辺とじ］、［出力用紙：長辺とじ］を選んだ場合



◦ ［原稿向き：横］、とじ方向でそれぞれ［読取原稿：短辺とじ］、［出力用紙：短辺とじ］を選んだ場合



［両面読取］と［両面印刷］のとじ方向が異なる場合は、表面、裏面の上下を反転してコピーします。

例：［原稿向き：横］、［読取原稿：長辺とじ］、［出力用紙：短辺とじ］を選んだ場合



とじ方向を指定したあとに、プレビュー画面を表示するかを設定できます。［する］をタップすると、原稿の向きを確認するためにプレビュー画面を表示します。

参考

- 両面コピーは、［2in1 コピー］、［4in1 コピー］と組み合わせて使用することもできます。
  - ➡ 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする
  - ➡ 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする
- 白黒で両面コピーをした場合、片面の白黒コピーに比べて、印刷濃度に違いが見られる場合があります。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは：

- **読み取りが始まる前に：**

  ［両面印刷設定］で［両面印刷］を選び、プレビュー画面を表示する設定を選んでいるときは、読み取りを行う前にいったん原稿を読み込み、以下の画面（プレビュー画面）を表示します。



  A. タップすると原稿が 180 度回転します。

  B. タップすると読み取りを開始します。

  C. タップすると原稿を再読み込みします。

- **読み取りが終了したあとに：**

  原稿の読み取りが終了するごとに以下の画面が表示されます。



A. タップすると、読み取りを開始します。

原稿の読み取りが終了したら原稿台ガラスから取り出し、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてから［読取開始］をタップしてください。

B. タップすると、読み取りが終了した原稿までコピーします。

参考

- コピーが終了する前に、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます。

  ➡ 続けて原稿をコピーする（コピー予約）

便利なコピー機能を使う

- 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする
- 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする
- 本などの厚い原稿をコピーする
- ID カードの両面を 1 枚にコピーする
- 部単位でコピーする

2 枚の原稿を 1 枚にコピーする

［コピー］でコピーするとき、［レイアウト］で［2in1 コピー］を選ぶと、2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。

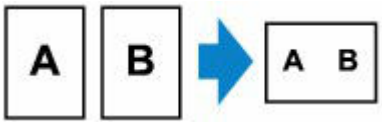
コピー待機画面で［印刷設定］をタップして印刷設定画面を表示し、［レイアウト］から［2in1 コピー］を選びます。



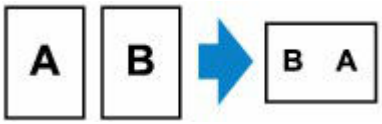
［2in1 コピー］を選んで、［OK］をタップします。

［2in1 コピー］を選んでいるときに［詳細設定］をタップすると、原稿の向きと順番を指定できます。

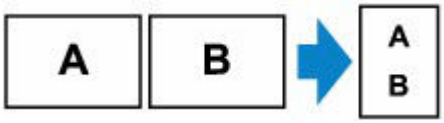
- ［原稿向き：縦］、［左から右へ］を選んだ場合



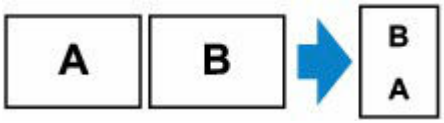
- ［原稿向き：縦］、［右から左へ］を選んだ場合



- ［原稿向き：横］、［上から下へ］を選んだ場合



- ［原稿向き：横］、［下から上へ］を選んだ場合



原稿の順番を指定したあとに、プレビュー画面を表示するかを設定できます。［する］をタップすると、原稿の向きを確認するためにプレビュー画面を表示します。

参考

- 両面コピー機能と組み合わせて使用することもできます。

  組み合わせて使用すると、4 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーすることができます。このときは、用紙の両面にそれぞれ 2 枚の原稿がコピーされます。

  組み合わせて使用する場合は、印刷設定の［ADF 両面読取設定］と［両面印刷設定］で両面コピーの設定ととじ方向を選んでください。

  両面コピー機能については、以下を参照してください。

➡ 両面コピーをする

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは：

- **読み取りが始まる前に：**

  プレビュー画面を表示する設定を選んでいるときは、読み取りを行う前にいったん原稿を読み込み、以下の画面（プレビュー画面）を表示します。



  A. タップすると原稿が 180 度回転します。

  B. タップすると読み取りを開始します。

  C. タップすると原稿を再読み込みします。

- **読み取りが終了したあとに：**

  原稿の読み取りが終了するごとに以下の画面が表示されます。



  A. タップすると、読み取りを開始します。

  原稿の読み取りが終了したら原稿台ガラスから取り出し、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてから［読取開始］をタップしてください。

  B. タップすると、読み取りが終了した原稿までコピーします。

参考

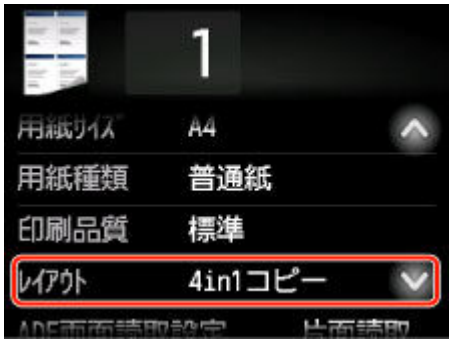
- コピーが終了する前に、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます。

  ➡ 続けて原稿をコピーする（コピー予約）

- 両面コピー機能と組み合わせて使用すると、2 枚目の原稿の読み取り終了後も上の画面が表示されます。表示される案内に従って、3 枚目と 4 枚目の原稿を読み取ってください。

4 枚の原稿を 1 枚にコピーする

［コピー］でコピーするとき、［レイアウト］で［4in1 コピー］を選ぶと、4 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。4 とおりの配置順を選ぶことができます。



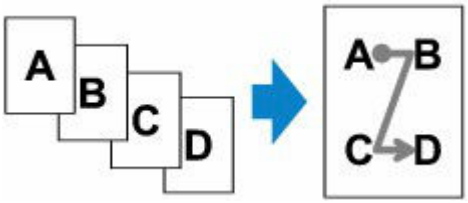
［4in1 コピー］を選んで、［OK］をタップします。

［4in1 コピー］を選んでいるときに［詳細設定］をタップすると、原稿の向きと順番を指定できます。

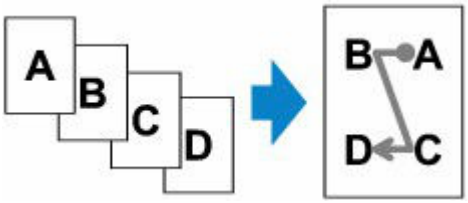
参考

- 原稿の向きが縦でも横でも、原稿の順番は同じです。

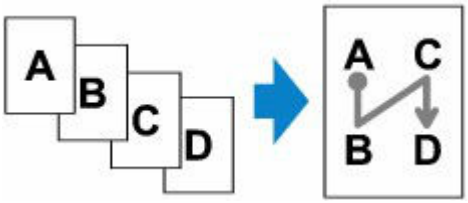
- ［左上から右へ］を選んだ場合



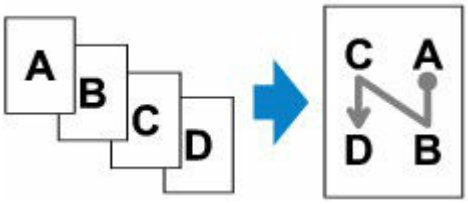
- ［右上から左へ］を選んだ場合



- ［左上から下へ］を選んだ場合



- ［右上から下へ］を選んだ場合



原稿の順番を指定したあとに、プレビュー画面を表示するかを設定できます。［する］をタップすると、原稿の向きを確認するためにプレビュー画面を表示します。

参考

- 両面コピー機能と組み合わせて使用することもできます。

  組み合わせて使用すると、8 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーすることができます。このときは、用紙の両面にそれぞれ 4 枚の原稿がコピーされます。

  組み合わせて使用する場合は、印刷設定の［ADF 両面読取設定］と［両面印刷設定］で両面コピーの設定ととじ方向を選んでください。

  両面コピー機能については、以下を参照してください。

  ➡ 両面コピーをする

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは：

- **読み取りが始まる前に：**

  プレビュー画面を表示する設定を選んでいるときは、読み取りを行う前にいったん原稿を読み込み、以下の画面（プレビュー画面）を表示します。



  A. タップすると原稿が 180 度回転します。

  B. タップすると読み取りを開始します。

  C. タップすると原稿を再読み込みします。

- **読み取りが終了したあとに：**

  原稿の読み取りが終了するごとに以下の画面が表示されます。



  A. タップすると、読み取りを開始します。

  原稿の読み取りが終了したら原稿台ガラスから取り出し、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてから［読取開始］をタップしてください。

  B. タップすると、読み取りが終了した原稿までコピーします。

参考

- コピーが終了する前に、続けて次の原稿をセットして読み取ることができます。

  ➡ 続けて原稿をコピーする（コピー予約）

- 両面コピー機能と組み合わせて使用すると、4 枚目の原稿の読み取り終了後も上記の画面が表示されます。表示される案内に従って、5 枚目以降の原稿を読み取ってください。

本などの厚い原稿をコピーする

［コピー］でコピーするとき、［枠消しコピー］で［する］を選ぶと、本などの厚い原稿をコピーするときにできる、画像の周りの黒い影を消し、本の見開きとじ部分の影を明るくコピーすることができます。この機能を使用すると、不要なインクの消耗をおさえることができます。



参考

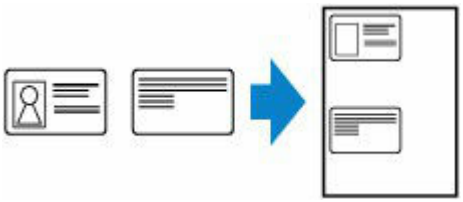
- 原稿は原稿台ガラスにセットし、原稿台カバーを閉じてください。
- コピー待機画面で  をタップすると、印刷結果を確認できます。

  プレビュー画面を表示する
- 原稿の周りに数ミリ程度の影が残ることがあります。この機能では濃い影のみを消します。本の厚みが薄い場合や窓際など周囲が明るい場所で使用した場合は、影が薄く残ることがあります。また、紙面が暗い場合など影との濃度差が少ない原稿では、画像の一部が欠けたり、とじ部分の影が残ったりすることがあります。

ID カードの両面を 1 枚にコピーする

［コピー］でコピーするとき、［レイアウト］で［ID カードコピー］を選ぶと、身分証明書などカードサイズの原稿の両面を、1 枚の用紙におさまるようにコピーすることができます。

コピー待機画面で［印刷設定］をタップして印刷設定画面を表示し、［レイアウト］から［ID カードコピー］を選びます。



表示されるメッセージを確認して、［OK］をタップします。

プレビュー画面で表面の印刷結果を確認することができます。

➡ プレビュー画面で表面の印刷結果を確認する

参考

- ［ID カードコピー］でコピーするときは、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

カラーボタンまたはモノクロボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



画面の指示に従って原稿をセットし、［読取開始］をタップしてください。

表面の読み取りが終了すると、以下の画面が表示されます。



画面の指示に従って原稿をセットし、［読取開始］をタップしてください。

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

プレビュー画面で表面の印刷結果を確認する

原稿をセットする前にコピー待機画面で  をタップすると、原稿のセットのしかたが表示されます。画面の指示に従って原稿をセットし、［読取開始］をタップするとプレビュー画面が表示され、表面の印刷結果を確認することができます。カラーボタンまたはモノクロボタンを押すと、表面の読み取りを開始します。

参考

- プレビュー画面で［OK］をタップすると、コピー待機画面に戻ります。

表面の読み取りが終了すると、以下の画面が表示されます。



画面の指示に従って原稿をセットし、［読取開始］をタップしてください。

コピーが開始されます。

コピー終了後、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

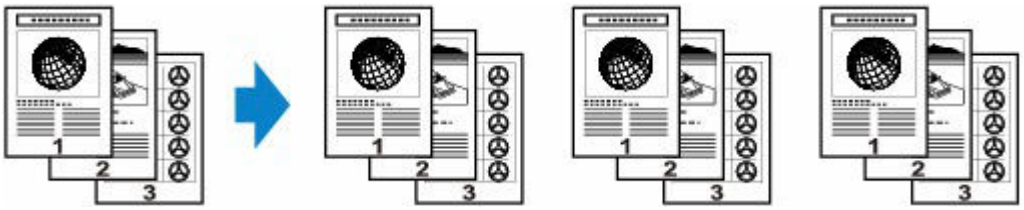
部単位でコピーする

複数ページある原稿を複数部コピーするときに、ページ順に 1 部ずつまとめてコピーできます。

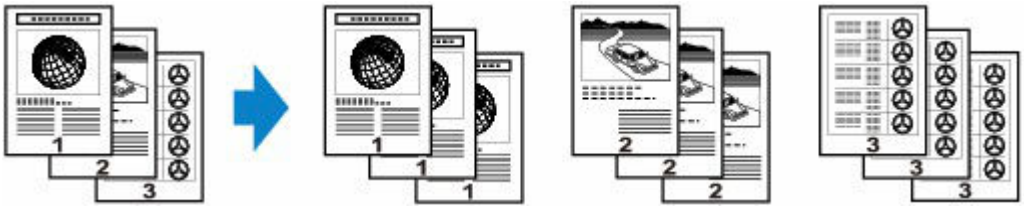
［コピー］でコピーするとき、［部単位で印刷］で［する］を選ぶと、複数ページある原稿を複数部コピーするときに、ページ順に 1 部ずつまとめてコピーできます。1 枚の用紙の両面にコピーすることもできます。



- ［する］を選んでコピーするとき



- ［しない］を選んでコピーするとき



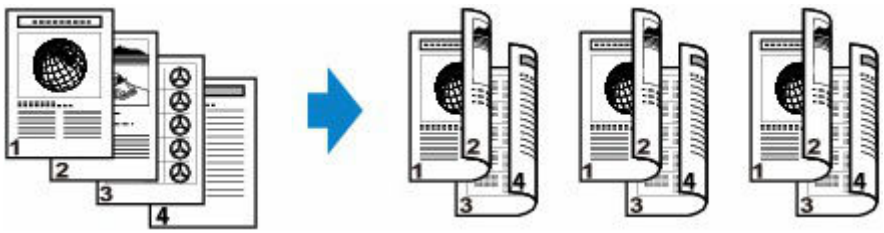
参考

- ［部単位で印刷］で［する］を選んでコピーするときは、原稿を ADF（自動原稿給紙装置）にセットしてください。
- 原稿によって読み取りできる原稿枚数が異なります。原稿の読み取り中に［本機のメモリーがいっぱいで処理を継続できません］と表示された場合は、原稿枚数を減らして、再度コピーしてください。

両面コピー機能と組み合わせて部単位でコピーする

両面コピーを選んでいる場合でも、部単位でコピーすることができます。

組み合わせて使用する場合は、印刷設定の［ADF 両面読取設定］と［両面印刷設定］で両面コピーの設定ととじ方向を選んでください。



両面コピーについては「両面コピーをする」を参照してください。

スマートフォン／タブレットを使ってコピーする

ご使用のスマートフォン／タブレットに Canon PRINT Inkjet/SELPHY をインストールすると、本製品の操作パネルよりも大きな画面のスマートフォン／タブレットからコピーの設定、操作をすることができます。

Canon PRINT Inkjet/SELPHY は Canon 製のアプリで、App Store や Google Play からダウンロードできます。

➡ iOS はこちら
➡ Android はこちら

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. 本製品とご使用のスマートフォン／タブレットを無線 LAN 接続する
   - 無線 LAN ルーターを使用して接続する場合：
     ➡ 無線 LAN 接続
   - 無線 LAN ルーターを使用しないで接続する場合：
     ➡ 本製品をダイレクト接続で使用する
4. ご使用のスマートフォン／タブレットでアプリ（Canon PRINT Inkjet/SELPHY）を起動する
5. Canon PRINT Inkjet/SELPHY で本製品名が表示されていることを確認する

   本製品名が表示されていない場合は、本製品の登録を行ってください。
6. アプリの［コピー］をタップする
7. 必要に応じて設定する

   以下の項目を設定することができます。
   - 部数設定
   - 用紙サイズ
   - 用紙の種類
   - 倍率
   - コピー濃度
   - 印刷品質
8. 原稿台ガラスに原稿をセットする
9. カラーコピーをする場合はアプリの［カラー］をタップする
   白黒コピーをする場合はアプリの［モノクロ］をタップする
10. パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力し、アプリの［OK］をタップする

    コピーが開始されます。

重要

- 本製品はご購入時から管理パスワードが設定されています。管理パスワードは本製品のシリアルナンバーに設定されています。本製品のシリアルナンバーは 9 文字（前半 4 文字がアルファベット、後半 5 文字が数字）で、本体のシールに記載されています。

  パスワードの変更方法については、「パスワードを設定する」を参照してください。

スキャン



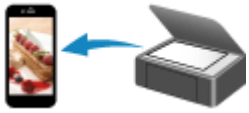
パソコンからスキャンしてみよう（Windows）



パソコンからスキャンしてみよう（Mac OS）



本製品の操作パネルを使ってスキャンしてみよう



スマートフォン／タブレットを使ってスキャンしてみよう

パソコンからスキャンしてみよう（Windows）

- IJ Scan Utility でスキャンする
- お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）
- そのほかのスキャンのしかた
- IJ Network Scanner Selector EX2 のメニューと設定画面
- スキャンの役立つ情報
- 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
- ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

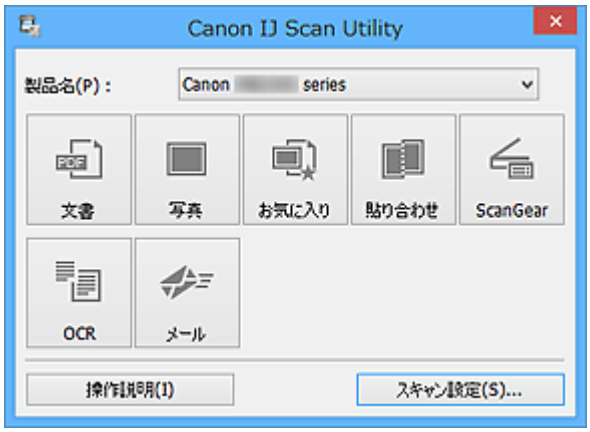
IJ Scan Utility でスキャンする

- **スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは**
- **IJ Scan Utility を起動する**
- **文書をスキャンする** 基本
- **写真をスキャンする**
- **お気に入りの設定でスキャンする**
- **原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）**
  - ［画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する
- **スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）**
- **スキャンした画像を E メールに添付して送信する**
- **複数の原稿を一度にスキャンする**
- **ADF（自動原稿給紙装置）から、複数の原稿を一度にスキャンする**
- **原稿の両面を一度にスキャンする**
- **スキャン結果を確認して保存する**
- **IJ Scan Utility の画面説明**

スキャナー用ソフト「IJ Scan Utility」とは

IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）は、文書や写真などを手軽にスキャンできるアプリケーションソフトです。

IJ Scan Utility 基本画面で目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



IJ Scan Utility でできること

目的に合わせてかんたんにスキャン

文書や雑誌の文字をくっきりさせてスキャンしたいときは［文書］、写真に適した設定でスキャンしたいときは［写真］など、原稿の種類や目的に合ったアイコンをクリックするだけでスキャンできます。

参考

- IJ Scan Utility 基本画面について、詳しくは、「IJ Scan Utility 基本画面」を参照してください。

スキャンした画像を自動で保存

スキャンした画像は、あらかじめ指定されているフォルダーに自動で保存されます。保存先を変更することも可能です。

参考

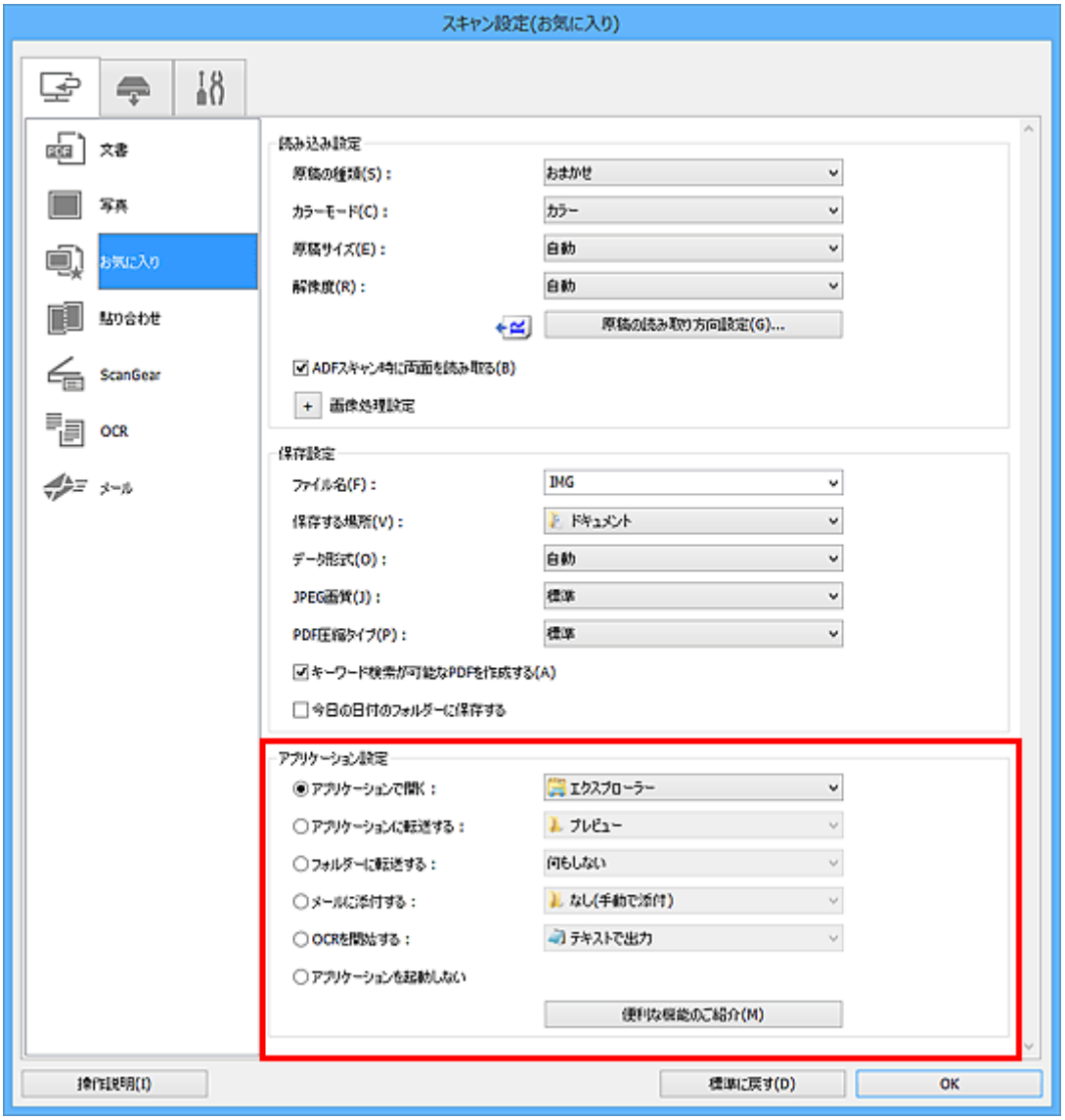
- 初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。
  - **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

    ［ドキュメント］フォルダー
  - **Windows 8／Windows 7 の場合：**

    ［マイ ドキュメント］フォルダー
- 保存先の指定方法については、「スキャン設定ダイアログボックス」を参照してください。

アプリケーションソフトとの連携

スキャンした画像をお好みのアプリケーションソフトで表示したり、メールに添付したり、画像から文字をテキストとして抽出したりするなど、ほかのアプリケーションソフトと連携してスキャン画像を活用することができます。



参考

- 連携するアプリケーションソフトの設定方法については、「スキャン設定ダイアログボックス」を参照してください。

IJ Scan Utility を起動する

参考

- 複数台のスキャナーをお持ちの場合や USB 接続からネットワーク接続へ接続方法を変更した場合は、IJ Scan Utility からネットワーク環境の設定を行ってください。

  ➡ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

以下の手順に従って、IJ Scan Utility を起動してください。

Windows 10 の場合：

［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］の順に選択

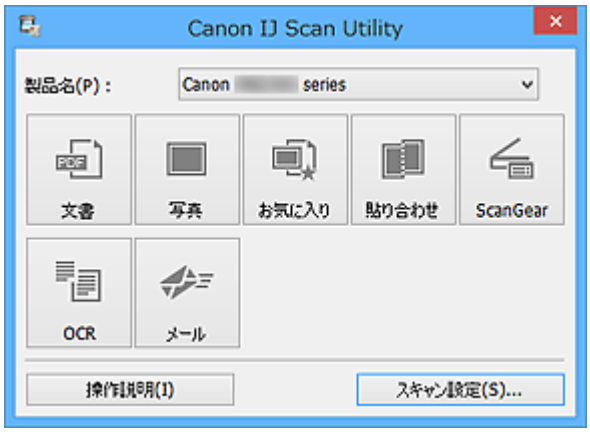
Windows 8.1／Windows 8 の場合：

スタート画面上の［IJ Scan Utility］を選択

スタート画面に［IJ Scan Utility］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Scan Utility」を検索してください。

Windows 7／Windows Vista の場合：

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］→［IJ Scan Utility］の順に選択



文書をスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、文書に適した設定でスキャンできます。

1. 原稿台に原稿をセット

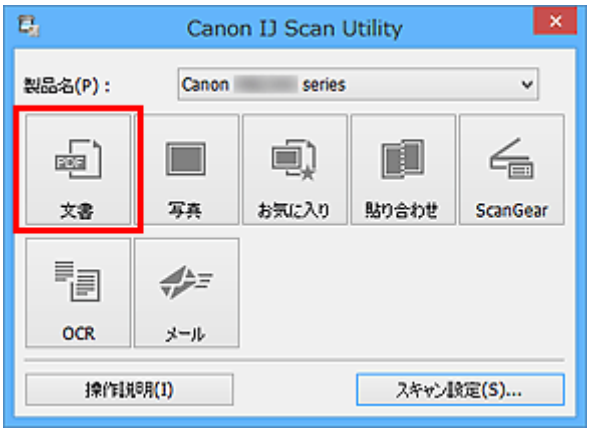
   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. IJ Scan Utility を起動

3. 必要に応じて［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスで、原稿サイズや解像度などを設定

   設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

4. ［文書］をクリック



   スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

写真をスキャンする

原稿台にセットされた写真を、写真に適した設定でスキャンできます。

1. 原稿台に写真をセット

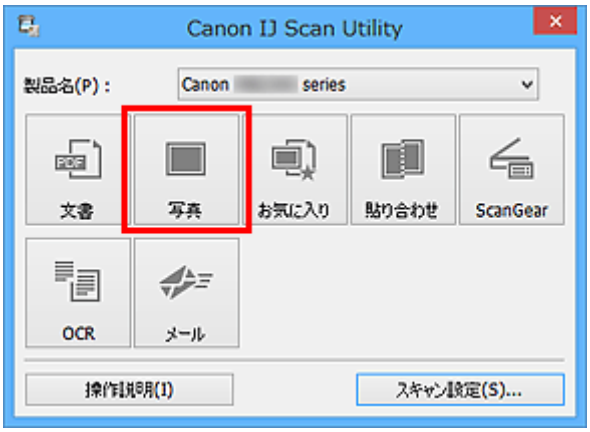
   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. IJ Scan Utility を起動

3. 必要に応じて［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(写真)］ダイアログボックスで、原稿サイズや解像度などを設定

   設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

4. ［写真］をクリック



   スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される［スキャン設定(写真)］ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。［スキャン設定(写真)］ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

お気に入りの設定でスキャンする

原稿台にセットされた原稿を、あらかじめ登録しておいたお好みの設定でスキャンできます。

よく使用する設定を登録しておいたり、スキャンの設定を細かく指定したりするときに便利です。

1. IJ Scan Utility を起動

2. ［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスで、原稿の種類や解像度などを設定

   設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

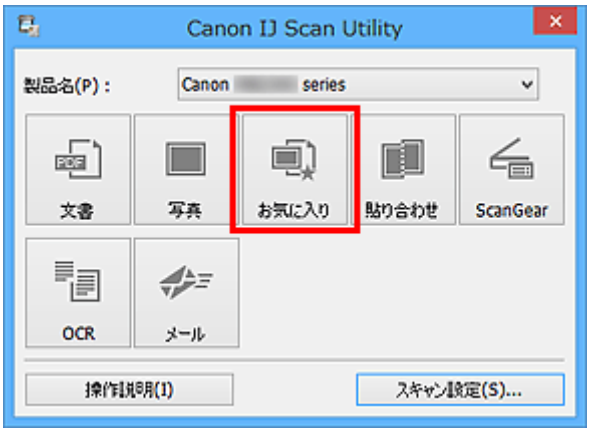
   参考

   - 1 度設定しておくと、次回以降も同じ設定でスキャンできます。

3. 原稿台に原稿をセット

   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

4. ［お気に入り］をクリック



   スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）

原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1 つの画像に貼り合わせることができます。
原稿台の約 2 倍のサイズの原稿まで対応できます。

参考

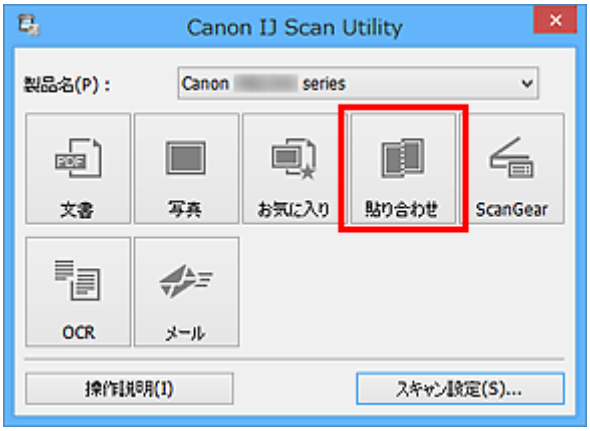
- ここでは、左側に配置する原稿から読み取る手順で説明します。

1. IJ Scan Utility を起動

2. 必要に応じて［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックスで、原稿の種類や解像度などを設定

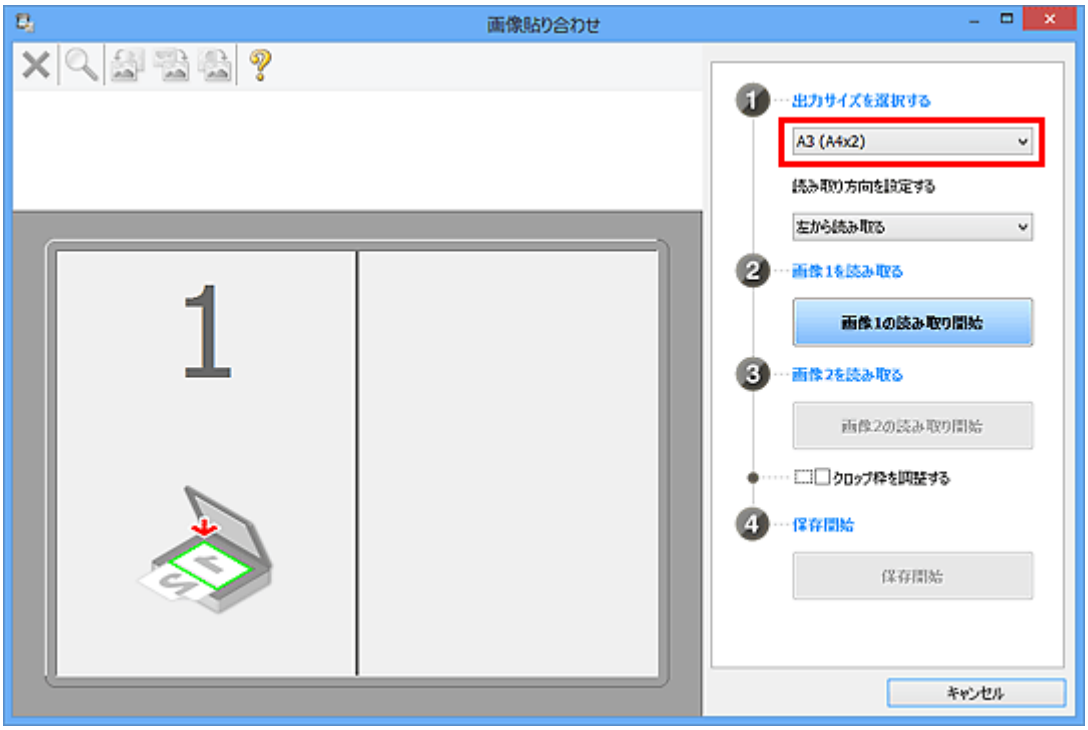
   設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

3. ［貼り合わせ］をクリック

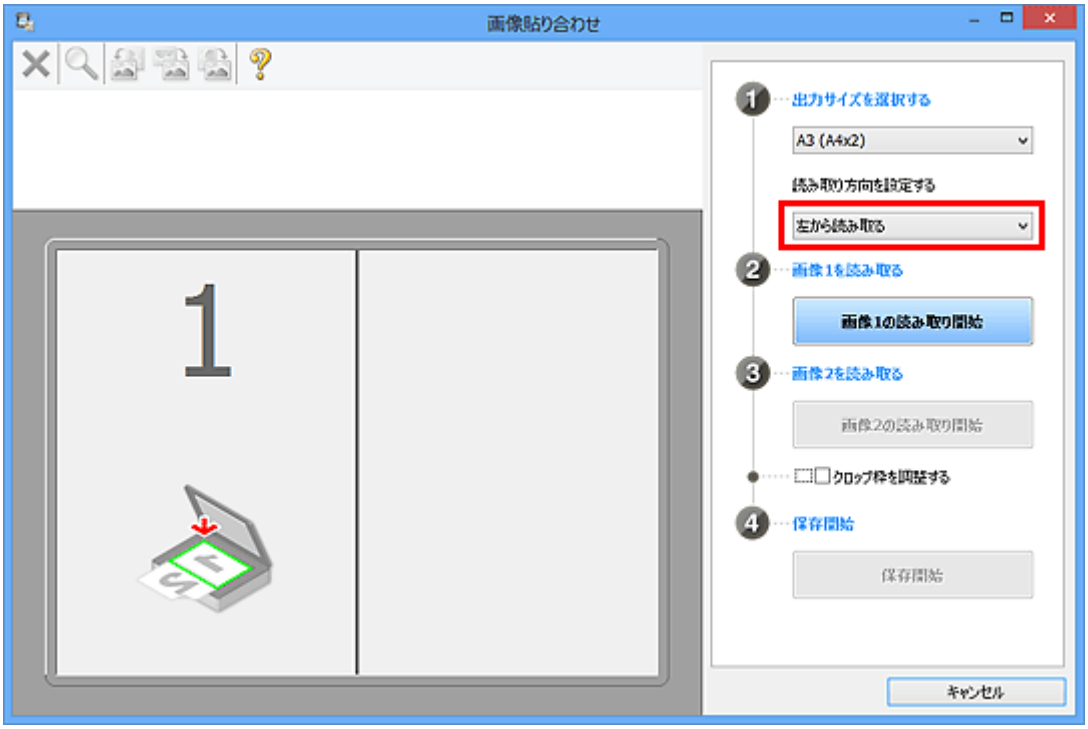


   ［画像貼り合わせ］ウィンドウが表示されます。

4. ［出力サイズを選択する］で、原稿のサイズに合わせて出力サイズを選択

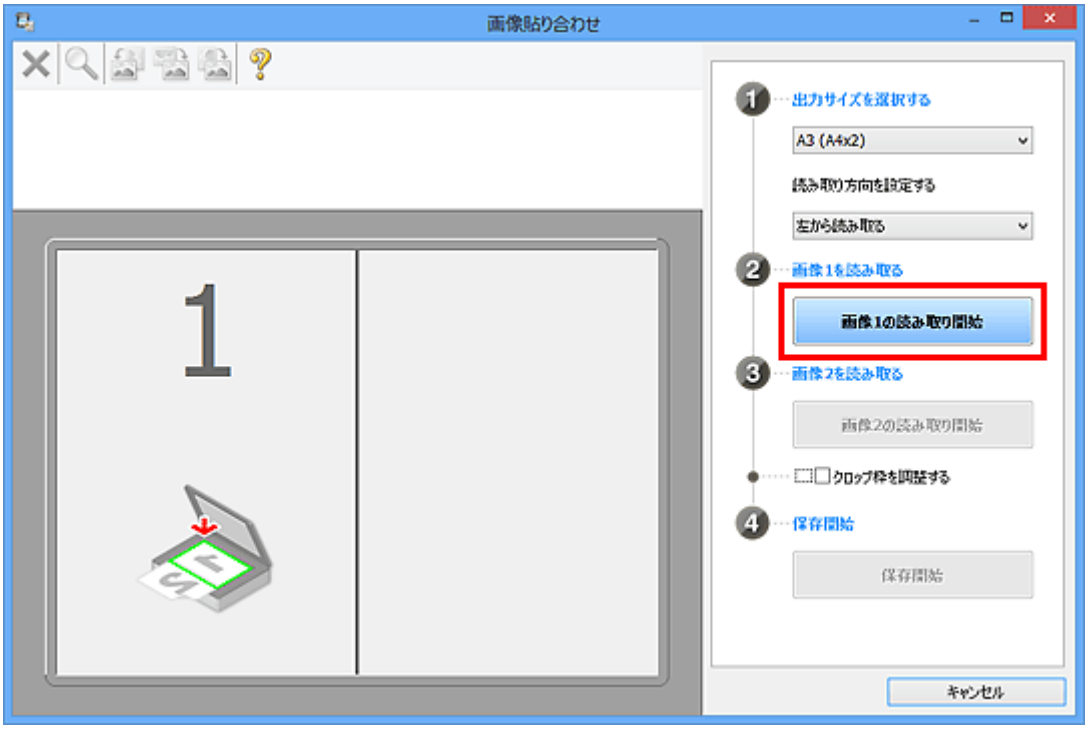


5. ［読み取り方向を設定する］で［左から読み取る］が選ばれていることを確認



6. 画面の左側に配置する原稿を、スキャンする面を下にして原稿台にセット

7. ［画像 1 の読み取り開始］をクリック



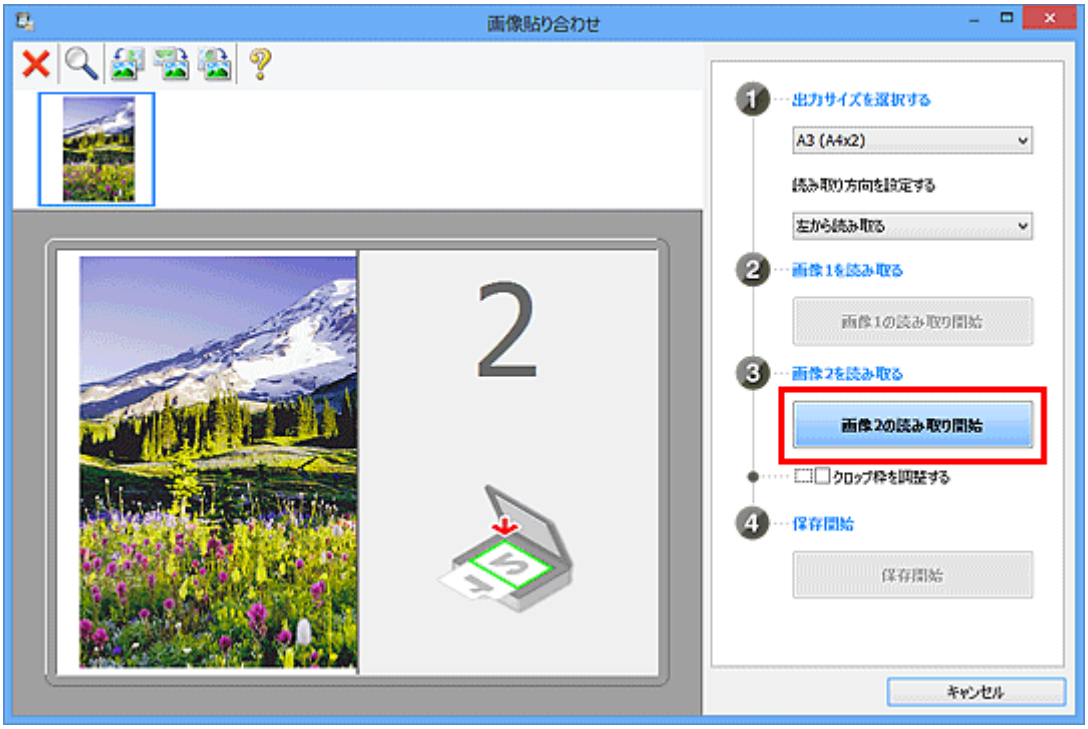
1 枚目の原稿がスキャンされ、［1］に表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。

8. 画面の右側に配置する原稿を、スキャンする面を下にして原稿台にセット

9. ［画像 2 の読み取り開始］をクリック



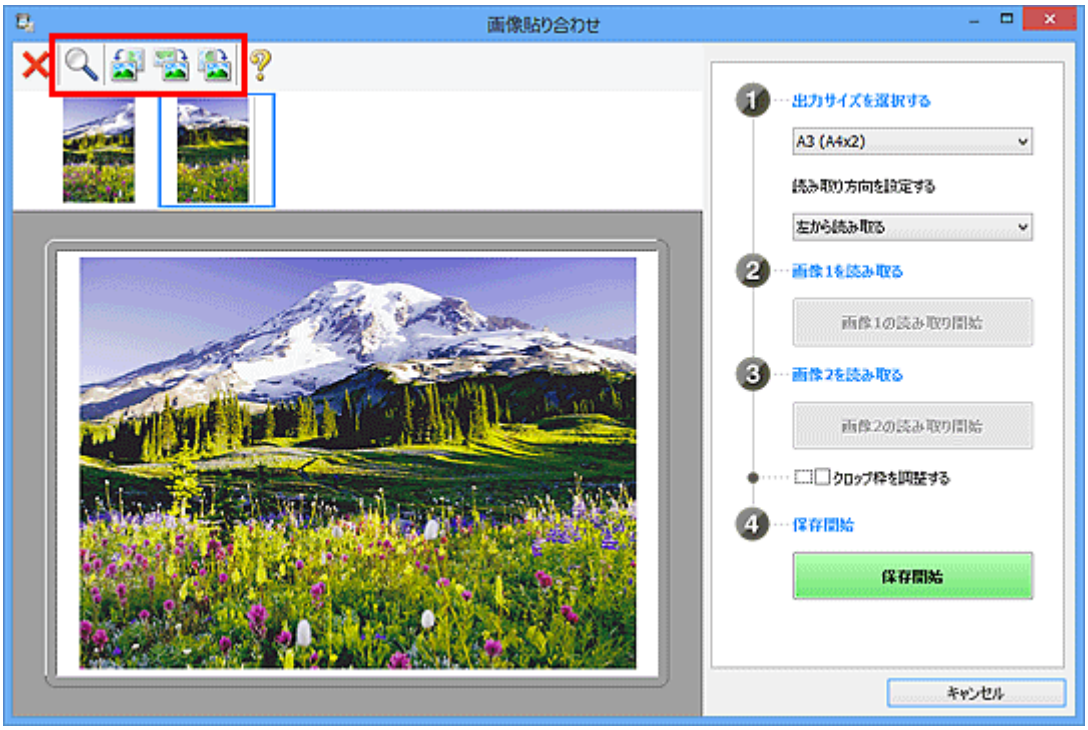
2 枚目の原稿がスキャンされ、［2］に表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。

10. 必要に応じて、取り込んだ画像を調整

ツールバーを使用して回転や拡大／縮小表示したり、画像をドラッグして配置を調整したりします。



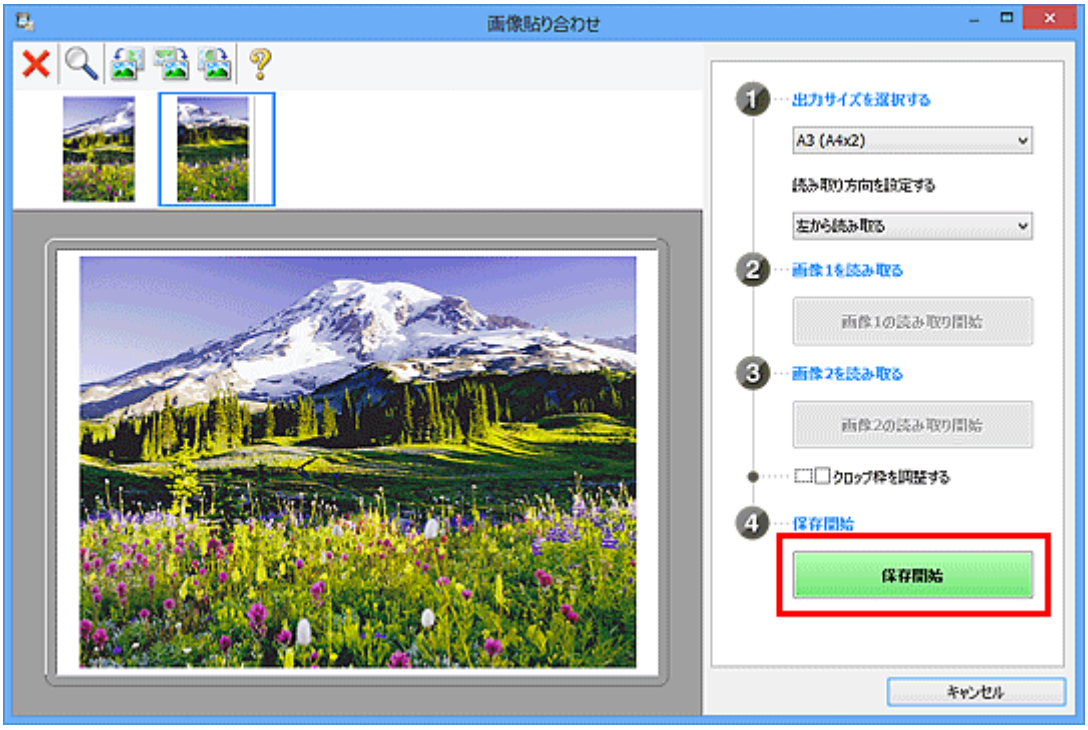
参考

- ［クロップ枠を調整する］にチェックマークを付けると、保存する範囲を指定することができます。

➡ [画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する

- 原稿をスキャンし直したい場合は、プレビュー領域の画像または画面上側のサムネイル画像を選び、  （削除）をクリックしてください。選んだ画像が削除され、再度原稿をスキャンできるようになります。

11. ［保存開始］をクリック



貼り合わせた画像が保存されます。

参考

- ［画像貼り合わせ］ウィンドウについて、詳しくは、「［画像貼り合わせ］ウィンドウ」を参照してください。
- ［スキャン設定...］をクリックして表示される［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックスで、スキャンするときの詳細な設定ができます。

［画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する

画像の必要な範囲だけを選び、スキャンするときに不要な部分を取り除くことを「クロップ」といいます。

［画像貼り合わせ］ウィンドウでは、プレビュー領域に表示された画像に対してクロップ枠を指定できます。

参考

- ScanGear（スキャナードライバー）でクロップ枠を調整する方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）」を参照してください。

クロップ枠の初期状態

クロップ枠は指定されていません。［クロップ枠を調整する］にチェックマークを付けると、プレビュー領域内の画像の周囲にアクティブなクロップ枠が自動で指定されます。クロップ枠をドラッグして、範囲を指定することもできます。

スキャンを実行すると、クロップ枠で指定された範囲の画像が読み込まれます。

クロップ枠の調整

カーソルをクロップ枠上に合わせると、形状が  （矢印）に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠が拡大／縮小します。



カーソルをクロップ枠の内側に合わせると、形状が  （プラスの矢印）に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。



クロップ枠の削除

クロップ枠を削除するには、［クロップ枠を調整する］のチェックマークを外します。

スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）

IJ Scan Utility 基本画面で［OCR］をクリックすると、画像としてスキャンした雑誌や新聞などの活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換することができます。

参考

- ［文書］、［お気に入り］、または［ScanGear］からも、文字列を抜き出すことができます。

1. IJ Scan Utility を起動

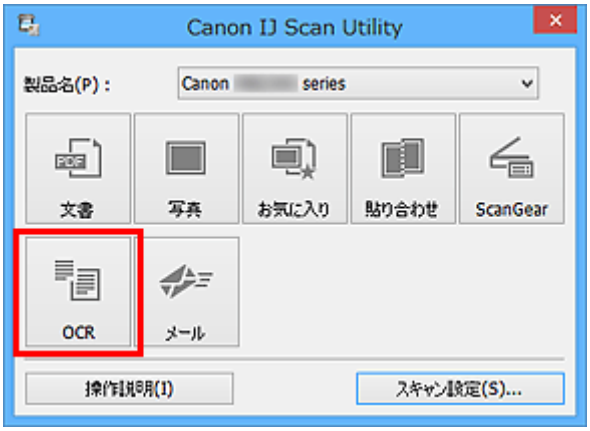
2. ［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックスで、原稿の種類や解像度などを設定し、結果を表示させたいアプリケーションソフトを選択

   設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

   参考

   - ［解像度］は、［300dpi］または［400dpi］のみ設定できます。
   - 対応するアプリケーションソフトがインストールされていない場合は、画像内の文字列を抽出し、ご使用のテキストエディタに表示します。
     表示される文字列は、［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスの［文書の言語］を基準としています。［文書の言語］で、抽出したい言語を選んでからスキャンしてください。
   - プルダウンメニューからアプリケーションソフトを追加することもできます。

3. ［OCR］をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後、設定した内容でスキャン画像が保存され、指定したアプリケーションソフトに抜き出された文字列が表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
- ご使用のテキストエディタに表示される文字列は簡易的なものであり、次のような原稿は、画像内の文字を正しく認識できない場合があります。
  - 文字サイズが 8 ポイント～40 ポイント（300 dpi 時）の範囲外の文字を含む原稿
  - 傾いた原稿
  - 上下が逆になっている原稿や文字が横になっているなど、文字の方向が正しくない原稿
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 文字の行間が狭い原稿
  - 文字の背景に色がついた原稿

- 複数の言語を含む原稿

スキャンした画像を E メールに添付して送信する

IJ Scan Utility 基本画面で［メール］をクリックするだけで、スキャンした画像データを E メールに添付してかんたんに送信できます。

参考

- ［文書］、［写真］、［お気に入り］、または［ScanGear］からも、スキャンした画像データを E メールに添付して送信できます。

1. IJ Scan Utility を起動

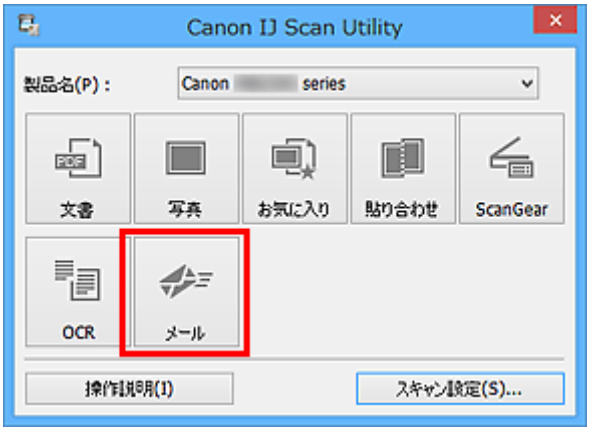
2. ［スキャン設定...］をクリックし、［スキャン設定(メール)］ダイアログボックスで、原稿の種類や解像度などを設定し、メールソフトを選択

   設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

3. 原稿台に原稿をセット

   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

4. ［メール］をクリック



   スキャンが開始されます。

   スキャン終了後、指定したメールソフトが起動し、新規メールに画像が添付されます。

   参考

   - スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
   - スキャン画像は、スキャン設定ダイアログボックスに設定した内容で保存されます。
   - スキャン設定ダイアログボックスで、［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付けた場合、［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。保存方法を設定し、［OK］をクリックすると、スキャン画像が保存され、自動で指定したメールソフトの新規メールに添付されます。

5. 宛先を指定し、件名や本文を入力してメールを送信

   メールの設定については、ご使用のメールソフトの取扱説明書を参照してください。

複数の原稿を一度にスキャンする

原稿台にセットした 2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を一度にまとめてスキャンし、画像を 1 枚ずつ保存できます。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調整して、再度スキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする」を参照してください。

参考

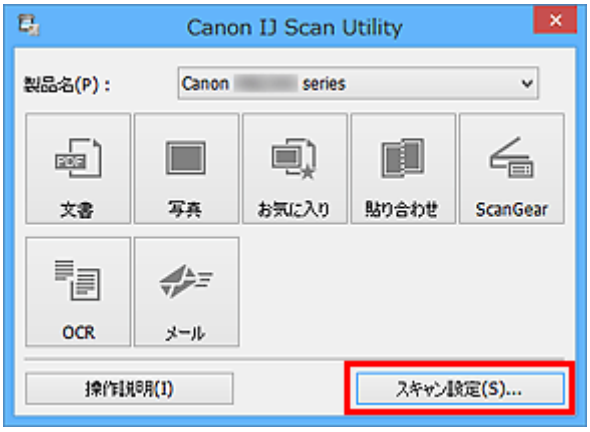
- お気に入りの設定でスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. 原稿台に原稿をセット

   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

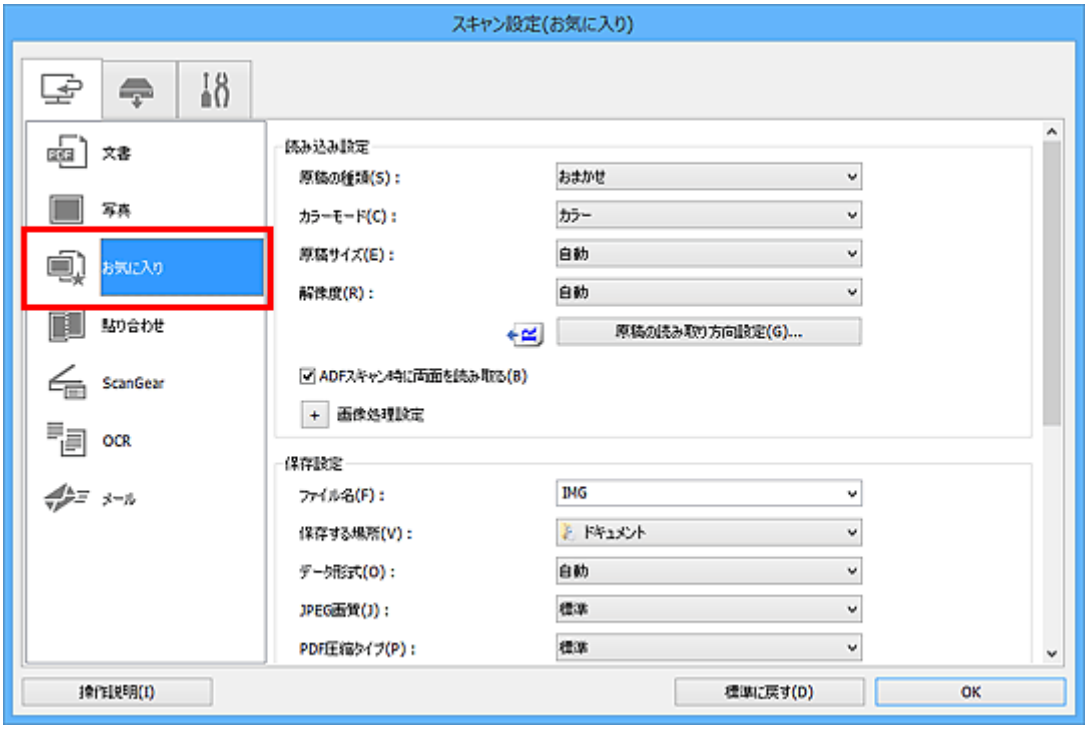
2. IJ Scan Utility を起動

3. [スキャン設定...] をクリック

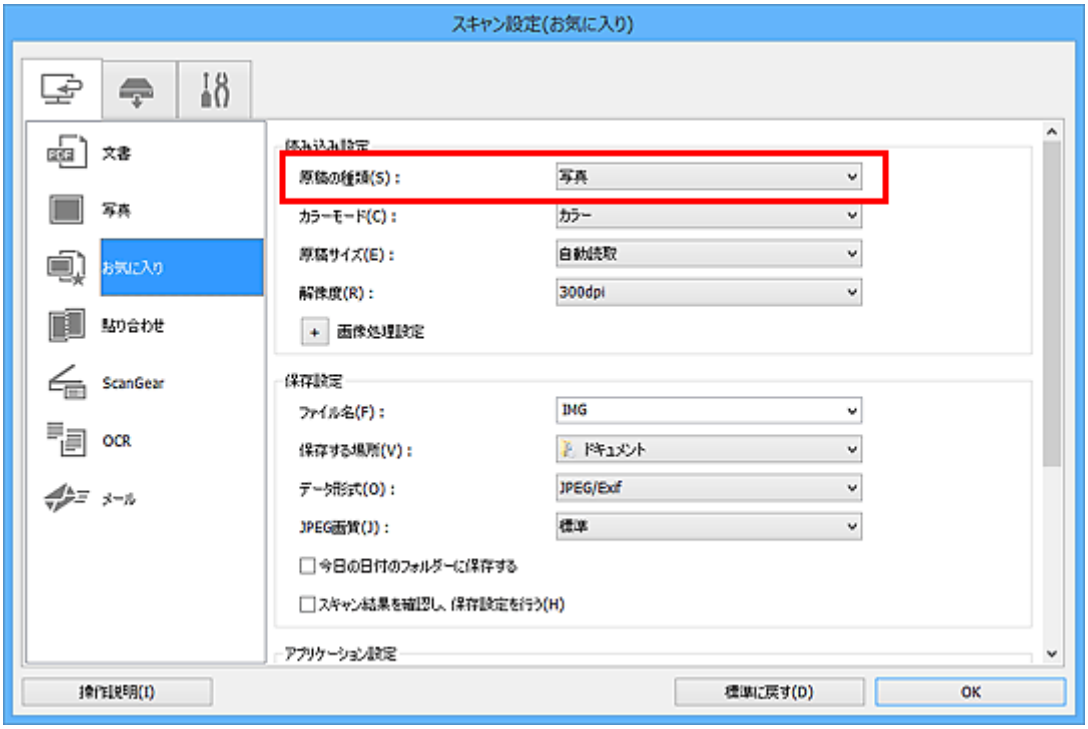


   スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。

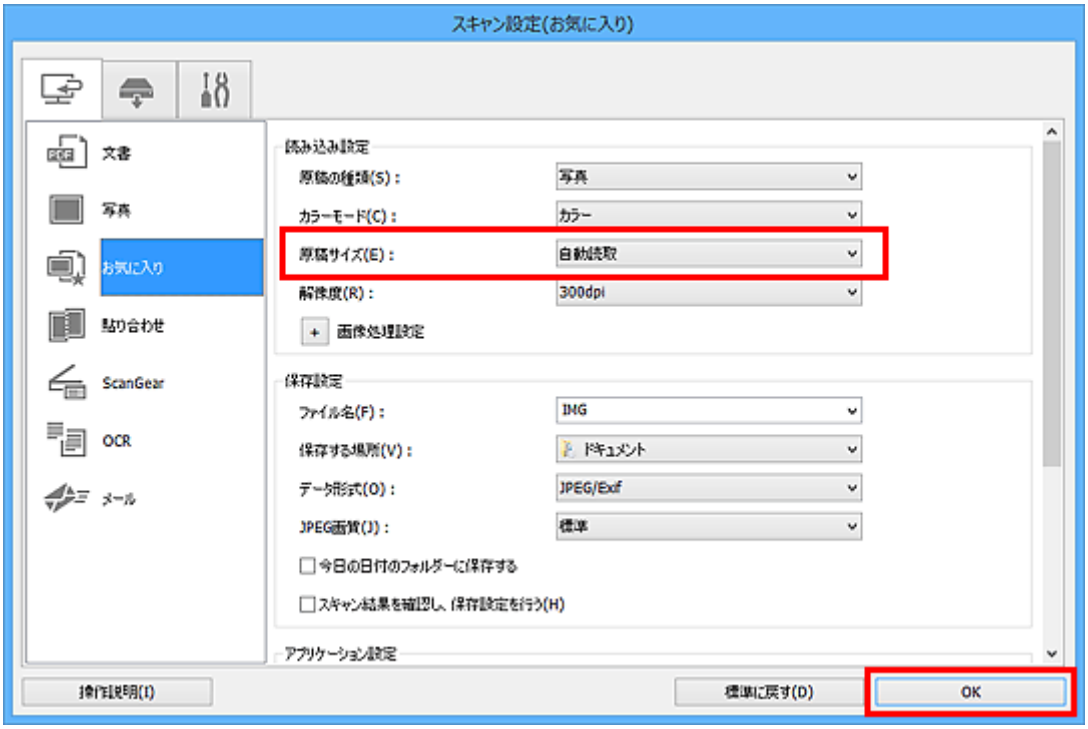
4. [お気に入り] をクリック



5. スキャンする原稿に合わせて、[原稿の種類]を選択



6. [原稿サイズ]で[自動読取]を選択し、[OK]をクリック

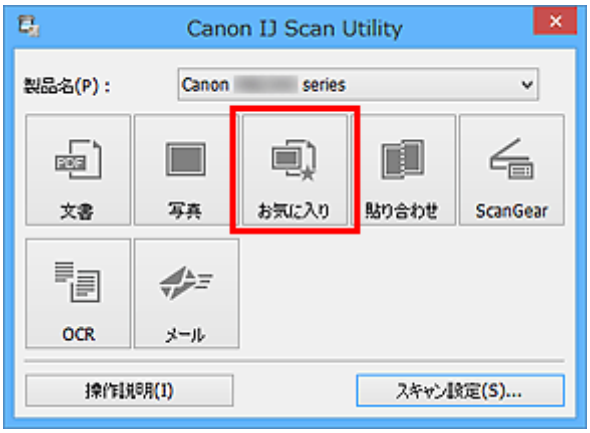


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
  - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(写真)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(OCR)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(メール)] ダイアログボックス

7. [お気に入り] をクリック



複数の原稿が一度にまとめてスキャンされます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される各スキャン設定ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。各スキャン設定ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

ADF（自動原稿給紙装置）から、複数の原稿を一度にスキャンする

ADF（自動原稿給紙装置）に複数枚の原稿をセットし、一度にまとめてスキャンすることができます。

ここでは、原稿を片面ずつスキャンする場合の操作手順を説明しています。原稿の両面を自動でスキャンしたい場合は、「原稿の両面を一度にスキャンする」を参照してください。

参考

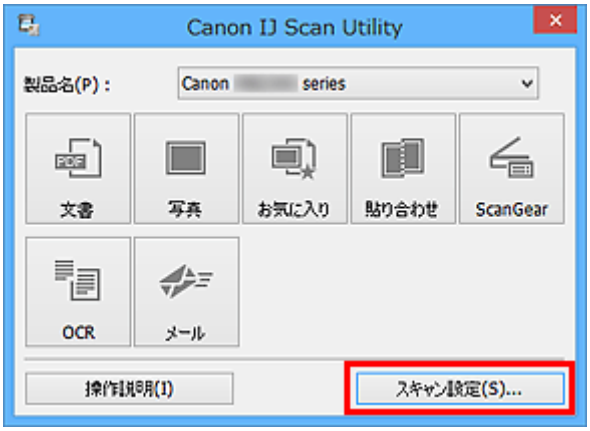
- ［文書］、［お気に入り］、［ScanGear］、［OCR］、または［メール］でスキャンするときに、ADF から複数の原稿を一度にスキャンできます。
  ScanGear（スキャナードライバー）を使用したスキャン方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）」を参照してください。
- 文書をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. ADF に原稿をセット

   ➡ 原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

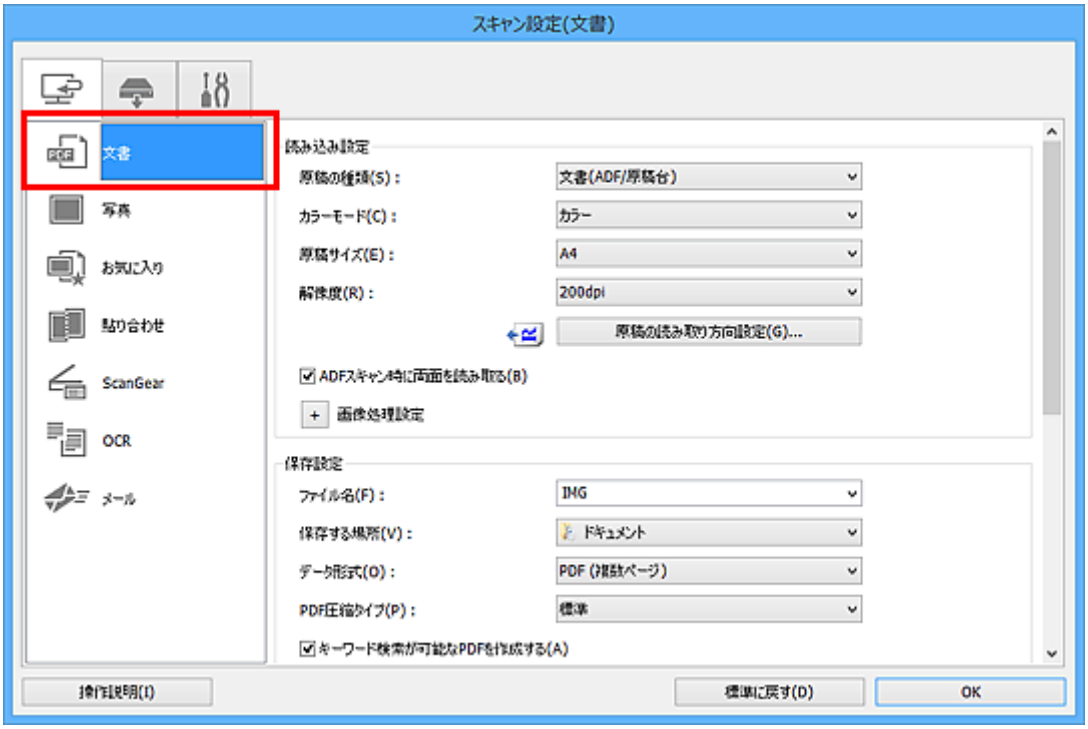
2. IJ Scan Utility を起動

3. ［スキャン設定...］をクリック



   スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。

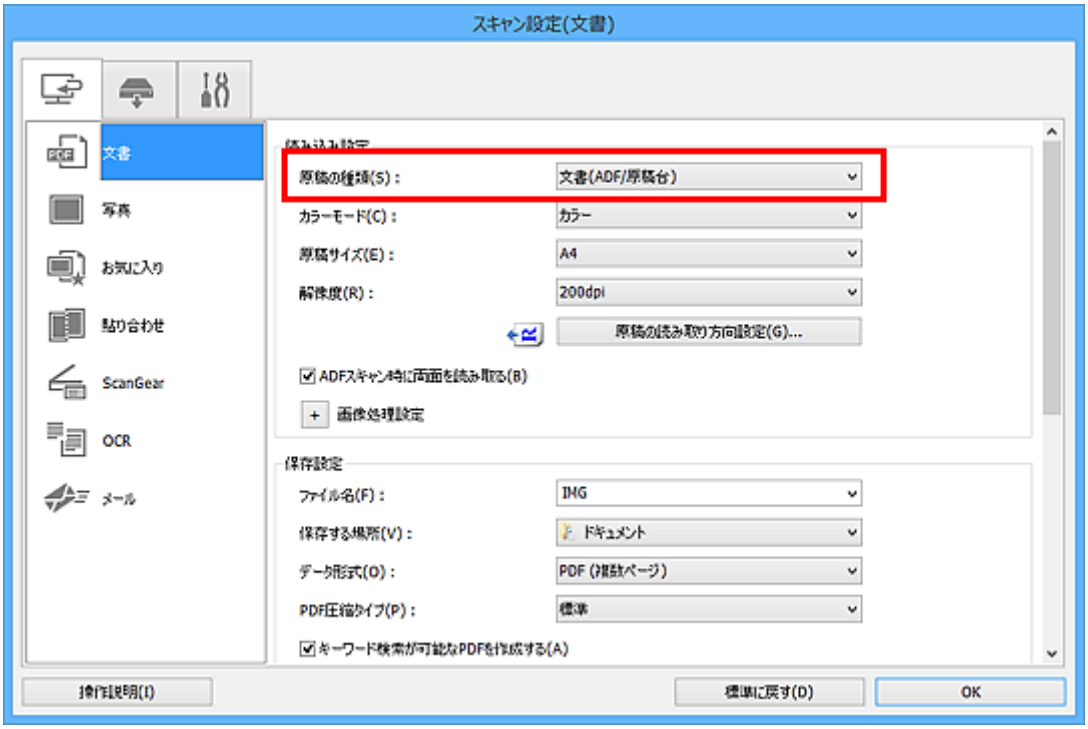
4. ［文書］をクリック



5. スキャンする原稿に合わせて、[原稿の種類]を選択

原稿の表面のみをスキャンしたい場合は、[文書(ADF/原稿台)]または[文書(ADF 片面)]を選びます。

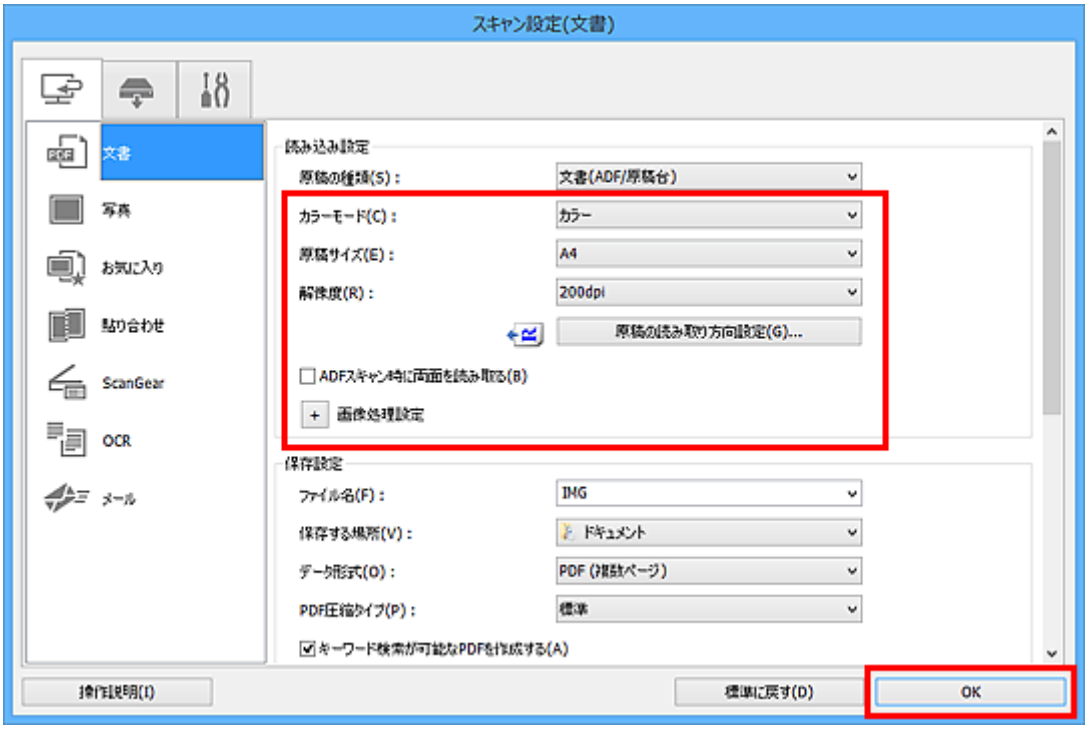
原稿の裏面を続けてスキャンしたい場合は、[文書(ADF 手動両面)]を選びます。



6. 必要に応じてカラーモード、原稿のサイズや読み取りの解像度を設定

スキャンする原稿の向きを設定する場合は、[原稿の読み取り方向設定...]をクリックしてください。表示されたダイアログボックスで[原稿方向]や[とじ方向]を設定することができます。[とじ方向]によって、原稿の裏面をスキャンするときのセット方法が異なります。

設定が完了したら[OK]をクリックしてください。

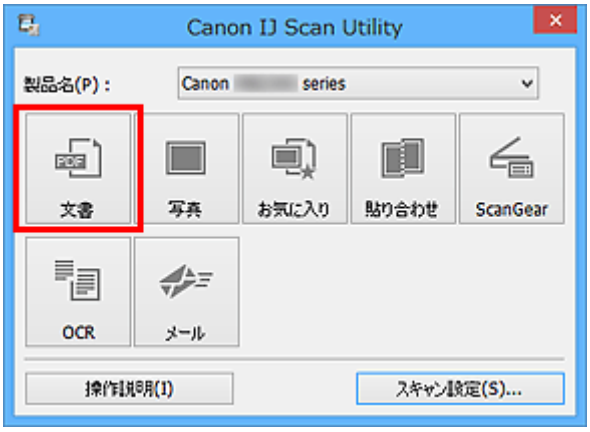


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
  - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(OCR)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(メール)] ダイアログボックス

7. [文書] をクリック



スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、[キャンセル] をクリックします。

[原稿の種類] で [文書(ADF 手動両面)] を選択している場合は、手順 8 へ進んでください。

参考

- ［原稿の種類］で［文書(ADF 両面)］を選択している場合は、［手動両面読み取り］ダイアログボックスは表示されず、原稿の両面を自動でスキャンします。詳しくは、「原稿の両面を一度にスキャンする」を参照してください。

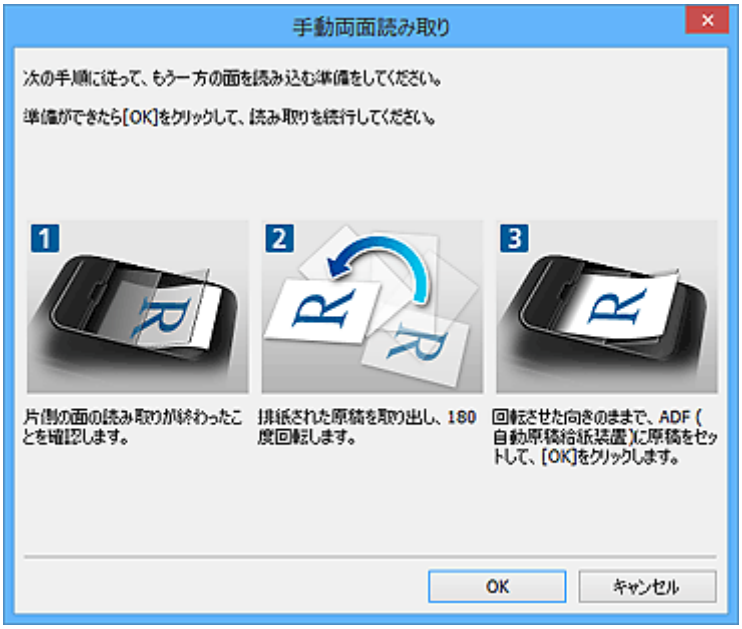
8. 表示されたメッセージに従って原稿をセット

参考

- ［原稿方向］を［縦］に設定してスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

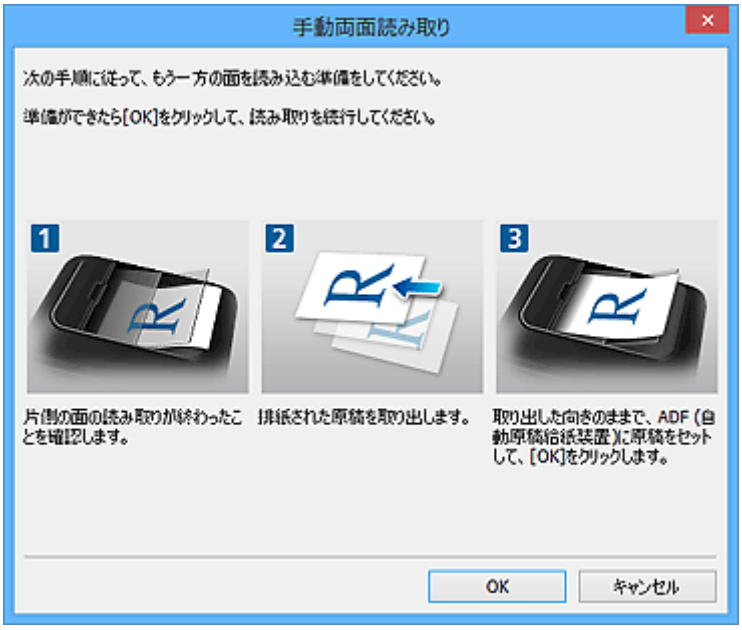
［原稿の読み取り方向設定...］で、［とじ方向］に［長辺とじ］を選択した場合：

排紙された原稿を 180 度回転させ、原稿をセットしてください。



［原稿の読み取り方向設定...］で、［とじ方向］に［短辺とじ］を選択した場合：

排紙された原稿の向きを変えずに、原稿をセットしてください。



9. ［OK］をクリック

スキャンが開始されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。
- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される各スキャン設定ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。各スキャン設定ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

原稿の両面を一度にスキャンする

ADF（自動原稿給紙装置）を使って、原稿の両面を一度にスキャンすることができます。

参考

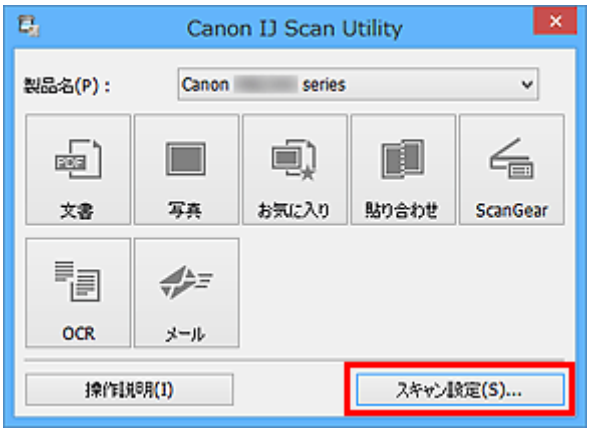
- ［文書］、［お気に入り］、［ScanGear］、［OCR］、または［メール］でスキャンするときに、ADF から複数の原稿を一度にスキャンできます。
  ScanGear（スキャナードライバー）を使用したスキャン方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）」を参照してください。
- 文書をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

1. ADF に原稿をセット

   原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

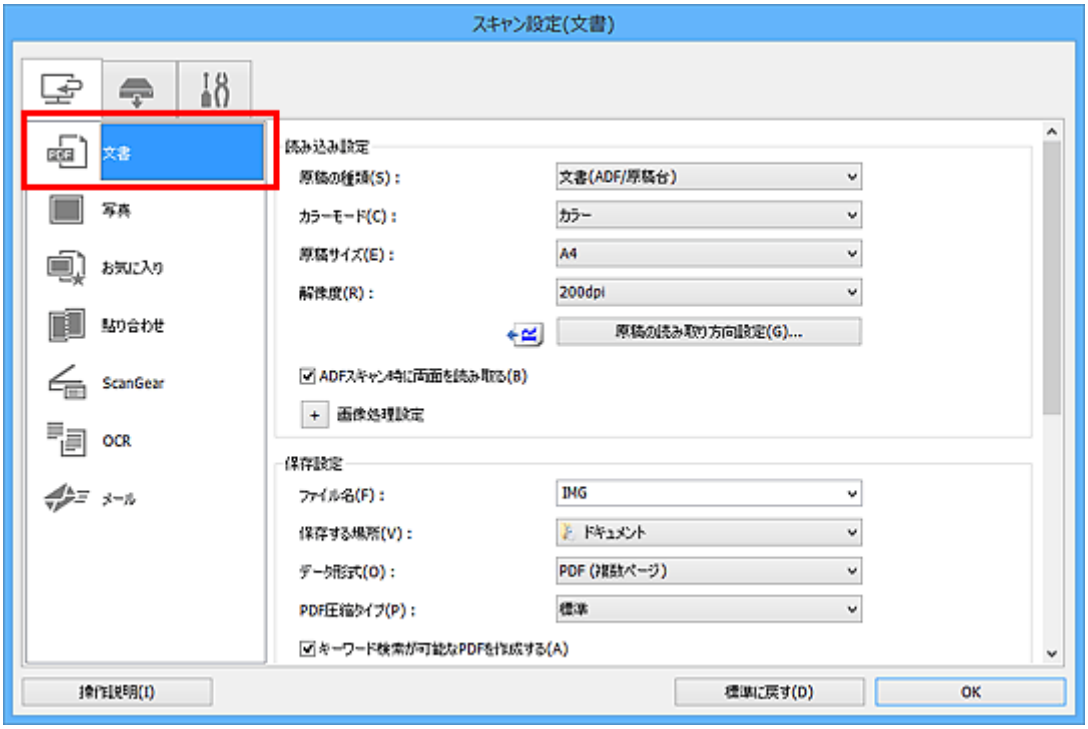
2. IJ Scan Utility を起動

3. ［スキャン設定...］をクリック

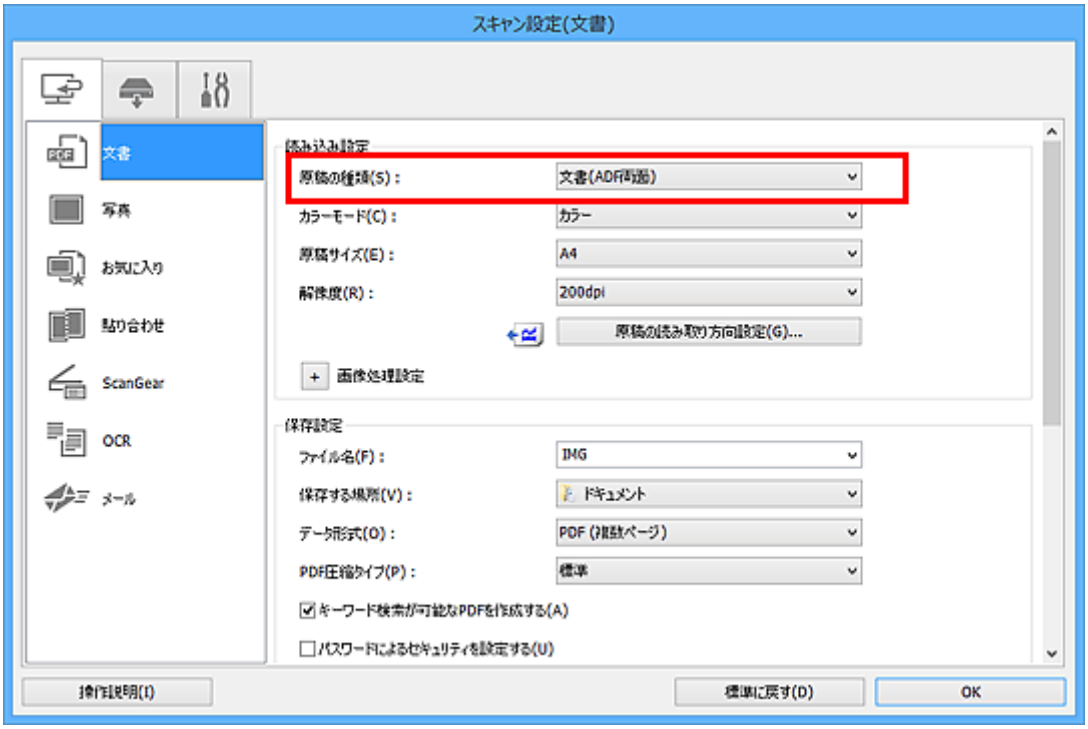


   スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。

4. ［文書］をクリック



5. [原稿の種類]で[文書(ADF/原稿台)]または[文書(ADF 両面)]を選択



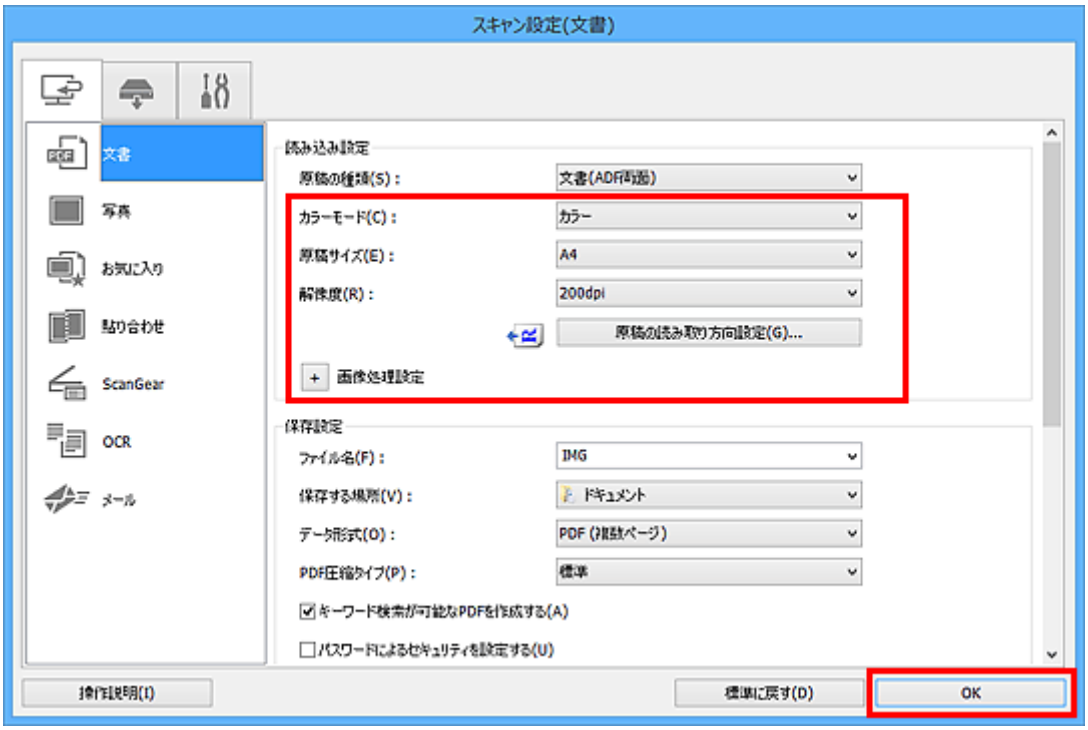
参考

- [文書(ADF/原稿台)]でスキャンするときは、[読み込み設定]の[ADF スキャン時に両面を読み取る]にチェックマークを付けてください。

6. 必要に応じてカラーモード、原稿のサイズや読み取りの解像度を設定

スキャンする原稿の向きを設定する場合は、[原稿の読み取り方向設定...]をクリックしてください。表示されたダイアログボックスで[原稿方向]や[とじ方向]を設定することができます。

設定が完了したら［OK］をクリックしてください。

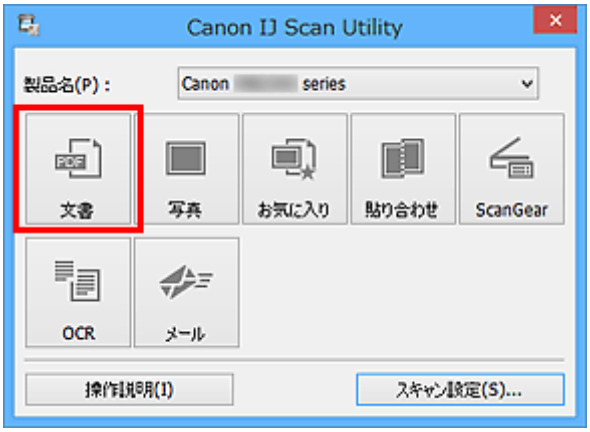


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
  - ➡ ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
  - ➡ ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス
  - ➡ ［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックス
  - ➡ ［スキャン設定(メール)］ダイアログボックス

7. ［文書］をクリック



原稿の両面が自動でスキャンされます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。

- スキャンした画像は、［スキャン設定...］をクリックして表示される各スキャン設定ダイアログボックスで、［保存する場所］に設定したフォルダーに保存されます。各スキャン設定ダイアログボックスでは、スキャンするときの詳細な設定もできます。

スキャン結果を確認して保存する

スキャン結果を確認して画像をパソコンに保存することができます。

重要

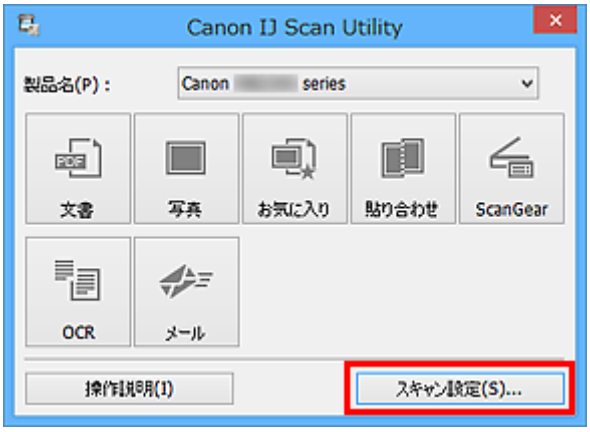
- 操作パネルからスキャンした場合は、スキャン結果を確認して保存することはできません。

参考

- 写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

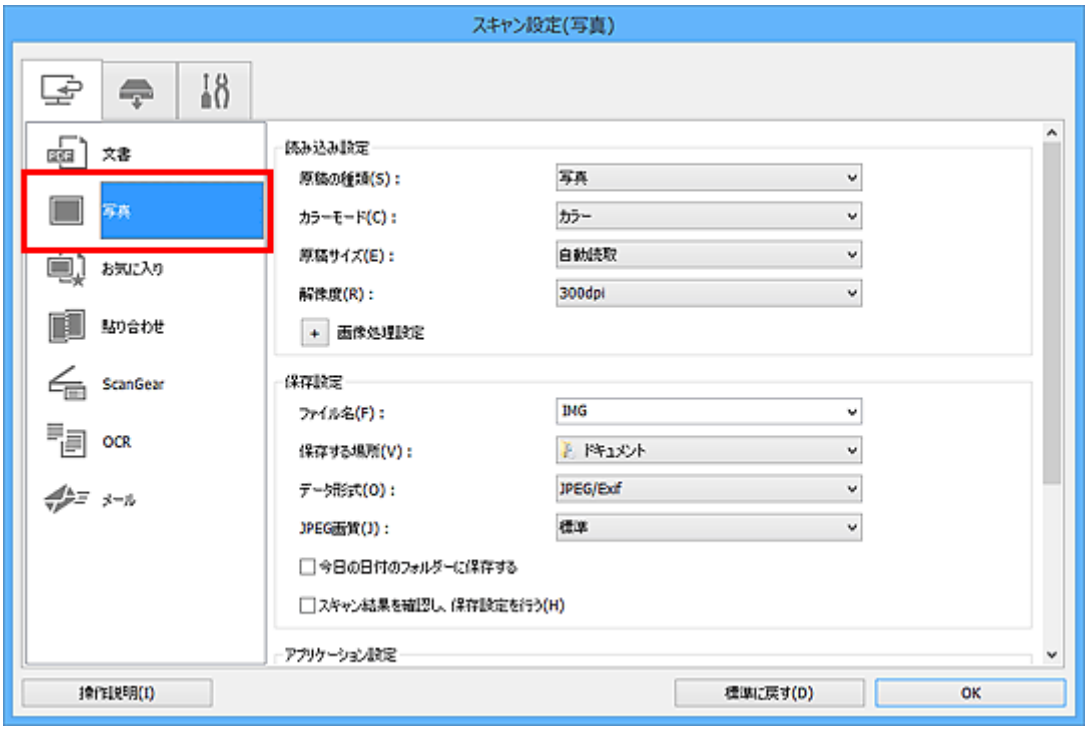
1. IJ Scan Utility を起動

2. [スキャン設定...] をクリック

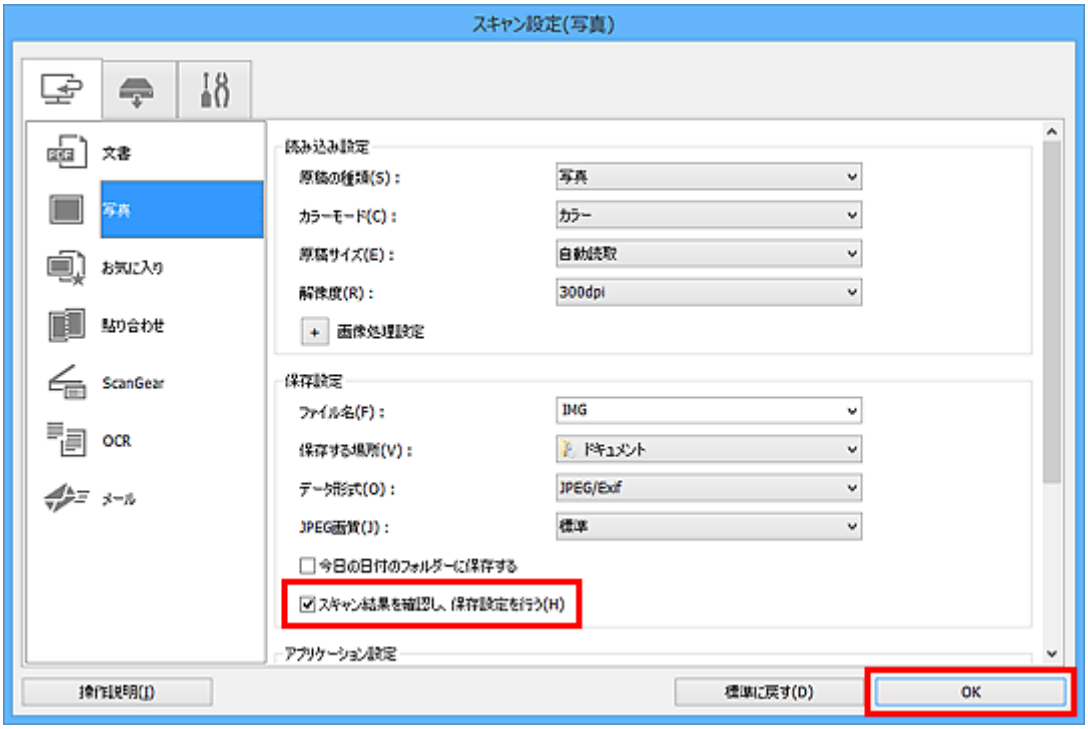


スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。

3. [写真] をクリック



4. [スキャン結果を確認し、保存設定を行う] にチェックマークを付け、[OK] をクリック

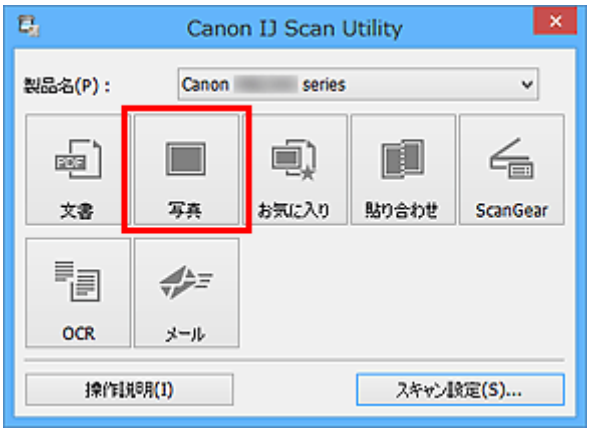


IJ Scan Utility 基本画面が表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの設定項目について、詳しくは以下のページを参照してください。
  - ➡ [スキャン設定(文書)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(写真)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(OCR)] ダイアログボックス
  - ➡ [スキャン設定(メール)] ダイアログボックス

5. [写真] をクリック



スキャンが開始されます。

スキャン終了後に、[保存設定] ダイアログボックスが表示されます。

参考

- スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。

6. 必要に応じて画像の順番やファイルの保存方法を変更

［保存設定］ダイアログボックスで、画像の順番やファイルの保存方法を変更することができます。

参考

- 初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。
  - **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

    ［ドキュメント］フォルダー
  - **Windows 8／Windows 7 の場合：**

    ［マイ ドキュメント］フォルダー

7. ［OK］をクリック

スキャンした画像が設定どおりに保存されます。

IJ Scan Utility の画面説明

- **IJ Scan Utility 基本画面**
- **スキャン設定ダイアログボックス**
  - ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(写真)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(メール)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(パソコンに保存(文書))］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(パソコンに保存(写真))］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックス
- **［保存設定］ダイアログボックス**
- **［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックス**
- **［画像貼り合わせ］ウィンドウ**

IJ Scan Utility 基本画面

以下の手順に従って、IJ Scan Utility を起動してください。

Windows 10 の場合：

［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］の順に選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

Windows 8.1／Windows 8 の場合：

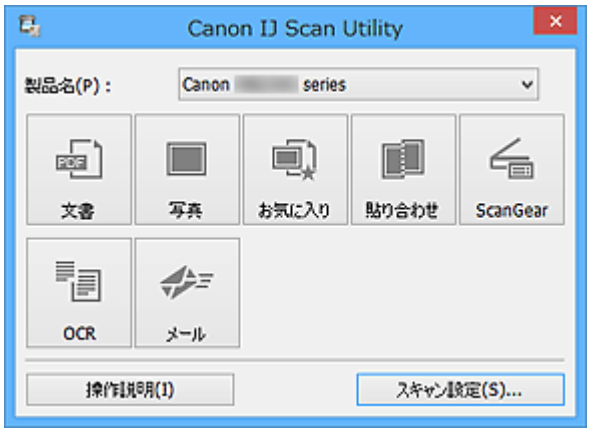
スタート画面上の［IJ Scan Utility］を選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

スタート画面に［IJ Scan Utility］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Scan Utility」を検索してください。

Windows 7／Windows Vista の場合：

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Scan Utility］→［IJ Scan Utility］の順に選ぶと、IJ Scan Utility が起動します。

目的のアイコンをクリックするだけで、スキャンから保存までを一度に行うことができます。



［製品名］

現在 IJ Scan Utility に設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

また、ネットワーク接続を使用する場合は、一覧から製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選んでください。

参考

- ネットワーク環境の設定方法は、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。

［文書］

原稿を文書としてスキャンし、パソコンに保存します。

［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

［写真］

原稿を写真としてスキャンし、パソコンに保存します。

［スキャン設定(写真)］ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

[お気に入り]

お好みの設定で原稿をスキャンし、パソコンに画像を保存します。原稿の種類を自動で判別することもできます。

[スキャン設定(お気に入り)] ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

[貼り合わせ]

[画像貼り合わせ] ウィンドウが表示され、原稿台よりも大きいサイズの原稿を、左右に分けてスキャンし、画像を貼り合わせて 1 つの画像にすることができます。

[スキャン設定(貼り合わせ)] ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

[ScanGear]

ScanGear（スキャナードライバー）を起動し、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。

[スキャン設定(ScanGear)] ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、アプリケーションソフトを設定することができます。

[OCR]

画像としてスキャンした雑誌や新聞などの活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換することができます。

[スキャン設定(OCR)] ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、アプリケーションソフトを設定することができます。

[メール]

スキャンした画像データを E メールに添付して送信することができます。

[スキャン設定(メール)] ダイアログボックスで、スキャンや保存の詳細、メールソフトを設定することができます。

[操作説明]

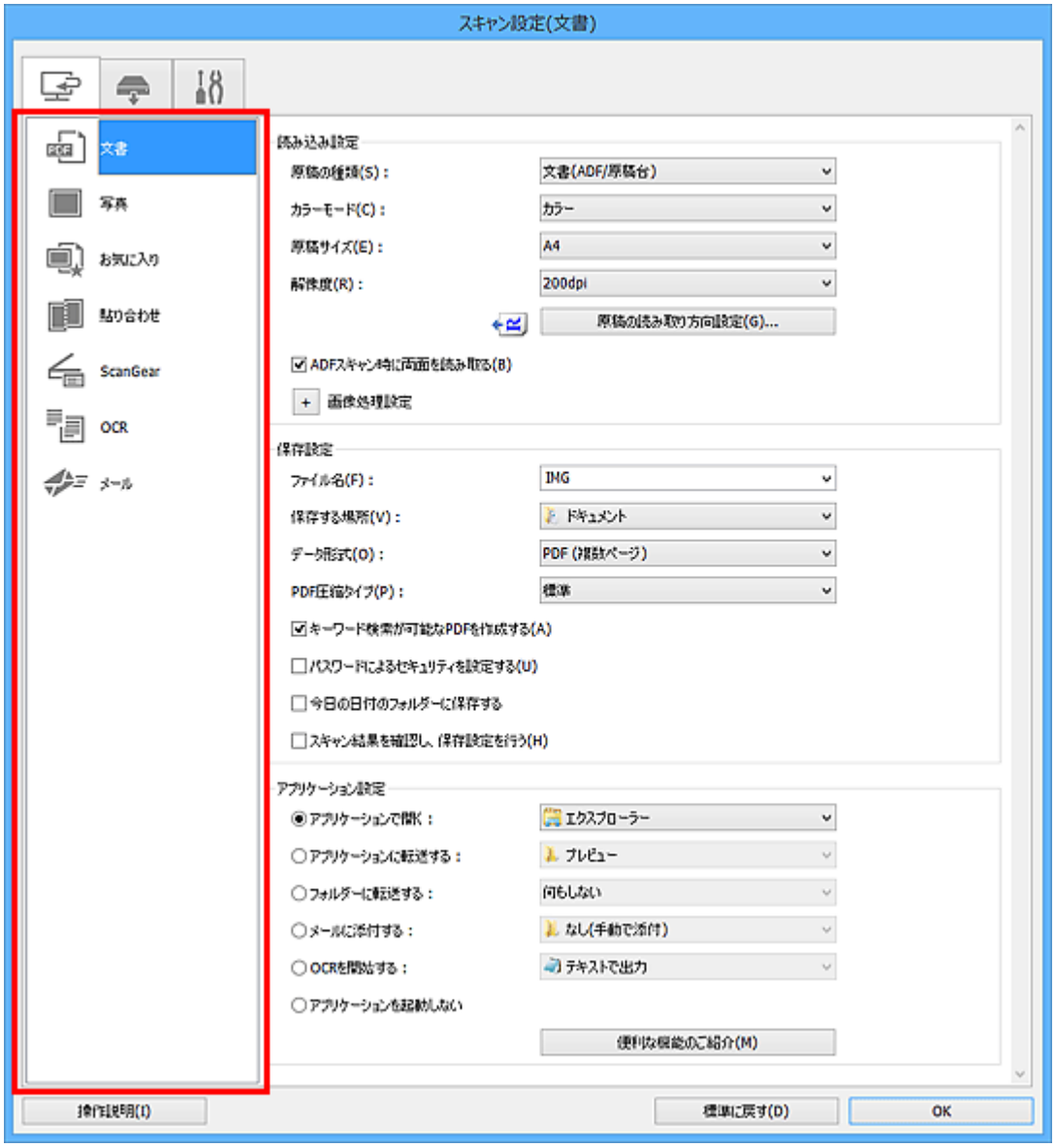
本マニュアルを表示します。

[スキャン設定...]

スキャン設定ダイアログボックスが表示され、スキャンや保存の詳細、スキャン後の動作を設定することができます。

スキャン設定ダイアログボックス

スキャン設定ダイアログボックスには、（パソコンからスキャン）、（操作パネルからスキャン）、（基本設定）の 3 つのシートがあります。それぞれのタブをクリックすると、赤枠内の表示が切り替わり、各シートで機能ごとの詳細な設定ができます。



（パソコンからスキャン）シート

IJ Scan Utility からスキャンするときの動作を設定することができます。

- ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(写真)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(メール)］ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シート

操作パネルからスキャンするときの動作を設定することができます。

- ［スキャン設定(パソコンに保存(文書))］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(パソコンに保存(写真))］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックス

（基本設定）シート

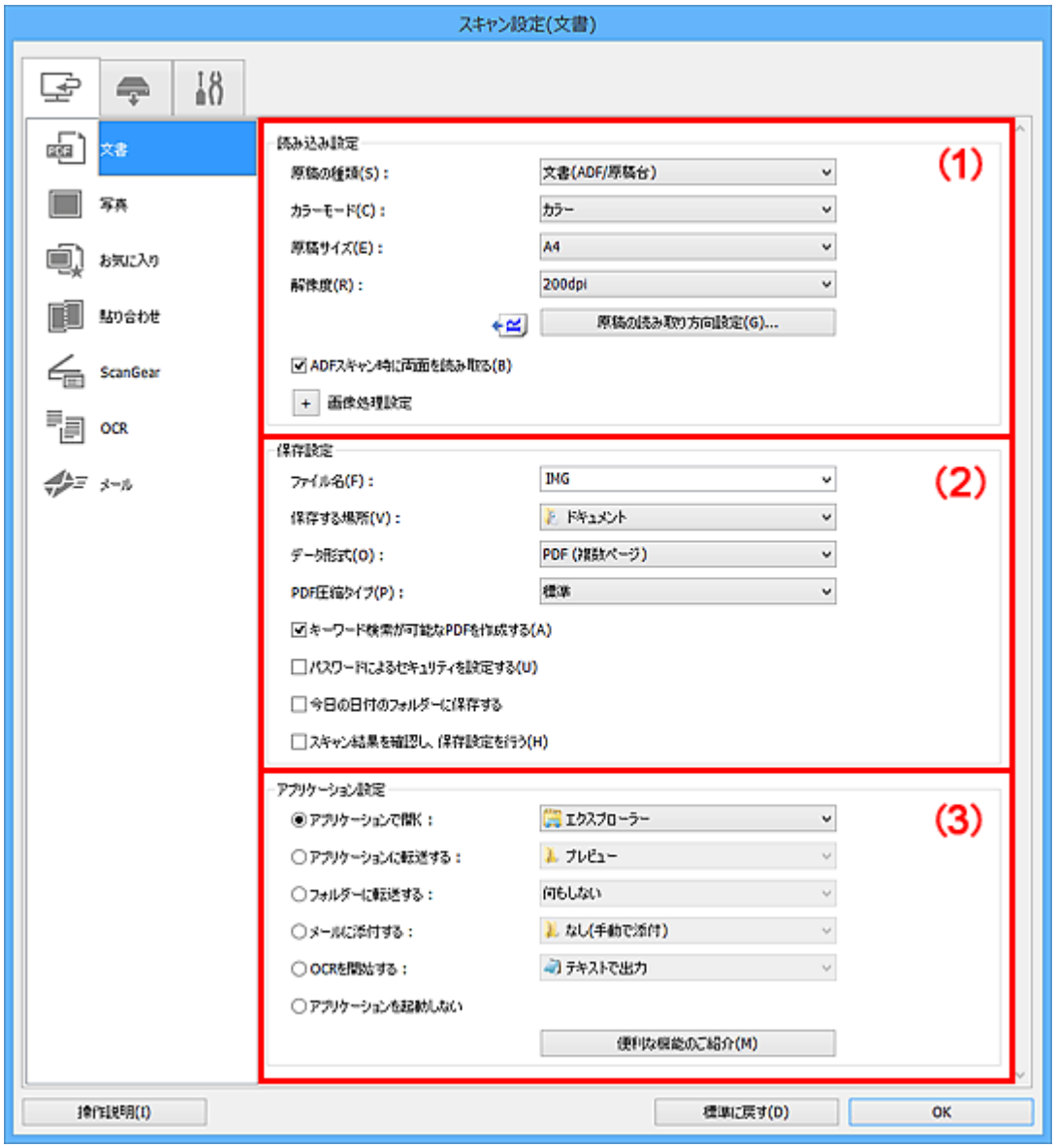
ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像内の文字列を認識させるための言語、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。

- ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックス

［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［文書］をクリックすると、［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(文書)］ダイアログボックスでは、原稿を文書としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

スキャンする原稿の種類を選びます。

- 文書原稿をスキャンする場合：［文書］または［文書(ADF/原稿台)］
- 雑誌の原稿をスキャンする場合：［雑誌］
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンする場合：［文書(ADF 片面)］、［文書(ADF 手動両面)］、［文書(ADF 両面)］または［文書(ADF/原稿台)］

参考

- ［文書(ADF/原稿台)］を選んだ場合、原稿台と ADF の両方に原稿がセットされているときは、ADF にセットした原稿がスキャンされます。

［カラーモード］

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

［原稿サイズ］

スキャンする原稿のサイズを選びます。

［ユーザー定義用紙］を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］をクリックしてください。



参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

［解像度］

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ 解像度について

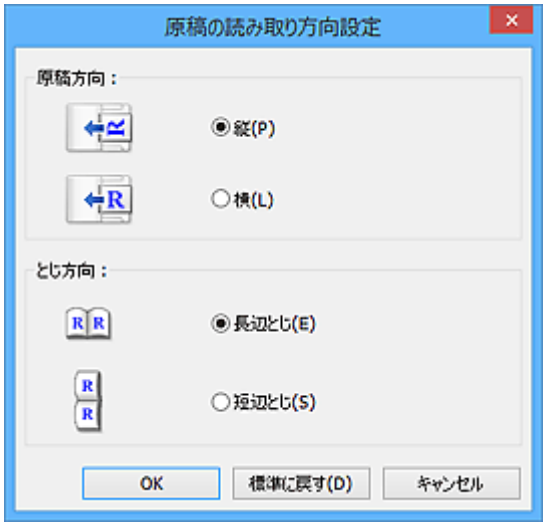
参考

- ［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選ぶと、［300dpi］または［400dpi］のみ設定できます。

［原稿の読み取り方向設定...］

［原稿の種類］で ADF を選ぶと表示されます。

クリックすると、［原稿の読み取り方向設定］ダイアログボックスが表示され、ADF からスキャンするときの原稿の向きや、とじ方向を設定できます。



重要

- 原稿の表面のみをスキャンするときは、［とじ方向］を設定できません。

［ADF スキャン時に両面を読み取る］

［原稿の種類］で［文書(ADF/原稿台)］を選ぶと表示されます。ADF にセットした原稿の両面をスキャンします。

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

参考

- ［原稿の種類］や［カラーモード］によって表示される項目は異なります。

［自動文書補正をかける］

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［輪郭を強調する］

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

［裏写りを低減する］

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

［モアレを低減する］

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- ［モアレを低減する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［とじ部の影を補正する］／［とじ部の影を補正する(原稿台)］

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

重要

- 原稿台からスキャンする場合のみ、この機能を使用できます。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートを使用してください。
  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[とじ部の影補正]」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
  - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
  - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
  - 文字数が少ない原稿
  - 図形や画像の含まれる原稿
  - 手書きの原稿
  - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックスの [文書の言語] で選ばれている言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

  このときは、[スキャン結果を確認し、保存設定を行う] にチェックマークを付け、[保存設定] ダイアログボックスで画像を回転してください。

（2）保存設定エリア

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  [ドキュメント] フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。
- ［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選んでいるときは、［PDF］、［PDF (複数ページ)］は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。
- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、この項目は表示されません。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- 正しく検索できない場合は、［解像度］で 300 dpi 以上を選ぶことをお勧めします。
- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［パスワードによるセキュリティを設定する］

チェックマークを付けると、［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］

スキャン後に［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［アプリケーションで開く］

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションに転送する］

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［フォルダーに転送する］

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

［メールに添付する］

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

［OCR を開始する］

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションを起動しない］

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

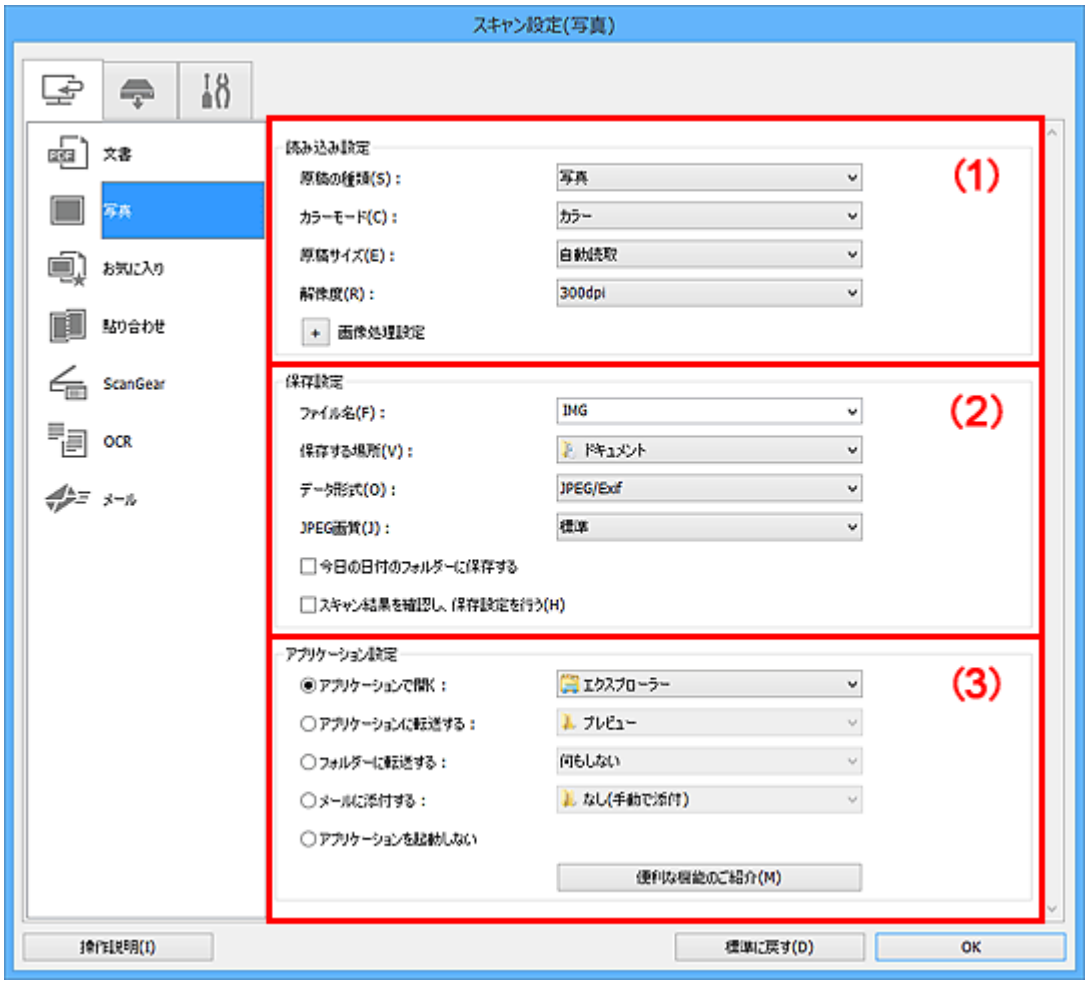
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(写真)] ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［写真］をクリックすると、［スキャン設定(写真)］ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(写真)] ダイアログボックスでは、原稿を写真としてスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

［写真］が選択されています。

［カラーモード］

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

［原稿サイズ］

スキャンする原稿のサイズを選びます。

［ユーザー定義用紙］を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］をクリックしてください。



参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

［解像度］

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

解像度について

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

重要

- ［カラーモード］が［白黒］の場合は、［画像処理設定］を行うことはできません。

［輪郭を強調する］

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と４桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、４桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、または［PNG］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］

スキャン後に［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［アプリケーションで開く］

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションに転送する］

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［フォルダーに転送する］

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

［メールに添付する］

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

［アプリケーションを起動しない］

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

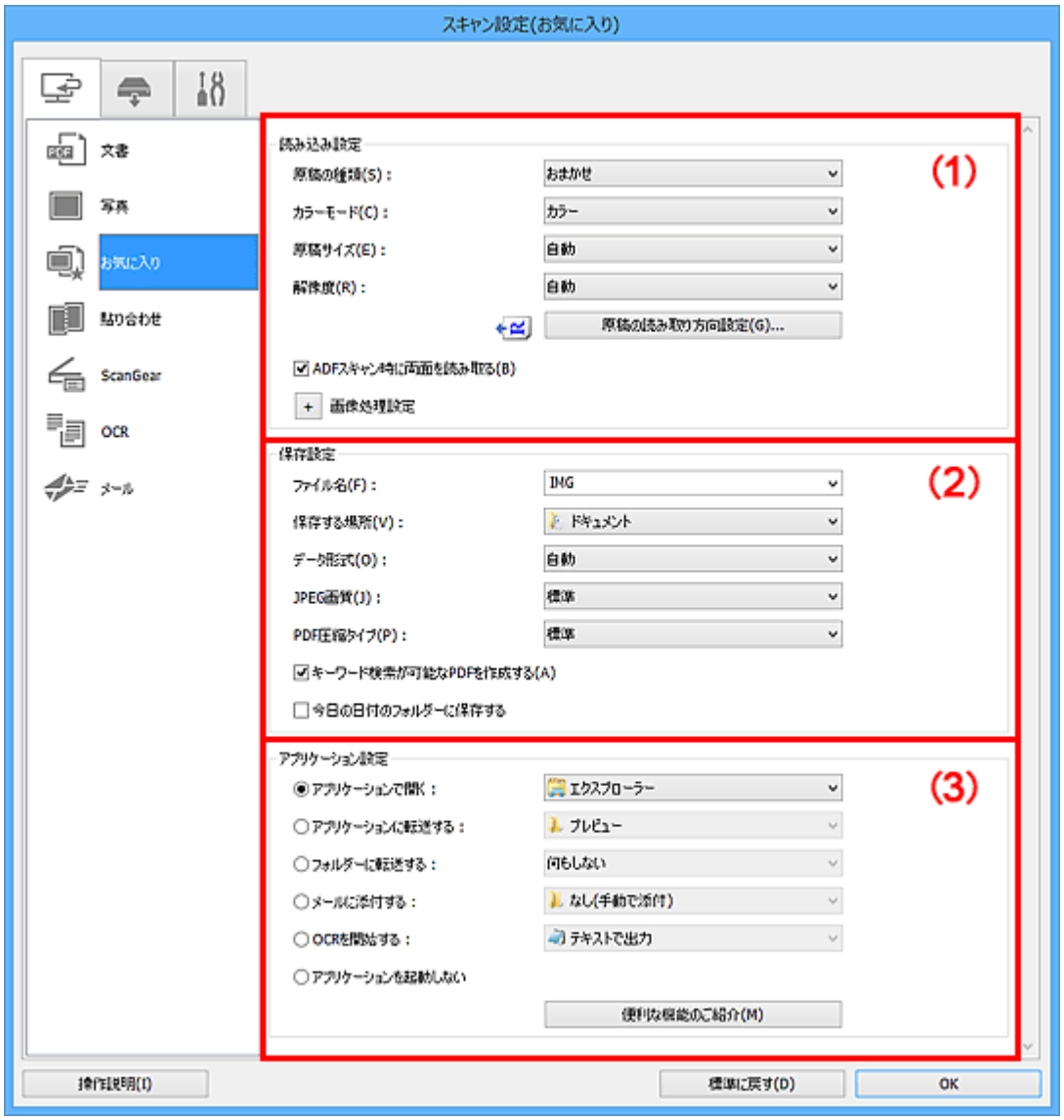
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［お気に入り］をクリックすると、［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックスでは、お好みに合わせて原稿をスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

スキャンする原稿の種類を選びます。［おまかせ］を選ぶと、スキャンする原稿の種類を自動で判別し、［カラーモード］、［原稿サイズ］、［解像度］も自動で設定されます。

重要

- ［おまかせ］で利用できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD／DVD／CD です。

- 次のような原稿は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。[おまかせ]では、正しくスキャンすることができません。
  - A4 サイズの写真
  - 2L 判（127 mm x 178 mm）（5 inches x 7 inches）より小さいサイズの文書原稿（例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など）
  - 下地が白く、紙質が薄い原稿
  - パノラマ写真などの細長い原稿
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

  原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」を参照してください。
- ADF（自動原稿給紙装置）から 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、[おまかせ]に設定した場合でも、原稿サイズを揃えてください。

参考

- スキャン後に文字列をテキストデータに変換したい場合は、[おまかせ]を選ばずに、[原稿の種類]を指定してスキャンしてください。
- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、[原稿の種類]を[雑誌]に設定するか、[画像処理設定]の[モアレを低減する]にチェックマークを付けてスキャンしてください。

[カラーモード]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

参考

- [原稿の種類]が[おまかせ]の場合は、[カラー]のみ設定できます。

[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。

[ユーザー定義用紙]を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。[単位]を選んでから、[幅]と[高さ]を入力し、[OK]をクリックしてください。



参考

- [原稿の種類]が[おまかせ]の場合は、[自動]のみ設定できます。
- 原稿のサイズを設定する画面で[標準に戻す]をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

[解像度]

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ 解像度について

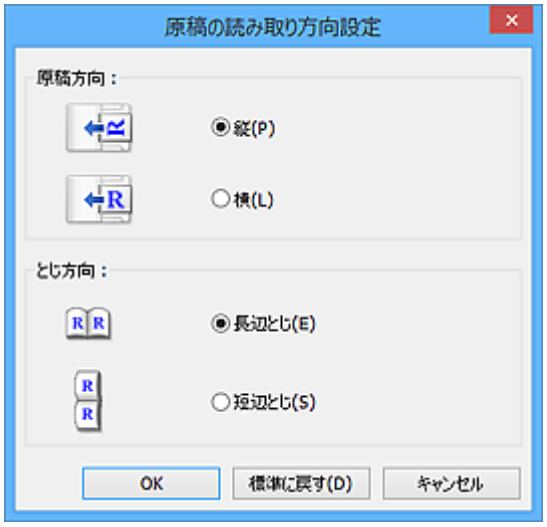
参考

- ［原稿の種類］が［おまかせ］の場合は、［自動］のみ設定できます。
- ［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選ぶと、［300dpi］または［400dpi］のみ設定できます。

［原稿の読み取り方向設定...］

［原稿の種類］で ADF または［おまかせ］を選ぶと表示されます。

クリックすると、［原稿の読み取り方向設定］ダイアログボックスが表示され、ADF からスキャンするときの原稿の向きや、とじ方向を設定できます。



重要

- 原稿の表面のみをスキャンするときは、［とじ方向］を設定できません。

［ADF スキャン時に両面を読み取る］

［原稿の種類］で［おまかせ］を選ぶと表示されます。ADF にセットした原稿の両面をスキャンします。

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は［原稿の種類］によって異なります。

- **［原稿の種類］が［おまかせ］の場合：**

  ［おすすめの画像補正で処理する］

  原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

  重要

  - 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

  参考

  - この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

- **［原稿の種類］が［写真］の場合：**

  重要

  - ［カラーモード］が［白黒］の場合は、［画像処理設定］を行うことはできません。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- **[原稿の種類]が[雑誌]または文書の場合：**

参考

- [原稿の種類]や[カラーモード]によって表示される項目は異なります。

[自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

[モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- [モアレを低減する]を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[とじ部の影を補正する]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

重要

- 原稿台からスキャンする場合のみ、この機能を使用できます。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の[拡張モード]シートを使用してください。
  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[とじ部の影補正]」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
  - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
  - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
  - 文字数が少ない原稿
  - 図形や画像の含まれる原稿
  - 手書きの原稿
  - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- ［文字原稿の傾きを補正する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［文字原稿の向きを検知して、画像を回転する］

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスの［文書の言語］で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

  このときは、［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付け、［保存設定］ダイアログボックスで画像を回転してください。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］、［自動］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。
- ［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選んでいるときは、［PDF］、［PDF (複数ページ)］は選べません。

参考

- ［原稿の種類］で［おまかせ］を選択しているときのみ［自動］が表示されます。
- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］または［自動］を選んでいるときのみ表示されます。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］、［PDF (複数ページ)］または［自動］を選んでいるときのみ表示されます。
- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、この項目は表示されません。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］、［PDF (複数ページ)］または［自動］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

[パスワードによるセキュリティを設定する]

チェックマークを付けると、[パスワードによるセキュリティ設定]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [データ形式]で[PDF]または[PDF (複数ページ)]を選んでいるときのみ表示されます。

[今日の日付のフォルダーに保存する]

チェックマークを付けると、[保存する場所]で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所]で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

[スキャン結果を確認し、保存設定を行う]

スキャン後に[保存設定]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [原稿の種類]が[おまかせ]の場合は表示されません。

(3) アプリケーション設定エリア

[アプリケーションで開く]

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションに転送する]

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[フォルダーに転送する]

スキャンした画像を[保存する場所]で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

[メールに添付する]

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

[OCR を開始する]

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションを起動しない]

[保存する場所]で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから[追加...]を選んで表示される[アプリケーションの選択]、または[保存フォルダーの選択]ダイアログボックスで[追加]をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

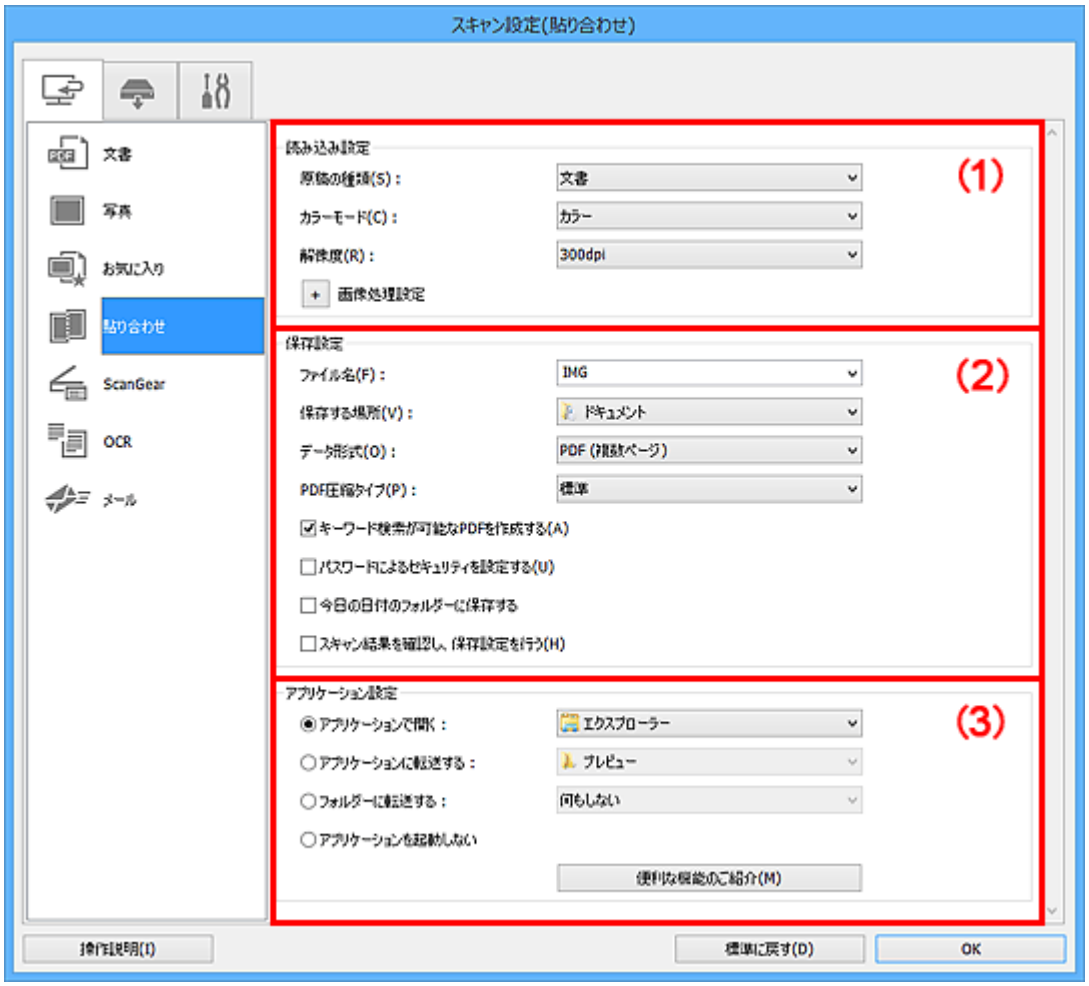
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［貼り合わせ］をクリックすると、［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックスでは、原稿台よりも大きなサイズの原稿をスキャンするときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

スキャンする原稿の種類を選びます。

- 写真原稿をスキャンする場合：［写真］
- 文書原稿をスキャンする場合：［文書］
- 雑誌の原稿をスキャンする場合：［雑誌］

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、［原稿の種類］を［雑誌］に設定するか、［画像処理設定］の［モアレを低減する］にチェックマークを付けてスキャンしてください。

［カラーモード］

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

［解像度］

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

解像度について

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は［原稿の種類］によって異なります。

重要

- ［カラーモード］が［白黒］の場合は、［画像処理設定］を行うことはできません。

- **［原稿の種類］が［写真］の場合：**

  ［輪郭を強調する］

  画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- **［原稿の種類］が［雑誌］または［文書］の場合：**

  ［輪郭を強調する］

  画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

  ［裏写りを低減する］

  原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

  ［モアレを低減する］

  モアレを少なくしてスキャンできます。

  印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

  参考

  - ［モアレを低減する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と４桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、４桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。
- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、この項目は表示されません。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［パスワードによるセキュリティを設定する］

チェックマークを付けると、［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

[今日の日付のフォルダーに保存する]

チェックマークを付けると、[保存する場所]で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所]で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

[スキャン結果を確認し、保存設定を行う]

スキャン後に[[保存設定]ダイアログボックス]が表示されます。

(3) アプリケーション設定エリア

[アプリケーションで開く]

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションに転送する]

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[フォルダーに転送する]

スキャンした画像を[保存する場所]で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

[アプリケーションを起動しない]

[保存する場所]で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから[追加...]を選んで表示される[アプリケーションの選択]、または[保存フォルダーの選択]ダイアログボックスで[追加]をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

[操作説明]

本マニュアルを表示します。

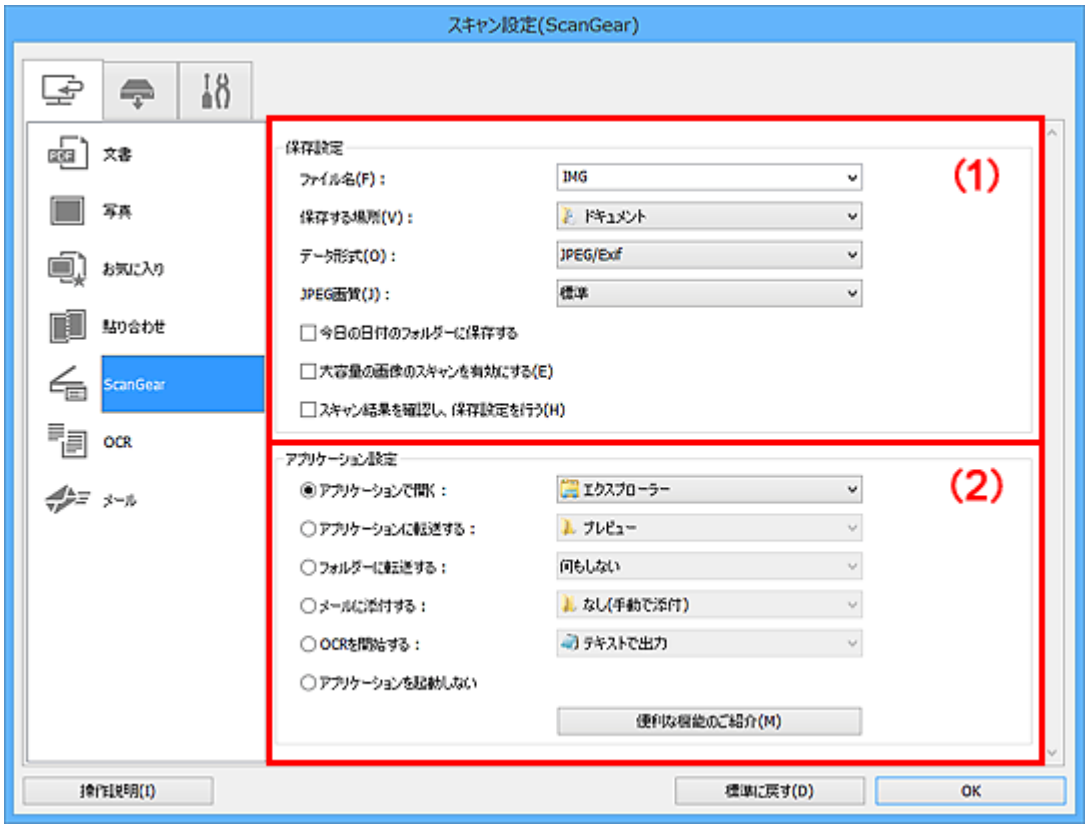
[標準に戻す]

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［ScanGear］をクリックすると、［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックスでは、ScanGear（スキャナードライバー）を呼び出して原稿をスキャンするときの画像の保存のしかたや、保存後の動作を設定できます。



- （1）保存設定エリア
- （2）アプリケーション設定エリア

（1）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と４桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、４桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］が選べます。

参考

- ［PDF］、［PDF (複数ページ)］を選んだ場合は、9600 pixels x 9600 pixels までの画像をスキャンすることができます。
- ［保存設定］で［大容量の画像のスキャンを有効にする］にチェックマークを付けているとき、または［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］が選べます。
- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［パスワードによるセキュリティを設定する］

チェックマークを付けると、［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

[今日の日付のフォルダーに保存する]

チェックマークを付けると、[保存する場所] で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、[保存する場所] で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

[大容量の画像のスキャンを有効にする]

チェックマークを付けると、縦横のピクセル数が最大 21000 pixels x 30000 pixels、1.8 GB までの画像をスキャンすることができます。

重要

- チェックマークを付けているときは、[アプリケーションに転送する]、[フォルダーに転送する]、[メールに添付する]、[OCR を開始する] は選べません。

参考

- チェックマークを外しているときは、最大 10208 pixels ×14032 pixels までの画像をスキャンできます。

[スキャン結果を確認し、保存設定を行う]

スキャン後に [保存設定] ダイアログボックスが表示されます。

(2) アプリケーション設定エリア

[アプリケーションで開く]

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションに転送する]

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[フォルダーに転送する]

スキャンした画像を [保存する場所] で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

[メールに添付する]

スキャンした画像を添付してメールを送信するときに選びます。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

[OCR を開始する]

スキャンした画像内の文字をテキストデータに変換したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションを起動しない]

[保存する場所] で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから [追加...] を選んで表示される [アプリケーションの選択]、または [保存フォルダーの選択] ダイアログボックスで [追加] をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

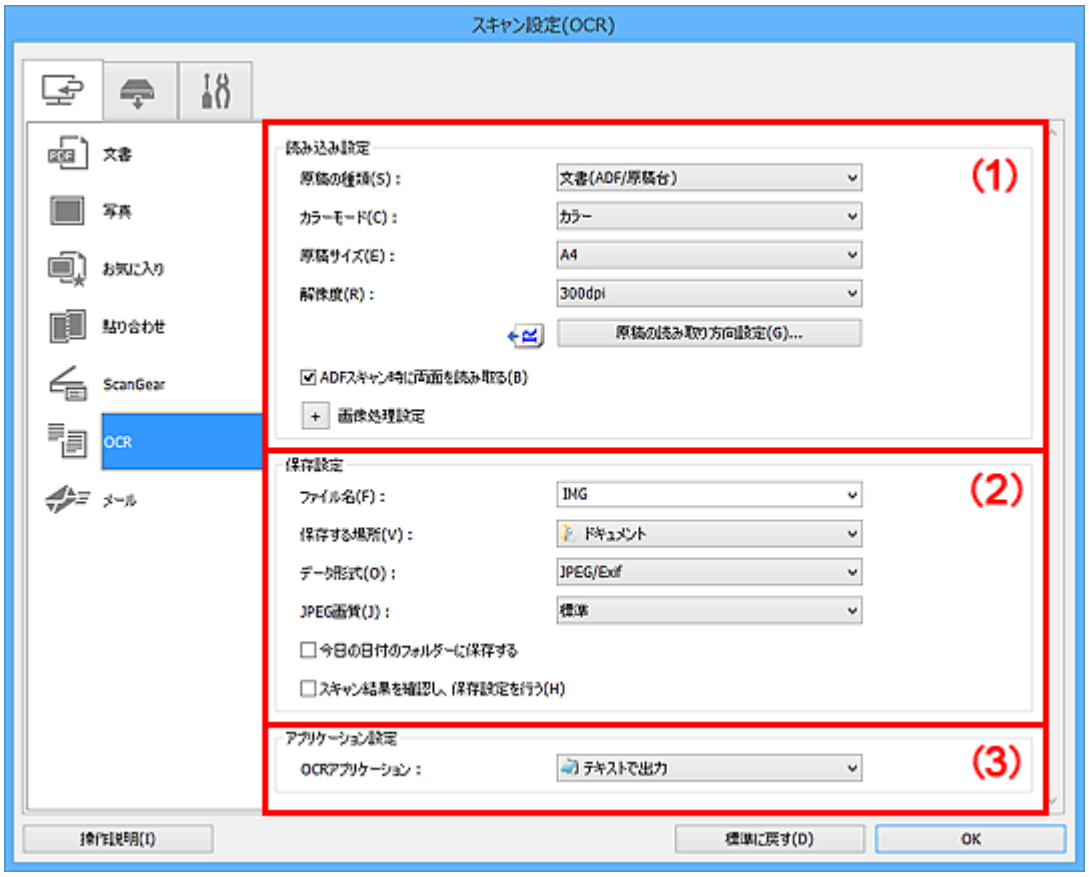
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［OCR］をクリックすると、［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックスでは、スキャンした画像から文字列を抜き出すときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

スキャンする原稿の種類を選びます。

- 文書原稿をスキャンする場合：［文書］または［文書(ADF/原稿台)］
- 雑誌の原稿をスキャンする場合：［雑誌］
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンする場合：［文書(ADF 片面)］、［文書(ADF 手動両面)］、［文書(ADF 両面)］または［文書(ADF/原稿台)］

参考

- ［文書(ADF/原稿台)］を選んだ場合、原稿台と ADF の両方に原稿がセットされているときは、ADF にセットした原稿がスキャンされます。

［カラーモード］

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

［原稿サイズ］

スキャンする原稿のサイズを選びます。

［ユーザー定義用紙］を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］をクリックしてください。



重要

- ［原稿の種類］の設定によっては、［ユーザー定義用紙］は選べません。

参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

［解像度］

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ 解像度について

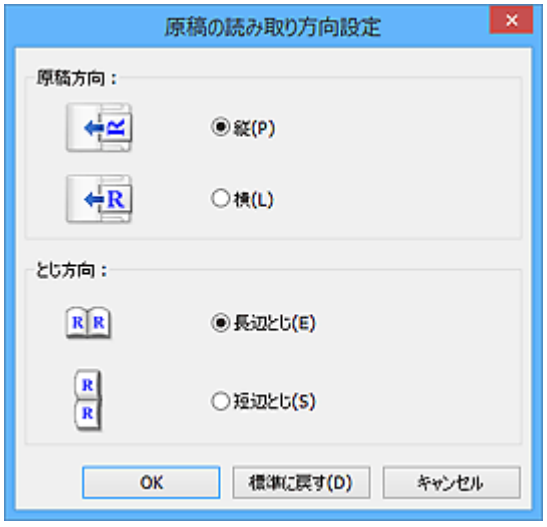
参考

- ［解像度］は、［300dpi］または［400dpi］のみ設定できます。

［原稿の読み取り方向設定...］

［原稿の種類］で ADF を選ぶと表示されます。

クリックすると、［原稿の読み取り方向設定］ダイアログボックスが表示され、ADF からスキャンするときの原稿の向きや、とじ方向を設定できます。



重要

- 原稿の表面のみをスキャンするときは、［とじ方向］を設定できません。

［ADF スキャン時に両面を読み取る］

［原稿の種類］で［文書(ADF/原稿台)］を選ぶと表示されます。ADF にセットした原稿の両面をスキャンします。

[画像処理設定]

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

参考

- [原稿の種類]や[カラーモード]によって表示される項目は異なります。

[自動文書補正をかける]

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

[モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- [モアレを低減する]を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[とじ部の影を補正する]／[とじ部の影を補正する(原稿台)]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

重要

- 原稿台からスキャンする場合のみ、この機能を使用できます。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の[拡張モード]シートを使用してください。
  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[とじ部の影補正]」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿

- 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
- 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
- 文字数が少ない原稿
- 図形や画像の含まれる原稿
- 手書きの原稿
- 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- ［文字原稿の傾きを補正する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［文字原稿の向きを検知して、画像を回転する］

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスの［文書の言語］で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

  このときは、［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付け、［保存設定］ダイアログボックスで画像を回転してください。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、または［PNG］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］

スキャン後に［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［OCR アプリケーション］

指定したアプリケーションソフトに抜き出された文字列を表示します。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(メール)］ダイアログボックス

（パソコンからスキャン）シートで［メール］をクリックすると、［スキャン設定(メール)］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(メール)］ダイアログボックスでは、スキャンした画像をメールに添付するときの詳細な設定をすることができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿の種類］

スキャンする原稿の種類を選びます。［おまかせ］を選ぶと、スキャンする原稿の種類を自動で判別し、［カラーモード］、［原稿サイズ］、［解像度］も自動で設定されます。

重要

- ［おまかせ］で利用できる原稿の種類は、写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、BD／DVD／CD です。
- 次のような原稿は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。［おまかせ］では、正しくスキャンすることができません。
  - A4 サイズの写真
  - 2L 判（127 mm x 178 mm）（5 inches x 7 inches）より小さいサイズの文書原稿（例、文庫本の背表紙を切り落とした原稿など）
  - 下地が白く、紙質が薄い原稿
  - パノラマ写真などの細長い原稿

- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。
- スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

  原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）」を参照してください。
- ADF（自動原稿給紙装置）から 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、［おまかせ］に設定した場合でも、原稿サイズを揃えてください。

参考

- モアレを少なくしてスキャンしたい場合は、［原稿の種類］を［雑誌］に設定するか、［画像処理設定］の［モアレを低減する］にチェックマークを付けてスキャンしてください。

［カラーモード］

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

参考

- ［原稿の種類］が［おまかせ］の場合は、［カラー］のみ設定できます。

［原稿サイズ］

スキャンする原稿のサイズを選びます。

［ユーザー定義用紙］を選ぶと、原稿のサイズを設定する画面が表示されます。［単位］を選んでから、［幅］と［高さ］を入力し、［OK］をクリックしてください。



参考

- ［原稿の種類］が［おまかせ］の場合は、［自動］のみ設定できます。
- 原稿のサイズを設定する画面で［標準に戻す］をクリックすると、設定した内容が初期設定に戻ります。

［解像度］

スキャンする原稿の解像度を選びます。

解像度が高い（数字が大きい）ほど、きめ細かい画像になります。

➡ 解像度について

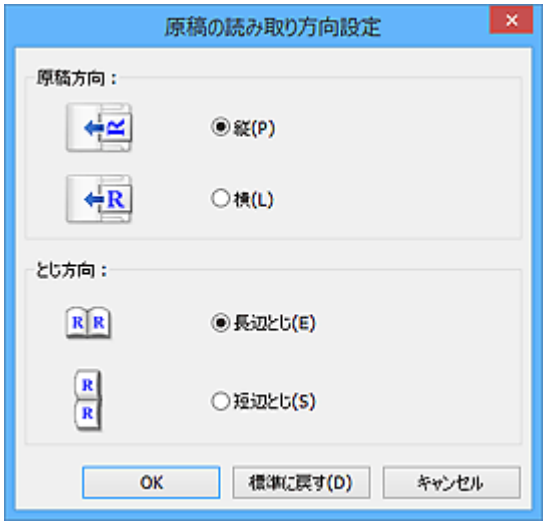
参考

- ［原稿の種類］が［おまかせ］の場合は、［自動］のみ設定できます。

［原稿の読み取り方向設定...］

［原稿の種類］で ADF または［おまかせ］を選ぶと表示されます。

クリックすると、［原稿の読み取り方向設定］ダイアログボックスが表示され、ADF からスキャンするときの原稿の向きや、とじ方向を設定できます。



重要

- 原稿の表面のみをスキャンするときは、［とじ方向］を設定できません。

［ADF スキャン時に両面を読み取る］

［原稿の種類］で［おまかせ］を選ぶと表示されます。ADF にセットした原稿の両面をスキャンします。

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。設定できる項目は［原稿の種類］によって異なります。

- **［原稿の種類］が［おまかせ］の場合：**

  ［おすすめの画像補正で処理する］

  原稿の種類に合わせた最適な補正を自動で行います。

  重要

  - 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

  参考

  - この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

- **［原稿の種類］が［写真］の場合：**

  重要

  - ［カラーモード］が［白黒］の場合は、［画像処理設定］を行うことはできません。

  ［輪郭を強調する］

  画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

- **［原稿の種類］が［雑誌］または文書の場合：**

  参考

  - ［原稿の種類］や［カラーモード］によって表示される項目は異なります。

  ［自動文書補正をかける］

  チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[輪郭を強調する]

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

[裏写りを低減する]

原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

[モアレを低減する]

モアレを少なくしてスキャンできます。

印刷物は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象のことをいいます。

参考

- [モアレを低減する]を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[とじ部の影を補正する]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

重要

- 原稿台からスキャンする場合のみ、この機能を使用できます。

参考

- サイズが不定形な原稿をスキャンする場合や、範囲を指定してスキャンする場合にとじ部の影を補正したいときは、ScanGear（スキャナードライバー）の[拡張モード]シートを使用してください。
  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[とじ部の影補正]」を参照してください。
- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
  - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
  - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
  - 文字数が少ない原稿
  - 図形や画像の含まれる原稿
  - 手書きの原稿
  - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- ［文字原稿の傾きを補正する］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

［文字原稿の向きを検知して、画像を回転する］

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスの［文書の言語］で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

  このときは、［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付け、［保存設定］ダイアログボックスで画像を回転してください。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］、［自動］が選べます。

重要

- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。

参考

- ［原稿の種類］で［おまかせ］を選択しているときのみ［自動］が表示されます。

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］または［自動］を選んでいるときのみ表示されます。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。
- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、この項目は表示されません。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］、［PDF (複数ページ)］または［自動］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［パスワードによるセキュリティを設定する］

チェックマークを付けると、［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］

スキャン後に［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［原稿の種類］が［おまかせ］の場合は表示されません。

（3）アプリケーション設定エリア

［メールソフト］

スキャンした画像を添付するメールソフトを設定します。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、メールソフトを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

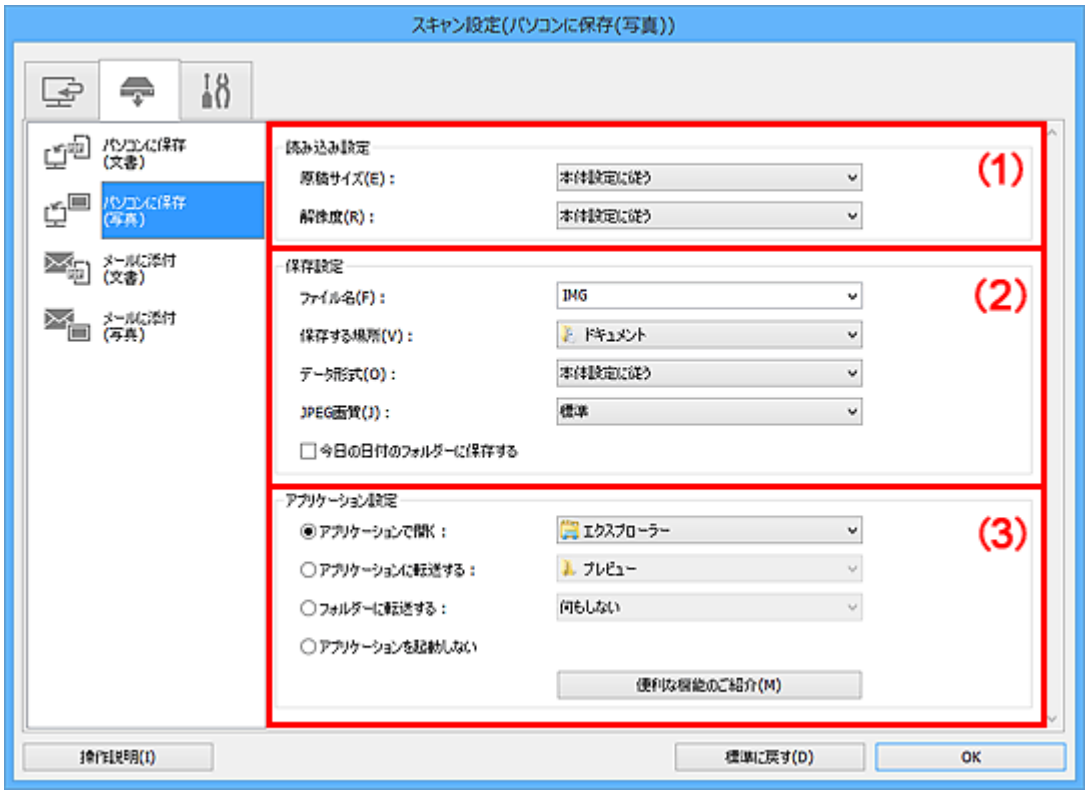
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(パソコンに保存(写真))］ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シートで［パソコンに保存(写真)］をクリックすると、［スキャン設定(パソコンに保存(写真))］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(パソコンに保存(写真))］ダイアログボックスでは、操作パネルからスキャンしたデータを、写真としてパソコンに保存するときの動作を設定することができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿サイズ］

操作パネルから設定してください。

［解像度］

操作パネルから設定してください。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と４桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、４桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

[データ形式]

操作パネルから設定してください。

[JPEG 画質]

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

[今日の日付のフォルダーに保存する]

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

(3) アプリケーション設定エリア

[アプリケーションで開く]

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[アプリケーションに転送する]

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

[フォルダーに転送する]

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

[アプリケーションを起動しない]

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

[操作説明]

本マニュアルを表示します。

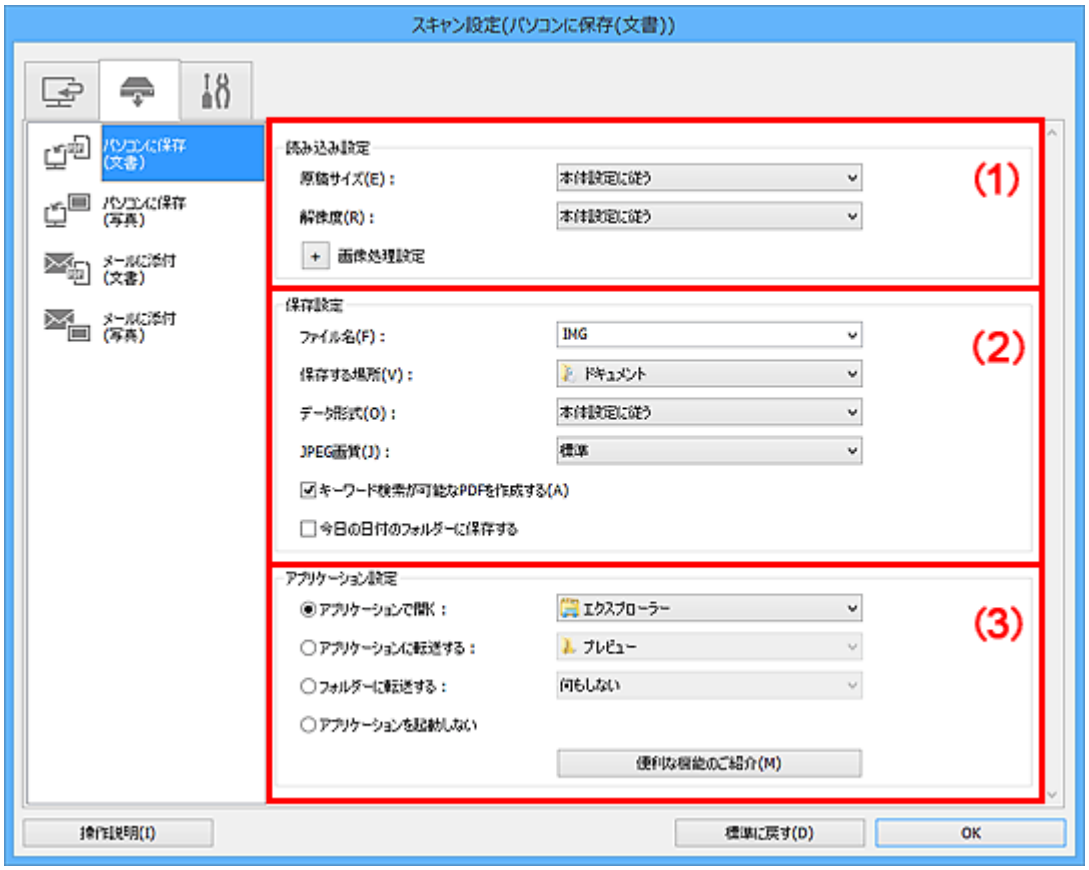
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(パソコンに保存(文書))］ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シートで［パソコンに保存(文書)］をクリックすると、［スキャン設定(パソコンに保存(文書))］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(パソコンに保存(文書))］ダイアログボックスでは、操作パネルからスキャンしたデータを、文書としてパソコンに保存するときの動作を設定することができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿サイズ］

操作パネルから設定してください。

［解像度］

操作パネルから設定してください。

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

［自動文書補正をかける］

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[とじ部の影を補正する(原稿台)]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

重要

- 原稿台からスキャンする場合のみ、この機能を使用できます。

参考

- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
  - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
  - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
  - 文字数が少ない原稿
  - 図形や画像の含まれる原稿
  - 手書きの原稿
  - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックスの [文書の言語] で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

（2）保存設定エリア

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

操作パネルから設定してください。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［アプリケーションで開く］

スキャンした画像を、加工や補正したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［アプリケーションに転送する］

スキャンした画像を、画像の閲覧や管理ができるアプリケーションソフトでそのまま使用したいときに選びます。

プルダウンメニューからアプリケーションソフトを指定できます。

［フォルダーに転送する］

スキャンした画像を［保存する場所］で指定した以外のフォルダーにも保存したいときに選びます。

プルダウンメニューからフォルダーを指定できます。

［アプリケーションを起動しない］

［保存する場所］で設定したフォルダーに保存されます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］、または［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、アプリケーションソフトやフォルダーを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

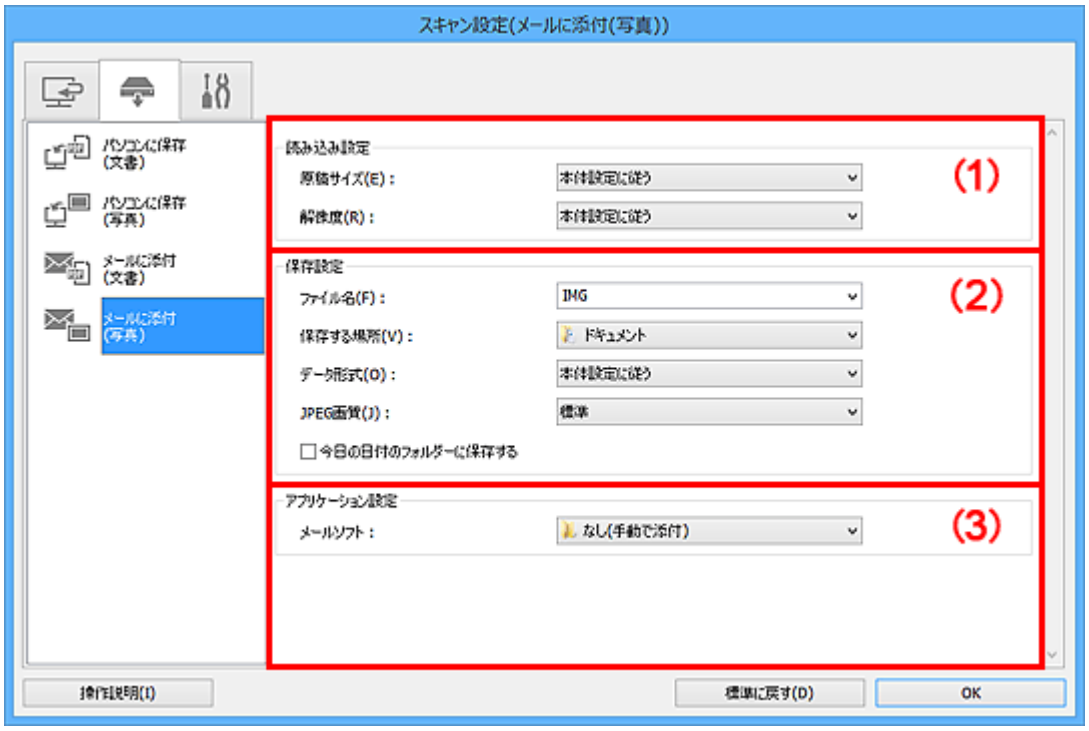
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シートで［メールに添付(写真)］をクリックすると、［スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックスでは、操作パネルからスキャンしたデータを、写真としてメールに添付をするときの動作を設定することができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿サイズ］

操作パネルから設定してください。

［解像度］

操作パネルから設定してください。

（2）保存設定エリア

［ファイル名］

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と４桁の数字が付きます。

参考

- ［今日の日付のフォルダーに保存する］にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、４桁の数字が付きます。

［保存する場所］

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

［データ形式］

操作パネルから設定してください。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

（3）アプリケーション設定エリア

［メールソフト］

スキャンした画像を添付するメールソフトを設定します。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、メールソフトを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

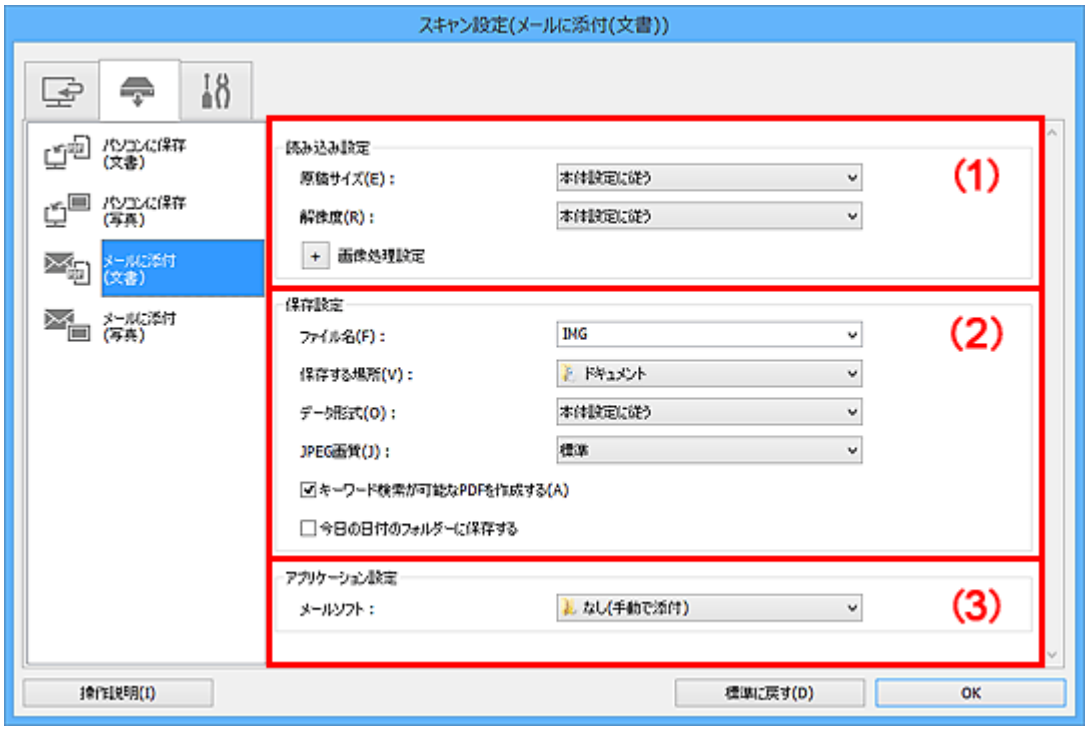
［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックス

（操作パネルからスキャン）シートで［メールに添付(文書)］をクリックすると、［スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックスが表示されます。

［スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックスでは、操作パネルからスキャンしたデータを、文書としてメールに添付をするときの動作を設定することができます。



- （1）読み込み設定エリア
- （2）保存設定エリア
- （3）アプリケーション設定エリア

（1）読み込み設定エリア

［原稿サイズ］

操作パネルから設定してください。

［解像度］

操作パネルから設定してください。

［画像処理設定］

＋（プラス）をクリックすると、次の項目を設定できます。

［自動文書補正をかける］

チェックマークを付けると、文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正します。

重要

- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。

参考

- この機能を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[とじ部の影を補正する(原稿台)]

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を目立たなくします。

重要

- 原稿台からスキャンする場合のみ、この機能を使用できます。

参考

- この機能を設定すると、ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

[文字原稿の傾きを補正する]

スキャンした文字を認識して、原稿の傾き±0.1 度から 10 度までを補正します。

重要

- 次のような原稿は、文字が正しく認識されないため、正しく補正できない場合があります。
  - テキストの行が 10 度以上傾いている、または傾きの角度が行によって異なる原稿
  - 縦書きと横書きのテキストが混在する原稿
  - 文字サイズが極端に大きいまたは小さい原稿
  - 文字数が少ない原稿
  - 図形や画像の含まれる原稿
  - 手書きの原稿
  - 縦と横の罫線が混在する原稿（表組み）

参考

- [文字原稿の傾きを補正する] を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなります。

[文字原稿の向きを検知して、画像を回転する]

スキャンした原稿内の文字から画像の向きを検知し、正しい向きに自動で回転します。

重要

- [スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックスの [文書の言語] で選択できる言語の文字原稿のみ有効です。
- 次のような設定や原稿は、文字を正しく認識できないため、方向を検知できない場合があります。
  - 解像度が 300 dpi～600 dpi の範囲外
  - 文字サイズが 8 ポイント～48 ポイントの範囲外
  - 特殊なフォント、飾り文字、斜体（イタリック）、手書きの文字を含む原稿
  - 下地に模様（地紋）がある原稿

（2）保存設定エリア

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と 4 桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する] にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、4 桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

[データ形式]

操作パネルから設定してください。

[JPEG 画質]

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

[キーワード検索が可能な PDF を作成する]

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

[今日の日付のフォルダーに保存する]

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

（3）アプリケーション設定エリア

[メールソフト]

スキャンした画像を添付するメールソフトを設定します。

プルダウンメニューから起動したいメールソフトを指定できます。

参考

- プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［アプリケーションの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、メールソフトを指定すると、プルダウンメニューに追加されます。

[操作説明]

本マニュアルを表示します。

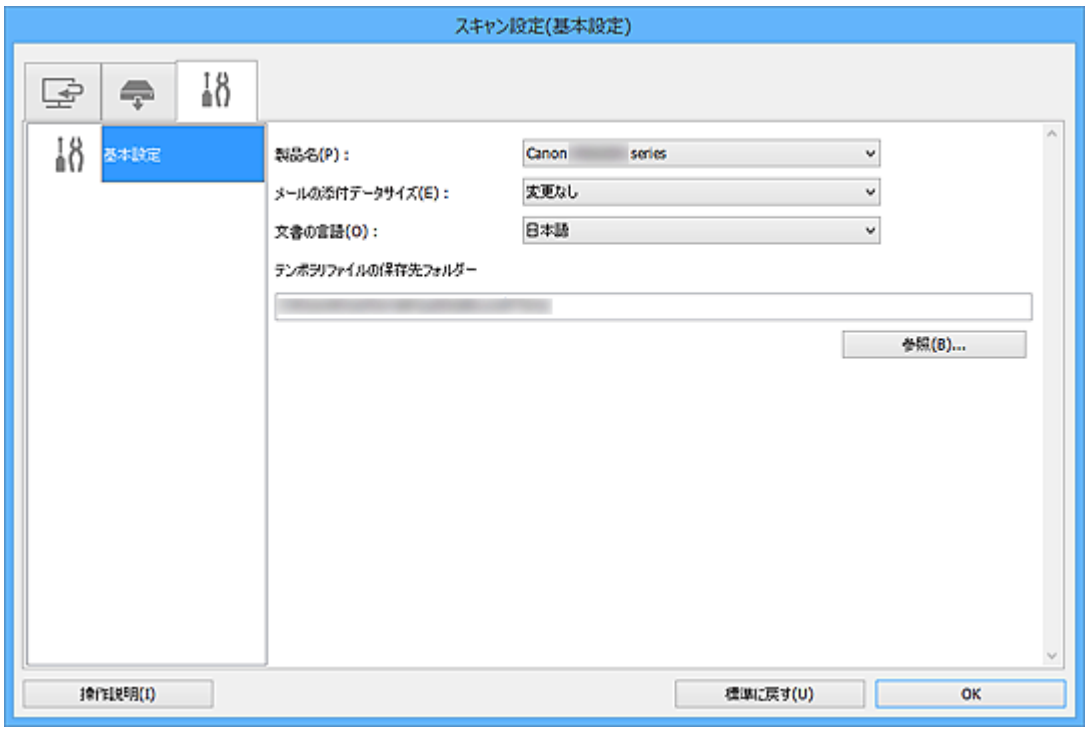
[標準に戻す]

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

[スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックス

 （基本設定）シートをクリックすると、[スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックスが表示されます。

[スキャン設定(基本設定)] ダイアログボックスでは、ご使用になる製品、メールに添付するファイルのサイズ制限、画像内の文字列を認識させるための言語、および画像を一時的に保存するフォルダーを設定することができます。



[製品名]

現在 IJ Scan Utility に設定されている製品名が表示されます。

ほかの製品名が表示されている場合は、ご使用になる製品名を選んでください。

また、ネットワーク接続を使用する場合は、一覧から製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選んでください。

参考

- ネットワーク接続の場合、製品名の右側に［選択］が表示されます。［選択］をクリックすると、IJ Network Scanner Selector EX が表示され、使用するスキャナーを変更できます。設定方法については、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。

[メールの添付データサイズ]

スキャンした画像をメールに添付するときのサイズを制限することができます。
[小(640x480 ウィンドウに合う)]、[中(800x600 ウィンドウに合う)]、[大(1024x768 ウィンドウに合う)]、[変更なし] が選べます。

[文書の言語]

画像内の文字列を認識させるための言語や、キーワード検索可能な PDF ファイルを作成したときに検索に使用できる言語を選べます。

[テンポラリファイルの保存先フォルダー]

画像を一時的に保存するフォルダーが表示されます。［参照...］をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

［操作説明］

本マニュアルを表示します。

［標準に戻す］

表示されている画面の設定内容を、初期設定に戻すことができます。

［保存設定］ダイアログボックス

スキャン設定ダイアログボックスの［保存設定］にある［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付けてスキャンすると、［保存設定］ダイアログボックスが表示されます。

スキャン結果のサムネイル（縮小版）画像を確認しながら、データ形式や保存先を指定することができます。



- （1）プレビュー操作ボタン
- （2）スキャン結果表示領域
- （3）保存設定エリア

（1）プレビュー操作ボタン

（削除）

スキャン結果表示領域で選んでいる画像を削除します。

／**（左回りに 90 度回転）／（右回りに 90 度回転）**

スキャンした画像を左または右に 90 度回転することができます。

回転させたい画像を選び、（左回りに 90 度回転）または（右回りに 90 度回転）をクリックします。

重要

- ［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックスで［大容量の画像のスキャンを有効にする］にチェックマークを付けているときは、プレビュー操作ボタンは表示されません。

（2）スキャン結果表示領域

スキャンした画像のサムネイルを表示します。ドラッグ&ドロップで画像を保存する順番を変更できます。サムネイル画像の下に保存するときのファイル名が表示されます。

サムネイルをダブルクリックすると、スキャンした画像を拡大して表示することができます。



（3）保存設定エリア

[追加スキャン]

再度スキャンが開始され、スキャン結果表示領域に画像が追加されます。

[ファイル名]

保存する画像のファイル名を入力します。ファイルを保存すると、設定したファイル名の後ろに、「_20XX0101_0001」のように日付と４桁の数字が付きます。

参考

- [今日の日付のフォルダーに保存する]にチェックマークを付けると、設定したファイル名の後ろに、４桁の数字が付きます。

[保存する場所]

スキャンした画像の保存先フォルダーを表示します。新しいフォルダーを追加したい場合は、プルダウンメニューから［追加...］を選んで表示される［保存フォルダーの選択］ダイアログボックスで［追加］をクリックし、保存先フォルダーを指定します。

初期設定では、以下のフォルダーに保存されます。

- **Windows 10／Windows 8.1／Windows Vista の場合：**

  ［ドキュメント］フォルダー

- **Windows 8／Windows 7 の場合：**

  ［マイ ドキュメント］フォルダー

[データ形式]

スキャンした画像を保存するときのデータ形式を選びます。

［JPEG/Exif］、［TIFF］、［PNG］、［PDF］、［PDF (複数ページ)］が選べます。

重要

- 以下のいずれかに該当する場合、［PDF］、［PDF (複数ページ)］を選択できません。
  - IJ Scan Utility 基本画面から［写真］をクリックしてスキャンしたとき
  - ［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックスの［保存設定］で［大容量の画像のスキャンを有効にする］にチェックマークを付けている
  - ［スキャン設定(文書)］、［スキャン設定(お気に入り)］、［スキャン設定(ScanGear)］ダイアログボックスの［アプリケーション設定］で［OCR を開始する］を選んでいる
- ［カラーモード］で［白黒］を選んでいるときは、［JPEG/Exif］は選べません。

参考

- ネットワーク接続でご使用の場合、［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を設定すると、スキャンの時間が通常よりも長くなることがあります。

［JPEG 画質］

JPEG ファイルの画質を指定することができます。

重要

- ［データ形式］で［JPEG/Exif］を選んでいるときのみ表示されます。

［PDF 圧縮タイプ］

PDF ファイルを保存するときの圧縮タイプを選びます。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［高圧縮］

ファイルのデータ容量を圧縮して保存するため、ネットワークやサーバーへの負担を軽減することができます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

［キーワード検索が可能な PDF を作成する］

チェックマークを付けると、画像内の文字がテキストデータに変換され、キーワード検索ができる PDF ファイルを作成できます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

参考

- スキャン設定ダイアログボックスの  （基本設定）シートにある［文書の言語］で選ばれている言語で検索できる PDF ファイルが作成されます。

［パスワードによるセキュリティを設定する］

チェックマークを付けると、［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックスが表示されます。

重要

- ［データ形式］で［PDF］または［PDF (複数ページ)］を選んでいるときのみ表示されます。

［今日の日付のフォルダーに保存する］

チェックマークを付けると、［保存する場所］で設定したフォルダー内に今日の日付フォルダーが作成され、その中にスキャンしたデータを保存できます。フォルダーは、「20XX_01_01」のように「西暦_月_日」という名前で作成されます。

チェックマークを外した場合は、［保存する場所］で設定したフォルダーの中に、直接データが保存されます。

［保存］

スキャンした画像を保存します。

［キャンセル］

保存を中止します。

[パスワードによるセキュリティ設定] ダイアログボックス

PDF ファイルに、文書を開いたり、印刷／編集したりするときのパスワードを設定できます。

以下のいずれかの操作で、[パスワードによるセキュリティ設定] ダイアログボックスが表示されます。

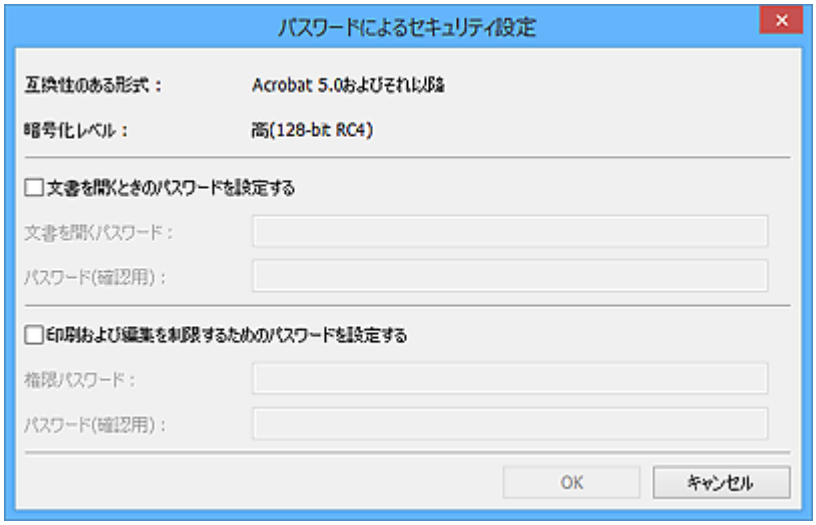
- スキャン設定ダイアログボックスで［パスワードによるセキュリティを設定する］にチェックマークを付けてスキャンした場合
- ［保存設定］ダイアログボックスで［パスワードによるセキュリティを設定する］にチェックマークを付けて保存した場合

参考

- ［保存設定］ダイアログボックスは、スキャン設定ダイアログボックスの［保存設定］にある［スキャン結果を確認し、保存設定を行う］にチェックマークを付けてスキャンすると、表示されます。

重要

- パスワードを忘れた場合は、PDF ファイルを開いたり、編集したりすることができなくなります。忘れたときに備え、パスワードをメモなどにひかえて安全な別の場所に保管しておくことをお勧めします。
- PDF ファイルのセキュリティ設定に対応していないアプリケーションソフトでは、パスワードが設定された PDF ファイルを表示できません。



[文書を開くときのパスワードを設定する]

PDF ファイルを開くときに、パスワードを入力させるかどうかを設定できます。チェックマークを付けると、［文書を開くパスワード］に文字が入力できます。

[文書を開くパスワード]

PDF ファイルを開くときのパスワードを入力します。

[パスワード(確認用)]

［文書を開くパスワード］で設定したパスワードを入力します。

[印刷および編集を制限するためのパスワードを設定する]

PDF ファイルを印刷したり、編集したりするときに、パスワードを入力させるかどうかを設定できます。チェックマークを付けると、［権限パスワード］に文字が入力できます。

[権限パスワード]

PDF ファイルを印刷したり、編集したりするときのパスワードを入力します。

[パスワード(確認用)]

［権限パスワード］で設定したパスワードを入力します。

重要

- パスワードは、半角英数字および「!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~」の 32 文字以内で入力してください。また、大文字、小文字は区別されます。
- ［文書を開くパスワード］と［権限パスワード］の両方を設定したいときは、どちらにもチェックマークを付け、異なるパスワードを指定してください。

［OK］

［文書を開くパスワード］と［パスワード(確認用)］、または［権限パスワード］と［パスワード(確認用)］を入力すると、［OK］をクリックすることができます。［OK］をクリックすると、スキャンまたは保存されます。

［キャンセル］

スキャン設定ダイアログボックスで［パスワードによるセキュリティを設定する］にチェックマークを付けてスキャンした場合：

IJ Scan Utility 基本画面に戻ります。

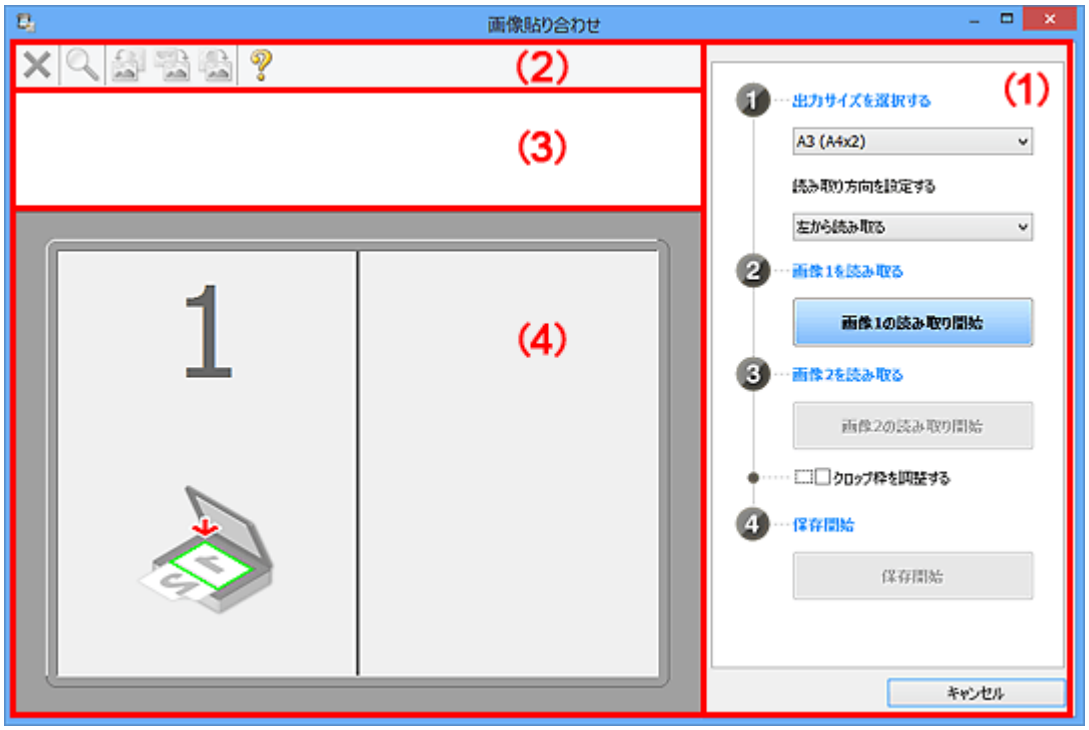
［保存設定］ダイアログボックスで［パスワードによるセキュリティを設定する］にチェックマークを付けて保存した場合：

確認画面が表示され、［キャンセル］をクリックすると、［パスワードによるセキュリティ設定］ダイアログボックスに戻ります。［OK］をクリックすると、スキャンした画像は保存されますが、パスワードは設定されません。

［画像貼り合わせ］ウィンドウ

IJ Scan Utility 基本画面の［貼り合わせ］をクリックすると、［画像貼り合わせ］ウィンドウが表示されます。

原稿台よりも大きなサイズの原稿を左右に分けてスキャンし、1 つの画像に貼り合わせることができます。最大で原稿台の約 2 倍のサイズまでスキャンすることが可能です。



- (1) 設定項目と操作ボタン
- (2) ツールバー
- (3) サムネイル表示領域
- (4) プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。

(1) 設定項目と操作ボタン

［出力サイズを選択する］

［B4 (B5x2)］

B4 サイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

［A3 (A4x2)］

A3 サイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

［11x17 (レター x2)］

レターサイズの 2 倍のサイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

［原稿台全面 x2］

原稿台の 2 倍のサイズの原稿を左右に分けてスキャンします。

［読み取り方向を設定する］

［左から読み取る］

最初にスキャンした画像が左側に表示されます。

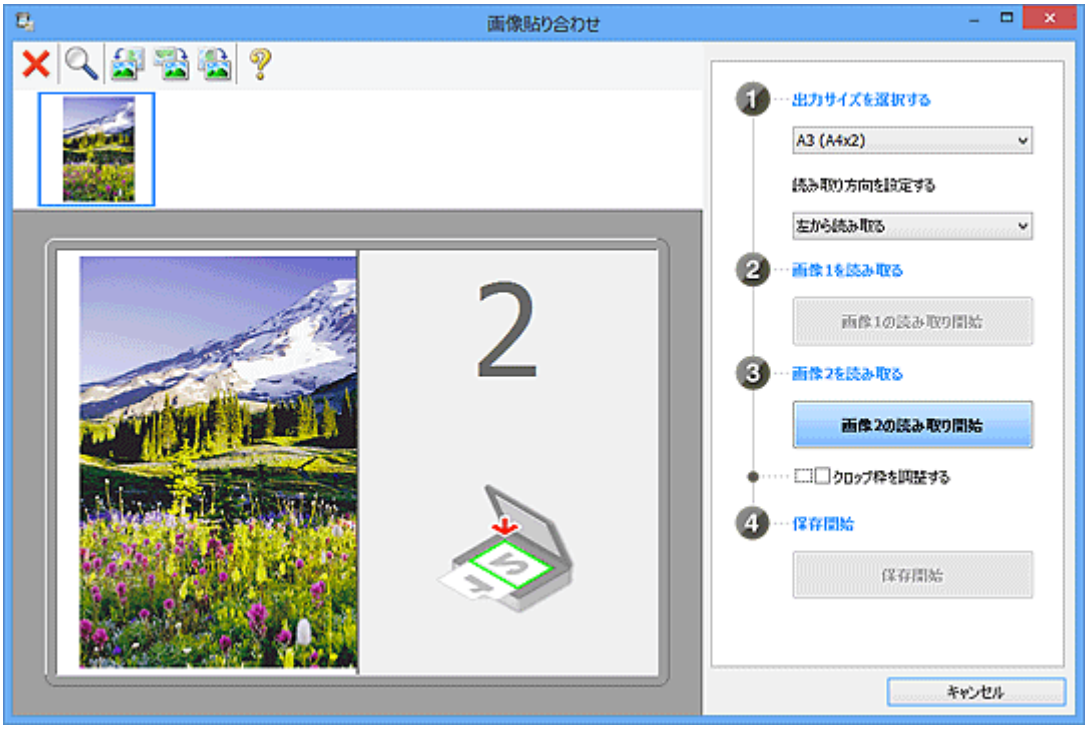
［右から読み取る］

最初にスキャンした画像が右側に表示されます。

［画像 1 を読み取る］

［画像 1 の読み取り開始］

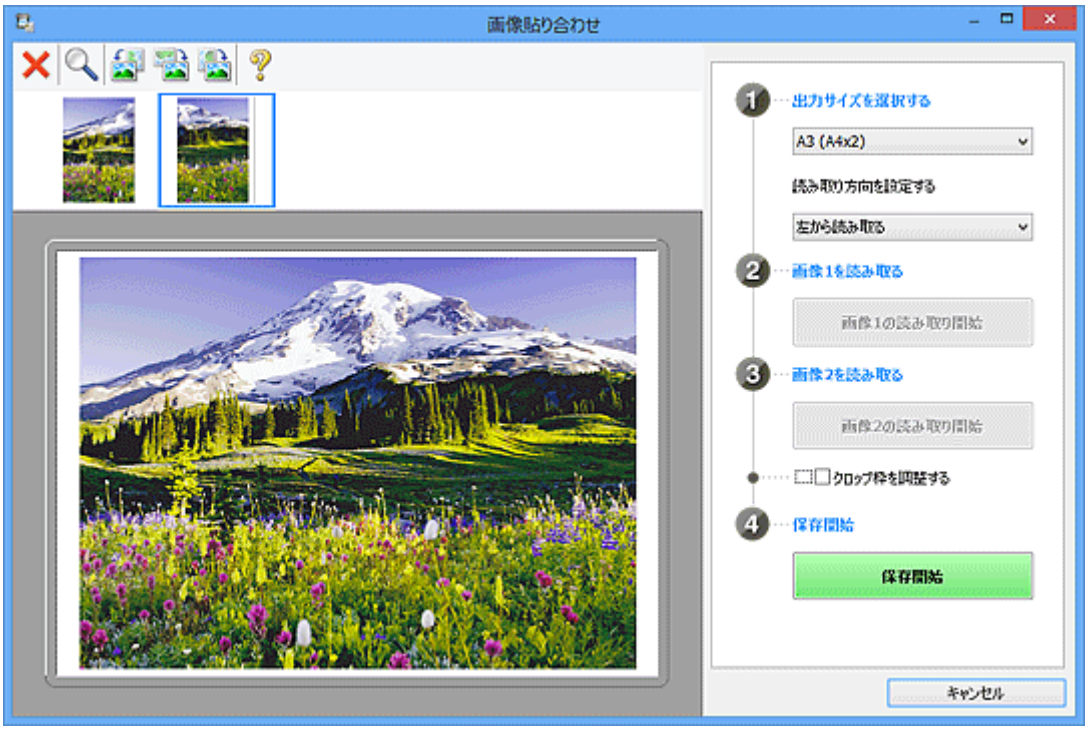
1 枚目の原稿をスキャンします。



［画像 2 を読み取る］

［画像 2 の読み取り開始］

2 枚目の原稿をスキャンします。



［クロップ枠を調整する］

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。

範囲を指定しない場合は、［出力サイズを選択する］で選んだ原稿サイズの画像が保存されます。範囲を指定した場合は、クロップ枠内の画像だけが読み込まれ、保存されます。

➡ ［画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する

［保存開始］

［保存開始］

スキャンした 2 枚の画像を、1 枚の画像として保存します。

［キャンセル］

［貼り合わせ］スキャンをキャンセルします。

（2）ツールバー

スキャンした画像を取り消したり、プレビューした画像を調整したりすることができます。



（削除）

サムネイル表示領域で選んでいる画像を削除します。



（拡大／縮小）

プレビュー領域上の画像を拡大／縮小できるようになります。

プレビュー領域をクリックすると、表示画像が拡大されます。

プレビュー領域を右クリックすると、表示画像が縮小されます。



（左回転）

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。



（180 度回転）

プレビュー領域の画像が 180 度回転します。



（右回転）

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。



（操作説明表示）

このページが表示されます。

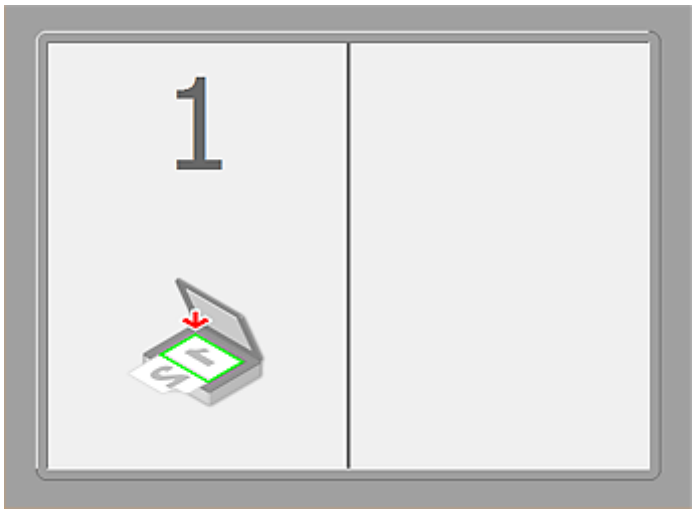
（3）サムネイル表示領域

スキャンした画像のサムネイルを表示します。スキャンしていないときは、空欄になります。

（4）プレビュー領域

スキャンされた画像を表示します。スキャン画像をドラッグして配置を調整したり、「（1）設定項目と操作ボタン」で設定した内容を確認したりすることができます。

画像をスキャンしていない場合：



［画像 1 の読み取り開始］をクリックし、1 枚目の原稿をスキャンした場合：



［読み取り方向を設定する］で、設定した方向に画像がスキャンされ、その隣に［2］が表示されます。

［画像 2 の読み取り開始］をクリックし、2 枚目の原稿をスキャンした場合：



スキャンした 2 枚の画像が表示されます。

関連項目

- 原稿台より大きな原稿をスキャンする（画像の貼り合わせ）

お使いのアプリケーションソフトでスキャンする（ScanGear）

- ScanGear（スキャナードライバー）とは
- ScanGear（スキャナードライバー）で細かく設定してスキャンしよう
- ScanGear（スキャナードライバー）を起動する
- 「基本モード」でスキャンする
- 「拡張モード」でスキャンする
- 「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする
- ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする
- ScanGear（スキャナードライバー）で画像補正や色調整をしてみよう
- ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明
- 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
- クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）
- 使用上の注意（スキャナードライバー）

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。

ScanGear（スキャナードライバー）とは

ScanGear（スキャナードライバー）とは、原稿をスキャンするために必要なソフトウェアです。出力サイズや画像補正などを細かく設定してスキャンすることができます。

ScanGear は IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）や TWAIN（トウェイン）という業界標準規格に対応したアプリケーションソフトから起動して使用できます。（ScanGear は TWAIN 対応ドライバーです。）

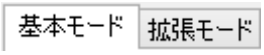
このソフトウェアでできること

プレビュー（仮読み込み）で原稿がどのように読み込まれるかを確認したり、原稿や出力サイズなどを細かく設定したりしてスキャンすることができます。さまざまな補正機能の設定や、明るさ、コントラストなどの詳細な調整ができるので、お好みの色あいでスキャンしたいときに便利です。

画面紹介

基本モード、拡張モードの 2 つのモードがあります。

モードは画面右上にある各タブをクリックして切り替えます。

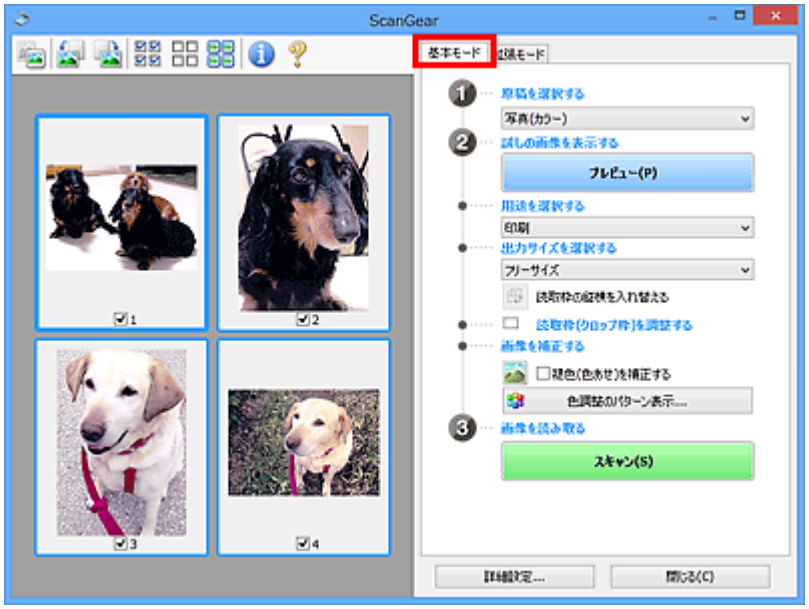


参考

- モードを切り替えたあとに ScanGear を終了した場合、次回起動時の画面は、終了したときと同じモードになります。
- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

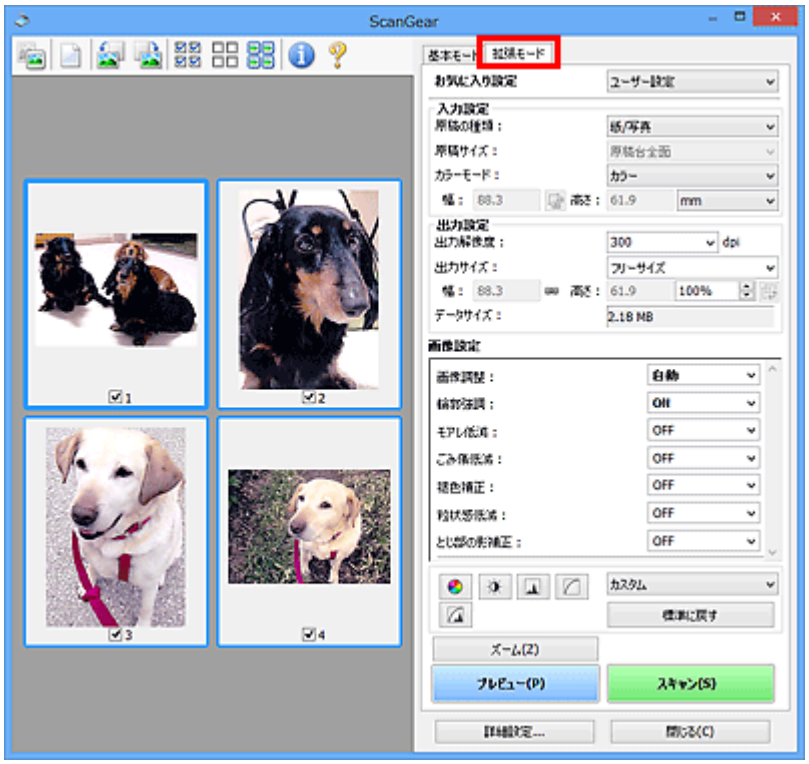
基本モード

［基本モード］シートでは、画面に表示されるシンプルな 3 ステップ（ 1 、 2 、 3 ）に従って設定、実行するだけで、簡単にスキャンすることができます。



拡張モード

［拡張モード］シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。



ScanGear（スキャナードライバー）で細かく設定してスキャンしよう

- ScanGear（スキャナードライバー）を起動する
- 「基本モード」でスキャンする
- 「拡張モード」でスキャンする
- 「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする
- ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする

ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

ScanGear（スキャナードライバー）を使用すると、画像補正や色調整を行ってきれいにスキャンすることができます。ScanGear は、IJ Scan Utility またはアプリケーションソフトから起動します。

参考

- 複数台のスキャナーをお持ちの場合や、ネットワーク対応の機種で USB 接続からネットワーク接続へ接続方法を変更した場合は、ネットワーク環境の設定を行ってください。

IJ Scan Utility から起動する

IJ Scan Utility から ScanGear を起動する手順を説明します。

1. IJ Scan Utility を起動

   IJ Scan Utility の起動方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「IJ Scan Utility を起動する」を参照してください。

2. IJ Scan Utility 基本画面で［ScanGear］をクリック

   ScanGear の画面が表示されます。

アプリケーションソフトから起動する

アプリケーションソフトから ScanGear を起動する手順の一例を説明します。

この操作は、アプリケーションソフトによって異なります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. アプリケーションソフトを起動

2. アプリケーションソフトのメニューで本製品を選択

   参考

   - ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続して使用したい場合は、製品名の後ろに「Network」が表示されている項目を選びます。

3. 原稿をスキャンするための操作を行う

   ScanGear の画面が表示されます。

「基本モード」でスキャンする

［基本モード］シートでは、画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンすることができます。

原稿台から複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする」を参照してください。

ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンします。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの  （サムネイル）をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
  - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
  - いろいろな形に切り抜いた写真

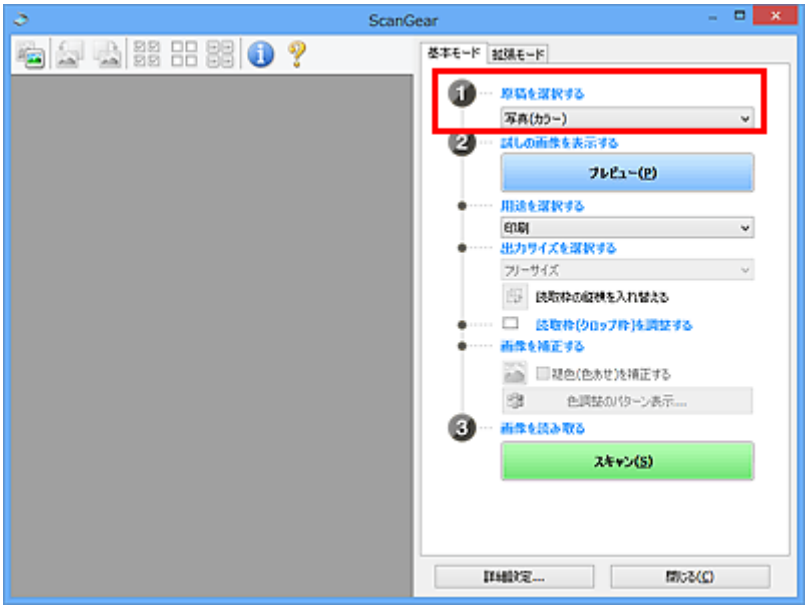
参考

- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、ADF から原稿の両面を自動で読み込むことができます。

1. 本製品の原稿台または ADF に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動

   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
   ➡ ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

2. セットした原稿に合わせて、［原稿を選択する］を設定



重要

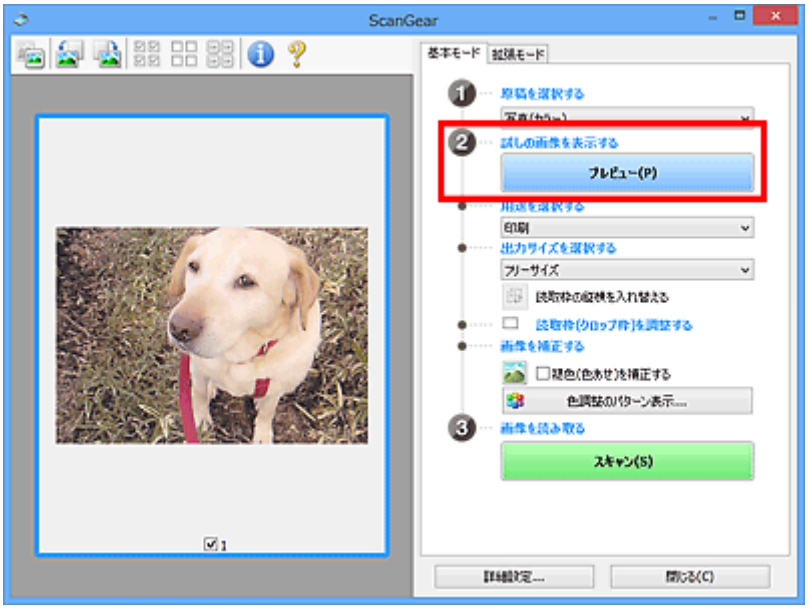
- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- カラー写真の多い雑誌をスキャンする場合は、［雑誌(カラー)］を選択してください。

3. ［プレビュー］をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



重要

- ［原稿を選択する］で ADF 原稿を選択した場合は、［プレビュー］は表示されません。

参考

- ［原稿を選択する］で選択した原稿に合わせた色調整が行われます。

4. ［用途を選択する］を設定

参考

- ［原稿を選択する］で ADF 原稿を選択した場合は、手順 7 に進んでください。

5. 目的に応じて、［出力サイズを選択する］を設定

［用途を選択する］で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

6. 必要に応じて、クロップ枠（スキャンする範囲）を調整

プレビュー画像のクロップ枠の大きさや位置を調整します。

➡ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

7. 必要に応じて、［画像を補正する］を設定

8. ［スキャン］をクリック

スキャンが開始されます。

参考

-  （情報）をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- ［詳細設定］ダイアログボックスにある［スキャン］シートの［スキャン終了後の ScanGear の画面］で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

- ［基本モード］シート

「拡張モード」でスキャンする

［拡張モード］シートでは、カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンすることができます。

複数の原稿を一度にスキャンしたい場合は、「ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする」を参照してください。

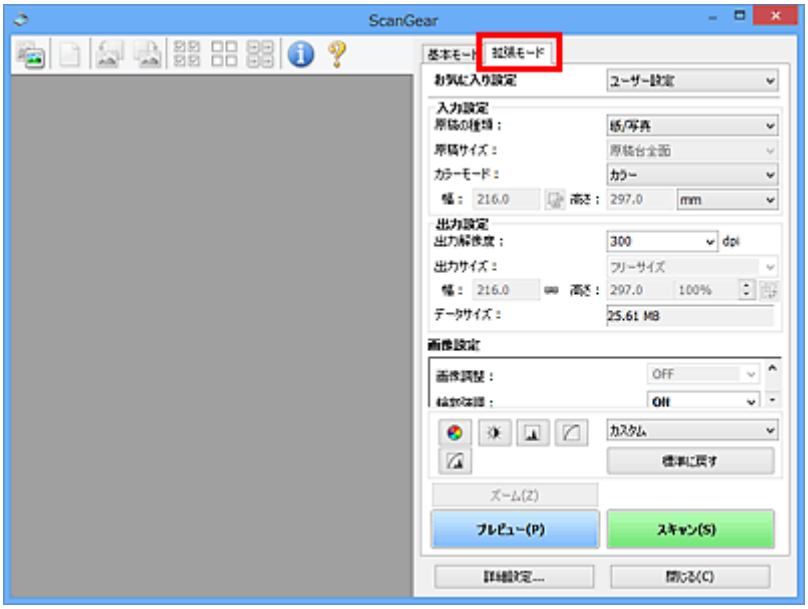
ADF（自動原稿給紙装置）にセットした複数の原稿をスキャンしたい場合は、「「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする」を参照してください。

重要

- 次のような原稿は、正しくスキャンできないことがあります。その場合は、ツールバーの  （サムネイル）をクリックし、全体表示に切り替えてスキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
  - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
  - いろいろな形に切り抜いた写真

1. 本製品の原稿台に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動
   - 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
   - ScanGear（スキャナードライバー）を起動する
2. ［拡張モード］タブをクリック

   ［拡張モード］シートに切り替わります。



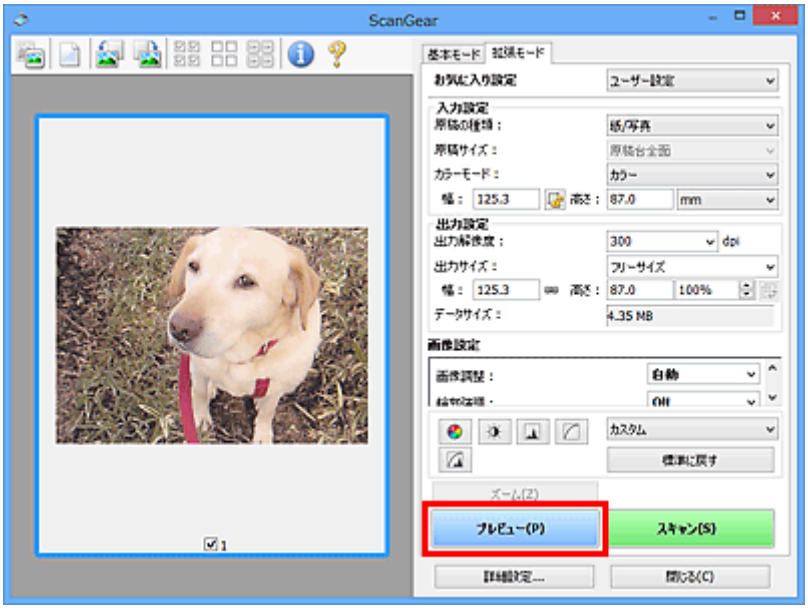
参考

- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。

3. 原稿や目的に合わせて、［入力設定］を設定

4. ［プレビュー］をクリック

   プレビュー領域に試しでスキャンされた画像が表示されます。



5. ［出力設定］を設定

6. 必要に応じて、クロップ枠（スキャンする範囲）の調整や画像補正、色調整を行う

   - クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）
   - ［画像設定］
   - 色調整ボタン

7. ［スキャン］をクリック

   スキャンが開始されます。

参考

- （情報）をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- ［詳細設定］ダイアログボックスにある［スキャン］シートの［スキャン終了後の ScanGear の画面］で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

- ［拡張モード］シート

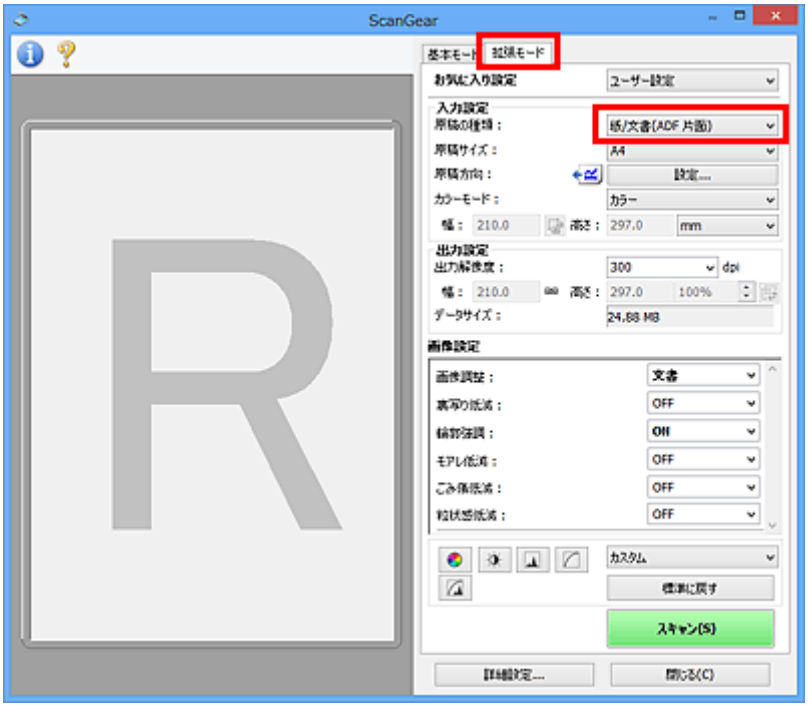
「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする

［拡張モード］シートでは、ADF（自動原稿給紙装置）にセットした複数枚の原稿を、画像の明るさや色あいなどを細かく設定して一度にまとめてスキャンすることができます。ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、ADF から原稿の両面を自動で読み込むことができます。

ADF から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンします。

1. 本製品の ADF に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動
   - 原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））
   - ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

2. ［拡張モード］タブをクリックし、［原稿の種類］で［紙/文書(ADF 片面)］または［紙/文書(ADF 両面)］を選択



参考

- モードの切り替えをした場合、設定した内容は引き継がれません。
- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、［紙/文書(ADF 両面)］が選択できます。

3. 原稿や目的に合わせて、［入力設定］を設定

4. ［出力設定］を設定

5. 必要に応じて、画像補正や色調整を行う
   - ［画像設定］
   - 色調整ボタン

6. ［スキャン］をクリック

   スキャンが開始されます。

参考

-  （情報）をクリックすると、表示されたダイアログボックスで原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定を確認できます。
- ［詳細設定］ダイアログボックスにある［スキャン］シートの［スキャン終了後の ScanGear の画面］で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

関連項目

- ［拡張モード］シート

ScanGear（スキャナードライバー）で複数の原稿を一度にスキャンする

［基本モード］シート、［拡張モード］シートでは、原稿台にセットした 2 枚以上の写真（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめてスキャンすることができます。

ここでは、［基本モード］シートで複数の原稿をスキャンする例を説明します。

重要

- 複数の原稿を 1 枚の画像でスキャンしたい場合は、全体表示でスキャンしてください。
- 次のような原稿は、正しく切り抜けないことがあります。その場合は、全体表示でクロップ枠（スキャンする範囲）を調節して、スキャンしてください。
  - 周囲が白っぽい写真
  - 白地に印刷された原稿や手書きの文書、名刺など
  - 薄い原稿
  - 厚みのある原稿

  全体表示で複数の原稿をスキャンする
- 次のような原稿は、正しくスキャンすることができません。
  - 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿
  - いろいろな形に切り抜いた写真

参考

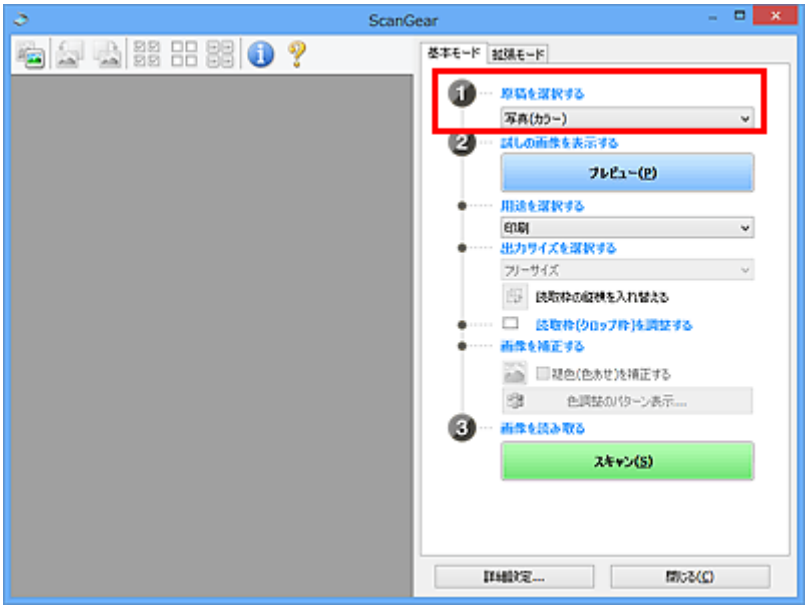
- ［拡張モード］シートでも同じように複数の原稿を一度にスキャンできます。カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンしたい場合は、［拡張モード］シートをご使用ください。
- ［基本モード］シート、［拡張モード］シートの詳細については、以下を参照してください。

  ［基本モード］シート
  ［拡張モード］シート

1. 本製品の原稿台に原稿をセットし、ScanGear（スキャナードライバー）を起動

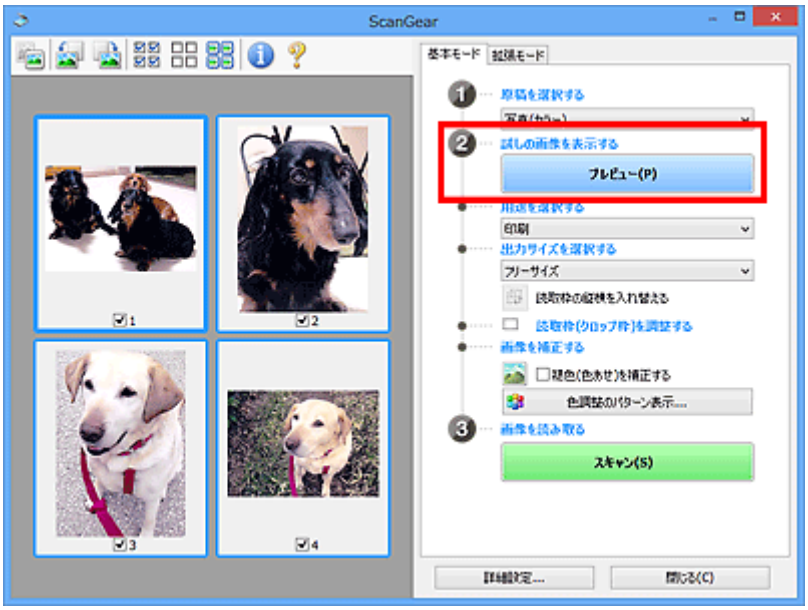
   原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）
   ScanGear（スキャナードライバー）を起動する

2. セットした原稿に合わせて、［原稿を選択する］を設定



3. [プレビュー] をクリック

プレビュー領域に試しでスキャンされた画像がサムネイル（縮小版）表示されます。原稿のサイズに合わせて、自動的にクロップ枠が指定されます。



4. [用途を選択する] を設定

5. 目的に応じて、[出力サイズを選択する] を設定

6. 必要に応じて、クロップ枠の調整や [画像を補正する] を設定

参考

- 読み込んだ画像ごとに補正することができます。補正したいコマを選んでください。
- サムネイル（縮小版）表示では、クロップ枠を 1 コマにつき 1 つしか作成できません。1 枚の画像に複数のクロップ枠を作成したい場合は、全体表示でスキャンしてください。

  全体表示で複数の原稿をスキャンする

7. スキャンしたい画像を選択

   スキャンしたい画像のチェックボックスにチェックマークを付けます。

8. ［スキャン］をクリック

全体表示で複数の原稿をスキャンする

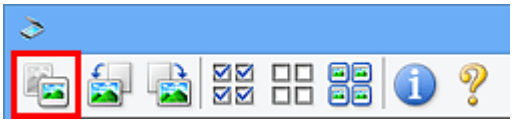
プレビューしたときに、正常にサムネイル（縮小版）表示されない場合や、複数の原稿を 1 枚の画像でスキャンしたい場合は、以下の手順を行ってください。

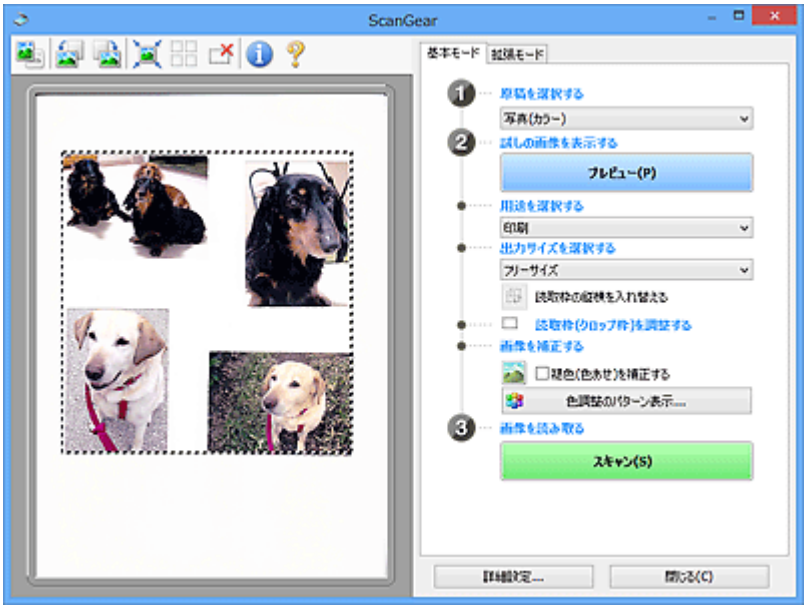
参考

- 全体表示では、原稿の傾きは補正されません。

1. 画像をプレビュー後、ツールバーの  （サムネイル）をクリック

   全体表示にします。





参考

- 全体を表示しているときは、アイコンが  （全体表示）に変わります。

2. ［用途を選択する］を設定

3. 目的に応じて、［出力サイズを選択する］を設定

   ［出力サイズを選択する］が、［フリーサイズ］以外のとき［読取枠の縦横を入れ替える］が有効となります。このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

4. クロップ枠を調整

プレビュー画像のクロップ枠の大きさや位置を調整します。また、クロップ枠を複数作成することもできます。

範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み込まれます。範囲を指定した場合は、その範囲の画像だけが読み込まれます。

➡ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

5. 必要に応じて、［画像を補正する］を設定

6. ［スキャン］をクリック

   点線で囲まれた原稿がスキャンされます。

参考

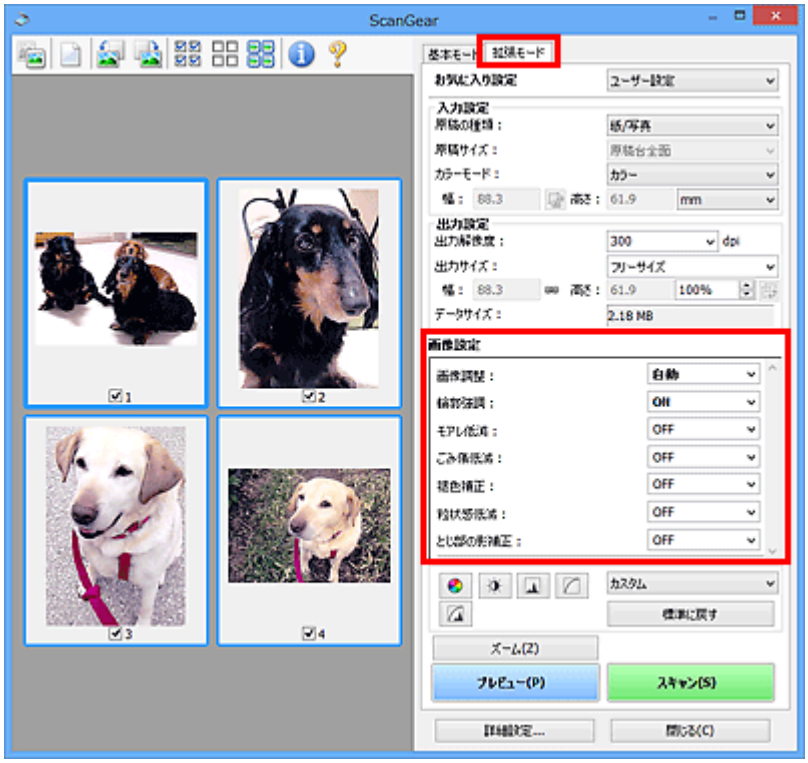
- ［詳細設定］ダイアログボックスにある［スキャン］シートの［スキャン終了後の ScanGear の画面］で、スキャン終了後の動作を設定することができます。

ScanGear（スキャナードライバー）で画像補正や色調整をしてみよう

- 画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など）
- 色調整パターンを使った色調整のしかた
- 彩度・カラーバランスの調整のしかた
- 明るさ・コントラストの調整のしかた
- ヒストグラムの調整のしかた
- トーンカーブの調整のしかた
- 白黒設定のしかた

画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など）

ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートの［画像設定］の機能を使用すると、画像の輪郭を強調したり、ごみ傷や色褪せを目立たなくしたりしてスキャンすることができます。



設定のしかた

各機能の  （矢印）をクリックし、プルダウンメニューから項目を選びます。



重要

- モアレ、ごみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色あいがおかしくなることがあります。
- 各機能の詳細や注意事項などは、「[画像設定]」を参照してください。

参考

- ScanGear の［拡張モード］シートの起動方法、スキャンする手順については、「「拡張モード」でスキャンする」を参照してください。

画像の明るさや色あいを調整したい

［画像調整］を、原稿の種類に応じて［自動］、［写真］、［雑誌］、［文書］のいずれかに設定します。

OFF	自動



原稿をスキャンするときに、文字原稿の裏写りや、再生紙や新聞などの下地の色を軽減したい

［裏写り低減］を［ON］にします。

OFF	ON
	

ぼやけ気味の画像をもっとくっきりした画質にしたい

［輪郭強調］を［ON］にします。

OFF	ON
	

濃淡のむらや縞模様を低減したい

［モアレ低減］を［ON］にします。

OFF	ON
	

参考

- 印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象です。［モアレ低減］は、このモアレを少なくする機能です。

ごみや傷を少なくしてスキャンしたい

［ごみ傷低減］を、程度に応じて［弱］、［標準］、［強］のいずれかに設定します。

OFF	標準
	

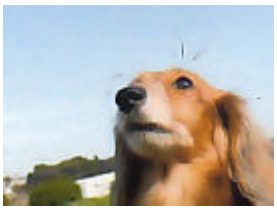
褪色や、色かぶりした写真の色を補正したい

［褪色補正］を、程度に応じて［弱］、［標準］、［強］のいずれかに設定します。

OFF	標準
	

粒状感を低減したい

［粒状感低減］を、程度に応じて［弱］、［標準］、［強］のいずれかに設定します。

OFF	標準
	

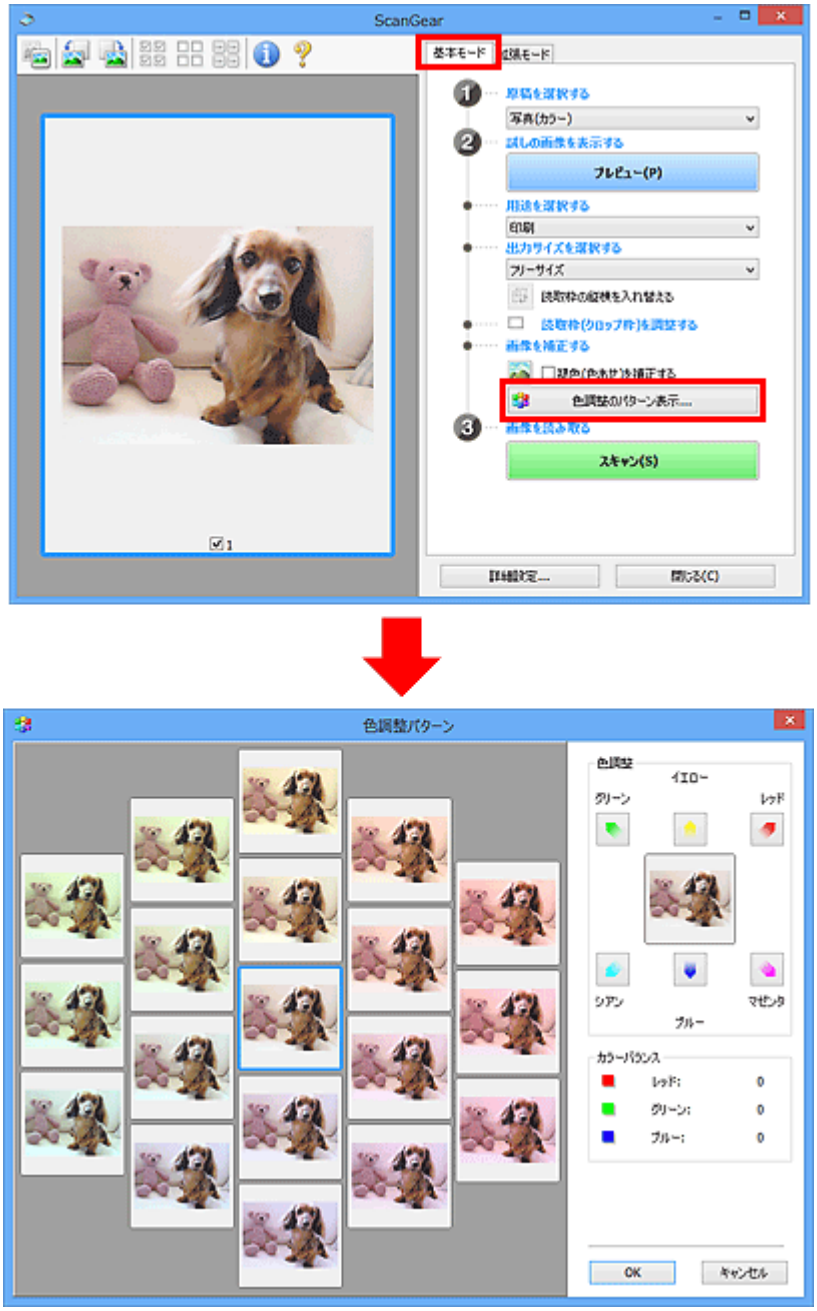
冊子などを見開きでスキャンするときにとじ部にできる影を補正したい

［とじ部の影補正］を、程度に応じて［弱］、［標準］、［強］のいずれかに設定します。

OFF	標準
	

色調整パターンを使った色調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の［基本モード］シートで色調整パターンを使用すると、色の変化をプレビューで確認しながら自然な色あいに近づけることができます。



色の調整

褪色や色かぶりによって損なわれた画像の色を補正します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

［色調整］の各色の矢印をクリックして、それぞれの色あいを強くすることができます。

シアン – レッド、マゼンタ – グリーン、イエロー – ブルー、これらは互いに補色（混ぜ合わせると無彩色になる色）であり、色かぶりした色を弱め、反対に補色を強めることで本来の自然な色調に近づけることができます。

画像の中で本来白である部分を見つけ、その部分が白になるように色を調整すると、上手に補正できます。

中心にはプレビューが表示されます。プレビューで色の変化を確認しながら調整できます。



青みがかってしまった画像の補正例を次に示します。

［ブルー］や［グリーン］が強いので、［イエロー］と［マゼンタ］の矢印をクリックし色あいを強くすると上手に補正できます。

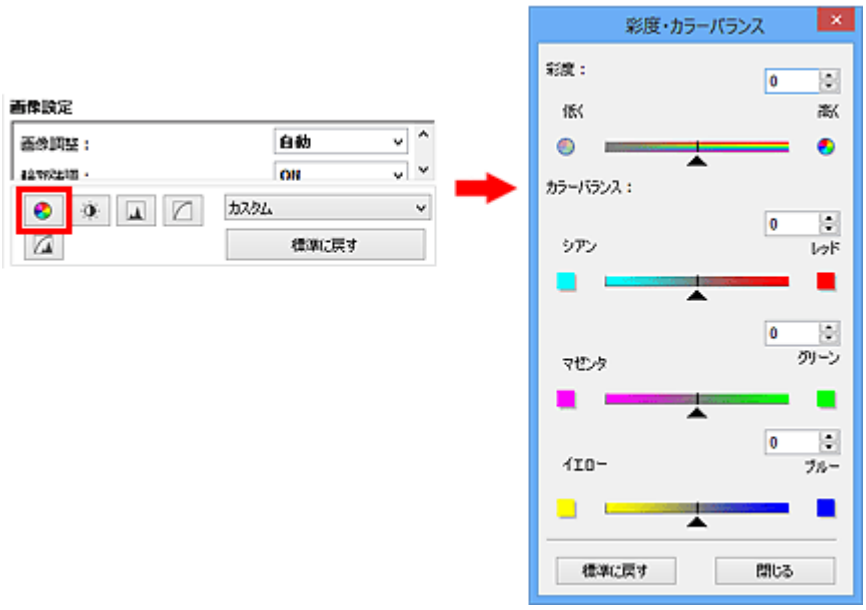
調整前	調整後
	

参考

- クロップ枠（スキャンする範囲）で選んだ範囲またはサムネイル表示で選択したコマのみ、色調整が適用されます。
- Ctrl キーを押しながらクロップ枠やコマをクリックすると、複数のクロップ枠または複数のコマを同時に選択状態にすることができます。
- ［色調整パターン］では、画面左のパターンから好みの色調を選ぶこともできます。
- わざと色あいを変えて、画像に雰囲気を加えることもできます。マゼンタ寄りに調整すると優しく温かい雰囲気を、ブルー寄りに調整すると涼しげでクールな雰囲気を演出することができます。

彩度・カラーバランスの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートで  （彩度・カラーバランス）を使用すると、色かぶりや褪色によって損なわれた色彩を鮮やかに調整できます。



参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

彩度の調整

画像の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。褪色などで損なわれた色彩を鮮やかに調整できます。

［彩度］の ▲ （スライドバー）を左に動かすと彩度が低く（色が薄く）なり、右に動かすと彩度が高く（色が鮮やかに）なります。数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。



彩度を低くした画像	未調整の画像	彩度を高くした画像
		

参考

- 彩度を高くしすぎると、元の画像が持つ自然な色調が失われることがあります。

カラーバランスの調整

色かぶりした画像を調整します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

[カラーバランス] の ▲（スライドバー）を左右に動かして、それぞれの色あいを強くすることができます。

シアン – レッド

マゼンタ – グリーン

イエロー – ブルー

これらは互いに補色（混ぜ合わせると無彩色になる色）であり、色かぶりした色を弱め、反対に補色を強めることで本来の自然な色調に近づけることができます。

1 組の色を調整するだけでは補正しきれないことが多いので、画像の中で本来白である部分を見つけ、その部分が白になるように 3 組の色を調整すると、上手に補正できます。

また数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。

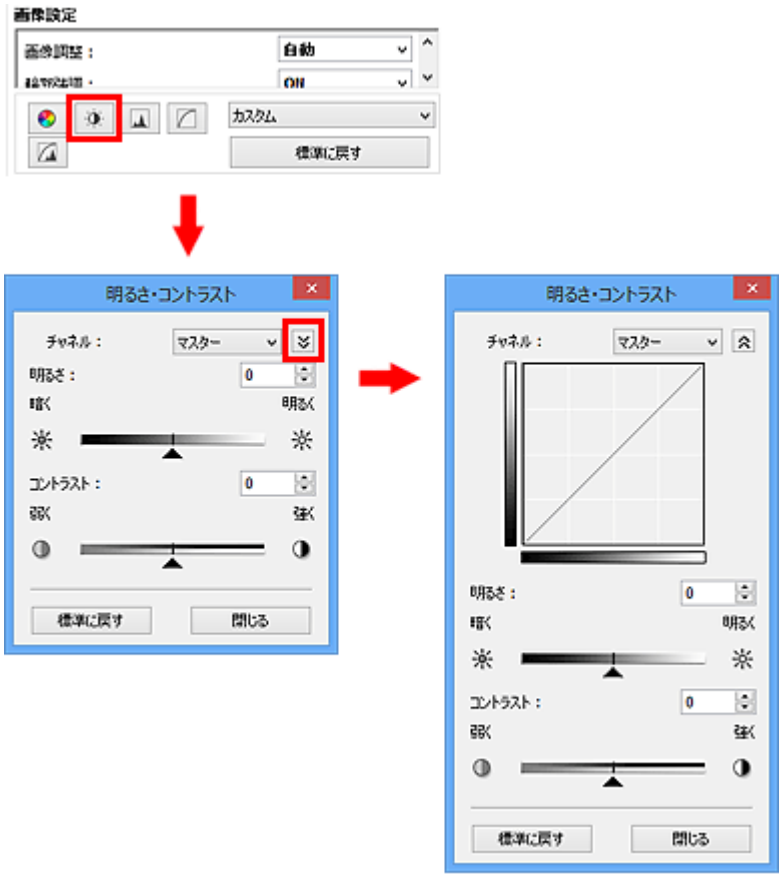
「シアン – レッド」を調整した画像の例を次に示します。



シアンが強い画像	レッドが強い画像
	

明るさ・コントラストの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートで  （明るさ・コントラスト）を使用すると、暗すぎたり明るすぎたりする画像や、明暗差がなくフラットな画像の色を調整できます。



参考

-  （下矢印）をクリックすると、詳細な画面に切り替わります。  （上矢印）をクリックすると元に戻ります。
- ［標準に戻す］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

［マスター］
　レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整／設定を行います。

［レッド］
　画像のうち、赤の要素だけの調整／設定を行います。

［グリーン］
　画像のうち、緑の要素だけの調整／設定を行います。

［ブルー］
　画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

参考

- ［カラーモード］が［グレースケール］のときは、［チャネル］は［グレー］のみになります。

明るさの調整

画像の明るさを調整します。

[明るさ] の ▲ （スライドバー）を左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。



暗くした画像	未調整の画像	明るくした画像
		

参考

- 明るさの値を大きくしすぎるとハイライト部分が飛んでしまい、明るさの値を小さくしすぎるとシャドウ部分がつぶれてしまうことがあります。

コントラストの調整

「コントラスト」とは、画像の明暗差のことです。コントラストの値を大きくすると、画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。コントラストの値を小さくすると、画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。

[コントラスト] の ▲ （スライドバー）を左に動かすとコントラストの値が小さくなり、右に動かすとコントラストの値が大きくなります。数値（-127～127）を直接入力して指定することもできます。



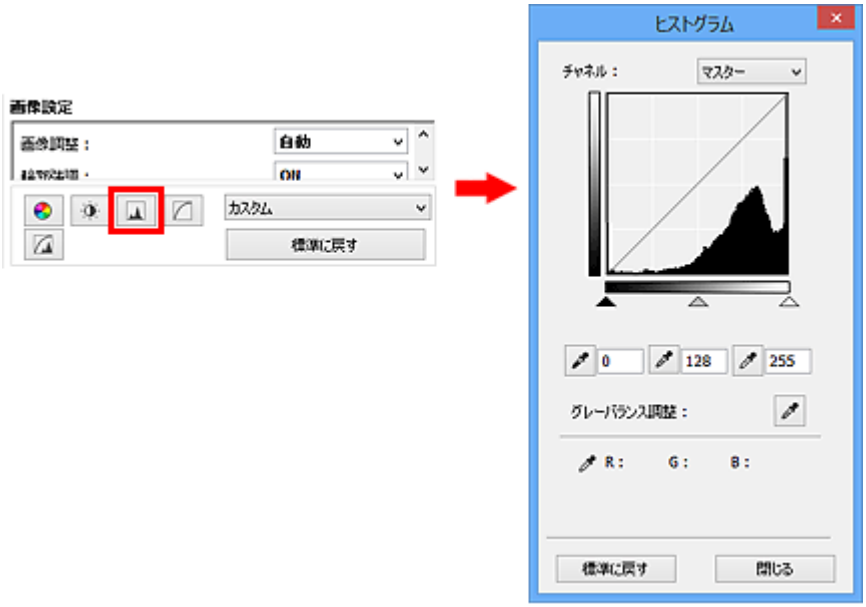
コントラストを弱くした画像	未調整の画像	コントラストを強くした画像
		

参考

- 画像が薄くぼんやりしているようなときにコントラストの値を大きくすると、画像にメリハリが出て効果的です。ただし、コントラストの値を大きくしすぎると、シャドウ部分がつぶれてしまったり、ハイライトの部分が飛んでしまったりします。

ヒストグラムの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートで  （ヒストグラム）を使用すると、明るさの分布を示すグラフ（ヒストグラム）で画像の色あいを調整できます。



参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

［マスター］
　レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整／設定を行います。

［レッド］
　画像のうち、赤の要素だけの調整／設定を行います。

［グリーン］
　画像のうち、緑の要素だけの調整／設定を行います。

［ブルー］
　画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

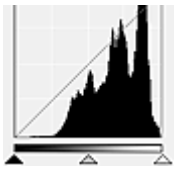
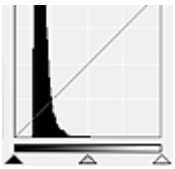
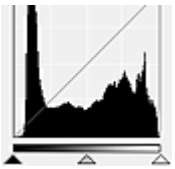
参考

- ［カラーモード］が［グレースケール］のときは、［チャネル］は［グレー］のみになります。

ヒストグラムの見かた

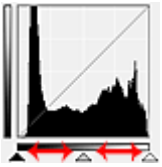
［チャネル］ごとに、指定した範囲のヒストグラムを見ることができます。ヒストグラムの山が高いほど、そのレベルにデータがたくさん分布しています。



（1）明るい部分	（2）暗い部分	（3）全体
		
ハイライト寄りに多くのデータが分布	シャドウ寄りに多くのデータが分布	シャドウとハイライトの間に広くデータが分布

ヒストグラムの調整（スライドバーを使用）

［チャネル］を選び、ヒストグラムの下にある ▲ （暗点スライドバー）と △ （明点スライドバー）の位置を移動して、どのレベルをシャドウまたはハイライトにするかを調整します。



- ▲ （暗点スライドバー）より左に指定した部分は、すべて黒（レベル 0）になります。
- ▲ （中間点スライドバー）に指定した部分が、暗点と明点のちょうど中間の色になります。
- △ （明点スライドバー）より右の部分は、すべて白（レベル 255）になります。

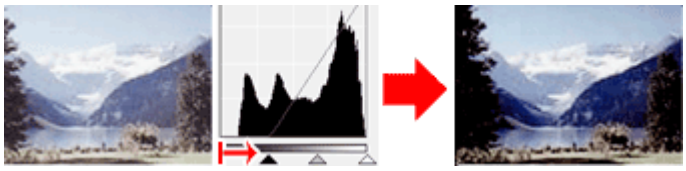
［画像調整］が［OFF］以外の場合、下図のような調整が自動的に行われます。

暗点・明点スライドバーを移動させる

暗点スライドバーまたは明点スライドバーを移動させて、明るさを調整します。

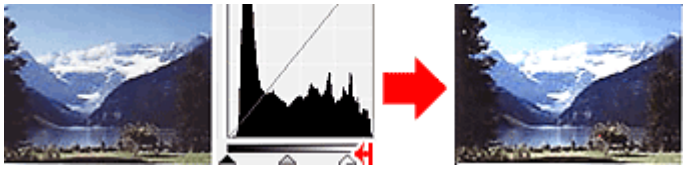
ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

暗点スライドバーの位置をハイライト寄りに移動



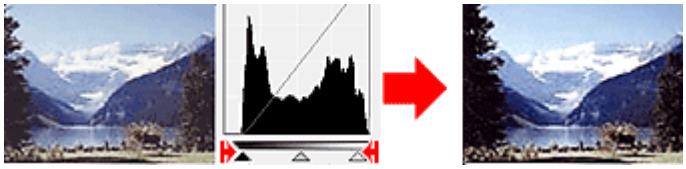
シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

明点スライドバーの位置をシャドウ寄りに移動



広くデータが分布している画像

暗点スライドバーの位置をハイライト寄りに、明点スライドバーの位置をシャドウ寄りに移動

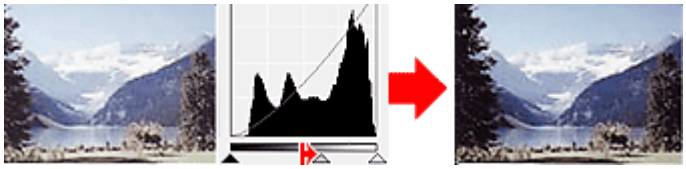


中間点スライドバーを移動させる

中間点スライドバーを移動させて、どのくらいの明るさを中間の明るさとするかを設定することもできます。

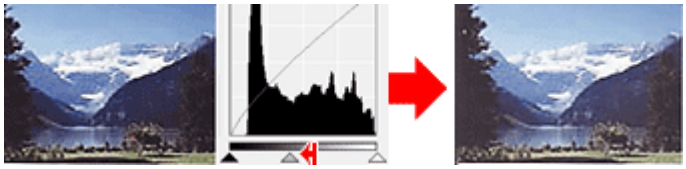
ハイライト寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライドバーの位置をハイライト寄りに移動



シャドウ寄りにデータがかたよっている画像

中間点スライドバーの位置をシャドウ寄りに移動



ヒストグラムの調整（ピッカー使用）

[チャネル] を選び、暗点ピッカー、中間点ピッカー、または明点ピッカーをクリックすると、プレビュー画像上のカーソルの形状がスポイトに変わります。ヒストグラムの下にあるスポイトをクリックし、設定を変更します。



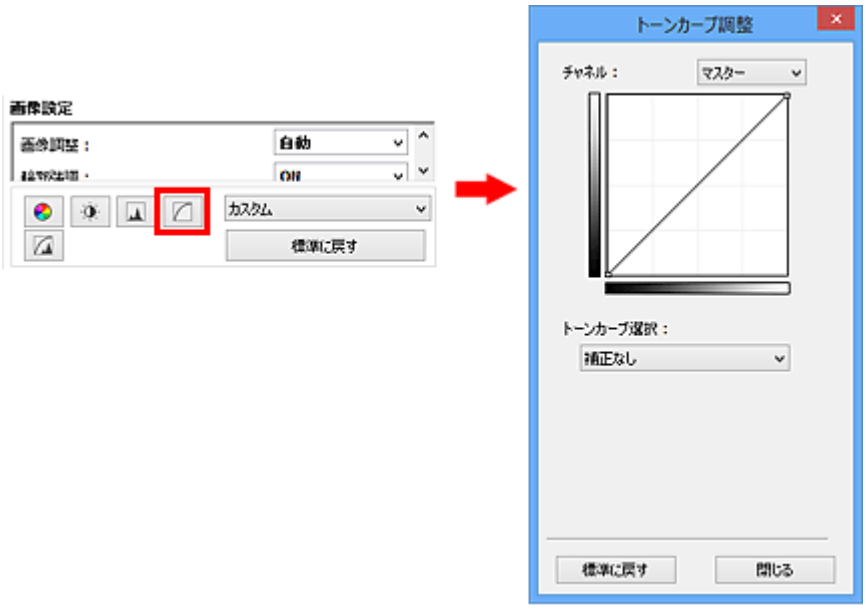
-  （暗点ピッカー）でクリックしたところが、いちばん暗くなります。数値（0～245）を入力して設定することもできます。
-  （中間点ピッカー）でクリックしたところが、白と黒の中間の色になります。数値（5～250）を入力して設定することもできます。
-  （明点ピッカー）でクリックしたところが、いちばん明るくなります。数値（10～255）を入力して設定することもできます。

- ［グレーバランス調整］の  （ピッカー）をクリックし、プレビュー画像で色を調整したい部分をクリックします。

クリックした点を無彩色にし、それに応じて画像全体に色調整を行います。たとえば、雪に青みがかかっている写真などで青みをとりたい部分をクリックすると、画像全体の調整を行い自然の色調に近づけることができます。

トーンカーブの調整のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートで  （トーンカーブ調整）を使用すると、明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選んで、画像の明るさを調整できます。



参考

- ［標準に戻す］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

チャネルとは

画像の各ドットの色は、レッド、グリーン、ブルーをさまざまな割合（階調）で調整することにより表現されています。これらの色は個別に調整することができ、このとき利用するのが「チャネル」です。

［マスター］
　レッド、グリーン、ブルーを統合した状態での調整／設定を行います。

［レッド］
　画像のうち、赤の要素だけの調整／設定を行います。

［グリーン］
　画像のうち、緑の要素だけの調整／設定を行います。

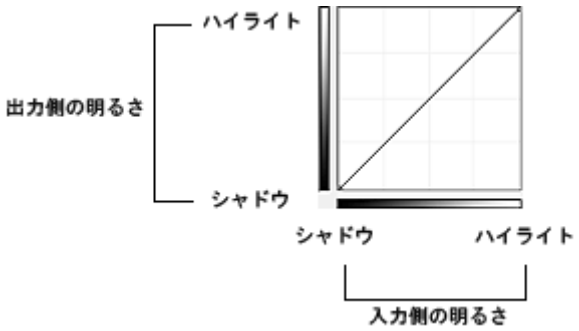
［ブルー］
　画像のうち、青の要素だけの調整／設定を行います。

参考

- ［カラーモード］が［グレースケール］のときは、［チャネル］は［グレー］のみになります。

トーンカーブの見かた

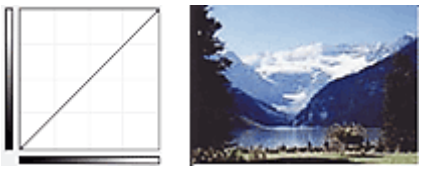
ScanGear では、スキャナーからの画像の読み取りが入力、モニターへの表示が出力となります。この入力と出力の明暗のバランスを［チャネル］ごとに示したものが、「トーンカーブ」です。



トーンカーブの調整

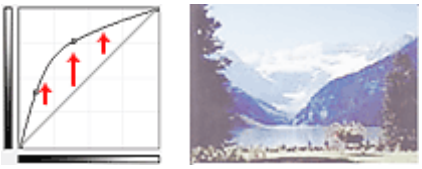
［トーンカーブ選択］でトーンカーブを［補正なし］、［露出オーバーにする］、［露出アンダーにする］、［ハイコントラストにする］、［ネガポジを反転する］、［カスタムカーブを作成］から選びます。

［補正なし］を選択（未調整）



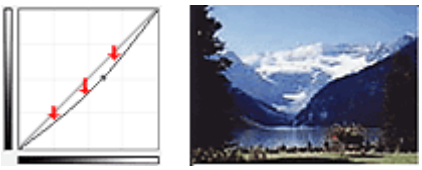
［露出オーバーにする］を選択（上膨らみの曲線）

入力側の中間長のデータが出力側のハイライト寄りの形になるので、モニターの表示は明るい感じの色調に調整されます。



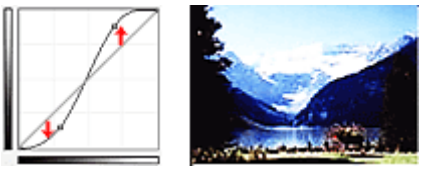
［露出アンダーにする］を選択（下膨らみの曲線）

入力側の中間長のデータが出力側のシャドウ寄りの形になるので、モニターの表示は暗い感じの色調に調整されます。



［ハイコントラストにする］を選択（S 字形の曲線）

入力側のハイライトとシャドウが強調されるため、コントラストが強調された画像になります。



［ネガポジを反転する］を選択（右下がりの曲線）

入力側と出力側が反転するので、ネガポジの反転した画像になります。

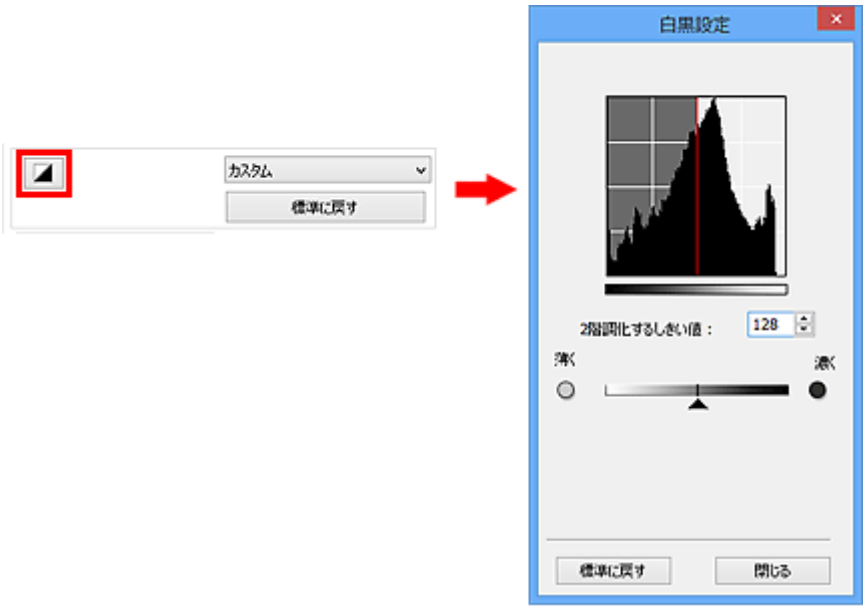



［カスタムカーブを作成］を選択

トーンカーブの任意の点をドラッグして、特定の領域の明るさをきめ細かく調整することができます。

白黒設定のしかた

ScanGear（スキャナードライバー）の［拡張モード］シートで  （白黒設定）を使用すると、しきい値を調整して、原稿の文字をくっきりさせたり、新聞の裏写りを軽減させたりすることができます。



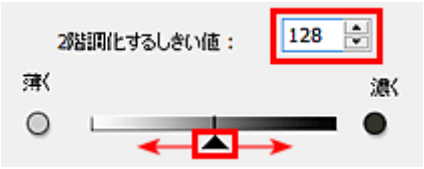
参考

- ［カラーモード］が［白黒］のときに有効です。
- ［標準に戻す］をクリックすると、表示中の調整項目の補正をとりやめ、初期状態に戻ります。

しきい値の調整

カラーやグレースケールの画像は、明るさを 0～255 の数値で表現しますが、白黒の場合は、中間色の部分も白（255）と黒（0）のどちらかに分けます。このときの白と黒の境目が「しきい値」です。

このしきい値の ▲ （スライドバー）を右に動かして数値を大きくすると、黒になる部分が多くなり、左に動かして数値を小さくすると、白になる部分が多くなります。数値（0～255）を直接入力して指定することもできます。



ScanGear（スキャナードライバー）の画面説明

- **［基本モード］シート**
- **［拡張モード］シート**
  - ［入力設定］
  - ［出力設定］
  - ［画像設定］
  - 色調整ボタン
- **［詳細設定］ダイアログボックス**
  - ［スキャナー］シート
  - ［プレビュー］シート
  - ［スキャン］シート
  - ［色の設定］シート

［基本モード］シート

画面に表示される手順に従って操作するだけで、簡単にスキャンできるモードです。

［基本モード］シートの各項目や、機能を説明します。



- （1）設定項目と操作ボタン
- （2）ツールバー
- （3）プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビュー機能は使用できません。

（1）設定項目と操作ボタン

［原稿を選択する］

［写真(カラー)］

カラー写真をスキャンします。

［雑誌(カラー)］

カラーの印刷物をスキャンします。

［文書(カラー)］

原稿をカラーでスキャンします。

［文書(グレー)］

原稿をモノクロでスキャンします。

［文書(カラー) ADF 片面］

ADF から、原稿をカラーでスキャンします。

［文書(グレー) ADF 片面］

ADF から、原稿をモノクロでスキャンします。

［文書(カラー) ADF 両面］（ADF 両面スキャンに対応している機種の場合）

ADF から、原稿の両面をカラーでスキャンします。

［文書(グレー) ADF 両面］（ADF 両面スキャンに対応している機種の場合）

ADF から、原稿の両面をモノクロでスキャンします。

重要

- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- 原稿の種類を選ぶと、輪郭強調機能がはたらきます。
- ADF 以外の原稿を選ぶと、原稿の種類に合わせた画像調整機能がはたらきます。
- ［雑誌(カラー)］を選ぶと、モアレ低減機能がはたらきます。

［試しの画像を表示する］

［プレビュー］

試しで原稿をスキャンします。



参考

- 本製品をはじめて使う場合、自動的にスキャナーの補正（キャリブレーション）が行われます。続いてプレビュー画像が表示されるまでしばらくお待ちください。

［用途を選択する］

スキャンした画像の用途に合わせて選びます。

［印刷］

スキャンした画像をプリンターで印刷するときに選びます。

［画面表示］

スキャンした画像をモニターで見るときに選びます。

［OCR］

スキャンした画像を OCR ソフトウェアなどで使用するときに選びます。

「OCR ソフトウェア」とは、画像として読み込んだ活字を、ワープロソフトなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換するアプリケーションソフトです。

［出力サイズを選択する］

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

［用途を選択する］で選択した項目によって、選べる出力サイズが異なります。

［フリーサイズ］

クロップ枠（スキャンする範囲）を自由に変更できます。

サムネイル表示の場合：

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合：

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

用紙のサイズ（L 判、A4 など）

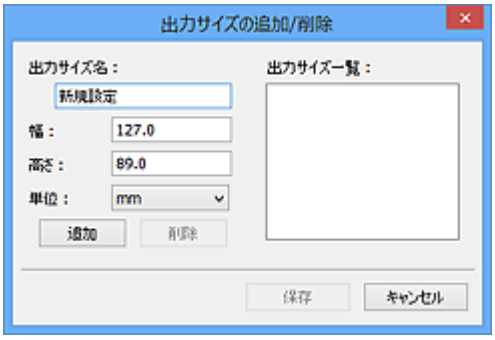
出力サイズを用紙サイズで選びます。クロップ枠の範囲を、選んだ用紙サイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小してスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

モニターのサイズ（1024 x 768 pixels など）

出力サイズを縦横のピクセル数で選びます。選んだモニターサイズのクロップ枠が表示され、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小することができます。

[追加/削除...]

[出力サイズの追加/削除] ダイアログボックスが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。[用途を選択する] が [印刷] または [画面表示] のときに選択できます。



[出力サイズの追加/削除] ダイアログボックスでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、[出力サイズを選択する] の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加する場合：

[出力サイズ名]、[幅]、[高さ] を入力し、[追加] をクリックします。[単位] は、[用途を選択する] が [印刷] のときは [mm] または [inches]、[画面表示] のときは [pixels] のみとなります。追加した出力サイズは [出力サイズ一覧] に表示されます。[保存] をクリックして、[出力サイズ一覧] に表示されている出力サイズを登録します。

削除する場合：

[出力サイズ一覧] で削除したい出力サイズを選び、[削除] をクリックします。[保存] をクリックして、[出力サイズ一覧] に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- [A4]、[1024 x 768 pixels] など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 最大 10 個まで設定を保存できます。

- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。設定範囲内の数値を入力してください。

参考

- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、[詳細設定] ダイアログボックスにある「[プレビュー] シート」の［プレビュー後のクロップ枠の設定］を参照してください。



［読取枠の縦横を入れ替える］

［出力サイズを選択する］が、［フリーサイズ］以外のときに使用できる機能です。

このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

［読取枠(クロップ枠)を調整する］

読み取り範囲をプレビュー上で調整することができます。

範囲を指定しない場合は、原稿サイズ（オートクロップ）で読み込まれます。範囲を指定した場合は、クロップ枠の範囲だけが読み込まれます。

➡ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

［画像を補正する］

スキャンする画像を補正します。

重要

- ［自動文書補正をかける］、［褪色(色あせ)を補正する］は、［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［推奨］が選ばれているときに、設定できます。

参考

- ［原稿を選択する］で選択した原稿の種類によって、設定できる機能が異なります。

［自動文書補正をかける］

文書や雑誌の文字をくっきりさせ、見やすくなるように補正してスキャンします。

重要

- この補正機能をオンにすると、スキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。
- 補正によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、チェックマークを外してスキャンしてください。
- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

［褪色(色あせ)を補正する］

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真を色補正してスキャンします。

［とじ部の影を補正する］

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

重要

- この機能をご使用になるときの注意事項などがありますので、かならず「[とじ部の影補正]」を参照してください。

［色調整のパターン表示...］

画像全体の色調整をします。この色調整では、色の変化をプレビューで確認しながら、色かぶりなどによって損なわれた色を補正して、自然な色に近づけることができます。

➡ 色調整パターンを使った色調整のしかた

重要

- ［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［カラーマッチング］を選択しているときは、設定できません。

［画像を読み取る］

［スキャン］

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、［キャンセル］をクリックします。

［詳細設定...］

［詳細設定］ダイアログボックスが表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

［閉じる］

ScanGear（スキャナードライバー）を閉じます。

（2）ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

サムネイル表示の場合：



全体表示の場合：



 **（サムネイル）**／  **（全体表示）**

プレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡ （3）プレビュー領域

 **（左回転）**

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

 **（右回転）**

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

 **（オートクロップ）**

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。



（全コマチェック）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。



（全コマチェック解除）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。



（全コマ選択）

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。



（全クロップ枠選択）

クロップ枠が 2 つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。



（クロップ枠削除）

選択されているクロップ枠を削除します。



（情報）

ScanGear のバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。



（操作説明表示）

このページが表示されます。

（3）プレビュー領域

[プレビュー] をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「（1）設定項目と操作ボタン」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが  **（サムネイル）の場合：**

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。



参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
  - フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
  - 選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。Ctrl キーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
  - 非選択（枠なし）：設定が反映されません。
- コマをダブルクリックすると拡大表示されます。画面下にある  （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

ツールバーのアイコンが  （全体表示）の場合：

原稿台全面をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。



参考

- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は 1 コマにつき 1 個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。

  ➡ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

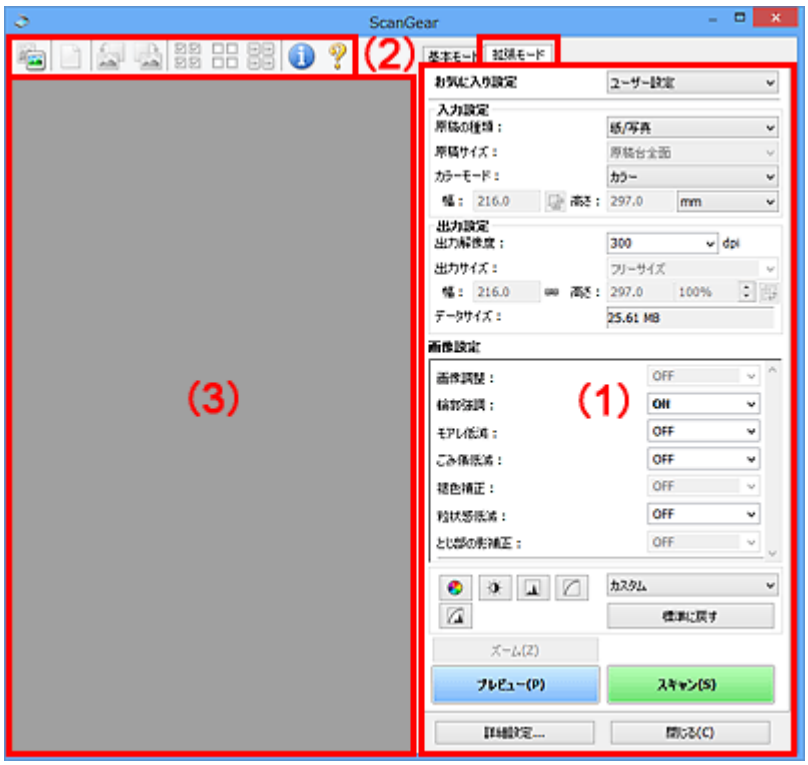
関連項目

➡ 「基本モード」でスキャンする

［拡張モード］シート

カラーモードや出力解像度、画像の明るさ、色あいなどを細かく設定してスキャンできるモードです。

［拡張モード］シートの各項目や、機能を説明します。



- （1）設定項目と操作ボタン
- （2）ツールバー
- （3）プレビュー領域

参考

- 表示される項目は、原稿の種類や表示方法によって異なります。
- ADF（自動原稿給紙装置）から原稿をスキャンするときは、プレビュー機能は使用できません。

（1）設定項目と操作ボタン

［お気に入り設定］

［拡張モード］シートの設定内容（入力設定、出力設定、画像設定、色調整ボタン）に名前を付けて保存したり、保存してある設定内容を呼び出したりして使用することができます。同じ設定を使う場合は、保存しておくと操作が簡単になります。設定内容を初期状態に戻すこともできます。

プルダウンメニューから［追加/削除...］を選ぶと、［お気に入り設定の追加/削除］ダイアログボックスが表示されます。



［設定名］を入力し［追加］をクリックすると、［お気に入り設定一覧］に設定名が表示されます。

［保存］をクリックすると、［お気に入り設定］の選択項目に表示され、既存の項目と同様に選択できます。

設定を削除するには、［お気に入り設定一覧］で削除したい設定名を選び、［削除］をクリックします。［保存］をクリックして、［お気に入り設定一覧］に表示されている設定を保存します。

参考

- ［お気に入り設定］の［追加/削除...］はプレビュー後に設定できます。
- 最大 10 個まで設定を保存できます。

［入力設定］

原稿の種類やサイズなどの入力条件を設定します。

［出力設定］

出力解像度、出力サイズなどの出力条件を設定します。

［画像設定］

各種画像補正のオン／オフなどを設定します。

色調整ボタン

画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。

［ズーム］

コマを拡大表示したり、クロップ枠（スキャンする範囲）で指定した範囲の画像を拡大表示したりします。拡大表示されると、［ズーム］が［戻す］に変わります。拡大表示を元に戻すには、［戻す］をクリックします。

サムネイル表示の場合：

複数の画像がサムネイル表示されているときにクリックすると、選択した画像の 1 コマを拡大表示します。画面下にある  （コマ送り）をクリックすると、前後のコマを表示できます。

参考

- コマをダブルクリックしても拡大表示できます。拡大表示されたコマをもう一度ダブルクリックすると元に戻ります。

全体表示の場合：

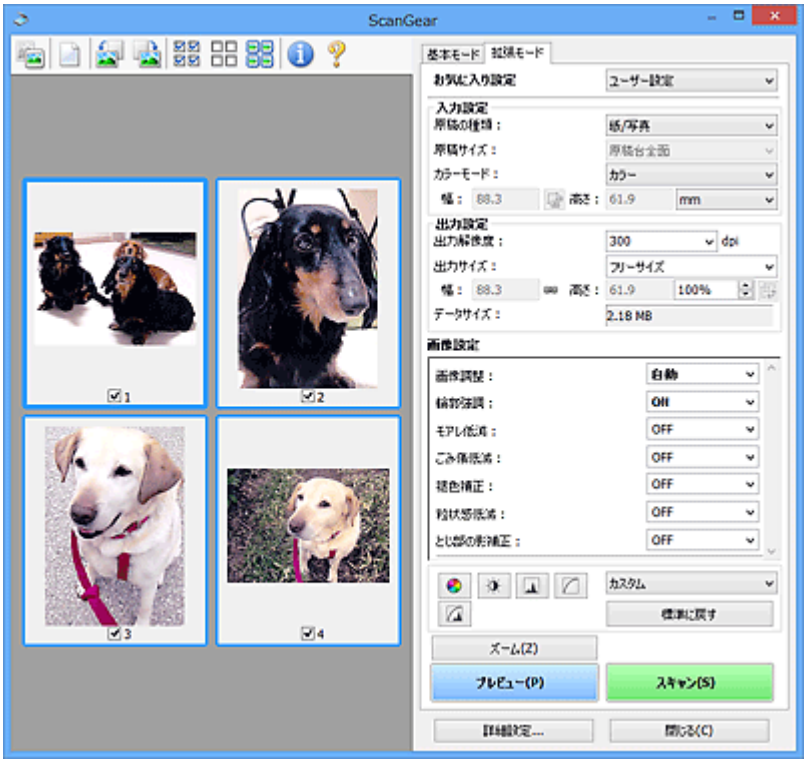
クロップ枠で指定した範囲の画像を再度スキャンして拡大表示します。

参考

- ［ズーム］で拡大すると、原稿からプレビューし直すので、高解像度のプレビュー画像が表示できます。
- ツールバーの  （拡大／縮小）で拡大すると、すでにプレビューされた画像をそのまま拡大するので、すぐに拡大画像が表示できます。ただし、表示される画像の解像度は粗くなります。

［プレビュー］

試しで原稿をスキャンします。



[スキャン]

スキャンを開始します。

参考

- スキャンを開始すると進行状況が表示されます。スキャンを中止したいときは、[キャンセル]をクリックします。
- スキャンが終了すると、「スキャンが終了しました」のメッセージ（動作選択画面）が表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。詳しくは、[詳細設定]ダイアログボックスにある[スキャン]シートの[スキャン終了後の ScanGear の画面]を参照してください。
- スキャンする画像の合計が一定の大きさを超える場合、スキャンすると画像処理に時間がかかります。注意を促すメッセージが表示されるので、画像のサイズを小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

[詳細設定...]

[詳細設定]ダイアログボックスが表示され、スキャンやプレビュー時の動作などが設定できます。

[閉じる]

ScanGear（スキャナードライバー）を閉じます。

（2）ツールバー

プレビューした画像を調整したり、回転したりすることができます。ツールバーに表示されるボタンは、表示方法によって異なります。

サムネイル表示の場合：



全体表示の場合：



 **（サムネイル）／**  **（全体表示）**

プレビュー領域の表示方法を切り替えます。

➡ (3) プレビュー領域

 **（プレビュー画像クリア）**

プレビュー領域からプレビュー画像を消去します。

また、ツールバーの設定、色調整の設定がリセットされます。

 **（クロップ）**

スキャン範囲をマウスでドラッグして指定することができます。

 （画像移動）

プレビュー領域に拡大した画像が画面に入りきらないとき、見たい部分が表示されるように画像をドラッグします。スクロールバーでも同じように移動できます。

 **（拡大／縮小）**

プレビュー領域を拡大するときは、画像上でクリックします。縮小するときは、画像上で右クリックします。

 **（左回転）**

プレビュー領域の画像が左に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

 **（右回転）**

プレビュー領域の画像が右に 90 度回転します。

- 実際のスキャン時にも変更結果が反映されます。
- 変更後、プレビューすると元の状態に戻ります。

 **（オートクロップ）**

プレビュー領域に表示された原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠が表示されます。クロップ枠内にさらにクロップできる領域がある場合、クリックするたびに、クロップ枠がだんだん狭くなります。

 **（全コマチェック）**

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークを付けます。

 **（全コマチェック解除）**

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像にチェックマークが付いている場合は、解除します。

 **（全コマ選択）**

2 コマ以上表示されているときに使用できます。

サムネイル表示された画像を、選択状態（周りが青い枠で囲まれた状態）にします。

（全クロップ枠選択）

クロップ枠が 2 つ以上指定されているときに使用できます。

クロップ枠が太い点線になり、設定がすべてに反映されます。

（クロップ枠削除）

選択されているクロップ枠を削除します。

（情報）

ScanGear のバージョンや原稿の種類などスキャンするときの詳細な設定が表示されます。

（操作説明表示）

このページが表示されます。

（3）プレビュー領域

[プレビュー] をクリックしたときに、試しでスキャンされた画像を表示します。「（1）設定項目と操作ボタン」で設定した内容（画像の補正や色調整など）を確認することもできます。

ツールバーのアイコンが （サムネイル）の場合：

原稿のサイズに合わせてクロップ枠を指定してスキャンし、サムネイル（縮小版）表示します。チェックボックスにチェックマークが付いている画像が読み込まれます。



参考

- 複数の画像をプレビューした場合、枠の種類によって選択状態が異なります。
  - フォーカス枠（太い青枠）：設定項目の設定が反映されます。
  - 選択枠（細い青枠）：フォーカス枠と同じ設定が反映されます。Ctrl キーを押しながらコマをクリックすると、複数のコマを同時に選択することができます。
  - 非選択（枠なし）：設定が反映されません。

ツールバーのアイコンが （全体表示）の場合：

原稿台全面をスキャンし、表示します。クロップ枠で指定された範囲をすべてスキャンします。



参考

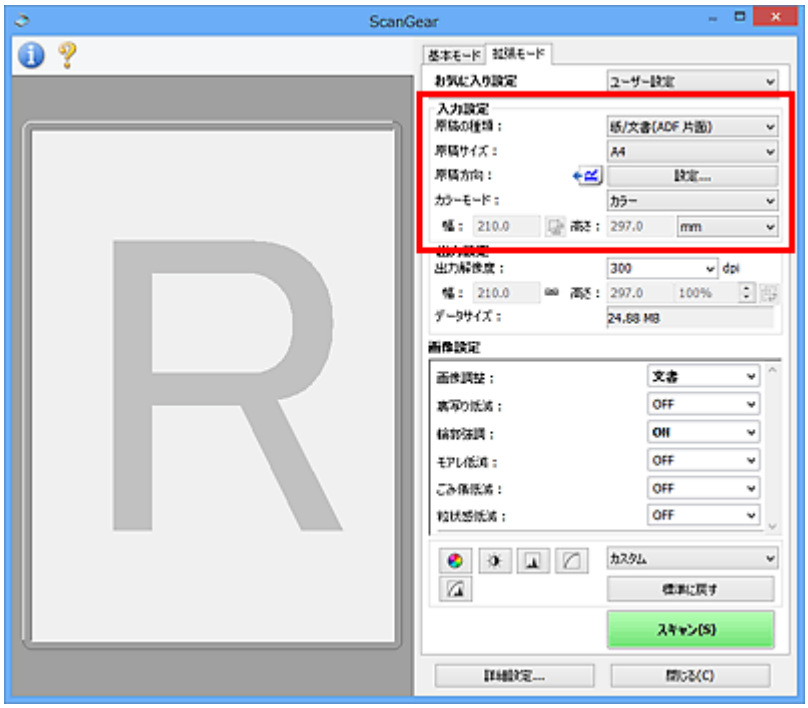
- 表示された画像に対してクロップ枠を作成できます。サムネイル表示の場合、作成できるクロップ枠は 1 コマにつき 1 個です。全体表示の場合、複数のクロップ枠を作成することができます。

  クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

関連項目

- 「拡張モード」でスキャンする
- 「拡張モード」で ADF（自動原稿給紙装置）から複数の原稿をスキャンする

[入力設定]



[入力設定]では、次の項目を設定できます。

[原稿の種類]

スキャンする原稿の種類が表示されます。原稿台からスキャンする場合は[紙/写真]を、ADF（自動原稿給紙装置）からスキャンする場合は[紙/文書(ADF 片面)]または[紙/文書(ADF 両面)]を選びます。

重要

- アプリケーションソフトによっては、ADF からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

参考

- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、[紙/文書(ADF 両面)]が選択できます。

[原稿サイズ]

スキャンする原稿のサイズを選びます。全体表示のときのみ選ぶことができます。

原稿サイズを選ぶと、選んだ原稿サイズに合わせてプレビュー領域の大きさが変わります。

重要

- アプリケーションソフトによっては、受け取れるスキャンデータの容量に制限があります。スキャン可能な範囲は以下のとおりです。
  - 21000 pixels x 30000 pixels 以下
- プレビュー後に[原稿サイズ]を変更すると、プレビュー画像が消去されます。

参考

- [原稿サイズ]からどの項目を選択すればよいかわからない場合は、[原稿サイズ]を[原稿台全面]に設定し、実際の原稿のサイズをはかり、[幅]と[高さ]を入力してください。

[原稿方向]

ADF からスキャンするときの原稿の向きや、とじ方向を設定します。

［設定...］をクリックすると、［原稿方向設定］ダイアログボックスが表示されます。



重要

- ［原稿の種類］が［紙/文書(ADF 片面)］または［紙/文書(ADF 両面)］のときのみ、［原稿方向設定］ダイアログボックスを表示できます。
- ADF 両面スキャンに対応している機種をご使用の場合は、［とじ方向］が表示されます。
- ［原稿の種類］で［紙/文書(ADF 片面)］を選んだ場合は、［とじ方向］を設定できません。

［カラーモード］

原稿の種類により、どのようにスキャンするかを選びます。

［カラー］

カラー原稿などのスキャンやカラー画像が必要なときに選びます。画像を R、G、B 各色 256 段階（8 ビット）で表現します。

［グレースケール］

白黒写真などのスキャンやモノクロ画像が必要なときに選びます。画像を白黒 256 段階（8 ビット）で表現します。

［白黒］

写真や文書を白黒でスキャンするときに選びます。画像を白と黒の 2 色で表現します。画像の明暗をあるレベル（2 階調化するしきい値）で白と黒に分割し、2 色で表現します。2 階調化するしきい値は  （白黒設定）で設定します。

入力サイズ

サムネイル表示の場合、プレビュー後にクロップした原稿のサイズが表示されます。

全体表示の場合、プレビュー前には［原稿サイズ］が、プレビュー後にはクロップ枠（スキャンする範囲）のサイズが表示されます。

［幅］と［高さ］に数値を入れ、クロップ枠の大きさを厳密に設定することもできます。

 （縦横比解除）をクリックして  （縦横比固定）に変えると、クロップ枠の大きさを数値で指定するとき、幅と高さの比率が保たれます。

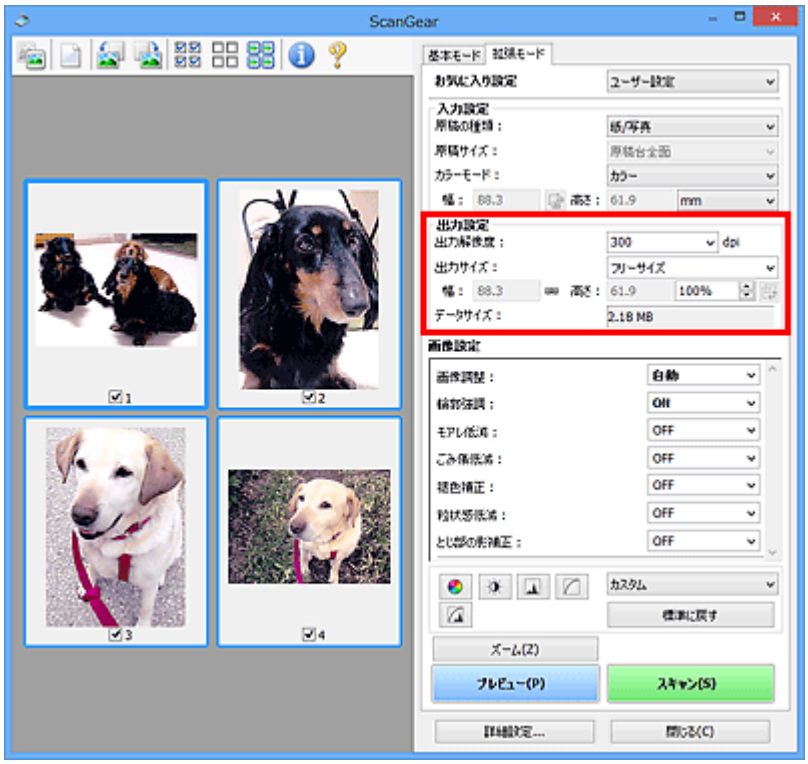
重要

- 入力サイズの表示や設定は、［出力設定］の［出力サイズ］が［フリーサイズ］の場合にしか行えません。［フリーサイズ］以外を選ぶと、［出力サイズ］と［出力解像度］から算出されたクロップ枠が表示され、この枠の縦横の比率は固定されます。

参考

- 入力できる数値は、選択されている原稿サイズの範囲内です。ただし、最小選択範囲は、［出力解像度］が 600 dpi、拡大／縮小率が 100 %に設定されている状態で、96 pixels x 96 pixels です。
- 全体表示の場合、オートクロップを実行すると、選択範囲のサイズを優先するため、縦横比の固定は無効になります。
- クロップ枠の詳細については、「クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）」を参照してください。

[出力設定]



[出力設定]では、次の項目を設定できます。

[出力解像度]

スキャンする画像の解像度を選びます。

解像度を高く（数字を大きく）するほど、きめ細かい画像になります。

クリックして表示される選択肢から選ぶか、数値（1 dpi 単位）を入力します。

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「解像度について」を参照してください。

[原稿の種類]が[紙/写真]の場合：

25 dpi～19200 dpi の範囲の数値を入力できます。

[原稿の種類]が[紙/文書(ADF 片面)]または[紙/文書(ADF 両面)]の場合：

25 dpi～600 dpi の範囲の数値を入力できます。

[出力サイズ]

スキャンする画像の出力サイズを選びます。

選択項目は、幅や高さ、倍率を自由に指定できる[フリーサイズ]と、印刷目的の項目、画面表示目的の項目に分かれています。また、[追加/削除...]を選ぶと、用途や幅、高さを自由に設定し、その設定を新しい選択項目として登録できます。

[フリーサイズ]

出力解像度や倍率を設定でき、クロップ枠（スキャンする範囲）も自由に変更できます。

サムネイル表示の場合：

サムネイルの中でマウスをドラッグすると、クロップ枠が表示されます。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。クロップ枠が表示されていないときは、1 コマずつサムネイル全体をスキャンします。

全体表示の場合：

クロップ枠が表示されていないときは、プレビュー領域全体をスキャンします。クロップ枠が表示されているときは、クロップ枠の範囲をスキャンします。

参考

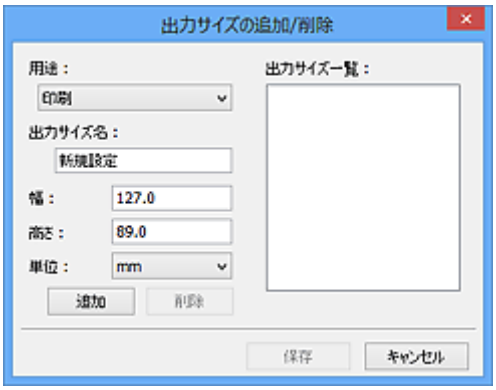
- スキャンした画像を拡大／縮小するには、[出力設定]の[幅]と[高さ]に数値を入力するか、[%]に1 %単位で指定します。[%]に指定できる最大値は[出力解像度]によって異なりますが、出力解像度の設定可能最大値19200 dpiまで設定可能です。

用紙のサイズ（L判、A4など）、モニターのサイズ（1024 x 768 pixelsなど）

[幅]、[高さ]、倍率は指定できません。選択した出力サイズと出力解像度に応じて、プレビュー画像が自動的にクロップされます。クロップ枠の範囲を、選択した用紙サイズ／モニターサイズと同じ大きさになるように、自動的に拡大／縮小して読み込みます。クロップ枠は縦横比が保たれたままドラッグして拡大／縮小、移動することができます。

[追加/削除...]

[出力サイズの追加/削除]ダイアログボックスが表示され、任意の出力サイズを設定することができます。



[出力サイズの追加/削除]ダイアログボックスでは、複数の出力サイズを設定し、一度に保存することができます。保存した出力サイズは、[出力サイズ]の選択項目に登録され、既存の項目と同様に選択できます。

追加する場合：

[用途]を[印刷]、[画面表示]から選び、[出力サイズ名]、[幅]、[高さ]を入力し、[追加]をクリックします。[単位]は、[用途]が[印刷]のときは[mm]または[inches]、[画面表示]のときは[pixels]のみとなります。追加した出力サイズは[出力サイズ一覧]に表示されます。[保存]をクリックして、[出力サイズ一覧]に表示されている出力サイズを登録します。

削除する場合：

[出力サイズ一覧]で削除したい出力サイズを選び、[削除]をクリックします。[保存]をクリックして、[出力サイズ一覧]に表示されている出力サイズを登録します。

重要

- [A4]、[1024 x 768 pixels]など、はじめから用意されている出力サイズを削除することはできません。

参考

- 各用途に最大10個まで設定を保存できます。
- 設定範囲外の数値を入力すると、エラーメッセージが表示されます。表示される範囲内の数値を入力してください。

参考

- クロップ枠の詳細については、「クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）」を参照してください。
- プレビュー直後のクロップ枠の表示については、[詳細設定]ダイアログボックスにある「[プレビュー]シート」の［プレビュー後のクロップ枠の設定］を参照してください。



（縦横比切り替え）

［出力サイズ］が、［フリーサイズ］以外のときに使用できる機能です。

このボタンをクリックすると、クロップ枠の縦横比を切り替えます。もう一度クリックすると元に戻ります。

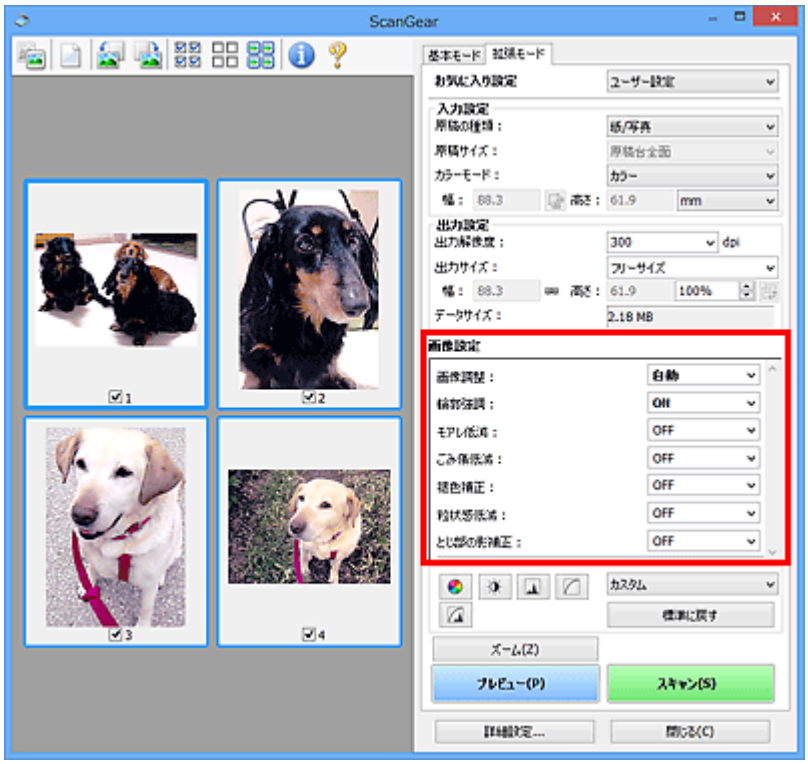
[データサイズ]

現在の設定でスキャンした場合のデータサイズが表示されます。

参考

- データサイズが一定の大きさを超えると、文字が赤く表示されます。このときに［スキャン］をクリックすると、警告メッセージが表示されます。各設定を変更し、［データサイズ］を小さくすることをお勧めします。スキャンを続ける場合は全体表示でスキャンしてください。

[画像設定]



重要

- モアレ、ごみ傷、色褪せなどが発生していない原稿に対して、これらの機能を使用しないでください。色あいがおかしくなることがあります。
- 画像補正の処理結果は、プレビュー画面では確認できない場合があります。

参考

- [カラーモード]の設定によっては、設定できる機能が異なります。
- [画像設定]をするとスキャンの時間が通常よりも長くなる場合があります。

[画像設定]では、次の項目を設定できます。

[画像調整]

画像調整を設定すると、指定した範囲の画像の明るさが最適な状態になるように調整されます。原稿の種類を自動で判別して調整したり、原稿の種類を指定して調整したりすることもできます。調整の結果は画像全体に反映されます。

[OFF]

画像調整を行いません。

[自動]

原稿の種類を自動で判別し、画像調整を行います。通常は、この設定をお勧めします。

[写真]

写真に合った画像調整を行います。

[雑誌]

雑誌に合った画像調整を行います。

[文書]

文書に合った画像調整を行います。

重要

- ［画像調整］はプレビュー後に設定できます。
- ［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［推奨］が選ばれているときに、設定できます。

参考

- ［自動］で適切に画像調整されなかった場合、原稿の種類を指定してください。
- 画像調整によって、元の色あいと変わってしまうことがあります。その場合は、［画像調整］を［OFF］にしてください。

［裏写り低減］

原稿をスキャンするときに、両面原稿の裏写り、再生紙などの下地の色を低減します。

［OFF］

裏写り低減を行いません。

［ON］

両面原稿の裏写りや、下地の色を低減します。通常は、この設定をお勧めします。

重要

- ［裏写り低減］は［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［推奨］が選ばれており、かつ、［画像調整］で［文書］、［雑誌］が選ばれているときに設定できます。

［輪郭強調］

写真をスキャンするときに、画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。

［OFF］

輪郭強調を行いません。

［ON］

画像の輪郭を強調し、シャープな印象の画像にします。通常は、この設定をお勧めします。

［モアレ低減］

印刷された写真や絵は、細かい点の集まりで表現されています。「モアレ」とは、この細かい点で印刷された写真や絵をスキャンしたときに、濃淡のむらや縞模様が出る現象です。［モアレ低減］は、このモアレを少なくする機能です。

［OFF］

モアレ低減を行いません。

［ON］

モアレを低減します。通常は、この設定をお勧めします。

参考

- ［モアレ低減］が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は、［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

［ごみ傷低減］

写真をスキャンすると、ごみや傷が原因で白い点が出ることがあります。このごみや傷をできるだけ少なくします。

［OFF］

ごみ傷低減を行いません。

［弱］

小さなごみや傷を減らします。大きいごみや傷は残ることがあります。

[標準]

通常は、この設定をお勧めします。

[強]

大きいごみや傷を減らすことができますが、処理をした跡が残ったり、画像の微妙な部分を消去してしまったりすることがあります。

重要

- 写真の種類によっては、この機能を使わないほうがよい場合があります。

参考

- 印刷物をスキャンするときは、[OFF]をお勧めします。

[褪色補正]

経年変化などで褪色したり、色かぶりしたりした写真を色補正してスキャンします。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

[OFF]

褪色補正を行いません。

[弱]

わずかに褪色または色かぶりしたときに指定します。

[標準]

通常は、この設定をお勧めします。

[強]

かなり強く褪色または色かぶりしたときに指定します。画像の色あいに影響を与える場合があります。

重要

- [褪色補正]はプレビュー後に設定できます。
- [詳細設定]ダイアログボックスの[色の設定]シートで[推奨]が選ばれているときに、設定できます。
- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

[粒状感低減]

高感度フィルムや増感撮影したフィルムから作成された写真で感じられる粒状感（ざらつき）を低減します。

[OFF]

粒状感低減を行いません。

[弱]

わずかに粒状感の目立つ写真のときに指定します。

[標準]

通常は、この設定をお勧めします。

[強]

かなり強く粒状感の目立つ写真のときに指定します。画像の階調性やシャープネスに影響を与える場合があります。

重要

- スキャンする範囲が小さすぎると、正しく補正できない場合があります。

［とじ部の影補正］

冊子などを開いた状態でスキャンする際に生じる、とじ部の影を補正してスキャンします。

プレビュー画像を表示したあと［とじ部の影補正］の設定をすると、結果がプレビュー画像に反映されます。原稿の種類や原稿の押さえかたなどによって補正結果が違ってきますので、プレビューで効果を確認したあとスキャンしてください。

とじ部の浮きによる文字や線画のボケ、にじみなどは補正されません。

［OFF］

とじ部の影補正を行いません。

［弱］

標準設定では補正が強すぎる場合に指定します。

［標準］

通常は、この設定をお勧めします。

［強］

標準設定では補正が弱すぎる場合に指定します。

重要

- ［とじ部の影補正］はプレビュー後に設定できます。
- 原稿台に 2 kg 以上の物をのせないでください。また、原稿を強く（2 kg を超える力で）押さえたり、重みをかけたりしないでください。強く押さえすぎると、スキャナーが正しく動作しなくなったり、ガラスが破損したりするなどの危険があります。
- 原稿が傾かないように原稿台の端に合わせてセットしてください。斜めに置くと、正しく補正されません。



- 原稿によっては、正しく補正できない場合があります。下地が白色以外の原稿では、影の位置を検知できなかったり、誤って検知したりする場合があります。
- 読み込み中は背表紙中央部分をプレビュー時と同じ力加減で押さえてください。とじ部が均等になるように置かないと、正しく補正されません。





- 原稿のセット方法は、ご使用の機種やスキャンする原稿によって異なります。

参考

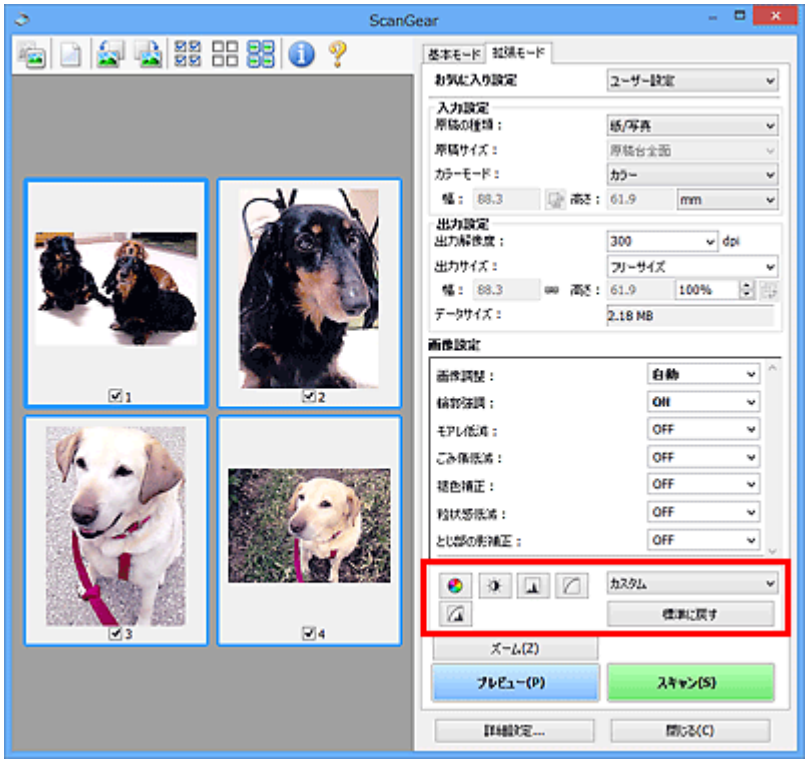
- 原稿と原稿台の間に外の光が入って画像が白く欠けたり、筋状や色のついた模様が現れたりするときは、原稿の上から黒い布などで覆ってください。

- 適切に補正が行われない場合は、プレビュー画像上のクロップ枠（スキャンする範囲）を微調整してください。

  ➡ クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

色調整ボタン

色調整ボタンでは、画像全体の明るさや画像の明暗差（コントラスト）の調整、画像のハイライトとシャドウの指定や明暗のバランスの補正（ヒストグラム、トーンカーブ）など、画像の明るさや色あいにかかわる詳細な設定ができます。



重要

- ［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［カラーマッチング］を選択しているときは、色調整ボタンは使用できません。

参考

- ［カラーモード］の設定によっては、設定できる機能が異なります。
- 色調整ボタンで画像を調整すると、その結果はすぐにプレビュー画像に反映されます。

色調整ボタンをクリックして、次の項目を設定します。



（彩度・カラーバランス）

画像の彩度（色の鮮やかさ）や、色あいを調整します。色かぶりや褪色により損なわれた色彩を、鮮やかにしたいときに調整します。「色かぶり」とは、天候や周囲の強い色などで、ある特定の色が写真全体に影響を与えてしまう現象です。

➡ 彩度・カラーバランスの調整のしかた



（明るさ・コントラスト）

画像の明るさや明暗度（コントラスト）を調整します。画像が暗すぎたり、明るすぎたり、明暗差が少なくフラットな画質のときに調整します。

➡ 明るさ・コントラストの調整のしかた



（ヒストグラム）

どの明るさのレベルにどれだけのデータが集中しているかを見るのがヒストグラムです。画像の中のもっとも明るいレベル（ハイライト）ともっとも暗いレベル（シャドウ）を指定して、それらをカットし、中間の階調に広がりを持たせたいときに使います。

➡ ヒストグラムの調整のしかた



（トーンカーブ調整）

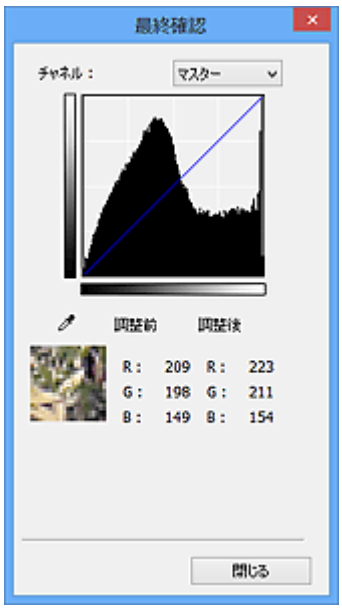
明暗の入力と出力のバランスを示したグラフ（トーンカーブ）の種類を選び、画像の明るさを調整します。特定の領域の明るさを、きめ細かく調整することができます。

➡ トーンカーブの調整のしかた



（最終確認）

色調整の最終確認をします。最終の合成トーンカーブと、そのあとの画像処理で得られるヒストグラムが表示されます。この画面では設定する項目はありません。



- カラー画像のときは、［チャネル］で、［レッド］、［グリーン］、［ブルー］のいずれかの色の要素だけを選び確認するか、［マスター］を選び 3 つの色の要素をまとめて確認するかを選びます。
- プレビュー画像上にカーソルを置くと、その位置の拡大表示と画像の調整前後の RGB 値（［カラーモード］が［グレースケール］のときは L 値のみ）が表示されます。



（白黒設定）

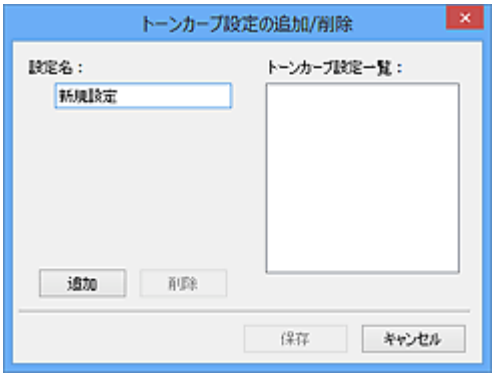
白と黒を 2 階調化するしきい値の設定を行います。しきい値を調節すると、原稿の文字をくっきりさせたり、新聞などの裏写りを軽減させたりすることができます。

➡ 白黒設定のしかた

［カスタム］

色調整ボタンのトーンカーブ／白黒設定の設定内容に名前を付けて保存することができます。

プルダウンメニューから［追加/削除...］を選ぶと、［カラーモード］が［白黒］以外のときは［トーンカーブ設定の追加/削除］ダイアログボックス、［カラーモード］が［白黒］のときは［しきい値設定の追加/削除］ダイアログボックスが表示されます。



［設定名］を入力し［追加］をクリックすると、［トーンカーブ設定一覧］／［しきい値設定一覧］に設定名が表示されます。［保存］をクリックして、登録します。

設定を削除するには、［トーンカーブ設定一覧］／［しきい値設定一覧］で削除したい設定名を選び、［削除］をクリックします。［保存］をクリックして、［トーンカーブ設定一覧］／［しきい値設定一覧］に表示されている設定を保存します。

登録済みのトーンカーブ／白黒設定を呼び出して、プレビュー画像に反映させることもできます。呼び出すときは、プルダウンメニューから登録した設定名を選びます。

参考

- 最大 20 個まで設定を保存できます。

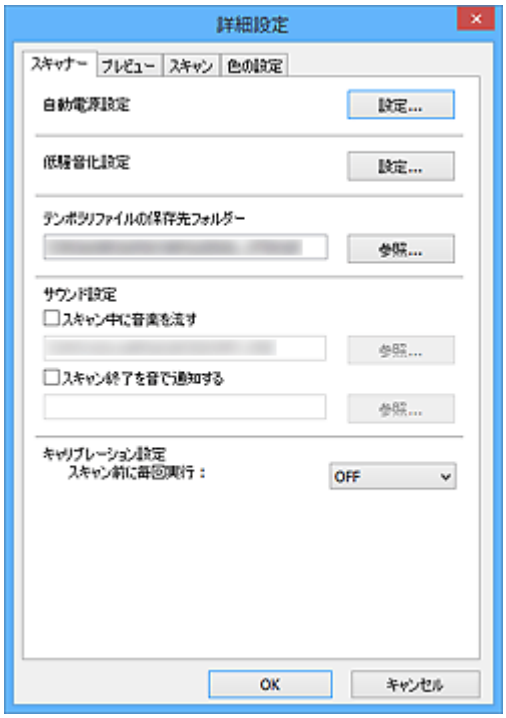
［標準に戻す］

彩度・カラーバランス、明るさ・コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブ、すべての調整が初期状態に戻ります。

［詳細設定］ダイアログボックス

［詳細設定］ダイアログボックスでは、［スキャナー］、［プレビュー］、［スキャン］、［色の設定］の４つのシートで、ScanGear（スキャナードライバー）の機能についての詳細な設定をすることができます。

ScanGear の画面にある［詳細設定...］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。



［スキャナー］シート

自動電源設定や画像を一時的に保存するフォルダーの指定、スキャン中またはスキャン終了時の音楽を設定することができます。

［プレビュー］シート

ScanGear を起動したときのプレビューの動作や、プレビューしたときのクロップの動作、原稿の読み込み時に表示されるサムネイルの切り出しサイズを設定することができます。

［スキャン］シート

スキャン終了後の ScanGear の動作を設定することができます。

［色の設定］シート

色の調整方法の指定や、モニターガンマ値を設定することができます。

［スキャナー］シート

［スキャナー］シートでは、次の設定ができます。

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによって、使用できる機能や設定できる項目は異なります。



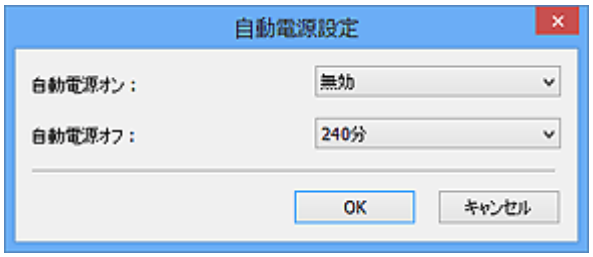
［自動電源設定］

本製品の電源を自動的にオンにしたりオフにしたりすることができます。

［設定...］をクリックすると、［自動電源設定］ダイアログボックスが表示されます。

参考

- 本製品の電源が入っていなかったり、双方向通信をしない設定になっていたりすると、パソコンは本製品の情報を取得できず、メッセージが表示されることがあります。この場合、［OK］をクリックすると、ScanGear（スキャナードライバー）が終了します。



［自動電源オン］

［有効］を選ぶと、データが送られてきた場合に、本製品の電源が自動で入るようになります。

［自動電源オフ］

一覧から設定したい時間を指定します。データが送られてこない状態がその時間だけ続くと、本製品の電源が切れるようになります。

重要

- ネットワークに接続している場合、ご使用の機種によっては、［自動電源オフ］を設定しても、自動的に電源は切れません。

ご使用の機種が自動電源オフ機能に対応しているか確認したいときは、「機種別機能一覧（自動電源オフ）」を参照してください。

[低騒音化設定]

本製品の動作音を抑えることができます。夜間にスキャンや印刷をする場合など、動作音が気になるときに使用してください。

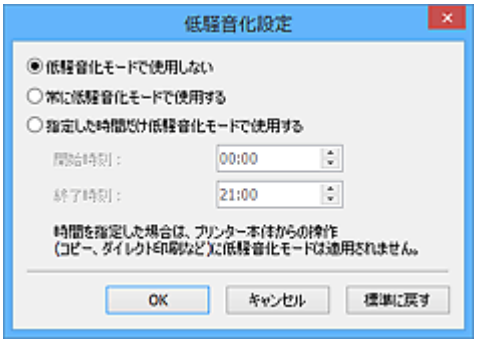
[設定...] をクリックして、低騒音化モードの設定を行います。

重要

- お使いの機種によっては、表示される機能名称が異なる場合があります。

参考

- 低騒音化モードは、本製品の操作パネルやプリンタードライバー、ScanGear から設定することができます。
  いずれの方法で設定した場合でも、本製品の操作パネルからの操作や、パソコンからの印刷・スキャンを行うときなどに適用されます。
- この機能を使用すると、スキャンや印刷の時間が通常よりも長くなる場合があります。



[低騒音化モードで使用しない]

本製品の動作音を通常の状態で使用するときに選びます。

[常に低騒音化モードで使用する]

本製品の動作音を抑えるときに選びます。

[指定した時間だけ低騒音化モードで使用する]

特定の時間帯だけ本製品の動作音を抑えるときに選びます。

低騒音化モードを使用する［開始時刻］と［終了時刻］を設定してください。

重要

- ［開始時刻］と［終了時刻］が同じ場合は、設定されません。
- ご使用のスキャナーまたはプリンターがファクス機能に対応していない場合は、時間を設定しても本製品からの操作（コピー・ダイレクト印刷など）に低騒音化モードは適用されません。

[テンポラリファイルの保存先フォルダー]

画像を一時的に保存するフォルダーを表示します。［参照...］をクリックして、保存先のフォルダーを指定します。

[サウンド設定]

スキャン中やスキャン終了時に音楽を流すことができます。

［スキャン中に音楽を流す］や［スキャン終了を音で通知する］にチェックマークを付け、［参照...］をクリックして、サウンドファイルを指定します。

次のファイルを指定できます。

- MIDI ファイル（*.mid、*.rmi、*.midi）
- オーディオファイル（*.wav、*.aif、*.aiff）
- MP3 ファイル（*.mp3）

［キャリブレーション設定］

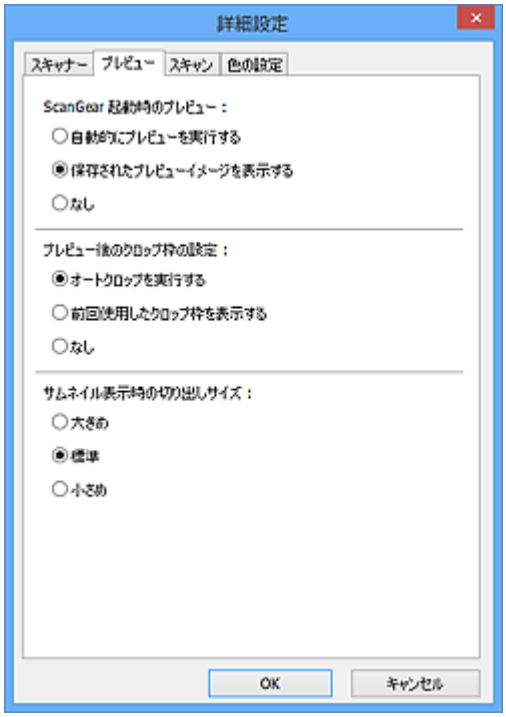
［スキャン前に毎回実行］を［ON］にすると、プレビューとスキャンの前に毎回キャリブレーションを実行し、スキャンした画像が正しい色あいになるように調整します。

参考

- ［スキャン前に毎回実行］を［OFF］にしていた場合でも、電源を入れた直後など、キャリブレーションが自動で行われる場合があります。
- ご使用のパソコンによっては、キャリブレーションに時間がかかる場合があります。

[プレビュー] シート

[プレビュー] シートでは、次の設定ができます。



[ScanGear 起動時のプレビュー]

ScanGear（スキャナードライバー）を起動したときのプレビューの動作を選びます。

[自動的にプレビューを実行する]

ScanGear が起動すると、自動的にプレビューを開始します。

[保存されたプレビューイメージを表示する]

前回プレビューしたときの画像を表示します。

色調整ボタンの設定項目、ツールバーの設定や［拡張モード］シートの設定も保存されます。

[なし]

起動時はプレビュー画像を表示しません。

参考

- プレビュー画像を保存したくない場合は、［なし］を選択してください。

[プレビュー後のクロップ枠の設定]

プレビューしたあとのクロップの動作を選びます。

[オートクロップを実行する]

プレビュー後、自動的に原稿サイズに合わせてクロップ枠（スキャンする範囲）を表示します。

[前回使用したクロップ枠を表示する]

プレビュー後、前回使用したクロップ枠と同じサイズのクロップ枠を表示します。

[なし]

プレビュー後、クロップ枠を表示しません。

[サムネイル表示時の切り出しサイズ]

原稿の読み込み時に表示されるサムネイルの切り出しサイズを選びます。

[大きめ]

標準サイズを基準に、幅・高さともに 105 %の範囲を表示します。

[標準]

基本の大きさです。

[小さめ]

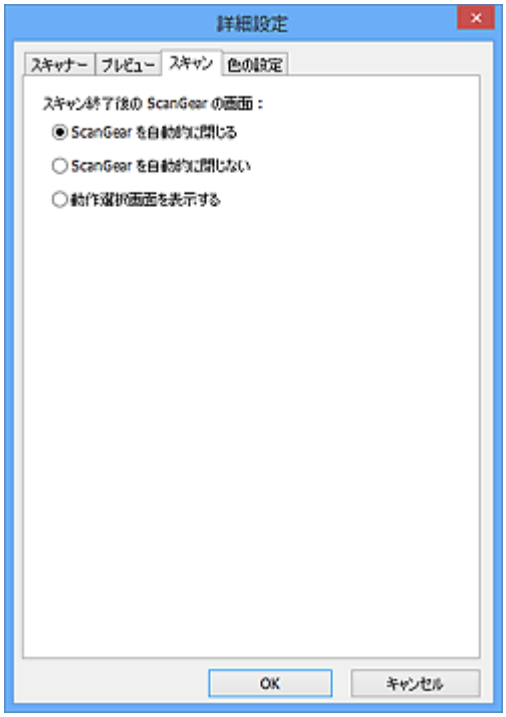
標準サイズを基準に、幅・高さともに 95 %の範囲を表示します。

参考

- [サムネイル表示時の切り出しサイズ]を変更した場合、切り出しサイズに合わせて、再度プレビュー画像の切り出しを行います。その際、プレビュー画像に対して行った色調整などの設定はすべてリセットされます。

［スキャン］シート

［スキャン］シートでは、次の設定ができます。



［スキャン終了後の ScanGear の画面］

スキャン終了後の動作を選びます。

［ScanGear を自動的に閉じる］

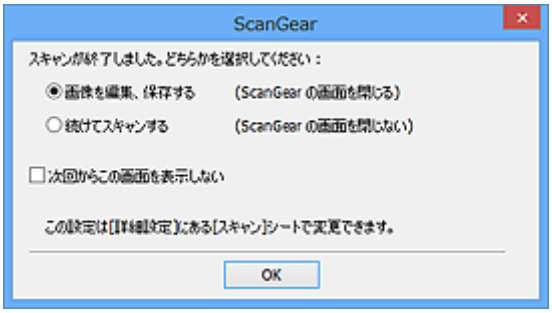
スキャン終了後、ScanGear（スキャナードライバー）の画面を閉じ、起動したアプリケーションソフトに戻ります。

［ScanGear を自動的に閉じない］

スキャン終了後、ScanGear の画面に戻り、続けてスキャンすることができます。

［動作選択画面を表示する］

スキャン終了後、動作選択画面が表示されます。

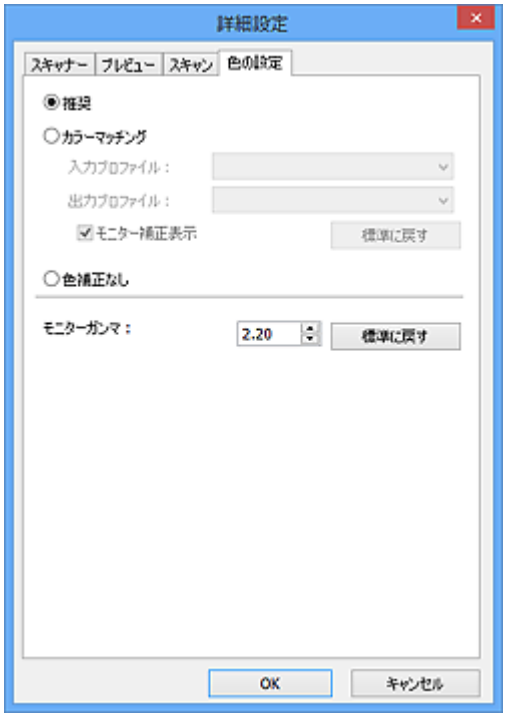


参考

- ［ScanGear を自動的に閉じない］、［動作選択画面を表示する］を設定しても、アプリケーションソフトによっては動作しない場合があります。

［色の設定］シート

［色の設定］シートでは、次の設定ができます。



色の調整方法

次のうち、いずれかを選びます。

［推奨］

原稿の色あいを、画面上で鮮やかに再現します。通常は、この設定をお勧めします。

［カラーマッチング］

スキャナー、モニター、カラープリンター間の色調が合うように自動調整し、モニターやプリンターの色合わせなどの手間を軽減します。

［入力プロファイル］

スキャナープロファイルを選びます。

［出力プロファイル］

ターゲットプロファイルを選びます。

［モニター補正表示］

モニターに最適な補正を行ったプレビュー画像を表示します。

［標準に戻す］

［カラーマッチング］の設定を初期値に戻します。

参考

- ［カラーマッチング］を選択しているときは、［拡張モード］シートの色調整ボタンは使用できません。
- ［カラーモード］が［カラー］のときに有効です。

［色補正なし］

ScanGear（スキャナードライバー）が行っている色補正を行いません。

参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターによっては ADF（自動原稿給紙装置）からスキャンするときに設定できない場合があります。
- ［カラーモード］が［カラー］または［グレースケール］のときに選択できます。
- カラーマッチングは、ScanGear、モニター、Adobe Photoshop などのカラーマネジメント対応のアプリケーションソフト、プリンターが正しく設定されている場合に使用できます。

  モニターやプリンターの設定、アプリケーションソフトの設定方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

［モニターガンマ］

モニターのガンマ値を設定することで、そのモニターの特性に合った明るさに調整します。ガンマ値が ScanGear の初期値でないモニターを使用していて、元の画像の色調と、モニターに表示された画像の色調が違う場合に設定します。

［標準に戻す］をクリックすると、モニターガンマを初期値（2.20）に戻します。

参考

- ご使用のモニターのガンマ値については、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。記載されていない場合は、製造メーカーの相談窓口などにお問い合わせください。

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台および ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

- 原稿台カバーの上に物をのせないでください。原稿台カバーを開いた際、物がご使用のスキャナーまたはプリンターの内部に落ち、故障の原因となることがあります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。
- 原稿台カバーを開閉するときに、操作パネルのボタンや液晶モニターには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。

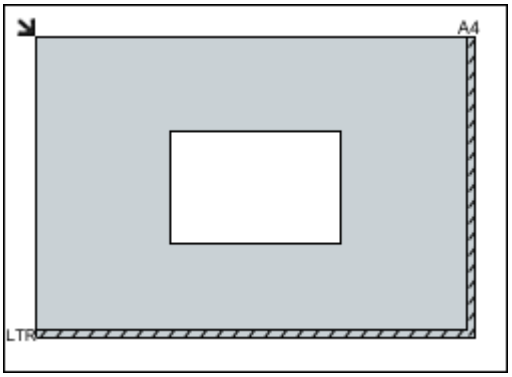
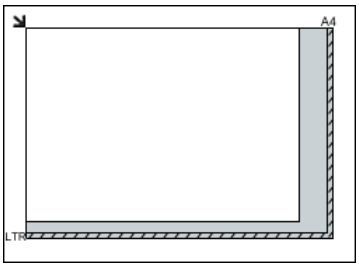
- 原稿のセットのしかた（原稿台）
- 原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

原稿のセットのしかた（原稿台）

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

重要

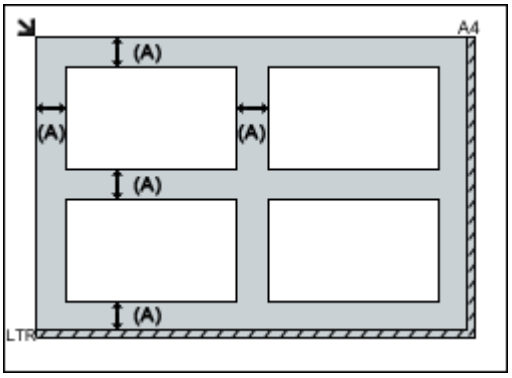
- IJ Scan Utility または ScanGear（スキャナードライバー）で原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。

写真、はがき、名刺、BD／DVD／CD の場合	雑誌、新聞、文書の場合
 **原稿が 1 枚の場合：** 原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  **重要** • A4 サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDF ファイルで保存されることが	 原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせ、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  **重要** • 原稿を読み取ることができない範囲について、詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「原稿をセットする」を参照してください。

あります。PDF 以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。

原稿が複数の場合：

原稿が 2 枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 inch）以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



(A) 1 cm（0.4 inch）以上

参考

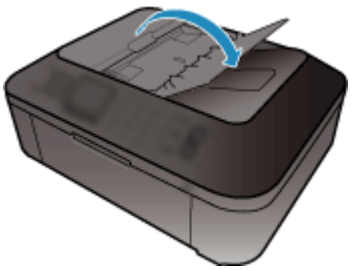
- 原稿は 12 枚まで置くことができます。
- IJ Scan Utility のスキャン設定ダイアログボックスで、[転送時にスキャン画像を圧縮する] にチェックマークを付けた場合、原稿は 4 枚まで置くことができます。
- ネットワーク接続でご使用の場合、5 枚以上の原稿を正しくスキャンできない場合があります。その場合は、原稿台にセットする原稿の枚数を 4 枚以下に減らし、もう一度スキャンしてください。
- 原稿の傾きが 10 度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。

原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

重要

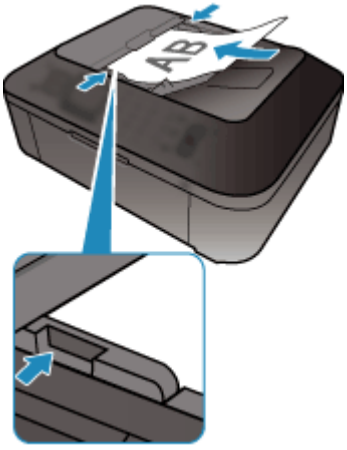
- ADF からスキャンするときは、原稿台に厚みのある原稿をセットしたままにしないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、同じサイズの原稿を揃えてセットしてください。
- ADF からスキャンできる原稿サイズについて、詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「セットできる原稿について」を参照してください。

1. 原稿トレイを開く



2. 原稿を ADF にセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

   原稿はスキャンする面を上向きにして、「ピッ」という音が鳴るまで差し込んでください。



参考

- 両面原稿をスキャンする場合は、原稿の表を上にしてセットしてください。表と裏を間違えてセットすると、正しいページ順でスキャンされません。

クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）

画像の必要な範囲だけを選び、スキャンするときに不要な部分を取り除くことを「クロップ」といいます。

［基本モード］シートや［拡張モード］シートでは、画面のプレビュー領域に表示された画像に対してクロップ枠（スキャンする範囲）を指定できます。

スキャンを実行すると、クロップ枠で指定された範囲ごとに画像が読み込まれます。

参考

- 全体表示のときは、プレビュー画像に複数のクロップ枠を指定できます。
- IJ Scan Utility（アイジェイ・スキャン・ユーティリティー）でクロップ枠を調整する方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[画像貼り合わせ］ウィンドウでクロップ枠を調整する」を参照してください。

クロップ枠の初期状態

サムネイル表示の場合：

クロップ枠は指定されていません。サムネイルをマウスでドラッグして、クロップ枠を指定することができます。

全体表示の場合：

プレビュー内の画像の周囲にアクティブなクロップ枠が自動で指定されています。プレビュー領域でクロップ枠をドラッグして、範囲を指定することもできます。

参考

- オートクロップ設定は［詳細設定］ダイアログボックスで変更できます。詳しくは、「[プレビュー］シート」の［プレビュー後のクロップ枠の設定］を参照してください。

クロップ枠の種類



（1）太いクロップ枠（回転／静止）

選択中のクロップ枠です。全体表示の場合にのみ表示されます。Ctrl キーを押しながらクロップ枠をクリックすると、複数の枠を選べます。選択中のすべてのクロップ枠に、［基本モード］シートや［拡張モード］シートでの出力サイズや画像の補正内容などが反映されます。

（2）細いクロップ枠

サムネイル表示の場合：

［基本モード］シートや［拡張モード］シートでの出力サイズや画像の補正内容などが反映されます。

全体表示の場合：

選択されていないクロップ枠です。［基本モード］シートや［拡張モード］シートでの設定は反映されません。

クロップ枠の調整

カーソルをクロップ枠上に合わせると、形状が  （矢印）に変わります。そのまま矢印の方向へマウスをドラッグすると、クロップ枠が拡大／縮小します。



カーソルをクロップ枠の内側に合わせると、形状が  （プラスの矢印）に変わります。そのままマウスをドラッグすると、クロップ枠全体が移動します。



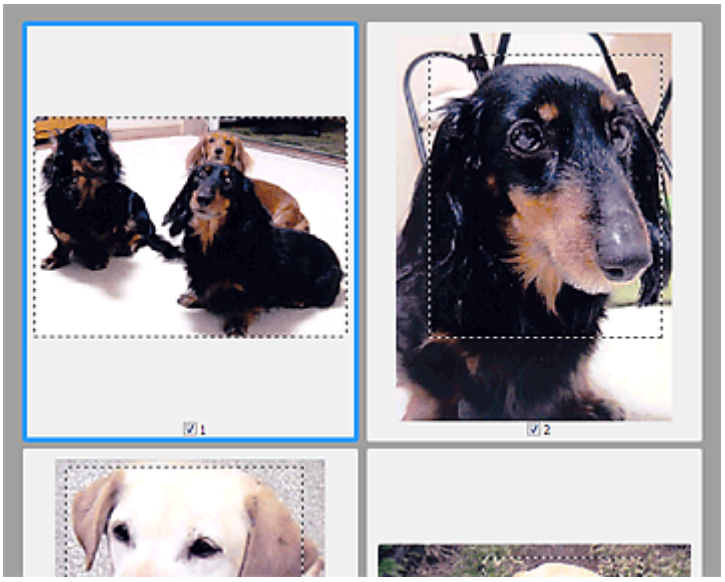
参考

- ［拡張モード］シートでは、［入力設定］の［幅］と［高さ］に数値を入れることで、クロップ枠の大きさを細かく指定することができます。
-  （縦横比切り替え）をクリックして、クロップ枠を 90 度回転させることもできます。ただし、［出力サイズ］が［フリーサイズ］のときは、  （縦横比切り替え）を使用できません。

複数のクロップ枠の作成

サムネイル表示の場合：

作成できるクロップ枠は、1 コマにつき 1 個です。



全体表示の場合：

プレビューエリアにクロップ枠がある状態で、すでにあるクロップ枠以外のスペースでドラッグすると、その範囲に新しくクロップ枠が作成されます。このとき新しく作成されたクロップ枠がアクティブなクロップ枠となり、それまでのアクティブなクロップ枠は、非選択クロップ枠となります。



複数のクロップ枠を作成しているときには、それぞれのクロップ枠に対して別々にスキャンの設定を行うことができます。

また、Ctrl キーを押しながらクロップ枠をクリックすると、複数のクロップ枠を同時に選択状態にすることができます。

複数のクロップ枠を選択しているときに、ScanGear の右側のシートで設定を変更すると、選択しているすべてのクロップ枠に対して、同じ設定を適用させることができます。

クロップ枠を新規に作成した場合は、作成する直前に設定したクロップ枠の設定が引き継がれます。

参考

- 作成できるクロップ枠の最大数は、12 個です。
- 複数のクロップ枠をスキャンした場合、スキャンの時間が長くなります。

クロップ枠の削除

サムネイル表示の場合：

クロップ枠を削除するには、同じコマの画像の中で、クロップ枠の外をクリックします。

全体表示の場合：

クロップ枠を削除するには、クロップ枠を選び、ツールバーの  （クロップ枠削除）をクリックします。また Delete キーを押しても削除できます。

クロップ枠を複数作成しているときは、選択状態にあるクロップ枠（アクティブなクロップ枠と、選択クロップ枠）が同時にすべて削除されます。

使用上の注意（スキャナードライバー）

本 ScanGear（スキャナードライバー）の使用およびスキャンに際しては、以下のような制限事項があります。ScanGear の使用にあたっては、あらかじめこれらの点に注意してください。

スキャナードライバーの制限事項

- ファイルシステムが NTFS のとき、TWAIN データソースを呼び出せないことがあります。セキュリティのために TWAIN モジュールを winnt フォルダーに書き込むことができないためです。コンピューターの管理者に問い合わせてください。
- 一部のパソコン（ノートパソコンを含む）において、本製品を接続した状態でスタンバイモードから正常に復帰できない場合があります。そのような場合は、パソコンを再起動してください。
- スキャナーおよびスキャナー機能を持つ複合機を同じパソコンに 2 台以上接続しないでください。2 台以上接続されている場合には、本製品の操作パネルからスキャンできないほか、デバイスへのアクセスでエラーが発生することがあります。
- パソコンがスリープ状態やスタンバイ状態から復帰した場合、正常にスキャンできないことがあります。そのような場合は、以下の手順を行ったあと、スキャンしてください。

  1. 本製品の電源を切る
  2. ScanGear を終了したあと、USB ケーブルをパソコンから外し、再度パソコンへ接続
  3. 本製品の電源を入れる

- ScanGear は同時に複数のアプリケーションソフトから起動することはできません。また、同一アプリケーションソフト内でも、ScanGear が起動しているときにさらに ScanGear を起動することはできません。
- アプリケーションソフトを終了させる前に、かならず ScanGear のメインウィンドウを閉じてください。
- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続してご使用の場合は、複数のパソコンから本製品へ同時にアクセスすることはできません。
- ネットワーク対応の機種を、ネットワークに接続してご使用の場合は、スキャンの時間が通常よりも長くなります。
- 大きなイメージを高解像度で読み込むとき（スキャンするとき）は、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4 判の文書をフルカラー 600 dpi でスキャンするときは、最低 300 MB の空き容量が必要です。
- ScanGear と WIA ドライバーは同時に使用することはできません。
- スキャン中に、パソコンをスリープ状態や休止状態にしないでください。

ご使用の際に制限事項のあるアプリケーションソフトについて

- Windows XP Media Center Edition 2005 に付属している Media Center を起動すると、本製品の操作パネルからスキャンできない場合があります。そのような場合は、パソコンを再起動してください。
- Windows XP Media Center Edition 2005 に付属している Media Center では、画像の取り込みは使用できません。IJ Scan Utility など、ほかのアプリケーションソフトでスキャンしてください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、TWAIN のユーザーインターフェイスを表示しない場合があります。そのような場合は、どのようにしたら表示できるかをそのアプリケーションソフトの取扱説明書で調べて、その設定を変更してください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、複数原稿の連続スキャンに対応していないものがあります。複数原稿の連続スキャンで 2 枚目以降の画像を取り込めない場合や、複数の画像ではなく 1 枚の画像としてスキャンしてしまう場合があります。また、ADF（自動原稿給紙装置）からの複数枚のスキャンはしないでください。
- Microsoft Office 2000 にスキャン画像を取り込みたい場合には、IJ Scan Utility を使用して画像を一度ファイルに保存してから、［挿入］メニューよりファイルを取り込んでください。

- Microsoft Office 2003（Word、Excel、PowerPoint など）で原稿台と同じ大きさの画像をスキャンするときは、［スキャナまたはカメラから図を挿入］画面で［カスタム挿入］をクリックしてください。このコマンドを使用しないと、正しくスキャンできないことがあります。
- Microsoft Office 2007／Microsoft Office 2010（Word、Excel、PowerPoint など）で画像をスキャンするときは、Microsoft クリップ オーガナイザをご使用ください。
- 一部のアプリケーションソフトでは、画像をスキャンする際、正しく読み取れない場合があります。そのような場合は、OS の仮想メモリーを増やしスキャンし直すと、画像が読み込めることがあります。
- 大きなイメージを高解像度でスキャンするなど画像サイズが大きい場合、一部のアプリケーションソフトでは制限により、プログレスバーの表示が 0 %のままで止まってしまうなど、パソコンからの応答がなくなることがあります。そのような場合は、プログレスバーの［キャンセル］をクリックするなどして処理を中断させ、OS の仮想メモリーを増やしてスキャンし直したり、選択領域もしくは解像度を小さくしてスキャンしたりしてください。もしくは、一度 IJ Scan Utility で取り込んでから保存し、それによって作成された画像ファイルをアプリケーションソフトに取り込むようにしてください。

そのほかのスキャンのしかた

- **WIA ドライバーでスキャンする**

WIA ドライバーでスキャンする

WIA（Windows Image Acquisition）に対応したアプリケーションソフトから原稿を読み込むことができます。

この操作は、アプリケーションソフトによって異なります。ここでは、一例を説明します。

詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

重要

- アプリケーションソフトによっては、ADF（自動原稿給紙装置）からの連続読み込みに対応していないことがあります。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- ネットワーク環境でスキャンするには、以下の手順を行ってください。
  - **Windows 10／Windows 8.1／Windows 8 の場合：**
    1. ［スタート］メニューを右クリックし、［エクスプローラー］→［ネットワーク］を選択
    2. 表示された画面の［ネットワーク］メニューで［デバイスとプリンターの追加］を選択
    3. デバイスを追加する画面で［XXX_MAC アドレス］（「XXX」は機種名）を選択し、［次へ］をクリック
  - **Windows 7／Windows Vista の場合：**
    1. 以下の手順で［ネットワーク］を開く
       - Windows 7 の場合：［スタート］メニューから［コンピューター］→［ネットワーク］を選択
       - Windows Vista の場合：［スタート］メニューから［ネットワーク］を選択
    2. 表示された画面で［XXX_MAC アドレス］（「XXX」は機種名）を右クリックし、［インストール］を選択

    ご使用の環境によっては、すでに設定が完了している場合があります。その場合は、［アンインストール］と表示されます。

WIA ドライバー 2.0 でスキャンする

ここでは、「Windows FAX とスキャン」を使ってスキャンする方法を例に説明します。

1. 原稿台または ADF に原稿をセット

   原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. ［Windows FAX とスキャン］の［ファイル］メニューから［新規作成］を選択し、［スキャン...］をクリック

   スキャン設定画面が表示されます。

   参考

   - 複数台のスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、スキャナーの選択画面が表示されることがあります。ご使用になりたいスキャナーをダブルクリックしてください。
     - USB 接続の場合：［Canon XXX series］（「XXX」は機種名）
     - ネットワーク接続の場合：［XXX series_MAC アドレス］（「XXX」は機種名）

3. スキャンする原稿に合わせて設定

[スキャナー]

現在設定されている製品名が表示されます。使用するスキャナーを変更したい場合は、[変更...]をクリックし、目的の製品名を選びます。

[プロファイル]

[写真（既定）]、[ドキュメント]から、スキャンする原稿の種類に合わせて選びます。[プロファイルの追加...]を選ぶと、[新しいプロファイルの追加]ダイアログボックスが表示され、[プロファイル]に登録する内容を設定することができます。また、前回設定した原稿の種類でスキャンしたいときは、[最後に使用された設定]を選びます。

[スキャナーの種類]

スキャナーの種類を選びます。原稿台からスキャンしたい場合は[フラットベット]を、ADFからスキャンしたい場合は[フィーダー (片面スキャン)]または[フィーダー (両面スキャン)]を選びます。

[用紙サイズ]

用紙サイズを選びます。[スキャナーの種類]が[フィーダー (片面スキャン)]または[フィーダー (両面スキャン)]のときのみ[用紙サイズ]を設定することができます。

[色の形式]

どのようなカラーモードで原稿をスキャンするかを選びます。

[ファイルの種類]

保存するデータのデータ形式を、JPEG、BMP、PNG、TIFFから選びます。

[解像度 (DPI)]

解像度を入力します。50 dpi～600 dpiの数値を指定できます。

➡ 解像度について

参考

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、設定できる解像度は以下のとおりです。
  150 dpi／300 dpi／600 dpi

[明るさ]

スライドバーを動かして明るさを調整します。左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-100～100）を入力することもできます。

[コントラスト]

スライドバーを動かしてコントラストを調整します。左に動かすと画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。右に動かすと画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。数値（-100～100）を入力することもできます。

[イメージを複数のファイルとしてプレビューまたはスキャンする]

チェックマークを付けると、複数のイメージを個別のファイルとしてプレビューまたはスキャンすることができます。

重要

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、[明るさ]、[コントラスト]、および[イメージを複数のファイルとしてプレビューまたはスキャンする]を設定することはできません。

4. プレビューする場合は、[プレビュー]をクリック

右側にプレビューした画像が表示されます。

重要

- ネットワーク接続でご使用の場合、ADF から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンしてください。プレビューを実行した場合は、原稿をセットし直してスキャンしてください。
  プレビュー後、ADF に原稿が残ったときは、操作パネルの OK ボタンを押して原稿を取り除いてください。

5. ［スキャン］をクリック

   スキャンが開始され、アプリケーションソフトにスキャンされた画像が表示されます。

WIA ドライバー 1.0 でスキャンする

ここでは、「ペイント」を使ってスキャンする方法を例に説明します。

1. 原稿台または ADF に原稿をセット

   ➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

2. ペイントの［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナーから取り込み］をクリック（アプリケーションソフトで原稿をスキャンするための操作を行う）

   参考

   - 複数台のスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、スキャナーの選択画面が表示されることがあります。ご使用になりたいスキャナーをダブルクリックしてください。
     - USB 接続の場合：［Canon XXX series］（「XXX」は機種名）
     - ネットワーク接続の場合：［XXX series_MAC アドレス］（「XXX」は機種名）

3. スキャンする原稿に合わせて、給紙方法や画像の種類を選択

   原稿台からスキャンしたい場合は［給紙方法］で［フラットベット］を、ADF からスキャンしたい場合は［ドキュメント フィーダー］を選びます。

   画像の種類は［カラー画像］、［グレースケール画像］、［白黒画像またはテキスト］、［カスタム設定］の中から選びます。

   参考

   - ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、選択できる画像の種類が、USB 接続時と異なる場合があります。
   - ［スキャンした画像の品質の調整］で前回設定した値と同じ値で読み込みたいときは、［カスタム設定］を選びます。
   - ［給紙方法］で［ドキュメント フィーダー］を選ぶと、［ページ サイズ］が選べます。

4. 必要に応じて、［スキャンした画像の品質の調整］をクリックし、詳細な設定を行う

   ［明るさ］

   スライドバーを動かして明るさを調整します。左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。数値（-127～127）を入力することもできます。

[コントラスト]

スライドバーを動かしてコントラストを調整します。左に動かすと画像の明暗の差が小さくなり、ぼんやりとした画像になります。右に動かすと画像の明暗の差が大きくなり、はっきりとした画像になります。数値（-127～127）を入力することもできます。

[解像度 (dpi)]

解像度を入力します。50 dpi～600 dpi の数値を指定できます。

➡ 解像度について

参考

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、設定できる解像度は以下のとおりです。
  150 dpi／300 dpi／600 dpi

[画像の種類]

原稿をどのような画像としてスキャンするかを選びます。

[リセット]

元の設定に戻すときにクリックします。

重要

- ネットワーク接続でスキャナーまたはプリンターをご使用の場合、[明るさ]、[コントラスト]を設定することはできません。

5. プレビューする場合は、[プレビュー]をクリック

右側にプレビューした画像が表示されるので、❑ をドラッグしてスキャンする範囲を指定してください。

重要

- ネットワーク接続でご使用の場合、ADF から原稿をスキャンするときは、プレビューせずにスキャンしてください。プレビューを実行した場合は、原稿をセットし直してスキャンしてください。
  プレビュー後、ADF に原稿が残ったときは、操作パネルの OK ボタンを押して原稿を取り除いてください。

6. [スキャン]をクリック

スキャンが開始され、アプリケーションソフトにスキャンされた画像が表示されます。

IJ Network Scanner Selector EX2 のメニューと設定画面

IJ Network Scanner Selector EX2（アイジェイ・ネットワーク・スキャナー・セレクター・イーエックス2）では、ご使用のパソコンや操作パネルからネットワーク経由で使用するスキャナーまたはプリンターを選ぶことができます。

IJ Network Scanner Selector EX2 は、インストール後にデスクトップの通知領域に表示されます。

重要

- ネットワーク経由でスキャンできない場合は、最新の MP ドライバーをキヤノンダウンロードホームページから入手し、バージョンアップしてください。
- IJ Network Scanner Selector EX2 が有効の場合、ネットワーク上でご使用のスキャナーまたはプリンターと通信ができるか定期的に確認するため、パケットを送出しています。ご使用のスキャナーまたはプリンターをセットアップしたネットワーク環境以外でパソコンを使用する場合は、IJ Network Scanner Selector EX2 を無効にしてください。

参考

- デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。
  - **Windows 10 の場合：**

    ［スタート］メニューから［すべてのアプリ］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック
  - **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

    スタート画面上の［IJ Network Scanner Selector EX2］をクリック

    スタート画面に［IJ Network Scanner Selector EX2］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX2」を検索してください。
  - **Windows 7／Windows Vista の場合：**

    ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック

メニュー

デスクトップの通知領域から  （IJ Network Scanner Selector EX2）を右クリックすると、メニューが表示されます。

［Canon IJ Network Scanner Selector EX2 を無効にする］／［Canon IJ Network Scanner Selector EX2 を有効にする］

IJ Network Scanner Selector EX2 の有効／無効を切り替えます。

［Canon IJ Network Scanner Selector EX2 を無効にする］を選ぶと、操作パネルからネットワーク接続でスキャンすることができなくなります。

有効時のアイコン：  、無効時のアイコン： 

重要

- ネットワーク接続時に操作パネルからスキャンできない機種をご使用の場合、設定を有効にしても操作パネルを使用してスキャンすることはできません。

［設定...］

PC からのスキャン設定画面が表示されます。使用する機種を選べます。

[バージョン情報]

バージョン情報が表示されます。

表示されるダイアログボックスでは、アプリケーションで使用する言語を変更することができます。変更は PC の再起動後に反映されます。

[終了]

IJ Network Scanner Selector EX2 が終了し、デスクトップの通知領域上の  （有効時のアイコン）／  （無効時のアイコン）が非表示となります。

PC からのスキャン設定画面

デスクトップの通知領域からアイコンを右クリックして［設定...］を選ぶと、PC からのスキャン設定画面が表示されます。

ネットワーク環境でスキャンする前に、ご使用のスキャナーまたはプリンターが IJ Network Scanner Selector EX2 で選ばれている必要があります。

[スキャナー]

ネットワーク接続で使用できるスキャナーまたはプリンターが、MAC アドレスで表示されます。

選べるスキャナーまたはプリンターは、同じ機種 1 つにつき 1 台です。スキャナーまたはプリンターを選ぶと、自動的に操作パネルからのスキャンも可能になります。

[操作説明]

本マニュアルが表示されます。

[操作パネルからのスキャン設定]

操作パネルからのスキャン設定画面が表示されます。操作パネルからスキャンするときのスキャナーまたはプリンターを合計 3 台まで選べます。選んだスキャナーまたはプリンターの操作パネルを使用して原稿を読み込み、ご使用のパソコンに読み込んだ画像データをネットワーク経由で送ることができます。

重要

- ネットワーク接続時に操作パネルからスキャンできない機種をご使用の場合は、［スキャナー］には表示されず、設定できません。

操作パネルからのスキャン設定画面

PC からのスキャン設定画面にある［操作パネルからのスキャン設定］をクリックすると、操作パネルからのスキャン設定画面が表示されます。

[スキャナー]

ネットワーク接続で使用できるスキャナーまたはプリンターが、MAC アドレスで表示されます。

同時に選べるスキャナーまたはプリンターは、合計 3 台までです。スキャナーまたはプリンターを選ぶと、自動的に操作パネルからのスキャンも可能になります。

[操作説明]

本マニュアルが表示されます。

重要

- ネットワーク接続時に操作パネルからスキャンできない機種をご使用の場合は、PC からのスキャン設定画面に［操作パネルからのスキャン設定］が表示されることがありますが、設定できません。

参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターが表示されない場合は、以下の項目を確認してから［OK］をクリックし一度画面を閉じてから、再度開いて選び直してください。
  - MP ドライバーがインストールされている
  - MP ドライバーをインストールしたあと、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定をしている
  - ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンがネットワーク通信できる状態である

  それでも表示されない場合は、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「ネットワークに関するトラブル」を参照してください。
- USB で接続してスキャンする場合は、本ソフトウェアを使用する必要はありません。削除する場合は、「IJ Network Scanner Selector EX2 をアンインストールしたい」を参照してください。削除しなくても、USB 接続でのスキャンは、正常に行うことができます。

IJ Network Scanner Selector EX2 をアンインストールしたい

以下の手順に従って、パソコンから IJ Network Scanner Selector EX2 を削除してください。

重要

- IJ Network Scanner Selector EX2 を削除すると、ネットワーク経由でスキャンを行うことはできません。
- アンインストールを実行するには、Administrator（管理者）としてログオンするか、または管理者権限を持っている必要があります。

1. ［コントロール パネル］→［プログラム］→［プログラムと機能］の順にクリック
2. ［Canon IJ Network Scanner Selector EX2］を選び、［アンインストールと変更］をクリック

   参考

   - ［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は［続行］をクリックします。
3. 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリック
4. アンインストールが完了したら、［OK］をクリック

   参考

   - パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

スキャンの役立つ情報

- 解像度について
- データ形式について（ファイルの種類／フォーマット）
- カラーマッチングについて

解像度について

スキャナーで読み込まれた画像のデータは、明るさや色の情報を持った点（ドット）の集まりから成り立っています。この点の密度を「解像度」といい、画像のきめ細やかさや粗さは、この解像度によって決まります。解像度の単位は、dpi（dots per inch）です。dpi は 1 インチ（約 2.5 cm）あたりにどれだけ点が集まっているかを示す単位です。

解像度が高い（数値が大きい）ときめ細かい画像になり、解像度が低い（数値が小さい）と粗い画像になります。



解像度の設定方法

解像度は、下記の画面で設定することができます。

IJ Scan Utility の場合：

スキャン設定ダイアログボックスの  （パソコンからスキャン）シートにある［解像度］

ScanGear（スキャナードライバー）の場合：

［拡張モード］シートの［出力設定］にある［出力解像度］

解像度設定の目安

スキャン後のデータの用途に合わせて、解像度を設定してください。

原稿の種類	使用目的	カラーモード	解像度設定
カラー写真	焼き増しをする （プリンターで印刷する）	カラー	300 dpi
	絵はがきを作る	カラー	300 dpi
	パソコンに保存する	カラー	300 dpi
	ホームページで使う／E メールに添付する	カラー	150 dpi
モノクロ写真	パソコンに保存する	グレースケール	300 dpi
	ホームページで使う／E メールに添付する	グレースケール	150 dpi
文字原稿（文書、雑誌）	コピーする	カラー／グレースケール／白黒	300 dpi
	E メールに添付する	カラー／グレースケール／白黒	150 dpi
	OCR で文字列を読み取る	カラー／グレースケール	300 dpi

重要

- 解像度を 2 倍にすると、スキャンした画像データのサイズは 4 倍になります。サイズが増えると、処理速度が極端に遅くなったり、メモリーが不足したりするなどの不都合が生じます。解像度は、使用目的に合わせて、必要最小限に設定してください。

参考

- スキャンした画像を拡大して印刷する場合は、上記の目安よりも高い解像度に設定してスキャンしてください。

データ形式について（ファイルの種類／フォーマット）

スキャンした画像を保存するとき、画像のデータ形式を選ぶことができます。スキャンした画像を何に、どのアプリケーションソフトで使用するのかによって、条件に適したデータ形式を指定する必要があります。

アプリケーションソフトや使用する OS（Windows、Mac OS）によっても、扱うことのできるデータ形式が異なります。

ここでは、画像のデータ形式の特徴を紹介します。

PNG（一般的な拡張子は「.png」）

ウェブ（ホームページ）上でよく使われるデータ形式です。

保存した画像データを加工する場合に適しています。

JPEG（一般的な拡張子は「.jpg」）

ウェブ（ホームページ）上や、デジタルカメラの画像でよく使われるデータ形式です。

この形式は、圧縮率が高いのが特徴です。保存のたびに画像が少しだけ劣化し、元の画像に戻すことはできません。

画像タイプが白黒のときは選ぶことはできません。

TIFF（一般的な拡張子は「.tif」）

さまざまなパソコンやアプリケーションソフト上で、比較的互換性の高いデータ形式です。

保存した画像データを加工する場合に適しています。

参考

- 互換性のないデータも存在します。
- IJ Scan Utility で対応している TIFF 形式のファイルは、以下のとおりです。
  - 非圧縮、白黒 2 値
  - 非圧縮、RGB 各 8 bit
  - 非圧縮、グレースケール

PDF（一般的な拡張子は「.pdf」）

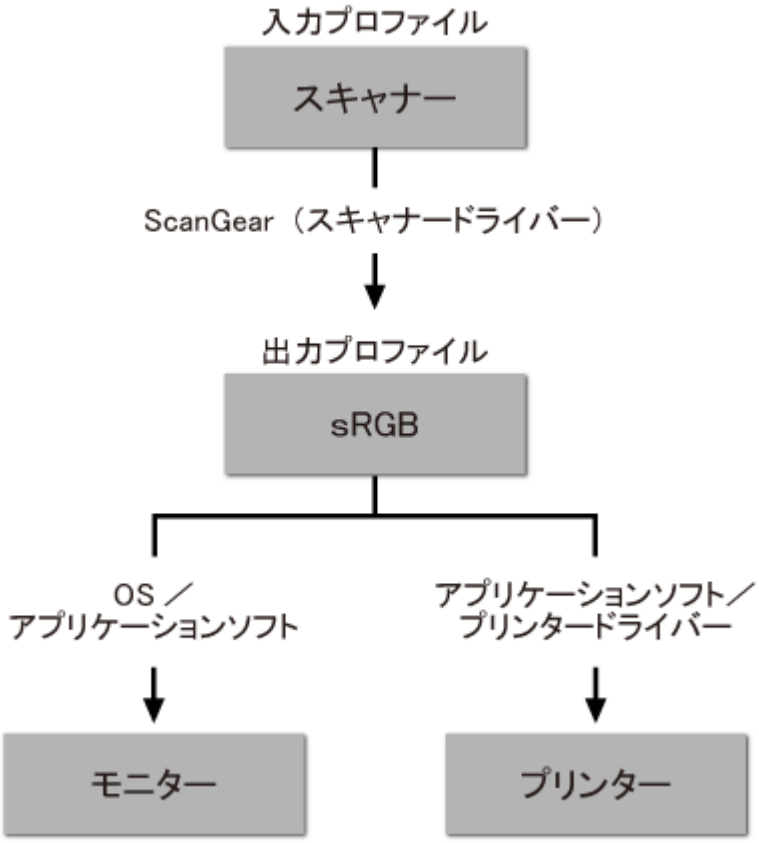
アドビ システムズ社が開発した電子文書用のデータ形式です。

さまざまなパソコンや OS で使用することができ、フォントも埋め込めるため、使用環境の異なる人同士でも、違いを意識することなくファイルをやり取りできます。

カラーマッチングについて

原稿、モニター表示、カラープリント間の色調が近づくように調整することを「カラーマッチング」といいます。ご使用のスキャナーまたはプリンターでは、以下のような流れで色調が調整されます。

例）出力プロファイルとして、sRGB を選んだ場合：



スキャンした画像は、ScanGear によってスキャナーの色空間から sRGB の色空間へ変換されます。

モニターに表示するときは、OS でのモニターの設定と、アプリケーションソフトでの作業スペースの設定を行うことで、sRGB の色空間からモニターの色空間へ変換して表示します。

プリンターに出力するときは、アプリケーションソフトのプリント設定と、プリンタードライバーの設定を行うことで、sRGB の色空間からプリンターの色空間へ変換してプリントします。

原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

ご使用のスキャナーまたはプリンターの原稿台および ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする方法について説明します。スキャンする原稿の種類に合わせて正しくセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては正しくスキャンできない場合があります。

重要

- 原稿台カバーの上に物をのせないでください。原稿台カバーを開いた際、物がご使用のスキャナーまたはプリンターの内部に落ち、故障の原因となることがあります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。
- 原稿台カバーを開閉するときに、操作パネルのボタンや液晶モニターには手を触れないでください。誤操作の原因となることがあります。

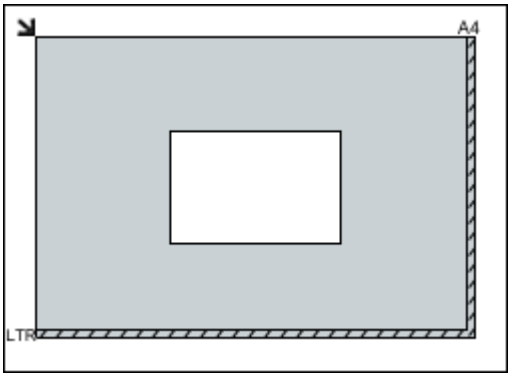
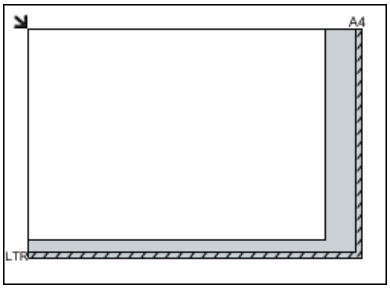
- 原稿のセットのしかた（原稿台）
- 原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

原稿のセットのしかた（原稿台）

原稿の種類やサイズを自動で判別してスキャンする場合は、以下の原稿のセットのしかたに従って原稿を置いてください。

重要

- IJ Scan Utility または ScanGear（スキャナードライバー）で原稿のサイズを指定してスキャンする場合は、原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて置いてください。
- いろいろな形に切り抜いた写真や 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は、正しく切り抜いてスキャンすることができません。
- ディスクのレーベル面が鏡面状の場合、期待どおりにスキャンできないことがあります。

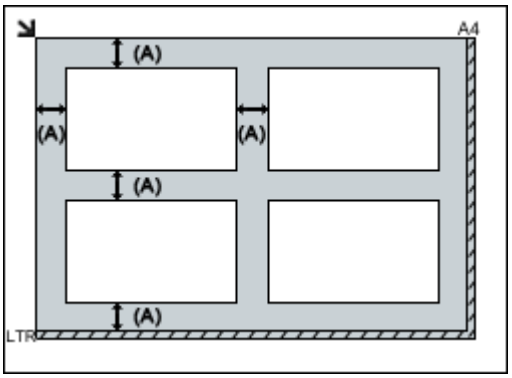
写真、はがき、名刺、BD／DVD／CD の場合	雑誌、新聞、文書の場合
 **原稿が 1 枚の場合：** 原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、スキャンする面を下にして原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。 	 原稿の上端を原稿台にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせ、スキャンする面を下にして置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。  **重要** • 原稿を読み取ることができない範囲については、「原稿をセットする」を参照してください。

重要

- A4 サイズの写真など原稿のサイズが大きく原稿台の端や矢印（原稿位置合わせマーク）から離して置けない原稿は、PDF ファイルで保存されることがあります。PDF 以外の形式で保存したい場合は、データ形式を指定してスキャンしてください。

原稿が複数の場合：

原稿が 2 枚以上ある場合は、原稿台の端の斜線部分から 1 cm（0.4 inch）以上離し、原稿と原稿の間も 1 cm（0.4 inch）以上離して置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



(A) 1 cm（0.4 inch）以上

参考

- 原稿は 12 枚まで置くことができます。
- 原稿の傾きが 10 度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。

原稿のセットのしかた（ADF（自動原稿給紙装置））

重要

- ADF からスキャンするときは、原稿台に厚みのある原稿をセットしたままにしないでください。紙づまりの原因となることがあります。
- 2 枚以上の原稿をスキャンする場合は、同じサイズの原稿を揃えてセットしてください。
- ADF からスキャンできる原稿サイズについては、「セットできる原稿について」を参照してください。

1. 原稿トレイを開く



2. 原稿を ADF にセットし、原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

   原稿はスキャンする面を上向きにして、「ピッ」という音が鳴るまで差し込んでください。



参考

- 両面原稿をスキャンする場合は、原稿の表を上にしてセットしてください。表と裏を間違えてセットすると、正しくスキャンされません。

ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

ご使用のスキャナーまたはプリンターは、ネットワークに接続して複数のパソコンで共有したり、スキャンした画像データを指定したパソコンに取り込んだりすることができます。

重要

- 複数のユーザーが同時にスキャンすることはできません。

参考

- 事前にセットアップ CD-ROM から、またはキヤノンのウェブサイトの指示に従って、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定を行ってください。
- ネットワーク接続でご使用の場合、スキャンの時間が USB 接続よりも長くなります。

ネットワーク環境でスキャンするには、以下の設定を行う必要があります。

ご使用のスキャナーまたはプリンターを指定する

IJ Network Scanner Selector EX でご使用になりたいスキャナーを指定します。スキャナーを指定すると、ご使用のパソコンや操作パネルからネットワーク経由でスキャンすることができます。

重要

- IJ Network Scanner Selector EX で使用する製品を変更した場合、IJ Scan Utility からスキャンするときに使用する製品も変更されます。また、操作パネルからのスキャンで使用する製品も変更されます。

  IJ Scan Utility で、ご使用のスキャナーまたはプリンターが選択されていない場合、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターが選択されていることを確認してください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「IJ Network Scanner Selector EX2 のメニューと設定画面」を参照してください。
- 操作パネルからスキャンするときは、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターを指定しておく必要があります。

1. IJ Network Scanner Selector EX が起動していることを確認

   IJ Network Scanner Selector EX が起動している場合は、デスクトップの通知領域に  （IJ Network Scanner Selector EX2）が表示されます。  をクリックして、隠れているアイコンも確認してください。

   参考

   - デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。

     - **Windows 10 の場合：**

       [スタート] メニューから [すべてのアプリ] → [Canon Utilities] → [IJ Network Scanner Selector EX2] の順にクリック

     - **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

       スタート画面上の［IJ Network Scanner Selector EX2］をクリック

       スタート画面に［IJ Network Scanner Selector EX2］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX2」を検索してください。

- **Windows 7／Windows Vista の場合：**

  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック

デスクトップの通知領域にアイコンが表示され、PC からのスキャン設定画面が表示されます。この場合、手順 3 に進んでください。

2. デスクトップの通知領域から  （IJ Network Scanner Selector EX2）を右クリックし、［設定...］を選択

   PC からのスキャン設定画面が表示されます。

3. ［スキャナー］からご使用のスキャナーまたはプリンターを選択

   通常は、セットアップ後にご使用のスキャナーまたはプリンターの MAC アドレスが選択されています。その場合は、再度選択する必要はありません。

   重要

   - ネットワーク上にスキャナーが複数存在する場合は、複数の機種名が表示されます。その場合は、ご使用になりたいスキャナーを同じ製品 1 つにつき 1 台選択することができます。

4. ［OK］をクリック

参考

- PC からのスキャン設定画面で選択したスキャナーが、自動的に操作パネルからのスキャン設定画面でも選択されます。

IJ Scan Utility でスキャンするときの設定

ネットワークに接続されたスキャナーまたはプリンターを使用して、IJ Scan Utility からスキャンするには、IJ Network Scanner Selector EX でご使用のスキャナーまたはプリンターを指定後、パソコンとの接続方法を以下の手順に従って変更する必要があります。

1. IJ Scan Utility を起動

2. ［製品名］で「Canon XXX series Network」（「XXX」は機種名）を選択

3. ネットワークに接続しているほかのスキャナーを使用する場合は、［スキャン設定...］をクリック

4.  （基本設定）をクリックし、［製品名］で［選択］をクリック

   IJ Network Scanner Selector EX の PC からのスキャン設定画面が表示されます。

   ご使用になりたいスキャナーを選択して、［OK］をクリックしてください。

5. ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックスで、［OK］をクリック

   IJ Scan Utility 基本画面に戻ります。ネットワーク接続でスキャンできます。

操作パネルからスキャンするときの設定

操作パネルからのスキャンを設定することができます。

重要

- あらかじめ IJ Scan Utility でご使用のスキャナーまたはプリンターをネットワーク接続に設定してください。

  IJ Scan Utility でスキャンするときの設定

1. IJ Network Scanner Selector EX が起動していることを確認

   IJ Network Scanner Selector EX が起動している場合は、デスクトップの通知領域に （IJ Network Scanner Selector EX2）が表示されます。 をクリックして、隠れているアイコンも確認してください。

   参考

   - デスクトップの通知領域にアイコンが表示されていない場合は、以下の手順で起動してください。

     - **Windows 10 の場合：**

       [スタート] メニューから [すべてのアプリ] → [Canon Utilities] → [IJ Network Scanner Selector EX2] の順にクリック

     - **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

       スタート画面上の［IJ Network Scanner Selector EX2］をクリック

       スタート画面に［IJ Network Scanner Selector EX2］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「IJ Network Scanner Selector EX2」を検索してください。

     - **Windows 7／Windows Vista の場合：**

       [スタート] メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［IJ Network Scanner Selector EX2］→［IJ Network Scanner Selector EX2］の順にクリック

     デスクトップの通知領域にアイコンが表示され、PC からのスキャン設定画面が表示されます。この場合、手順 3 に進んでください。

2. デスクトップの通知領域から （IJ Network Scanner Selector EX2）を右クリックし、［設定...］を選択

   PC からのスキャン設定画面が表示されます。

3. ［操作パネルからのスキャン設定］をクリック

   操作パネルからのスキャン設定画面が表示されます。

4. ［スキャナー］からご使用のスキャナーまたはプリンターを選び、［OK］をクリック

   ご使用のスキャナーまたはプリンターの MAC アドレスを選択します。

   参考

   - ネットワークで複数のスキャナーに接続している場合、合計 3 台まで選択できます。

5. PC からのスキャン設定画面で、［OK］をクリック

参考

- ご使用のスキャナーまたはプリンターが表示されない場合は、以下の項目を確認してから［OK］をクリックし一度画面を閉じてから、再度開いて選び直してください。
  - MP ドライバーがインストールされている
  - MP ドライバーをインストールしたあと、ご使用のスキャナーまたはプリンターのネットワーク設定をしている
  - ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンがネットワーク通信できる状態である

  それでも表示されない場合は、「ネットワークに関するトラブル」を参照してください。

パソコンからスキャンしてみよう（Mac OS）

- **IJ Scan Utility でスキャンする**
- **スキャナードライバーでスキャンする**
- **スキャンの役立つ情報**
- **原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）**
- **ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法**

本製品の操作パネルを使ってスキャンしてみよう

- スキャンしたデータをパソコンに転送する 基本
- スキャンしたデータをパソコンからメール添付で送信する
- スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する
- スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する
- スキャンしたデータをパソコンの共有フォルダーに転送する
- スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーから削除する
- スキャンするときの設定項目
- IJ Scan Utility で本製品の操作パネルの動作設定をする（Windows）
- IJ Scan Utility で本製品の操作パネルの動作設定をする（Mac OS）

スキャンしたデータをパソコンに転送する

スキャンしたデータをパソコンに転送する前に、次のことを確認してください。

- **MP ドライバーがインストールされている（Windows）**

  MP ドライバーがインストールされていない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

- **スキャナードライバーがインストールされている（Mac OS）**

  スキャナードライバーがインストールされていない場合は、ウェブページからスキャナードライバーをインストールしてください。

- **本製品とパソコンが正しく接続されている**

  本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

  プリンターが動作しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに LAN ケーブルまたは USB ケーブルを抜き差ししないでください。

  LAN 接続でスキャンを行う場合は、LAN 接続でスキャンを行う準備ができていることを確認してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

- **パソコンへの転送先やファイル名を、Canon IJ Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）で指定している**

  パソコンの転送先やファイル名などを Canon IJ Scan Utility で設定することができます。Canon IJ Scan Utility の設定については、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ スキャン設定ダイアログボックス

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ スキャン設定ダイアログ

    Mac OS X 10.11 をご使用の場合、スキャンしたデータをパソコンに転送するときに Canon IJ Scan Utility を起動している必要があります。

以下の手順でスキャンしたデータをパソコンに転送します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。



3.  ［パソコン］をタップする

4. 転送先をタップする

   USB 接続の場合は［ローカル（USB 接続）］、LAN 接続の場合は転送先のパソコンをタップしてください。



   スキャン待機画面が表示されます。

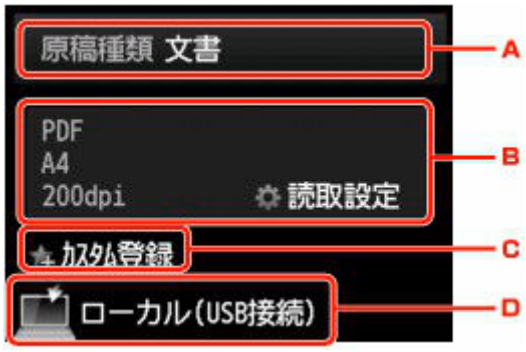
参考

- WSD（Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用して、パソコンにスキャンしたデータを転送する場合は、［本体設定］の［LAN 設定］の［その他の設定］の［WSD 設定］で、［本機からの WSD スキャン］を［有効］にしてください。

  ➡ WSD 設定

  ［再検索］をタップすると、接続されているパソコンを再検索します。

5. 必要に応じて設定する



   A. タップして、原稿の種類を選びます。

参考

- WSD を利用して検索したパソコンを転送先に選んだ場合は、原稿の種類を選ぶことはできません。

文書

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を、［読取設定］で設定した内容で、文書データとしてスキャンします。

写真

原稿台ガラスにある原稿を［読取設定］で設定した内容で、写真データとしてスキャンします。

B. タップすると、［読取設定］画面が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

➡ スキャンするときの設定項目

C. タップすると、現在の読取設定をカスタム設定として登録することができます。

➡ よく使う設定を登録する（カスタム設定）

D. タップすると、保存／転送先を選択する画面が表示されます。

6. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

7. カラーでスキャンをする場合はカラーボタンを押す
白黒でスキャンをする場合はモノクロボタンを押す

参考

- WSD を利用してパソコンにデータを転送する場合は、カラーボタンを押してください。
- 原稿のセット位置が正しくないとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。読取設定に合わせて、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合：**

  スキャンが開始され、パソコンにスキャンしたデータが転送されます。

- **原稿台ガラスに原稿をセットした場合：**
  - 読取設定の［データ形式］で［JPEG］または［TIFF］を選んだ場合は、スキャンが開始され、パソコンにスキャンしたデータが転送されます。
  - 読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んだ場合は、スキャン終了後にスキャン続行の確認画面が表示されます。



続けてスキャンを行う場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンを開始してください。

スキャンを終了する場合は、[読取終了] をタップしてください。スキャンしたデータがひとつの PDF としてパソコンに転送されます。

スキャンしたデータは Canon IJ Scan Utility で設定されている保存先やファイル名に従ってパソコンに転送されます。

スキャン終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

パソコンにプログラムの選択画面が表示されたときは（Windows）：

カラーボタンまたはモノクロボタンを押したあとで、パソコンにプログラムの選択画面が表示されることがあります。その場合は、起動するアプリケーションソフトに [Canon IJ Scan Utility] を指定して、[OK] ボタンをクリックしてください。

詳細な設定をしてスキャンしたい場合、または、原稿をスキャンしたあとで画像の補正や印刷を行いたい場合は：

パソコンから原稿をスキャンすると、画像補正やトリミングなどが行えます。

さらに、本製品に対応しているアプリケーションソフトを使った加工や印刷など、スキャンした画像を活用するためのメニューも用意されています。

➡ IJ Scan Utility でスキャンする

参考

- Windows をご使用の場合：
  - WIA に対応したアプリケーションソフトを使ったスキャンにも対応しています。

    詳しい操作方法については、以下を参照してください。

    ➡ WIA ドライバーでスキャンする
  - スキャンした文字原稿をテキストデータにしたい場合は以下を参照してください。

    ➡ スキャンした画像から文字列を抜き出す（OCR）

スキャンしたデータをパソコンからメール添付で送信する

スキャンしたデータをメールに添付する前に、次のことを確認してください。

- **MP ドライバーがインストールされている（Windows）**

  MP ドライバーがインストールされていない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

- **スキャナードライバーがインストールされている（Mac OS）**

  スキャナードライバーがインストールされていない場合は、ウェブページからスキャナードライバーをインストールしてください。

- **本製品とパソコンが正しく接続されている**

  本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

  プリンターが動作しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに LAN ケーブルまたは USB ケーブルを抜き差ししないでください。

  LAN 接続でスキャンを行う場合は、LAN 接続でスキャンを行う準備ができていることを確認してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法

- **メールソフトやファイル名を、Canon IJ Scan Utility（キヤノン・アイジェイ・スキャン・ユーティリティ）で設定している**

  パソコンの転送先やファイル名などを Canon IJ Scan Utility で設定することができます。Canon IJ Scan Utility の設定については、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ スキャン設定ダイアログボックス

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ スキャン設定ダイアログ

    Mac OS X 10.11 をご使用の場合、スキャンしたデータをパソコンに転送するときに Canon IJ Scan Utility を起動している必要があります。

以下の手順で、スキャンしたデータをパソコンからメール添付で送信します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。



3.  ［メールに添付］をタップする

4.  ［パソコンからメール］をタップする

5. 転送先をタップする

   USB 接続の場合は［ローカル（USB 接続）］、LAN 接続の場合は転送先のパソコンをタップしてください。



   スキャン待機画面が表示されます。

6. 必要に応じて設定する



   A. タップして、原稿の種類を選びます。

      文書

      原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を、［読取設定］で設定した内容で、文書データとしてスキャンします。

      写真

      原稿台ガラスにある原稿を［読取設定］で設定した内容で、写真データとしてスキャンします。

B. タップすると、[読取設定] 画面が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

➡ スキャンするときの設定項目

C. タップすると、現在の読取設定をカスタム設定として登録することができます。

➡ よく使う設定を登録する（カスタム設定）

D. タップすると、保存／転送先を選択する画面が表示されます。

7. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

8. カラーでスキャンをする場合はカラーボタンを押す
白黒でスキャンをする場合はモノクロボタンを押す

参考

- 原稿のセット位置が正しくないとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。読取設定に合わせて、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合：**

  スキャンが開始されたあと、スキャンしたデータがパソコンに転送され、メールに添付されます。

- **原稿台ガラスに原稿をセットした場合：**
  - 読取設定の [データ形式] で [JPEG] を選んだ場合は、スキャンが開始されたあと、スキャンしたデータがパソコンに転送され、メールに添付されます。
  - 読取設定の [データ形式] で [PDF] または [高圧縮 PDF] を選んだ場合は、スキャン終了後にスキャン続行の確認画面が表示されます。



  続けてスキャンを行う場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンを開始してください。

  スキャンを終了する場合は、[読取終了] をタップしてください。スキャンしたデータがひとつの PDF としてパソコンに転送されます。

スキャンしたデータは、Canon IJ Scan Utility で設定されているメールソフトやファイル名に従ってパソコンに転送され、メールに添付されます。

メールの設定や送信方法については、ご使用のメールソフトの取扱説明書を参照してください。

スキャン終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

パソコンにプログラムの選択画面が表示されたときは（Windows）：

カラーボタンまたはモノクロボタンを押したあとで、パソコンにプログラムの選択画面が表示されることがあります。その場合は、起動するアプリケーションソフトに［Canon IJ Scan Utility］を指定して、［OK］ボタンをクリックしてください。

スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する

- スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する
- 送信先のメールアドレスを登録する
- グループメールに登録する
- 登録したメールアドレス情報を変更する
- 登録したメールアドレス情報を削除する
- メールアドレス帳をインポート／エクスポートする

スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する

本製品の操作パネルでスキャンしたデータを、本製品からメール添付で送信できます。

スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信する前に、次のことを確認してください。

- **本製品が LAN 接続されている**

  本製品が正しく LAN 接続されていることを確認してください。

- **リモート UI でメールサーバーの設定を行っている**

  ➡ メールサーバーを設定する

- **スキャンしたデータをメール添付で送信するときの設定をリモート UI で指定している**

  ➡ スキャンデータを送信するときのメール設定を行う

以下の手順で、スキャンしたデータを本製品からメール添付で送信します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3.  ［メールに添付］をタップする
4.  ［本体から直接メール］をタップする
5. ［送信先の選択］をタップする
6. 送信先を指定する



A. タップして、送信先をメールアドレス帳から選びます。

B. タップして、送信先のメールアドレスを直接入力します。

C. タップして、送信先を入力履歴から選びます。

7. 送信の設定を行う

以下の画面が表示されます。



A. タップして、メールの件名を入力します。

B. タップして、以下を選びます。



1. タップして、メールアドレスを確認します。[編集]をタップすると、メールアドレスを編集できます。
2. タップして［はい］を選ぶと、送信先から削除できます。
3. タップして宛先を Cc（カーボンコピー）に変更できます。
4. タップして宛先を Bcc（ブラインドカーボンコピー）に変更できます。

参考

- 宛先を Cc や Bcc から To に変更する場合は、送信先をタップして［To に変更する］をタップしてください。

C. タップして、送信先を決定します。

D. タップして、送信先を追加します。

8. 必要に応じて設定する



A. タップして、原稿の種類を選びます。

文書

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を、［読取設定］で設定した内容で、文書データとしてスキャンします。

写真

原稿台ガラスにある原稿を［読取設定］で設定した内容で、写真データとしてスキャンします。

B. タップすると、［読取設定］画面が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

➡ スキャンするときの設定項目

C. タップすると、現在の読取設定をカスタム設定として登録することができます。

➡ よく使う設定を登録する（カスタム設定）

D. タップすると、メールの送信先またはデータの保存／転送先を変更します。

9. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

10. カラーでスキャンをする場合はカラーボタンを押す
白黒でスキャンをする場合はモノクロボタンを押す

参考

- 原稿のセット位置が正しくないとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。読取設定に合わせて、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

- 読取設定の［プレビュー］で［ON］を選んでいる場合：

  スキャンしたデータをメール送信する前に、プレビュー画面が表示されます。



A. スキャンする原稿のプレビュー画面が表示されます。

B. タップすると、プレビュー画像が回転します。

読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んでいる場合に表示されます。

C. タップすると、スキャンしたデータがメール送信されます。

D. タップすると、原稿を再読み込みします。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合：**

  スキャンが開始されたあと、スキャンしたデータがメール送信されます。

- **原稿台ガラスに原稿をセットした場合：**
  - 読取設定の［データ形式］で［JPEG］を選んでいる場合：

    スキャンが開始されたあと、スキャンしたデータがメールで送信されます。
  - 読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んでいる場合：

    スキャン終了後にスキャン続行の確認画面が表示されます。



続けてスキャンを行う場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンを開始してください。

スキャンを終了する場合は、［読取終了］をタップしてください。スキャンしたデータがひとつの PDF としてメールで送信されます。

スキャン終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

送信履歴を確認する

［本体から直接メール］の［送信履歴の確認］をタップすると、以下の項目が表示されます。

- 送信履歴の表示

  本製品から送信したメールの履歴（最大 100 件）を表示します。項目をタップすると、詳細が表示されます。

- 送信履歴の印刷

本製品から送信したメールの履歴を印刷します。［はい］をタップすると、印刷が開始されます。

送信先のメールアドレスを登録する

メールアドレス帳を使ってメールを送信する前に、送信先のメールアドレスを登録します。以下の手順で送信先のメールアドレスを登録してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3.  ［メールに添付］をタップする

4.  ［本体から直接メール］をタップする

5. ［メールアドレス帳の編集］をタップする

6. ［アドレス帳の表示］をタップする

   ID 番号を選ぶ画面が表示されます。

   参考

   - すでに送信先が登録されているアドレスには送信先の名前が、グループメールを登録されているアドレスには  アイコンとグループ名が表示されます。

7. 未登録の ID 番号を選ぶ

参考

- すでに送信先が登録されていて名前の順に表示されているときは、[表示切換]をタップしてください。ID 番号順に表示されます。
- [新規登録]をタップすると、番号順に未登録の ID 番号が選ばれます。

8. [メールアドレスの登録]をタップする

9. 登録方法を選ぶ

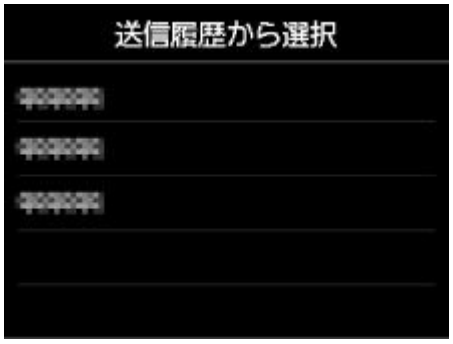
- [直接入力]

  名前とメールアドレスを登録する画面が表示されます。次の手順に進んでください。



- [送信履歴から選択]

  この登録方法を選ぶと、送信履歴からメールアドレスを選ぶ画面が表示されます。



  送信履歴からメールアドレスを選ぶと、名前とメールアドレスを登録する画面が表示されます。次の手順に進んでください。

10. 送信先の名前を入力する

1. 名前欄をタップします。

   文字入力画面が表示されます。

2. 送信先の名前を入力します。



3. ［OK］をタップします。

参考

- 名前はスペースを含む最大 16 文字まで入力できます。

  ➡ 文字や数字を入力する

11. 送信先のメールアドレスを入力する

［送信履歴から選択］でメールアドレスを選んだ場合は、すでにメールアドレスが入力されています。メールアドレスを変更しないときは、次の手順に進んでください。

1. メールアドレス入力欄をタップします。
2. 送信先のメールアドレスを入力します。



3. ［OK］をタップします。

参考

- メールアドレスはスペースを含む最大 60 文字まで入力できます。

  ➡ 文字や数字を入力する

12. ［登録］をタップして、登録を終了する

参考

- 続けてほかの送信先を登録するには、未登録の番号を選んでから同様の手順で操作してください。

グループメールに登録する

登録した送信先をグループメールとして登録することで、複数の送信先に順次メールを送信することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3.  ［メールに添付］をタップする

4.  ［本体から直接メール］をタップする

5. ［メールアドレス帳の編集］をタップする

6. ［アドレス帳の表示］をタップする

   ID 番号を選ぶ画面が表示されます。

   参考

   - すでに送信先が登録されているアドレスには送信先の名前が、グループメールを登録されているアドレスには  アイコンとグループ名が表示されます。

7. 未登録の ID 番号を選ぶ

参考

- すでに送信先が登録されていて名前の順に表示されているときは、[表示切換]をタップしてください。ID 番号順に表示されます。
- [新規登録]をタップすると、番号順に未登録の ID 番号が選ばれます。

8. [グループメールの登録]をタップする

グループ名とメンバーを登録する画面が表示されます。



9. グループ名を入力する

1. グループ名欄をタップします。

   文字入力画面が表示されます。

2. グループ名を入力します。



3. [OK]をタップします。

参考

- 名前はスペースを含む最大 16 文字まで入力できます。

  ➡ 文字や数字を入力する

10. 登録済みの送信先をグループメールのメンバーとして登録する

1. [メンバー追加]をタップします。

   アドレス帳が表示されます。

名前順表示　　ID 番号順表示



A. タップすると、名前順表示／ID 番号順表示が切り換わります。

B. タップすると、名前の先頭文字を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を名前の先頭文字で検索できます。



名前の先頭文字を選ぶと、選んだ文字順に送信先が表示されます。

C. タップすると、登録した送信先の ID 番号を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を ID 番号で検索できます。



ID 番号を入力して［OK］をタップすると、入力した ID 番号の送信先から表示されます。

D. 登録できる送信先が表示されます。

2. 送信先をタップして、登録するメンバーを選びます。

登録するメンバーが一覧に表示されます。



参考

- 一覧に表示されている送信先をタップすると、グループメールから削除できます。削除確認画面で［はい］をタップすると、グループメールから削除できます。

3. ほかのメンバーを追加する場合は、再度［メンバー追加］をタップします。

   電話帳が表示されます。

4. 送信先をタップして、登録するメンバーを選びます。

   登録するメンバーが一覧に表示されます。



   手順を繰り返して、同じグループメールに、ほかのメンバーを追加してください。

11. ［登録完了］をタップして、登録を終了する

参考

- 続けてほかのグループメールを登録するには、未登録の番号を選んでから同様の手順で操作してください。

登録したメールアドレス情報を変更する

次の手順に従って登録した送信先やグループメールを変更します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3.  ［メールに添付］をタップする

4.  ［本体から直接メール］をタップする

5. ［メールアドレス帳の編集］をタップする

6. ［アドレス帳の表示］をタップする

7. 変更したい送信先またはグループメールをタップする

8. 登録内容を変更する

   - 個別の送信先を変更する場合：
     1. ［メールアドレスの編集］をタップします。

        送信先の情報画面が表示されます。
     2. 名前欄またはメールアドレス入力欄をタップします。

        それぞれの編集画面が表示されます。
     3. 名前またはメールアドレスを変更します。
     4. ［OK］をタップします。

        送信先の情報画面に戻ります。
     5. ［登録］をタップします。
   - グループメールを変更する場合：
     1. ［メールアドレスの編集］をタップします。

グループメールの情報画面が表示されます。

2. グループ名を変更する場合は、名前欄をタップします。

   グループ名の編集画面が表示されたら、グループ名を変更し、［OK］をタップしてください。

3. メンバーを追加する場合は、［メンバー追加］をタップします。

   メールアドレス帳が表示されたら、追加したい送信先をタップしてください。

4. メンバーを削除する場合は、削除したい送信先をタップします。

   削除確認画面が表示されたら、［はい］をタップしてください。

5. 変更が完了したら、［登録完了］をタップします。

登録したメールアドレス情報を削除する

次の手順に従って登録した送信先やグループメールを削除します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3.  ［メールに添付］をタップする

4.  ［本体から直接メール］をタップする

5. ［メールアドレス帳の編集］をタップする

6. ［アドレス帳の表示］をタップする

7. 削除したい送信先またはグループメールをタップする

8. ［メールアドレスの削除］または［グループメールの削除］をタップする

9. 削除確認画面が表示されたら、［はい］をタップする

メールアドレス帳をインポート／エクスポートする

USB フラッシュメモリーに保存したメールアドレス帳を本製品に取り込んだり（インポート）、本製品に登録したメールアドレス帳を USB フラッシュメモリーに保存したり（エクスポート）することができます。

- メールアドレス帳をインポートする
- メールアドレス帳をエクスポートする

メールアドレス帳をインポートする

以下の手順でメールアドレス帳をインポートします。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部に取り付ける
4.  ［メールに添付］をタップする
5.  ［本体から直接メール］をタップする
6. ［メールアドレス帳の編集］をタップする
7. ［アドレス帳のインポート］をタップする
8. 表示されるメッセージを確認して、［はい］をタップする

   USB フラッシュメモリーに保存したアドレス帳が本製品にインポートされ、アドレス帳が上書きされます。（アドレス帳のファイル名：EMAIL_ADDRESS.BIN）

メールアドレス帳をエクスポートする

以下の手順でメールアドレス帳をエクスポートします。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。



3. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部に取り付ける

   参考

   - すでにアドレス帳が保存されている USB フラッシュメモリーにはアドレス帳の上書き防止のため、保存できません。

     アドレス帳のデータを削除するか、アドレス帳が保存されていない USB フラッシュメモリーを使用してください。
   - アドレス帳が保存されているデータのフォルダ名は下記です。

     CANON_SC¥EMAIL_ADDRESS.BIN

4.  ［メールに添付］をタップする

5.  ［本体から直接メール］をタップする

6. ［メールアドレス帳の編集］をタップする

7. ［アドレス帳のエクスポート］をタップする

8. 表示されるメッセージを確認して、［はい］をタップする

   本製品に登録したアドレス帳が USB フラッシュメモリーに保存されます。

スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーに保存する

スキャンしたデータを直接 USB フラッシュメモリーに保存することができます。

重要

- USB フラッシュメモリーを、画像をスキャンしているときや、保存する前に抜き差ししないでください。
- USB フラッシュメモリーに保存したデータは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部に取り付ける

4.  ［USB メモリー］をタップする

   参考

   - 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用している製品の管理者にお問い合わせください。

5.  ［USB メモリーに保存］をタップする

   スキャン待機画面が表示されます。

6. 必要に応じて設定する



A. タップして、原稿の種類を選びます。

文書

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を［読取設定］で設定した内容で、文書データとしてスキャンします。

写真

原稿台ガラスにある原稿を［読取設定］で設定した内容で、写真データとしてスキャンします。

B. タップすると、［読取設定］画面が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

➡ スキャンするときの設定項目

C. タップすると、現在の読取設定をカスタム設定として登録することができます。

➡ よく使う設定を登録する（カスタム設定）

D. タップすると、保存／転送先を選択する画面が表示されます。

7. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

8. カラーでスキャンをする場合はカラーボタンを押す
白黒でスキャンをする場合はモノクロボタンを押す

参考

- 原稿のセット位置が正しくないとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。読取設定に合わせて、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

- 読取設定の［プレビュー］で［ON］を選んでいる場合：

USB フラッシュメモリーに保存する前に、プレビュー画面が表示されます。



A. スキャンする原稿のプレビュー画面が表示されます。

B. タップすると、プレビュー画像が回転します。

読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んでいる場合に表示されます。

C. タップすると、スキャンしたデータが USB フラッシュメモリーに保存されます。

D. タップすると、原稿を再読み込みします。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合：**

  スキャンが開始され、USB フラッシュメモリーにスキャンしたデータが保存されます。

- **原稿台ガラスに原稿をセットした場合：**

  - 読取設定の［データ形式］で［JPEG］を選んだ場合は、スキャンが開始され、USB フラッシュメモリーにスキャンしたデータが保存されます。
  - 読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んだ場合は、スキャン終了後にスキャン続行の確認画面が表示されます。



続けてスキャンを行う場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンを開始してください。

スキャンを終了する場合は、［読取終了］をタップしてください。スキャンしたデータがひとつの PDF として USB フラッシュメモリーに保存されます。

連続してスキャンした場合は、最大 100 ページまでひとつの PDF ファイルとして保存することができます。

スキャン終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

参考

- 複数枚のページを連続してスキャンしている途中で、USB フラッシュメモリーの容量が不足した場合は、スキャン中のページは保存されません。
- USB フラッシュメモリーに保存されるスキャンデータは、PDF/JPEG 形式ともに、最大 2000 ファイルまで保存されます。
- USB フラッシュメモリーに保存されるスキャンデータのフォルダ名とファイル名は、以下のようになります。
  - フォルダー名（拡張子：PDF）:CANON_SC¥DOCUMENT¥0001
  - フォルダー名（拡張子：JPG）:CANON_SC¥IMAGE¥0001
  - ファイル名：SCN_0001 から連番
  - ファイルの日付：本製品に登録されている日付／時刻で保存されます。

    日付／時刻の設定については、以下を参照してください。

    ➡ 発信元情報を設定する

- USB フラッシュメモリーに保存したスキャンデータをパソコンで使用する

USB フラッシュメモリーに保存されたデータをパソコンで使用することができます。スキャン後は USB フラッシュメモリーをパソコンに接続してデータを取り込んでください。

スキャンしたデータをパソコンの共有フォルダーに転送する

スキャンしたデータをパソコンの共有フォルダーに転送する前に、次のことを確認してください。

- **MP ドライバーと Canon Quick Utility Toolbox（キヤノン・クイック・ユーティリティ・ツールボックス）がインストールされている（Windows）**

  MP ドライバーと Canon Quick Utility Toolbox がインストールされていない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページからインストールしてください。

- **スキャナードライバーと Canon Quick Utility Toolbox がインストールされている（Mac OS）**

  スキャナードライバーと Canon Quick Utility Toolbox がインストールされていない場合は、ウェブページからインストールしてください。

- **本製品とパソコンが LAN で正しく接続されている**

- **あらかじめ Canon Quick Utility Toolbox を使用して、転送先のフォルダーを登録している**

  転送先フォルダーを Canon Quick Utility Toolbox で登録することができます。Canon Quick Utility Toolbox での登録方法については、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 転送先フォルダーの設定

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ 転送先フォルダーの設定

  以下の手順でスキャンしたデータをパソコンの共有フォルダーに転送します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3.  ［転送先フォルダー］をタップする

   参考

   - 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用している製品の管理者にお問い合わせください。

4. ［フォルダー選択］画面から、転送先フォルダーをタップする

参考

- フォルダー登録時に PIN コードを設定している場合は、転送先として指定するときに PIN コードの入力画面が表示されます。設定した PIN コードを入力すると、パソコンの共有フォルダーを転送先として設定できます。

5. 必要に応じて設定する



A. タップして、原稿の種類を選びます。

文書

原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）にある原稿を、［読取設定］で設定した内容で、文書データとしてスキャンします。

写真

原稿台ガラスにある原稿を［読取設定］で設定した内容で、写真データとしてスキャンします。

B. タップすると、［読取設定］画面が表示されます。

設定項目については、以下を参照してください。

➡ スキャンするときの設定項目

C. タップすると、現在の読取設定をカスタム設定として登録することができます。

➡ よく使う設定を登録する（カスタム設定）

D. タップすると、保存／転送先を選択する画面が表示されます。

6. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

7. カラーでスキャンをする場合はカラーボタンを押す
白黒でスキャンをする場合はモノクロボタンを押す

参考

- 原稿のセット位置が正しくないとタッチスクリーンにメッセージが表示されます。読取設定に合わせて、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

◦ 読取設定の［プレビュー］で［ON］を選んでいる場合：

パソコンの共有フォルダーに転送する前に、プレビュー画面が表示されます。



A. スキャンする原稿のプレビュー画面が表示されます。

B. タップすると、プレビュー画像が回転します。

読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んでいる場合に表示されます。

C. タップすると、スキャンしたデータがパソコンの共有フォルダーに転送されます。

D. タップすると、原稿を再読み込みします。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合：**

  スキャンが開始されたあと、スキャンしたデータがパソコンの共有フォルダーに転送されます。

- **原稿台ガラスに原稿をセットした場合：**

  - 読取設定の［データ形式］で［JPEG］を選んだ場合は、スキャンが開始されたあと、スキャンしたデータがパソコンの共有フォルダーに転送されます。
  - 読取設定の［データ形式］で［PDF］または［高圧縮 PDF］を選んだ場合は、スキャン終了後にスキャン続行の確認画面が表示されます。



続けてスキャンを行う場合は、次の原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンを開始してください。

スキャンを終了する場合は、［読取終了］をタップしてください。スキャンしたデータがひとつの PDF としてパソコンの共有フォルダーに転送されます。

スキャンしたデータは、Canon Quick Utility Toolbox で登録したパソコンの共有フォルダーに転送されます。

スキャン終了後、原稿台ガラスまたは原稿排紙口から原稿を取り出してください。

スキャンしたデータを USB フラッシュメモリーから削除する

USB フラッシュメモリーに保存したスキャンデータを、本製品の操作パネルから削除することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［スキャン］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   保存／転送先を選択する画面が表示されます。

3. 削除したいデータの入った USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部にセットする

4.  ［USB メモリー］をタップする

   参考

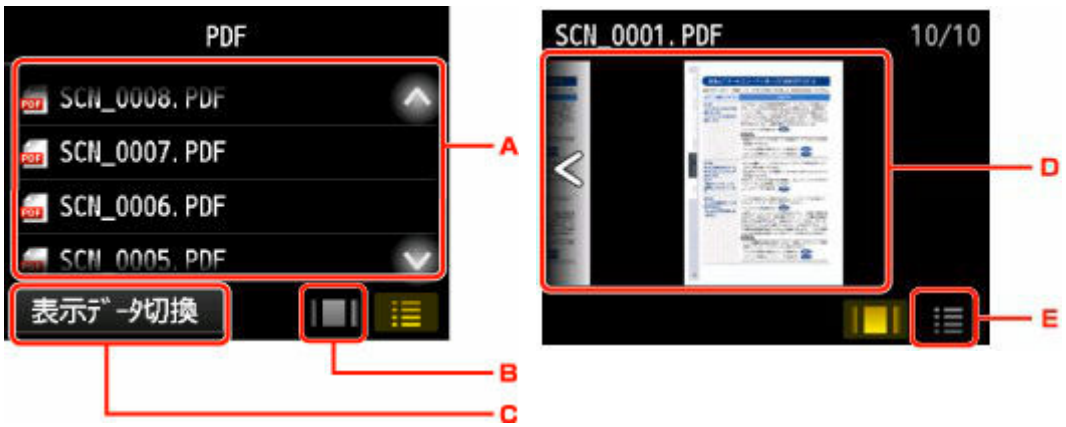
   - 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用している製品の管理者にお問い合わせください。

5.  ［保存データの削除］をタップする

   ファイル一覧が表示されます。

6. 削除したいデータを選ぶ

   ファイル名表示　　プレビュー表示



   A. 上下にフリックまたは  をタップしてファイル名を表示し、削除したいデータをタップします。

      表示するデータ形式が PDF の場合、プレビューに表示される画像は、最初の 1 ページ目のみです。

   B. タップして、プレビュー表示に切り換えます。

      表示するデータ形式が PDF の場合、プレビューに表示される画像は、最初の 1 ページ目のみです。

   C. タップすると、表示するデータの種類を切り替えることができます。

D. フリックしてデータを表示し、削除したいデータをタップします。

E. タップして、ファイル名表示に切り換えます。

7. 確認画面が表示されたら、[はい] をタップする

データの削除が開始されます。

スキャンするときの設定項目

スキャンするときの原稿サイズや、読取解像度、保存するファイルの種類などを設定できます。

スキャン待機画面で［読取設定］をタップして、設定項目を選びます。上下にフリックまたは  をタップして設定項目を表示し、設定項目をタップすると各設定が表示されます。設定をタップして指定します。

参考

- WSD（Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 および Windows Vista がサポートするネットワークプロトコルの一つ）を利用してスキャンしたデータをパソコンに転送する場合は、読み取り設定を変更できません。
- 保存／転送先によって、変更できる設定項目が異なります。ここでは、USB フラッシュメモリーに保存するときの設定項目について説明しています。

  変更できない設定項目はグレーアウト表示になります。
- 設定項目によっては、ほかの設定項目の設定や、原稿の種類、保存／転送先と組み合わせて指定できない設定があります。組み合わせて指定できない設定が選ばれている場合、タッチスクリーンに  と［エラー詳細］が表示されます。タッチスクリーン左上の  をタップしてメッセージを確認し、設定を変更してください。
- いったん指定した原稿サイズや、読取解像度、保存するファイルの種類などの設定（［ADF 原稿向き］と［ADF 両面読取設定］を除く）は、保存／転送先を変更する、または電源を入れ直しても保持されます。
- すでに読取設定を設定しているときに、その設定では読み取りできない保存／転送先に保存／転送しようとすると、タッチスクリーンに［現在の設定では、指定した機能を実行できません］というメッセージが表示されます。メッセージに従って、設定を変更してください。
- パソコンからスキャンする場合の設定項目、方法については以下を参照してください。
  - Windows をご使用の場合：
    - スキャン設定ダイアログボックス
    - IJ Scan Utility でスキャンする
  - Mac OS をご使用の場合：
    - スキャン設定ダイアログ
    - IJ Scan Utility でスキャンする



1. 読取サイズ

   セットした原稿のサイズを選びます。

2. データ形式

   スキャンする画像のデータ形式を選びます。

3. 解像度

必要に応じてデータの解像度を選びます。

4. プレビュー

USB フラッシュメモリーに保存するときや、パソコンの共有フォルダーに転送するときに、スキャンデータのプレビューをする／しないを選びます。

5. ADF 原稿向き

スキャンする原稿の向きを選びます。

この設定項目は［原稿種類］で［写真］が選ばれている場合には表示されません。

6. ADF 両面読取設定

ADF（自動原稿給紙装置）の読取方法を設定します。［両面読取］に設定した場合は、［詳細設定］をタップして原稿のとじ方向を設定することができます。

この設定項目は［原稿種類］で［写真］が選ばれている場合には表示されません。

7. 原稿の裏写り低減

新聞などの薄い印刷物をスキャンすると、裏側の文字が透けることがあります。スキャンした文書を確認して裏写りが気になるときは［ON］に設定します。

この設定項目は［原稿種類］で［写真］が選ばれている場合には表示されません。

8. モアレ低減

印刷物は細かな点の集まりで文字やグラフなどを表現しています。モアレとは、この点と点の干渉によって濃淡のむらや縞模様が出る現象です。スキャンした文書を確認してモアレがあるときは［ON］に設定します。

この設定項目は［原稿種類］で［写真］が選ばれている場合には表示されません。

参考

- この設定が［ON］になっていても、［輪郭強調］が［ON］になっていると、モアレが残ることがあります。この場合は［輪郭強調］を［OFF］にしてください。

9. 輪郭強調

文字の輪郭や写真の髪の毛、樹の葉などの細かいものの輪郭を強調します。スキャンした画像や文書を確認して、強調するときは［ON］に設定します。

IJ Scan Utility で本製品の操作パネルの動作設定をする（Windows）

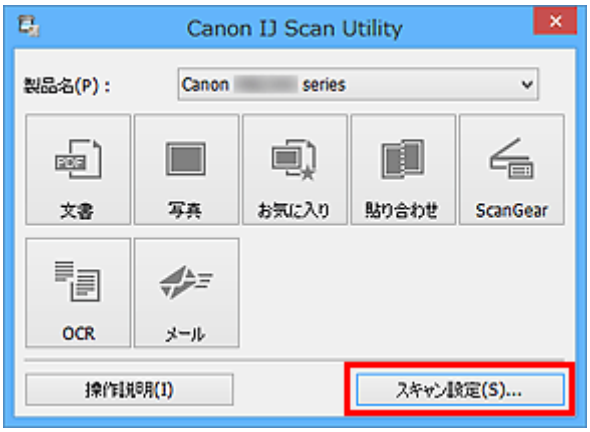
操作パネルからスキャンするときの動作を、IJ Scan Utility で設定することができます。

参考

- 操作パネルから写真をスキャンするときに表示される画面を例に説明しています。

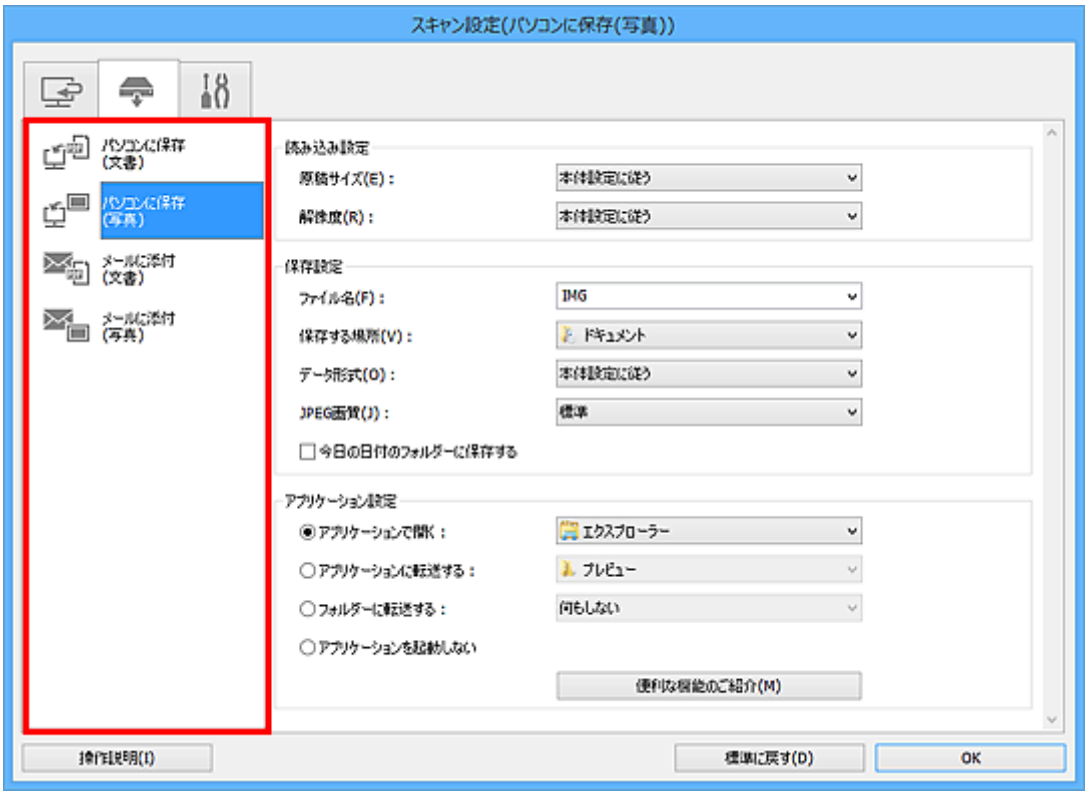
1. IJ Scan Utility を起動

2. ［スキャン設定...］をクリック



スキャン設定ダイアログボックスが表示されます。

3. （操作パネルからスキャン）シートで、スキャンモードを選択

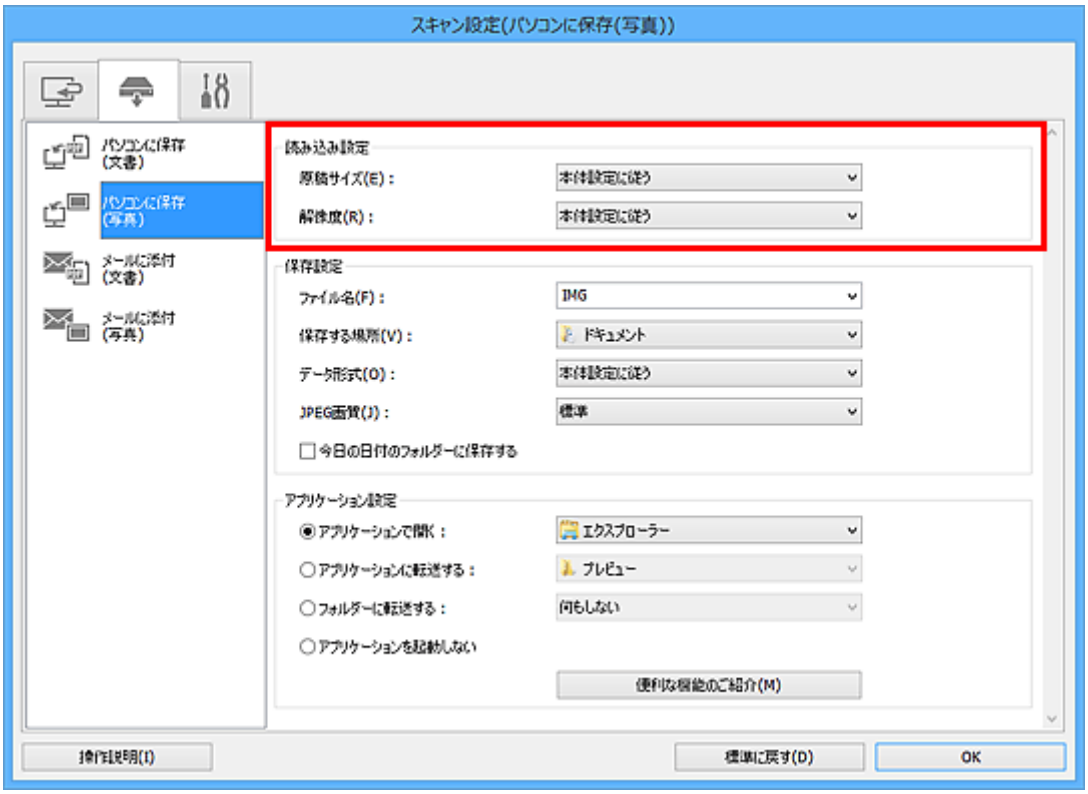


参考

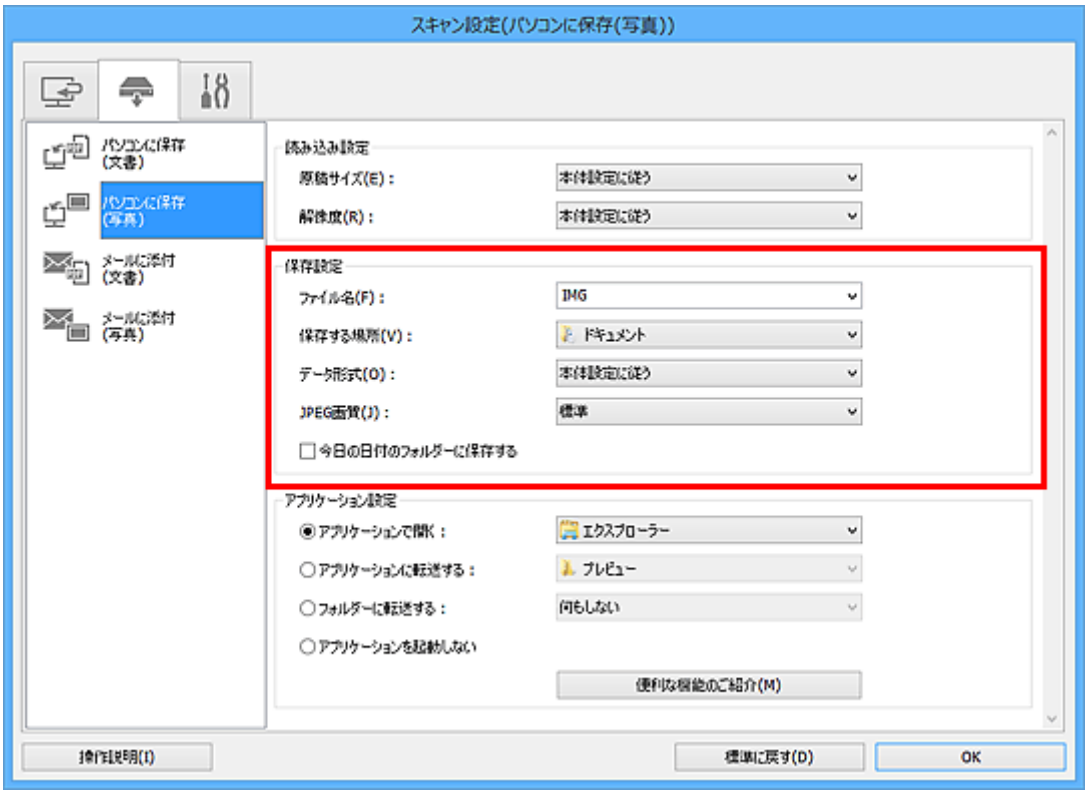
- 詳しくは、以下を参照してください。
  - ➡ ［スキャン設定(パソコンに保存(文書))］ダイアログボックス

- [スキャン設定(パソコンに保存(写真))］ダイアログボックス
- [スキャン設定(メールに添付(文書))］ダイアログボックス
- [スキャン設定(メールに添付(写真))］ダイアログボックス

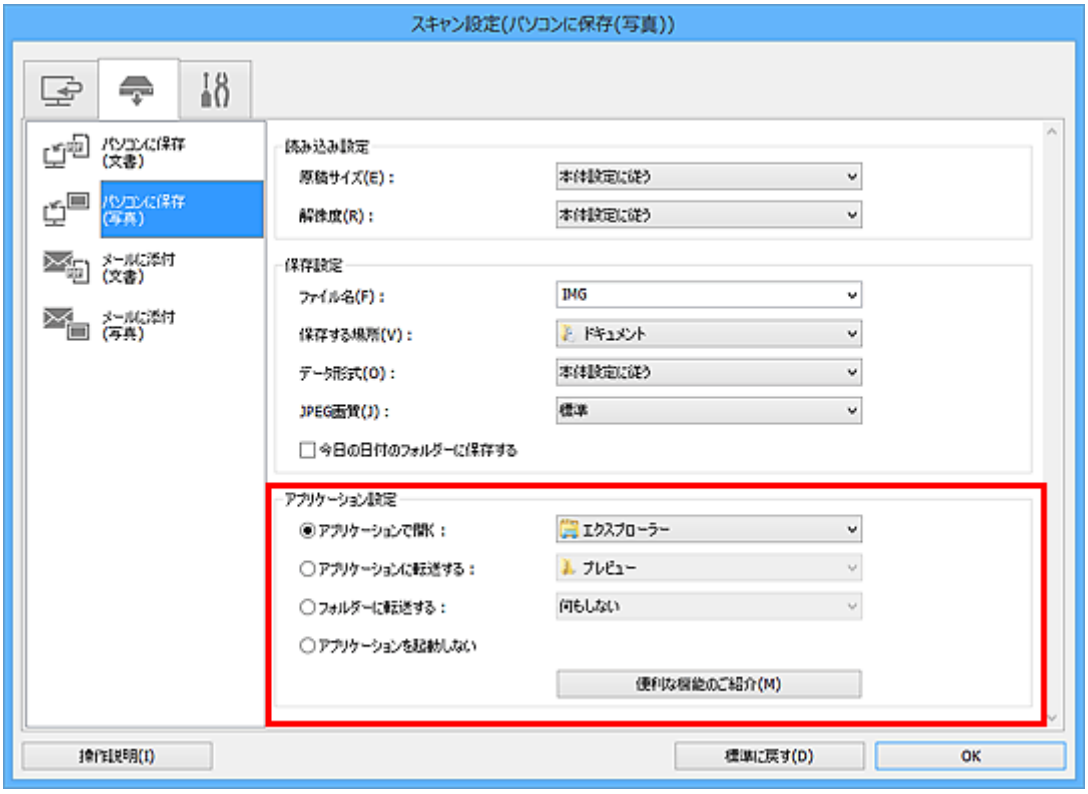
4. ［読み込み設定］を設定



5. ［保存設定］でファイル名などを設定



6. ［アプリケーション設定］で、スキャン後に起動したいアプリケーションを選択



7. ［OK］をクリック

操作パネルからスキャンを開始したとき、設定した内容で動作が実行されます。

スマートフォン／タブレットを使ってスキャンしてみよう

本製品は、以下のスキャン機能に対応しています。

PIXUS/MAXIFY クラウドリンク

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクは、キヤノンが提供するウェブサービスです。さまざまなクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずにデータ保管サービスにスキャンした画像を保存できます。

➡ PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する

PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用すれば、CANON iMAGE GATEWAY や Evernote、Twitter などのクラウドサービスと連携して、パソコンを使わずに以下の機能がご利用になれます。

- 写真共有サービスの画像を印刷
- データ保管サービスのドキュメントを印刷
- データ保管サービスにスキャンした画像を保存する
- 紙なしやインク残量が少ないときなどプリンターの状態を Twitter でお知らせ

さらに各種クラウドサービスと連携したアプリを追加で登録することで、さまざまな機能を使用できます。

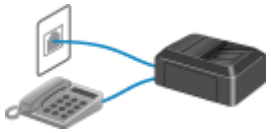
- プリンターから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
- スマートフォン・タブレット・パソコンから PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する



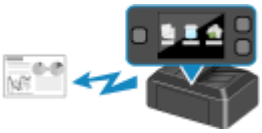
重要

- 国または地域によっては、PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。
- 一部のアプリでは、ご使用の前にサービスのアカウントが必要になることがあります。その場合は、事前にアカウントを取得してください。
- PIXUS/MAXIFY クラウドリンクの対象機種は、キヤノンホームページでご確認ください。
- 画面表示は、予告なく変更になる可能性があります。

ファクス



ファクスの準備をする



本製品の操作パネルを使ってファクスを送信してみよう



送信先を登録してみよう



ファクスを受信する



そのほかの便利なファクス機能



パソコンからファクスを送信する（Windows）



パソコンからファクスを送信する（Mac OS）

ファクスの準備をする

本製品のファクス機能をご使用になる前に、電話回線の接続や使用方法に合わせた設定を行います。また、本製品に発信元情報や日付／時刻を設定します。

重要

- 電源が切れたとき

  セットアップ中や各設定を行ったあと、停電で本製品の電源が切れたときや、誤って電源プラグをコンセントから抜いてしまった場合は、設定がリセットされます。

  - ユーザー情報や電話帳の設定は保持されます。
  - 未送信のファクスや受信したファクスなど、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

  電源が切れていると、次のような状態になります。

  - ファクスの送受信やコピー、スキャンはできません。
  - 電話機を接続している場合、電話がご利用できるかは、ご契約の電話回線や電話機により異なります。

本製品のセットアップを行う

電話回線や使用方法に合わせて、本製品のセットアップを行います。以下の手順に沿って、セットアップを行ってください。

1. 電話回線を接続する
2. 回線種別を設定する
3. 受信モードを設定する

参考

- ファクスのセットアップはタッチスクリーンに表示される案内に沿って行うこともできます。

  ➡ かんたんセットアップ

ファクスの基本的な設定をする

➡ 発信元情報を設定する

電話回線を接続する

接続方法はご使用の電話回線によって異なります。

- 本製品を設置する部屋の壁の電話回線に直接接続する場合／ADSL スプリッターを使って接続する場合：

  ➡ 基本的な接続方法について

- 光回線や ADSL 回線など、他の回線と接続する場合：

  ➡ さまざまな回線に接続する

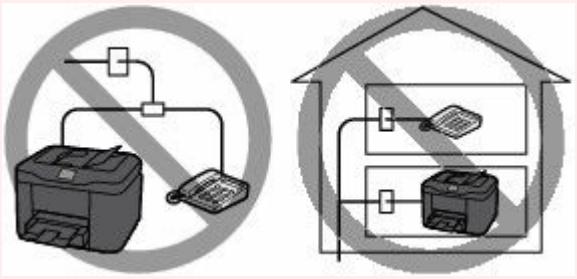
誤った接続ではファクスの送受信ができませんので、正しく接続してください。

重要

- 電話線分配器を使用してブランチ接続（並列接続）はしないでください。

  1 つの電話回線に複数台のファクス／電話機をつなぐブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

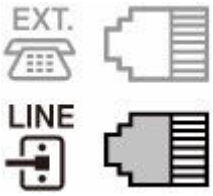
  - ファクスを受信しているときに、ブランチ接続（並列接続）している電話機の受話器を上げると、送受信中のファクスの画像が乱れたり、通信エラーが起こる場合があります。
  - 電話機能の発信者番号通知サービスなどが正常に動作しない場合があります。

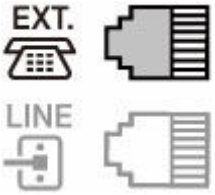
  やむを得ずブランチ接続（並列接続）をする場合は、上記の内容をよくご理解頂いた上で、受信モードを［電話優先モード］に設定してご使用ください。ファクスを受信する場合は、手動受信のみ可能です。

基本的な接続方法について

本製品の電源が切れていることを確認し、付属のモジュラーケーブルを本製品の電話回線接続部（「LINE」と表示されている差し口）と、壁側のモジュラージャックまたは ADSL スプリッターの電話用ジャックに接続してください。



本製品と電話機（留守番電話など）を接続するときは、本製品の電源が切れていることを確認し、モジュラーケーブルで本製品の外付け機器接続部（「EXT.」と表示されている差し口）と、電話機を接続してください。



重要

- 電話回線は、かならず本製品の電源を入れる前に接続してください。

  本製品の電源が入っているときに電話回線を接続した場合は、いったん本製品の電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。1 分以上待ってから、電話回線を接続し、電源プラグを差してください。

参考

- 本製品の電話回線接続部や外付け機器接続部の位置については、「背面」を参照してください。
- 電話機を接続する場合は、本製品の外付け機器接続部のキャップを取り外してから接続してください。
- 電話回線がつながったか、117（時報）に電話して確認することをお勧めします。ただし、117 への通話料はお客様のご負担になります。回線がつながらない場合は、回線種別（ダイヤル回線／プッシュ回線）が正しく判別されていない可能性があります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。

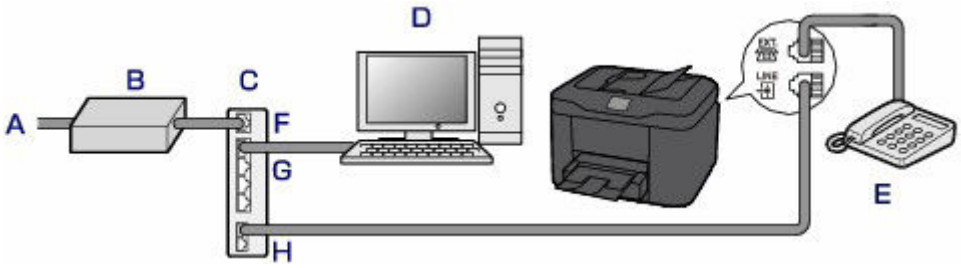
  ➡ 回線種別を設定する

さまざまな回線に接続する

ここでは、光回線や ADSL 回線など、さまざまな回線との接続方法について紹介します。

ここで紹介する接続方法は代表例です。すべての接続を保証するものではありません。詳しくは、本製品と接続するネットワーク機器（xDSL（Digital Subscriber Line）モデムやターミナルアダプターなどの制御装置）に付属している取扱説明書を参照してください。

- **光回線（ひかり電話）に接続する**



A. 光回線

B. 光回線終端装置

C. IP 電話対応ブロードバンドルーター

D. パソコン

E. 電話機（留守番電話機）

F. WAN ポート

G. LAN ポート

H. TEL ポート

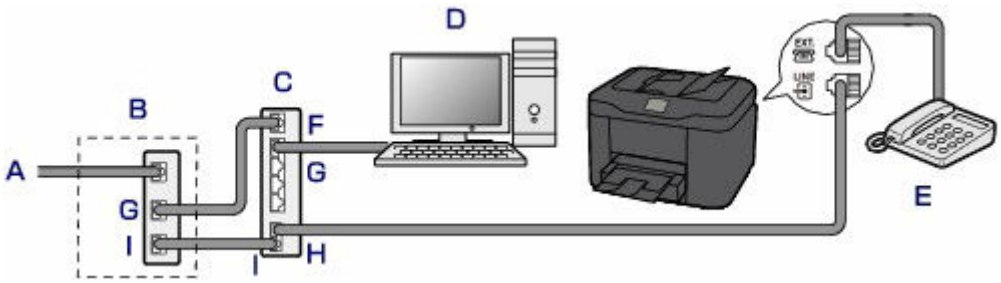
※接続ポートの構成や名称などは、商品により異なります。

参考

- 光回線（光電話）に接続するときは、回線種別としてプッシュ回線（トーン）を選んでください。

  ➡ 回線種別を設定する

- **IP 電話に接続する**



A. ADSL 回線

B. ADSL モデム

C. IP 電話対応ブロードバンドルーター

D. パソコン

E. 電話機（留守番電話機）

F. WAN ポート

G. LAN ポート

H. TEL ポート

I. LINE ポート

※ADSL モデムはスプリッターと本体が分かれているものもあります。

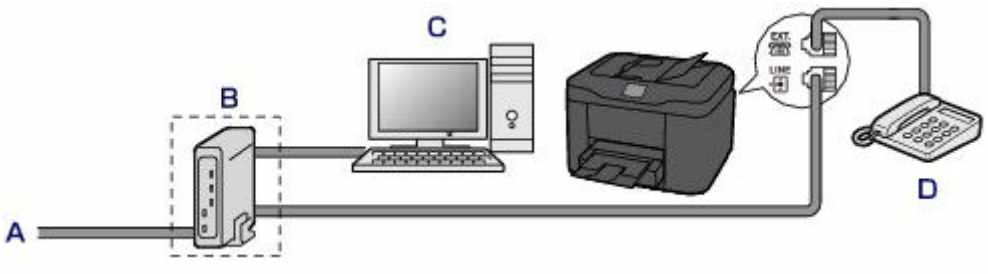
※接続ポートの構成や名称などは、商品により異なります。

参考

- ADSL 回線に接続するときは、回線種別でご契約のタイプと同じタイプ（プッシュ回線／ダイヤル回線 20PPS／ダイヤル回線 10PPS のいずれか）の回線を設定してください。

  回線種別を設定する

- **ADSL 回線に接続する**



A. ADSL 回線

B. ADSL モデム

C. パソコン

D. 電話機（留守番電話機）

※ADSL モデムはスプリッターと本体が分かれているものもあります。

重要

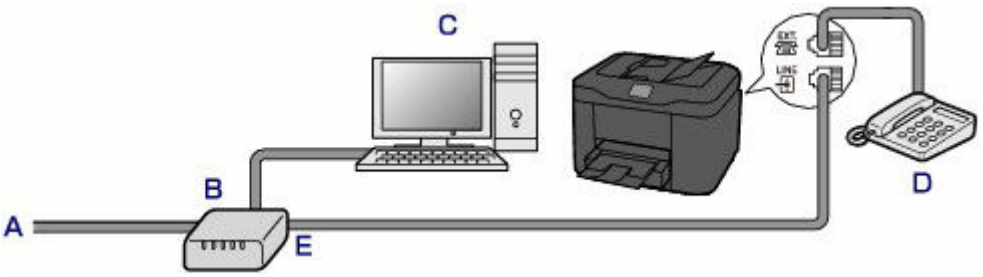
- ADSL モデムとスプリッターが分かれている場合、スプリッターより前（壁側）で電話線を分岐しないでください。また、スプリッターを複数並列接続する場合は、ご使用のインターネット・プロバイダーの窓口にお問い合わせください。

参考

- ADSL 回線に接続するときは、回線種別でご契約のタイプと同じタイプ（プッシュ回線／ダイヤル回線 20PPS／ダイヤル回線 10PPS のいずれか）の回線を設定してください。

  回線種別を設定する

- **ISDN 回線に接続する**



A. ISDN 回線

B. ターミナルアダプターなど

C. パソコン

D. 電話機（留守番電話機）

E. アナログポート

参考

- ISDN 回線に接続するときは、回線種別をターミナルアダプターのアナログポートの設定に合わせてください。一般的には、プッシュ回線（トーン）を選びます。

回線種別を設定する

本製品に電源コードを接続して電源を入れると、回線種別（ダイヤル回線／プッシュ回線）が自動的に判別されます。ただし、ADSL 回線、光回線、PBX（構内電話交換機）などの制御装置に接続している場合、正しく判別されないことがあります。

この場合は、手動で回線種別を設定してください。

➡ 回線種別を手動で設定する

参考

- 接続する回線によって、設定する回線種別の設定が異なります。

  接続する回線別の設定については、以下を参照してください。

  ➡ さまざまな回線に接続する
- 現在の回線種別の設定は、ユーザーデータリストを印刷して確認することができます。

  ➡ 印刷できるレポートとリスト

回線種別を手動で設定する

ここでは、手動で回線種別を設定するときの操作手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［ファクス設定］をタップする
5. ［ファクスの基本設定］をタップする
6. ［回線種別自動判別］をタップする

   現在の回線種別の設定が表示されます。
7. 現在の回線種別の設定を確認し、［OK］をタップする

   参考

   - 回線種別の設定を変更する必要がない場合は、ホームボタンを押してください。ホーム画面に戻ります。
8. ［しない］をタップする
9. 設定したい回線種別をタップする



[ダイヤル回線]

ご加入の電話回線がダイヤル式（パルス式）の場合に選びます。

ダイヤル速度を選ぶ画面が表示されますので、[20 PPS]または[10 PPS]を選んでください。

[プッシュ回線]

ご加入の電話回線がプッシュ式（トーン式）の場合に選びます。

プッシュ式（トーン式）の回線では、ダイヤルするときに「ピポパ」という音（トーン信号）が鳴ります。

受信モードを設定する

ファクスを受信したときの動作（受信モード）を設定します。

受信モードの設定のしかたについては、以下を参照してください。

➡ 受信モードを設定する

受信モードは、ご利用形態に合わせて選べます。

選べる受信モードについては、以下を参照してください。

➡ 受信モードの紹介

受信モードの詳細設定については、以下を参照してください。

➡ 受信モードの詳細設定

参考

- ファクスを受信したときの操作は、設定した受信モードによって異なります。

  ファクスを受信したときの操作については、以下を参照してください。

  ➡ ファクスを受信する
- 1 つの回線をファクスと電話で共用したい場合は、本製品と電話機（留守番電話など）を接続する必要があります。

  本製品と電話機を接続する方法については、以下を参照してください。

  ➡ 基本的な接続方法について

受信モードを設定する

ここでは、受信モードを設定するときの操作手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた
3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。
4. ［受信モード設定］をタップする
5. 受信モードをタップし、［OK］をタップする

   参考

   - ［詳細設定］をタップすると、詳細な設定を行うことができます。

     詳細設定については、以下を参照してください。

     ➡ 受信モードの詳細設定
   - 受信モードについては、以下を参照してください。

     ➡ 受信モードの紹介

- それぞれの受信モードでファクスを受信したときの操作手順については、「ファクスを受信する」を参照してください。

受信モードの紹介

受信モードは、ファクス専用の回線につなぐかなど、ご利用の形態に合わせて選べます。

受信モード	ご利用の形態	ファクス受信時の動作
電話優先モード	主に電話を使う （留守番電話を使う）	着信時に外付け電話機が鳴ります。 受話器を上げます。 相手が電話の場合は、通話をします。 相手がファクスの場合は、受信が始まったら受話器を置きます。 **参考** • 電話機を本製品に接続しても、電話機の種類や設定によっては、着信時に電話機の呼び出し音が鳴らない場合があります。
ファクス専用モード	ファクス専用で使用する	ファクスが送られてきたら、自動的に受信します。

受信モードの詳細設定

それぞれの受信モードで、詳細な設定をすることができます。

- **電話優先モードの詳細設定**

  以下の設定項目があります。

  ◦ 自動受信切換：する／自動受信切換：しない

  ［自動受信切換：する］を選ぶと、一定の時間呼び出し音を鳴らしたあとに自動的にファクスを受信します。

  自動受信を開始するまでの時間を指定できます。

  ◦ 受信開始時間

  ［自動受信切換：する］を選んだときの、自動受信を開始するまでの時間を指定します。時間を指定して、［OK］をタップしてください。

  ◦ 親切受信：する／親切受信：しない

  ［親切受信：する］を選ぶと、受話器を上げるか、留守番電話機が応答したときに、ファクス信号（CNG 信号）を検出すると、自動的にファクスの受信に切り替わります。留守番電話機を本製品に接続している場合で、留守番電話機が応答したあと、自動的にファクスの受信に切り替えたいときなどに設定してください。

  ［親切受信：しない］を選ぶと、ファクス信号（CNG 信号）を検出しても、自動的にファクスの受信には切り替わりません。通話中に自動的にファクスの受信に切り替わらないようにしたいときに設定してください。

- **ファクス専用モードの詳細設定**

  以下の設定項目があります。

  ◦ 呼び出し回数

  着信時の外付け電話機の呼び出し回数を指定します。

回数を指定して、［OK］をタップしてください。

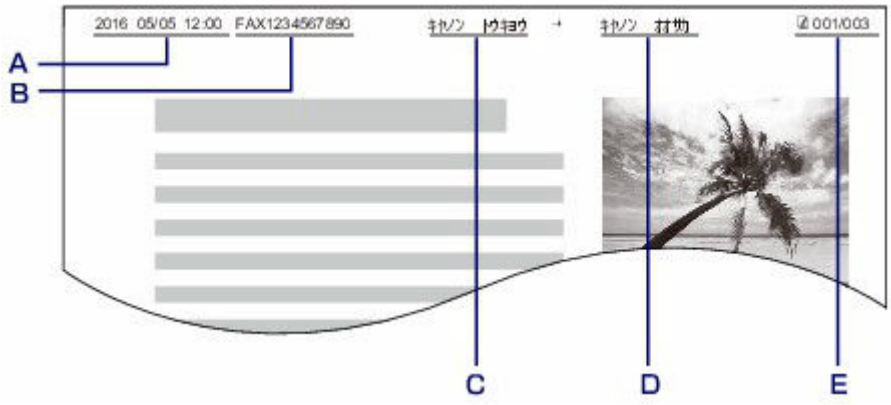
発信元情報を設定する

ユーザー情報や日付／時刻など、送信したファクスに表示される発信元情報を設定します。

- 発信元情報について
- 日付と時刻を設定する
- ユーザー情報を設定する

発信元情報について

ユーザー名やご使用のファクス／電話番号を登録しておくと、ファクス送信時に相手先の記録用紙に発信元情報として日付や時刻とともに印刷されます。



A. 送信した日付と時刻

B. ユーザーのファクス／電話番号

C. ユーザー名

D. 登録されている相手先の名前が印刷されます。

E. ページ番号

参考

- 登録した発信元情報は、ユーザーデータリストを印刷して確認することができます。

  印刷できるレポートとリスト

- 白黒ファクスの送信時に、発信元情報を画像領域の内側と外側のどちらに表示させるかを選ぶことができます。

  ［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［発信元記録位置］で設定します。

  ファクスの詳細設定

- 日付の表示は［年／月／日］、［月／日／年］、［日／月／年］の 3 つの形式から選ぶことができます。

  ［本体の基本設定］の［日付表示形式］で設定します。

  本体の基本設定

日付と時刻を設定する

ここでは、日付と時刻を設定するときの操作手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

➡ 操作パネルの使いかた

3.  ［本体設定］をタップする

4. ［本体の基本設定］をタップする

5. ［日付/時刻設定］をタップする

6. 日付を設定する

1. 変更したい項目をタップします。



2. 数字をタップして、入力します。



西暦は下 2 桁を入力してください。

3. ［OK］をタップします。

4. 設定が完了したら、再度［OK］をタップします。

7. 時刻を設定する

1. 変更したい項目をタップします。



2. 数字をタップして、入力します。



時間は 24 時間表示で設定します。

3. ［OK］をタップします。
4. 設定が完了したら、再度［OK］をタップします。

8. ホームボタンを押して、ホーム画面に戻る

ユーザー情報を設定する

ここでは、ユーザー情報を設定するときの操作手順について説明します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［ファクス設定］をタップする
5. ［ファクスの基本設定］をタップする
6. ［ユーザー情報設定］をタップする

   ユーザー名とユーザー電話番号を登録する画面が表示されます。



7. ユーザー名を入力する

1. ［ユーザー名］の入力欄をタップします。

   文字入力画面が表示されます。

2. ユーザー名を入力します。



3. ［OK］をタップします。

参考

- 名前はスペースを含む最大 24 文字まで入力できます。
- 文字を入力する方法や消去する方法については、以下を参照してください。

  ➡ 文字や数字を入力する

8. ファクス／電話番号を入力する

1. ［ユーザー電話番号］の入力欄をタップします。

   番号入力画面が表示されます。

2. ファクス／電話番号を入力します。



3. ［OK］をタップします。

参考

- ファクス／電話番号はスペースを含む最大 20 桁まで入力できます。
- 文字を入力する方法や消去する方法については、以下を参照してください。

  文字や数字を入力する

9. ［登録］をタップして、登録を終了する

本製品の操作パネルを使ってファクスを送信してみよう

- ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する
- リダイヤル機能を使って送信する
- ファクスを送信するときの設定項目
- 便利な送信機能を使う

ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

ここでは送信先のファクス／電話番号をダイヤルして、原稿を送信する方法について説明します。

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

  ➡ 送信先の状況を確認してから送信する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

   参考

   - 送信できる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、以下を参照してください。

     ➡ 原稿をセットする

3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。



A. 受信モード

現在、設定している受信モードが表示されます。

B. 日付と時刻

日付と時刻が表示されます。

C. ファクス／電話番号入力欄

タップすると、ファクス／電話番号入力画面が表示されます。

D. 機能一覧

ファクスに関する各機能を利用、設定できます。

E. リダイヤル

リダイヤルでファクスを送信するときにタップします。

➡ リダイヤル機能を使って送信する

F. オンフック

オンフック機能を使ってファクスを送信するときにタップします。

➡ オンフック機能を使う

G. 電話帳

登録している電話番号を選べます。

➡ 登録した送信先に送信する

H. 現在の状況

現在の状況が表示されます。

I. 送信設定

➡ ファクスを送信するときの設定項目

参考

- ファクスを送受信するための各設定を行っていない場合は、初めて［ファクス］をタップしたときに、セットアップの案内画面が表示されます。セットアップを行うときは、表示されるメッセージに従って操作を行ってください。

4. 送信先のファクス／電話番号をダイヤルする

1. ファクス／電話番号入力欄をタップします。



2. ファクス／電話番号を入力します。



A. テンキー

番号を入力します。

B. ［ポーズ］

"P"（ポーズ）を入力します。

C. 削除

入力した番号を削除します。

D. スペース

スペースを入力します。

3. ［OK］をタップします。



ファクス待機画面に戻ります。



参考

- ［カスタム登録］をタップすると、現在指定している設定をカスタム設定として登録することができます。

  よく使う設定を登録する（カスタム設定）

5. カラーファクスを送信する場合はカラーボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロボタンを押す

原稿の読み取りが開始されます。

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。
- 読み取り中は原稿台カバーを開けないでください。

6. 送信を開始する

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットした場合：**

  読み取りを終了した原稿から、自動的に送信を開始します。

  参考

  - 送信を中止するときは、ストップボタンを押します。送信中のときはストップボタンを押し、タッチスクリーンの表示に従ってください。
  - 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています　[OK]をタップすると、原稿を排出します］と表示されます。［OK］をタップすると、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

- **原稿台ガラスに原稿をセットした場合：**

  原稿の読み取りが終了するごとに、次の原稿をセットするかを確認する画面が表示されます。

  1 枚の原稿のみを送信するときは、［このまま送信］をタップすると送信を開始します。

  原稿が複数枚の場合は、メッセージに従って次の原稿をセットしてから［読取開始］をタップします。すべての原稿を読み取ったあと［このまま送信］をタップすると送信が始まります。

  参考

  - 送信を中止するときは、ストップボタンを押します。

参考

- 本製品を PBX（構内電話交換機）などに接続しているときは、それぞれの操作方法に従って、送信先のファクス／電話番号をダイヤルしてください。
- 送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときに、間隔をあけて自動的にリダイヤルする機能があります。お買い上げ時は自動リダイヤルする設定になっています。

  ➡ 自動リダイヤル
- リダイヤル中などで送信が完了していない原稿は本製品のメモリーに保存されます。ただし、送信エラーになった場合は保存されません。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて
- すべての原稿が送信されるまで、電源プラグは抜かないでください。電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されている未送信の原稿は削除されます。

リダイヤル機能を使って送信する

リダイヤルする方法には、自動リダイヤルと手動リダイヤルの 2 つがあります。

- 自動リダイヤル

  送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときは、間隔をあけて自動的にリダイヤルします。

  ➡ 自動リダイヤル

- 手動リダイヤル

  番号入力してダイヤルしたファクス／電話番号にリダイヤルすることができます。

  ➡ 手動リダイヤル

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

  ➡ 送信先の状況を確認してから送信する

参考

- お買い上げ時は自動リダイヤルをする設定になっています。
- ファクスを送信するときの基本的な操作については、以下を参照してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

自動リダイヤル

自動リダイヤルをするか、また自動リダイヤルをするときの回数や間隔を設定できます。

設定は、［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［自動リダイヤル］で行ってください。

➡ ファクスの詳細設定

重要

- 自動リダイヤル中のファクスは、送信が完了するまで一時的に本製品のメモリーに保存されています。自動リダイヤルでの送信が完了する前に、停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去され、送信されません。

参考

- 自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたあと、ストップボタンを押してください。
- 自動リダイヤルを取り消す場合は、自動リダイヤルの待機中に送信が完了していないファクスを本製品のメモリーから削除してください。詳しくは、「本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する」を参照してください。

手動リダイヤル

以下の手順で、手動リダイヤルを行います。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする

3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

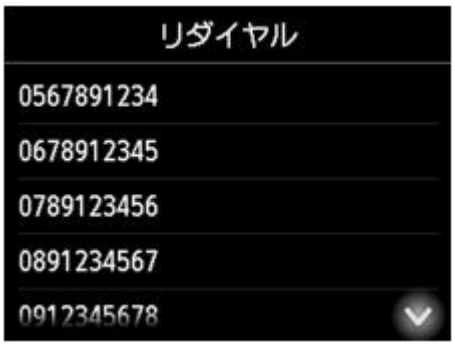
   ファクス待機画面が表示されます。

4. 必要に応じて、送信設定を変更する

   ➡ ファクスを送信するときの設定項目

5. ［リダイヤル］をタップする

   ［リダイヤル］画面が表示されます。



6. リダイヤルする送信先番号をタップする

7. カラーファクスを送信する場合はカラーボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロボタンを押す

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。

参考

- 手動リダイヤルでは、番号入力してダイヤルした最近 10 件までの送信先が記憶されています。登録した送信先やリダイヤルのダイヤル履歴は記憶されません。
- 手動リダイヤルを中止するときは、ストップボタンを押します。送信中のときはストップボタンを押し、タッチスクリーンの表示に従ってください。
- 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています　[OK]をタップすると、原稿を排出します］と表示されます。［OK］をタップすると、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

ファクスを送信するときの設定項目

ファクス待機画面で、読取画質や読取濃度など、ファクスを送信するときの設定を変更できます。



タップして、送信設定を変更します。

- ［読取画質］

  以下の読取画質が選べます。

  ［標準］
  文字だけの原稿に適しています。

  ［ファイン］
  細かい文字の原稿に適しています。

  ［ファイン EX］
  詳細なイラストや細かい文字の入った原稿に適しています。

  送信先のファクス機が［ファイン EX］（300×300 dpi）に対応していない場合は、［標準］または［ファイン］の解像度でファクスを送信します。

  ［写真］
  写真の原稿に適しています。

  参考

  - カラーファクスを送信する場合は、すべて同じ解像度（200×200 dpi）で読み取られ、設定した読取画質により、画質（圧縮率）が異なります。ただし、［ファイン EX］と［写真］は同じ画質になります。

- ［読取濃度］

  ［薄く］、［標準］、［濃く］の 3 つから選べます。

- ［ADF 両面読取］

  ADF（自動原稿給紙装置）にセットした原稿の読取方法を選びます。

  参考

  - ［両面読取］に設定しファクスを送信した後は、自動的に［片面読取］の設定に戻ります。

設定を完了した後［OK］をタップすると、ファクス待機画面に戻ります。

便利な送信機能を使う

- 送信先の状況を確認してから送信する
- 登録した送信先に送信する
- 複数の相手に一度に送信する（同報送信）
- 誤送信防止機能を使う
- オンフック機能を使う

送信先の状況を確認してから送信する

ファクスを送信する前に相手と通話をしたいときや、相手が自動的にファクスに切り替わらないファクス機を使っているときは、送信先がファクスを受信できるかを確認してから手動で送信します。

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。以下の手順に従って、手動でファクスを送信してください。
- ファクスを手動で送信する場合は、原稿台ガラスに原稿をセットできません。ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

  原稿台ガラスに原稿をセットする場合は、自動でファクスを送信してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する
- ファクスを送信する前に相手と通話をしたいときは、本製品に電話機を接続する必要があります。

  電話機を接続する方法については、以下を参照してください。

  ➡ 基本的な接続方法について

参考

- ファクスを送信するときの基本的な操作については、以下を参照してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. 必要に応じて、送信設定を変更する

   ➡ ファクスを送信するときの設定項目
5. 本製品と接続している電話機の受話器を取る
6. 送信先のファクス／電話番号を電話機でダイヤルする
7. 送信先と通話をする

   もし、送信先の声ではなく、ピーという音が聞こえた場合、送信先が確認できません。送信を止めるときは、受話器を戻して終了します。ファクスを送信するときは、手順 8 に進みます。
8. 送信先に、ファクスを受信する操作をしてもらう
9. ピーという音が聞こえたら、カラーボタンまたはモノクロボタンを押す

カラーファクスを送信する場合はカラーボタンを、白黒ファクスを送信する場合はモノクロボタンを押します。

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。

10. 受話器を置く

参考

- 送信を中止するときは、ストップボタンを押します。送信中のときはストップボタンを押し、タッチスクリーンの表示に従ってください。
- 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています　[OK]をタップすると、原稿を排出します］と表示されます。［OK］をタップすると、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

登録した送信先に送信する

登録した送信先を利用して、かんたんな操作でファクスを送信することができます。

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

  ➡ 送信先の状況を確認してから送信する

参考

- ファクスを送信するときの基本的な操作については、以下を参照してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. 必要に応じて、送信設定を変更する

   ➡ ファクスを送信するときの設定項目
5. ［電話帳］をタップする

   登録した送信先を選ぶ画面が表示されます。
6. 登録した送信先を選ぶ

名前順表示



ID 番号順表示



A. タップすると、名前順表示／ID 番号順表示が切り換わります。

B. タップすると、名前の先頭文字を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を名前の先頭文字で検索できます。



名前の先頭文字を選ぶと、選んだ文字順に送信先が表示されます。

C. タップすると、登録した送信先の ID 番号を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を ID 番号で検索できます。



ID 番号を入力して［OK］をタップすると、入力した ID 番号の送信先から表示されます。

D. タップすると、新規の宛先やグループダイヤルを登録できます。

- 送信先の電話番号を登録する
- グループダイヤルに登録する

E. タップして送信先を選びます。

7. 選んだ送信先の操作として、［ファクスを送信］をタップする

ファクス待機画面に戻ります。

参考

- 選んだ送信先を編集または削除することもできます。
  - 登録した情報を変更する
  - 登録した情報を削除する

8. カラーファクスを送信する場合はカラーボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロボタンを押す

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。

参考

- 送信を中止するときは、ストップボタンを押します。送信中のときはストップボタンを押し、タッチスクリーンの表示に従ってください。

- 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています　[OK]をタップすると、原稿を排出します］と表示されます。［OK］をタップすると、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。
- 送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときに、間隔をあけて自動的にリダイヤルする機能があります。お買い上げ時は自動リダイヤルする設定になっています。

  ➡ 自動リダイヤル

  自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたらストップボタンを押してください。

複数の相手に一度に送信する（同報送信）

同じ原稿を複数の相手（最大 101 件）に送信するための予約を一度に行うことができます。送信先はファクス／電話番号の入力や、本製品に登録している送信先（個別の登録番号またはグループダイヤル）のファクス／電話番号などを組み合わせて指定します。

同報送信で指定できる送信先番号の件数は以下のとおりです。

- 本製品に登録している送信先：

  最大 100 件まで（個別の登録番号とグループダイヤルを合わせて）

- ファクス／電話番号の入力または発信履歴からの番号選択：

  1 件

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認して 1 件ずつ原稿を送信することをお勧めします。

  ➡ 送信先の状況を確認してから送信する

参考

- 複数の送信先に同じ原稿を頻繁に送るようなときは、送信先番号を 1 つのグループとして登録しておくと便利です。このグループダイヤルを使うと、かんたんなキー操作で、グループ内のすべての送信先に一度に原稿を送ることができます。

  ➡ グループダイヤルに登録する

- ファクスを送信するときの基本的な操作については、以下を参照してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. 必要に応じて、送信設定を変更する

   ➡ ファクスを送信するときの設定項目
5. 1 件目の送信先を指定する



以下のいずれかの方法で 1 件目の送信先を指定します。

- 本製品に登録している送信先を指定する：

  ［電話帳］をタップして、登録している送信先を選びます。

  ➡ 登録した送信先に送信する

- ファクス／電話番号を入力する：

  ファクス／電話番号入力欄をタップして、ファクス／電話番号を入力します。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

  参考

  - ［ファクス設定］の［あんしん通信管理］にある［FAX 番号確認入力］を［する］に設定している場合は、ファクス／電話番号を再入力してください。

    ➡ あんしん通信管理

- 発信履歴からファクス／電話番号を指定する：

  ［リダイヤル］をタップして、発信履歴番号を選びます。

  ➡ 手動リダイヤル

6. 送信先を追加する

   1. ［送信先追加］をタップします。

      送信先リストが表示されます。

   2. 追加方法を選びます。



A. 登録している送信先から追加する送信先を選びます。

B. 1 件目の送信先を登録している送信先から選んだ場合、ファクス／電話番号を入力して、送信先を追加できます。

C. 1 件目の送信先を登録している送信先から選んだ場合、発信履歴から送信先を追加できます。

3. 送信先を追加します。

   選んだ追加方法に従って、送信先を追加してください。

   送信先を追加すると、［同報送信］画面が表示されます。



4. さらに送信先を追加する場合は、同様の手順を繰り返します。

参考

- 番号入力による送信先指定と発信履歴からの送信先指定は、どちらかの方法でのみ指定できます。
- 送信先を削除したい場合は、送信先リストから削除したい送信先をタップします。削除確認画面が表示された後［はい］をタップすると、送信先を削除できます。

7. カラーファクスを送信する場合はカラーボタンを押し、白黒ファクスを送信する場合はモノクロボタンを押す

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。

参考

- 送信を中止するときは、ストップボタンを押します。送信中のときはストップボタンを押し、タッチスクリーンの表示に従ってください。

  1 件だけを中止することはできません。指定したすべての送信先への送信が中止されます。

- 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています　[OK]をタップすると、原稿を排出します］と表示されます。［OK］をタップすると、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

誤送信防止機能を使う

本製品には、ファクスの誤送信を防ぐために以下の 2 つの機能があります。

- 送信先のファクス／電話番号を 2 度入力してからファクス送信を行う機能

  ファクス／電話番号を入力した後、もう一度確認のために番号を入力してから送信する機能です。ファクス／電話番号のかけ間違いを防ぎます。

  ➡ ファクス／電話番号を確認してから送信する（FAX 番号確認入力）

- 送信先のファクス情報を確認してからファクス送信を行う機能

  送信先の端末情報が、ダイヤルしたファクス／電話番号と一致するかを本製品が確認した後、ファクスを送信できるように設定できます。

  ➡ 送信先のファクス情報を確認してから送信する（送信先の FAX 情報確認）

ファクス／電話番号を確認してから送信する（FAX 番号確認入力）

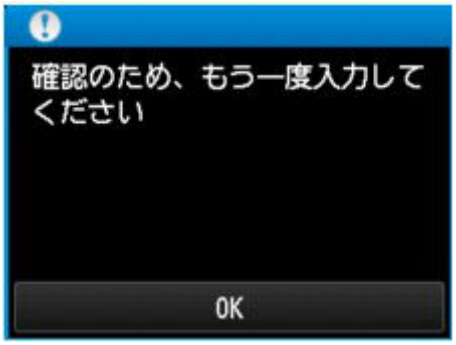
以下の手順で［FAX 番号確認入力］を［する］に設定します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

3.  ［本体設定］をタップする
4. ［ファクス設定］をタップする
5. ［あんしん通信管理］をタップする
6. ［FAX 番号確認入力］をタップする
7. ［する］をタップする

この機能を使用してファクス送信する場合は、ファクス／電話番号を入力したあと、以下の画面が表示されます。



もう 1 度ファクス／電話番号を入力してください。

送信先のファクス情報を確認してから送信する（送信先の FAX 情報確認）

以下の手順で［送信先の FAX 情報確認］を［する］に設定します。

重要

- ファクスを手動で送信する場合は、この機能は使用できません。
  - 送信先の状況を確認してから送信する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［ファクス設定］をタップする
5. ［あんしん通信管理］をタップする
6. ［送信先の FAX 情報確認］をタップする
7. ［する］をタップする

   重要

   - 相手のファクス機の情報が取得できなかった場合、または取得した情報がダイヤルしたファクス／電話番号と一致しなかった場合は、ファクス送信を中止します。

オンフック機能を使う

オンフック機能を使ってファクスを送信する場合は、以下の手順に従ってください。

重要

- 相手先番号の押し間違い、ファクス／電話番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、相手先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

  ➡ 送信先の状況を確認してから送信する
- ファクスを手動で送信する場合は、原稿台ガラスに原稿をセットできません。ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

  原稿台ガラスに原稿をセットする場合は、自動でファクスを送信してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

参考

- ［ファクス設定］の［あんしん通信管理］にある［オンフックキー設定］が［有効］になっているときのみオンフック機能を使用できます。

  ➡ あんしん通信管理
- ファクスを送信するときの基本的な操作については、以下を参照してください。

  ➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. 必要に応じて、送信設定を変更する

   ➡ ファクスを送信するときの設定項目
5.  をタップする
6. 送信先を指定する

   以下のいずれかの方法で送信先を指定します。

   - 本製品に登録している送信先を指定する：

     ［電話帳］をタップして、登録している送信先を選びます。

     ➡ 登録した送信先に送信する
   - ファクス／電話番号を入力する：

     ファクス／電話番号入力欄をタップして、ファクス／電話番号を入力します。

➡ ファクス／電話番号をダイヤルしてファクスを送信する

- 発信履歴からファクス／電話番号を指定する：

  ［リダイヤル］をタップして、発信履歴番号を選びます。

  ➡ 手動リダイヤル

7. ピーという音が聞こえたら、カラーボタンまたはモノクロボタンを押す

   カラーファクスを送信する場合はカラーボタンを、白黒ファクスを送信する場合はモノクロボタンを押します。

重要

- カラー送信は送信先のファクス機がカラーに対応しているときのみ有効になります。

参考

- 送信を中止するときは、ストップボタンを押します。送信中のときはストップボタンを押し、タッチスクリーンの表示に従ってください。
- 原稿の読み取り中にストップボタンを押して原稿が ADF（自動原稿給紙装置）に残った場合は、タッチスクリーンに［ADF に原稿が残っています　[OK]をタップすると、原稿を排出します］と表示されます。［OK］をタップすると、ADF（自動原稿給紙装置）に残った原稿が自動的に排紙されます。

送信先を登録してみよう

- 本製品の操作パネルを使って送信先を登録する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Mac OS）

本製品の操作パネルを使って送信先を登録する

よく利用する送信先をあらかじめ本製品に登録しておくと、かんたんにダイヤルできます。

登録のしかたには、以下の 2 つの方法があります。

- 宛先登録

  宛先登録をすると、電話帳から登録された送信先を選ぶだけで、ファクスを送信できます。

  ➡ 送信先の電話番号を登録する

- グループダイヤル登録

  あらかじめ登録した複数の送信先を 1 つのグループにまとめることができます。同じ原稿をグループ内のすべての送信先に一度に送信できます。

  ➡ グループダイヤルに登録する

個別の送信先とグループダイヤルを合わせて、最大 100 件まで登録できます。

参考

- 本製品に登録された送信先を変更したいときは、「登録した情報を変更する」を参照してください。
- 本製品に登録された送信先を削除したいときは、「登録した情報を削除する」を参照してください。
- 登録したファクス／電話番号の一覧を印刷したいときは、「登録した番号リストを印刷する」を参照してください。
- 短縮ダイヤルツール 2 を使用して、パソコンで送信先の登録や変更、削除することもできます。
  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ 短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Mac OS）

送信先の電話番号を登録する

電話帳を使ってダイヤルする前に、送信先のファクス／電話番号を登録します。以下の手順で、送信先のファクス／電話番号を登録してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。

4. ［電話番号登録］をタップする

5. ［電話帳の登録］をタップする

   ID 番号を選ぶ画面が表示されます。



参考

- すでに送信先が登録されている番号には送信先の名前が、グループダイヤルを登録されている番号には  アイコンとグループ名が表示されます。

6. 未登録の ID 番号を選ぶ

参考

- すでに送信先が登録されていて名前の順に表示されているときは、［表示切換］をタップしてください。ID 番号順に表示されます。
- ［新規登録］をタップすると、番号順に未登録の ID 番号が選ばれます。

7. ［宛先登録］をタップする

8. 登録方法を選ぶ

9. 送信先のファクス／電話番号を登録する

   選んだ登録方法に従って、登録します。

- ［番号を入力して登録］

  名前とファクス／電話番号を登録する画面が表示されます。次の手順に進んでください。



- ［発信履歴から登録］

  この登録方法を選ぶと、発信履歴からファクス／電話番号を選ぶ画面が表示されます。



  発信履歴からファクス／電話番号を選ぶと、名前とファクス／電話番号を登録する画面が表示されます。次の手順に進んでください。

10. 送信先の名前を入力する

1. 名前欄をタップします。

   文字入力画面が表示されます。

2. 送信先の名前を入力します。



3. ［OK］をタップします。

参考

- 名前はスペースを含む最大 16 文字まで入力できます。

  ➡ 文字や数字を入力する

11. 送信先のファクス／電話番号を入力する

［発信履歴から登録］でファクス／電話番号を選んだ場合は、すでにファクス／電話番号が入力されています。ファクス／電話番号を変更しないときは、次の手順に進んでください。

1. ファクス／電話番号入力欄をタップします。

   番号入力画面が表示されます。

2. 送信先のファクス／電話番号を入力します。



3. ［OK］をタップします。

参考

- ファクス／電話番号はスペースを含む最大 60 桁まで入力できます。

  文字や数字を入力する

- ［ファクス設定］の［ファクスの基本設定］にある［回線種別自動判別］を［しない］に設定し、さらに［回線種別選択］で［ダイヤル回線］を選んでいる場合、トーンキーをタップすると「T」（トーン）を入力できます。

12. ［登録］をタップして、登録を終了する

参考

- 続けてほかの送信先を登録するには、未登録の番号を選んでから同様の手順で操作してください。
- 宛先電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。

  登録した番号リストを印刷する

グループダイヤルに登録する

登録した送信先をグループダイヤルとして登録することで、複数の送信先に順次ファクスを送信することができます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。

4. ［電話番号登録］をタップする

5. ［電話帳の登録］をタップする

   ID 番号を選ぶ画面が表示されます。



参考

- すでに送信先が登録されている番号には送信先の名前が、グループダイヤルを登録されている番号には  アイコンとグループ名が表示されます。

6. 未登録の ID 番号を選ぶ

参考

- すでに送信先が登録されていて名前の順に表示されているときは、［表示切換］をタップしてください。ID 番号順に表示されます。
- ［新規登録］をタップすると、番号順に未登録の ID 番号が選ばれます。

7. ［グループダイヤル登録］をタップする

   グループ名とメンバーを登録する画面が表示されます。



8. グループ名を入力する

1. グループ名欄をタップします。

   文字入力画面が表示されます。

2. グループ名を入力します。



3. [OK] をタップします。

参考

- 名前はスペースを含む最大 16 文字まで入力できます。

  ➡ 文字や数字を入力する

9. 登録済みの送信先をグループダイヤルのメンバーとして登録する

1. [メンバー追加] をタップします。

   電話帳が表示されます。

名前順表示



ID 番号順表示



A. タップすると、名前順表示／ID 番号順表示が切り換わります。

B. タップすると、名前の先頭文字を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を名前の先頭文字で検索できます。



名前の先頭文字を選ぶと、選んだ文字順に送信先が表示されます。

C. タップすると、登録した送信先の ID 番号を選ぶ画面が表示されます。登録した送信先を ID 番号で検索できます。



ID 番号を入力して［OK］をタップすると、入力した ID 番号の送信先から表示されます。

D. 登録できる送信先が表示されます。

2. 送信先をタップして、登録するメンバーを選びます。

登録するメンバーが一覧に表示されます。



参考

- 一覧に表示されている送信先をタップすると、グループダイヤルから削除できます。削除確認画面で［はい］をタップすると、グループダイヤルから削除できます。

3. ほかのメンバーを追加する場合は、再度［メンバー追加］をタップします。

電話帳が表示されます。

4. 送信先をタップして、登録するメンバーを選びます。

登録するメンバーが一覧に表示されます。



手順を繰り返して、同じグループダイヤルに、ほかのメンバーを追加してください。

10. ［登録完了］をタップして、登録を終了する

参考

- 続けてほかのグループダイヤルを登録するには、未登録の番号を選んでから同様の手順で操作してください。
- グループダイヤル電話番号リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。

  登録した番号リストを印刷する

登録した情報を変更する

次の手順に従って登録した送信先やグループダイヤルを変更します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。

4. ［電話番号登録］をタップする

5. ［電話帳の登録］をタップする

6. 変更したい送信先またはグループダイヤルをタップする

7. 登録内容を変更する

   - 個別の送信先を変更する場合：
     1. ［宛先の編集］をタップします。

        送信先の情報画面が表示されます。
     2. 名前欄またはファクス／電話番号入力欄をタップします。

        それぞれの編集画面が表示されます。
     3. 名前またはファクス／電話番号を変更します。
     4. ［OK］をタップします。

        送信先の情報画面に戻ります。
     5. ［登録］をタップします。
   - グループダイヤルを変更する場合：
     1. ［グループダイヤルの編集］をタップします。

        グループダイヤルの情報画面が表示されます。
     2. グループ名を変更する場合は、名前欄をタップします。

        グループ名の編集画面が表示されたら、グループ名を変更し、［OK］をタップしてください。
     3. メンバーを追加する場合は、［メンバー追加］をタップします。

        電話帳が表示されたら、追加したい送信先をタップしてください。
     4. メンバーを削除する場合は、削除したい送信先をタップします。

        削除確認画面が表示されたら、［はい］をタップしてください。
     5. 変更が完了したら、［登録完了］をタップします。

登録した情報を削除する

次の手順に従って登録した送信先やグループダイヤルを削除します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。

4. ［電話番号登録］をタップする

5. ［電話帳の登録］をタップする

6. 削除したい送信先またはグループダイヤルをタップする

7. 登録内容を削除する

   - 個別の送信先を削除するとき：
     1. ［宛先の削除］をタップします。
     2. 削除確認画面が表示されたら、［はい］をタップします。
   - グループダイヤルを削除するとき：
     1. ［グループダイヤルの削除］をタップします。
     2. 削除確認画面が表示されたら、［はい］をタップします。

登録した番号リストを印刷する

登録したファクス／電話番号の一覧を印刷できます。このリストを本製品のそばに置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。
5. ［レポート/リスト印刷］をタップする
6. ［電話帳リスト］をタップする
7. 印刷したい項目をタップする

   - ［宛先］を選んだとき：

     リストを 50 音順で印刷するかを確認する画面が表示されます。

     ［はい］をタップすると、名前の 50 音順、またはアルファベット順で宛先電話番号リストが印刷されます。

     ［いいえ］をタップすると、電話帳の ID 番号順で宛先電話番号リストが印刷されます。
   - ［グループダイヤル］を選んだとき：

     印刷確認画面が表示されます。［はい］をタップしてください。グループダイヤル電話番号リストが印刷されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使って送信先を登録する（Windows）

短縮ダイヤルツール 2 について

短縮ダイヤルツール 2 は、本製品に登録された電話帳情報をパソコンに転送し、パソコン上で登録、編集を行うためのユーティリティです。また、パソコン上で登録、編集した電話帳情報を本製品に登録することや、本製品に登録されている電話帳情報のバックアップデータとしてパソコンに保存することもできます。

万一のデータ損失に備えて、短縮ダイヤルツール 2 を使用してバックアップデータを保存することをお勧めします。

- 短縮ダイヤルツール 2 を起動する
- ［短縮ダイヤルツール 2］画面の項目
- 本製品に登録されている電話帳情報をパソコンに保存する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を登録する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を変更する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を削除する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使ってユーザー情報を編集する
- 短縮ダイヤルツール 2 を使って通信拒否番号を登録／編集する
- パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する

短縮ダイヤルツール 2 を起動する

重要

- 短縮ダイヤルツール 2 を起動する前に、本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
- プリンターが動作しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときにケーブル類を抜き差ししないでください。
- ご使用の機種がネットワーク接続対応機種の場合、ネットワーク経由で短縮ダイヤルツール 2 を使用するときは、パソコンとネットワーク接続されていることを確認してください。
- 起動時や操作の途中で、パスワード入力画面が表示される場合があります。表示された場合は、プリンターに設定されている管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。ご不明な場合は管理者にお問い合わせください。

以下の手順で短縮ダイヤルツール 2 を起動します。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

   - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのアプリ］から［Canon Utilities］→［短縮ダイヤルツール 2］を選びます。
   - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［短縮ダイヤルツール 2］を選びます。［短縮ダイヤルツール 2］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「短縮ダイヤルツール 2」を検索してください。
   - Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［短縮ダイヤルツール 2］→［短縮ダイヤルツール 2］を選びます。

   短縮ダイヤルツール 2 が起動します。

参考

- Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）から起動することもできます。

［短縮ダイヤルツール 2］画面の項目

［短縮ダイヤルツール 2］画面には、以下の項目があります。



1. ［プリンター名:］

   短縮ダイヤルツール 2 を使って、電話帳情報の操作を行う製品名を選びます。

   製品名の後ろには MAC アドレスが表示されます。

   参考

   - MAC アドレスの確認方法については、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「ネットワークに関する設定を調べたい」を参照してください。
   - 無線 LAN 接続／有線 LAN 接続双方に対応している機種は、接続方法に関わらず有線 LAN 接続の MAC アドレスが表示されます。

2. ［プリンターの設定情報を表示］

   ［プリンター名:］で選んだ製品に登録されている電話帳情報を、短縮ダイヤルツール 2 に読み込みます。

3. ［設定項目一覧:］

   操作を行う設定項目を選びます。［電話番号登録］、［ユーザー情報設定］、［通信拒否番号設定］のうちのひとつを選びます。

4. 詳細一覧表示

   ［設定項目一覧:］で選んだ項目の内容が表示されます。

   参考

   - 項目名をクリックすると、表示順を並び替えることができます。

5. ［編集...］／［すべて選択］／［消去］

［設定項目一覧:］で選択した項目を編集、すべてを選択、削除するときに使用します。

詳細一覧画面で複数の項目を選択している場合は、［編集...］ボタンの操作はできません。

6. ［パソコンから設定呼出...］

パソコンに保存した電話帳情報を表示するときに使用します。

7. ［操作説明］

本マニュアルが表示されます。

8. ［終了］

短縮ダイヤルツール 2 を終了するときに使用します。登録、編集された内容は更新されません。

9. ［パソコンへ設定保存...］

短縮ダイヤルツール 2 で操作を行った電話帳情報をパソコンに保存するときに使用します。

10. ［プリンターに登録］

短縮ダイヤルツール 2 で操作を行った電話帳情報を本製品に登録するときに使用します。

本製品に登録されている電話帳情報をパソコンに保存する

以下の手順に従って、本製品に登録されている電話帳情報（宛先の名前やファクス／電話番号、グループダイヤル、発信元情報のユーザー名やファクス／電話番号、通信拒否番号）をパソコンに保存します。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する
2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする
3. ［パソコンへ設定保存...］ボタンをクリックする
4. 表示された画面でファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックする

参考

- 電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）は短縮ダイヤルツール 2 を使用して他のプリンターにも取り込むことができます。

  パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する

短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を登録する

以下の手順に従ってファクス／電話番号を登録します。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って本製品にファクス／電話番号を登録するときは、本製品のファクスが動作していないことを確認してください。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする

3. ［設定項目一覧:］から［電話番号登録］をクリックする

   登録電話番号一覧が表示されます。

4. 登録電話番号一覧からまだ使用されていない番号を選び、［編集...］ボタンをクリックする

   ［個別/グループの選択］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［個別電話番号の登録］ボタンまたは［グループダイヤルの登録］ボタンをクリックし、［次へ...］ボタンを押す

   - ［個別電話番号の登録］を選んだ場合：

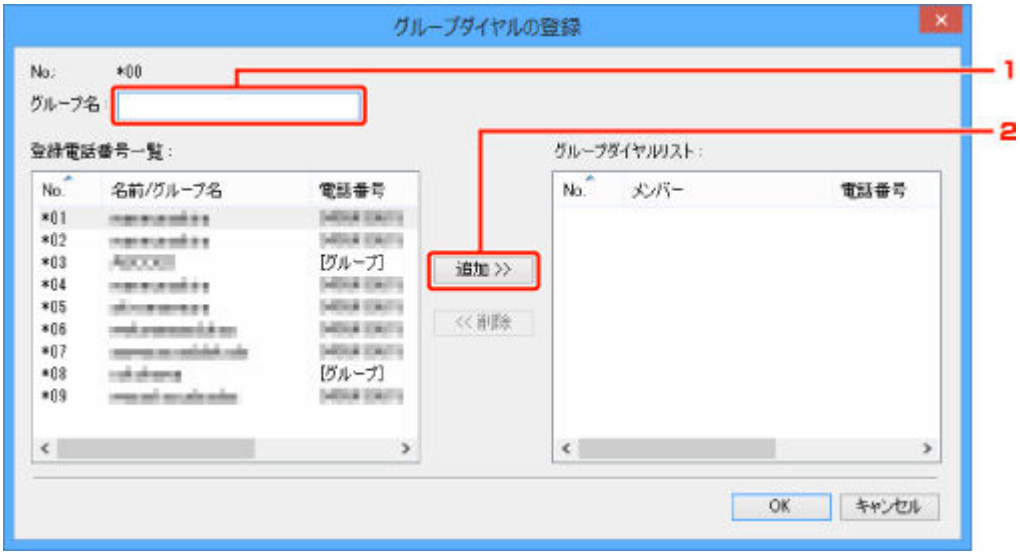
     

     1. 名前を入力します。
     2. ファクス／電話番号を入力します。

        参考

        - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
        - 漢字入力には対応していません。

   - ［グループダイヤルの登録］を選んだ場合：



1. グループ名を入力します。
2. グループに追加したい番号を登録電話番号一覧から選び、［追加 >>］ボタンをクリックします。

参考

- グループダイヤルに登録できるのは、すでに登録されているファクス／電話番号だけです。

6. ［OK］ボタンをクリックする

続けて登録を行う場合は、手順 4～6 を繰り返します。

- 登録した内容をパソコンに保存する場合：
  1. ［パソコンへ設定保存...］ボタンをクリックします。
  2. 表示された画面でファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。
- 登録した内容を本製品に登録する場合：
  1. ［プリンターに登録］ボタンをクリックします。
  2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［OK］ボタンをクリックします。

     入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を変更する

以下の手順に従ってファクス／電話番号を変更します。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って本製品のファクス／電話番号を変更するときは、本製品のファクスが動作していないことを確認してください。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする

3. ［設定項目一覧:］から［電話番号登録］をクリックする

   登録電話番号一覧が表示されます。

4. 登録電話番号一覧から変更する番号を選び、［編集...］ボタンをクリックする

   - 個別のファクス／電話番号を選んだ場合：

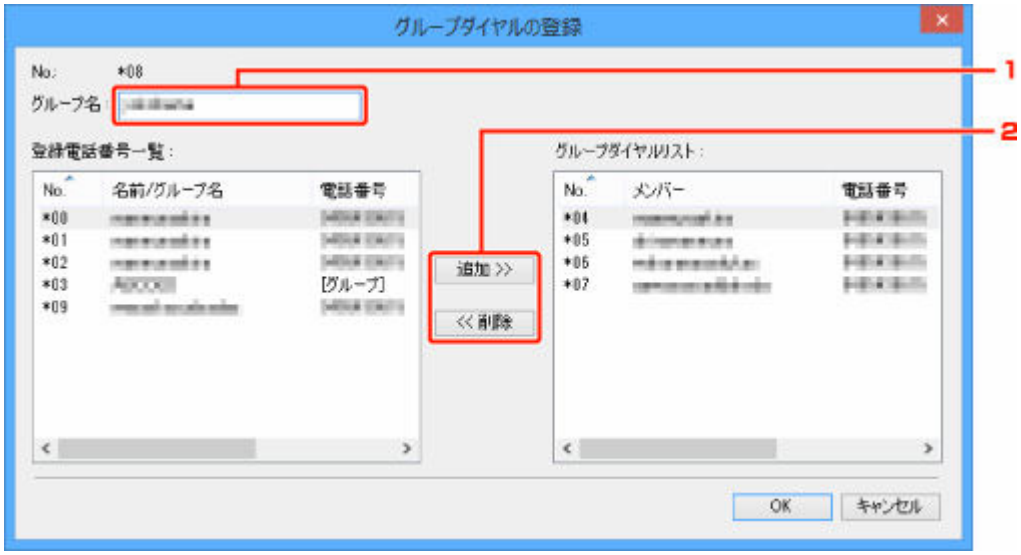


     1. 新しい名前を入力します。
     2. 新しいファクス／電話番号を入力します。

        参考

        - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
        - 漢字入力には対応していません。

   - グループダイヤルを選んだ場合：



     1. 新しいグループ名を入力します。

2. グループダイヤルへの追加またはグループダイヤルから削除の操作をします。

   番号を追加する場合

   登録番号の一覧から追加したい番号を選び、［追加 >>］ボタンをクリックします。

   番号を削除する場合

   グループダイヤルリストから削除したい番号を選び、［<< 削除］ボタンをクリックします。

5.［OK］ボタンをクリックする

続けて変更を行う場合は、手順 4、5 を繰り返します。

- 変更した内容をパソコンに保存する場合：
  1.［パソコンへ設定保存...］ボタンをクリックします。
  2. 表示された画面でファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。
- 変更した内容を本製品に登録する場合：
  1.［プリンターに登録］ボタンをクリックします。
  2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［OK］ボタンをクリックします。

     入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使ってファクス／電話番号を削除する

以下の手順に従ってファクス／電話番号を削除します。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 を使って本製品のファクス／電話番号を削除するときは、本製品のファクスが動作していないことを確認してください。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする

3. ［設定項目一覧:］から［電話番号登録］をクリックする

   登録電話番号一覧が表示されます。

4. 登録電話番号一覧から削除する番号を選び、［消去］ボタンをクリックする

   参考

   - 登録電話番号一覧にあるすべての番号を削除する場合は、［すべて選択］ボタン、［消去］ボタンの順にクリックします。

5. 削除確認画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックする

   ファクス／電話番号が削除されます。

   続けて削除を行う場合は、手順 4、5 を繰り返します。

   - 削除した内容をパソコンに保存する場合：
     1. ［パソコンへ設定保存...］ボタンをクリックします。
     2. 表示された画面でファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。
   - 削除した内容を本製品に登録する場合：
     1. ［プリンターに登録］ボタンをクリックします。
     2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［OK］ボタンをクリックします。

        入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使ってユーザー情報を編集する

以下の手順に従って、本製品に登録されている発信元情報のユーザー名やファクス／電話番号を編集します。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする

3. ［設定項目一覧:］から［ユーザー情報設定］をクリックする

   ユーザー情報が表示されます。

4. 編集したい項目を選び、［編集...］ボタンをクリックする

   ［ユーザー情報］ダイアログボックスが表示されます。

5. ［ユーザー名］でユーザー名を、［電話番号］でファクス／電話番号をそれぞれ再入力し、［OK］ボタンをクリックする

   参考

   - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
   - 漢字入力には対応していません。

   - 編集した内容をパソコンに保存する場合：
     1. ［パソコンへ設定保存...］ボタンをクリックします。
     2. 表示された画面でファイル名を入力し、［保存］ボタンをクリックします。
   - 編集した内容を本製品に登録する場合：
     1. ［プリンターに登録］ボタンをクリックします。
     2. メッセージが表示されますので、内容を確認し［OK］ボタンをクリックします。

        入力した内容が本製品に登録されます。

短縮ダイヤルツール 2 を使って通信拒否番号を登録／編集する

以下の手順に従って通信拒否番号を登録、変更、削除します。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する

2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする

3. ［設定項目一覧:］から［通信拒否番号設定］をクリックする

   受信拒否番号リストが表示されます。

   - 通信拒否番号を登録する場合：

     1. 受信拒否番号リストからまだ使用されていない番号を選び、［編集...］ボタンをクリックします。
     2. ［通信拒否番号］画面でファクス／電話番号を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

   - 通信拒否番号を変更する場合：

     1. 受信拒否番号リストから編集する番号を選び、［編集...］ボタンをクリックします。
     2. ［通信拒否番号］画面でファクス／電話番号を再入力し、［OK］ボタンをクリックします。

     参考

     - 全角文字を入力した場合は、入力確定後半角文字に変換されます。
     - 漢字入力には対応していません。

   - 通信拒否番号を削除する場合：

     1. 受信拒否番号リストから削除する番号を選び、［消去］ボタンをクリックします。

        ファクス／電話番号が削除されます。

        参考

        - 通信拒否番号一覧にあるすべての番号を削除する場合は、［すべて選択］ボタン、［消去］ボタンの順にクリックします。

パソコンに保存した電話帳情報を本製品に登録する

パソコンに保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を呼び出して、本製品に登録します。

他のプリンターから保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）も呼び出して登録することもできます。

参考

- 短縮ダイヤルツール 2 では、短縮ダイヤルツールを使用してパソコンに保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を呼び出すことができます。

1. 短縮ダイヤルツール 2 を起動する
2. ［プリンター名:］リストボックスから本製品を選び、［プリンターの設定情報を表示］ボタンをクリックする
3. ［パソコンから設定呼出...］ボタンをクリックする
4. 本製品に登録したい電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を選ぶ
5. ダイアログボックスの［開く］をクリックする

   選んだ電話帳情報が表示されます。

   参考

   - 他のプリンターから保存した電話帳情報のデータ（RSD ファイル、*.rsd）を選んだ場合は、確認メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてください。
6. ［プリンターに登録］ボタンをクリックする。

   パソコンに保存されている登録情報が本製品に登録されます。

ファクスを受信する

- ファクスを受信する
- 用紙の設定を変更する
- 一時的に本製品のメモリーに受信する（代行受信）
- 便利な受信機能を使う

ファクスを受信する

ここでは、ファクス受信に必要な準備や、ファクスを受信する方法を説明します。

ファクス受信の準備をする

ファクスを受信するためには、以下の手順に従って準備してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. 受信モードを確認する

   ファクス待機画面で表示されている受信モードを確認します。

   参考

   - 受信モードを変更する場合は、以下を参照してください。

     ➡ 受信モードを設定する

4. 用紙をセットする

   普通紙をセットしてください。

5. 必要に応じて、用紙の設定を変更する

   ➡ 用紙の設定を変更する

   以上で、ファクスを受信するための準備は完了です。

   ファクスを受信すると、セットした用紙に自動的に印刷されます。

ファクスを受信する

ファクスが送られてきたときの受信の操作手順は、設定されている受信モードによって異なります。

参考

- 受信モードについては、以下を参照してください。

  ➡ 受信モードを設定する

- それぞれの受信モードでは、詳細な設定を行うことができます。

  詳細設定については、以下を参照してください。

  ➡ 受信モードの詳細設定
- 受信したファクスを印刷できなかった場合は、一時的に本製品のメモリーに保存されます（代行受信）。

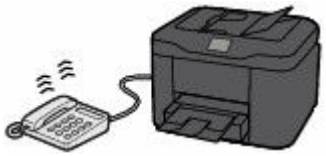
  ➡ 一時的に本製品のメモリーに受信する（代行受信）
- 受信したファクスを自動的に PDF として USB フラッシュメモリーに保存する、またはパソコンの共有フォルダーに転送することもできます。

  ➡ 受信したファクスを USB フラッシュメモリーに自動保存する
  ➡ 受信したファクスをパソコンの共有フォルダーに自動転送する

［電話優先モード］が設定されている場合：

- **ファクスが送られてくると…**

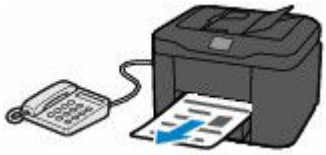
  電話機の呼び出し音が鳴ります。



  受話器を上げて、「ポーポー」音が聞こえたあと、無音が 5 秒以上続いたら、受話器を置いてください。



  ファクスが受信されます。



参考

- ファクスに切り替わらない場合は、ホーム画面で［ファクス］を選び直してからカラーボタンまたはモノクロボタンを押してください。
- 受話器を上げずにファクスを受信するときは［詳細設定］から［自動受信切換：する］に設定してください。続けて、［受信開始時間］でファクス受信に切り替わるまでの秒数を設定できます。
- 本製品に接続されている電話機の操作でファクスを受信する（リモート受信）こともできます。

  ➡ 本製品に接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）
- 留守番電話を接続しているときは：
  - 留守番電話機を留守モードに設定している場合は、［詳細設定］から［親切受信：する］に設定してください。相手がファクスを送信しようとした場合は、自動的にファクスの受信に切り替わります。

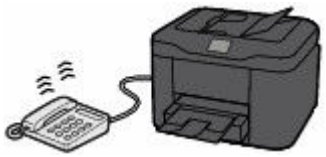
- 留守番電話機の留守モードを解除している場合は、受話器を上げて、「ポーポー」音が聞こえたあと、無音が 5 秒以上続いたら、受話器を置いてください。
- ［詳細設定］から［自動受信切換：する］を設定した場合、［受信開始時間］は留守番電話機の応答メッセージが開始するまでの時間より長く設定してください。設定後、携帯電話などから電話をかけて、正しく留守番電話機に録音できるか確認することをお勧めします。
- 留守番電話機の留守モードの設定は、次のようにしてください。

  - 応答メッセージの長さは 15 秒以内にしてください。

  - メッセージでは、ファクスの送信方法を説明してください。

- **電話がかかってくると…**

  電話機の呼び出し音が鳴ります。



  受話器を上げて話してください。



参考

- 相手と通話しているときに、意図せずファクスに切り替わってしまう場合は、［詳細設定］から［親切受信：しない］に設定してください。
- ［詳細設定］から［自動受信切換：する］に設定した場合は、［受信開始時間］で設定した時間内に受話器を上げないとファクス受信に切り替わり、通話できなくなります。

［ファクス専用モード］が設定されている場合：

- **ファクスが送られてくると…**

  自動的にファクスが受信されます。



参考

- 電話機を接続している場合は、着信時に呼び出し音が鳴ります。
- ［詳細設定］から［呼び出し回数］で着信呼び出し回数を変更することができます。

用紙の設定を変更する

本製品は、受信したファクスをあらかじめセットされている用紙に印刷します。ここでは、操作パネルから用紙の設定を変更する方法について説明します。セットした用紙に合わせて正しく設定してください。

重要

- 設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされていた場合、受信したファクスはいったん本製品のメモリーに保存され、[用紙サイズを確認して、 [OK]をタップしてください］と表示されます。その場合は、設定した用紙サイズと同じサイズの用紙をセットして、［OK］をタップしてください。

  または、ストップボタンを押して操作を続け、あとで本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷することもできます。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する
- 用紙がセットされていない場合、または印刷中に用紙がなくなった場合、受信したファクスはいったん本製品のメモリーに保存され、用紙なしに関するエラーメッセージが表示されます。その場合は用紙をセットし、［OK］をタップしてください。

  または、ストップボタンを押して操作を続け、あとで本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷することもできます。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

参考

- 送信元が A3 や B4 など、A4 よりも大きいサイズの原稿を送信した場合、送信元のファクス機が自動的に原稿を縮小、分割して送信する、または原稿の一部分（A4 の範囲）だけを送信することがあります。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。
4. ［ファクス用紙設定］をタップする

   ［ファクス用紙設定］画面が表示されます。
5. 設定を変更する



A. ［用紙サイズ］

［A4］、［レター］、または［リーガル］から用紙のサイズを選びます。

B. ［用紙種類］

［普通紙］に設定されます。

C. ［両面印刷設定］

用紙の両面に印刷するか片面に印刷するかを選びます。

両面印刷は、モノクロのファクスを受信したときのみ有効です。カラーのファクスを受信した場合は、設定にかかわらず片面に印刷されます。

［両面印刷］を選んだ場合、［詳細設定］からとじ方向を選ぶことができます。

参考

- ［用紙サイズ］で［A4］または［レター］を選んでいるときのみ、両面に印刷できます。

6. 戻るボタンを 2 回押して、ファクス待機画面に戻る

一時的に本製品のメモリーに受信する（代行受信）

受信したファクスを印刷できなかった場合は、本製品のメモリーに自動的に保存されます。ファクスメモリーランプが点灯し、ファクス待機画面で［代行受信しました］と表示されます。

重要

- 本製品のメモリーにファクスが保存されているときに電源プラグを抜くと、保存されているファクスはすべて消去されます。次回電源を入れると確認画面が表示されますので、［OK］をタップしてください。消去されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。

次のような状況でファクスを受信すると、ファクスが自動的に本製品のメモリーに保存されます。

- **受信ファクスを本製品のメモリーに保存する設定になっているとき：**

  ［ファクス設定］の［自動印刷設定］で［受信原稿］を［印刷しない］に設定していると、受信ファクスは本製品のメモリーに保存されます。

  本製品のメモリーに保存されたファクスは、［機能一覧］の［メモリー照会］から印刷することができます。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

  参考

  - 受信したファクスを自動で印刷する場合は、［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［受信原稿］を［印刷する］に設定してください。

    ➡ 自動印刷設定

- **本製品にエラーが発生しているとき：**

  ［ファクス設定］の［自動印刷設定］で［受信原稿］を［印刷する］に設定していると、受信ファクスは自動で印刷されます。ただし、以下のようなエラーが発生すると、受信ファクスは本製品のメモリーに保存されます。

  エラーが解消されると、本製品のメモリーに保存されたファクスは自動的に印刷されます。

  - 印刷するのに十分なインクが残っていないとき：

    インクタンクを交換してください。

    ➡ インクタンクを交換する

    参考

    - インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。

      ［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［インク切れでの印刷］を［印刷する］に設定してください。

      ただし、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。

      また、ファクスの内容は本製品のメモリーに保存されません。

      なお、すでにインクがなくなっている場合は、［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［受信原稿］を［印刷しない］に設定して、受信したファクスを一度本製品のメモリーに保存することをお勧めします。インクタンクを交換したあとに［自動印刷設定］の［受信原稿］を［印刷する］に設定を戻すと、本製品のメモリーに保存されたファクスは自動で印刷されます。

      ➡ 自動印刷設定

- 用紙がなくなったとき：

  用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

- ［ファクス用紙設定］の［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき：

  ［用紙サイズ］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

- **ストップボタンを押して、受信したファクスの印刷を中止したとき：**

  ホームボタンを押してから、再度［ファクス］をタップしてファクス待機画面を表示すると、中止したファクスが印刷されます。

参考

- 本製品のメモリーには、最大 250 ページ分*（最大 30 件）のファクスが保存できます。

  * キヤノン FAX 標準チャート No.1（標準モード）使用時

- 代行受信中に本製品のメモリーがいっぱいになった場合、受信済みのページのみ保存されます。本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷、または USB フラッシュメモリーに保存、あるいはパソコンの共有フォルダーに転送し、本製品のメモリーから削除してから、送信元に連絡して、もう一度送信してもらってください。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて

便利な受信機能を使う

- 受信したファクスを USB フラッシュメモリーに自動保存する
- 受信したファクスをパソコンの共有フォルダーに自動転送する
- 本製品に接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）
- ファクス受信拒否設定を使う

受信したファクスを USB フラッシュメモリーに自動保存する

受信したファクスを自動的に PDF として USB フラッシュメモリーに保存することができます。

ここでは、受信したファクスを自動的に USB フラッシュメモリーに保存するための設定について説明します。

重要

- 受信したファクスを自動で USB フラッシュメモリーに保存する設定にしているときは、USB フラッシュメモリーを本製品から抜き差ししないでください。
- USB フラッシュメモリーに保存したファクスは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- USB フラッシュメモリーがセットされていない、または書き込み禁止になっていたなど、USB フラッシュメモリーへの保存ができなかった場合は、ファクス待機画面で［未処理の原稿があります］と表示され、本製品のメモリーにファクスが保存されます。

  本製品のメモリーに保存されたファクスは、手動で USB フラッシュメモリーに保存することができます。USB フラッシュメモリーに保存後、不要なファクスは、本製品のメモリーから削除してください。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存する
  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部にセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた
4.  ［本体設定］をタップする
5. ［ファクス設定］をタップする
6. ［自動保存設定］をタップする
7. ［する］をタップする
8. ［USB メモリー］をタップする

参考

- 最大 250 ページまでひとつの PDF ファイルとしてファクスを保存することができます。
- 最大 2000 ファイルまで、PDF を USB フラッシュメモリーに保存することができます。
- ファクスを保存している途中で、USB フラッシュメモリーが抜かれたり、USB フラッシュメモリーの容量がいっぱいになったりした場合、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。［OK］をタップして、エラーを解除してください。
- USB フラッシュメモリーに保存されるファクスのフォルダ名とファイル名は、以下のようになります。

- フォルダー名：CANON_SC¥FAXDOC¥0001
- ファイル名（拡張子：PDF）：FAX_0001 から連番
- ファイルの日付：本製品に登録されている日付／時刻で保存されます。
- 日付／時刻の設定については、以下を参照してください。

  ➡ 日付と時刻を設定する

- USB フラッシュメモリーを取り外すときは、［自動保存設定］を［しない］に設定してください。

受信したファクスをパソコンの共有フォルダーに自動転送する

受信したファクスを自動的に PDF としてパソコンの共有フォルダーに転送することができます。

ここでは、受信したファクスを自動的にパソコンの共有フォルダーに転送するための設定について説明します。

重要

- 受信したファクスを自動でパソコンの共有フォルダーに転送する設定にしているときは、パソコンとの接続を切らないでください。
- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品とパソコンが接続されていない、または共有フォルダーの設定が変更されていたなど、パソコンの共有フォルダーへの転送ができなかった場合は、ファクス待機画面で［未処理の原稿があります］と表示され、本製品のメモリーにファクスが保存されます。

  本製品のメモリーに保存されたファクスは、手動でパソコンの共有フォルダーに転送することができます。パソコンの共有フォルダーに転送後、不要なファクスは、本製品のメモリーから削除してください。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送する
  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する

参考

- あらかじめ、Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）を使用して、転送先のフォルダーを登録してください。

  登録方法については、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 転送先フォルダーの設定

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ 転送先フォルダーの設定

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 本製品と転送先のパソコンが接続されていることを確認する
3. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた
4.  ［本体設定］をタップする
5. ［ファクス設定］をタップする
6. ［自動保存設定］をタップする
7. ［する］をタップする

8. ［転送先フォルダー］をタップする

9. 転送先のフォルダーを選ぶ

参考

- フォルダー登録時に PIN コードを設定している場合は、転送先として指定するときに PIN コードの入力画面が表示されます。設定した PIN コードを入力すると、パソコンの共有フォルダーを転送先として設定できます。

参考

- 最大 250 ページまでひとつの PDF ファイルとしてファクスを転送することができます。
- 最大 2000 ファイルまで、PDF をパソコンの共有フォルダーに転送することができます。
- ファクスを転送している途中でパソコンとの接続が切れたり、パソコンで書き込みエラーなどが発生した場合、本製品のタッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。［OK］をタップして、エラーを解除してください。
- パソコンの共有フォルダーに転送されるファクスのファイル名は、FAX_0001（拡張子：PDF）から連番で付けられます。
- 転送先に指定しているパソコンとの接続を切るときは、［自動保存設定］を［しない］に設定してください。

本製品に接続されている電話機からファクス受信を指示する（リモート受信）

本製品が離れた場所にある場合は、本製品に接続した電話機の受話器を取ったあとに 25（リモート受信 ID）をダイヤルすると、ファクスを受信できます（リモート受信）。

- ダイヤル回線の場合は、一時的にトーンダイヤルに切り替えてください。トーンダイヤルへの切り替え方法は、電話機に付属の取扱説明書を参照してください。
- 本製品に留守番電話機を接続しているときは、留守番電話機を操作するための暗証番号がリモート受信 ID と同じ番号になっていることがあります。この場合は、［ファクス設定］から［ファクスの詳細設定］を選び、［リモート受信］でリモート受信 ID を変更してください。

  ➡ ファクスの詳細設定

  リモート受信をしないようにも設定できます。

ファクス受信拒否設定を使う

送信元が不明なファクスや、特定の相手からのファクスの受信を拒否するように設定できます。

以下のいずれかのファクスの受信を拒否することができます。

- 番号非通知の相手など、送信元情報が不明なファクス
- 本製品の電話帳に登録されていない送信先からのファクス
- 本製品に登録した通信拒否番号からのファクス

以下の手順で受信拒否の条件を選びます。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   - 操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. ［ファクス設定］をタップする
5. ［あんしん通信管理］をタップする
6. ［ファクス受信拒否設定］をタップする
7. ［する］をタップする
8. 受信拒否条件を選ぶ

   送信元情報なし
   番号非通知の相手など、送信元情報が不明なファクスの受信を拒否します。

   電話帳未登録
   本製品に登録されていない送信先からのファクス受信を拒否します。

   通信拒否番号
   本製品に登録した通信拒否番号からのファクス受信を拒否します。

   通信拒否番号の登録のしかたについては、「通信拒否番号の登録のしかた」を参照してください。

参考

- ファクス受信が拒否されたときは、ファクス待機画面で［受信を拒否しました］と表示されます。
- ［送信元情報なし］以外を選んだ場合でも、送信元情報がないファクスの受信は拒否されます。

通信拒否番号の登録のしかた

以下の手順で通信拒否番号を登録します。

1. 通信拒否番号の登録確認画面が表示されたら、［はい］をタップする
2. 登録番号を選ぶ

3. 登録方法を選ぶ

4. 通信拒否番号を登録する

それぞれの登録方法に従って、通信拒否番号を登録してください。

- 番号を入力して登録

  この登録方法を選ぶと、ファクス／電話番号を登録する画面が表示されます。



  番号入力欄をタップすると番号入力画面が表示されます。ファクス／電話番号を入力して、［OK］をタップしてください。

- 発信履歴から登録

  この登録方法を選ぶと、発信履歴からファクス／電話番号を選ぶ画面が表示されます。



  登録したいファクス／電話番号をタップしてください。

5.［登録］をタップして、登録を終了する

参考

- 続けてほかの通信拒否番号を登録するときは、ほかの登録番号を選んで登録してください。

  通信拒否番号は 10 件まで登録できます。
- 登録した通信拒否番号のリスト（通信拒否電話番号リスト）を印刷することができます。

  印刷できるレポートとリスト
- 登録した通信拒否番号を変更するときは：
  1. 変更したい登録番号を選びます。
  2.［編集］をタップします。
  3. 番号入力欄をタップします。

     ファクス／電話番号を編集する画面が表示されます。
  4. 登録したときと同様の手順でファクス／電話番号を変更します。

     登録したときと同様の操作で登録を終了します。

- 登録した通信拒否番号を削除するときは：
  1. 削除したい登録番号を選びます。
  2. ［削除］をタップします。

     確認画面が表示されます。
  3. ［はい］をタップします。
- 通信拒否番号はファクス待機画面の［機能一覧］をタップして、［電話番号登録］から［通信拒否番号］を選んでも登録できます。

そのほかの便利なファクス機能

- プッシュホンサービスを使う
- ECM 方式で送受信する
- 本製品のメモリーに保存されているファクスについて
- 印刷できるレポートとリスト

プッシュホンサービスを使う

本製品では、銀行、航空券の予約、ホテルの予約などのプッシュホンサービスがご利用できます。プッシュホンサービスではプッシュ信号を使用するため、本製品をダイヤル回線に接続している場合は、一時的にプッシュ信号に切り替えてご利用ください。

- プッシュ回線で利用する
- ダイヤル回線で利用する

重要

- プッシュホンサービスをご利用になる場合は、サービス提供会社との契約が必要な場合があります。具体的なサービス内容や使用方法についてはサービス提供会社にお問い合わせください。

プッシュ回線で利用する

- **オンフック機能を使ってダイヤルする**

  参考

  - [ファクス設定]の[あんしん通信管理]にある[オンフックキー設定]が[有効]になっているときのみオンフック機能を使用できます。

    あんしん通信管理

  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. ホーム画面をフリックして  [ファクス]を表示し、タップする

     操作パネルの使いかた

     ファクス待機画面が表示されます。
  3.  をタップする
  4. サービス先の電話番号を入力する
  5. 録音音声のメッセージが聞こえたら、メッセージに従ってテンキーで番号をタップする
  6. サービスの利用が終わったら、  をタップする

- **本製品に接続した外付け電話機を使ってダイヤルする**

  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. ホーム画面をフリックして  [ファクス]を表示し、タップする

     操作パネルの使いかた

     ファクス待機画面が表示されます。
  3. 電話機の受話器を取る
  4. サービス先の電話番号を電話機でダイヤルする
  5. 録音音声のメッセージが聞こえたら、メッセージに従って電話機で番号を押す
  6. サービスの利用が終わったら、受話器を置く

ダイヤル回線で利用する

- **オンフック機能を使ってダイヤルする**

  参考

  - ［ファクス設定］の［あんしん通信管理］にある［オンフックキー設定］が［有効］になっているときのみオンフック機能を使用できます。

    あんしん通信管理

  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

     操作パネルの使いかた

     ファクス待機画面が表示されます。
  3.  をタップする
  4. サービス先の電話番号を入力する
  5. 録音音声のメッセージが聞こえたら、トーンキーをタップして、プッシュ（トーン）信号に切り替える
  6. メッセージに従って、番号をタップする
  7. サービスの利用が終わったら、  をタップする

- **本製品に接続した外付け電話機を使ってダイヤルする**

  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

     操作パネルの使いかた

     ファクス待機画面が表示されます。
  3. 電話機の受話器を取る
  4. サービス先の電話番号を電話機でダイヤルする
  5. 録音音声のメッセージが聞こえたら、電話機でプッシュ信号に切り替える

     本製品に接続した電話機からサービス先に電話をかけた場合、本製品でプッシュ回線に切り替えることはできません。電話機でプッシュ回線に切り替えてください。切り替え方法については、ご使用の電話機の取扱説明書を参照してください。
  6. メッセージに従って、電話機で番号を押す
  7. サービスの利用が終わったら、受話器を置く

ECM 方式で送受信する

本製品は、ECM（自動誤り訂正モード）方式で送受信するように設定されています。受信側のファクス機もECM 方式に対応している場合、自動的に誤りを訂正し再送します。

参考

- 送信側または受信側のファクスが ECM に対応していないときは、自動的に誤りを訂正せずに送受信されます。
- カラーファクスを受信するときは、［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［ECM 受信］が［する］になっていることを確認してください。

  ファクスの詳細設定

  ［高度な通信設定］の［ECM 送信］と［ECM 受信］を［しない］に設定すると、ECM 方式で送受信しなくなります。
- ECM が設定されていると、送受信時間が長くなることがあります。

本製品のメモリーに保存されているファクスについて

送信が完了していない場合や受信したファクスを印刷できなかった場合、これらのファクスは本製品のメモリーに保存されます。

ただし、送信エラーになった場合は、本製品のメモリーに保存されません。

次の場合、受信したファクスは印刷されず、本製品のメモリーに自動的に保存されます。

- 印刷するのに十分なインクが残っていないとき
- 用紙がなくなったとき
- ［ファクス用紙設定］の［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき
- ［ファクス設定］の［自動印刷設定］にある［受信原稿］が［印刷しない］に設定されているとき
- ストップボタンを押して、受信したファクスの印刷を中止したとき

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

  電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷したり削除したりできます。また、本製品のメモリーに保存されているファクス（受信したファクスのみ）を USB フラッシュメモリーに保存する、またはパソコンの共有フォルダーに転送することもできます。

- 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷するとき

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する
- 本製品のメモリーに保存されているファクスを削除するとき

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する
- 本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存するとき

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存する
- 本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送するとき

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送する

参考

- 本製品のメモリーに保存されているファクスから特定のファクスを印刷や削除、または確認をするときは、受付番号でファクスを指定します。本製品のメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  原稿リストの印刷のしかたについては、「本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する」を参照してください。

本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

本製品のメモリーに保存されたファクスは、ファクスを指定して印刷する、または保存されているすべての受信ファクスを一度に印刷することができます。

また、ファクスを指定して印刷する場合は受付番号でファクスを指定します。本製品のメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. 用紙をセットする

3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

4. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。

5. ［メモリー照会］をタップする

   原稿リストが表示されます。



   A. 送受信した日時とファクス／電話番号

   B. 受付番号

      0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

      5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

   C. 送受信したときの色

      カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

   参考

   - 本製品のメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

6. 印刷メニューを選ぶ

   - 原稿リストを印刷したいときは：

［原稿リスト印刷］をタップすると、本製品のメモリーに保存されているファクスの原稿リストを印刷できます。

印刷確認画面が表示されたら、［はい］をタップしてください。印刷が開始します。

原稿リストには、未送信または印刷できなかったファクスの受付番号、通信モード、相手先や枚数、日付、送受信したときの時刻が印刷されます。

原稿リストに印字されている受付番号は、0001～4999 が送信ファクスを、5001～9999 が受信ファクスを表します。

- 印刷する原稿を指定したいときは：

  ［原稿リスト］画面で印刷したいファクスを選んでから、［指定原稿を印刷］をタップします。

  参考

  - 指定した原稿が本製品のメモリーにない場合は、［印刷できる原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

  先頭ページのみを印刷するかを確認する画面が表示されます。

  ［はい］を選ぶと、最初のページのみが印刷されます。ファクスは本製品のメモリーに保存されたままです。

  ［いいえ］を選ぶと、すべてのページが印刷されます。印刷が終了したあと、印刷したファクスを本製品のメモリーから削除するかを確認する画面が表示されます。

- 本製品のメモリーに保存されているすべての受信ファクスを印刷したいときは：

  ［一括処理］をタップしてから、［受信原稿を一括印刷］をタップします。

  印刷確認画面が表示されたら、［はい］をタップしてください。受付番号ごとにすべてのファクスが印刷されます。

  受付番号ごとに印刷が終了すると、すべてのファクスを本製品のメモリーから削除するかを確認する画面が表示されます。

  ［はい］をタップすると、ファクスは削除されます。

本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する

本製品のメモリーに保存されたファクスは、ファクスを指定して削除する、または保存されているすべてのファクスを一度に削除することができます。

参考

- ファクスを指定して削除する場合は受付番号でファクスを指定します。本製品のメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

1. 本製品の電源が入っていることを確認する

2. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。

3. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。

4. ［メモリー照会］をタップする

   原稿リストが表示されます。



   A. 送受信した日時とファクス／電話番号

   B. 受付番号

      0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

      5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

   C. 送受信したときの色

      カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

   参考

   - 本製品のメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

5. 削除メニューを選ぶ

- 削除する原稿を指定したいときは：

  ［原稿リスト］画面で削除したいファクスを選んでから、［指定原稿を削除］をタップします。

  参考

  - 指定した原稿が本製品のメモリーにない場合は、［削除できる原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

  確認画面が表示されます。

  ［はい］をタップすると、指定したファクスが削除されます。

- 本製品のメモリーに保存されているすべての原稿を削除したいときは：

  ［一括処理］をタップしてから、［すべての原稿を一括削除］をタップします。

  確認画面が表示されます。

  ［はい］をタップすると、すべてのファクスが削除されます。

本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存する

本製品のメモリーに保存されている受信ファクスを PDF として USB フラッシュメモリーに保存することができます。

受信ファクスを指定して USB フラッシュメモリーに保存する、またはすべての受信ファクスを一度に USB フラッシュメモリーに保存することができます。

重要

- ファクスを保存する前に USB フラッシュメモリーを本製品から抜き差ししないでください。
- USB フラッシュメモリーに保存したファクスは、万一の故障に備えてほかの媒体に定期的に保存することをお勧めします。
- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

参考

- ファクスを指定して保存する場合は受付番号でファクスを指定します。本製品のメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

- 本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存したあとも、ファクスは本製品のメモリーに保存されたままです。

  本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する方法については、「本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する」を参照してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. USB フラッシュメモリーを USB メモリー接続部にセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。
5. ［メモリー照会］をタップする

   原稿リストが表示されます。



A. 送受信した日時とファクス／電話番号

B. 受付番号

0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

C. 送受信したときの色

カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

参考

- 本製品のメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

6. 保存メニューを選ぶ

- USB フラッシュメモリーに保存する原稿を指定したいときは：

  ［原稿リスト］画面で保存したいファクスを選んでから、［指定原稿を保存］をタップします。

  参考

  - 指定した原稿が本製品のメモリーにない場合は、［保存できる原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

  保存先として［USB メモリー］をタップします。指定した受信ファクスが USB フラッシュメモリーに保存されます。

- 本製品のメモリーに保存されているすべての受信ファクスを USB フラッシュメモリーに保存したいときは：

  ［一括処理］をタップしてから、［受信原稿を一括保存］をタップします。

  保存先として［USB メモリー］をタップします。すべての受信ファクスが USB フラッシュメモリーに保存されます。

参考

- 最大 250 ページまで、ひとつの PDF ファイルとしてファクスを保存することができます。
- 最大 2000 ファイルまで、PDF を USB フラッシュメモリーに保存することができます。
- ［受信原稿を一括保存］でファクスを保存する場合は、受付番号順に保存されます。
- ファクスを保存している途中で、USB フラッシュメモリーが抜かれたり、USB フラッシュメモリーの容量がいっぱいになったりした場合、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。［OK］をタップして、エラーを解除してください。
- USB フラッシュメモリーに保存されるファクスのフォルダ名とファイル名は、以下のようになります。
  - フォルダー名：CANON_SC¥FAXDOC¥0001
  - ファイル名（拡張子：PDF）：FAX_0001 から連番

- ファイルの日付：本製品に登録されている日付／時刻で保存されます。

  日付／時刻の設定については、以下を参照してください。

  ➡ 日付と時刻を設定する

本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送する

本製品のメモリーに保存されている受信ファクスを PDF としてパソコンの共有フォルダーに転送することができます。

受信ファクスを指定してパソコンの共有フォルダーに転送する、またはすべての受信ファクスを一度にパソコンの共有フォルダーに転送することができます。

重要

- 受信したファクスをパソコンの共有フォルダーに転送するときは、パソコンとの接続を切らないでください。
- データの破損または消失については、本製品の保証期間内であっても、理由の如何に関わらず、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

参考

- あらかじめ、Quick Utility Toolbox（クイック・ユーティリティー・ツールボックス）を使用して、転送先のフォルダーを登録してください。

  登録方法については、以下を参照してください。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 転送先フォルダーの設定

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ 転送先フォルダーの設定

- ファクスを指定して転送する場合は受付番号でファクスを指定します。本製品のメモリーに保存されているファクスの受付番号が印字される原稿リストをあらかじめ印刷しておくと便利です。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

- 本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送したあとも、ファクスは本製品のメモリーに保存されたままです。

  本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する方法については、「本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する」を参照してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 本製品と転送先のパソコンが接続されていることを確認する
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. ［機能一覧］をタップする

   ［機能一覧］画面が表示されます。
5. ［メモリー照会］をタップする

   原稿リストが表示されます。



A. 送受信した日時とファクス／電話番号

B. 受付番号

0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

C. 送受信したときの色

カラーファクスを送受信したときは［カラー］と表示されます。白黒ファクスを送受信したときは何も表示されません。

参考

- 本製品のメモリーに何も保存されていないときは、［メモリーに保存されている原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

6. 転送メニューを選ぶ

- パソコンの共有フォルダーに転送する原稿を指定したいときは：

  ［原稿リスト］画面で転送したいファクスを選んでから、［指定原稿を保存］をタップします。

  参考

  - 指定した原稿が本製品のメモリーにない場合は、［転送できる原稿がありません］と表示されます。［OK］をタップすると元の画面に戻ります。

  転送先として［転送先フォルダー］をタップします。

  転送先のフォルダーをタップすると、指定した受信ファクスがパソコンの共有フォルダーに転送されます。

  参考

  - フォルダー登録時に PIN コードを設定している場合は、転送先として指定するときに PIN コードの入力画面が表示されます。設定した PIN コードを入力すると、パソコンの共有フォルダーを転送先として設定できます。

- 本製品のメモリーに保存されているすべての受信ファクスをパソコンの共有フォルダーに転送したいときは：

  ［一括処理］をタップしてから、［受信原稿を一括保存］をタップします。

  転送先として［転送先フォルダー］をタップします。

  転送先のフォルダーをタップすると、すべての受信ファクスがパソコンの共有フォルダーに転送されます。

参考

- フォルダー登録時に PIN コードを設定している場合は、転送先として指定するときに PIN コードの入力画面が表示されます。設定した PIN コードを入力すると、パソコンの共有フォルダーを転送先として設定できます。

参考

- 最大 250 ページまで、ひとつの PDF ファイルとしてファクスを転送することができます。
- 最大 2000 ファイルまで、PDF をパソコンの共有フォルダーに転送することができます。
- ［受信原稿を一括保存］でファクスを転送する場合は、受付番号順に転送されます。
- ファクスを転送している途中でパソコンとの接続が切れたり、パソコンで書き込みエラーなどが発生した場合、本製品のタッチスクリーンにエラーメッセージが表示されます。［OK］をタップして、エラーを解除してください。
- パソコンの共有フォルダーに転送されるファクスのファイル名は、FAX_0001（拡張子：PDF）から連番で付けられます。

印刷できるレポートとリスト

本製品ではファクスを送受信したときに自動的に結果レポートが印刷されます。また、ファクス／電話番号や現在の設定などのリストを印刷することもできます。

- レポートとリストの種類
- レポートやリストを印刷する

レポートとリストの種類

レポート名またはリスト名	説明
通信管理レポート	送受信したファクスの履歴を一覧で印刷します。 • 通信管理レポートは手動で印刷することができます。 印刷のしかたについては、「レポートやリストを印刷する」を参照してください。 • すでに通信管理レポートで印刷された履歴には「*」が付きます。 • ［ファクス設定］の［自動印刷設定］にある［通信管理レポート］を［印刷する］にしていると、印刷されていない履歴が 20 通信分になったときに、自動的に通信管理レポートを印刷します。 自動印刷設定
電話帳リスト • 宛先電話番号リスト • グループダイヤル電話番号リスト	本製品に登録したファクス／電話番号と名前の一覧を印刷します。 個別の送信先とグループダイヤルのリストを印刷できます。 印刷のしかたについては、「レポートやリストを印刷する」を参照してください。
ユーザーデータリスト	現在の本製品の設定と登録した発信元情報を印刷します。 印刷のしかたについては、「レポートやリストを印刷する」を参照してください。
原稿リスト	現在本製品のメモリーに保存されている原稿の一覧を印刷します。 印刷のしかたについては、「レポートやリストを印刷する」を参照してください。 **参考** • ［メモリー照会］を選んで［原稿リスト］画面を表示し、［原稿リスト印刷］をタップして原稿リストを印刷することもできます。 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する
通信拒否電話番号リスト	通信拒否番号に登録されている番号の一覧を印刷します。 印刷のしかたについては、「レポートやリストを印刷する」を参照してください。
送信結果レポート／エラー送信レポート	ファクスの送信後に送信結果を印刷します。 • お買い上げ時は、エラーが発生したときだけエラー送信レポートを印刷する設定になっています。 ［ファクス設定］の［自動印刷設定］にある［送信結果レポート］で、送信後にレポートを印刷しない、または送信ごとに送信結果レポートを印刷するように設定できます。 また、レポートの下に原稿の最初のページを印刷して、送信したファクスの内容がわかるように設定することもできます。 自動印刷設定

	参考 • カラーファクスを送信した場合は、原稿の最初のページは印刷されません。 • 同報送信を行ったときは、マルチ通信結果レポートが印刷されます。 • ファクスの送信時にエラーが発生すると、そのエラー番号がエラー送信レポートに印刷されます（エラー内容が印刷されるものもあります）。 エラー番号については、「ファクス送信時のエラー一覧」を参照してください。
マルチ通信結果レポート	ファクスの送信を同報送信で行ったときに、送信結果を印刷します。 複数の相手先に正常に送信されたかを確認することができます。 レポート印刷の設定や、エラー番号などは送信結果レポートと同様です。
受信結果レポート	ファクスの受信後に受信結果を印刷します。 • お買い上げ時は、印刷しない設定になっています。 ［ファクス設定］の［自動印刷設定］にある［受信結果レポート］で、受信ごとに受信結果レポートを印刷する、またはエラーが発生したときだけ印刷するように設定できます。 ➡ 自動印刷設定 • ファクスの受信時にエラーが発生すると、そのエラー番号が受信結果レポートに印刷されます（エラー内容が印刷されるものもあります）。 エラー番号については、「ファクス受信時のエラー一覧」を参照してください。
メモリークリアリスト	停電や電源プラグを抜かれたことで、本製品のメモリーに保存されているファクスが消去されたときに、消去されたファクスの一覧を印刷します。 電源を入れ直したときにタッチスクリーンに［電源プラグが抜かれたためメモリーの未送信/受信原稿が失われました 用紙をセットし[OK]をタップすると消失リストを印刷します］と表示されますので、タッチスクリーンに表示されている［OK］をタップするとメモリークリアリストが印刷されます。

レポートやリストを印刷する

ここでは、手動で印刷できるレポートやリストの印刷のしかたについて説明します。

以下のレポートやリストを手動で印刷できます。

- 通信管理レポート
- 電話帳リスト（宛先電話番号リスト／グループダイヤル電話番号リスト）
- ユーザーデータリスト
- 原稿リスト
- 通信拒否電話番号リスト

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 用紙をセットする
3. ホーム画面をフリックして  ［ファクス］を表示し、タップする

   ➡ 操作パネルの使いかた

   ファクス待機画面が表示されます。
4. ［機能一覧］をタップする

［機能一覧］画面が表示されます。

5. ［レポート/リスト印刷］をタップする

6. 印刷したいレポートまたはリストを選んで、印刷を開始する

- ［電話帳リスト］を選んだ場合：

  ［宛先］または［グループダイヤル］を選んでください。

  ［宛先］を選んだ場合は、名前順に印刷するかを選びます。［はい］を選んだ場合は名前順で、［いいえ］を選んだ場合は ID 番号順で宛先電話番号リストを印刷します。

  ［グループダイヤル］を選んだ場合は確認画面が表示されますので、［はい］をタップしてください。グループダイヤル電話番号リストが印刷されます。

- ［電話帳リスト］以外を選んだ場合：

  確認画面が表示されますので、［はい］をタップしてください。

  選んだレポートまたはリストが印刷されます。

ファクス送信時のエラー一覧

ファクスの送信時にエラーが発生すると、そのエラー番号がエラー送信レポートまたは通信管理レポートに印刷されます（エラー内容が印刷されるものもあります）。

エラー番号に対応するエラー内容は次のとおりです。

番号	エラー内容	対処方法
#001	ADF で原稿がつまっています	ADF（自動原稿給紙装置）で原稿がつまりました。 原稿を取り除き、もう一度送信してください。
#003	原稿が長すぎます	長さが 400 mm 以上ある原稿を送信しようとしました。 ADF（自動原稿給紙装置）から送信できる原稿の長さは、最長 400 mm までです。これ以上の長さの原稿は送信できません。 1 ページの送信に時間がかかった場合も、「#003」が出力されます。原稿を分割して送信し直すか、画質（解像度）を低く設定して送信し直してください。
#005	相手先が応答しません	送信先のファクス機が応答しません。 送信先に連絡し、電話回線が接続されているか調べてもらってください。
#012	送信先に用紙がありません	送信先のファクス機の記録紙がないため送信できませんでした。 送信先に連絡し、記録紙をセットしてもらってください。
#017	ダイヤルトーン検知できませんでした	ダイヤルトーン（発信音）を検出できませんでした。 ［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［ダイヤルトーン検知］が［する］になっています。［しない］に設定して送信してください。 ➡ ファクスの詳細設定
#018	話し中でした	送信先が話し中のため送信できませんでした。 しばらくしてから、もう一度送信してください。
#022	番号が削除されました	電話帳に登録したファクス／電話番号が間違っています。 送信先のファクス／電話番号を確認し、電話帳に登録したファクス／電話番号を変更し、もう一度送信してください。

		➡ 登録した情報を変更する
#037	メモリーがいっぱいです	本製品のメモリーがいっぱいのため送信できませんでした。 本製品のメモリーの内容を削除してから、もう一度送信してください。 ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて
#059	送信先の FAX 情報確認により、送信できませんでした	[ファクス設定]の[あんしん通信管理]にある[送信先の FAX 情報確認]を[する]に設定しているときに、本製品が相手先の端末情報を確認できなかったため、またはダイヤルしたファクス／電話番号が相手先の端末情報と一致しなかったため、送信がキャンセルされました。 設定については、「送信先のファクス情報を確認してから送信する（送信先の FAX 情報確認）」を参照してください。
#085	モノクロでやり直してください	送信先のファクス機がカラーに対応していません。 白黒でもう一度送信してください。
#099	ファクスの送信中にストップボタンが押されました	ファクスの送信中にストップボタンを押したため、送信を中止しました。必要であれば、もう一度送信してください。
#412	パソコンからファクスが送信できませんでした	パソコンから送信したファクスが送信できませんでした。本製品とパソコンが正しく接続されているか確認してから、もう一度送信してください。
#995	自動リダイヤル中のファクスが削除されました	自動リダイヤル中のファクスは、送信が完了するまで一時的に本製品のメモリーに保存されています。自動リダイヤルでの送信が完了する前に、停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去され、送信されません。 もう一度送信してください。

ファクス受信時のエラー一覧

ファクスの受信時にエラーが発生すると、そのエラー番号が受信結果レポートまたは通信管理レポートに印刷されます（エラー内容が印刷されるものもあります）。

エラー番号に対応するエラー内容は次のとおりです。

番号	エラー内容	対処方法
#003	1 ページの受信に時間がかかりすぎています	送信元に連絡して、原稿を分割して送信し直してもらうか、画質（解像度）を低く設定して送信し直してもらってください。
#005	相手先が応答しません	手動でファクスを受信したときに、送信元のファクス機から信号を検知することができませんでした。 送信元に連絡し、もう一度送信してもらうか、自動でファクスを受信するように本製品を設定してください。
#037	メモリーがいっぱいです	本製品のメモリーがいっぱいのため受信できませんでした。 「本製品のメモリーに保存されているファクスについて」を参照し、本製品のメモリーの内容を削除してから、もう一度送信してもらってください。
#046	ファクス受信拒否により受信できませんでした	[ファクス設定]の[あんしん通信管理]にある[ファクス受信拒否設定]で設定した相手からのファクス受信を拒否しました。

		設定については、「ファクス受信拒否設定を使う」を参照してください。
#099	ファクスの受信中にストップボタンが押されました	ファクスの受信中にストップボタンを押したため、受信を中止しました。必要であれば、もう一度送信してもらってください。
#995	受信したファクスが削除されました	印刷や、USB フラッシュメモリーへ保存、またはパソコンの共有フォルダーに転送される前に、受信ファクスが削除されました。必要であれば、もう一度送信してもらってください。

パソコンからファクスを送信する（Windows）

- ファクスを送信する（ファクスドライバー） 基本
- アドレス帳を作る（ファクスドライバー）
- アドレス帳の送信先を変更、削除する（ファクスドライバー）
- アドレス帳から送信先を検索する（ファクスドライバー）
- パソコンからファクスを送信できない
- ファクスドライバーの設定画面の開きかた
- 使用上の注意（ファクスドライバー）

ファクスを送信する（ファクスドライバー）

印刷機能のあるアプリケーションソフトから、ファクスドライバーを使ってファクスを送信できます。

参考

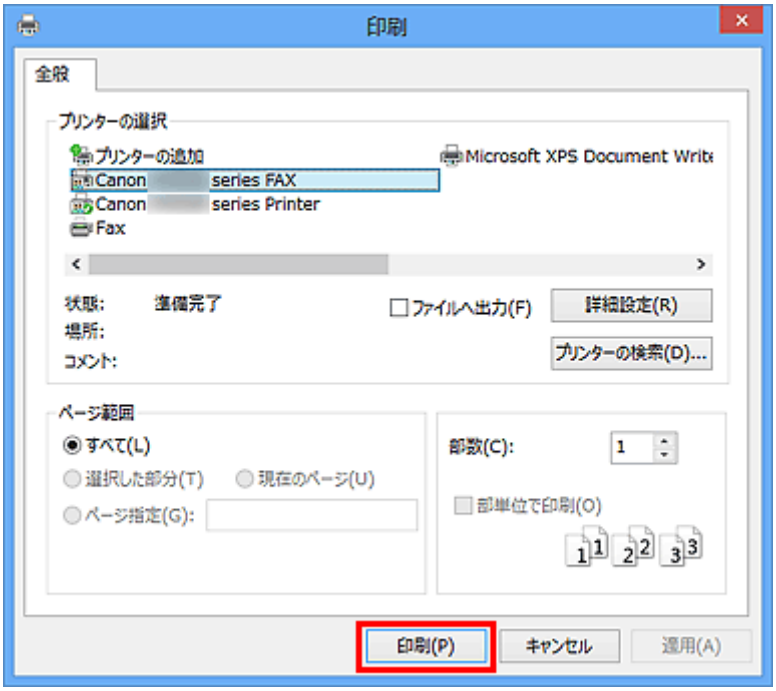
- モノクロ送信にのみ対応しています。

1. 本製品の電源が入っていることを確認

2. 送信する文書をアプリケーションソフト（メモ帳など）で開き、印刷の操作を行う（[ファイル]メニューから［印刷...］など）

3. ［印刷］ダイアログボックスの［プリンターの選択］または［プリンタ名］で［Canon XXX series FAX］（「XXX」は機種名）を選択

4. ［印刷］または［OK］をクリック

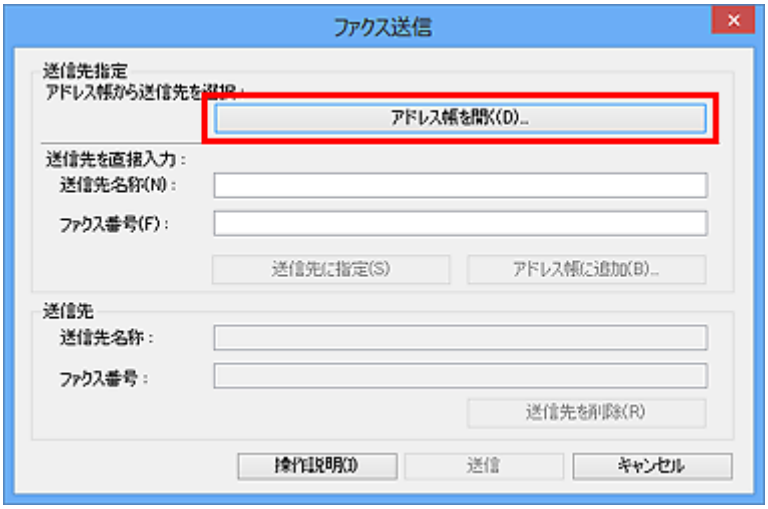


*メモ帳の［印刷］ダイアログボックス

参考

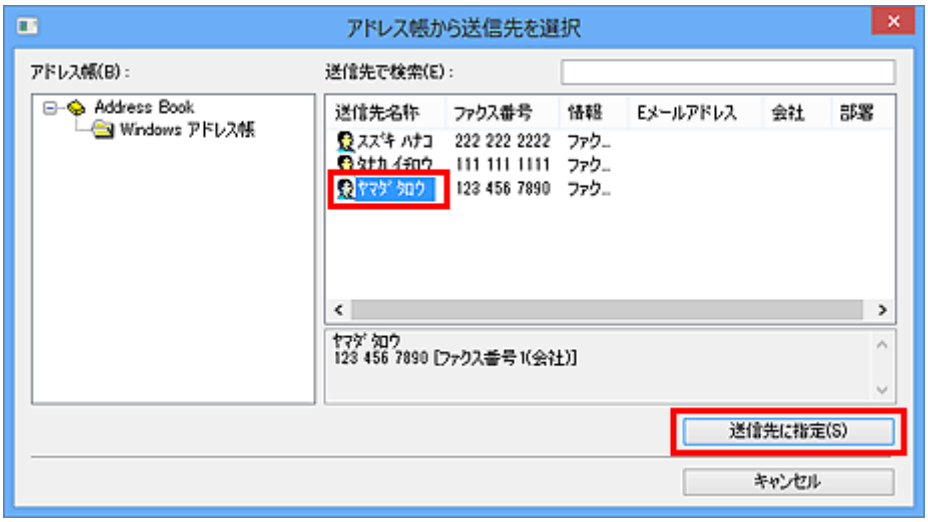
- ［印刷］ダイアログボックスの［詳細設定］または［プロパティ］をクリックすると、ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスが開き、用紙サイズや印刷方向を設定できます。ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスを開く方法については、「ファクスドライバーの設定画面の開きかた」を参照してください。

5. ［ファクス送信］ダイアログボックスの［送信先指定］で［アドレス帳を開く...］をクリック



6. ［アドレス帳から送信先を選択］ダイアログボックスの［送信先名称］から送信先を選択し、［送信先に指定］をクリック

   選んだ送信先が、［ファクス送信］ダイアログボックスの［送信先］に反映されます。



重要

- アドレス帳に送信先が登録されていない場合は、送信先を指定できません。アドレス帳に送信先を登録してから再度アドレス帳を開いてください。

  アドレス帳に送信先を登録する方法は、「アドレス帳を作る（ファクスドライバー）」を参照してください。

- 送信先番号の入力間違え、ファクス番号の登録ミスなどにより、意図しない相手に原稿が送信されるおそれがあります。大切な原稿を送信する場合は、入力した情報や送信先の状況を確認してから原稿を送信することをお勧めします。

参考

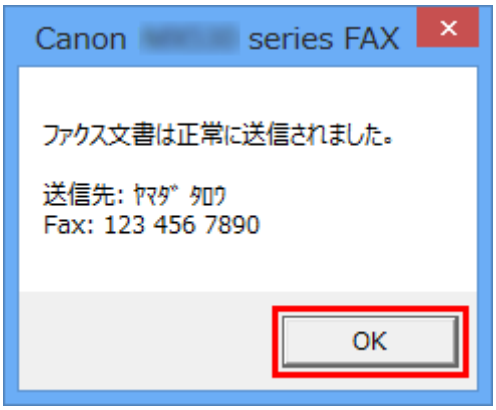
- ［ファクス送信］ダイアログボックスの［送信先を直接入力］で［送信先名称］と［ファクス番号］を半角文字で入力し、［送信先に指定］をクリックしても、入力した送信先を［送信先］に指定できます。
  - 入力できる文字の詳細については、「使用上の注意（ファクスドライバー）」を参照してください。
  - ［ファクス番号］のみの入力でも、送信できます。

- ［アドレス帳に追加...］をクリックすると、入力した送信先をアドレス帳に登録できます。アドレス帳に送信先を登録する方法は、「アドレス帳を作る（ファクスドライバー）」を参照してください。
- 必要に応じて、ファクス番号の前に外線発信番号を付加してください。

  （例：外線発信番号「0」、ファクス番号「XXX-XXXX」のとき、「0XXX-XXXX」と入力します。）

7. ［送信］をクリック

確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。



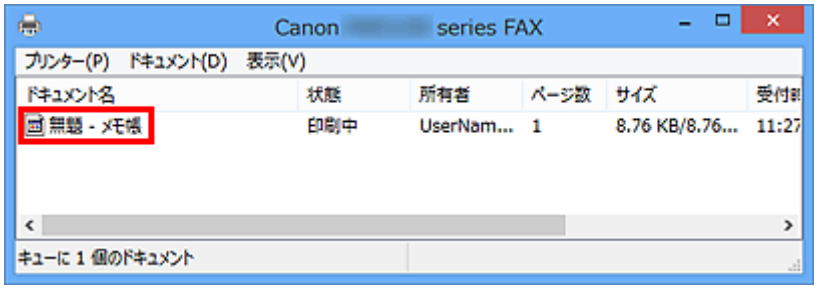
重要

- 回線エラーなどでファクス送信ができない場合は、「パソコンからファクスを送信できない」を参照してください。

送信を中止する

［ファクス送信］ダイアログボックスで［送信］をクリックすると、タスクバーにプリンターのアイコンが表示されます。プリンターのアイコンをダブルクリックすると、送信中のジョブや送信待ちのジョブが一覧で表示されます。

ジョブを右クリックして［キャンセル］を選ぶと、送信が中止されます。



アドレス帳を作る（ファクスドライバー）

アドレス帳を使うと、簡単に送信先を指定してファクスを送ることができます。

アドレス帳には、送信先の名前、ファクス番号などを登録します。

アドレス帳に送信先（連絡先）を登録する

アドレス帳には、個人の送信先（連絡先）を登録できます。

1. ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスを開く

2. 表示されたダイアログボックスの［アドレス帳...］をクリック



参考

- アドレス帳フォルダー（Windows アドレス帳）の中に、個人の送信先（連絡先）などをアドレス帳ファイル（.contact ファイル）として登録すると、複数のアプリケーションソフトで使用できます。ただし、1 ユーザーが 1 つのアドレス帳しか作成できないため、アドレス帳の変更はできません。

  Windows アドレス帳は以下の手順に従って開くことができます。

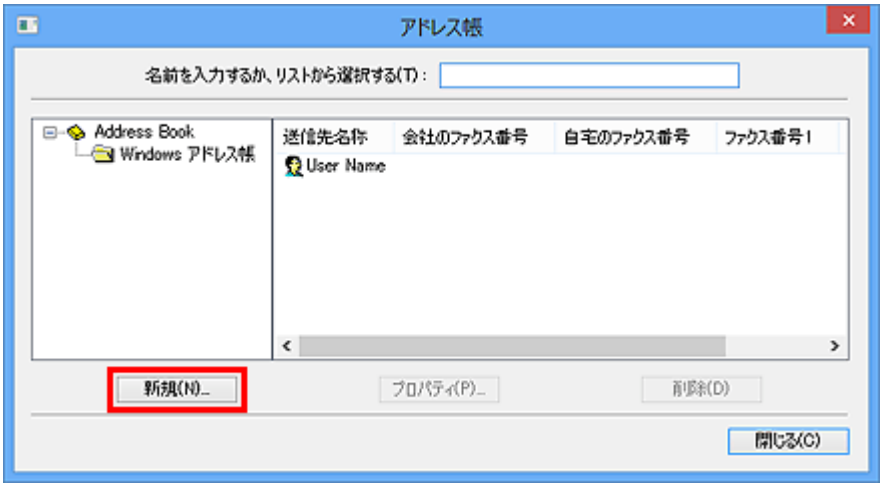
  - **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

    ［検索］チャームを選び、「アドレス帳」を検索

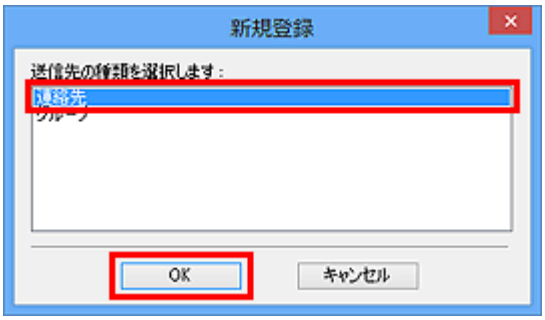
  - **Windows 7／Windows Vista の場合：**

    ［スタート］メニューから［XXXX（ユーザー名）］を選び、［アドレス帳］をダブルクリック

3. ［アドレス帳］ダイアログボックスの［新規...］をクリック



4. [新規登録] ダイアログボックスの [連絡先] を選択し、[OK] をクリック

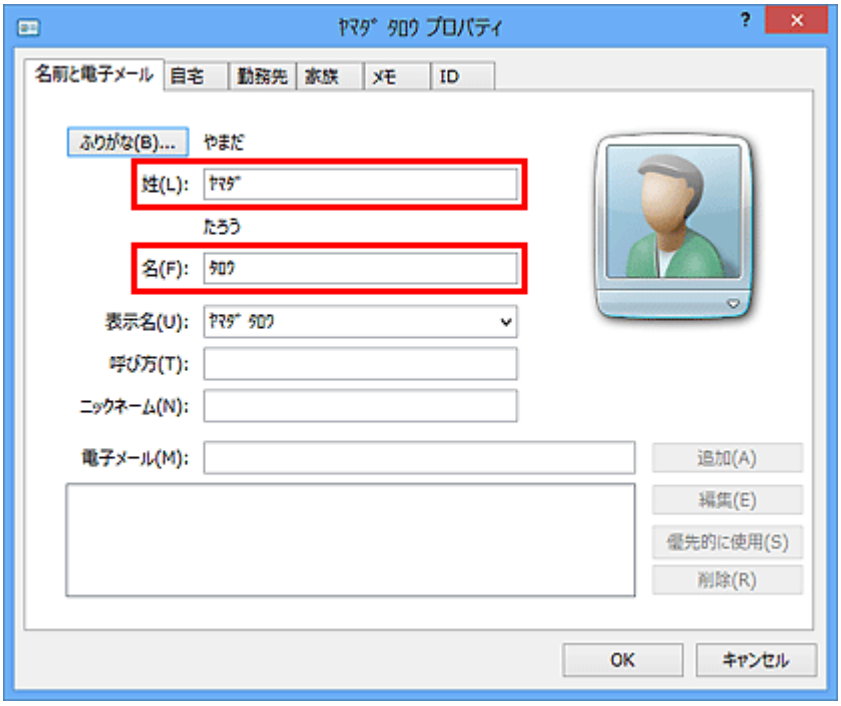


参考

- ファクスの送信先は [連絡先] (1 件の送信先) のみ指定できます。[グループ] (複数の送信先) の指定はできません。

5. プロパティダイアログボックスの [名前と電子メール] シートで [姓] と [名] を入力

[姓]、[名] は、ファクスが送信先に届くと、ファクスの一番上の部分に印刷されます。ただし、登録された文字が漢字やひらがなどの全角の場合、ピリオド (...) に置きかわって印刷されます。半角文字 (英字、数字、カタカナ) は、登録した文字のとおりに印刷されます。

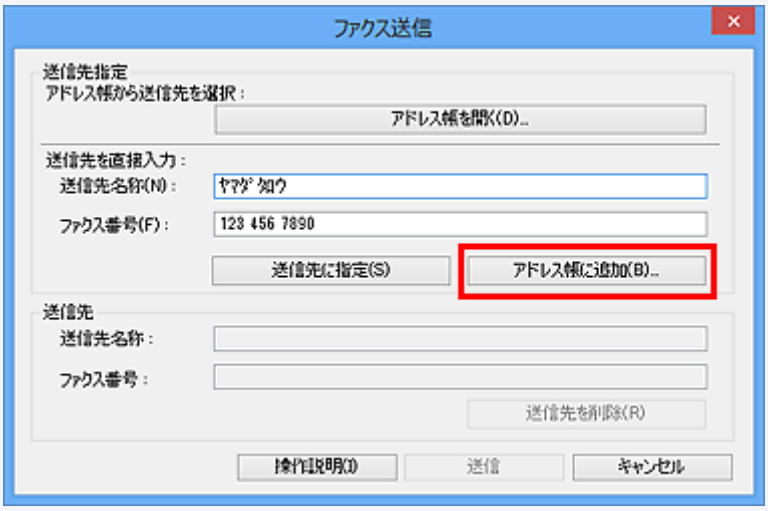


6. ［自宅］シートまたは［勤務先］シートでファクス番号を入力して、［OK］をクリック

アドレス帳に個人の送信先（連絡先）が登録されます。

参考

- ［ファクス送信］ダイアログボックスで送信先を入力後、［アドレス帳に追加...］をクリックしてもアドレスを登録できます。



- 必要に応じて、ファクス番号の前に外線発信番号を付加してください。

（例：外線発信番号「0」、ファクス番号「XXX-XXXX」のとき、「0XXX-XXXX」と入力します。）

- Windows XP から Windows Vista にアップグレードした際、Windows XP で作成したアドレス帳が新しいアドレス帳に反映されていない場合があります。その際は以下の方法でアドレス帳を開いて、新しいアドレス帳に情報を反映させてください。

  1. ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［デスクトップのカスタマイズ］→［フォルダ オプション］の順にクリック
  2. ［フォルダ オプション］ダイアログボックスの［表示］タブをクリックし、［詳細設定］で［すべてのファイルとフォルダを表示する］を選び、［OK］をクリック
  3. ［スタート］メニューから［XXXX（ユーザー名）］→［AppData］→［Roaming］→［Canon］→［MP5］の順にクリックし、フォルダーを開く

4. 拡張子が「.wab」のファイルをダブルクリック

   自動でアドレス帳が反映されます。

関連項目

- アドレス帳の送信先を変更、削除する（ファクスドライバー）
- アドレス帳から送信先を検索する（ファクスドライバー）

アドレス帳の送信先を変更、削除する（ファクスドライバー）

アドレス帳に登録した送信先の名前、ファクス番号などを変更したり、送信先を削除したりできます。

アドレス帳の送信先を変更する

1. ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスを開く

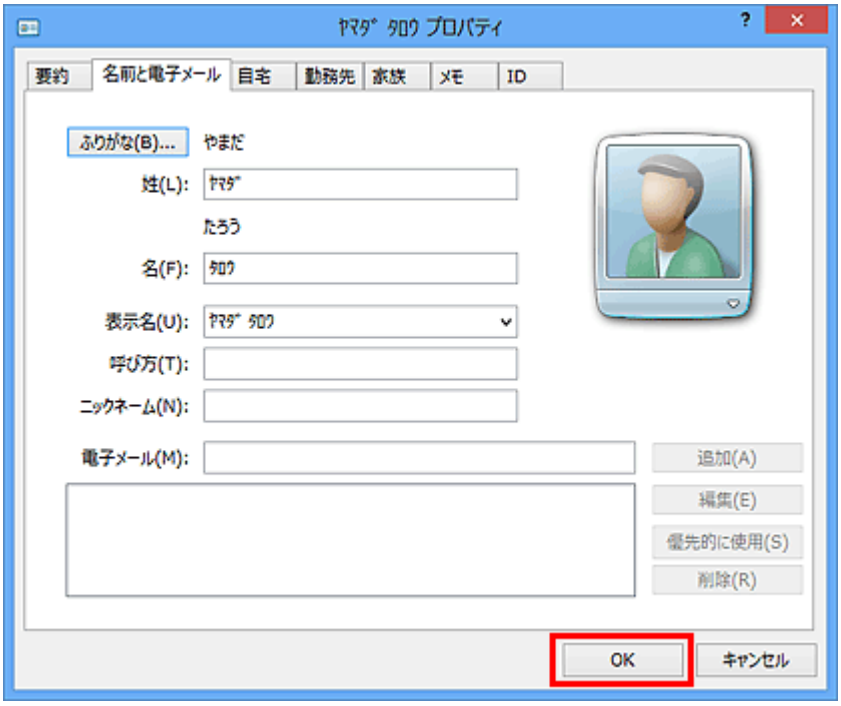
2. 表示されたダイアログボックスの［アドレス帳...］をクリック



3. ［アドレス帳］ダイアログボックスから変更したい送信先を選び、［プロパティ...］をクリック



4. プロパティダイアログボックスで必要な変更を行い、［OK］をクリック



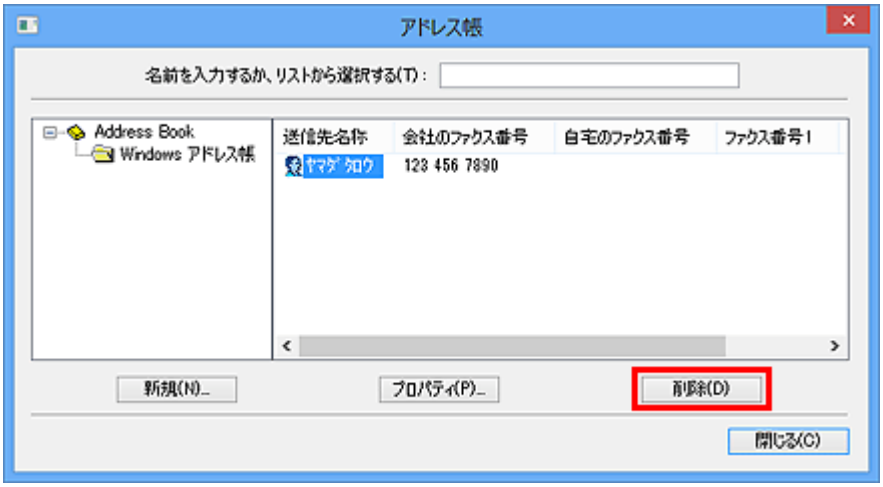
アドレス帳の送信先を削除する

1. ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスを開く

2. 表示されたダイアログボックスの［アドレス帳...］をクリック



3. ［アドレス帳］ダイアログボックスから削除したい送信先を選び、［削除］をクリック



4. 確認のメッセージが表示されたら、［はい］をクリック

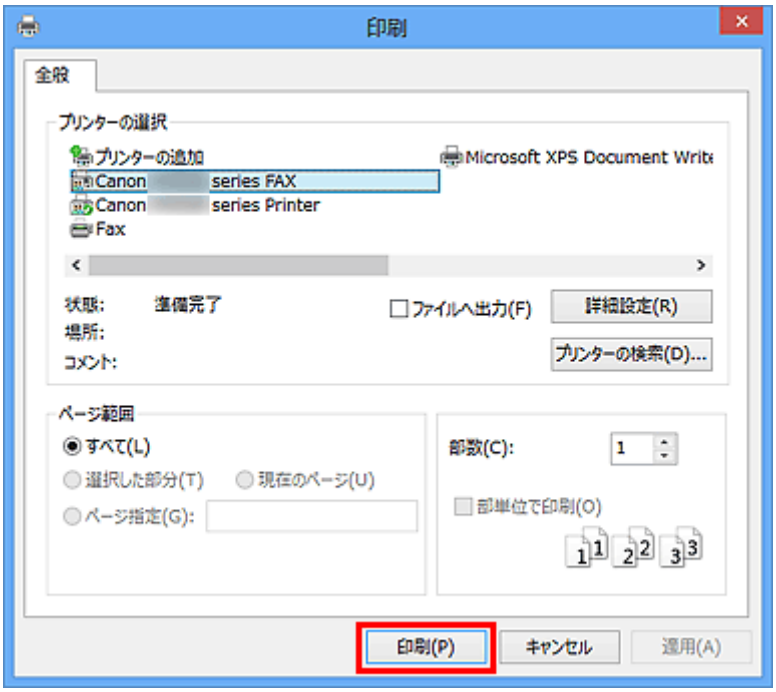
アドレス帳から送信先を検索する（ファクスドライバー）

アドレス帳に登録した送信先を、名前で検索できます。

1. 送信する文書をアプリケーションソフト（メモ帳など）で開き、印刷の操作を行う（［ファイル］メニューから［印刷...］など）

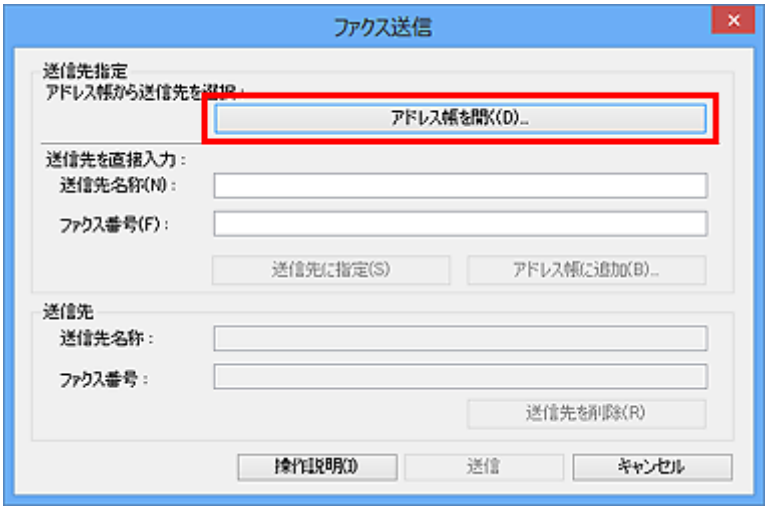
2. ［印刷］ダイアログボックスの［プリンターの選択］または［プリンタ名］で［Canon XXX series FAX］（「XXX」は機種名）を選択

3. ［印刷］または［OK］をクリック



*メモ帳の［印刷］ダイアログボックス

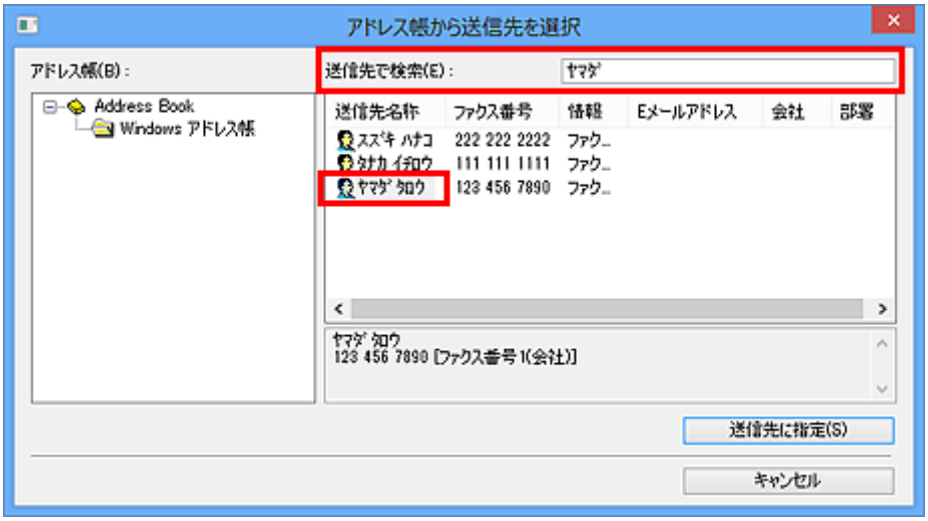
4. ［ファクス送信］ダイアログボックスの［送信先指定］で［アドレス帳を開く...］をクリック



5. ［アドレス帳から送信先を選択］ダイアログボックスの［送信先で検索］に検索する送信先の名前を入力

入力した名前があれば、名前が選択された状態で連絡先一覧に表示されます。

選択された状態で［送信先に指定］をクリックすると、送信先に入力されます。



重要

- 名前以外で検索することはできません。

パソコンからファクスを送信できない

チェック１ 電源が入っていますか

電源が入っていないとファクスを送信できません。電源ボタンを押して電源を入れてください。

電源が入ったまま（操作パネルのランプのいずれかが点灯している状態）、電源プラグを抜いてしまったときは、もう一度電源プラグを差し込むと、電源が入ります。

電源ボタンを押して電源を切ってから（操作パネルのランプがすべて消灯している状態）、電源プラグを抜いたときは、電源プラグを差し込んでから、電源ボタンを押し、電源を入れてください。

停電などで電源が切れてしまったときには、停電が復旧すると、自動的に電源が入ります。

重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して操作パネルのランプが消灯したことを確認してから抜いてください。

  停電が発生したり電源プラグを抜いたりすると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

参考

- 停電や電源プラグを抜いたことで本製品のメモリーに保存されているファクスが消去されたときは、電源を入れ直したあと、消去されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。

チェック２ 本製品のメモリーから送信中、または本製品のメモリーに受信中ではありませんか

本製品の液晶モニターにファクス送受信に関するメッセージが表示されているときは、本製品のメモリーから別のファクスを送信している、または、ファクスを本製品のメモリーに受信しています。ファクスの送受信が終了するまでお待ちください。

チェック３ 電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていますか

電話回線が自動で正しく設定されないことがあります。電話回線の種類を確認して設定を手動で変更してください。

チェック４ ［ダイヤルトーン検知］の設定が［する］になっていませんか

時間をおいてから、再度送信してください。

それでも送信できないときは、［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［ダイヤルトーン検知］を［しない］に設定してください。

チェック５ 送信先のファクス番号は正しいですか

送信先のファクス番号を確認し、もう一度送信してください。

➡ ファクスを送信する（ファクスドライバー）

参考

- アドレス帳に登録されている送信先を変更する方法については、「アドレス帳の送信先を変更、削除する（ファクスドライバー）」を参照してください。

チェック６ 送信中にエラーが発生していませんか

パソコンの画面にメッセージが表示されているか確認してください。

表示されている場合は、内容を確認してエラーを解消してください。

チェック７ プリンターエラーが発生していませんか

液晶モニターにメッセージが表示されているか確認してください。

サポート番号が表示されている場合は、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「サポート番号一覧」を参照してください。

サポート番号が表示されていない場合は、オンラインマニュアルのホームからご使用の機種の「メッセージが表示されている」を参照してください。

お急ぎの場合は、ストップボタンを押してメッセージを閉じることにより、ファクスを送信することができます。

チェック８ 電話回線が正しく接続されていますか

モジュラーケーブルを電話回線接続部に接続し直してください。

電話回線が正しく接続されている場合は、電話回線に問題があります。電話会社、接続している TA（ターミナルアダプター）または電話アダプターのメーカーへお問い合わせください。

ファクスドライバーの設定画面の開きかた

ご使用のアプリケーションソフトまたはファクス／プリンターのアイコンから、ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスや、プロパティダイアログボックスを表示する方法を説明します。

ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスをアプリケーションソフトから開く

1. アプリケーションソフトで印刷の操作を行う

   一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログボックスを開くことができます。

2. 「ご使用の機種名」を選び、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリック

   ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスが表示されます。

ファクスドライバーの印刷設定ダイアログボックスをファクス／プリンターのアイコンから開く

- **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

  1. ［設定］チャーム→［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］の順にクリック

  2. ［Canon XXX series Printer］のアイコンまたは［Canon XXX series FAX］のアイコンを右クリックし、［印刷設定］、［Canon XXX series FAX］の順に選択（「XXX」は機種名）

- **Windows 7 の場合：**

  1. ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］を選択

  2. ［Canon XXX series Printer］のアイコンまたは［Canon XXX series FAX］のアイコンを右クリックし、［印刷設定］、［Canon XXX series FAX］の順に選択（「XXX」は機種名）

- **Windows Vista の場合：**

  1. ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択

  2. ［Canon XXX series FAX］（「XXX」は機種名）のアイコンを右クリックし、［印刷設定...］を選択

ファクスドライバーのプロパティダイアログボックスをファクス／プリンターのアイコンから開く

- **Windows 8.1／Windows 8 の場合：**

  1. ［設定］チャーム→［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］の順にクリック

  2. ［Canon XXX series Printer］のアイコンまたは［Canon XXX series FAX］のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］、［Canon XXX series FAX］の順に選択（「XXX」は機種名）

- **Windows 7 の場合：**

  1. ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］を選択

  2. ［Canon XXX series Printer］のアイコンまたは［Canon XXX series FAX］のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］、［Canon XXX series FAX］の順に選択（「XXX」は機種名）

- **Windows Vista の場合：**

  1. ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選択

  2. ［Canon XXX series FAX］（「XXX」は機種名）のアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択

使用上の注意（ファクスドライバー）

本ファクスドライバーを使用する際は、以下のような制限事項があります。

あらかじめこれらの点に注意してください。

- ファクスドライバーを使って Microsoft Excel 2002 の文書をファクス送信するときに、Microsoft Excel 2002 で［A4/レターの用紙サイズを変更できるようにする］にチェックマークが付いていると、正しく動作しないことがあります。次の手順で設定を変更すると、文書は正しく送信できるようになります。

  1. ［ツール］メニューの［オプション...］をクリック
  2. ［インターナショナル］シートで［A4/レターの用紙サイズを変更できるようにする］のチェックマークを外す

- ネットワークに対応したプリンターをご使用の場合、複数のパソコンから同時にファクス送信することはできません。1 台のパソコンからファクス送信しているときに、ほかのパソコンからファクス送信を行うと、メッセージが表示され送信できません。

  ほかのパソコンからファクス送信中ではないか確認してください。

- Bluetooth のポートをファクスドライバーに割り当てると、パソコンからファクスを送信できません。
- ［ファクス番号］に使用できる文字／記号は以下のとおりです。

文字／記号	説明
0～9 * #	電話番号やファクス番号に使います。
, p	番号の間にポーズを入れるときに使います。
P	番号の最後にポーズを入れるときに使います。
T	この後のファクス番号はプッシュ（トーン）信号で発信されます。
+ - ( ) スペース	番号を読みやすくするために使います。ただし、スペースを番号の先頭に入れることはできません。

  *「.」、「R」、「M」、「E」 は使用できません。

- ［送信先名称］、［ファクス番号］に入力できる文字数は以下のとおりです。

  ［送信先名称］：半角カナ英数字で最大 16 文字

  ［ファクス番号］：半角数字記号で最大 60 文字

  *ご使用の地域によっては、入力できる文字数が異なります。

- ［Canon XXX series FAX のプロパティ］（「XXX」は機種名）ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックマークを外すと正しく動作しません。チェックマークが付いていることを確認してください。

［Canon XXX series FAX のプロパティ］ダイアログボックスの開きかたについては、「ファクスドライバーのプロパティダイアログボックスをファクス／プリンターのアイコンから開く」を参照してください。

パソコンからファクスを送信する（Mac OS）

- ファクスを送信する
- 使用上の注意

ファクスを送信する

本製品を使用して Mac から文書をファクス送信できます。

Mac からファクス送信する際は、ご使用の Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加してください。

お使いの環境を確認する

はじめに、お使いの環境を確認してください。

- **AirPrint の動作環境**

  最新バージョンの OS がインストールされている Mac

- **使用条件**

  Mac が、同一のネットワーク上でプリンターと LAN 接続されていること。

ご使用の Mac に本製品を AirPrint プリンターとして追加する

1. ご使用の Mac で［システム環境設定］を開き、［プリンタとスキャナ］（［プリントとスキャン］）を選ぶ
2. ［+］をクリックして、プリンターリストを表示する
3. ［Bonjour マルチファンクション］と表示されている本製品の機種名を選ぶ
4. ［ドライバ］から［Secure AirPrint］または［AirPrint］を選ぶ
5. ［追加］を選ぶ

Mac からファクスを送信する

参考

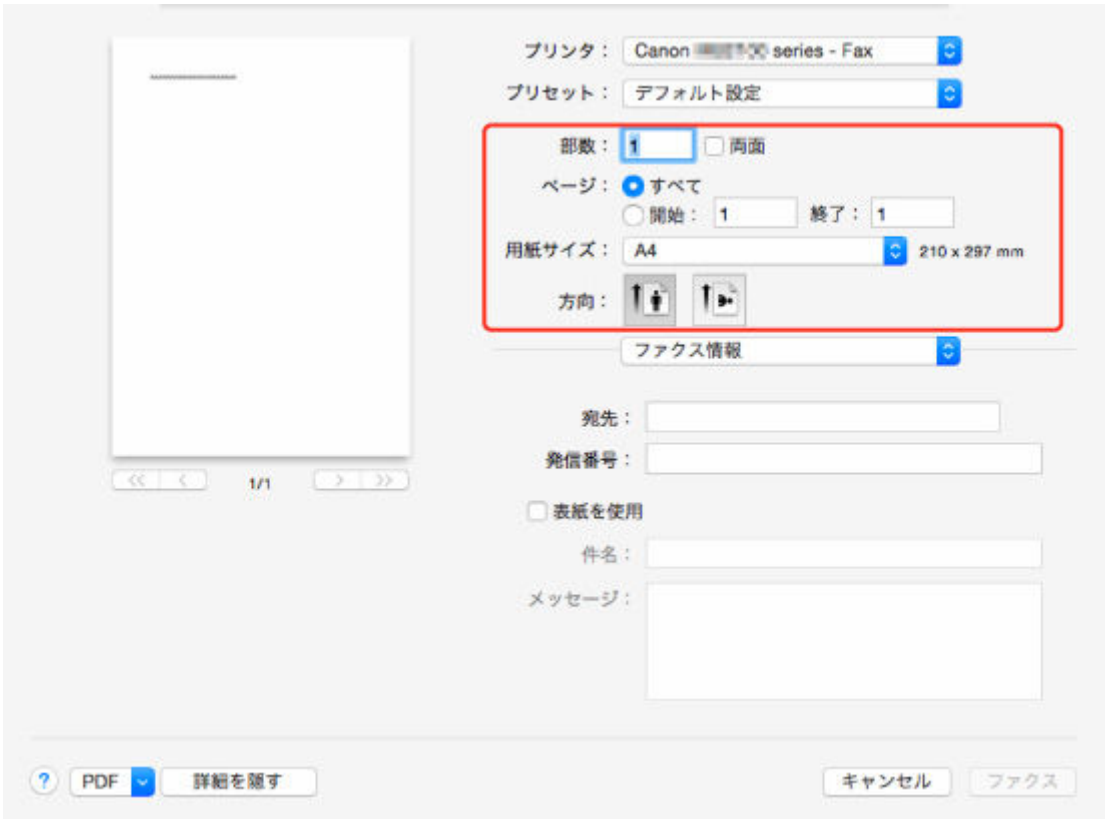
- モノクロ送信のみ対応しています。

1. 本製品の電源が入っていることを確認する
2. 送信する文書をアプリケーションソフトで開く
3. プリントダイアログを開く

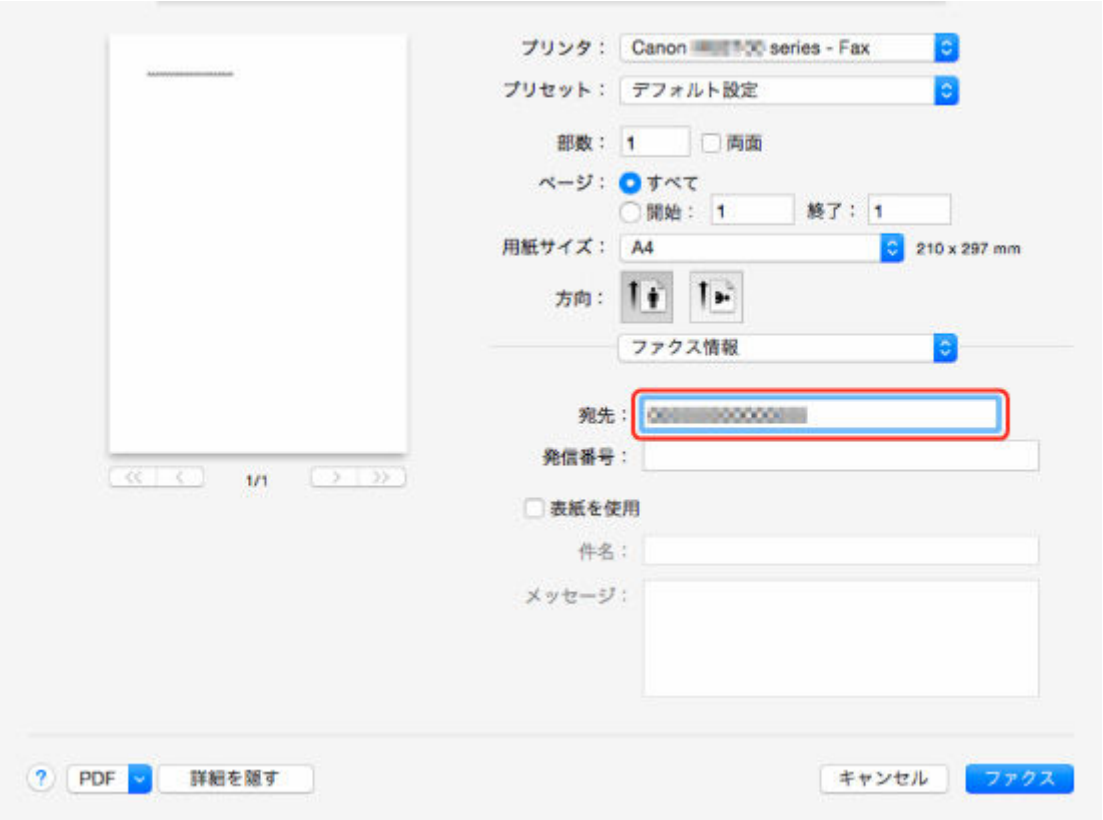
   プリントダイアログを開くには、一般的にアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント...］を選びます。
4. ［プリンタ］から［Canon XXX series - Fax］（「XXX」は機種名）を選ぶ



5. 必要に応じてファクス用紙設定を行う



6. ［宛先：］にファクス／電話番号を入力する



必要に応じて発信番号の入力や、表紙の設定を指定してください。

7. ［ファクス］を選ぶ

本製品が自動的にダイヤルし、ファクスを送信します。

参考

- ファクスの送信を中止するときは、本製品のストップボタンを押します。

自動リダイヤル

本製品の自動リダイヤルの設定に従って、自動リダイヤルを行います。

自動リダイヤルをするか、また自動リダイヤルをするときの回数や間隔を設定できます。

➡ ファクス設定

参考

- 自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたあと、本製品のストップボタンを押します。

使用上の注意

Mac からファクス送信する際は、以下のような制限事項があります。

- ［宛先：］と［発信番号：］の文字数の合計が半角数字記号で 60 文字以内になるように入力してください。60 文字を超えた場合は、先頭の 60 文字のみダイヤルします。
- ［宛先：］に使用できる文字／記号は以下のとおりです。

文字／記号	説明
0～9 * #	電話番号やファクス番号に使います。
+ スペース	番号を読みやすくするために使います。ただし、スペースを番号の先頭に入れることはできません。

- ［発信番号：］に使用できる文字／記号は以下のとおりです。

文字／記号	説明
0～9 * #	電話番号やファクス番号に使います。
p	番号の間にポーズを入れるときに使います。
T	この後のファクス番号はプッシュ（トーン）信号で発信されます。
+ スペース	番号を読みやすくするために使います。ただし、スペースを番号の先頭に入れることはできません。

困ったときには

よくあるご質問

- ネットワーク上にプリンターが見つからない
- 無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない
- 印刷が始まらない
- 白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る
- トラブルが発生したときは
- コピー／印刷結果に満足できない
- メッセージが表示されている
- MP ドライバーがインストールできない
- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- 用紙がつまった
- ファクスを送信できない
- ファクスを受信できない、ファクスを印刷できない
- エラー発生時のサポート番号一覧

こんなトラブルで困っている

- 製品が動かない
  - 電源が入らない
  - 本製品が突然使えなくなった
  - 印刷が始まらない
  - 用紙がつまった
  - スキャンができない（Windows）
  - スキャンができない（Mac OS）
  - スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない
  - AirPrint で印刷できない
- うまく設定できない
  - ［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない
  - ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
  - 無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない
  - 有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない
  - USB 接続がうまくいかない
  - USB 接続で通信ができない
  - ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
  - 無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
  - 本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった
  - ネットワークに関する設定を調べたい
  - 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す
  - MP ドライバーがインストールできない
  - Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）
  - ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）
- 思い通りの結果にならない

- 印刷が始まらない
- 印刷に時間がかかる
- コピー／印刷が途中で止まる
- コピー／印刷結果に満足できない
- インクが出ない
- 用紙がつまった
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- 自動両面印刷でうまく印刷できない
- スキャン結果に満足できない（Windows）
- スキャン結果に満足できない（Mac OS）

- エラーメッセージや他のメッセージが表示されている

  - トラブルが発生したときは
  - タッチスクリーンの表示が消えている
  - 日本語以外の言語が表示されている
  - メッセージが表示されている
  - エラー発生時のサポート番号一覧
  - ファクス待機画面にメッセージが表示されている
  - IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧（Windows）
  - IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧（Mac OS）
  - ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧
  - スキャナードライバーエラーメッセージ一覧

機能別トラブル

- ネットワークに関するトラブル
- 印刷に関するトラブル
- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル
- スキャンに関するトラブル（Windows）
- スキャンに関するトラブル（Mac OS）
- ファクスに関するトラブル
- 本体に関するトラブル
- インストール／ダウンロードに関するトラブル
- エラー表示／メッセージについて
- トラブルが解決しないときは

ネットワークに関するトラブル

- ネットワーク上にプリンターが見つからない
- 本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル
- ネットワークに関するその他のトラブル

ネットワーク上にプリンターが見つからない

プリンターのセットアップをしているとき

- **［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない**
- **セットアップのときに［プリンターの検出］画面でプリンターを検索後にプリンターが見つからない**
- **セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する（Windows）**
- **［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない**

プリンターを使用しているとき

- **無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない**
- **有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない**

参考

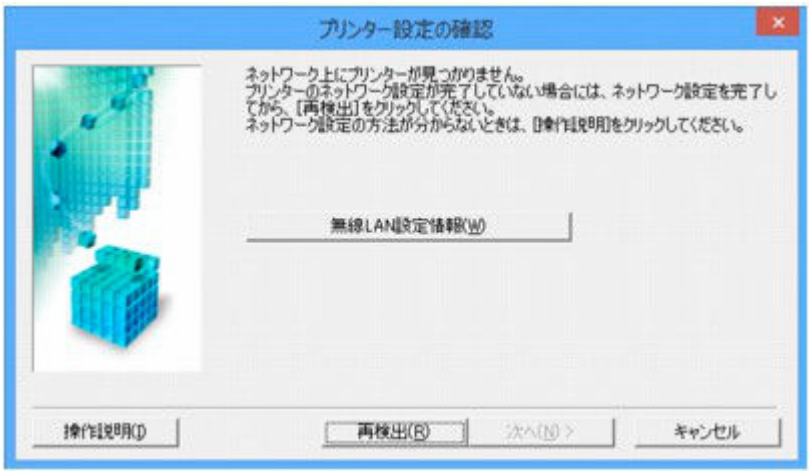
- 無線 LAN と有線 LAN を同時に使用することはできません。

［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

- **Windows をご使用の場合：**

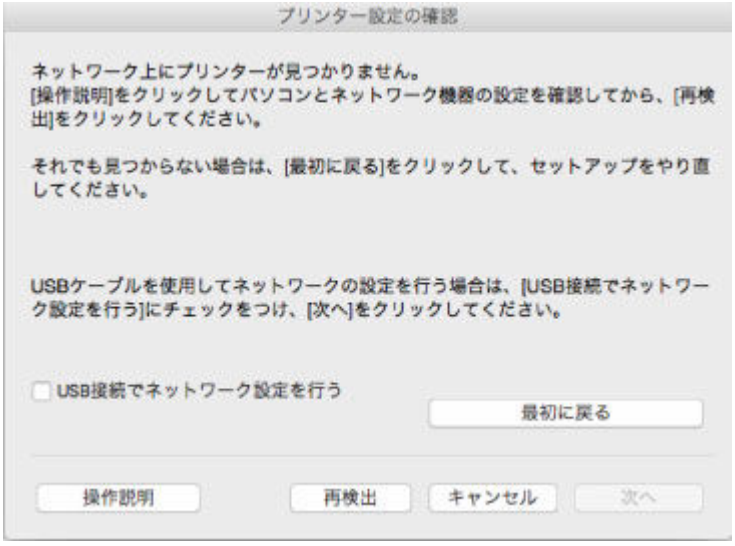
  セットアップのときに［プリンターの検索］画面で［自動検索］を選んでもネットワーク上に本製品が見つからず、［プリンターの設定の確認］画面が表示された場合は、［再検出］をクリックし、再度［プリンターの検索］画面で IP アドレスを指定してプリンターを検索してください。

  IP アドレスを指定しても本製品が見つからない場合は、ネットワークに関する設定を確認してください。



- **Mac OS をご使用の場合：**

  セットアップのときに［プリンターの設定の確認］画面でネットワーク上に本製品が見つからない場合は、プリンターを再検出する前にネットワークに関する設定を確認してください。



➡ チェック１：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

➡ チェック１：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 1：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

本製品と、ネットワーク機器（ルーターなど）の電源は入っていますか?

本製品の電源が入っているか確認してください。

➡ 電源が入っているか確認する

ルーターなどのネットワーク機器の電源が入っていることを確認してください。

電源が入っていない場合：

各機器の電源を入れてください。

電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れてしばらくたったあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

電源が入っている場合：

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。その後、プリンターの再検出を行っても本製品が検出されない場合は、チェック 2 に進んでください。

➡ チェック 2：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 2：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

本製品が無線 LAN 接続で使用できる設定になっていますか?

本製品のタッチスクリーンに Wi-Fi または Wi-X アイコンが表示されていることを確認してください。



表示されていない場合：

- Windows をご使用の場合：

  本製品の無線 LAN の設定が有効になっていません。［プリンター設定の確認］画面で［無線 LAN 設定情報］ボタンをクリックして現在の状態を確認し、本製品を無線 LAN で使用する設定にしてください。

- Mac OS をご使用の場合：

  本製品の無線 LAN の設定が有効になっていません。本製品を無線 LAN で使用する設定にする必要があります。

  設定後は、［プリンター設定の確認］画面で［最初に戻る］ボタンをクリックして、セットアップをやり直してください。

表示されている場合：

チェック 3 に進んでください。

➡ チェック 3：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 3：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

本製品と無線 LAN ルーターが接続されていますか?

本製品のタッチスクリーンに表示されるアイコンで、本製品と無線 LAN ルーターの接続の状態を確認してください。



Wi-Fi アイコンが表示されている場合：

- 無線 LAN ルーターの設置環境を確認する

  無線 LAN ルーターの設定を確認したあと、本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください。

  本製品は無線 LAN ルーターとの距離が 50 m（164 ft）以内の屋内で使用していただくものです。本製品と無線 LAN ルーターを適正な距離に近づけてください。

  無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

  また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

- 無線 LAN ルーターの設定を確認する

  本製品と無線 LAN ルーターは、2.4GHz の周波数帯を使用して接続されている必要があります。本製品が接続している無線 LAN ルーターの SSID が、無線 LAN ルーターの 2.4GHz 用 SSID であることを確認してください。

  本製品が接続している無線 LAN ルーターの SSID は、本製品のタッチスクリーンで確認することができます。

  ホーム画面左下のアイコンをタップし、［設定情報表示］を選んでください。

  無線 LAN ルーターの詳細については、付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

以上の確認、対処を行ったら、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

上記の対処を行っても本製品が検出されない場合は、本製品と無線 LAN ルーターが接続されていません。本製品と無線 LAN ルーターを接続する必要があります。

本製品と無線 LAN ルーターを接続したあと、最初からセットアップをやり直してください。

Wi-Fi アイコンが表示されている場合：

チェック 4 に進んでください。

- チェック 4：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック４：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

本製品の IP アドレスは正しく設定されていますか？

IP アドレスが正しく設定されていないと、本製品が見つからない場合があります。本製品の IP アドレスが、他の機器と重複していないか確認してください。

本製品の IP アドレスは、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。
  - ➡ LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

IP アドレスが正しく設定されていない場合：

「エラー画面が表示されたとき」を参照して、IP アドレスを設定してください。

IP アドレスが正しく設定されている場合：

チェック５に進んでください。

➡ チェック５：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 5：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

ファイアウォールのブロック機能をいったん解除してください

ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がセットアップのための通信を妨げている可能性があります。これらのソフトウェアのメッセージや設定を確認し、ブロック機能をいったん解除してください。

ファイアウォールの設定がセットアップを妨げている場合：

- **メッセージが表示されたとき：**

  キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

  アクセスを許可するように設定したあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

  本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

- **メッセージが表示されていないとき：**

  いったんセットアップを中止し、セキュリティソフトで、以下のキヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスすることを許可するように設定を行ってください。

  - Windows をご使用の場合：

    セットアップ CD-ROM 内の［win］＞［Driver］＞［DrvSetup］フォルダの［Setup.exe］または［Setup64.exe］

  - Mac OS をご使用の場合：

    ［Setup.app］、［Canon IJ Network Tool.app］、［canonijnetwork.bundle］、［CIJScannerRegister.app］、［Canon IJ Scan Utility2.app］、［CIJSUAgent.app］

  セキュリティソフトの設定が完了したら、最初からセットアップをやり直してください。

  セットアップの終了後、ファイアウォールの機能をオンにしてください。

参考

- セキュリティソフトの設定方法は、セキュリティソフトに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ファイアウォールの設定に問題がない場合：

チェック 6 に進んでください。

➡ チェック 6：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 6：無線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

無線 LAN ルーターの設定を確認してください

無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や、DHCP 機能など接続に関する設定を確認してください。

無線 LAN ルーターの無線チャンネルは、本製品に割り当てられている無線チャンネルと同じものにしてください。

無線 LAN ルーターの設定については、ネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、ネットワーク機器メーカーにお問い合わせください。

無線 LAN ルーターの設定を確認したあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

チェック 1：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

LAN ケーブルが接続されていて、本製品とルーターの電源が入っていますか?

LAN ケーブルが接続されていない場合は、接続してください。

本製品の電源が入っていることを確認してください。

➡ 電源が入っているか確認する

ルーターの電源が入っていることを確認してください。

LAN ケーブルが接続されていて、電源が入っていない場合：

各機器の電源を入れてください。

電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れてしばらくたったあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

LAN ケーブルが接続されていて、電源が入っている場合：

すでに電源が入っている場合、または電源を入れてからプリンターの再検出を行っても本製品が検出されない場合は、チェック 2 に進んでください。

➡ チェック 2：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 2：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できますか?

パソコンとネットワーク機器（ルーターなど）の設定が完了していて、パソコンがネットワークに接続できる状態になっている必要があります。

閲覧できない場合：

［プリンター設定の確認］画面で［キャンセル］ボタンをクリックして、いったんセットアップを中止してください。

そのあと、パソコンとネットワーク機器の設定を確認してください。

設定する方法については、パソコンおよびネットワーク機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

パソコンとネットワーク機器の設定を確認したあと、任意のウェブページが閲覧することができたら、最初からセットアップをやり直してください。

閲覧できる場合：

チェック 3 に進んでください。

➡ チェック 3：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック３：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

本製品が有線 LAN 接続で使用できる設定になっていますか？

本製品のタッチスクリーンに LAN アイコンが表示されていることを確認してください。



表示されていない場合：

本製品の有線 LAN の設定が有効になっていません。本製品を有線 LAN で使用する設定にする必要があります。

設定後、セットアップをやり直してください。

表示されている場合：

チェック４に進んでください。

➡ チェック４：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック４：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

本製品の IP アドレスは正しく設定されていますか？

IP アドレスが正しく設定されていないと、本製品が見つからない場合があります。本製品の IP アドレスが、他の機器と重複していないか確認してください。

本製品の IP アドレスは、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。
  - ➡ LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

IP アドレスが正しく設定されていない場合：

「エラー画面が表示されたとき」を参照して、IP アドレスを設定してください。

IP アドレスが正しく設定されている場合：

チェック５に進んでください。

➡ チェック５：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 5：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

ファイアウォールのブロック機能をいったん解除してください

ご使用のパソコンにインストールされているオペレーティングシステムやセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がセットアップのための通信を妨げている可能性があります。これらのソフトウェアのメッセージや設定を確認し、ブロック機能をいったん解除してください。

ファイアウォールの設定がセットアップを妨げている場合：

- **メッセージが表示されたとき：**

  キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

  アクセスを許可するように設定したあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

  本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

- **メッセージが表示されていないとき：**

  いったんセットアップを中止し、セキュリティソフトで、以下のキヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスすることを許可するように設定を行ってください。

  - Windows をご使用の場合：

    セットアップ CD-ROM 内の［win］＞［Driver］＞［DrvSetup］フォルダの［Setup.exe］または［Setup64.exe］

  - Mac OS をご使用の場合：

    ［Setup.app］、［Canon IJ Network Tool.app］、［canonijnetwork.bundle］、［CIJScannerRegister.app］、［Canon IJ Scan Utility2.app］、［CIJSUAgent.app］

  セキュリティソフトの設定が完了したら、最初からセットアップをやり直してください。

  セットアップの終了後、ファイアウォールの機能をオンにしてください。

参考

- セキュリティソフトの設定方法は、セキュリティソフトに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ファイアウォールの設定に問題がない場合：

チェック 6 に進んでください。

➡ チェック 6：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

チェック 6：有線 LAN 接続のセットアップのときに［プリンター設定の確認］画面でプリンターが見つからない

ルーターの設定を確認してください

ルーターで MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や、DHCP 機能など接続に関する設定を確認してください。

ルーターの設定については、ルーターに付属の取扱説明書を参照するか、ルーターのメーカーにお問い合わせください。

ルーターの設定を確認したあと、［プリンター設定の確認］画面で［再検出］ボタンをクリックしてプリンターの再検出を行ってください。

本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

セットアップのときに［プリンターの検出］画面でプリンターを検索後にプリンターが見つからない

- **Windows をご使用の場合：**

  現在のセットアップ方法では、ネットワーク上で本製品を見つけられませんでした。

  ［ガイドにしたがってネットワーク設定を行う］のラジオボタンを選び、［次へ］ボタンをクリックしてください。別のセットアップ方法を案内する画面が表示されます。



  引き続き画面の案内に従ってセットアップを行ってください。

参考

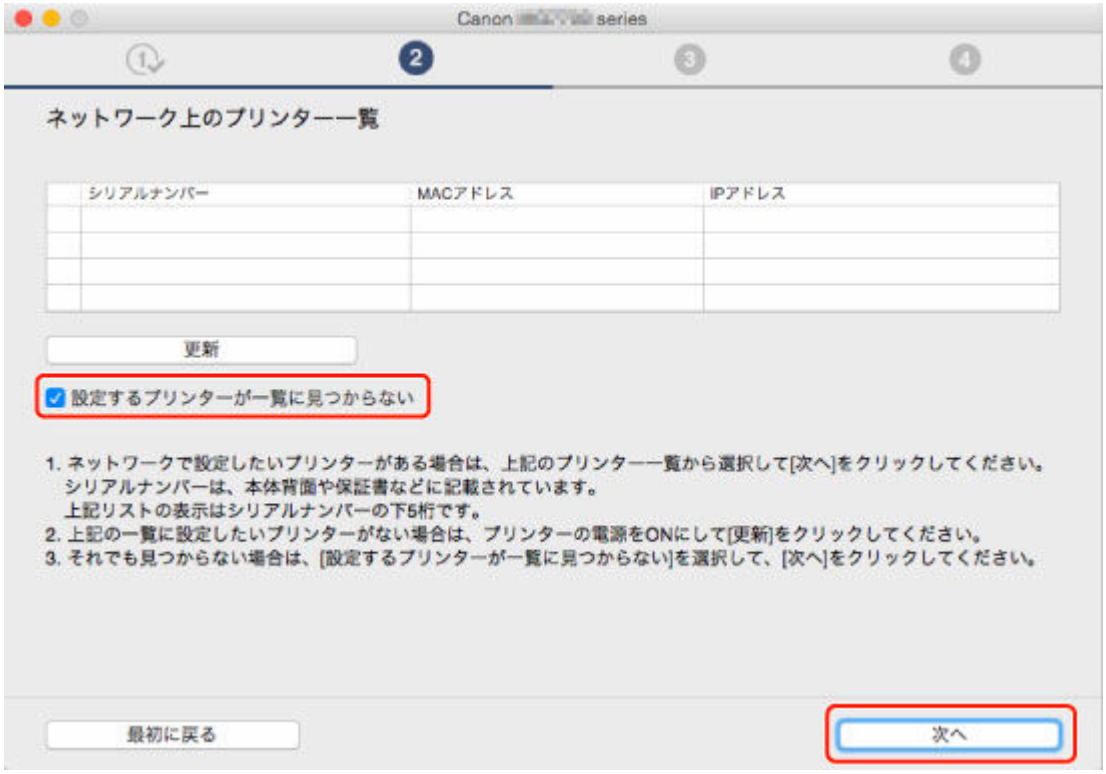
- IP アドレスやホスト名を指定して、プリンターを検索することもできます。

  ➡ セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する（Windows）

- **Mac OS をご使用の場合：**

  現在のセットアップ方法では、ネットワーク上で本製品を見つけられませんでした。

  ［設定するプリンターが一覧に見つからない］にチェックマークを付けて、［次へ］ボタンをクリックしてください。別のセットアップ方法を案内する画面が表示されます。



引き続き画面の案内に従ってセットアップを行ってください。

セットアップのときに IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索する（Windows）

［プリンターの選択］画面でプリンターが見つからない場合は、プリンターの IP アドレスやホスト名を指定してプリンターを検索することもできます。［IP アドレスを指定して検索する］のラジオボタンを選び、［次へ］ボタンをクリックしてください。検索方法を指定する画面が表示されます。

1. 本製品の IP アドレスやホスト名を確認する

   本製品の IP アドレスやホスト名は、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

   - 本製品のタッチスクリーンに表示する。

     ➡ LAN 設定

   - ネットワーク設定情報を印刷する。

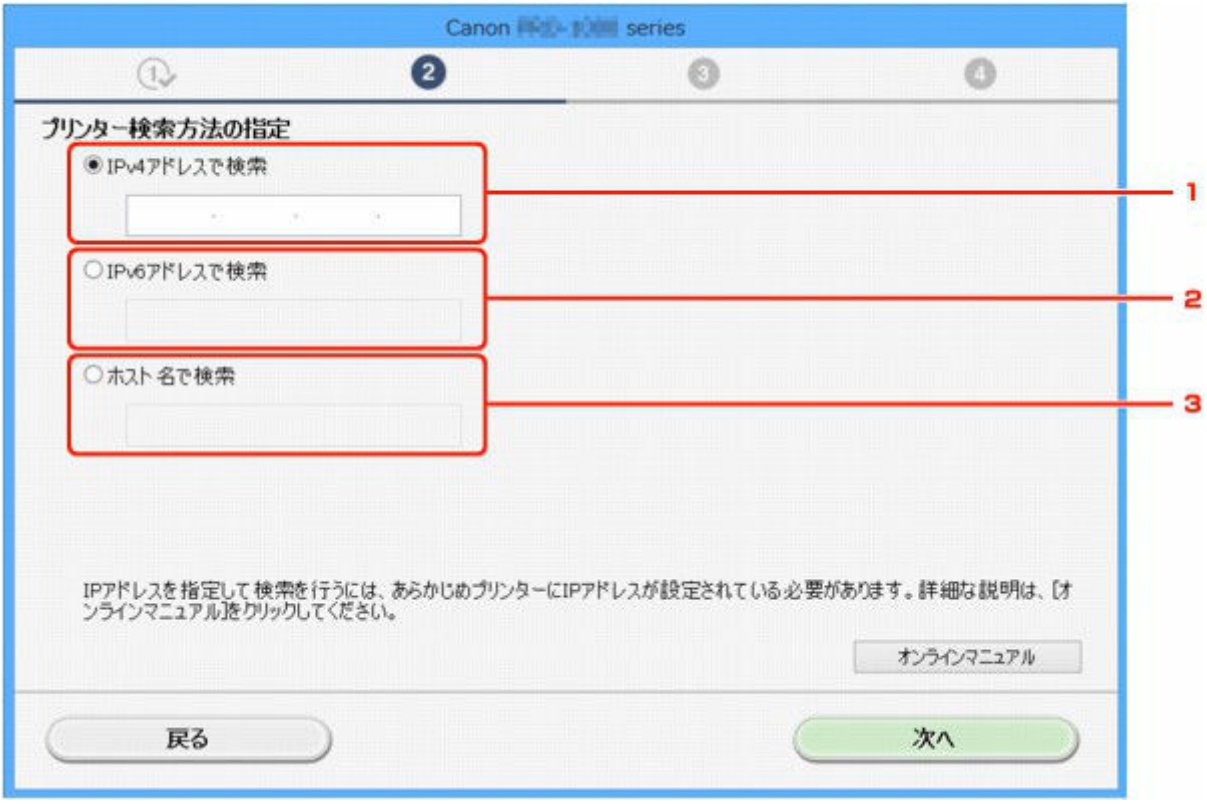
     ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

   参考

   - オフィスなどで本製品をご使用の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 検索方法を指定する

   以下の検索方法を選びます。



   1. IPv4 アドレスで検索

      プリンターを IPv4 アドレスで検索する場合に選びます。

   2. IPv6 アドレスで検索

      プリンターを IPv6 アドレスで検索する場合に選びます。

   3. ホスト名で検索

プリンターをホスト名で検索する場合に選びます。LLMNR ホスト名、Boujour 名とも言います。

3. IP アドレスまたはホスト名を入力し、［次へ］ボタンをクリックする

   プリンターの検索が始まります。

エラー画面が表示されたとき

表示されたメッセージに従って対処してください。

指定した IP アドレスが他の機器で使用されている場合は、以下の手順で本製品の IP アドレスを再設定してください。

1. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする

   操作パネルの使いかた

2.  ［本体設定］をタップする

3. ［LAN 設定］をタップする

   管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4. ［その他の設定］をタップする

5. ［TCP/IP 設定］をタップする

IPv4 アドレスを設定する場合：

1. ［IPv4］をタップします。
2. 表示された画面で［はい］をタップします。
3. ［IP アドレス］をタップします。
4. ［手動設定］をタップします。

   ［自動設定］をタップすると、IP アドレスが自動で設定されます。
5. IP アドレスの値を入力します。
6. ［OK］をタップします。
7. サブネットマスクの値を入力します。
8. ［OK］をタップします。
9. デフォルトゲートウェイの値を入力します。
10. ［OK］をタップします。

    IPv4 アドレスが設定されます。

IPv6 アドレスを設定する場合：

1. ［IPv6］をタップします。
2. 表示された画面で［はい］をタップします。
3. ［IPv6 の有効/無効］をタップします。
4. ［有効］をタップします。

   IPv6 アドレスが設定されます。

重要

- パソコンのファイアウォール機能をオンにしている場合は、同一のサブネットにないプリンターが検出されない場合があります。ファイアウォール機能をオフにしてください。

ファイアウォールの設定によってプリンターが検索できない場合：

- **メッセージが表示されたとき：**

  キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージがパソコンの画面上に表示された場合は、アクセスを許可するように設定してください。

  アクセスを許可するように設定したあと、IP アドレスまたはホスト名を指定して、プリンターの再検索を行ってください。

  本製品が検出された場合は、画面の指示に従ってセットアップを継続してください。

- **メッセージが表示されていないとき：**

  いったんプリンターの検索を中止し、セキュリティソフトで、以下のキヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスすることを許可するように設定を行ってください。

  セットアップ CD-ROM 内の［win］＞［Driver］＞［DrvSetup］フォルダの［Setup.exe］または［Setup64.exe］

  セキュリティソフトの設定が完了したら、IP アドレスまたはホスト名を指定して、プリンターの再検索を行ってください。

参考

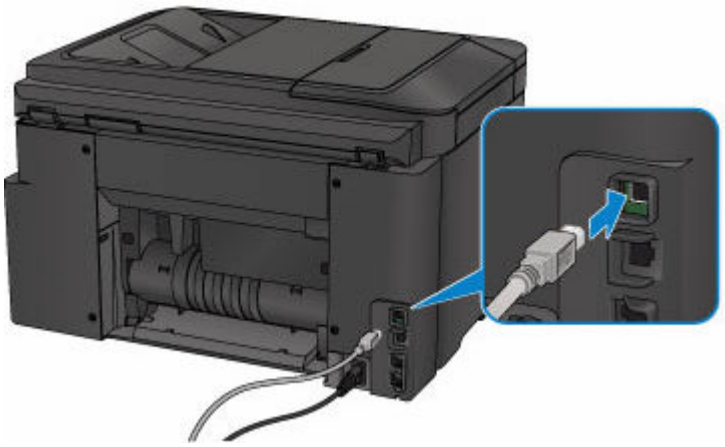
- セキュリティソフトの設定方法は、セキュリティソフトに付属の取扱説明書を参照するか、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない

［プリンターの接続］画面または［ケーブルの接続］画面から先に進めない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ 本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください

下の図のようにパソコンと本製品を USB ケーブルで接続してください。USB ケーブル接続部は、本製品の背面にあります。



以下のチェック項目は、［プリンターの接続］画面から先に進めない場合のみ確認してください。

チェック２ 以下の手順に従って、本製品とパソコンの接続をやり直してください

重要

- Mac OS をご使用の場合は、［プリンタとスキャナ］（Mac OS X v10.8 または Mac OS X v10.7 をご使用の場合は［プリントとスキャン］）の画面左下に、カギのアイコンがあるか確認してください。

  カギのアイコンが（ロック）になっている場合は、アイコンをクリックしてロックを解除してください。（ロックを解除するには管理者の名前とパスワードが必要です。）

1. 本製品の電源を切る
2. 本製品とパソコンから USB ケーブルを抜き、接続し直す
3. 本製品の電源を入れる

チェック３ 解決しない場合は、以下の手順に従ってインストールをやり直してください

- Windows をご使用の場合：
  1. ［キャンセル］ボタンをクリックする
     - ［インストール失敗］画面が表示された場合：
       1. ［もう一度］ボタンをクリックする
       2. ［セットアップの開始］画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了する

◦ ［接続に失敗しました。］画面が表示された場合：

1. ［次へ］ボタンをクリックする
2. 表示された画面で［次へ］ボタンをクリックする
3. ［プリンターの選択］画面で［最初に戻る］ボタンをクリックする
4. ［セットアップの開始］画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了する

3. 本製品の電源を切る
4. パソコンを再起動する
5. ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
6. 再度ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直す

参考

- セットアップ CD-ROM を使用してセットアップを行うこともできます。

- Mac OS をご使用の場合：

1. ［次へ］ボタンをクリックする
2. 表示された画面で［終了］ボタンをクリックし、セットアップを終了する
3. 本製品の電源を切る
4. パソコンを再起動する
5. ほかに起動しているアプリケーションソフトがあれば終了する
6. 再度ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直す

無線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ 本製品のタッチスクリーンにWi-Fiアイコンは表示されていますか

表示されていない場合は左下のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］画面で［無線 LAN を有効］を選んでください。

チェック３ セットアップが完了しているか確認してください

セットアップが完了していない場合は、セットアップを行ってください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

チェック４ 本製品を再度検索してください

- Windows をご使用の場合：

  ➡ ［IJ Network Device Setup Utility］画面

- Mac OS をご使用の場合：

  ➡ ［Canon IJ Network Tool］画面の項目

チェック５ 通信を行う無線 LAN ルーターと設定が同一か確認してください

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターと本製品で一致しているか確認してください。

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品のネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を、Mac OS をご使用の場合は IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を使用して無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック６ 本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

チェック 7 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

無線 LAN の通信状況を確認するには：

- Windows をご使用の場合：
  - 無線 LAN の通信状況を確認する
- Mac OS をご使用の場合：
  - 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック 8 パソコンが正しく無線 LAN ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 9 プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください（Windows）

チェック 10 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック 11 AirMac と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合、ネットワーク上の識別名（SSID）には半角英数字をご使用ください（Mac OS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。
- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ 本製品のタッチスクリーンに LAN アイコンは表示されていますか

表示されていない場合は左下のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］画面で［有線 LAN を有効］を選んでください。

チェック３ LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

本製品とルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。

LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。

本製品をネットワーク接続で使用中のトラブル

- 本製品が突然使えなくなった
- ネットワークキーを忘れてしまった／わからない
- 本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった
- 無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった
- 印刷に時間がかかる
- 無線 LAN 接続でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない
- Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

本製品が突然使えなくなった

- ネットワーク環境設定を変更したら、本製品と通信できなくなった
- 無線 LAN 接続で本製品と通信できない
- ダイレクト接続中の本製品と通信できない
- 有線 LAN 接続で本製品と通信できない
- ネットワーク接続されたパソコンから、印刷、スキャン、ファクスができない

Q ネットワーク環境設定を変更したら、本製品と通信できなくなった

A

パソコンの IP アドレス取得に時間がかかったり、再起動が必要な場合があります。

パソコンに有効な IP アドレスが取得されていることを確認の上、再度本製品を検索してください。

Q 無線 LAN 接続で本製品と通信できない

A

チェック 1 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック 2 無線 LAN ルーターと本製品のそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターと本製品で一致しているか確認してください。

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品のネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を、Mac OS をご使用の場合は IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を使用して無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック 3 本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

チェック４ 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

- Windows をご使用の場合：
  - ➡ 無線 LAN の通信状況を確認する
- Mac OS をご使用の場合：
  - ➡ 無線 LAN の通信状況を確認する

チェック５ パソコンが正しく無線 LAN ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック６ お使いの無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードの使用できる無線チャンネル番号を確認してください

無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードでは、使用できる無線チャンネルを制限している場合があります。お使いの無線 LAN を内蔵したパソコンまたは無線 LAN カードなどの取扱説明書を参照して、使用できる無線チャンネル番号を確認してください。

チェック７ 無線 LAN ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、チェック６で確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください

無線 LAN ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、無線 LAN ルーターの無線チャンネルを変更してください。

チェック８ ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

チェック９ AirMac と本製品を無線 LAN 接続でお使いの場合、ネットワーク上の識別名（SSID）には半角英数字をご使用ください（Mac OS）

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。
- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。
- **設置条件について**

  無線 LAN ルーターと本製品が、お互いに無線通信可能な見通しのよい場所に設置されていることを確認してください。

ダイレクト接続中の本製品と通信できない

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ 本製品のタッチスクリーンに  アイコンは表示されていますか

表示されていない場合は左下のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］画面で［ダイレクト接続を有効］を選んでください。

チェック３ ご使用の各種機器（スマートフォンやタブレットなど）で、接続先として本製品を選んでいますか

各種機器で、本製品に設定されているダイレクト接続時の識別名（SSID）を選んでください。

チェック４ 本製品に設定されているダイレクト接続のパスワードを正しく入力していますか

本製品でダイレクト接続のセキュリティ設定を有効にしている場合、各種機器から本製品に接続する際にパスワードの入力が必要となります。

本製品に設定されているパスワードは、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。
  - ➡ LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

チェック５ 本製品と各種機器の距離が離れすぎていないか確認してください

本製品と、本製品と通信する各種機器を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。距離が離れすぎていないか確認してください

本製品と、本製品と通信する各種機器を、適正な距離に近づけてください。

チェック６ 6 台以上の各種機器を本製品に接続しようとしていませんか

ダイレクト接続使用時に接続できる各種機器は 5 台までです。

有線 LAN 接続で本製品と通信できない

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

本製品とルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。

LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って、セットアップをやり直してください。

Q ネットワーク接続されたパソコンから、印刷、スキャン、ファクスができない

A

チェック１ パソコンが正しく無線 LAN ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック２ MP ドライバーをインストールしていない場合は、MP ドライバーをインストールしてください

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM またはウェブページから、MP ドライバーをインストールしてください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック３ 無線 LAN 接続の場合、無線 LAN ルーターでアクセスできるパソコンを制限していないか確認してください

無線 LAN ルーターの接続や設定方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

参考

- パソコンの MAC アドレスや IP アドレスを確認する場合は、「パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい」を参照してください。

ネットワークキーを忘れてしまった／わからない

- WPA/WPA2 または WEP を設定した無線 LAN ルーターと接続できない（設定したキーを忘れてしまった）
- 暗号化の設定方法がわからない

WPA/WPA2 または WEP を設定した無線 LAN ルーターと接続できない（設定したキーを忘れてしまった）

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

その後、Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）を、Mac OS をご使用の場合は IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を使って、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせてセットアップしてください。

暗号化の設定方法がわからない

無線 LAN ルーターの設定を確認してください。確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターが、その設定で通信できることを確認してください。

その後、Windows をご使用の場合は IJ Network Device Setup Utility を、Mac OS をご使用の場合は IJ Network Tool を使って、本製品の設定を無線 LAN ルーターに合わせてセットアップしてください。

- **WPA/WPA2 を設定する場合**

  認証タイプやパスフレーズ、動的暗号化の種類を、無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンで合わせる必要があります。

  パスフレーズは、無線 LAN ルーターで設定したパスフレーズを、8 文字以上 63 文字以内の半角英数字または 64 桁の 16 進数で入力してください。

  動的暗号化の種類（暗号化方式）は、TKIP（基本的な暗号化）または AES（強固な暗号化）が自動で選ばれます。

  - Windows をご使用の場合：

    詳細については、「[WPA/WPA2 詳細］画面が表示された場合は」を参照してください。

  - Mac OS をご使用の場合：

    詳細については、「WPA／WPA2 の詳細設定を変更する」を参照してください。

参考

- 本製品では、認証タイプとして「WPA/WPA2-PSK（WPA/WPA2 パーソナル）」または「WPA2-PSK（WPA2 パーソナル）」をサポートしています。

- **WEP を設定する場合**

  キーの長さやキーの書式、使用するキー（1～4 のいずれか）、認証方式を、無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンで合わせる必要があります。

  WEP キーを自動生成する無線 LAN ルーターと通信するためには、無線 LAN ルーターが自動生成したキー番号と同じキー番号を使用するキーに設定し、そのキー番号のコードを 16 進数で本製品に設定する必要があります。

  - Windows をご使用の場合：

    IJ Network Device Setup Utility（アイジェイ・ネットワーク・デバイス・セットアップ・ユーティリティ）で、［プロトコル設定（無線 LAN)］画面の［検出］ボタンをクリックし、未接続の無線 LAN ルーターを選んだあとに［WEP 詳細］画面が表示された場合、WEP キーの長さ、書式、使用するキーを画面に従って設定してください。

    詳細については、「[WEP 詳細］画面が表示された場合は」を参照してください。

  - Mac OS をご使用の場合：

    本製品の認証方式は、通常［自動］を選んでください。無線 LAN ルーターの設定に合わせて［オープン］または［共有キー］からも選べます。

    ［無線 LAN ルーター一覧］画面の［設定］ボタンをクリックしたあと、［WEP 詳細］画面が表示された場合、WEP キーを入力するときは、キーの長さ、キーの書式、使用するキーおよび認証方式を画面に従って設定してください。

    詳細については、「WEP の詳細設定を変更する」を参照してください。

    参考

    - AirMac を無線 LAN 接続でお使いの場合

      AirMac を無線 LAN 接続でお使いの場合は、AirMac ユーティリティで「ワイヤレスセキュリティ」の設定を確認してください。

      - ［WEP 40 ビット］を設定している場合は、キーの長さは［64 ビット］を選んでください。
      - ［使用するキー:］では［1］を選んでください。ほかのキーを選んだ場合は、パソコンから無線で接続できなくなります。

本製品に設定した管理者パスワードを忘れてしまった

本製品の設定を初期化してください。

本製品から［すべてリセット］を選ぶと、管理者パスワードが初期設定に戻ります。

➡ 設定リセット

本製品の設定を初期化したあとは本製品の再セットアップが必要です。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。

無線 LAN ルーターを買い替えた、または設定を変更したらプリンターが使えなくなった

無線 LAN ルーターを買い替えた場合は、本製品のネットワークの設定をやり直してください。

- Windows をご使用の場合：

  セットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従って行ってください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ウェブページの指示に従って行ってください。

ネットワークの設定をやり直しても解決しない場合は、以下を参照してください。

- 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった
- 本製品に暗号化が設定されている場合、無線 LAN ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった

チェック 1 無線 LAN ルーターの設定を確認してください

確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。また、パソコンと無線 LAN ルーターがその設定で通信できることを確認してください。

チェック 2 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングを行った場合、パソコンやネットワーク機器と本製品双方の MAC アドレスまたは IP アドレスが登録されていることを確認してください

チェック 3 WPA/WPA2 キーまたは WEP キーを入力した場合、パソコンやネットワーク機器とプリンター双方で設定した暗号化キーと一致していることを確認してください

WEP の設定は WEP キーのほか、キーの長さやキーの書式、使用するキー、認証方式を無線 LAN ルーターと本製品およびパソコンとで一致させる必要があります。

詳しくは、「暗号化の設定方法がわからない」を参照してください。

本製品に暗号化が設定されている場合、無線 LAN ルーターの暗号方式を変更したら通信ができなくなった

無線 LAN ルーターの暗号方式の設定を変更した後にパソコンと本製品が通信できなくなった場合は、無線 LAN ルーターとパソコンの暗号方式の設定が本製品の設定と一致しているか確認してください。

- 無線 LAN ルーターで MAC アドレスフィルタリングまたは IP アドレスフィルタリングの設定や、暗号化の設定を行ったら、本製品と通信できなくなった

印刷に時間がかかる

チェック１ ほかのパソコンから大きなサイズのデータを印刷、スキャンしている可能性があります。しばらくおまちください

チェック２ 無線 LAN 接続の場合、本製品と無線 LAN ルーターの距離が離れすぎていないか確認してください

無線 LAN ルーターと本製品を、それぞれ無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源からできるだけ離して設置してください。

チェック３ 無線 LAN 接続の場合、電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

- Windows をご使用の場合：
  - 無線 LAN の通信状況を確認する
- Mac OS をご使用の場合：
  - 無線 LAN の通信状況を確認する

無線 LAN 接続でパソコンなどの機器からインターネットに接続できない

チェック１ ご使用の機器が本製品とダイレクト接続で接続されていませんか?

パソコンなどのご使用の機器が本製品とダイレクト接続で接続されている場合、ご使用の機器からインターネットに接続することはできません。インターネットに接続するには、ご使用の機器のネットワークの設定を変更し、接続先を無線 LAN ルーターに変更してください。

接続方法については、ご使用の機器と無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照してください。

チェック２ 無線 LAN ルーターの電源は入っていますか?

チェック３ 無線 LAN ルーターは正しく設定されていますか?

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック４ ご使用の機器と無線 LAN ルーターの設置位置を確認してください

距離が離れすぎていないか、遮蔽物はないか、近くに電波干渉源がないか、ご使用の機器と無線 LAN ルーターの設置位置を確認してください。

Canon IJ ステータスモニタでインク残量が表示されない（Windows）

プリンタードライバーを双方向通信で使用してください。

プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けてください。

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

ネットワークに関するその他のトラブル

- ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された
- 定常的にパケットが送出されている（Windows）
- ネットワークに関する設定を調べたい
- 本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す

ネットワーク設定の途中パソコン画面にメッセージが表示された

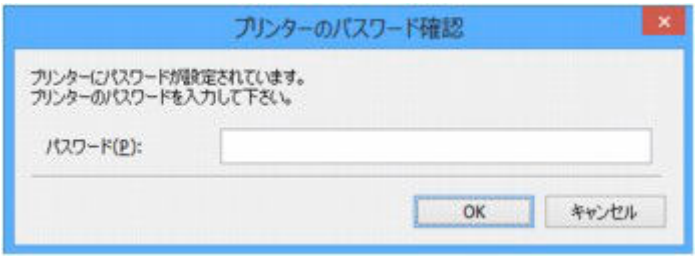
- パスワードを入力する画面が表示された
- 無線 LAN ルーターを検出する画面で無線 LAN ルーターを選択したら、WPA/WPA2 または WEP の設定画面が表示された
- 「暗号化機能が有効になっていない無線ネットワークに接続しました。」というメッセージが表示された

Q パスワードを入力する画面が表示された

A

ネットワークで使用するプリンターに管理パスワードが設定されている場合に、以下の画面が表示されます。

- Windows をご使用の場合：



- Mac OS をご使用の場合：



プリンターに設定されている管理パスワードと同じパスワードを入力してください。

参考

- プリンターにはご購入時の状態で、管理パスワードが設定されています。

  詳細は以下を参照してください。

  ➡ 管理用のパスワードについて

  安全性の向上のため、管理パスワードの変更をおすすめします。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 管理者パスワードを変更する

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ ［管理パスワード］シートの設定を変更する

無線 LAN ルーターを検出する画面で無線 LAN ルーターを選択したら、WPA/WPA2 または WEP の設定画面が表示された

選んだ無線 LAN ルーターに暗号化が設定されている場合に表示されます。この場合は、無線 LAN ルーターの暗号化の設定と同じ内容を設定してください。

- Windows をご使用の場合：

  暗号化の設定は、「無線 LAN 接続の設定をする／設定を変更する」を参照してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  暗号化の設定は、「[無線 LAN] シートの設定を変更する」を参照してください。

「暗号化機能が有効になっていない無線ネットワークに接続しました。」というメッセージが表示された

選択した無線 LAN ルーターは、暗号化の設定が行われていません。本製品の使用は可能ですので、そのままセットアップを進めて完了してください。

重要

- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

定常的にパケットが送出されている（Windows）

IJ Network Scanner Selector EX2（アイジェイ・ネットワーク・スキャナー・セレクター・イーエックス2）が有効の場合、ネットワーク上で本製品と通信ができるか定期的に確認するため、パケットを送出しています。本製品をセットアップしたネットワーク環境以外でパソコンを使用する場合は、IJ Network Scanner Selector EX2 を無効にしてください。

IJ Network Scanner Selector EX2 を無効にするには、デスクトップの通知領域の  を右クリックし、［Canon IJ Network Scanner Selector EX2 を無効にする］を選びます。

ネットワークに関する設定を調べたい

- 本製品の IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい
- パソコンと本製品、またはパソコンと無線 LAN ルーターが通信可能かを確認したい
- ネットワーク設定情報を確認したい

Q 本製品の IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

本製品の LAN 設定は、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。
  - LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

またはパソコンの画面で確認することもできます。

- Windows をご使用の場合：
  - [IJ Network Device Setup Utility] 画面
- Mac OS をご使用の場合：
  - [Canon IJ Network Tool] 画面のメニュー

MAC アドレスは、本製品のタッチスクリーンに表示して確認することもできます。

- システム情報

Q パソコンの IP アドレスまたは MAC アドレスを確認したい

A

パソコンに割り振られている IP アドレスおよび MAC アドレスを知りたいときは、以下の手順で確認してください。

- Windows をご使用の場合：
  1. 以下のように [コマンド プロンプト] を選ぶ

     Windows 10 をご使用の場合は、[スタート] ボタンを右クリックし、[コマンド プロンプト] を選びます。

     Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の [コマンド プロンプト] を選びます。スタート画面に [コマンド プロンプト] が表示されない場合は、[検索] チャームを選び、「コマンド プロンプト」を検索してください。

     Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンド プロンプト] を選びます。
  2. 「ipconfig/all」を入力し、[Enter] キーを押す

     ご使用のパソコンの IP アドレスおよび MAC アドレスが表示されます。パソコンがネットワークに接続されていない場合、IP アドレスは表示されません。

- Mac OS をご使用の場合：
  1. Apple メニューから［システム環境設定］を選び、［ネットワーク］をクリックする
  2. ご使用のネットワークが選ばれていることを確認して、［詳細］をクリックする

     ご使用のパソコンが無線 LAN 接続の場合は、ご使用のネットワークとして[Wi-Fi]が、有線 LAN 接続の場合は［Ethernet］が選ばれていることを確認してください。
  3. IP アドレスまたは MAC アドレスを確認する

     IP アドレスを確認するときは、［TCP/IP］をクリックしてください。

     MAC アドレスを確認するときは、［ハードウェア］をクリックしてください。

Q パソコンと本製品、またはパソコンと無線 LAN ルーターが通信可能かを確認したい

A

ping コマンドを実行して、通信ができているか確認します。以下の手順で確認してください。

- Windows をご使用の場合：
  1. 以下のように［コマンド プロンプト］を選ぶ

     Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックし、［コマンド プロンプト］を選びます。

     Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［コマンド プロンプト］を選びます。スタート画面に［コマンド プロンプト］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「コマンド プロンプト」を検索してください。

     Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［コマンド プロンプト］を選びます。
  2. 「ping XXX.XXX.XXX.XXX」を入力し、［Enter］キーを押す

     XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや無線 LAN ルーターなどの IP アドレスを入力します。

     通信が正しく行われている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

     XXX.XXX.XXX.XXX からの応答: バイト数=32 時間=10ms TTL=255

     ［Request timed out］などが表示された場合は、正しく通信できていません。
- Mac OS をご使用の場合：
  1. 以下のように［ネットワークユーティリティ］を起動する

     Mac OS X v10.11、Mac OS X v10.10 または Mac OS X v10.9 をご使用の場合は、Finder の［移動］メニューから［コンピュータ］を選び、［Macintosh HD］、［システム］、［ライブラリ］、［CoreServices］、［Applications］、［ネットワークユーティリティ］の順にダブルクリックします。

     Mac OS X v10.8 または Mac OS X v10.7 をご使用の場合は、［アプリケーション］フォルダ内にある［ユーティリティ］フォルダを開き、［ネットワークユーティリティ］をダブルクリックします。
  2. ［Ping］ボタンをクリックする
  3. 以下のように ping の送信回数を確認する

Mac OS X v10.11、Mac OS X v10.10 または Mac OS X v10.9 をご使用の場合は、[送信回数：XXping]（XX は数字）が選ばれていることを確認します。

Mac OS X v10.8 または Mac OS X v10.7 をご使用の場合は、[ping コマンドを XX 回だけ送信]（XX は数字）が選ばれていることを確認します。

4. [ping コマンドを送信するネットワークアドレスを入力してください。] の欄にプリンターや無線 LAN ルーターの IP アドレスを入力する
5. [Ping] ボタンをクリックする

XXX.XXX.XXX.XXX には、確認したいプリンターや無線 LAN ルーターなどの IP アドレスを入力します。

以下は Ping を 3 回送信した場合の例です。

64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=0 ttl=64 time=3.394 ms

64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=1 ttl=64 time=1.786 ms

64 bytes from XXX.XXX.XXX.XXX: icmp_seq=2 ttl=64 time=1.739 ms

--- XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

3 packets transmitted, 3 packets received, 0% packet loss

以下のように表示された場合は、正しく通信できていません。

PING XXX.XXX.XXX.XXX （XXX.XXX.XXX.XXX） : 56 data bytes

---XXX.XXX.XXX.XXX ping statistics ---

3 packets transmitted, 0 packets received, 100% packet loss

Q ネットワーク設定情報を確認したい

A

本製品の LAN 設定は、操作パネルに表示して確認するか、設定情報を印刷して確認できます。

- 本製品のタッチスクリーンに表示する。
  - ➡ LAN 設定
- ネットワーク設定情報を印刷する。
  - ➡ 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品の LAN 設定を初期設定状態に戻す

重要

- Windows をご使用の場合：

  初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャン、ファクスができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合はセットアップ CD-ROM から、またはウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  初期化を行うと本製品の LAN 接続情報がすべて削除され、パソコンからの印刷、スキャンができなくなります。再度、LAN 接続でご使用になる場合はウェブページの指示に従ってセットアップを行ってください。初期化を行う際には、十分注意してください。

本製品の操作パネルから LAN 設定をリセットしてください。

設定リセット

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンしているときのトラブル

- スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない

スマートフォン／タブレットから印刷／スキャンできない場合は、本製品とスマートフォン／タブレットが通信できていないことが考えられます。

接続方法に従って、チェックしてください。

- 無線 LAN 接続で本製品と通信できない
- ダイレクト接続中の本製品と通信できない

参考

- 他の接続方法で印刷しているときのトラブルや、他の接続方法の設定のしかたについては、以下を参照してください。
  - PIXUS/MAXIFY クラウドリンクを利用する
  - Google Cloud Print を利用して印刷してみよう
  - iOS 機器を使って AirPrint 対応プリンターから印刷してみよう

Q 無線 LAN 接続で本製品と通信できない

A

無線 LAN 接続で本製品と通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ 本製品のタッチスクリーンにWi-Fiアイコンは表示されていますか

表示されていない場合は、タッチスクリーン右上のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］画面で［無線 LAN を有効］を選んでください。

Wi-Fiアイコンが表示されている場合は、本製品と無線 LAN ルーターが接続されていません。

チェック３ 無線 LAN ルーターと本製品のそれぞれのネットワーク設定が一致していますか

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターと本製品で一致しているか確認してください。

無線 LAN ルーターのネットワーク設定の確認方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。

本製品で現在設定されているネットワーク設定は、ネットワーク情報を印刷して確認できます。

- 本製品のネットワーク設定情報を印刷する

本製品のネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、無線 LAN ルーターの設定に合わせてください。

チェック４ 無線 LAN ルーターとご使用のスマートフォン／タブレットのそれぞれのネットワーク設定が一致していますか

無線 LAN ルーター名や SSID、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、無線 LAN ルーターとスマートフォン／タブレットで一致しているか確認してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定の確認方法については、スマートフォン／タブレットに付属の取扱説明書を参照してください。

スマートフォン／タブレットのネットワーク設定が無線 LAN ルーターの設定と異なる場合は、無線 LAN ルーターの設定に合わせて変更してください。

チェック５ 距離が離れすぎていないか確認してください

本製品を無線 LAN ルーターと通信可能な距離に近づけてください。

チェック６ 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

チェック７ 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

Q ダイレクト接続中の本製品と通信できない

A

ダイレクト接続中の本製品と通信できない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ 本製品のタッチスクリーンに DC アイコンは表示されていますか

表示されていない場合は、タッチスクリーン右上のアイコンをタップし、［LAN の切り換え］画面で［ダイレクト接続を有効］を選んでください。

チェック３ ご使用のスマートフォン／タブレットの設定を確認してください

スマートフォン／タブレットが無線 LAN 接続を利用できる設定になっているか確認してください。

無線 LAN 接続の設定のしかたについては、スマートフォン／タブレットに付属の取扱説明書を参照してください。

チェック４ ご使用のスマートフォン／タブレットで、接続先として本製品を選んでいますか

スマートフォン／タブレットで、本製品に設定されているアクセスポイント名（SSID）を選んでください。

チェック５ 本製品に設定されているダイレクト接続のパスワードを正しく入力していますか

本製品でダイレクト接続のセキュリティ設定を有効にしている場合、スマートフォン／タブレットから本製品に接続する際にパスワードの入力が必要となります。

チェック６ 距離が離れすぎていないか確認してください

本製品とご使用のスマートフォン／タブレットを通信可能な距離に近づけてください。

チェック７ 遮蔽物がないか確認してください

壁越し、フロア間での通信は、一般に通信状況が悪くなります。設置位置を調整してください。

チェック８ 近くに電波干渉源がないか確認してください

無線 LAN で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波干渉源から、できるだけ離して設置してください。

チェック９ すでに 5 台のスマートフォン／タブレットを本製品に接続していませんか

ダイレクト接続使用時に接続できるスマートフォン／タブレットは 5 台までです。

印刷に関するトラブル

- 印刷が始まらない
- 用紙がつまった
- コピー／印刷結果に満足できない
- インクが出ない
- 用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する
- 自動両面印刷でうまく印刷できない
- コピー／印刷が途中で止まる
- AirPrint で印刷できない

印刷が始まらない

チェック１ 電源プラグがしっかりと差し込まれていることを確認し、電源ボタンを押して電源を入れてください

電源ランプが点滅している間は、本製品が準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

参考

- 写真やグラフィックなど大容量のデータを印刷するときは、印刷が始まるまでに通常よりも時間がかかります。電源ランプが点滅している間、パソコンはデータを処理して本製品に転送しています。印刷が始まるまで、しばらくお待ちください。

チェック２ 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線 LAN 接続または有線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、LAN ケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

チェック３ ダイレクト接続になっていませんか

ダイレクト接続以外で印刷をする場合は、ダイレクト接続を終了してから印刷をしてください。

➡ 本製品をダイレクト接続で使用する

チェック４ 用紙の設定とカセットに登録した用紙のサイズ、種類が一致していますか

用紙の設定と、カセットに登録した用紙のサイズ、種類が一致していない場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って操作してください。

➡ 印刷時の用紙設定

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージを表示する／表示しないように切り替えることもできます。
  - 本製品の操作パネルから印刷またはコピーするときの表示設定を変更するには：
    ➡ カセット設定
  - プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：
    ➡ プリンターの設定を変更する（Windows）
    ➡ プリンターの設定を変更する（Mac OS）

チェック５ パソコンからの印刷で、不要な印刷ジョブが残っている場合は、削除してください

- Windows をご使用の場合：

  ➡ 不要になった印刷ジョブを削除する

- Mac OS をご使用の場合：

  ➡ 不要になった印刷ジョブを削除する

チェック６ 印刷するときに、ご使用の機種のプリンタードライバーが選ばれていますか

異なる機種のプリンタードライバーを使用していると、正常に印刷できません。

- Windows をご使用の場合：

  ［印刷］ダイアログで「Canon XXX series Printer」（「XXX」は機種名）が選ばれていることを確認してください。

  参考

  - 本製品を［通常使うプリンターに設定］にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

- Mac OS をご使用の場合：

  プリントダイアログの［プリンタ］でご使用の機種名が選ばれていることを確認してください。

  参考

  - 本製品を［デフォルトのプリンタ］にすることで、常に本製品が選ばれているように設定することもできます。

チェック７ プリンターポートを正しく設定してください（Windows）

プリンターポートの設定を確認してください。

1. 管理者（Administrators グループのメンバー）として Windows にログオンする
2. 以下のように選ぶ
   - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックして［コントロールパネル］→［デバイスとプリンターの表示］の順に選びます。
   - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの［設定］チャームから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］の順に選びます。
   - Windows 7 をご使用の場合は、［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。
3. ご使用のプリンターのプロパティを開く
   - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プロパティ］を選びます。
4. ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に「Canon XXX series Printer」と表示されている「USBnnn」（"n"は数字）が選ばれているか確認する
   - 設定が誤っている場合：

     セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。
   - USB ケーブルで接続していて「USBnnn」が選ばれていても印刷が始まらない場合：

Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［マイ プリンタ］を選ぶと、マイ プリンタが起動します。スタート画面に［マイ プリンタ］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「マイ プリンタ」を検索してください。

表示されるメニューの［プリンターの診断・修復］から、プリンターポートを正しく設定してください。［プリンターの診断・修復］では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］を選び、［プリンターの診断・修復］からプリンターポートを正しく設定してください。［プリンターの診断・修復］では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

それでも印刷が始まらない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック８ 印刷のデータ容量が大きくありませんか（Windows）

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

＊ ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

チェック９ パソコンから印刷した場合、パソコンを再起動してみてください

用紙がつまった

紙づまりが発生すると、自動的に対処方法を示すメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

- **パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例：**
  - Windows をご使用の場合：

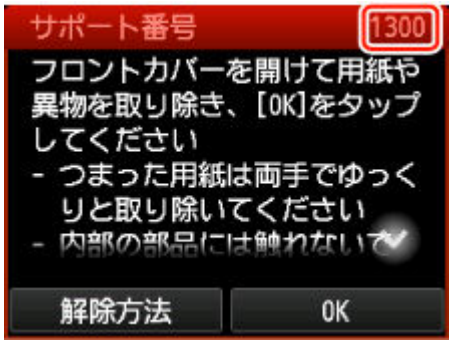


  - Mac OS をご使用の場合：



＊ご使用の OS によって、画面が異なります。

- **タッチスクリーンにサポート番号とメッセージが表示される例：**



紙づまりの対処方法については「エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）」を参照してください。

参考

- パソコンまたはタッチスクリーンに表示されたサポート番号を検索して、対処方法を確認することもできます。

  ➡ 検索

コピー／印刷結果に満足できない

白いすじが入る、罫線がずれる、色むらがあるなど、思ったような印刷結果が得られないときは、まず用紙や印刷品質の設定を確認してください。

チェック１ セットされている用紙のサイズや種類が、設定と合っていますか

設定と異なるサイズや種類の用紙をセットしていると、正しい結果が得られません。

例えば、写真やイラストを印刷したときにカラーの発色がよくない場合があります。

また、設定と異なる種類の用紙をセットしていると、印刷面がこすれる場合があります。

用紙や印刷品質の設定を確認する方法は、ご使用の機器によって異なります。

本製品の操作でコピーをする場合	本製品の操作パネル ➡ コピーするときの設定項目
本製品の操作で USB フラッシュメモリーから印刷する場合	本製品の操作パネル ➡ 本製品の操作パネルを使って写真印刷するときの設定項目
パソコンから印刷する場合	プリンタードライバー • Windows をご使用の場合： ➡ かんたんな設定で印刷を行う • Mac OS をご使用の場合： ➡ かんたんな設定で印刷を行う

チェック２ チェック１の表を参照して、適切な印刷品質が選ばれていることを確認してください

用紙の種類や印刷するデータに応じた印刷品質を選んでください。インクのにじみや色むらが気になる場合は、画質を優先する設定にして印刷してみてください。

チェック３ それでも解決しない場合は、他の原因が考えられます

以下の項目もあわせて確認してください。

- ➡ 最後まで印刷できない
- ➡ 文書の一部が印刷されない（Windows）
- ➡ 白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る
- ➡ 罫線がずれる
- ➡ 罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- ➡ 画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）
- ➡ インクがにじむ／用紙が反る
- ➡ 印刷面が汚れる／こすれる
- ➡ 用紙の裏面が汚れる
- ➡ 色むらや色すじがある

最後まで印刷できない

チェック１ 印刷データを圧縮処理しない設定にしてみてください（Windows）

アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止して印刷すると、印刷結果が改善される場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

＊ 印刷後はチェックマークを外してください。

チェック２ 印刷のデータ容量が大きくありませんか（Windows）

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

＊ ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

チェック３ ハードディスクの空き容量が少なくなっていませんか

不要なファイルを削除して、空き容量を増やしてください。

文書の一部が印刷されない（Windows）

チェック 自動両面印刷をしている場合は下記が考えられます

自動両面印刷をする場合、ページ上部の印刷可能領域が縦方向に 2 mm（0.08 inches）分狭くなります。

このために、後端部分が印刷されないことがあります。この場合は、プリンタードライバーで縮小印刷する設定にしてください。

重要

- 縮小印刷を行うと、レイアウトがくずれることがあります。

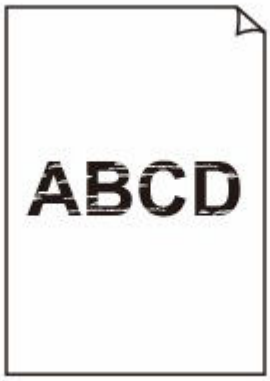
  文書を作成したアプリケーションソフトに拡大縮小機能がある場合は、アプリケーションソフトで設定してみてください。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
   プリンタードライバーの設定画面の開きかた
2. ［ページ設定］シートの［両面印刷］にチェックマークを付ける
3. ［印刷領域設定］ボタンをクリックし、［縮小して印刷する］を選ぶ

白紙のまま排紙される／印刷がかすれる／違う色になる／白いすじ（線）が入る

白紙のまま排紙される

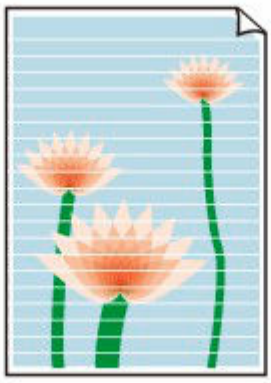
印刷がかすれる



違う色になる



白いすじ（線）が入る



A

チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ インクタンクの状態を確認し、インクがなくなっている場合は、インクタンクを交換してください

➡ インクタンクを交換する

チェック３ ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合

  該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

  インクが残っているのに印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

  強力クリーニングを実行してください。

  強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。電源を切る際は、電源プラグを抜かないでください。

- 強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

  プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターに修理をご依頼ください。

  お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

チェック４ 片面にのみ印刷可能な用紙を使用している場合は、用紙の表と裏を間違えてセットしていないか確認してください

表と裏を間違えると、かすれたり、正しく印刷されないことがあるので注意してください。

用紙は印刷面を下にしてセットしてください。

用紙の印刷面については、ご使用の用紙に付属の取扱説明書を参照してください。

- **コピーしているときは以下の項目もチェックしてみてください：**

チェック５ 原稿台ガラスや、ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスや ADF（自動原稿給紙装置）のガラスを清掃してください。

➡ 原稿台の周辺部分を清掃する

参考

- ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていると、以下の図のように黒いすじが入る場合があります。



チェック６ 原稿が原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットされていることを確認してください

➡ 原稿をセットする

チェック７ 原稿の裏表の向きが正しくセットされていますか

原稿台ガラスにセットするときは、コピーする面を下にしてください。ADF（自動原稿給紙装置）にセットするときは、コピーする面を上にしてください。

チェック８ 本製品で印刷したものをコピーしていませんか

本製品から印刷したものを原稿としてコピーする場合、元の写真や文書によっては、きれいに印刷されないことがあります。

本製品から直接印刷するか、パソコンから印刷ができる場合はパソコンから印刷し直してください。

罫線がずれる



チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッド位置を調整してください。

➡ プリントヘッド位置を調整する

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動プリントヘッド位置調整を行ってください。

チェック３ 印刷品質を上げて印刷してみてください

本製品の操作パネルまたはプリンタードライバーで印刷品質を上げると、印刷結果が改善される場合があります。

チェック４ 手動両面印刷を行っているときに罫線がずれて印刷される場合は、自動両面印刷で印刷を行ってください（Windows）

罫線が欠けるまたは印刷されない（Windows）

チェック１ 割り付け印刷やとじしろ印刷をしていますか

割り付け印刷やとじしろ印刷などでは、細い罫線が印刷されない場合があります。罫線を太くしてみてください。

チェック２ 印刷のデータ容量が大きくありませんか

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

＊ ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

画像が欠けるまたは印刷されない（Windows）

チェック１ 印刷データを圧縮処理しない設定にしてみてください

アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止して印刷すると、印刷結果が改善される場合があります。

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［アプリケーションソフトでの印刷データの圧縮処理を禁止する］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

* 印刷後はチェックマークを外してください。

チェック２ 印刷のデータ容量が大きくありませんか

プリンタードライバーの［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックします。表示されるダイアログで［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定してください。

* ［印刷データの欠落防止］を［オン］に設定すると、印刷品質が低下する場合があります。

インクがにじむ／用紙が反る

インクがにじむ

用紙が反る



チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ 印刷の濃度を高く設定している場合は、濃度の設定を下げてもう一度印刷してみてください

普通紙に濃度の設定を上げて印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

- パソコンから印刷する場合

  濃度の設定は、プリンタードライバーで確認できます。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 濃度を調整する

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ 濃度を調整する

- コピーする場合

  ➡ コピーするときの設定項目

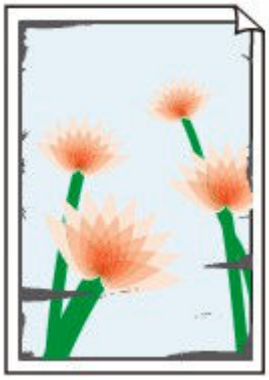
チェック３ 写真を印刷するとき、写真専用紙を使用していますか

写真や色の濃い絵など、インクを大量に使用する印刷には、キヤノン写真用紙・光沢 ゴールドなどの写真専用紙を使用することをお勧めします。

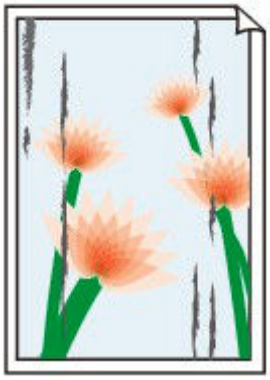
➡ 使用できる用紙について

印刷面が汚れる／こすれる

印刷面が汚れる



用紙の端が汚れる



用紙の端以外が汚れる

印刷面がこすれる

チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ 適切な用紙を使用していますか

ご使用の用紙が目的の印刷に適した用紙か確認してください。

➡ 使用できる用紙について

チェック３ 反りのある用紙は、反りを直してから使用してください

キヤノン写真用紙・絹目調をご使用の場合は、用紙が反っていてもそのまま 1 枚ずつセットして使用してください。丸めると用紙の表面にひび割れが発生し、印刷品質が低下する場合があります。

なお、長期間ご使用にならない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて水平に保管することをお勧めします。

- 普通紙の場合

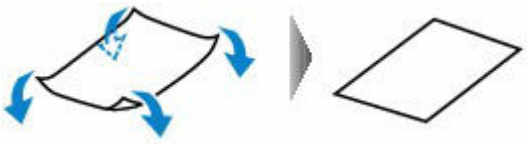
  用紙の裏表を逆にしてセットしてください。

- その他の用紙の場合

  用紙の四隅が 3 mm（0.1 inch）以上反っている場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりするおそれがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。



1. 下の図のように、対角線上の端を、反りと逆方向に丸める

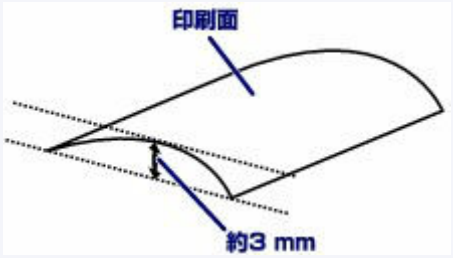


2. 印刷する用紙が、平らになっていることを確認する

   反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

参考

- ご使用の用紙によっては、反りのない用紙を使用していても、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりすることがあります。その場合は、印刷する前にあらかじめ 3 mm（0.1 inch）程度反りをつけてから印刷してみてください。印刷の結果が改善される場合があります。

  反りをつけた用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

チェック４ 用紙のこすれを改善する設定にしてみてください

用紙のこすれを改善する設定にすると、プリントヘッドと紙の間隔が広くなります。用紙の種類を正しく設定していても印刷面がこすれる場合は、本製品の操作パネルかパソコンで用紙のこすれを改善する設定にしてください。

用紙のこすれを改善する設定にすると、印刷速度が遅くなる場合があります。

* 印刷後は用紙のこすれを改善する設定を解除してください。設定を解除しないと、次回以降の印刷でもこの設定が有効になります。

- 本製品の操作パネルで設定する場合

  ホーム画面から［セットアップ］、［本体設定］、［印刷設定］を順に選び、［用紙のこすれ改善］を［する］に設定してください。

  ➡ 本製品の操作パネルで設定を変更する

- パソコンで設定する場合
  - Windows をご使用の場合：

    プリンタードライバーの設定画面を開き、［ユーティリティ］シートの［特殊設定］で［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。

    プリンタードライバーの設定画面の開きかたについては「プリンタードライバーの設定画面の開きかた」を参照してください。

  - Mac OS をご使用の場合：

Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）のポップアップメニューから［特殊設定］を選び、［用紙のこすれを改善する］にチェックマークを付け、［適用］ボタンをクリックしてください。

Canon IJ Printer Utility の開きかたについては「Canon IJ Printer Utility の開きかた」を参照してください。

チェック５ 印刷の濃度を高く設定している場合は、濃度の設定を下げてもう一度印刷してみてください

普通紙に濃度の設定を上げて印刷すると、インクを吸収しすぎて用紙が波打つことがあり、印刷面がこすれる原因になります。

- パソコンから印刷する場合

  濃度の設定は、プリンタードライバーで確認できます。

  - Windows をご使用の場合：

    ➡ 濃度を調整する

  - Mac OS をご使用の場合：

    ➡ 濃度を調整する

- コピーする場合

  ➡ コピーするときの設定項目

チェック６ 印刷推奨領域を超えて印刷していませんか

印刷推奨領域を超えて印刷すると、用紙の下端でインクがこすれることがあります。

アプリケーションソフトで原稿を作成し直してください。

➡ 印刷できる範囲

チェック７ 原稿台ガラスや、ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていませんか

原稿台ガラスや ADF（自動原稿給紙装置）のガラスを清掃してください。

➡ 原稿台の周辺部分を清掃する

参考

- ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていると、以下の図のように黒いすじが入る場合があります。



チェック８ 給紙ローラーが汚れていませんか

給紙ローラーのクリーニングを行ってください。

➡ 給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック９ 本製品内部が汚れていませんか

両面印刷などを行うと、本製品の内側にインクが付いて用紙が汚れる場合があります。

インクふき取りクリーニングを行って、本製品内部をお手入れしてください。

➡ インクふき取りクリーニングを行う

参考

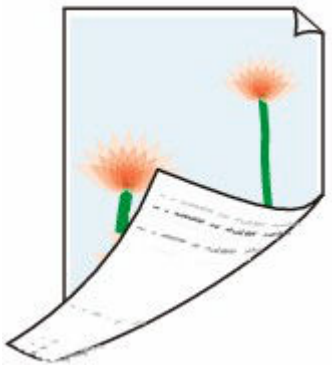
- 内部の汚れを防ぐために、用紙サイズを正しく設定してください。

チェック 10 インク乾燥待ち時間を長く設定してみてください

印刷面が乾きやすくなり、汚れやこすれを防ぎます。

- Windows をご使用の場合：
  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. プリンタードライバーの設定画面を開く
     ➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた
  3. ［ユーティリティ］タブ、［特殊設定］の順にクリックする
  4. ［インク乾燥待ち時間］のスライドバーを使って待ち時間を調整し、［OK］ボタンをクリックする
  5. メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする
- Mac OS をご使用の場合：
  1. 本製品の電源が入っていることを確認する
  2. Canon IJ Printer Utility（キヤノン・アイジェイ・プリンター・ユーティリティ）を開く
     ➡ Canon IJ Printer Utility の開きかた
  3. ポップアップメニューから［特殊設定］を選ぶ
  4. ［インク乾燥待ち時間］のスライドバーを使って待ち時間を調整し、［適用］ボタンをクリックする
  5. メッセージを確認し、［実行］ボタンをクリックする

用紙の裏面が汚れる



チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ インクふき取りクリーニングを行って、本製品の内部を清掃してください

➡ インクふき取りクリーニングを行う

参考

- 両面印刷をする、または多量に印刷を行うと、本製品の内部が汚れることがあります。

色むらや色すじがある

色むらがある



色すじがある



チェック１ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

チェック２ ノズルチェックパターンを印刷し、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングなどを行ってください

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合

  該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

  インクが残っているのに印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを２回繰り返しても改善されない場合

強力クリーニングを実行してください。

強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。電源を切る際は、電源プラグを抜かないでください。

- 強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

  プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターに修理をご依頼ください。

  お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

チェック 3 プリントヘッドの位置調整を行ってください

➡ プリントヘッド位置を調整する

参考

- プリントヘッド位置調整を行ってもなお、印刷結果が思わしくない場合は、「手動でプリントヘッド位置を調整する」を参照して、手動プリントヘッド位置調整を行ってください。

インクが出ない

チェック１ インクがなくなっていませんか

タッチスクリーンに表示されているサポート番号を確認し、エラーを解除してください。

➡ エラー発生時のサポート番号一覧

チェック２ プリントヘッドが目づまりしていませんか

ノズルチェックパターンを印刷して、インクが正常に出ているか確認してください。

ノズルチェックパターンの印刷、プリントヘッドのクリーニング、強力クリーニングについては「印刷にかすれやむらがあるときには」を参照してください。

- ノズルチェックパターンが正しく印刷されない場合

  該当する色のインクタンクが空になっていないか確認してください。

  インクが残っているのに印刷されない場合は、プリントヘッドをクリーニングしてから、ノズルチェックパターンを印刷して効果を確認してください。

- プリントヘッドのクリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

  強力クリーニングを実行してください。

  強力クリーニングを行っても改善されない場合は、本製品の電源を切って 24 時間以上経過したあとに、再度強力クリーニングを行ってください。電源を切る際は、電源プラグを抜かないでください。

- 強力クリーニングを 2 回繰り返しても改善されない場合

  プリントヘッドが故障している可能性があります。お客様相談センターに修理をご依頼ください。

  お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

用紙がうまく送られない／「用紙なし」のエラーが発生する

チェック１ 用紙がセットされているか確認してください

➡ 用紙をセットする

チェック２ 次のことに注意して用紙をセットしてください

- 用紙を複数枚セットするときは、用紙をよくさばいてからセットしてください。また、用紙がカセットに残っている状態で用紙を補充するときも、カセットに残っている用紙と補充する用紙をよくさばいてからセットしてください。



- 用紙を複数枚セットするときは、用紙の端をそろえてからセットしてください。
- 用紙を複数枚セットするときは、最大積載枚数を超えないようにしてください。

  ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を最大積載枚数の半分以下に減らしてください。
- 印刷の向きに関わらず縦向きにセットしてください。

  ➡ 用紙をセットする

重要

- カセットに用紙をセットするときは、手前の用紙ガイドを用紙サイズのマーク位置に合わせてください。印刷したい面を下にしてカセットの中央にセットし、用紙ガイドを用紙の両端に合わせてください。

  ➡ 用紙をセットする

チェック３ 厚い用紙や反りのある用紙などを使用していないか確認してください

➡ 使用できない用紙について

チェック４ はがきや封筒をセットする場合は、次のことに注意してください

- はがき、往復はがきが反っていると、最大積載枚数以内の枚数をセットしていても、うまく送られないことがあります。

  はがき、往復はがきは、郵便番号欄がカセットの奥になるようにセットしてください。
- 封筒に印刷するときは「用紙をセットする」を参照し、印刷前に準備をしてください。

  準備ができたら、本製品に縦置きでセットしてください。横置きにすると、正しく送られません。

チェック５ セットした用紙と、用紙の種類やサイズの設定が合っているか確認してください

チェック６ 給紙ローラーのクリーニングを行ってください

➡ 給紙ローラーをクリーニングする

参考

- 給紙ローラーのクリーニングは給紙ローラーが磨耗しますので、必要なときのみ行ってください。

チェック７ カセットから用紙が複数枚排紙されるときは、カセットの内部を清掃してください

カセットの内部の清掃について詳しくは「カセットの内部を清掃する」を参照してください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

自動両面印刷でうまく印刷できない

チェック１ 自動両面印刷を行う設定になっていますか

- Windows をご使用の場合：

  プリンタードライバーの［ページ設定］シートで［両面印刷］と［自動］にチェックマークが付いていることを確認してください。

  ➡ 両面印刷を行う

- Mac OS をご使用の場合：

  プリントダイアログの［両面］にチェックマークが付いていることを確認してください。

  ➡ 両面印刷を行う

チェック２ 本製品にセットした用紙のサイズが正しいか確認してください

自動両面印刷に対応している用紙サイズは A4 サイズおよびレターサイズです。

正しいサイズの用紙をセットし直して、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

チェック３ 用紙サイズの設定が正しいか確認してください

用紙サイズの設定が、自動両面印刷に対応した用紙のサイズに合っているか確認してください。

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを確認してください。

次にリンタードライバーの用紙サイズの設定を確認してください。

- Windows をご使用の場合：

  プリンタードライバーの［ページ設定］シートで［用紙サイズ］の設定を確認してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  ページ設定ダイアログで［用紙サイズ］の設定を確認してください。

参考

- アプリケーションソフトのバージョンによっては両面印刷に対応していないものがあります。

チェック４ 用紙の種類の設定が正しいか確認してください

用紙の種類の設定が、自動両面印刷に対応した用紙の種類に合っているか確認してください。

- Windows をご使用の場合：

  プリンタードライバーの［基本設定］シートの［用紙の種類］で、自動両面印刷に対応している用紙か確認してください。

- Mac OS をご使用の場合：

  プリントダイアログの［品位と用紙の種類］の［用紙の種類］で、自動両面印刷に対応している用紙か確認してください。

参考

- Windows をご使用の場合：

  手動両面印刷に変更する場合は、次の手順に従ってください。

  プリンタードライバーの設定画面を開き、［ページ設定］シートで［自動］のチェックマークを外してから、印刷をやり直します。

  手動両面印刷を行う場合は、以下の点にご注意ください。

  - 3 ページ以上を印刷する場合、最初に片側の面にくるページだけがまとめて印刷され、用紙を裏返してセットしたあとで反対側の面のページが印刷されます。用紙の順序を変えないように注意してください。
  - とじ方向と印刷の向きの関係によって、用紙を裏返す手順が異なります。画面の説明どおりに正しく行ってください。

- Mac OS をご使用の場合：

  手動両面印刷機能は使用できません。

コピー／印刷が途中で止まる

チェック１ 用紙はセットされていますか

本製品に用紙が残っているか確認してください。

用紙がない場合は、用紙をセットしてください。

チェック２ 写真やイラストなどが多く入っている原稿や文書を印刷していますか

写真やグラフィックなど大容量のデータの印刷は、本製品またはパソコンによる処理に時間がかかるため、本製品が動いていないように見えることがあります。

また、普通紙にインクを大量に使用する原稿を連続して印刷すると、本製品が一時的に止まることがあります。どちらの場合も処理が終わるまでお待ちください。

参考

- 印刷する部分が多い原稿や文書の印刷、または 2 部以上の印刷を行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まることがあります。

チェック３ 長時間、連続して印刷していませんか

連続して長時間印刷していると、プリントヘッドなどの部品が過熱する場合があります。本製品は、行の折り返し位置で適宜自動停止してから印刷を再開するようになります。

その場合は、そのまましばらくお待ちください。それでも印刷が再開されない場合は、適当なところで印刷を中断し、本製品の電源を 15 分以上切ってください。

⚠注意

- 本製品内部のプリントヘッド周辺の温度が非常に高くなる場合があります。プリントヘッドや周辺の部品には手を触れないでください。

AirPrint で印刷できない

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

本製品の電源が入っている場合は、電源を入れ直して問題が解決するか確認してください。

チェック２ LAN 接続で印刷する場合は、本製品が AirPrint 対応機器と同一ネットワークのサブネットに LAN 接続されているか確認してください

チェック３ 本製品にセットされている用紙やインクが十分であるか確認してください

チェック４ 本製品のタッチスクリーンに何もエラーメッセージが表示されていないか確認してください

上記の対処を行っても印刷できない場合は、パソコンからプリンタードライバーを使用して印刷を行い、本製品から正常に印刷できるか確認してください。

スキャンに関するトラブル（Windows）

- スキャンができない
- スキャン結果に満足できない
- ソフトウェアのトラブル
- IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧
- ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧

スキャンができない

- スキャナーが動かない
- ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない
- エラーメッセージが表示されて ScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない
- 複数の原稿を一度にスキャンできない
- スキャンに時間がかかる
- 「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない
- スキャンの途中でパソコンが動かなくなった
- これまで使っていた Windows をアップグレードしたらスキャナーが動かなくなった
- スキャンした画像が開けない

スキャナーが動かない

チェック１ ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください

チェック２ パソコンに複数の USB ポートがある場合、ほかの USB ポートに差し替えてください

チェック３ USB ケーブルを USB ハブなどを介して接続しているときは、パソコンの USB ポートに直接接続してください

チェック４ パソコンを再起動してください

ScanGear（スキャナードライバー）がアプリケーションソフトから呼び出せない

チェック１ MP ドライバーがインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック２ アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーまたはプリンターを選択してください

重要

- ご使用のスキャナーまたはプリンターの名称が複数表示されている場合には、機種名に WIA が付いていないものを選んでください。

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。
- WIA に対応したアプリケーションソフトからスキャンする場合は、WIA ドライバーを使用してください。

  WIA ドライバーでスキャンする

チェック３ アプリケーションソフトが TWAIN に対応していることを確認してください

TWAIN に対応していないアプリケーションソフトから ScanGear（スキャナードライバー）を呼び出すことはできません。

チェック４ IJ Scan Utility でスキャンして画像を保存し、ご使用のアプリケーションソフトでファイルを開いてください

エラーメッセージが表示されて ScanGear（スキャナードライバー）の画面が表示できない

チェック１ ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください

チェック２ 電源をオフにし、USB ケーブルと電源コードを接続し直してください

チェック３ パソコンに複数の USB ポートがある場合、ほかの USB ポートに差し替えてください

チェック４ USB ケーブルを USB ハブなどを介して接続しているときは、パソコンの USB ポートに直接接続してください

チェック５ MP ドライバーがインストールされていることを確認してください

インストールされていない場合、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーをインストールしてください。

チェック６ アプリケーションソフトのメニューで、ご使用のスキャナーまたはプリンターを選択してください

参考

- アプリケーションソフトによっては、起動方法が異なる場合があります。

チェック７ アプリケーションソフトが TWAIN に対応していることを確認してください

TWAIN に対応していないアプリケーションソフトから ScanGear（スキャナードライバー）を呼び出すことはできません。

チェック８ ほかのアプリケーションソフトで ScanGear を起動している場合は、ScanGear を終了してください

複数の原稿を一度にスキャンできない

チェック１ 原稿が正しくセットされていますか

➡ 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

チェック２ １枚の原稿は正しくスキャンできますか

アプリケーションソフトによっては、複数の画像を連続して受け取れないものがあります。その場合、１枚ずつスキャンしてください。

スキャンに時間がかかる

チェック１ 出力解像度は、モニターで見るときは 150 dpi、プリンターで印刷するときは 300 dpi 程度に設定してください

- 解像度について

チェック２ ［褪色補正］や［粒状感低減］などの画像の設定を［OFF］にしてください

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[画像設定]」を参照してください。

チェック３ IJ Scan Utility の［文字原稿の傾きを補正する］／［文字原稿の向きを検知して、画像を回転する］のチェックマークを外して原稿をスキャンし直してください

- ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス

「メモリーが足りません...」のメッセージが出てスキャンができない

チェック１ 起動中のアプリケーションソフトを終了してから、もう一度実行してください

チェック２ 適切な解像度または出力サイズへ変更し、スキャンし直してください

➡ 解像度について

スキャンの途中でパソコンが動かなくなった

チェック１ パソコンを再起動し、ScanGear（スキャナードライバー）の出力解像度を下げてスキャンし直してください

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[出力設定]」を参照してください。

チェック２ 不要なファイルを削除し、パソコンの空き容量を確保してからスキャンし直してください

大きな原稿を高解像度でスキャンするときなど画像サイズが大きいときは、パソコンのハードディスクに画像をスキャンし保存するための十分な空き容量がないと判断され、エラーになることがあります。

チェック３ IJ Scan Utility の［テンポラリファイルの保存先フォルダー］で、十分な空き容量があるドライブのフォルダーを設定してください

➡ ［スキャン設定(基本設定)］ダイアログボックス

チェック４ 複数の機器を USB ポートに接続していませんか

ご使用のスキャナーまたはプリンター以外の機器を外してご使用ください。

これまで使っていた Windows をアップグレードしたらスキャナーが動かなくなった

チェック 接続している USB ケーブルを外し、MP ドライバーと IJ Scan Utility をいったんアンインストール（削除）してから、再インストールしてください

手順 1 MP ドライバーの削除

MP ドライバーの削除方法については、「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。

手順 2 IJ Scan Utility の削除

1. ［コントロール パネル］→［プログラム］→［プログラムと機能］の順にクリック
2. ［Canon IJ Scan Utility］を選び、［アンインストールと変更］をクリック
3. 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリック
4. アンインストールが完了したら、［OK］をクリック

   以上で IJ Scan Utility が削除されます。

参考

- ソフトウェアをインストールやアンインストールしたり、起動したりすると、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。
  このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。
  管理者の権限を持つユーザーでログオンした場合は、画面の指示に従って、操作を続けてください。

手順 3 MP ドライバーと IJ Scan Utility の再インストール

セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーと IJ Scan Utility を再インストールします。

スキャンした画像が開けない

チェック データ形式がアプリケーションソフトに対応していない場合、再度スキャンを行い、保存する際に JPEG などの一般的なデータ形式を選んでください

詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

スキャン結果に満足できない

- スキャン結果にモアレが発生する
- きれいにスキャンできない（モニターに表示された画像がきたない）
- スキャンした画像の周囲に余白ができる
- 正しいサイズで読み込めない
- 操作パネルからスキャンしたときに画像の位置やサイズが正しく読めない
- 原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている
- スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

スキャン結果にモアレが発生する

チェック１ スキャン解像度を上げてください

➡ 解像度について

チェック２ 次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- IJ Scan Utility の［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス、［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス、［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックス、［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックス、または、［スキャン設定(メール)］ダイアログボックスで下記のいずれかを設定し、IJ Scan Utility 基本画面からスキャンしてください。
  - ［原稿の種類］を［雑誌］、［カラーモード］を［カラー］に設定
  - ［画像処理設定］の［モアレを低減する］にチェックマークを付ける

  ➡ ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
  ➡ ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス
  ➡ ［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックス
  ➡ ［スキャン設定(OCR)］ダイアログボックス
  ➡ ［スキャン設定(メール)］ダイアログボックス
- ScanGear（スキャナードライバー）の［基本モード］シートで、［原稿を選択する］から［雑誌(カラー)］を選んでスキャンしてください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「［基本モード］シート」を参照してください。
- ScanGear の［拡張モード］シートで、［画像設定］の［モアレ低減］を［ON］に設定してスキャンしてください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「［画像設定］」を参照してください。

参考

- デジタルプリント写真をスキャンしたときに、モアレが発生する場合は、上記の手順に従ってスキャンしてください。

きれいにスキャンできない（モニターに表示された画像がきたない）

チェック１ 画像が粗い場合は、スキャン解像度を上げるか、スキャン設定ダイアログボックスの［データ形式］で［TIFF］または［PNG］を選んでください

- 解像度について
- スキャン設定ダイアログボックス

チェック２ 画面表示を等倍（100 %）に設定してください

アプリケーションソフトによっては、画面表示が小さいと画像がきれいに表示されないものがあります。

チェック３ モアレ（縞模様など）が発生した場合は、次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- IJ Scan Utility の［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス、［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス、または［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックスで下記のいずれかを設定し、IJ Scan Utility 基本画面からスキャンしてください。
  - ［原稿の種類］を［雑誌］、［カラーモード］を［カラー］に設定
  - ［画像処理設定］の［モアレを低減する］にチェックマークを付ける

  - ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス
  - ［スキャン設定(貼り合わせ)］ダイアログボックス
- ScanGear（スキャナードライバー）の［基本モード］シートで、［原稿を選択する］から［雑誌(カラー)］を選んでスキャンしてください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「［基本モード］シート」を参照してください。
- ScanGear の［拡張モード］シートで、［画像設定］の［モアレ低減］を［ON］に設定してスキャンしてください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「［画像設定］」を参照してください。

参考

- デジタルプリント写真をスキャンしたときに、モアレが発生する場合は、上記の手順に従ってスキャンしてください。

チェック４ モニターの表示色数を確認してください

モニターの表示色数の確認方法について、詳しくは、Windows のヘルプまたはモニターの取扱説明書を参照してください。

チェック５ 原稿台や原稿台カバーを清掃してください

チェック6 原稿の状態が悪い場合（原稿にごみがついている、褪色しているなど）は、ScanGear の［拡張モード］シートで、［画像設定］の［ごみ傷低減］や［褪色補正］、［粒状感低減］などを設定してスキャンしてください

詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[画像設定]」を参照してください。

チェック7 原稿の元の色あいと異なってしまう場合は、次の対処方法に従ってスキャンし直してください

- ScanGear の［拡張モード］シートで、［画像設定］の［画像調整］を［OFF］に設定してスキャンしてください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[画像設定]」を参照してください。
- ScanGear の［詳細設定］ダイアログボックスの［色の設定］シートで［カラーマッチング］を設定してスキャンしてください。

  詳しくは、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「[色の設定] シート」を参照してください。

スキャンした画像の周囲に余白ができる

チェック スキャンする範囲を指定してください

ScanGear（スキャナードライバー）の全体表示で  （オートクロップ）をクリックすると、原稿の大きさに合わせて、自動的にクロップ枠（スキャンする範囲）が表示されます。

サムネイル表示時や写真などで原稿の周囲に白い縁がある場合、クロップ枠を設定したい場合は、手動で範囲を指定してください。

➡ [画像貼り合わせ] ウィンドウでクロップ枠を調整する

参考

- ScanGear（スキャナードライバー）でクロップ枠を調整する方法については、オンラインマニュアルのホームからお使いの機種の「クロップ枠の調整のしかた（ScanGear）」を参照してください。

正しいサイズで読み込めない

チェック 原稿が正しくセットされていますか

- 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

操作パネルからスキャンしたときに画像の位置やサイズが正しく読めない

チェック１ 原稿が正しくセットされていますか

- 原稿のセットのしかた（パソコンからスキャンする場合）

チェック２ 読み込む原稿と設定が合っていますか

原稿の種類を自動で判別してうまくスキャンできない場合は、原稿の種類やサイズを指定してスキャンしてください。

操作パネルからスキャンする場合：

操作パネルを使ってスキャンするときの設定項目については、「スキャンするときの設定項目」を参照してください。

IJ Scan Utility でスキャンする場合：

- 文書をスキャンする
- 写真をスキャンする
- お気に入りの設定でスキャンする

原稿を正しくセットしたが、スキャンした画像が傾いている

チェック ［原稿の種類］で文書または［雑誌］を選択している場合は、［文字原稿の傾きを補正する］のチェックマークを外して原稿をスキャンし直してください

- ［スキャン設定(文書)］ダイアログボックス
- ［スキャン設定(お気に入り)］ダイアログボックス

スキャンした画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

チェック１ アプリケーションソフトで、画像を拡大（縮小）してください

詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。ご不明な点は、各アプリケーションソフトの製造元へお問い合わせください。

参考

- ペイントでは画像を縮小することができません。画像を縮小したい場合は、アプリケーションソフトで画像を開いて編集してください。

チェック２ ScanGear（スキャナードライバー）で、解像度を変更してスキャンし直してください

解像度が高いと大きく表示され、低いと小さく表示されます。

➡ 解像度について

ソフトウェアのトラブル

- 使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない

使用したいメールソフトが、メールソフトの選択画面に表示されない

チェック メールソフトの MAPI 設定が有効になっているか確認してください

MAPI 設定の方法については、メールソフトの取扱説明書を参照してください。

MAPI 設定が有効でもうまく動作しない場合は、メールソフトの選択画面で［なし(手動で添付)］を選び、画像データを送信メールに手動で添付してください。

IJ Scan Utility エラーメッセージ一覧

IJ Scan Utility のエラーメッセージが表示された場合は、エラーコードを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処方法
152	メモリー容量が足りません。他のアプリケーションを終了し、メモリー量を増やしてください。	• IJ Scan Utility の起動に必要なメモリーが確保できないため、ほかのアプリケーションソフトを終了してください。
153	スキャンしようとした画像は、指定したアプリケーションで開くことができないサイズです。画像のサイズが小さくなるように設定を変更してください。	• 解像度または出力サイズを小さくしてスキャンし直してください。
201	必要なファイルがないか壊れているか、または設定が正しくありません。 再インストールしてください。	• MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。
202	内部エラーが発生しました。以下の対処を行ってください。 - スキャナーの状態を確認する。 - スキャナーの電源を入れ直す。 - パソコンを再起動し、再度実行する。 - スキャナードライバーを再インストールする。	• 内部エラーが発生しました。以下の対処を行ってください。 ◦ スキャナーの状態を確認する。 ◦ スキャナーの電源を入れ直す。 ◦ パソコンを再起動し、再度実行する。 ◦ MP ドライバーを再インストールする。
230	本ソフトウェアに対応したスキャナドライバーがインストールされていません。インストールしてから再度実行してください。	• セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーを再インストールしてください。
231	ディスクの空き容量が足りないため、読み取りを完了できません。	• ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直してください。
232	このディスクは書き込み禁止に設定されているため、ファイルを保存できません。 書き込み禁止を解除するか、別のディスクを使用してください。	• ディスクの書き込み禁止を解除してください。

234	選択されている機種では対応していないスキャン機能です。別のスキャン機能を選択してください。	• 別のスキャン機能を選んでください。
242	ファイルの書き込みができません。	• [スキャン設定(基本設定)]ダイアログボックスの［テンポラリファイルの保存先フォルダー]、または各スキャン設定ダイアログボックスの［保存する場所］のアクセス権限を確認して下さい。
243	ファイルの読み込みができません。	• [スキャン設定(基本設定)]ダイアログボックスの［テンポラリファイルの保存先フォルダー]、または各スキャン設定ダイアログボックスの［保存する場所］のアクセス権限を確認して下さい。
244	指定したフォルダーにアクセスする権限がありません。	• 指定したフォルダーにアクセス権限を与えて下さい。
245	文字を検出できませんでした。以下の条件に該当しないことを確認してください。 - 文書の言語設定と原稿の言語が異なっている。 - 文書に文字情報が含まれていない。 - 検出対象外の文字情報を読み込んでいる。	• [スキャン設定(基本設定)]ダイアログボックスの［文書の言語］と原稿の言語が同一であることを確認してください。 • 原稿に文字列が含まれていることを確認してください。

ScanGear（スキャナードライバー）エラーメッセージ一覧

ScanGear（スキャナードライバー）のエラーメッセージが表示された場合は、エラーコードを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

エラーコード	エラーメッセージ	対処方法
1 4 10 122 151 175 176 177	スキャナー本体にエラーが発生しました。 取扱説明書に従った処理を実行してください。 スキャナードライバーを終了します。	• ご使用のスキャナーまたはプリンターとパソコンが正しく接続されていることを確認してください。 • MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。 • ご使用のスキャナーまたはプリンターが故障していませんか。 パソコンを再起動し、ご使用のスキャナーまたはプリンターを接続し直してください。それでも同じエラーメッセージが表示される場合は、お客様相談センターまでご連絡ください。
140	プリンターが使用中かエラーが発生しています。プリンターの状態を確認してください。 スキャナードライバーを終了します。	• 本体の動作が終了してからスキャンしてください。
145	以下の理由でスキャナーとの通信ができません。 - スキャナーの電源が入っていない。 - スキャナーが接続されていない。 (LAN 環境でご使用の場合、LAN に接続されていない。) 確認してから、やり直してください。 スキャナードライバーを終了します。	• ご使用のスキャナーまたはプリンターの電源が入っていることを確認してください。 • MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。 • アプリケーションソフトのソース選択が正しいか、確認してください。詳しくは、使用するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。 • プリンターの状態を確認してください。 • USB 接続でご使用の場合は、USB ケーブルの接続を確認し、必要に応じて接続し直してください。 • ネットワーク接続でご使用の場合は、接続状況を確認し、必要に応じて接続し直してください。
155	スキャナーとの通信ができません。 ケーブルが外れているか、電源が入っていない可能性があります。 スキャナーの状態を確認してください。 スキャナードライバーを終了します。	
156	以下の理由でスキャナーとの通信ができません。 - スキャナーの電源が入っていない。 - USB ケーブルが正しく接続されていない。 確認してから、やり直してください。 スキャナードライバーを終了します。	
157	以下の理由でスキャナーとの通信ができません。 - スキャナーの電源が入っていない。 - (有線 LAN 環境でご使用の場合)有線 LAN に接続されていない。	

	- (無線 LAN 環境でご使用の場合)障害物などで電波の状態が悪い。 - セキュリティソフトなどでネットワーク接続が禁止されている。 - ネットワーク上の異なるスキャナーが選択されている。 確認してから、やり直してください。 別のスキャナーを選択したい場合は、[スキャナー選択]をクリックしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• ネットワーク接続でご使用の場合は、IJ Network Scanner Selector EX でご使用になるスキャナーを指定してください。 設定方法は、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。
152	メモリーを確保できません。 使用可能なメモリー領域を増やしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• ScanGear (スキャナードライバー) の起動に必要なメモリーが確保できないため、ほかのアプリケーションソフトを終了してください。
201	必要なファイルがないか壊れているか、または設定が正しくありません。 再インストールしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。
202	内部エラーが発生しました。 スキャナードライバーを終了します。以下の対処を行ってください。 - スキャナーの状態を確認する。 - スキャナーの電源を入れ直す。 - パソコンを再起動し、再度実行する。 - スキャナードライバーを再インストールする。	• 内部エラーが発生しました。以下の対処を行ってください。 ◦ スキャナーの状態を確認する。 ◦ スキャナーの電源を入れ直す。 ◦ パソコンを再起動し、再度実行する。 ◦ MP ドライバーを再インストールする。 • [コントロール パネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] の順にクリックし、[サービス] をダブルクリックして、WIA (Windows Image Acquisition) が実行中または開始状態にあるか確認してください。 • ほかのドライバーと干渉している可能性があるため、不要なドライバーを削除してください。 • ご使用のアプリケーションが TWAIN に正しく準拠していない可能性があります。ほかのアプリケーションを使ってスキャンしてください。
203	読取を完了するために必要なディスクの空き容量がありません。 スキャナードライバーを終了します。	• ハードディスク内の不要なファイルを削除してスキャンし直してください。
206	他のソフトウェアもしくはユーザーがスキャナーを使用中であるため、使用できません。	• 使用中の ScanGear を終了してください。

207	スキャナーが選択されていません。 [スキャナー選択]をクリックして、スキャナーを選択してください。 スキャナードライバーを終了します。	• ネットワーク接続でご使用の場合は、IJ Network Scanner Selector EX でご使用になるスキャナーを指定してください。 設定方法は、「ネットワーク環境でスキャンするときの設定方法」を参照してください。
208	IJ Network Scanner Selector EX が見つかりません。 スキャナードライバーを再インストールしてください。 スキャナードライバーを終了します。	• MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはキヤノンのウェブサイトから MP ドライバーを再インストールしてください。 MP ドライバーの削除方法については、「不要になった MP ドライバーを削除する」を参照してください。
250	エラーが発生しました。 本体の電源を入れ直してください。 スキャナードライバーを終了します。	• 本体の電源を入れ直してください。
252	ファイルの書き込みまたは読み出しができません。	• 起動中のアプリケーションソフトを終了したあと、ハードディスクに十分な空きがあるか確認し、スキャンし直してください。

ファクスに関するトラブル

- ファクスを送信できない
- ファクスを受信できない
- 送信したファクスの画質が悪い
- 電話がつながらない

ファクスを送信できない

- ファクスを送信できない
- 同報送信の送信先がリダイヤルから選べない、または番号入力してダイヤルできない
- 送信時にエラーが発生しやすい

ファクスを送信できない

チェック１ 電源が入っていますか

- 電源が入っていないとファクスを送信できません。電源ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が入ったまま（電源ランプが点灯している状態）、電源プラグを抜いてしまったときは、もう一度電源プラグを差し込むだけで、電源が入ります。
- 電源ボタンを押して電源を切ってから（電源ランプが消灯している状態）、電源プラグを抜いたときは、電源プラグを差し込んでから、電源ボタンを押し、電源を入れてください。
- 停電などで電源が切れてしまったときには、停電が復旧すると、自動的に電源が入ります。

重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消灯したことを確認してから抜いてください。

  停電が発生したり電源プラグを抜いたりすると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

  電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

参考

- 停電や電源プラグを抜いたことで本製品のメモリーに保存されているファクスが消去されたときは、電源を入れ直したあと、消去されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。

  詳しくは、「印刷できるレポートとリスト」を参照してください。

チェック２ 本製品のメモリーから送信中、または本製品のメモリーに受信中ではありませんか

ファクス待機画面でファクス送受信に関するメッセージが表示されているときは、本製品のメモリーから別のファクスを送信している、または、ファクスを本製品のメモリーに受信しています。ファクスの送受信が終了するまでお待ちください。

チェック３ 本製品のメモリーがいっぱいになっていませんか

本製品のメモリーの内容を削除してから、もう一度送信してください。

➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて

チェック４ 電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていますか

電話回線が自動で正しく設定されないことがあります。電話回線の種類を確認して設定を手動で変更してください。

➡ 回線種別を設定する

チェック５ ［オンフックキー設定］の設定が［無効］になっていませんか

手動で送信する場合、［ファクス設定］の［あんしん通信管理］にある［オンフックキー設定］を［有効］にしてダイヤルするか、本製品に接続した電話機を使ってダイヤルしてください。

➡ ファクス設定

チェック6 ［ダイヤルトーン検知］の設定が［する］になっていませんか

時間をおいてから、再度送信してください。

それでも送信できないときは、［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［ダイヤルトーン検知］を［しない］に設定してください。

➡ ファクス設定

チェック7 電話帳にファクス／電話番号が正しく登録されていますか

送信先のファクス／電話番号を確認し、電話帳に登録したファクス／電話番号を変更してから、もう一度送信してください。

➡ 登録した情報を変更する

参考

- 宛先電話番号リストを印刷すると、登録した送信先を確認できます。

  ➡ 印刷できるレポートとリスト

チェック8 送信中にエラーが発生していませんか

- ファクス待機画面にメッセージが表示されているか確認してください。表示されている場合は、内容を確認してください。

  ➡ ファクス待機画面にメッセージが表示されている

- 通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください。

  ➡ 印刷できるレポートとリスト

チェック9 原稿が正しくセットされていますか

一度原稿を取り出し、原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットし直してください。

➡ 原稿をセットする

チェック10 プリンターエラーが発生していませんか

タッチスクリーンにメッセージが表示されているか確認してください。表示されている場合は、内容を確認してください。

サポート番号が表示されている場合は「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

サポート番号が表示されないメッセージについては「メッセージが表示されている」を参照してください。

お急ぎの場合は、ストップボタンを押してエラーメッセージを閉じることにより、ファクスを送信することができます。

チェック11 電話回線が正しく接続されていますか

モジュラーケーブルを電話回線接続部に接続し直してください。

➡ 電話回線を接続する

電話回線が正しく接続されている場合は、電話回線に問題があります。電話会社、接続している TA（ターミナルアダプター）または電話アダプターのメーカーへお問い合わせください。

同報送信の送信先がリダイヤルから選べない、または番号入力してダイヤルできない

チェック すでに同報送信の送信先をリダイヤルから選んでいませんか、または番号入力でダイヤルしていませんか

同報送信の送信先には、リダイヤルから 1 件、または番号入力によるダイヤルから 1 件のいずれかしか指定できません。

すでにリダイヤルまたは番号入力によるダイヤルを行っている場合は、電話帳から送信先を選んでください。

送信時にエラーが発生しやすい

チェック 電話回線や接続の状態を確認してください

電話回線や接続の状態がよくないときは、送信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。

［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［送信スタートスピード］の設定を遅くしてください。

➡ ファクス設定

ファクスを受信できない

- ファクスを受信できない、ファクスを印刷できない
- 電話とファクスの受信が自動的に切り替わらない
- 受信したファクスの画質が悪い
- カラーファクスが受信できない
- 受信時にエラーが発生しやすい

ファクスを受信できない、ファクスを印刷できない

チェック１ 電源が入っていますか

- 電源が入っていないとファクスを受信できません。電源ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が入ったまま（電源ランプが点灯している状態）、電源プラグを抜いてしまったときは、もう一度電源プラグを差し込むだけで、電源が入ります。
- 電源ボタンを押して電源を切ってから（電源ランプが消灯している状態）、電源プラグを抜いたときは、電源プラグを差し込んでから、電源ボタンを押し、電源を入れてください。
- 停電などで電源が切れてしまったときには、停電が復旧すると、自動的に電源が入ります。

重要

- 電源プラグは、電源ボタンを押して電源ランプが消灯したことを確認してから抜いてください。

  停電が発生したり電源プラグを抜いたりすると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されます。

  電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

参考

- 停電や電源プラグを抜いたことで本製品のメモリーに保存されているファクスが消去されたときは、電源を入れ直したあと、消去されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。

  詳しくは、「印刷できるレポートとリスト」を参照してください。

チェック２ 本製品のメモリーがいっぱいになっていませんか

本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷または USB フラッシュメモリーに保存、あるいはパソコンの共有フォルダーに転送し、本製品のメモリーから削除してから、送信元に連絡して、もう一度送信してもらってください。

➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて

チェック３ 受信中にエラーが発生していませんか

- ファクス待機画面にメッセージが表示されているか確認してください。表示されている場合は、内容を確認してください。

  ➡ ファクス待機画面にメッセージが表示されている

- 通信管理レポートを印刷して、エラーが起きていないか確認してください。

  ➡ 印刷できるレポートとリスト

チェック４ モジュラーケーブルが外付け機器接続部に接続されていませんか

電話回線接続部に接続し直してください。

➡ 電話回線を接続する

チェック５ ［ファクス用紙設定］の［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙をセットしていませんか

［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされていると、受信したファクスは印刷されず、本製品のメモリーに保存されます（代行受信）。［用紙サイズ］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

チェック６ 用紙がセットされていますか

用紙がセットされていないと、受信したファクスは印刷されず、本製品のメモリーに保存されます（代行受信）。用紙をセットして、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

チェック７ 印刷するのに十分なインクが残っていますか

印刷するのに十分なインクが残っていない場合は、受信したファクスは印刷されず、本製品のメモリーに保存されます（代行受信）。インクタンクを交換したあと、本製品のメモリーから印刷してください。

➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて

参考

- ファクスモードでファクスを受信していた場合は、インクタンクを交換したあと自動的に印刷が始まります。

  ➡ インクタンクを交換する
- モノクロのファクスを代行受信したときに、［ファクス用紙設定］にある［両面印刷設定］が［両面印刷］になっていると、［片面印刷］に変更することでファクスが印刷されることがあります。
- インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。

  ［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［インク切れでの印刷］を［印刷する］に設定してください。

  ただしその場合、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。

  また、ファクスの内容は本製品のメモリーに保存されません。

  なお、すでにインクがなくなっている場合は、［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［受信原稿］を［印刷しない］に設定して、受信したファクスを一度本製品のメモリーに保存することをお勧めします。インクタンクを交換したあとに［自動印刷設定］の［受信原稿］を［印刷する］に設定を戻すと、本製品のメモリーに保存されたファクスは自動で印刷されます。

  ➡ ファクス設定

チェック８ 適切な受信モードに設定されていますか

受信モードを確認し、ご使用の用途に適した受信モードを設定してください。

➡ 受信モードを設定する

チェック９ ［ファクス受信拒否設定］を［する］に設定していませんか

［ファクス設定］の［あんしん通信管理］にある［ファクス受信拒否設定］を［しない］に設定してください。

設定のしかたについては、「ファクス受信拒否設定を使う」を参照してください。

電話とファクスの受信が自動的に切り替わらない

チェック 受信モードが［ファクス専用モード］になっていませんか

［受信モード設定］で［ファクス専用モード］に設定されている場合、電話とファクスは自動的に切り替わりません。

［電話優先モード］に設定してください。

また、［電話優先モード］で本製品に留守番電話を接続しているときは、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

➡ 受信モードを設定する

受信したファクスの画質が悪い

チェック１ 送信側のファクス機の原稿の読み取り設定を確認してください

送信側に連絡して、原稿の読み取り時の設定を調節してもらってください。

チェック２ ［ECM 受信］の設定が［しない］になっていませんか

［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［ECM 受信］を［する］に設定してください。

［する］に設定すると、送信側のファクス機が自動的に誤りを訂正し再送します。

➡ ファクス設定

チェック３ 送信側のファクス機の原稿や読み取り部分が汚れていませんか

ファクスの画質は、おもに送信側のファクス機によって決まります。送信側に連絡して、読み取り部分が汚れていないか確認してもらってください。

チェック４ 回線の状態が悪いときに ECM 送受信をしていますか、または送信側が ECM に対応していますか

- ［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［ECM 受信］を［する］に設定してください。

  ➡ ファクス設定

- 送信側のファクス機が ECM 送信をするように設定されているか確認してください。

  送受信側のファクス機が ECM に対応していないときは、自動誤り訂正は行われずに送受信されます。

- ［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［受信スタートスピード］の設定を遅くしてください。

  ➡ ファクス設定

チェック５ 用紙や印刷品質を確認しましたか

➡ コピー／印刷結果に満足できない

カラーファクスが受信できない

チェック ［ECM 受信］が［しない］になっていませんか

［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［ECM 受信］が［しない］に設定されていると、カラーで送信されたファクスはカラーで受信できません。送信側のファクスの設定に従って、ファクスが送信されずに回線が切断される、または白黒に変換されたファクスを受信します。

［ECM 受信］を［する］に設定してください。

➡ ファクス設定

受信時にエラーが発生しやすい

チェック１ 電話回線や接続の状態を確認してください

電話回線や接続の状態がよくないときは、受信スタートスピードを遅くすると、エラーが解消されることがあります。

［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］内の［高度な通信設定］にある［受信スタートスピード］の設定を遅くしてください。

➡ ファクス設定

チェック２ 送信側のファクス機が正常に動作していますか

送信側に連絡して、ファクス機が正常に動作しているか確認してもらってください。

送信したファクスの画質が悪い

チェック１ 原稿が正しくセットされていますか

一度原稿を取り出し、原稿台ガラスまたは ADF（自動原稿給紙装置）に正しくセットし直してください。

➡ 原稿をセットする

チェック２ 原稿台ガラス、原稿台カバーの裏側または ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていませんか

原稿台ガラス、原稿台カバーの裏側または ADF（自動原稿給紙装置）のガラスを清掃したあとに、原稿をセットし直してください。

➡ 原稿台の周辺部分を清掃する

参考

- ADF（自動原稿給紙装置）のガラスが汚れていると、以下の図のように黒いすじが入る場合があります。



チェック３ 送信したい原稿に合わせて画質や濃度を調節していますか

セットした原稿に合わせて画質（解像度）や濃度（明るさ）を調節してください。

➡ ファクスを送信するときの設定項目

チェック４ 原稿の裏表の向きが正しくセットされていますか

原稿台ガラスにセットするときは、原稿の表面を下にしてください。

ADF（自動原稿給紙装置）にセットするときは、原稿の表面を上にしてください。

チェック５ 厚い原稿やカールしている原稿をファクスしようとしていませんか

厚い原稿やカールしている原稿を送信する場合、原稿が浮いたり、陰になったりして、きれいに送信できないことがあります。

原稿台ガラスにセットするときは、原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。

電話がつながらない

- ダイヤルできない
- 通話中に電話が切れてしまう

ダイヤルできない

チェック１ モジュラーケーブルが正しく接続されていますか

モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。

➡ 電話回線を接続する

チェック２ 本製品および外付け電話機で、電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていますか

電話回線の種類を確認し、設定を変更してください。

➡ 回線種別を設定する

通話中に電話が切れてしまう

チェック モジュラーケーブル、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が正しく接続されていますか

モジュラーケーブル、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が正しく接続されていることを確認してください。

➡ 電話回線を接続する

本体に関するトラブル

- 電源が入らない
- USB 接続がうまくいかない
- USB 接続で通信ができない
- タッチスクリーンの表示が消えている
- 日本語以外の言語が表示されている
- プリントヘッドホルダーが交換位置に移動しない
- プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）

電源が入らない

チェック１ 電源ボタンを押してみてください

チェック２ 本製品と電源コードがしっかりと接続されているかを確認し、電源を入れ直してください

チェック３ 電源プラグをコンセントから抜き、2 分以上たってから、電源プラグをコンセントにつないで本製品の電源を入れ直してください

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

USB 接続がうまくいかない

Q 印刷・スキャン速度が遅い／Hi-Speed USB として動作しない／「さらに高速で実行できるデバイス」などの警告文が画面に表示される（Windows）

A

Hi-Speed USB に対応していない環境では、USB 1.1 での接続となります。この場合、本製品は正常に動作しますが、通信速度の違いから印刷・スキャン速度が遅くなることがあります。

チェック ご使用の環境が Hi-Speed USB に対応しているか、次の点を確認してください

- パソコンの USB ポートは、Hi-Speed USB に対応していますか。
- USB ケーブルと USB ハブは、Hi-Speed USB に対応していますか。

  USB ケーブルは、かならず Hi-Speed USB 認証ケーブルをご使用ください。また、長さ 3 m（10 ft）以内のものをお勧めします。
- ご使用のパソコンは、Hi-Speed USB に対応した状態ですか。

  最新のアップデートを入手して、インストールしてください。
- Hi-Speed USB 対応の USB ドライバーが正しく動作していますか。

  Hi-Speed USB に対応した最新の Hi-Speed USB ドライバーを入手して、再インストールしてください。

重要

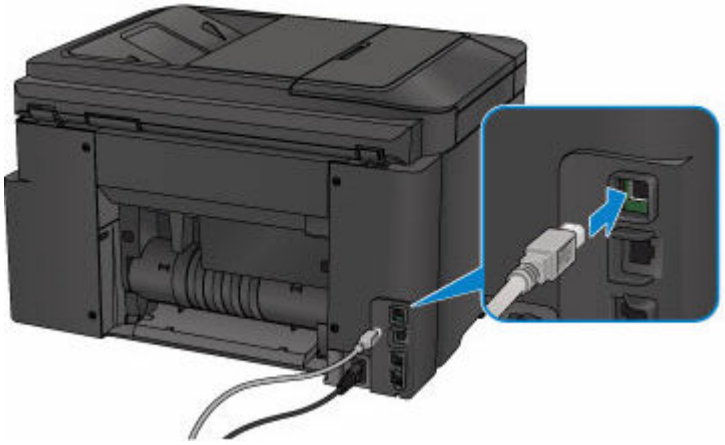
- それぞれの操作については、ご使用のパソコン、USB ケーブル、USB ハブのメーカーにご確認ください。

USB 接続で通信ができない

チェック１ 本製品の電源が入っているか確認してください

チェック２ USB ケーブルを正しく接続してください

USB ケーブル接続部は、下の図のように本製品の背面にあります。



チェック３ 印刷中に IJ Network Tool（アイジェイ・ネットワーク・ツール）を起動しないでください（Mac OS）

チェック４ IJ Network Tool を起動中に印刷しないでください（Mac OS）

チェック５ プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください（Windows）

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた

タッチスクリーンの表示が消えている

- 電源ランプが消えているとき：

  電源が入っていません。電源コードが接続されていることを確認し、電源を入れてください。
- 電源ランプが点灯しているとき：

  タッチスクリーンが自動消灯しています。タッチスクリーンをタップしてください。

日本語以外の言語が表示されている

次の手順で、日本語の設定に戻してください。

1. ホームボタンを押して 5 秒以上待つ
2. ホーム画面をフリックして  ［セットアップ］を表示し、タップする
   操作パネルの使いかた
3.  ［本体設定］をタップする
4. 上から 5 番目の設定項目をタップする
5. ［日本語］をタップする

プリントヘッドホルダーが交換位置に移動しない

重要

- インクがなくなっているインクタンクがある場合のみ、プリントヘッドホルダーは交換位置に移動します。インクがなくなっていない場合は、フロントカバーを開けてもプリントヘッドホルダーは移動しません。

チェック１ 電源ランプが消えていませんか

電源ランプが点灯していることを確認してください。

電源ランプが点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わってから、もう一度フロントカバーを開けてください。

チェック２ エラーメッセージが表示されていませんか

フロントカバーをいったん閉じ、表示されたサポート番号に従ってエラーを解除してから、開いてください。対処方法については、「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

チェック３ フロントカバーを 60 分以上開けたままにしていませんか

フロントカバーを 60 分以上開けたままにしておくと、乾燥を防ぐためにプリントヘッドホルダーが保護位置に移動します。フロントカバーを閉じてからもう一度開け、プリントヘッドホルダーを交換位置に移動させてください。

電源が入っていないとプリントヘッドホルダーは移動しません。電源ランプが消灯している場合は、フロントカバーを閉じて電源を入れてください。

プリンター状態の確認画面が表示されない（Windows）

チェック プリンター状態の確認画面を使用する設定になっていますか

プリンター状態の確認画面の［オプション］メニューの［ステータスモニタを使用］にチェックマークが付いているか確認してください。

1. プリンタードライバーの設定画面を開く
   プリンタードライバーの設定画面の開きかた
2. ［ユーティリティ］タブ、［プリンター状態の確認］ボタンの順にクリックする
3. ［オプション］メニューの［ステータスモニタを使用］にチェックマークが付いていない場合はチェックマークを付ける

インストール／ダウンロードに関するトラブル

- **MP ドライバーがインストールできない**
- **Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）**
- **ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）**

MP ドライバーがインストールできない

- Windows をご使用の場合：
- Mac OS をご使用の場合：

Windows をご使用の場合：

- **セットアップ CD-ROM を DVD/CD-ROM ドライブに入れてもセットアップが始まらないとき：**

  次の手順に従ってインストールを開始してください。

  1. 以下のように選ぶ
     - Windows 10 をご使用の場合は、[スタート] ボタン、[エクスプローラー] をクリックし、左メニューから [PC] をクリックします。
     - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップのタスクバーにある「エクスプローラー」アイコンを選び、左側の一覧から [PC]（Windows 8 の場合は [コンピューター]）を選びます。
     - Windows 7 をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コンピューター] を選びます。
     - Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コンピュータ] を選びます。
  2. 開いたウィンドウにある  [CD-ROM] アイコンをダブルクリックする

     CD-ROM の内容が表示された場合は、[MSETUP4.EXE] をダブルクリックしてください。

     セットアップ CD-ROM から MP ドライバーがインストールできない場合は、ウェブページからインストールしてください。

参考

- CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、次のことを試してください。
  - CD-ROM をパソコンから取り出して、再度セットする
  - パソコンを再起動する

  それでも [CD-ROM] アイコンが表示されない場合は、パソコンでほかの CD-ROM を表示できるか確認してください。ほかの CD-ROM が表示できる場合は、セットアップ CD-ROM に異常があります。お客様相談センターにお問い合わせください。

  お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

- **［プリンターの接続］画面で止まってしまうとき：**



➡ ［プリンターの接続］画面／［ケーブルの接続］画面から先に進めない

- **それ以外のとき：**

  MP ドライバーをインストールし直してください。

  MP ドライバーが正しくインストールされなかった場合は、MP ドライバーを削除し、パソコンを再起動します。そのあとに、MP ドライバーを再インストールしてください。

  ➡ 不要になった MP ドライバーを削除する

  MP ドライバーを再インストールする場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーをインストールしてください。

  参考

  - Windows のエラーが原因でインストーラーが強制終了した場合は、Windows が不安定になっている可能性があり、MP ドライバーがインストールできなくなることがあります。パソコンを再起動して再インストールしてください。

Mac OS をご使用の場合：

キヤノンのサポートページからドライバーをダウンロードし、インストールし直してください。

Easy-WebPrint EX（イージー・ウェブプリント・イーエックス）を起動できない／メニューが表示されない（Windows）

Internet Explorer（インターネット・エクスプローラー）で Easy-WebPrint EX を起動できない場合や、メニューが表示されない場合は、以下の項目を確認してください。

チェック１ Internet Explorer の［表示］メニュー内の［ツールバー］メニューに［Canon Easy-WebPrint EX］は表示されていますか

表示されていない場合は、Easy-WebPrint EX がインストールされていません。ウェブページから最新の Easy-WebPrint EX をインストールしてください。

参考

- Easy-WebPrint EX がインストールされていないと、デスクトップの通知領域に Easy-WebPrint EX のインストールの案内が表示される場合があります。インストールするときは、案内表示をクリックし、画面の指示に従ってください。
- Easy-WebPrint EX をインストールおよびダウンロードするときは、インターネットへの接続が必要となります。

チェック２ Internet Explorer の［表示］メニュー内の［ツールバー］メニューにある［Canon Easy-WebPrint EX］にチェックマークは付いていますか

［Canon Easy-WebPrint EX］にチェックマークが付いていない場合は、Easy-WebPrint EX が有効になっていません。チェックマークを付けて、Easy-WebPrint EX を有効にしてください。

ネットワーク環境で MP ドライバーをバージョンアップする方法がわからない（Windows）

あらかじめ新しいバージョンの MP ドライバーをダウンロードしてください。

最新の MP ドライバーを入手するには、キヤノンのホームページにアクセスし、お使いの機種の MP ドライバーをダウンロードしてください。

MP ドライバーのアンインストール後、ダウンロードした新しいバージョンの MP ドライバーを所定のインストール手順に従ってインストールし、プリンターの接続方法を選択する画面で、ネットワーク接続で使用する設定を選んでください。ネットワーク上のプリンターが自動的に検出されます。

ご使用になりたいプリンターが検出されていることを確認したら、表示される画面に従ってインストールを完了してください。

参考

- 本製品に設定済みのネットワーク設定は変更されませんので、そのまま本製品をネットワーク接続で使用できます。

エラー表示／メッセージについて

- トラブルが発生したときは
- ファクス待機画面にメッセージが表示されている
- メッセージが表示されている

トラブルが発生したときは

印刷中に用紙がなくなる、または紙づまりなどのトラブルが発生すると、自動的にトラブルの対処方法を示すメッセージが表示されます。この場合は、表示された対処方法に従って操作してください。

トラブルが発生すると、メッセージがパソコンまたはタッチスクリーンに表示されます。内容によっては以下のように、サポート番号（エラー識別番号）も表示されます。

パソコンにサポート番号とメッセージが表示される例：

- Windows をご使用の場合：

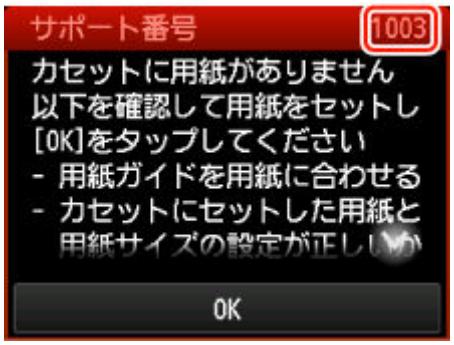


- Mac OS をご使用の場合：



＊ ご使用の OS によって、画面が異なります。

タッチスクリーンにサポート番号とメッセージが表示される例：



サポート番号が表示されるトラブルの対処方法については「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

参考

- パソコンまたはタッチスクリーンに表示されたサポート番号を検索して、対処方法を確認することもできます。

  検索

サポート番号が表示されないトラブルの対処方法については「メッセージが表示されている」を参照してください。

ファクス待機画面にメッセージが表示されている

ファクス待機画面でメッセージが表示されたときには、以下の対処方法に従ってください。

メッセージ	対処方法
自動リダイヤル	原稿を送信したとき回線が話し中だった場合や、相手が応答しなかった場合、時間をおいてからリダイヤルします。自動でリダイヤルされるまでお待ちください。自動リダイヤルを取り消す場合は、リダイヤルされるまで待ち、ダイヤルをしている最中にストップボタンを押してください。本製品のメモリー内の原稿を削除しても、取り消すことができます。 ➡ リダイヤル機能を使って送信する
このグループダイヤルは使えません 電話帳 ##	*「##」は 2 桁の数字を表します。 オンフック機能で送信先を指定するときは、グループダイヤルを指定できません。 個別の送信先を指定してください。
受話器を置いてください	外付け電話機の受話器が外れています。 受話器をきちんと戻してください。
モノクロで送信してください	送信先のファクス機がカラーの送受信に対応していません。 モノクロボタンを押して送信し直してください。 または、［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［カラー送信処理］を［モノクロ送信］に設定してください。送信先のファクスがカラーに対応していないときに白黒モードに変換して送信します。 ➡ ファクス設定
接続に失敗しました	モジュラーケーブルが正しく接続されていない可能性があります。 ケーブルが接続されていることを確認し、時間をおいてから再度、送信してください。それでも送信できないときは、［ファクス設定］の［ファクスの詳細設定］にある［ダイヤルトーン検知］を［しない］に設定してください。 ➡ ファクス設定
代行受信しました	次のいずれかの場合にファクスを受信すると、受信したファクスは本製品のメモリーに保存され、印刷はされません。問題を解消すると、本製品のメモリーに保存されたファクスは自動的に印刷されます。 • 印刷するのに十分なインクが残っていないとき： インクタンクを交換してください。 ➡ インクタンクを交換する **参考** • インクがなくなっても、受信したファクスを強制的に印刷するように設定することができます。

［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［インク切れでの印刷］を［印刷する］に設定してください。

ただしその場合、インク切れにより、ファクスの内容が部分的もしくはすべて印刷されないことがあります。

また、ファクスの内容は本製品のメモリーに保存されません。

なお、すでにインクがなくなっている場合は、［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［受信原稿］を［印刷しない］に設定して、受信したファクスを一度本製品のメモリーに保存することをお勧めします。インクタンクを交換したあとに［自動印刷設定］の［受信原稿］を［印刷する］に設定を戻すと、本製品のメモリーに保存されたファクスは自動で印刷されます。

➡ ファクス設定

- 用紙がなくなったとき：

  用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。
- ［ファクス用紙設定］の［用紙サイズ］で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき：

  ［用紙サイズ］で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。
- ストップボタンを押して、受信したファクスの印刷を中止したとき：

  ホームボタンを押してから、再度［ファクス］をタップしてファクス待機画面を表示すると、中止したファクスが印刷されます。
- ［ファクス設定］の［自動印刷設定］の［受信原稿］が［印刷しない］に設定されているとき：

  本製品のメモリーに保存されたファクスは、［機能一覧］の［メモリー照会］から印刷することができます。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷する

参考

- 受信したファクスを自動で印刷する場合は、［ファクス設定］から［自動印刷設定］を選び、［受信原稿］を［印刷する］に設定してください。

  ➡ ファクス設定
- ストップボタンを押して問題を解消しなかった場合など、本製品のメモリーに保存されたファクスを印刷しなかった場合は、あとで本製品のメモリーに保存されたファクスを削除する、または印刷することができます。

  ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて

話し中でした	• ダイヤルした送信先が話し中です。 しばらくしてから、もう一度ダイヤルしてください。 ➡ リダイヤル機能を使って送信する • ダイヤルしたファクス／電話番号が間違っています。 ファクス／電話番号を確認し、もう一度ダイヤルしてください。 • 送信先のファクス機が応答しませんでした（自動リダイヤルの時間切れ）。 送信先に連絡し、ファクス機を調べてもらってください。国際電話の場合は、登録した番号にポーズを入れてください。 • 送信先のファクス機が G3 規格に対応していません。 本製品は、G3 規格に対応していないファクス機とは送受信できません。送信先にファクス機が G3 規格に対応しているかをご確認ください。 • 回線種別の設定が間違っています。 回線種別を確認し、回線にあった回線種別を設定してください。

	➡ 回線種別を設定する
メモリーがいっぱいです	枚数が多い原稿、内容が細かい原稿を送受信したため、本製品のメモリーがいっぱいになっています。 本製品のメモリーに保存されているファクスを印刷または USB フラッシュメモリーに保存し、本製品のメモリーから削除してください。 ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスについて ファクスを送信していたときは、もう一度送信してください。それでもメッセージが表示された場合は、再度メモリーを削除してから原稿を分割して再送してください。 ファクスを受信していたときは、送信元に連絡して、もう一度送信してもらってください。
未処理の原稿があります	• USB フラッシュメモリーがセットされていない、または書き込み禁止になっていたなど、USB フラッシュメモリーへの自動保存ができませんでした。 受信したファクスは本製品のメモリーに保存されています。書き込み可能な USB フラッシュメモリーを用意して、手動で USB フラッシュメモリーに保存してください。 ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを USB フラッシュメモリーに保存する • 本製品とパソコンが接続されていない、または共有フォルダーの設定が変更されていたなど、パソコンの共有フォルダーへの自動転送ができませんでした。 受信したファクスは本製品のメモリーに保存されています。パソコンと本製品が接続されているか確認して、手動でパソコンの共有フォルダーに転送してください。 ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスをパソコンの共有フォルダーに転送する USB フラッシュメモリーへ保存、またはパソコンの共有フォルダーに転送、あるいは印刷した後、不要なファクスは、本製品のメモリーから削除してください。 ➡ 本製品のメモリーに保存されているファクスを削除する
ファクス情報が一致しません	[ファクス設定]の[あんしん通信管理]にある[送信先の FAX 情報確認]を[する]に設定しているときに、本製品が相手先の端末情報を確認できなかったため、またはダイヤルしたファクス／電話番号が相手先の端末情報と一致しなかったため、送信がキャンセルされました。 [送信先の FAX 情報確認]の設定については、「誤送信防止機能を使う」を参照してください。
受信を拒否しました	[ファクス設定]の[あんしん通信管理]にある[ファクス受信拒否設定]で設定した相手からのファクス受信を拒否しました。 設定については、「ファクス受信拒否設定を使う」を参照してください。
レポートの出力待ち	以下のいずれかの場合、レポートは印刷されません。問題を解消すると、自動的に印刷されます。 • 印刷するのに十分なインクが残っていないとき： インクタンクを交換してください。 ➡ インクタンクを交換する • 用紙がなくなったとき： 用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている[OK]をタップしてください。 • [ファクス用紙設定]の[用紙サイズ]で設定したサイズと異なるサイズの用紙がセットされているとき： [用紙サイズ]で設定したサイズと同じサイズの用紙をセットし、タッチスクリーンに表示されている[OK]をタップしてください。 • ストップボタンを押して、レポートの印刷を中止したとき： ホームボタンを押してから、再度[ファクス]をタップしてファクス待機画面を表示すると、中止したレポートが印刷されます。

メッセージが表示されている

ここでは、一部のエラーやメッセージについて説明します。

参考

- エラーやメッセージによっては、サポート番号（エラー識別番号）が表示されます。サポート番号が表示されるメッセージについては、「エラー発生時のサポート番号一覧」を参照してください。

本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されている場合は、以下を参照してください。

- 本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されている

パソコンの画面にメッセージが表示されている場合は、以下を参照してください。

- 自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている
- 電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている（Windows）
- 「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」（Windows）
- そのほかのエラーメッセージ（Windows）
- ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］画面が表示された（Windows）
- ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］アイコンが表示された（Mac OS）

Q 本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されている

A

メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

- **適切なデータが保存されていません**
  - セットした USB フラッシュメモリーに読み込める画像や文書データが保存されていません。
  - ファイル名（フォルダー名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。
  - パソコン上で編集／加工したデータは、かならずパソコンから印刷を行ってください。

  参考

  - パソコンなどで撮影情報が編集された写真をタッチスクリーンに表示しようとすると、「?」が表示されます。

- **指定した文書データ(PDF)は、ファイル読み込み中にエラーが発生したか、本機に対応していない形式か、データが大き過ぎるため、印刷できません**
  - USB フラッシュメモリーから印刷可能な PDF ファイルか確認してください。印刷できるデータについては「文書（PDF）ファイルを印刷してみよう」を参照してください。

    参考

    - 印刷できない PDF ファイルでも、文書リストの画面にファイル名が表示されます。印刷可能な PDF ファイルか確認することをお勧めします。以下の場合、PDF ファイルを印刷できません。
      - 印刷したい PDF ファイルの［詳細表示］画面が表示できない
      - ［詳細表示］画面の［作成元］に機種名、または［IJ Scan Utility］以外の文字が表示される
      - 印刷プレビュー画面で「?」が表示される

◦ パソコン上で編集／加工したデータは、かならずパソコンから印刷を行ってください。

- **指定した文書データ(PDF)には印刷できない箇所があり、印刷の一部がかける可能性があります**

  画像が多く含まれている PDF ファイルや、高精細の画像が含まれている PDF ファイルは、文書や画像の一部が欠けたり、印刷が途中で止まる場合があります。この場合は、パソコンから印刷を行ってみてください。

- **用紙サイズを確認して、[OK] をタップしてください**

  設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされています。

  設定した用紙サイズと同じサイズの用紙をセットして、[OK] をタップしてください。

- **前回、正しい手順で電源が切られていません　電源を切るときは、ボタンを押してください**

  前回本製品の電源を切ったときに、電源が入った状態で電源プラグが抜かれた可能性があります。

  本製品のタッチスクリーンに表示されている [OK] をタップしてエラーを解除してください。

  参考

  - 正しい電源プラグの抜きかたについては「電源プラグを抜く」を参照してください。

- **電源プラグが抜かれたためメモリーの未送信/受信原稿が失われました**

  本製品のメモリーにファクスが保存されているときに、本製品の電源が入った状態で停電が発生したか、電源プラグが抜かれた可能性があります。

  重要

  - 停電が発生したり電源プラグを抜いたりすると、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

    電源プラグの抜きかたについては、「電源プラグを抜く」を参照してください。

  [OK] をタップしてください。

  本製品のメモリーから削除されたファクスの一覧（メモリークリアリスト）が印刷されます。

  詳しくは、「印刷できるレポートとリスト」を参照してください。

- **サーバーに接続できません　しばらく待ってからやり直してください**

  通信が正しく行われなかった、または通信中に何らかのトラブルが発生したため、サーバーにアクセスできませんでした。

  本製品のタッチスクリーンに表示されている [OK] をタップしてエラーを解除し、しばらく待ってから操作をやり直してください。

Q 自動両面印刷に関するエラーメッセージが表示されている

A

チェック 「自動両面印刷でうまく印刷できない」を参照し、対処してください

電源プラグの抜き差しに関するエラーメッセージが表示されている（Windows）

本製品の電源が入った状態で、電源プラグが抜かれた可能性があります。

メッセージの内容を確認して、画面の［OK］ボタンをクリックしてください。

印刷が開始されます。

電源プラグの抜きかたについては「電源プラグを抜く」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

「書き込みエラー／出力エラー」または「通信エラー」（Windows）

チェック１ 電源ランプが消えている場合は、電源コードが接続されていることを確認し、電源ボタンを押してください

電源ランプが点滅している間は、本製品が初期動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック２ プリンタードライバーのプロパティで、プリンターポートが正しく設定されていることを確認してください

※以下の手順で、「XXX」はご使用の機種名を表します。

1. 管理者（Administrators グループのメンバー）として Windows にログオンする
2. 以下のように選ぶ
   - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックして［コントロールパネル］→［デバイスとプリンターの表示］の順に選びます。
   - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの［設定］チャームから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスとプリンター］の順に選びます。
   - Windows 7 をご使用の場合は、［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］を選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］を選びます。
3. ご使用のプリンターのプロパティを開く
   - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、「Canon XXX series Printer」アイコン（「XXX」は機種名）を右クリックし、［プロパティ］を選びます。
4. ［ポート］タブをクリックし、［印刷するポート］で［プリンタ］の欄に「Canon XXX series Printer」と表示されている「USBnnn」（"n"は数字）が選ばれているか確認する
   - 設定が誤っている場合：

     セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

- USB ケーブルで接続していて「USBnnn」が選ばれていても印刷が始まらない場合：

  Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、スタート画面上の［マイ プリンタ］を選ぶと、マイ プリンタが起動します。スタート画面に［マイ プリンタ］が表示されない場合は、［検索］チャームを選び、「マイ プリンタ」を検索してください。

  表示されるメニューの［プリンターの診断・修復］から、プリンターポートを正しく設定してください。［プリンターの診断・修復］では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

  Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Utilities］→［マイ プリンタ］→［マイ プリンタ］を選び、［プリンターの診断・修復］からプリンターポートを正しく設定してください。［プリンターの診断・修復］では画面の指示に従って操作し、機種選択画面ではご使用の機種名を選びます。

  それでも印刷が始まらない場合は、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック３ 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

USB 接続で本製品をご使用の場合は、本製品の USB ケーブル接続部とパソコンが USB ケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。 USB ケーブルでしっかり接続されている場合は、次のことを確認してください。

- USB ハブなどの中継器を使用している場合は、それらを外して本製品とパソコンを直接接続してから印刷してみてください。正常に印刷される場合は、USB ハブなどの中継器に問題があります。取り外した機器の販売元にお問い合わせください。
- USB ケーブルに不具合があることも考えられます。別の USB ケーブルに交換し、再度印刷してみてください。

無線 LAN 接続または有線 LAN 接続で本製品をご使用の場合は、LAN ケーブルでネットワーク接続がされているか、またはネットワークの設定が正しくされているか確認してください。

チェック４ MP ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください

「不要になった MP ドライバーを削除する」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

チェック５ USB 接続で本製品をご使用の場合は、パソコンでデバイスの状態を確認してください

以下の手順に従って、パソコンでデバイスの状態を確認してください。

1. 以下のようにデバイスマネージャーを開く

   ［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

   - Windows 10 をご使用の場合は、［スタート］ボタンを右クリックし、［デバイスマネージャー］を選びます。
   - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの［設定］チャームから［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［デバイスマネージャー］の順に選びます。
   - Windows 7 をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャー］の順に選びます。
   - Windows Vista をご使用の場合は、［コントロール パネル］から［ハードウェアとサウンド］、［デバイス マネージャ］の順に選びます。

2. ［USB 印刷サポートのプロパティ］を開く

   - Windows 10、Windows 8.1、Windows 8 または Windows 7 をご使用の場合は、［ユニバーサル シリアル バス コントローラー］、［USB 印刷サポート］の順にダブルクリックします。

- Windows Vista をご使用の場合は、[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]、[USB 印刷サポート] の順にダブルクリックします。

[USB 印刷サポートのプロパティ] が表示されない場合は、本製品とパソコンが接続されていることを確認してください。

➡ チェック 3 本製品とパソコンが通信できる状態か確認してください

3. [全般] タブをクリックして、デバイスの異常が表示されているか確認する

デバイスの異常が表示されている場合は、Windows のヘルプを参照してトラブルを解決してください。

そのほかのエラーメッセージ（Windows）

チェック プリンター状態の確認画面以外でエラーメッセージが表示された場合は、次の点を確認してください

- [ディスク容量不足のため、正常にスプールできませんでした。]

  不要なファイルを削除してディスクの空き容量を増やしてください。

- [メモリー不足のため、正常にスプールできませんでした。]

  起動中のほかのアプリケーションソフトを終了して空きメモリーを増やしてください。

  それでも印刷できない場合は、パソコンを再起動してもう一度印刷してみてください。

- [プリンタードライバーが読み込めませんでした。]

  「不要になった MP ドライバーを削除する」に記載されている手順に従って MP ドライバーを削除したあと、セットアップ CD-ROM またはウェブページから MP ドライバーを再インストールしてください。

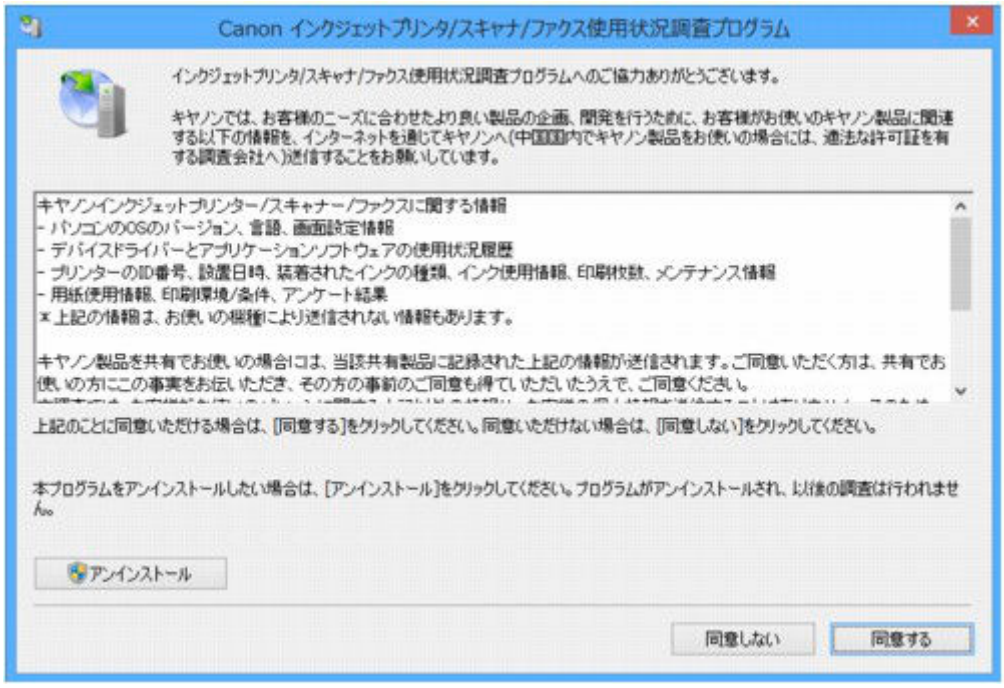
- [「アプリケーションソフト名」 – 「文書名」を印刷できませんでした。]

  現在印刷中の文書の印刷が終わったら、もう一度印刷してみてください。

[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム] 画面が表示された（Windows）

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから 1 ヵ月毎に約 10 年間、本製品およびアプリケーションソフトウェアの使用状況を送信するための確認画面が表示されます。

画面の説明をお読みになり、次の操作を行ってください。



- **調査に同意される場合**

  [同意する] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

  参考

  - 送信時に、インターネットセキュリティなどの警告画面が表示される場合があります。そのときには、プログラム名「IJPLMUI.exe」であることを確認のうえ、許可してください。
  - [次回から自動的に送信する] のチェックマークを外すと、2 回目以降の自動送信は行われず、使用状況の確認画面が送信時に表示されます。自動送信をするように設定するには「確認画面の表示設定を変更するには」を参照してください。

- **調査に同意されない場合**

  [同意しない] をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1 ヵ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

- **インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合**

  インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合は、[アンインストール] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。

- **確認画面の表示設定を変更するには**

  1. 以下のように選ぶ
     - Windows 10 をご使用の場合は、[スタート] ボタンを右クリックして [プログラムと機能] を選びます。
     - Windows 8.1 または Windows 8 をご使用の場合は、デスクトップの [設定] チャームから [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] の順に選びます。
     - Windows 7 または Windows Vista をご使用の場合は、[スタート] メニューから [コントロール パネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] を選びます。

     参考

     - ソフトウェアをインストールやアンインストールしたり、起動したりしたときに、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。

このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。

Administrator［管理者］の権限を持つユーザーでログオンした場合は、画面の指示に従って、操作を続けてください。

2. ［Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］を選ぶ
3. ［変更］を選ぶ

表示される画面に従って［はい］を選ぶと、次回の使用状況を送信する時に、送信確認画面が表示されるようになります。

［いいえ］を選ぶと、使用状況を自動的に送信します。

参考

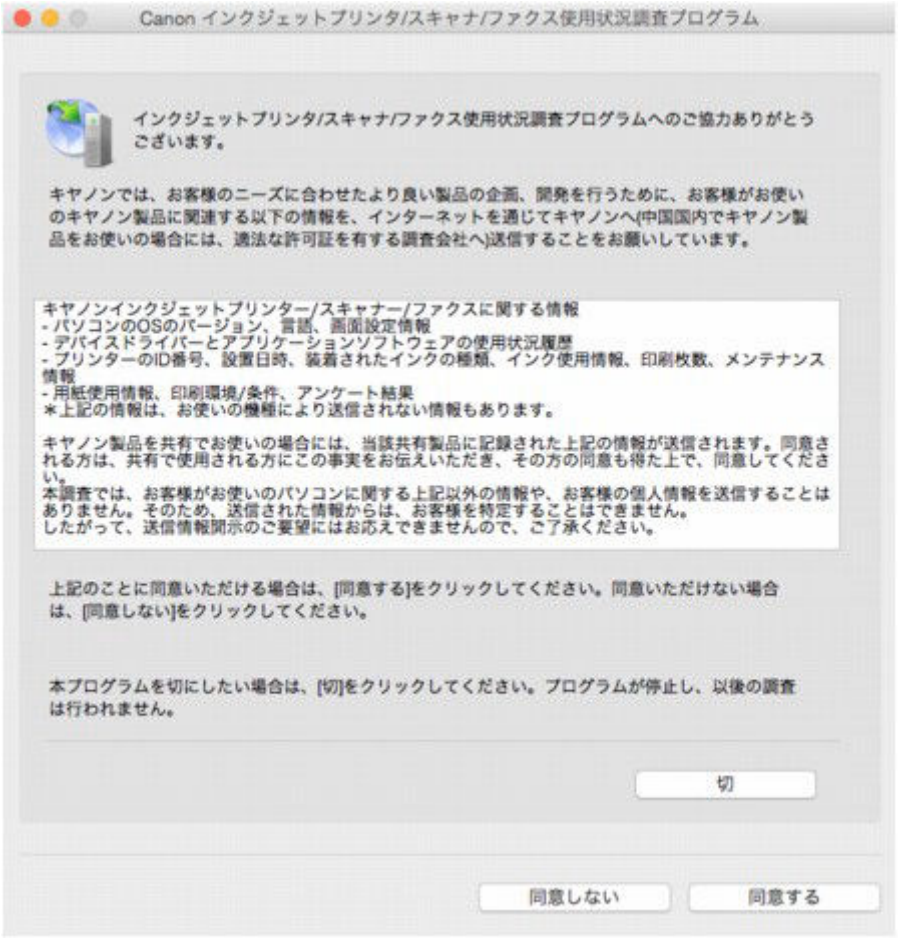
- ［アンインストール］を選ぶとインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが削除されます。表示される画面に従って操作を完了してください。

Q ［インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］アイコンが表示された（Mac OS）

A

インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをインストールした場合は、インストールしてから 1 ヵ月毎に約 10 年間、本製品およびアプリケーションソフトウェアの使用状況を送信します。使用状況を送信する時期になると Dock 内にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

クリック後に表示される説明をお読みになり、次の操作を行ってください。



- **調査に同意される場合**

  [同意する] をクリックし、表示される画面に従って操作してください。インターネットを通じて使用状況を送信します。操作が完了すると、次回以降は自動送信となり、確認画面は表示されません。

  参考

  - [次回から自動的に送信する] のチェックボックスをオフにすると、2 回目以降も自動送信は行われず、使用状況の送信時 Dock にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。

- **調査に同意されない場合**

  [同意しない] をクリックします。確認画面が消え、今回は使用状況は送信されません。1 ヵ月後に使用状況を送信するための確認画面が再度表示されます。

- **調査を停止する場合**

  [切] をクリックします。インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが停止し、使用状況は送信されません。調査を再開するには「設定を変更するには」を参照してください。

- **インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムをアンインストールする場合**

  1. インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止する

     ➡ 設定を変更するには

  2. Finder の［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダー、［Inkjet Extended Survey Program］フォルダーを順にダブルクリックする
  3. ［Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム.app］をゴミ箱に入れる

4. パソコンを再起動する

   [ゴミ箱] を空にして、パソコンを再起動します。

- **設定を変更するには**

  送信確認画面を表示して使用状況を送信するように変更したり、使用状況の調査を再開させたりしたい場合は以下の手順で操作してください。

  1. Finder の［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダー、［Inkjet Extended Survey Program］フォルダーを順にダブルクリックする
  2. ［Canon インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］アイコンをダブルクリックする



  - ［情報の送信時に確認画面を表示しない］：

    チェックボックスをチェックすると、使用状況が自動的に送信されます。

    チェックボックスをオフにすると、使用状況の送信時 Dock にインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムのアイコンが表示されます。確認画面から送信してください。

  - ［切］／［入］ボタン：

    ［切］ボタンをクリックすると、インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムを停止します。

    ［入］ボタンをクリックすると、停止していたインクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラムが再開されます。

トラブルが解決しないときは

「困ったときには」の各ページを読んでもトラブルの原因がはっきりしない、トラブルが解決しない場合には、お客様相談センターにお問い合わせください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

参考

- トラブルの解決方法は、キヤノンのホームページでもご覧いただけます。

エラー発生時のサポート番号一覧 (MB5130)

エラーが発生したときに、タッチスクリーンとパソコンにサポート番号が表示されます。

「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。

エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

表示されるサポート番号

- **1000～1ZZZ**

  1003 1200 1300 1303 1309 1310

  1313 1314 1319 1575 1600 1660

  1688 1700 1701 1754 1755 1871

  1890

- **2000～2ZZZ**

  2001 2002 2110 2120 2500 2700

  2801 2802 2803 2805

- **3000～3ZZZ**

  3401 3402 3403 3404 3405 3406

  3407 3408 3410 3411 3412 3413

  3414 3415 3416 3417 3418 3419

  3420 3421 3422 3423 3424 3425

  3434 3435 3436 3437

- **4000～4ZZZ**

  4100 4103

- **5000～5ZZZ**

  5011 5012 5040 5050 5051 5100

  5102 5103 5104 5105 5200 5203

  5204 5205 5206 5207 5208 5209

  5400 5500 5501 5B00 5B01 5C01

- **6000～6ZZZ**

  6000 6500 6502 6700 6701 6800

  6801 6900 6901 6902 6910 6911

6920 6921 6930 6931 6932 6933

6936 6937 6938 6939 693A 6940

6941 6942 6943 6944 6945 6946

- **7000～7ZZZ**

  7100 7200 7201 7203 7204 7205

- **9000～9ZZZ**

  9000 9500

- **A000～ZZZZ**

  B202 B203 B204 B205 B502 B503

  B504 C000

紙づまりに関するサポート番号については、「エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）」からも確認することができます。

エラー発生時のサポート番号一覧（用紙がつまった場合）

用紙がつまった場合は、つまった場所や原因に応じて用紙を取り除いてください。

- フロントカバー内部で用紙がつまった場合
  - ➡ 1300
- 背面カバー内部で用紙がつまった場合
  - ➡ 1303
- 印刷済みの用紙を引き込んで、背面カバー内部で用紙がつまった場合
  - ➡ 1313
- 自動両面印刷をしていて、背面カバー内部で用紙がつまった場合
  - ➡ 1314
- ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった場合
  - ➡ 2801
- 上記に当てはまらない場合
  - ➡ それ以外のとき

1300

原因

フロントカバー内部で用紙がつまっています。

対処方法

フロントカバー内部で用紙がつまった場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重要

- ファクスの送受信中や代行受信中、未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されてしまいます。

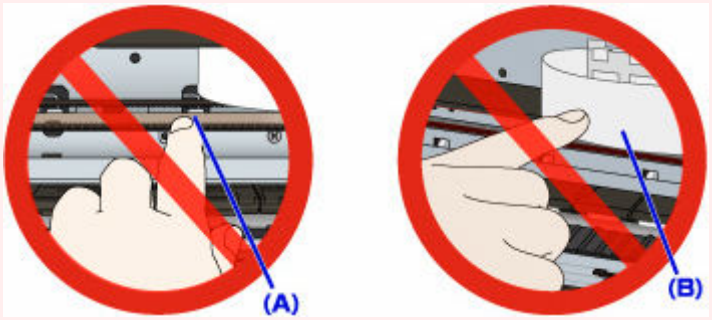
参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. フロントカバーを開く

   重要

   - 透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないでください。

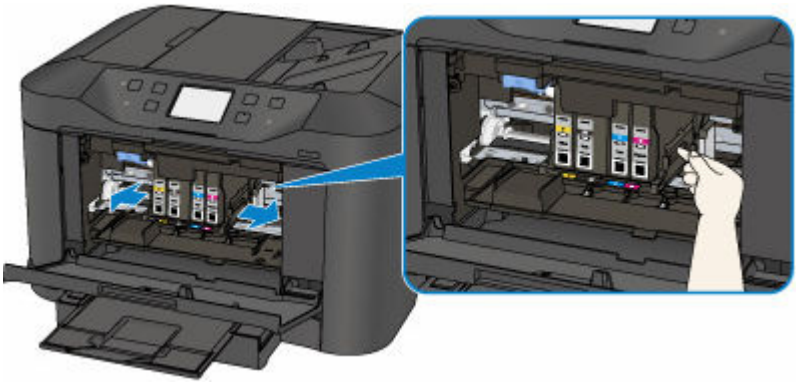
     

     用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

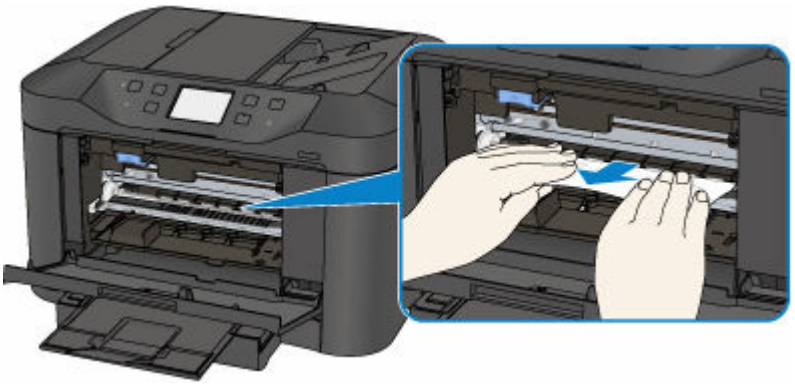
2. プリントヘッドホルダーの下につまった用紙がないか確認する

   プリントヘッドホルダーの下につまった用紙があるときは、プリントヘッドホルダーを動かしやすい方向（右端または左端）へ動かして、用紙を取り除きやすくします。

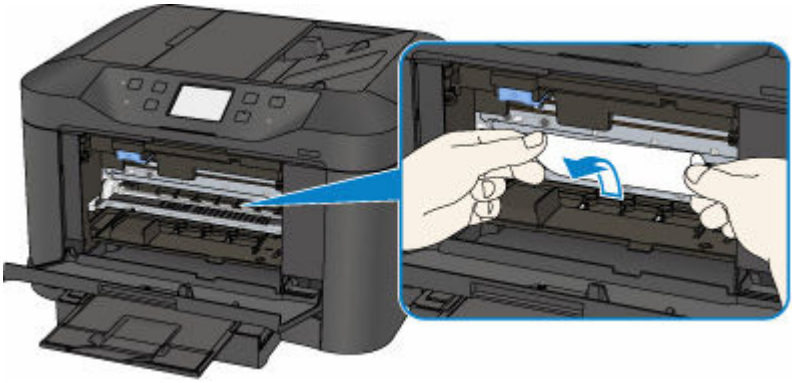
   プリントヘッドホルダーを動かすときは、プリントヘッドホルダーの左側または右側どちらかを指先で押して、右端または左端にゆっくりとスライドさせてください。



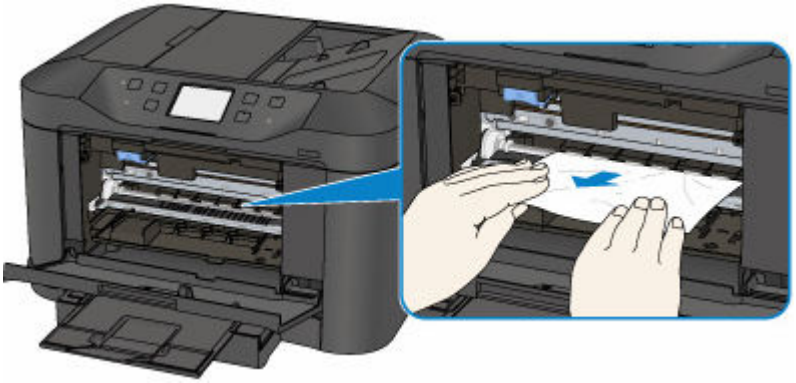
3. つまっている用紙を両手でしっかりとつかむ



用紙が丸まっている場合は、用紙を引き出してください。



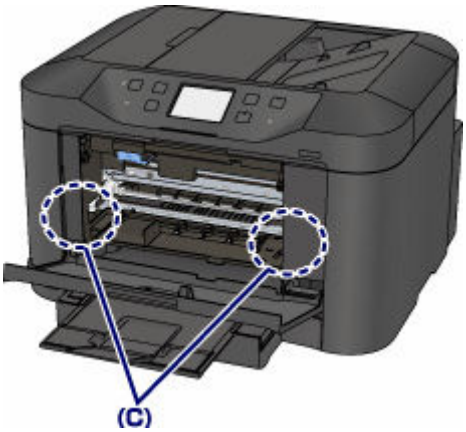
4. 破れないように、ゆっくり用紙を引き抜く



5. つまった用紙がすべて取り除かれたことを確認する

引き抜いた用紙が破れている、または欠けている場合は、本製品の内部に紙片が残っている可能性があります。次のことを確認して、紙片がある場合は取り除いてください。

- プリントヘッドホルダーの下に紙片が残っていないか
- 小さな紙片が残っていないか
- 本製品内部の左側／右側の空間(C)に紙片が残っていないか



6. フロントカバーを閉じる

7. 本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップする

- ファクスや各レポートを印刷しているときに用紙がつまった場合は：

  紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページから印刷を再開します。

- パソコンからの印刷やコピーしているときに用紙がつまった場合は：

  紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページの次のページから印刷を再開します。

  つまったページは印刷されませんので、必要に応じて印刷をやり直してください。

  両面印刷や両面コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、表裏がずれることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

  割り付け印刷や 2in1 コピー、4in1 コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、ページが欠落して印刷されることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

- 紙づまりの対処中に、電源を入れ直した場合は：

  本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

  用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

- つまった用紙をすべて取り除いたあとで印刷を再開したときに、紙づまりに関するメッセージが本製品のタッチスクリーンやパソコンに表示される場合は、本製品の内部に紙片が残っている可能性があります。その場合はもう一度本製品の内部に紙片が残っていないか、確認してください。

- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷は A5 サイズ／A6 サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5 サイズ／A6 サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1303

原因

背面カバー内部で用紙がつまりました。

対処方法

背面カバー内部で用紙がつまった場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重要

- ファクスの送受信中や代行受信中、未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

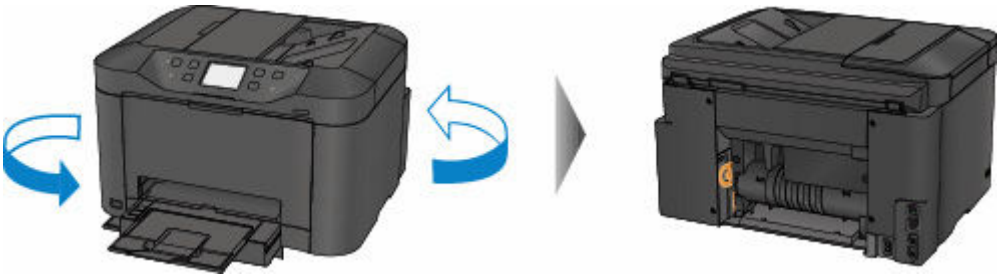
  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されてしまいます。

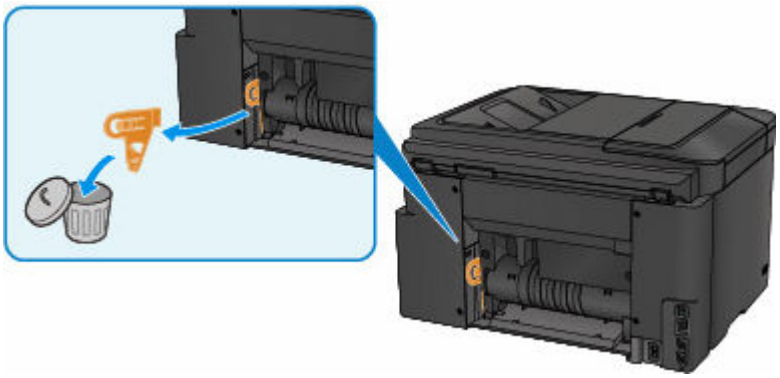
参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 本製品の背面が手前にくるように、本製品を回転させる

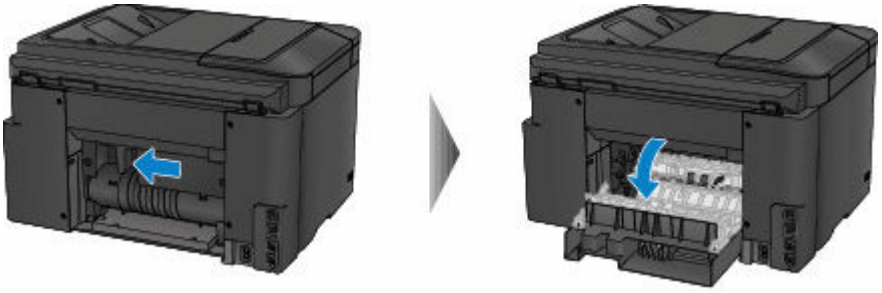


2. 固定部材が取り付けられたままになっている場合は、固定部材を取り除く

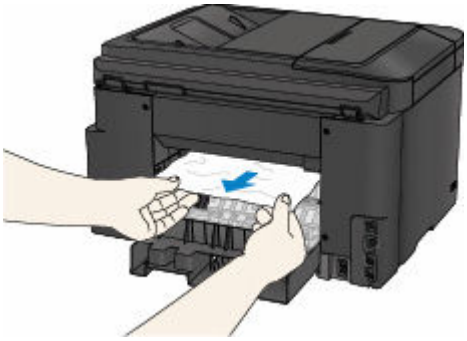


3. 背面カバーを開く

   背面カバーを左側にスライドさせて、背面カバーを開きます。



4. 用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く



参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。
- 用紙が引き抜けない場合は、以下のことも試してください。
  - 本製品の電源を入れ直す

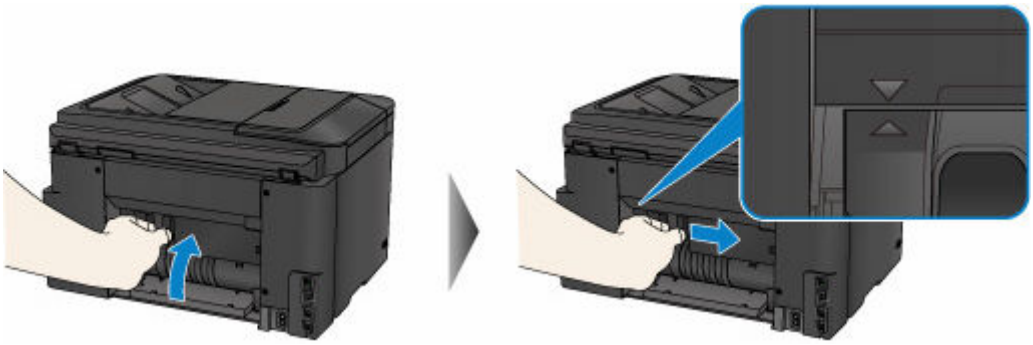
    用紙が自動的に排出されることがあります。
  - 排紙トレイを引き出す

    用紙が引き抜きやすくなります。

5. 背面カバーをゆっくり閉じる

背面カバーを閉じて、右側にスライドさせます。

背面カバーの矢印（△）と本体の矢印（▽）が合うように背面カバーをスライドさせてください。



6. 用紙をセットし直し、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップする

- ファクスや各レポートを印刷しているときに用紙がつまった場合は：

  紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページから印刷を再開します。
- パソコンからの印刷やコピーしているときに用紙がつまった場合は：

紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページの次のページから印刷を再開します。

つまったページは印刷されませんので、必要に応じて印刷をやり直してください。

両面印刷や両面コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、表裏がずれることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

割り付け印刷や 2in1 コピー、4in1 コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、ページが欠落して印刷されることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

- 紙づまりの対処中に、電源を入れ直した場合は：

  本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

  用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。
- 写真やグラフィックを含む原稿の印刷は A5 サイズ／A6 サイズ以外の用紙に印刷することをお勧めします。A5 サイズ／A6 サイズの用紙に印刷すると、用紙が反って排紙できない原因になることがあります。

上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1313

原因

印刷済みの用紙を引き込んで、背面カバー内部で用紙がつまりました。

対処方法

印刷済みの用紙を引き込んで背面カバー内部で用紙がつまった場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重要

- 印刷済みの用紙が多量に排紙トレイに残っていると、排紙口から印刷済みの用紙が引き込まれて、用紙がつまる場合があります。印刷済みの用紙は、75 枚たまる前に、排紙トレイから取り除いてください。
- ファクスの送受信中や代行受信中、未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

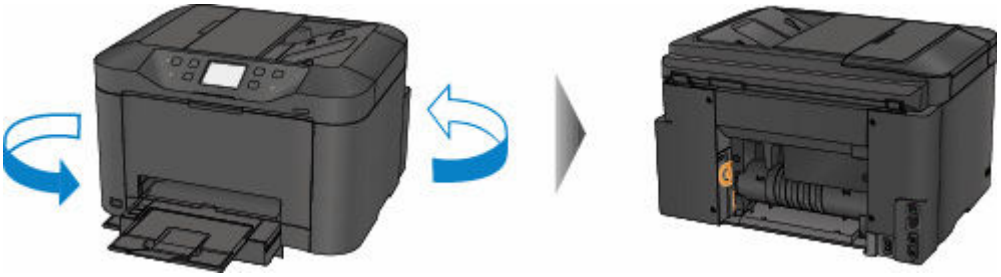
  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されてしまいます。

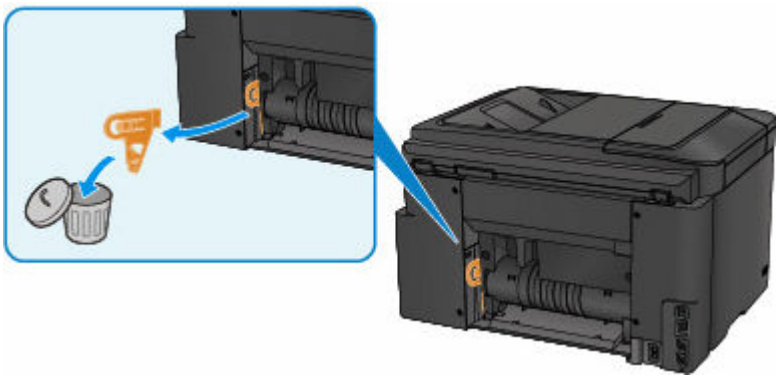
参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 本製品の背面が手前にくるように、本製品を回転させる

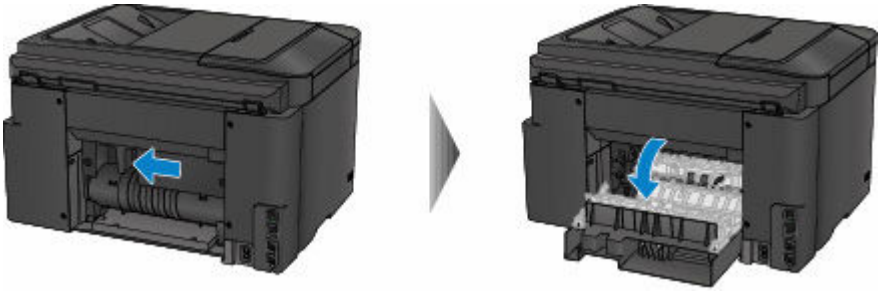


2. 固定部材が取り付けられたままになっている場合は、固定部材を取り除く

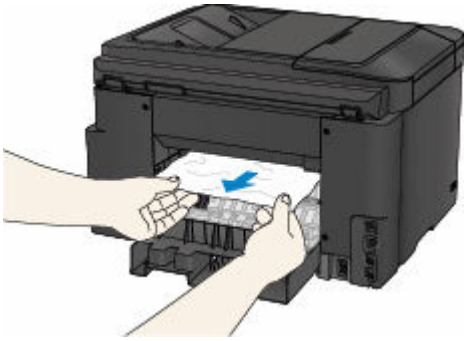


3. 背面カバーを開く

   背面カバーを左側にスライドさせて、背面カバーを開きます。



4. 用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く



参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。
- 用紙が引き抜けない場合は、以下のことも試してください。
  - 本製品の電源を入れ直す

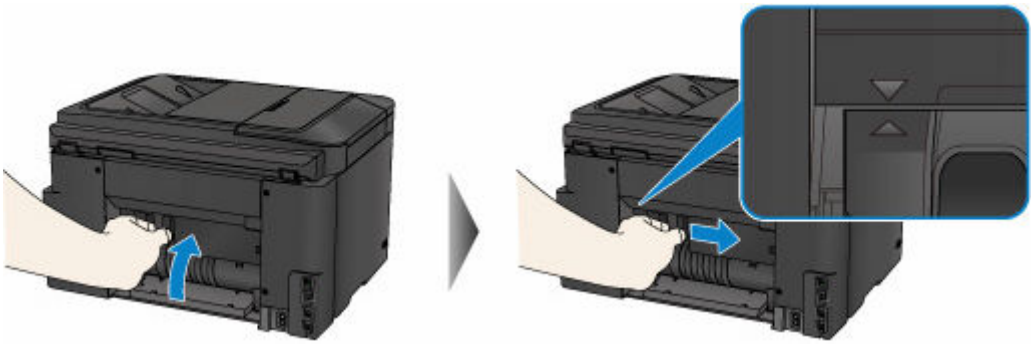
    用紙が自動的に排出されることがあります。
  - 排紙トレイを引き出す

    用紙が引き抜きやすくなります。

5. 背面カバーをゆっくり閉じる

背面カバーを閉じて、右側にスライドさせます。

背面カバーの矢印（△）と本体の矢印（▽）が合うように背面カバーをスライドさせてください。



6. 用紙をセットし直し、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップする

- ファクスや各レポートを印刷しているときに用紙がつまった場合は：

  紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページから印刷を再開します。
- パソコンからの印刷やコピーしているときに用紙がつまった場合は：

紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページの次のページから印刷を再開します。

つまったページは印刷されませんので、必要に応じて印刷をやり直してください。

両面印刷や両面コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、表裏がずれることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

割り付け印刷や 2in1 コピー、4in1 コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、ページが欠落して印刷されることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

- 紙づまりの対処中に、電源を入れ直した場合は：

  本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

  用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1314

原因

自動両面印刷をしていて、背面カバー内部で用紙がつまりました。

対処方法

自動両面印刷をしていて背面カバー内部で用紙がつまった場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

重要

- ファクスの送受信中や代行受信中、未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

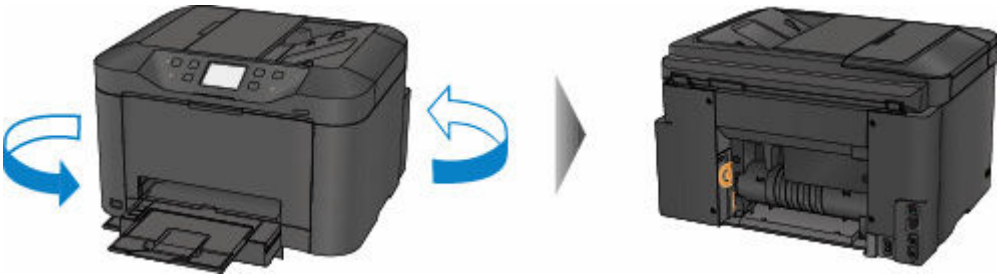
  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されてしまいます。

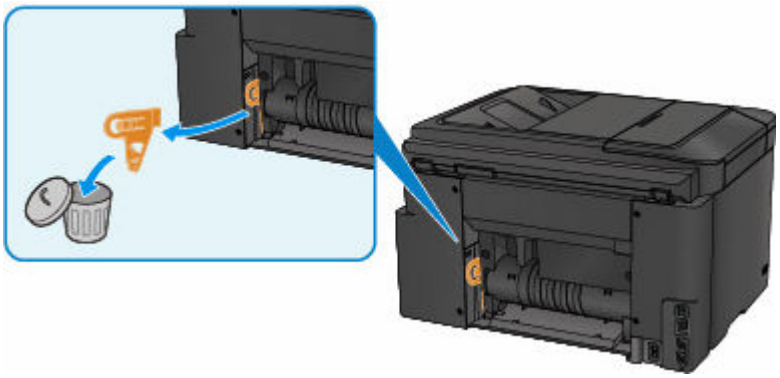
参考

- 印刷中につまった用紙を取り除くため本製品の電源を切る場合は、ストップボタンを押して、印刷を中止してから電源を切ってください。

1. 本製品の背面が手前にくるように、本製品を回転させる

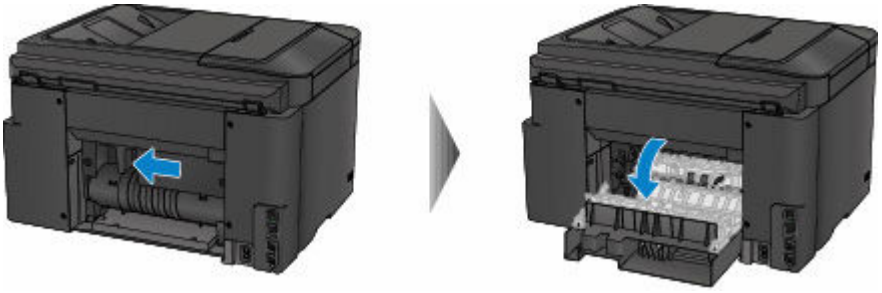


2. 固定部材が取り付けられたままになっている場合は、固定部材を取り除く

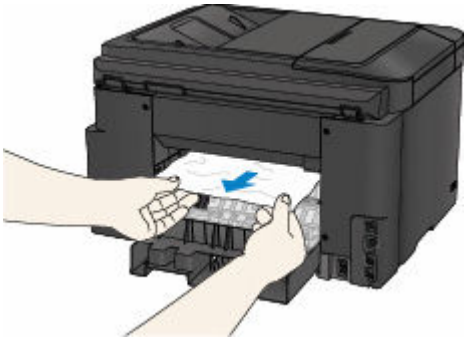


3. 背面カバーを開く

   背面カバーを左側にスライドさせて、背面カバーを開きます。



4. 用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く



参考

- 本製品の内部の部品には触れないようにしてください。
- 用紙が引き抜けない場合は、以下のことも試してください。
  - 本製品の電源を入れ直す

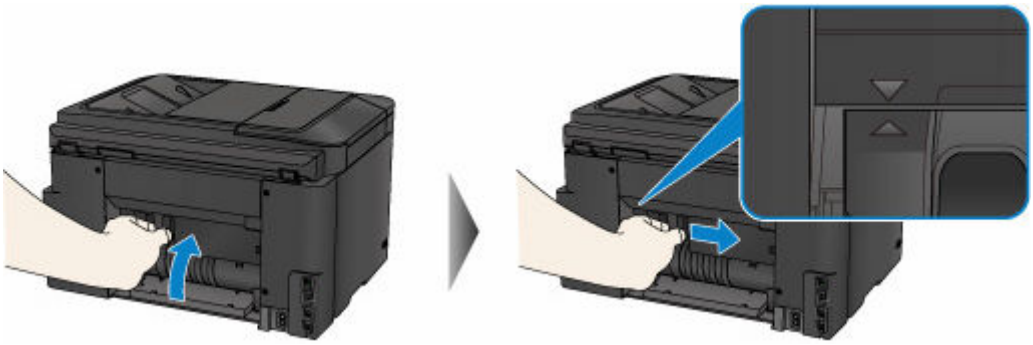
    用紙が自動的に排出されることがあります。
- 排紙トレイを引き出す

  用紙が引き抜きやすくなります。

5. 背面カバーをゆっくり閉じる

背面カバーを閉じて、右側にスライドさせます。

背面カバーの矢印（△）と本体の矢印（▽）が合うように背面カバーをスライドさせてください。



6. 用紙をセットし直し、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップする

- ファクスや各レポートを印刷しているときに用紙がつまった場合は：

  紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページから印刷を再開します。
- パソコンからの印刷やコピーしているときに用紙がつまった場合は：

紙づまりを対処した後、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、つまったページの次のページから印刷を再開します。

つまったページは印刷されませんので、必要に応じて印刷をやり直してください。

両面印刷や両面コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、表裏がずれることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

割り付け印刷や 2in1 コピー、4in1 コピーしているときに用紙がつまった場合、紙づまりを対処した後で印刷を再開すると、ページが欠落して印刷されることがあります。この場合は、印刷を中止して、最初から印刷をやり直してください。

- 紙づまりの対処中に、電源を入れ直した場合は：

  本製品に送信されていた印刷データは消去されますので、もう一度印刷をやり直してください。

参考

- 用紙をセットし直すときは、用紙が印刷に適していること、用紙を正しくセットしていることを確認してください。

  用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

2801

原因

原稿が ADF（自動原稿給紙装置）の中でつまっています。

対処方法

次の手順でつまった原稿を取り除いてください。

重要

- ファクスの送受信中や代行受信中、未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されてしまいます。

- **原稿の読み取り中にストップボタンを押して ADF（自動原稿給紙装置）に原稿が残ってしまった場合：**

  原稿の読み取り中にストップボタンを押して、ADF（自動原稿給紙装置）に原稿が残ってしまった場合は、ADF（自動原稿給紙装置）に原稿が残っていることをお知らせするメッセージがタッチスクリーンに表示されます。[OK] をタップすると、残っている原稿が自動的に排出されます。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった場合：**

  次の手順に従って原稿を取り除きます。

  1. 印刷途中の場合は、ストップボタンを押す
  2. 本製品の電源を切る
  3. 複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から取り除き、原稿フィーダーカバーを開ける

  4. つまっている原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から引き抜く



5. 原稿フィーダーカバーを閉じ、本製品の電源を入れる

   エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。

原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

参考

- 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。

  この場合は、セットする枚数を最大積載可能枚数の約半分に減らしてください。

  それでも原稿がつまる場合は原稿台ガラスをご使用ください。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった場合（排紙側）：**

図のように ADF（自動原稿給紙装置）の原稿トレイを閉じて、つまっている原稿を引き抜いてください。



エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。

原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

それ以外のとき

次のことを確認してください。

チェック１ 排紙口付近に異物はありませんか

チェック２ 背面カバーが正しく閉まっていますか

チェック３ 反りのある用紙を使用していませんか

反りのある用紙は、反りを直してから使用してください。

1003

原因

以下の原因が考えられます。

- カセットに用紙がない
- カセットの用紙が正しくセットされていない

対処方法

以下の対処を行ってみてください。

- カセットに用紙をセットしてください。
- カセットに用紙をセットするときは、用紙ガイドを用紙の端に合わせてください。

上記の対処を行ったあと、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

参考

- 印刷を中止する場合は、本製品のストップボタンを押してください。

1200

原因

フロントカバーが開いています。

対処方法

フロントカバーを閉じてしばらくお待ちください。

インクタンクを交換中の場合は、作業を終了してから閉じてください。

1309

原因

自動両面印刷に対応していない用紙サイズが設定されました。

対処方法

自動両面印刷に対応している用紙サイズは、A4 サイズまたはレターサイズです。

本製品のストップボタンを押して、いったん印刷を中止してください。

その後、印刷設定を変更し、再度印刷を行ってください。

1310

原因

用紙サイズが自動両面印刷に対応していない可能性があります。

対処方法

対応している用紙サイズは、A4 サイズまたはレターサイズです。本製品にセットした用紙サイズが正しいか確認してください。本製品のタッチスクリーンに表示されている [OK] をタップすると印刷中の用紙を排紙して、次の用紙の表面から印刷を再開します。エラーが起きたときの裏面のデータは印刷されませんのでご注意ください。

1319

原因

用紙サイズが自動両面印刷に対応していません。

対処方法

自動両面印刷に対応している用紙サイズは、A4 サイズまたはレターサイズです。

本製品のストップボタンを押して、いったん印刷を中止してください。

その後、印刷設定を変更し、再度印刷を行ってください。

1575

原因

インクの残量を正しく検知できません。

対処方法

インクタンクが空になったら、インクタンクを交換してください。

インクタンクは空になるまで交換できません。

インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

1600

原因

インクがなくなった可能性があります。

対処方法

インクタンクを交換することをお勧めします。

印刷が終了していない場合は、インクタンクを取り付けたまま本製品の［OK］をタップすると、印刷を続けることができます。印刷が終了したらインクタンクを交換することをお勧めします。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因となるおそれがあります。

この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないで本製品のメモリーに保存します。メモリーに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリーに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。

重要

- 新しいインクタンクが用意できるまでは、インクタンクを取り外さないでください。
  - インクタンクを取り外すと、新しいインクタンクを取り付けるまで本製品は動作しません。
  - いったん取り外したインクタンクは、そのまま再度取り付けても本製品は動作しません。

1660

原因

インクタンクが取り付けられていません。

対処方法

インクタンクを取り付けてください。

1688

原因

インクがなくなりました。

対処方法

インクタンクを交換して、フロントカバーを閉じてください。

このまま印刷を続けると本製品に損傷を与えるおそれがあります。

印刷を続けるには、インク残量検知機能を無効にする必要があります。本製品のストップボタンを 5 秒以上押してから離してください。

この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態で印刷を続けたことが原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。

重要

- 新しいインクタンクが用意できるまでは、インクタンクを取り外さないでください。
  - インクタンクを取り外すと、新しいインクタンクを取り付けるまで本製品は動作しません。
  - いったん取り外したインクタンクは、そのまま再度取り付けても本製品は動作しません。

参考

- この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないで本製品のメモリーに保存します。メモリーに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。メモリーに保存しないで、強制的に印刷するようにも設定できますが、インク切れにより、ファクスの内容が部分的に、もしくはすべて印刷されないことがあります。

1700

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターへ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1701

原因

インク吸収体が満杯に近づいています。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、エラーを解除して印刷が再開できます。満杯になると、印刷できなくなり、インク吸収体の交換が必要になります。お早めにお客様相談センターへ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

1754

原因

インクタンクが正しく取り付けられていません。

対処方法

フロントカバーを開いてください。

次に、インクタンクを押し込んでください。

インクタンクを正しくを取り付けたら、フロントカバーを閉じてください。

上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- いったん取り付けたインクタンクは、インクが無くなるまで取り外すことはできません。

1755

原因

インクがなくなりました。

対処方法

品質保持のため、インク切れの状態で印刷を続けることはできません。

いったん印刷を中止し、その後インクタンクを交換してから再度印刷を行ってください。

重要

- 新しいインクタンクが用意できるまでは、インクタンクを取り外さないでください。
  - インクタンクを取り外すと、新しいインクタンクを取り付けるまで本製品は動作しません。
  - いったん取り外したインクタンクは、そのまま再度取り付けても本製品は動作しません。

参考

- この状態で印刷するとファクスの内容が失われる可能性があるため、インクを交換するまでは、受信したファクスを印刷しないで本製品のメモリーに保存します。メモリーに保存したファクスは手動で印刷する必要があります。

1871

原因

カセットが取り付けられていません。

対処方法

カセットを取り付けてください。

参考

- カセットを取り付けた後、カセットの用紙情報登録画面が表示されます。カセットにセットした用紙に合わせて、カセットの用紙情報を登録してください。
- 印刷を中止する場合は、本製品のストップボタンを押してください。

1890

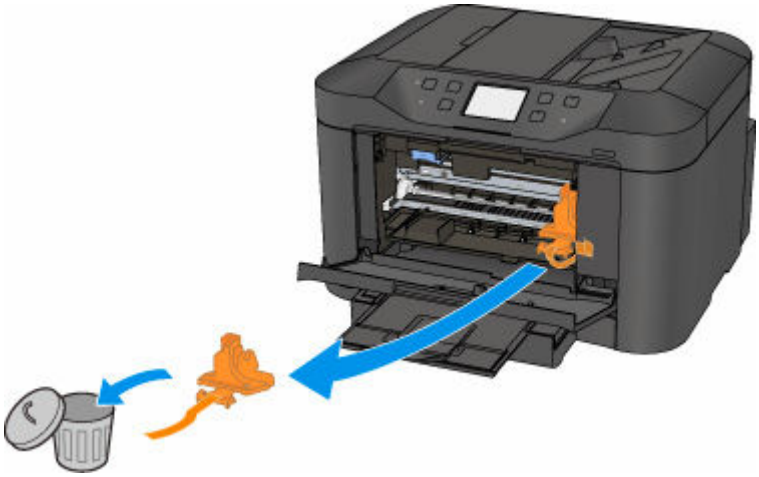
原因

プリントヘッドホルダーの固定部材やテープが取り付けられたままになっている可能性があります。

対処方法

フロントカバーを開き、プリントヘッドホルダーの固定部材やテープが取り付けられたままになっていないか確認してください。

固定部材やテープが取り付けられたままになっている場合は、取り除いてから、フロントカバーを閉じてください。



上記の対処を行っても解決しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

2001

原因

本製品に対応していない機器が接続されています。

対処方法

USB メモリー接続部に接続している機器を確認してください。本製品と接続して直接印刷できるのは、USB フラッシュメモリーです。

2002

原因

本製品に対応していない USB ハブが接続されています。

対処方法

USB ハブを介して本製品に USB フラッシュメモリーを接続している場合は、USB ハブを本製品から取り外してください。

USB フラッシュメモリーは直接本製品に接続してください。

2110

原因

印刷やコピーするときの用紙設定が、本製品に登録したカセットの用紙情報と異なります。

参考

- プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Mac OS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Mac OS）
- コピーするときは、コピーの用紙設定を、本製品に登録したカセットの用紙情報に合わせてください。
- 本製品に登録するカセットの用紙情報については、以下を参照してください。
  - 印刷時の用紙設定

例えば、以下のように印刷やコピーするときの用紙設定が、本製品に登録したカセットの用紙情報と異なると、本製品のタッチスクリーンにメッセージが表示されます。

- プリンタードライバーで指定した用紙設定：

  用紙サイズ：A5 サイズ

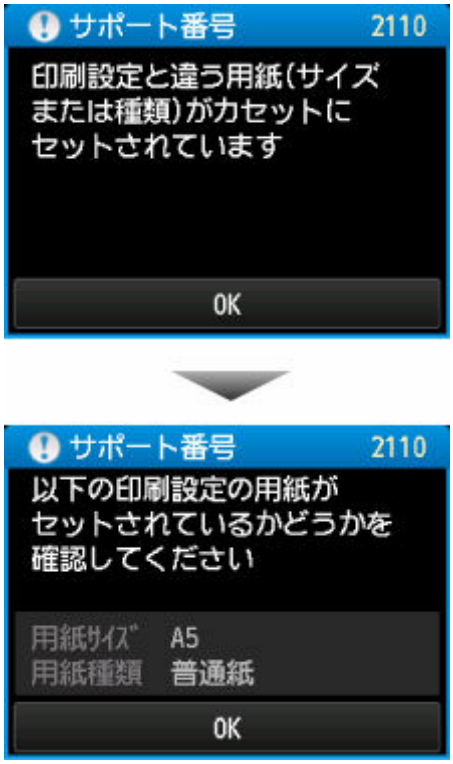
  用紙種類：普通紙

- 本製品に登録したカセットの用紙情報：

  用紙サイズ：A4 サイズ

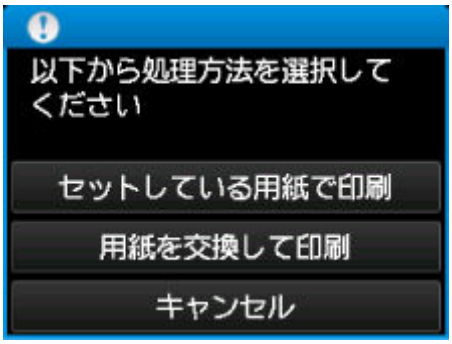
  用紙種類：普通紙

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、印刷やコピーするときに指定した用紙設定がメッセージの下に表示されます。



対処方法

再度本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、以下の画面が表示されます。



必要に応じて処理方法を選んでください。

参考

- 設定によっては、以下の処理方法が表示されない場合があります。

セットしている用紙で印刷

印刷やコピーするときに設定した用紙サイズまたは用紙種類のままで、印刷やコピーする場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、カセットの用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、A5 サイズの設定のままカセットにセットされている用紙に印刷またはコピーします。

用紙を交換して印刷

カセットの用紙を交換してから印刷する場合に選びます。

例えば、印刷やコピーするときの用紙サイズの設定が A5 サイズで、カセットの用紙情報では A4 サイズと登録していた場合、カセットの用紙を A5 サイズの用紙に交換してから印刷またはコピーします。

用紙を交換しカセットを取り付けた後、カセットの用紙情報登録画面が表示されます。カセットにセットした用紙に合わせて、カセットの用紙情報を登録してください。

参考

- 本製品に登録するカセットの用紙情報が分からない場合は、処理方法を選ぶ画面で戻るボタンを押してください。前の画面に戻りますので、表示される用紙サイズや用紙種類を確認し、カセットの用紙情報に登録してください。
- プリンタードライバーで指定できる用紙の設定と、本製品のタッチスクリーンで指定できる用紙の設定の適切な組み合わせについては、以下を参照してください。
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙の種類）（Mac OS）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Windows）
  - プリンタードライバーやプリンター本体での用紙の設定（用紙のサイズ）（Mac OS）

キャンセル

印刷を中止します。

印刷やコピーするときに指定した用紙設定を変更する場合に選びます。用紙設定を変更して印刷をやり直してください。

参考

- 印刷ミスを防止するためのメッセージが表示されないようにすることもできます。表示されないようにした場合は、印刷やコピーするときの用紙設定と本製品に登録したカセットの用紙情報が異なっていても、そのまま印刷またはコピーが始まります。
  - 本製品の操作パネルから印刷またはコピーするときの表示設定を変更するには：
    - ➡ カセット設定
  - プリンタードライバーから印刷するときの表示設定を変更するには：
    - ➡ プリンターの設定を変更する（Windows）
    - ➡ プリンターの設定を変更する（Mac OS）

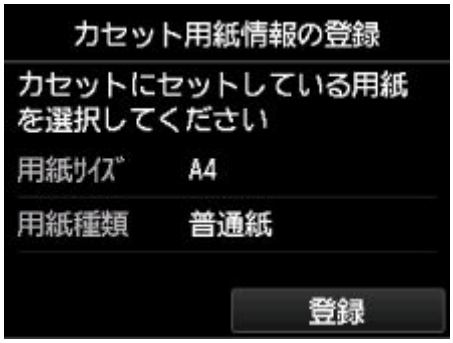
2120

原因

カセットの用紙設定が完了していません。

対処方法

以下の画面が表示されている場合は、カセットの用紙設定が完了していません。



本製品のタッチスクリーンに表示されている［登録］をタップして、カセットの用紙設定を終了ください。

2500

原因

以下の原因によって、自動プリントヘッド位置調整に失敗した可能性があります。

- ノズルが目づまりしている
- A4 サイズ以外の用紙がセットされていた
- 本製品の排紙口内に強い光が当たっている

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除した後、以下の対処を行ってみてください。

- ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。
- A4 サイズの普通紙を 1 枚セットして、再度自動プリントヘッド位置調整を行ってください。
- 排紙口内に光が当たらないように調整してください。

上記の対処を行ったあと、再度プリントヘッド位置調整を行ってもエラーが解決されないときには、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除したあと、手動でプリントヘッド位置調整を行ってください。

2700

原因

以下の原因が考えられます。

- コピー中に何らかのエラーが発生し、一定の時間が経過している
- 原稿が ADF（自動原稿給紙装置）の中で残っている
- スキャン中に何らかのエラーが発生し、原稿が ADF（自動原稿給紙装置）の中で残った

対処方法

以下の対処を行ってみてください。

- コピーをしていた場合は、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除し、もう一度コピーをやり直してください。
- 原稿が ADF（自動原稿給紙装置）の中で残っている場合は、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップすると、原稿が排出されます。
- スキャンをしていた場合は、ストップボタンを押してスキャンを中止してから、もう一度スキャンをやり直してください。

2802

原因

ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がありません。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてから、ADF（自動原稿給紙装置）に原稿をセットしてください。

2803

原因

原稿が長すぎるか、ADF（自動原稿給紙装置）の中に原稿がつまっています。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップして、エラーを解除してください。原稿が適切か確認してから操作をやり直してください。

原稿がつまっている場合は、次の手順でつまった原稿を取り除いてください。

重要

- ファクスの送受信中や代行受信中、未送信のファクスが本製品のメモリーに保存されている場合は電源を切ることができません。

  ファクスの受信または送信が完了していることを確認してから電源を切ってください。また、このとき電源プラグを抜かないでください。

  電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて消去されてしまいます。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった場合：**

  次の手順に従って原稿を取り除きます。

  1. 印刷途中の場合は、ストップボタンを押す
  2. 本製品の電源を切る
  3. 複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から取り除き、原稿フィーダーカバーを開ける

  4. つまっている原稿を ADF（自動原稿給紙装置）から引き抜く



5. 原稿フィーダーカバーを閉じ、本製品の電源を入れる

   エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。

原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

参考

- 用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。

  この場合は、セットする枚数を最大積載可能枚数の約半分に減らしてください。

  それでも原稿がつまる場合は原稿台ガラスをご使用ください。

- **ADF（自動原稿給紙装置）に原稿がつまった場合（排紙側）：**

図のように ADF（自動原稿給紙装置）の原稿トレイを閉じて、つまっている原稿を引き抜いてください。



エラーを解除後、再度同じ原稿を読み込む場合は、最初の原稿から読み込み直してください。

原稿が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても原稿づまりエラーが解除されない場合には、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

2805

原因

原稿台カバーが開いています。

対処方法

原稿台カバーを閉じ、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3401

原因

コピー予約が中止されました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3402

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3403

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3404

原因

ADF（自動原稿給紙装置）に原稿があります。

対処方法

しばらくお待ちください。コピーが始まります。

3405

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3406

原因

本製品のメモリーがいっぱいでコピーできませんでした。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

しばらく待ってから、コピーしてください。

3407

原因

コピーするときに、次の原稿をセットする必要があります。

対処方法

次の原稿をセットして、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3408

原因

本製品のタッチスクリーンにプレビュー画面が表示されています。

対処方法

プレビューを確認し終えたら、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3410

原因

原稿読み取り中で、コピー予約できません。

対処方法

しばらく待ってから、コピー予約してください。

3411

原因

コピー予約することができます。

対処方法

続けて原稿をコピーする場合は、原稿をセットして、本製品のカラーボタンまたはモノクロボタンを押してください。

3412

原因

原稿の読み取りに失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除し、そのあと以下の対処を行ってください。

- 原稿台ガラスに原稿がセットされているか確認してください。
- 原稿を置く向きや位置を確認してください。

上記の対処を行ったあと、スキャンまたはコピーをやり直してください。

それでもエラーが解決されないときは、原稿のサイズを指定してください。

重要

- 3 cm（1.2 inches）四方より小さい原稿は正しく読み取れない場合があります。

3413

原因

用紙のこすれ改善が設定されています。

対処方法

このまま印刷を続ける場合は、[はい] をタップしてください。

用紙のこすれ改善が設定されていると、印刷速度が遅くなる場合があります。

設定を解除する場合は、[いいえ] をタップしてください。ホーム画面から [セットアップ]、[本体設定]、[印刷設定] を順に選び、[用紙のこすれ改善] を [しない] に設定してください。

3414

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定の送信メールサーバー（SMTP サーバー）のアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3415

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定の受信メールサーバー（POP3 サーバー）のアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3416

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

ご使用のメールサーバーと本製品のセキュア接続（SSL）の設定が一致しているか確認してください。

本製品のセキュア接続（SSL）の設定はリモート UI で確認します。

➡ メールサーバーを設定する

メールサーバーのセキュア接続（SSL）の設定については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3417

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

ご使用のメールサーバーと本製品のセキュア接続（SSL）の設定が一致しているか確認してください。

本製品のセキュア接続（SSL）の設定はリモート UI で確認します。

➡ メールサーバーを設定する

メールサーバーのセキュア接続（SSL）の設定については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3418

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定の送信メールサーバー（SMTP サーバー）に関する項目が正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3419

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定の送信用アカウントおよび送信用パスワードが正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3420

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定の受信メールサーバー（POP3 サーバー）に関する項目が正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3421

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定の受信用アカウントおよび受信用パスワードが正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3422

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

ご使用のメールサーバーと本製品の APOP 認証の設定が一致しているか確認してください。

本製品の APOP 認証の設定はリモート UI で確認します。

➡ メールサーバーを設定する

メールサーバーの APOP 認証の設定については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3423

原因

メールサーバーとの通信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

リモート UI でメールサーバー設定が正しいか確認してください。

➡ メールサーバーを設定する

それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

3424

原因

メール送信に失敗しました。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

送信先の正しいメールアドレスを指定して送信し直してください。

3425

原因

以下の原因によって、メール送信ができませんでした。

- 添付するスキャンデータのファイルサイズが大きすぎる。
- 本製品のメモリーがいっぱいになった。

対処方法

本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてエラーを解除してください。

以下の対処を行ってみてください。

- 解像度を下げて、スキャンし直してください。
- 送信する原稿を減らして、スキャンし直してください。

それでもエラーが解決されない場合は、以下の対処を行ってみてください。

- スキャンデータをメール添付で送信するときの添付最大ファイルサイズを確認してください。

  添付最大ファイルサイズはリモート UI で設定します。

  ➡ スキャンデータを送信するときのメール設定を行う

- ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。

3434

原因

手動両面印刷をしていて、1 面目の印刷が終了しました。

対処方法

もう一方の面を印刷する準備をしてください。

排紙された状態（印刷された面が上）で、用紙の手前側が奥になるように 180 度回転して、カセットにセットしてください。

準備ができたら、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3435

原因

手動両面印刷をしていて、1 面目の印刷が終了しました。

対処方法

もう一方の面を印刷する準備をしてください。

排紙された状態（印刷された面が上）で、用紙の向きを変えずにカセットにセットしてください。

準備ができたら、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3436

原因

手動両面印刷をしていて、1 面目の印刷が終了しました。

対処方法

もう一方の面を印刷する準備をしてください。

排紙された状態（印刷された面が上）で、用紙の向きを変えずにカセットにセットしてください。

準備ができたら、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

3437

原因

手動両面印刷をしていて、1 面目の印刷が終了しました。

対処方法

もう一方の面を印刷する準備をしてください。

排紙された状態（印刷された面が上）で、用紙の手前側が奥になるように 180 度回転して、カセットにセットしてください。

準備ができたら、本製品のタッチスクリーンに表示されている［OK］をタップしてください。

4100

原因

指定したデータを印刷することができませんでした。

対処方法

クリエイティブパーク プレミアムのコンテンツを印刷しようとしたときは、パソコンの画面の表示を確認し、キヤノン純正インクタンクの全色が正しく取り付けられていることを確認してから再度印刷を行ってください。

4103

原因

現在の印刷設定では印刷ができません。

対処方法

本製品のストップボタンを押して、いったん印刷を中止してください。

その後、印刷設定を変更し、再度印刷を行ってください。

5011

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5012

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5040

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5050

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5051

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5100

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーの固定部材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

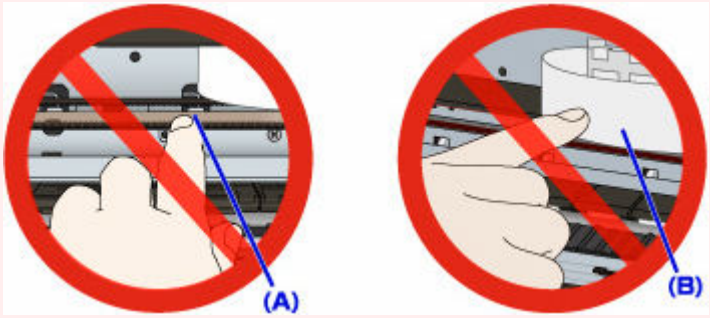
最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5102

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーの固定部材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

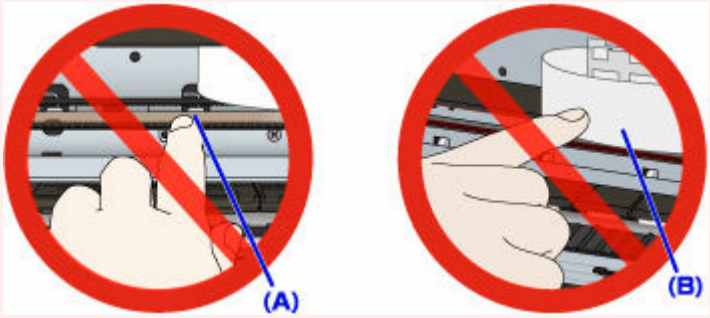
最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5103

原因

プリンタートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーの固定部材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

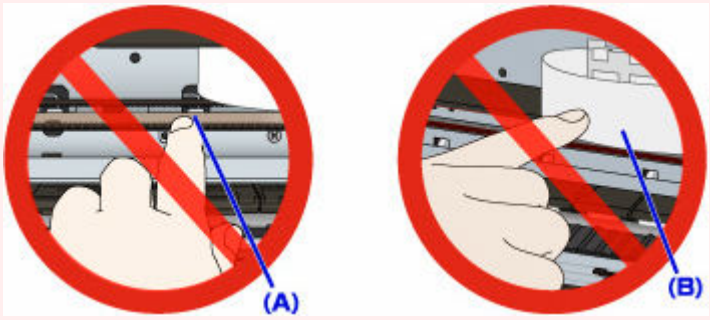
最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5104

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーの固定部材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

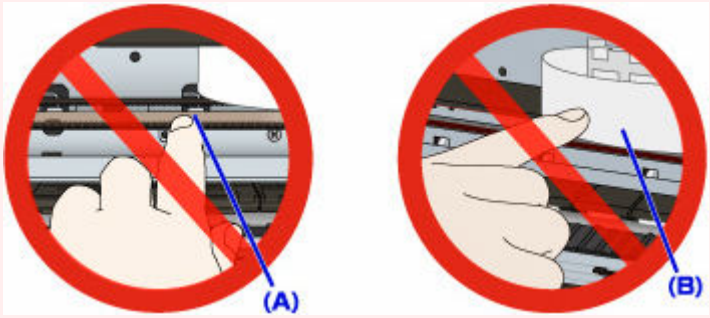
最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5105

原因

プリントラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーの固定部材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

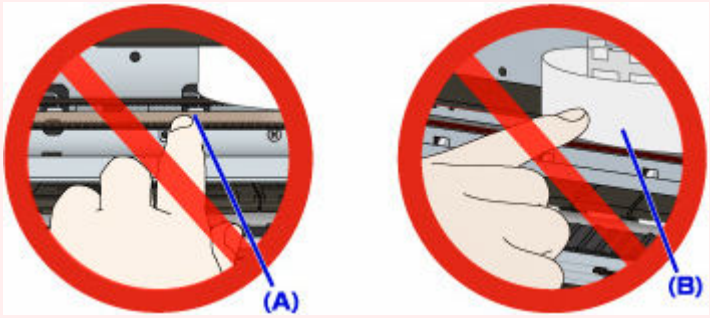
最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5200

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5203

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5204

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5205

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5206

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5207

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5208

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5209

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5400

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

5500

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

この状態になった場合、お早めにお客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5501

原因

インクタンクが認識できません。

対処方法

この状態になった場合、お早めにお客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B00

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにお客様相談センターへ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5B01

原因

インク吸収体が満杯になりました。

対処方法

本製品は、クリーニングなどで使用したインクが、インク吸収体に吸収されます。

この状態になった場合、交換が必要です。お早めにお客様相談センターへ交換をご依頼ください。お客様ご自身によるインク吸収体の交換はできません。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

5C01

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6000

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6500

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6502

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6700

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6701

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6800

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6801

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6900

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6901

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6902

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6910

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6911

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6920

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6921

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6930

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6931

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6932

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6933

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6936

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6937

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6938

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6939

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

693A

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6940

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6941

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6942

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6943

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6944

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6945

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

6946

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

7100

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

7200

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

7201

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

7203

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

7204

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

7205

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

9000

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

9500

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B202

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B203

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B204

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B205

原因

修理の依頼が必要なエラーが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B502

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B503

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

B504

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

本製品の電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。

C000

原因

プリントートラブルが発生しました。

対処方法

印刷を中止して、本製品の電源を切ってください。

続いて、以下のことを確認してください。

- プリントヘッドホルダーの固定部材やつまった用紙など、プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがないか

  プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものがあれば、取り除いてください。

- インクタンクが正しくセットされているか

  インクタンクは「カチッ」という音がするまでしっかり押してください。

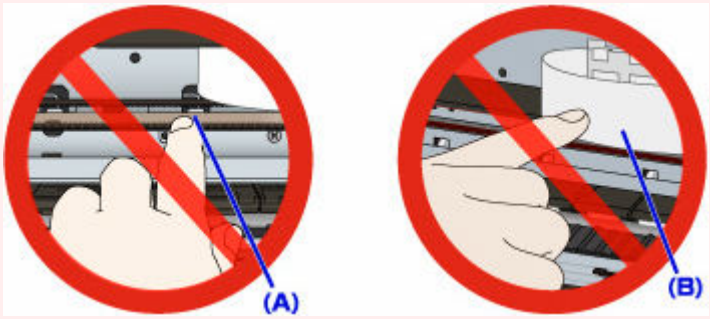
最後に、本製品の電源を入れ直してください。

それでも回復しない場合は、お客様相談センターに修理をご依頼ください。

お問い合わせ先やお問い合わせ方法については、『基本操作マニュアル』の「お問い合わせの前に」を参照してください。

重要

- プリントヘッドホルダーの動きを妨げているものを取り除くときは、透明のフィルム（A）や、白い帯状の部品（B）に触れないよう、十分注意してください。

  用紙や手が触れてこれらの部品が汚れたり傷ついたりすると、故障の原因になります。

- 電源プラグを抜くと、本製品のメモリーに保存されているファクスはすべて削除されます。